宮崎市文化財調査報告書第142集

橋山第２遺跡２次
橋山第３遺跡

第2花見工業団地造成工事に伴う埋蔵文化財調査報告書

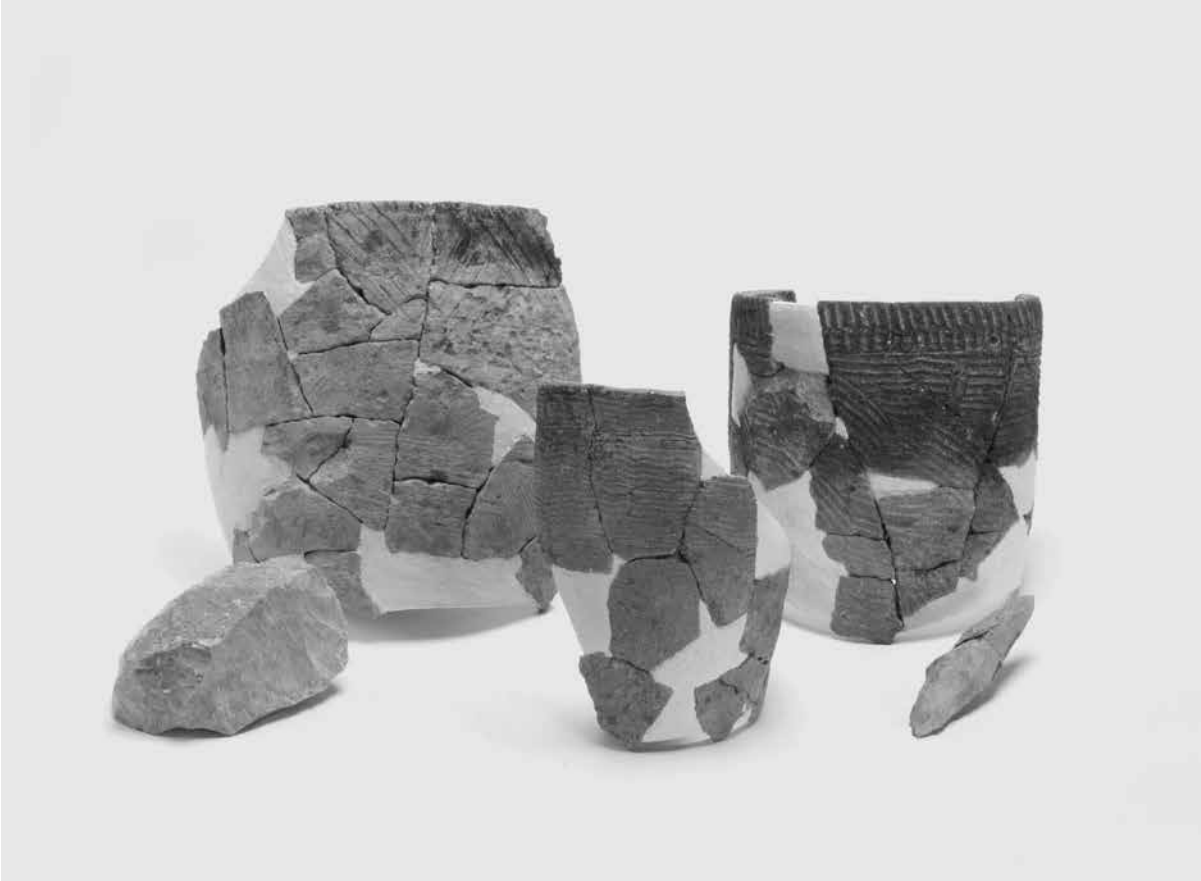
２０２３

宮 崎 市 教 育 委 員 会

宮崎市文化財調査報告書第142集

橋山第２遺跡２次
橋山第３遺跡

第2花見工業団地造成工事に伴う埋蔵文化財調査報告書



２０２３

宮 崎 市 教 育 委 員 会

橋山第2遺跡2次調査・橋山第3遺跡　調査区空中写真

巻頭図版2

橋山第2遺跡2次調査　SR15

橋山第2遺跡2次調査　SI29

橋山第3遺跡1地区　SZ145（No.42・No.43）

橋山第3遺跡1地区　SI91・92・143

巻頭図版4

橋山第3遺跡2地区　姫島産黒曜石製
石核（№311）出土状況

橋山第3遺跡2地区　槍先形尖頭器
（№192）出土状況

橋山第3遺跡2地区　旧石器
出土状況

序

本書は平成30年度から令和2年度にかけておこなわれた橋山第2遺跡、橋山第3遺跡の発掘調査報告書です。

宮崎市では様々な開発事業がおこなわれており、それによって消失する遺跡（埋蔵文化財）を記録するための発掘調査を実施しております。

橋山遺跡群は宮崎市高岡町花見にあり、平成2～4年度に橋山第1遺跡が高岡町教育委員会によって発掘調査が行われ、平成17・18年度にも橋山第2遺跡の1次調査が宮崎市教育委員会によって調査されております。これらの発掘調査の結果、本遺跡群では旧石器時代から室町時代までの様々な遺構や遺物が検出され、ここに長い間多くの人びとによって営まれていた集落があったことがわかりました。

特に縄文時代の遺構・遺物は草創期から後期までのものが多数出土しており、どの調査区からも約7300年前の鬼界カルデラの噴火で被災した痕跡となるアカホヤ火山灰層の分厚い堆積が確認されました。この噴火は南九州地域に大きな被害をもたらしたと推測されていますが、今回の調査で出土した遺物から縄文人の生活は完全には途絶えることはなく、被害に立ち向かいながら力強く続けられていたことが判明しました。

これらの重要な成果をまとめた本書が学術資料としてだけではなく、学校教育や生涯学習などにも活用され、埋蔵文化財保護の理解につながれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査の実施に関しまして理解とご協力を賜りました宮崎市土地開発公社の皆様及び地元の方々に心から感謝し御礼申し上げます。

令和5年3月

宮崎市教育委員会

教育長　西田　幸一郎

例　言

1. 本書は第2花見工業団地造成工事に伴って行われた宮崎市高岡町に所在する橋山第2遺跡、橋山第3遺跡の発掘調査報告書である。
2. 本業務は宮崎市土地開発公社から依頼を受けて平成30年度から実施している。発掘調査は令和2年度で終了し、令和2年度から令和4年度にかけて整理作業が行われた。
3. 調査組織は以下のとおりである。

調査主体：宮崎市教育委員会

平成30年度（発掘調査）

文化財課	課長	富永英典
総括	主幹兼埋蔵文化財係長	井田　篤
調整担当	主任技師	河野裕次
庶務担当	主事	杉尾　悠
調査担当	主査	秋成雅博
	技師	市川勇樹
	嘱託	今井奈緒
	嘱託	向山義文

令和元年度（発掘調査）

文化財課	課長	富永英典
総括	主幹兼埋蔵文化財係長	井田　篤
調整担当	主任技師	石村友規
庶務担当	主事	高田真帆
調査担当	主査	秋成雅博
	技師	市川勇樹
	嘱託	今井奈緒
		(現延岡市教育委員会)
	嘱託	古田矩美子
	嘱託	木本嘉奈子

令和2年度（発掘調査・整理作業）

文化財課	課長	白坂　敦
総括	主幹兼埋蔵文化財係長	井田　篤
調整担当	主査	石村友規
庶務担当	主事	高田真帆
調査担当	主査	金丸武司
	主任技師	河野裕次
	技師	市川勇樹
	会計年度任用職員	古田矩美子
	会計年度任用職員	木本嘉奈子
	会計年度任用職員	鈴木律子
	会計年度任用職員	佛山友香

整理担当	主査	秋成雅博
	技師	市川勇樹
	会計年度任用職員	雀ヶ野　亮

令和3年度（整理作業）			令和4年度（整理作業）		
文化財課	課長	白坂　敦	文化財課	課長	白坂　敦
総括	埋蔵文化財調査係長	秋成雅博	総括	埋蔵文化財調査係長	秋成雅博
調整担当	主査	西嶋剛広	調整担当	主査	西嶋剛広
庶務担当	主事	高田真帆	庶務担当	会計年度任用職員	宜野座さち
整理担当	主任技師	市川勇樹	整理担当	主任技師	市川勇樹
	会計年度任用職員	船石涼代		会計年度任用職員	船石涼代
	会計年度任用職員	永友加奈子		会計年度任用職員	永友加奈子
				会計年度任用職員	小牟田智子

4. 遺構の実測は宮崎市文化財課の秋成・市川・今井・古田・木本・佛山・河野・金丸・西嶋・竹中克繁・児玉めぐみが、トレースは上村幸広・黒木　宏・木本・鈴木及び整理作業員が主体となって行った。なお一部については㈲ジパング・サーベイに委託した。
5. 遺物実測は生目の杜遊古館にて秋成・市川・船石・永友・小牟田・佐伯美佐子・菊地ひろみ・沼口常子・小野貞子・徳丸理奈及び整理作業員が主体となって行い、一部の遺物実測及びトレースを㈲ジパング・サーベイに、遺物分布図の作成を㈱フジヤマに委託した。
6. 遺構の写真撮影は秋成･市川･河野･金丸が行い、空中写真については九州航空㈱に委託した。また遺物の写真撮影は市川・秋成が行った。
7. 本書で使用する北は真北で、使用する遺構の略記号は以下の通りである。
   SI：集石遺構　SC：土坑　SE：溝状遺構　SG：道路状遺構　SZ：不明遺構
8. 本書の執筆は第Ⅰ章第2節を河野が、その他は秋成・市川が行った。また編集も秋成・市川で行った。
9. 出土遺物及び掲載図面・写真は宮崎市教育委員会で保管している。資料の閲覧・利用に関しては、事前に宮崎市教育委員会までお問い合わせいただきたい。
10. 本発掘調査にかかる文書手続きは以下のとおりである。

工事通知（文化財保護法第94条）	平成29年10月30日　宮教文第675号1（進達）
	平成29年11月13日　宮教文第675号3（伝達）
発掘調査期間	平成30年5月9日から令和2年11月30日
・橋山第2遺跡2次	
発見通知（文化財保護法第100条）	令和2年12月3日　宮教文第609号4
保管証	令和2年12月8日　宮教文第609号7
・橋山第3遺跡	
発見通知（文化財保護法第100条）	令和2年12月3日　宮教文第609号4
保管証	令和2年12月8日　宮教文第609号7

本　文　目　次

第Ⅰ章　はじめに……1
第1節　調査概要……1
第2節　調査に至る経緯と概要……3
第Ⅱ章　橋山第2遺跡2次調査……7
第1節　調査概要……7
第2節　旧石器時代の調査……7
第3節　縄文時代早期の調査……15
第4節　アカホヤ火山灰層（基本土層3層）上位の調査……31
第Ⅲ章　橋山第3遺跡1地区の調査……49
第1節　調査概要……49
第2節　縄文時代早期の調査……49
第3節　アカホヤ火山灰層上面の調査……125
第Ⅳ章　橋山第3遺跡2地区の調査……179
第1節　調査概要……179
第2節　旧石器時代の調査……180
第3節　縄文時代早期の調査……201
第4節　アカホヤ火山灰層上面の調査……243
第Ⅴ章　自然科学分析について……287
第Ⅵ章　まとめ……299
第1節　橋山遺跡群の旧石器時代の調査成果……299
第2節　橋山遺跡群の縄文時代草創期～早期の調査成果……302
第3節　橋山遺跡群の縄文時代前期～後期の調査成果……303

挿　図　目　次

第1図　橋山第2・第3遺跡周辺の遺跡分布図…2
第2図　橋山第2遺跡周辺地形図……5
第3図　橋山第3遺跡周辺地形図……6
第4図　橋山第2遺跡2次調査基本土層図……8
第5図　橋山第2遺跡2次調査旧石器時代遺物包含層（6～9層）出土石器分布図……9
第6図　旧石器時代Aブロック出土石器分布図 10
第7図　旧石器時代Bブロック出土石器分布図 10
第8図　旧石器時代礫群（SR21）実測図及び出土石器実測図……11
第9図　Aブロック及び旧石器時代遺物包含層（9層）出土石器実測図……12
第10図　旧石器時代礫群（SR13・15）実測図及びBブロック・遺物包含層（8層）出土石器実測図……12
第11図　旧石器時代遺物包含層（6～7層）出土石器実測図……13
第12図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代早期（4～5層）遺構配置図……16
第13図　縄文時代早期集石遺構実測図①……17
第14図　縄文時代早期集石遺構実測図②……18
第15図　縄文時代早期集石遺構実測図③……19
第16図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図20
第17図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器分布図 22
第18図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図①……23
第19図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図②……24
第20図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土主要石器分布図【器種別】……25
第21図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図①……26
第22図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図②……27
第23図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図③……28
第24図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図④……29
第25図　橋山第2遺跡2次調査アカホヤ火山灰層（3層）上面検出遺構配置図……32
第26図　溝状遺構（SE1）及び土坑（SC2）平面実測図……33
第27図　SE1土層断面図及び土坑（SC2～5）実測図……34

第28図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代中期～後期遺物包含層(2層)出土遺物分布図35
第29図　縄文時代中期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図①……36
第30図　縄文時代中期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図②……37
第31図　縄文時代中期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図……38
第32図　橋山第3遺跡1地区基本土層図……50
第33図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期(4～5層)遺構配置図……51
第34図　縄文時代早期集石遺構実測図①……52
第35図　縄文時代早期集石遺構実測図②……53
第36図　縄文時代早期集石遺構実測図③……54
第37図　縄文時代早期集石遺構実測図④……55
第38図　縄文時代早期集石遺構実測図⑤……56
第39図　縄文時代早期集石遺構実測図⑥……57
第40図　縄文時代早期集石遺構実測図⑦……58
第41図　縄文時代早期集石遺構実測図⑧……59
第42図　縄文時代早期集石遺構実測図⑨……60
第43図　縄文時代早期集石遺構実測図⑩……61
第44図　縄文時代早期集石遺構実測図⑪……62
第45図　縄文時代早期集石遺構実測図⑫……63
第46図　縄文時代早期集石遺構実測図⑬……64
第47図　縄文時代早期集石遺構実測図⑭……65
第48図　縄文時代早期集石遺構実測図⑮……66
第49図　縄文時代早期集石遺構実測図⑯……67
第50図　縄文時代早期集石遺構実測図⑰……68
第51図　縄文時代早期集石遺構実測図⑱……69
第52図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図①……70
第53図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図②……71
第54図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図③……72
第55図　SZ145(No.42・43)出土状況及び実測図・73
第56図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器分布図①【押型文土器以外】……80
第57図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器分布図②【押型文土器】……81
第58図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図①……82
第59図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図②……83
第60図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図③……84
第61図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図④……85
第62図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑤……86
第63図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑥……87
第64図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑦……88
第65図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑧……89
第66図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑨……90
第67図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑩……91
第68図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑪……92
第69図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑫……93
第70図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑬……94
第71図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑭……95
第72図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑮……96
第73図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑯……97
第74図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑰……98
第75図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑱……99

第76図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土主要石器分布図①【器種別】……101
第77図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土主要石器分布図②【石材別】……102
第78図　旧石器時代(5～6層)出土石器実測図 103
第79図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図①……103
第80図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図②……104
第81図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図③……105
第82図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図④……106
第83図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑤……107
第84図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑥……108
第85図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑦……109
第86図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑧……110
第87図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑨……111
第88図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑩……112
第89図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑪……113
第90図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑫……114
第91図　橋山第3遺跡1地区アカホヤ火山灰層(3層)上面検出遺構配置図……126
第92図　縄文時代前期～後期土坑及び出土遺物実測図①……127
第93図　縄文時代前期～後期土坑及び出土遺物実測図②……128
第94図　溝状遺構(SE1・10)平面図及びSE1出土遺物実測図 ……129
第95図　SE1土層断面図①……130
第96図　SE1土層断面図②……131
第97図　SE1土層断面図③……132
第98図　溝状遺構(SE10･12)実測図及びSE12出土遺物実測図 ……133
第99図　橋山第3遺跡1地区縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器分布図 135
第100図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図①……136
第101図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図②……137
第102図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図③……138
第103図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図④……139
第104図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器実測図⑤……140
第105図　橋山第3遺跡1地区縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土主要石器分布図【器種別】……142
第106図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図①……143
第107図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図②……144
第108図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図③……145
第109図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図④……146
第110図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図⑤……147
第111図　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器実測図⑥……148
第112図　橋山第3遺跡2地区基本土層図……180
第113図　橋山第3遺跡2地区旧石器時代遺物包含層(5～9層)出土石器分布図①【器種別】……182
第114図　橋山第3遺跡2地区旧石器時代遺物包含層(5～9層)出土石器分布図②【石材別】……183

第115図　旧石器時代Aブロック出土石器分布図①【器種別】……184
第116図　Aブロック出土石器実測図①……184
第117図　旧石器時代Aブロック出土石器分布図②【石材別】……185
第118図　Aブロック出土石器実測図②……185
第119図　Aブロック出土石器実測図③……186
第120図　Aブロック出土石器実測図④……187
第121図　旧石器時代Bブロック出土石器分布図①【器種別】……188
第122図　旧石器時代Bブロック出土石器分布図②【石材別】……189
第123図　Bブロック出土石器実測図①……190
第124図　Bブロック出土石器実測図②……191
第125図　Bブロック出土石器実測図③……192
第126図　Bブロック出土石器実測図④……193
第127図　Bブロック出土石器実測図⑤……194
第128図　Bブロック出土石器実測図⑥……195
第129図　旧石器時代Cブロック出土石器分布図①【器種別】……196
第130図　旧石器時代Cブロック出土石器分布図②【石材別】……197
第131図　旧石器時代Dブロック出土石器分布図①【器種別】……198
第132図　旧石器時代Dブロック出土石器分布図②【石材別】……198
第133図　C・Dブロック出土石器及びブロック外出土石器実測図……199
第134図　縄文時代早期集石遺構実測図①‥202
第135図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期(4～5層)遺構配置図……203～204
第136図　縄文時代早期集石遺構実測図②‥205
第137図　縄文時代早期集石遺構実測図③‥206
第138図　縄文時代早期集石遺構実測図④‥207
第139図　縄文時代早期集石遺構実測図⑤‥208
第140図　縄文時代早期集石遺構実測図⑥及び土坑実測図……209
第141図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図①……212
第142図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期遺包含層(4～5層)出土土器分布図‥213・214
第143図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図②……215
第144図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図③……216
第145図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図④……217
第146図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑤……218
第147図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑥……219
第148図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑦……220
第149図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器実測図⑧……221
第150図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土主要石器分布図①【器種別】……223～224
第151図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土主要石器分布図②【石材別】……225～226
第152図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図①……227
第153図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図②……228
第154図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図③……229
第155図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図④……230
第156図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑤……231
第157図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑥……232
第158図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑦……233
第159図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑧……234
第160図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)

出土石器実測図⑨……235
第161図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑩……236
第162図　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器実測図⑪……237
第163図　橋山第3遺跡2地区アカホヤ火山灰層(3層)上面検出遺構配置図……244
第164図　土坑(SC4)実測図……245
第165図　SZ5(242～244)遺物出土状況及び実測図……245
第166図　道路状遺構(SG2･54～56)及び溝状遺構(SE3)平面図及びSG2・56出土遺物実測図……246
第167図　SG2及びSE3土層断面図……247
第168図　橋山第3遺跡2地区縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土主要遺物分布図……249
第169図　縄文時代前期～中期Ａ調査区出土主要遺物分布図……250
第170図　縄文時代前期～中期Ｂ調査区出土主要遺物分布図……251
第171図　縄文時代前期～中期Ｃ調査区出土主要遺物分布図……252
第172図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土土器実測図①……253
第173図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土土器実測図②……254
第174図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土土器実測図③……255
第175図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土石器実測図①……256
第176図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土石器実測図②……257
第177図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土石器実測図③……258
第178図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土石器実測図④……259
第179図　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土石器実測図⑤……260
第180図　暦年較正結果①……293
第181図　暦年較正結果②……294
第182図　暦年較正結果③……295
第183図　暦年較正年代マルチプロット図‥296
第184図　橋山第3遺跡2地区における火山ガラスの屈折率測定結果……297
第185図　橋山遺跡群旧石器時代変遷図……300
第186図　橋山第2遺跡・第3遺跡１地区・橋山第3遺跡２地区礫分布図……301

表　目　次

第1表　橋山第2遺跡2次　旧石器時代礫群及び遺物包含層(6～9層)出土石器観察表･14
第2表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期集石遺構計測表……20
第3表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期集石遺構出土石器観察表……20
第4表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表 ①‥29
第5表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表 ②‥30
第6表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期遺物包含層(4層～5層)出土石器観察表…30
第7表　橋山第2遺跡2次　縄文中期～後期遺物包含層(2層)出土土器観察表……39
第8表　橋山第2遺跡2次　陶磁器観察表……39
第9表　橋山第2遺跡2次　縄文中期～後期遺物包含層(2層)出土石器観察表……39
第10表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期集石遺構計測表①……74
第11表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期集石遺構計測表②……75
第12表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期集石遺構計測表③……76
第13表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺構内出土土器観察表……77
第14表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺構内出土石器観察表……77

第15表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表① 115
第16表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表② 116
第17表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表③ 117
第18表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表④ 118
第19表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表⑤ 119
第20表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表⑥ 120
第21表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表⑦ 121
第22表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表⑧ 122
第23表　橋山第3遺跡1地区　旧石器時代(5～6層)出土石器観察表 …… 123
第24表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器観察表① 123
第25表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器観察表② 124
第26表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期土坑及び中世溝状遺構内出土土器観察表 …… 133
第27表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期土坑及び中世溝状遺構内出土石器観察表 …… 133
第28表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器観察①148
第29表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器観察表②149
第30表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器観察表③150
第31表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土土器観察④‥151
第32表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層(2層)出土石器観察表‥151
第33表　橋山第3遺跡2地区　旧石器時代遺物包含層(5～11層)出土石器観察表‥200
第34表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期集石遺構計測表 …… 210
第35表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表① …… 238
第36表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表② 239
第37表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土土器観察表③ 240
第38表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器観察表① 241
第39表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層(4～5層)出土石器観察表② 242
第40表　橋山第3遺跡2地区　SZ5出土石器観察表 …… 247
第41表　橋山第3遺跡2地区　道路状遺構及び溝状遺構出土遺物観察表 …… 247
第42表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土土器観察表①261
第43表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土土器観察表②262
第44表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代前期～中期遺物包含層(2層)出土石器観察表‥262
第45表　橋山第2・第3遺跡の放射性炭素年代測定結果…… 291
第46表　橋山第3遺跡のテフラ分析結果 …… 292

写　真　図　版

図版1　橋山第2遺跡2次調査　基本土層……8
図版2　旧石器時代遺構及び遺物出土状況…40
図版3　旧石器時代遺構内及び包含層出土石器41
図版4　縄文時代早期遺構①…… 42
図版5　縄文時代早期遺構②…… 43
図版6　縄文時代早期遺物包含層出土土器①44
図版7　縄文時代早期遺物包含層出土土器②45
図版8　縄文時代早期遺物包含層出土石器…46
図版9　アカホヤ火山灰層(3層)上面検出遺構及

び遺構内遺物、並びに縄文時代中期～後期包含層出土土器①……47
図版10　縄文時代中期～後期包含層出土土器②48
図版11　橋山第3遺跡1地区　基本土層……50
図版12　縄文時代早期遺構①……152
図版13　縄文時代早期遺構②……153
図版14　縄文時代早期遺構③……154
図版15　縄文時代早期遺構④……155
図版16　縄文時代早期遺構⑤……156
図版17　縄文時代早期遺構⑥……157
図版18　縄文時代早期遺構⑦……158
図版19　縄文時代早期遺構⑧……159
図版20　縄文時代早期遺構⑨……160
図版21　縄文時代早期遺構⑩……161
図版22　縄文時代早期遺構⑪……162
図版23　縄文時代早期遺構⑫……163
図版24　縄文時代早期遺構⑬……164
図版25　縄文時代早期遺構⑭……165
図版26　縄文時代早期遺構⑮及び遺物出土状況、並びに包含層出土土器①……166
図版27　縄文時代早期遺構内出土土器……167
図版28　縄文時代早期遺構内出土石器及び包含層出土土器②……168
図版29　縄文時代早期包含層出土土器③……169
図版30　縄文時代早期包含層出土土器④……170
図版31　縄文時代早期包含層出土土器⑤……171
図版32　縄文時代早期包含層出土土器⑥……172
図版33　旧石器時代出土石器及び縄文時代早期包含層出土石器①……173
図版34　縄文時代早期包含層出土石器②……174
図版35　アカホヤ火山灰層(3層)上面検出遺構及び遺物出土状況……175
図版36　アカホヤ火山灰層(3層)上面検出遺構内出土遺物及び縄文時代前期～後期包含層出土遺物……176
図版37　縄文時代前期～後期包含層出土土器177
図版38　縄文時代前期～後期包含層出土石器178
図版39　橋山第3遺跡2地区　旧石器時代遺物出土状況……263
図版40　旧石器時代包含層出土石器①……264
図版41　旧石器時代包含層出土石器②……265
図版42　旧石器時代包含層出土石器③……266
図版43　縄文時代早期遺構①……267
図版44　縄文時代早期遺構②……268
図版45　縄文時代早期遺構③……269
図版46　縄文時代早期遺構④……270
図版47　縄文時代早期遺構⑤……271
図版48　縄文時代早期遺構⑥及び遺物出土状況272
図版49　縄文時代早期包含層出土土器①……273
図版50　縄文時代早期包含層出土土器②……274
図版51　縄文時代早期包含層出土土器③……275
図版52　縄文時代早期包含層出土土器④……276
図版53　縄文時代早期包含層出土土器⑤……277
図版54　縄文時代早期包含層出土石器①……278
図版55　縄文時代早期包含層出土石器②……279
図版56　縄文時代早期包含層出土石器③……280
図版57　縄文時代早期包含層出土石器④……281
図版58　アカホヤ火山灰層(3層)上面検出遺構282
図版59　縄文時代前期～後期包含層出土土器①283
図版60　縄文時代前期～後期包含層出土土器②284
図版61　縄文時代前期～後期包含層出土石器①285
図版62　縄文時代前期～後期包含層出土石器②286
図版63　橋山第3遺跡2地区におけるテフラ分析試料採取箇所(27グリッド北壁)……297
図版64　テフラ試料の顕微鏡写真……298

第Ⅰ章　はじめに

第1節 調査概要

第1項 地理的環境

橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡が所在する宮崎市は宮崎県の南東部に位置する。鹿児島県曽於市を源流とし、山間部から宮崎市を流れて日向灘へ注ぐ一級河川である大淀川の沖積作用によって宮崎平野が形成されており、その下流部に市街地が広がる。

橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡は宮崎平野の西側にある高岡町に位置し、町の中央を流れる大淀川左岸に形成されたシラス台地の一角にある。遺跡の立地する台地は河川の浸食によって谷や池が形成され、入り組んだ地形を呈する。そのような浸食によって形成された池の一つである権現原ため池を囲むように突出した舌状地形に遺跡は立地する。

調査開始時点では橋山第1遺跡の調査後に造成された花見工業団地により橋山第2遺跡の東側は旧地形が失われていたが、今回の調査区を含む西側は本来の地形が良好に残っていた。

第2項 歴史的環境

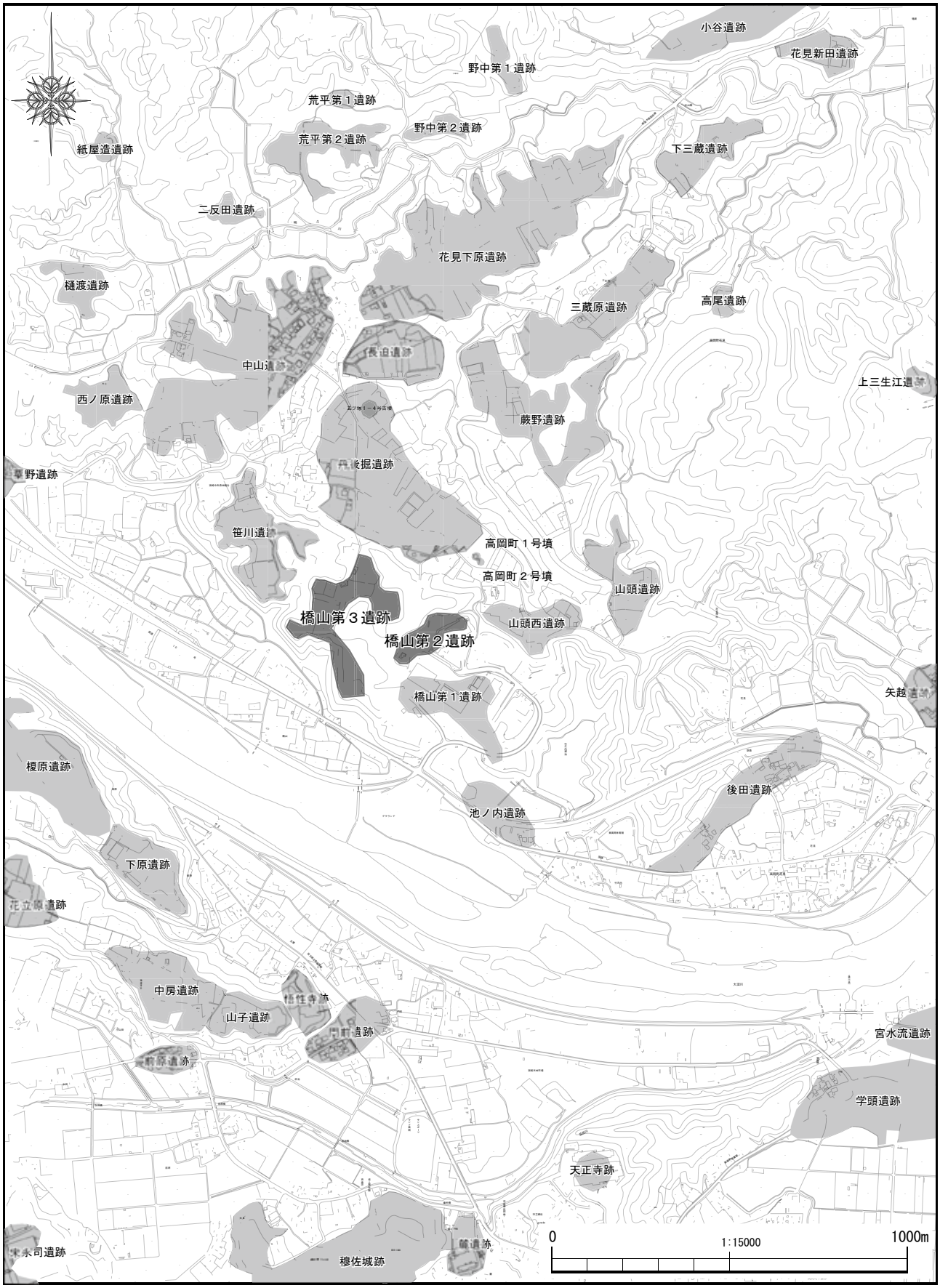
橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡の立地するシラス台地上には多くの遺跡が分布する。

旧石器時代の調査では野中第1遺跡があり、AT層の上位からナイフ形石器、剥片尖頭器、スクレイパーなどが出土している。また橋山第2遺跡の1次調査では霧島小林軽石層の上面から陥し穴状遺構が検出されており、縄文時代早期の遺物包含層中（今回の報告における基本土層5層）からではあるものの細石刃核が出土している。また大淀川右岸の高野原遺跡ではAT層の下位で調査が実施され、ラウンドスクレイパーなどが出土している。

縄文時代は草創期、早期、後期が確認されている。草創期は野中第1遺跡で集石遺構とそれに伴う隆帯文土器が検出されている。早期は野中第1遺跡、橋山第1遺跡A～C地区、橋山第2遺跡1次調査などで確認されている。特に橋山第1遺跡A・B地区、橋山第2遺跡1次調査からは多くの集石遺構が検出され、早期貝殻円筒形土器である前平式、加栗山式、吉田式、別府原式、中原式、下剥峯式、桑ノ丸式や平栫式、塞ノ神式、苦浜式、押型文等の各型式が出土している。また橋山第1遺跡C地区からは環状石斧片も出土している。

後期は城ケ峰遺跡、橋山第1遺跡A地区、橋山第2遺跡1次調査などで確認されている。橋山第1遺跡A地区からは磨消縄文土器である中津式が出土している。また橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡の立地するシラス台地上ではないものの前期は永迫第1遺跡、永迫第2遺跡で包含層の調査が行われ、中期は去川山下遺跡、久木野遺跡、松ノ元遺跡で春日式や大平式などが出土している。晩期は学頭遺跡や伊勢ノ原遺跡で黒色磨研土器が出土している。

弥生時代は橋山第2遺跡よりも北側の一段高い台地に立地する丹後堀遺跡で確認されており、中期の竪穴住居を検出している。出土遺物としては糸魚川産ヒスイの玉が出土している。また大淀川右岸の微高地状に位置する学頭遺跡からは断面V字状を呈する溝状遺構や竪穴住居が検出されている。



第1図　橋山第2・第3遺跡周辺の遺跡分布図（S＝1/15000）

古墳時代は未調査ではあるが、橋山第2遺跡の北側に県指定高岡町古墳が2基所在する。1号墳は径約10m、2号墳は径約5mの円墳である。古墳の周囲を耕作中に中期の二重口縁壺や鉄斧が発見されている。また橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡の立地する台地上ではないものの八児遺跡や高岡麓遺跡第5地点からは住居址が検出されている。八児遺跡からは側壁にカマドが付設された7世紀代の竪穴住居などが12軒以上検出された。高岡麓遺跡第5地点からは5世紀代の竪穴住居が2軒検出されている。

古代は蕨野遺跡において確認されている。9世紀後半以降の土師器埦や皿等を焼成した土坑が6基以上検出された。また河岸段丘の谷間に立地する三生江遺跡からは緑釉陶器、灰釉陶器、越州窯系青磁碗が出土している。

中世は、当遺跡周辺は建久図田帳によると12世紀には「島津荘穆佐院」と称されていた。南北朝期から中世末まで、その中心となったのが穆佐城であり、史跡整備の調査が継続して行われている。調査では14世紀後半から16世紀末までの遺物が多く出土している。また、大淀川縁辺には天ヶ城跡、飯田城跡、楠見城跡などの山城が分布している。

近世は、これまで穆佐城が中心地だったのに対し、天ヶ城周辺に一変する。鹿児島藩は天ヶ城の山裾に多くの郷士を移住させ麓集落を形成している。この麓が高岡麓遺跡であり、現在高岡小学校が所在する場所にあった地頭仮屋を中心に計画的な街路設計がなされており、現在までに確認調査も含め63地点にわたって調査が行われている。

第2節　調査に至る経緯と概要

第1項　調査に至る経緯

第2花見工業団地土地造成事業は、旧高岡町土地開発公社が開発主体となって計画された事業で、造成予定範囲には周知の埋蔵文化財包蔵地「橋山第2遺跡」「橋山第3遺跡」を含んでいる。開発主体者と旧高岡町との協議の結果、造成予定範囲内の埋蔵文化財については記録保存発掘調査が必要との結論に至り、平成17年度から18年度にかけて仮設道設置箇所の発掘調査を旧高岡町（合併後は宮崎市）が主体となり実施した。しかし、その後に事業計画の見直しが行なわれ、当初計画された造成範囲のうち、前述の発掘調査が完了した範囲を含む東側の一部のみを造成し工業団地として供用されるに至った。この調査の内容は宮崎市文化財調査報告書第73集として刊行されている。

平成28年度になり、宮崎市土地開発公社及び同市観光商工部工業政策課から、事業の再開について、市文化財課宛て相談が行なわれた。協議を重ねた結果、造成により削平を免れない約14,700㎡について記録保存発掘調査を実施することとなり、平成29年10月2日付けで同市土地開発公社から文化財保護法第94条1の工事通知が提出された。その後、平成30年5月9日付けで宮崎市土地開発公社と宮崎市とで発掘調査委託業務契約を締結し、同5月30日から現地調査に着手した。なお、開発主体者である宮崎市土地開発公社には調査に至るまでの様々な場面でご協力とご配慮を頂いたことを付しておきたい。

第2項　調査の概要

今回、発掘調査の対象となった橋山第2遺跡及び橋山第3遺跡は縄文時代早期を中心とするが、旧石器時代及び縄文時代前期～後期、中世の遺構も確認された。なお橋山第3遺跡は高岡町が2004年に実施した確認調査の結果を基に2調査区を設定した。互いの調査区はため池を挟んで約80m離れており、南側を1地区、北側を2地区と呼称した。

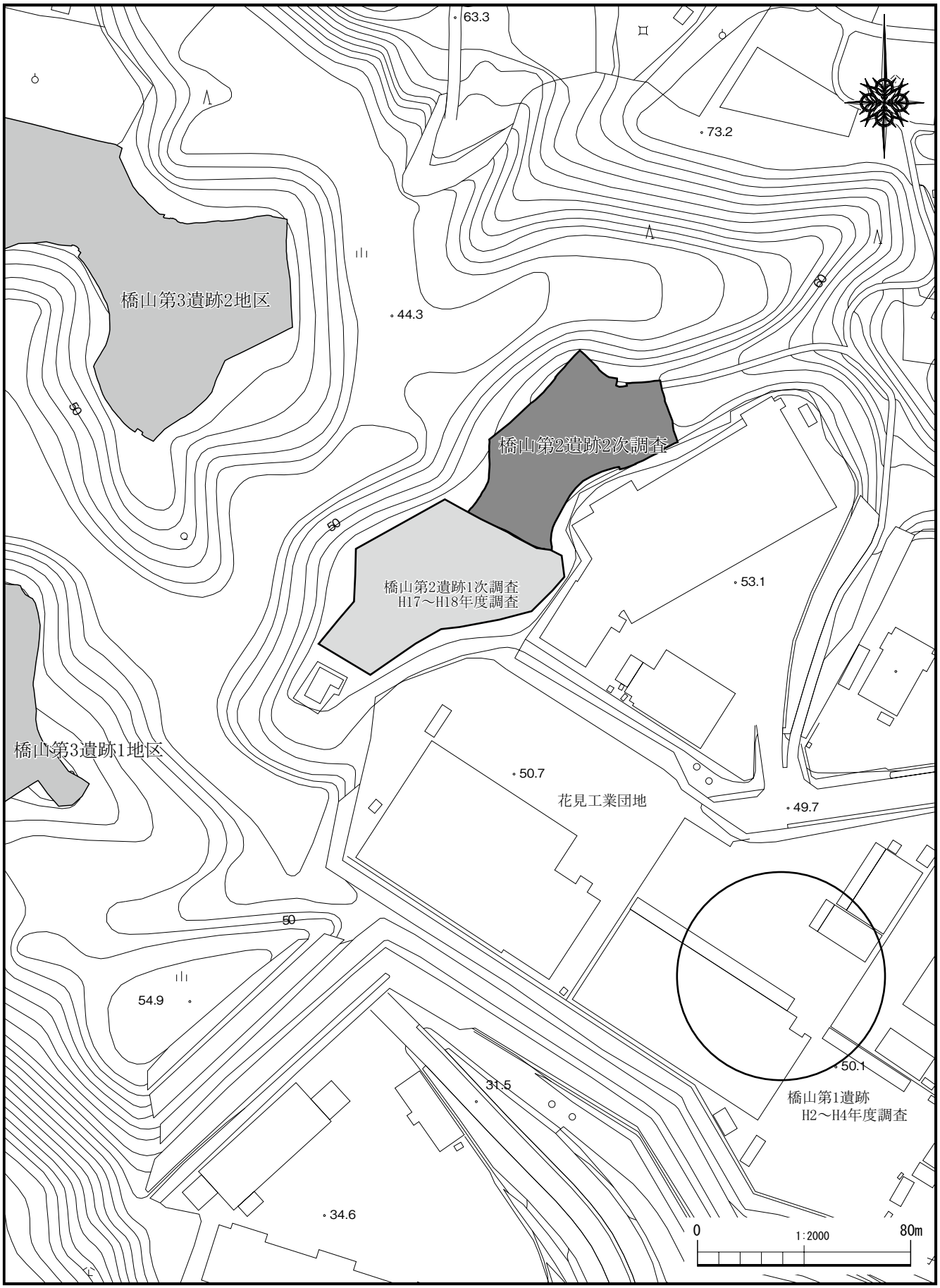
橋山第2遺跡1次調査で遺物は確認されていたが、今回の調査で旧石器時代の文化層を確認した。調査期間の関係上全面を調査することはできなかったが、ナイフ形石器や角錐状石器などの多くの遺物が出土した。また発掘調査で出土した全ての礫の地点測量を行い、先行研究の通り礫の分布状況が集中するほど縄文時代の遺構・遺物が多く検出されることを再確認した。縄文時代早期の調査において特に橋山第3遺跡1地区からは夥しい数の礫が出土しており、調査区全体が礫の絨毯のような印象を受けた。本書においては遺構周辺に散在するこれらの礫群を散礫と呼ぶ。散礫の密集する箇所は過去の調査と同じく、多くの集石遺構を検出しており、総重量が1000kgを超える調理施設として普段使いをしていたとは想定できないような巨大なものもみられている。出土遺物としては過去の調査と同じく多くの貝殻円筒形土器や石器類が出土している。また橋山第1遺跡A～C地区、橋山第2遺跡1次調査で確認されていなかった草創期の水迫式土器が1地区から出土している。アカホヤ火山灰層上位の調査においては橋山第1遺跡A～C地区、橋山第2遺跡1次調査でみられなかった縄文時代前期～中期の土器が多く出土している。また1地区と2地区の両地区で、中世から近年まで使用されていた道路状遺構も検出された。

自然科学分野では集石遺構及び縄文土器に付着していた炭化物の放射性炭素年代測定を行った。また2地区で検出したテフラの分析を実施し、約12800年前の桜島薩摩火山灰と約16700年前の霧島小林軽石を同定した。詳細は第Ⅴ章に示す。

今回は調査面積が橋山第2遺跡2次調査で3110㎡、橋山第3遺跡1地区で2850㎡、橋山第3遺跡2地区で8740㎡、合計で14700㎡という大規模な調査となった。そのため各時期の遺構や遺物の分布状況を視覚的に確認することができ、2地区では直線距離で150m以上離れた調査区の東端から西端で出土した中原式が接合している。各地区および地区内で多く出土する遺物も偏りが見られる。以前調査されたものも含めて、この地域における過去の営みの一端に迫ることができた。

なお、過去の橋山遺跡群の調査報告書としては以下の4冊が刊行されている。

高岡町教育委員会1994『橋山第1遺跡C地区』高岡町埋蔵文化財調査報告書第4集
高岡町教育委員会1996『橋山第1遺跡（A・B地区）』高岡町埋蔵文化財調査報告書第9集
高岡町教育委員会1994『高岡町内遺跡Ⅹ』高岡町埋蔵文化財調査報告書第37集
宮崎市教育委員会2008『橋山第2遺跡』宮崎市文化財調査報告書第73集



第2図　橋山第2遺跡周辺地形図（S=1/2000）

第3図　橋山第3遺跡周辺地形図（S=1/2000）

第Ⅱ章　橋山第2遺跡2次調査

第1節　調査概要

第1項　調査方法

調査区は表土下が北東方向から南西方向に傾斜する地形である。傾斜に沿って軸線を設定し、それを元に10m×10mのグリッドを設定した。重機による表土剝ぎ後、調査区中央部及び北東部から東部にかけてアカホヤ火山灰が削平を受けていたことが確認されたため、その範囲を除いて、縄文時代中期以降の調査を行った。基本土層2～3層掘削後、4層上面で縄文時代早期の遺構検出を行い、6層上面まで縄文時代早期の調査を行った。旧石器時代の調査については縄文早期の遺物包含層である4層から5層の掘削が終了した後に任意で設定したトレンチを掘削し、遺物の出土状況を観察しながらトレンチを拡幅することによって行った。

遺構実測図は縮尺1/10で作成した。図化作業は手実測と㈱CUBICの遺構実測支援システム「遺構くん」を併用した。写真撮影は6×9版モノクロ・リバーサルフィルム、35㎜モノクロ・リバーサルフィルム並びにデジタルカメラを併用し、適宜行った。

第2項　基本層序について

橋山第2遺跡は谷に挟まれた舌状の細尾根に立地し、調査箇所は尾根の付け根部分に該当する。現地形は調査区北東から南西方向へ向かって緩やかに下降傾斜しており、加えて調査区の北東部及び南西部を除く外周部が谷へ向かって傾斜する地形である。表土下の堆積も現地形と同様の傾斜が見られる。2次調査の基本的な層序は周辺に見られる一般的な堆積状況とほぼ同じである。縄文時代中期～後期を中心とする2層と、縄文時代早期を中心とする4～5層、旧石器時代を中心とする6～10層において遺物を確認している。

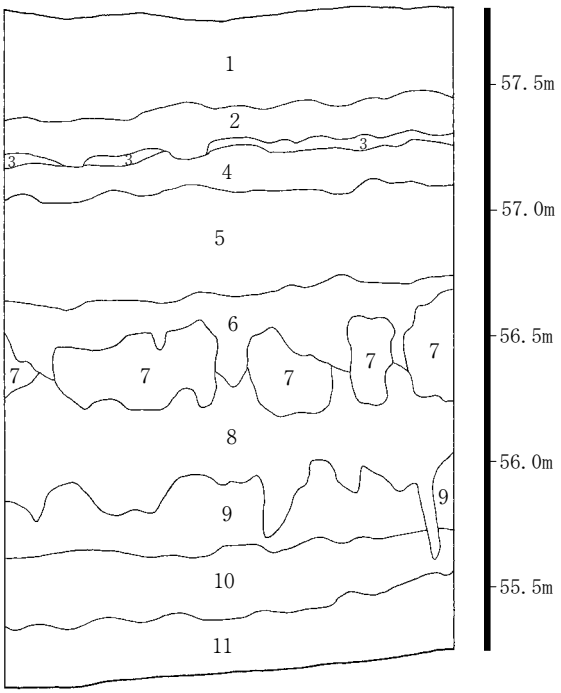
第2節　旧石器時代の調査

第1項　出土層位と遺物分布について

基本土層6層～10層にかけて旧石器時代の遺物が出土した。調査区の東端と北東端に設定したトレンチでは遺物の集中域が確認されている。東端の集中域をＡブロック、北東端の集中域をＢブロックとして報告を行う。

第2項　Ａブロックの調査成果

基本土層7層から9層にかけて遺物が出土しているが、ここでは土層の堆積状況が不良で10層の堆積がみられなかった。なお、最も遺物が集中して出土したのは9層である。設定したトレンチの南西端に概ね5m×4mの範囲で遺物が出土している。その北東側にはSR21が9層上面より検出された。本石器ブロックは本来調査区外に広がっていただろう。出土層位にばらつきがあるものの、SR21が検出された9層を中心とする一つの石器ブロックと考えられ、本ブロックからはナイフ形石器（5～7）、剥片（8）、石核（9）が出土している。



図版1　橋山第2遺跡2次調査基本土層

基本土層（調査区北側壁面）
1：黒褐色（Hue10YR2/3）砂質ローム。締り弱い。
2：明褐色（Hue7.5YR5/8）砂質ローム。締り弱い。アカホヤ火山灰の2次堆積か。
3：橙色（Hue7.5YR6/8）砂質ローム。締り弱い。アカホヤ火山灰。
4：にぶい黄褐色（Hue10YR5/4）砂質ローム。締り強い。牛のすね火山灰。
5：褐色（Hue7.5YR4/4）ローム。締り弱い。
6：明褐色（Hue7.5YR5/6）ローム。締り弱い。霧島小林軽石を含む。
7：褐色（Hue10YR4/6）ローム。締り強い。霧島小林軽石を多量に含む。
8：明黄褐色（Hue10YR6/6）ローム。締り強い。9層のブロックを少量含む。
9：黄褐色（Hue10YR5/8）砂質ローム。締り弱い。炭化物粒を少し含む。
10：黄褐色（Hue10YR5/6）砂質ローム。締り弱い。炭化物粒を少し含む。
11：明黄褐色（Hue10YR6/8）砂質土。締り弱い。シラスの2次堆積か。

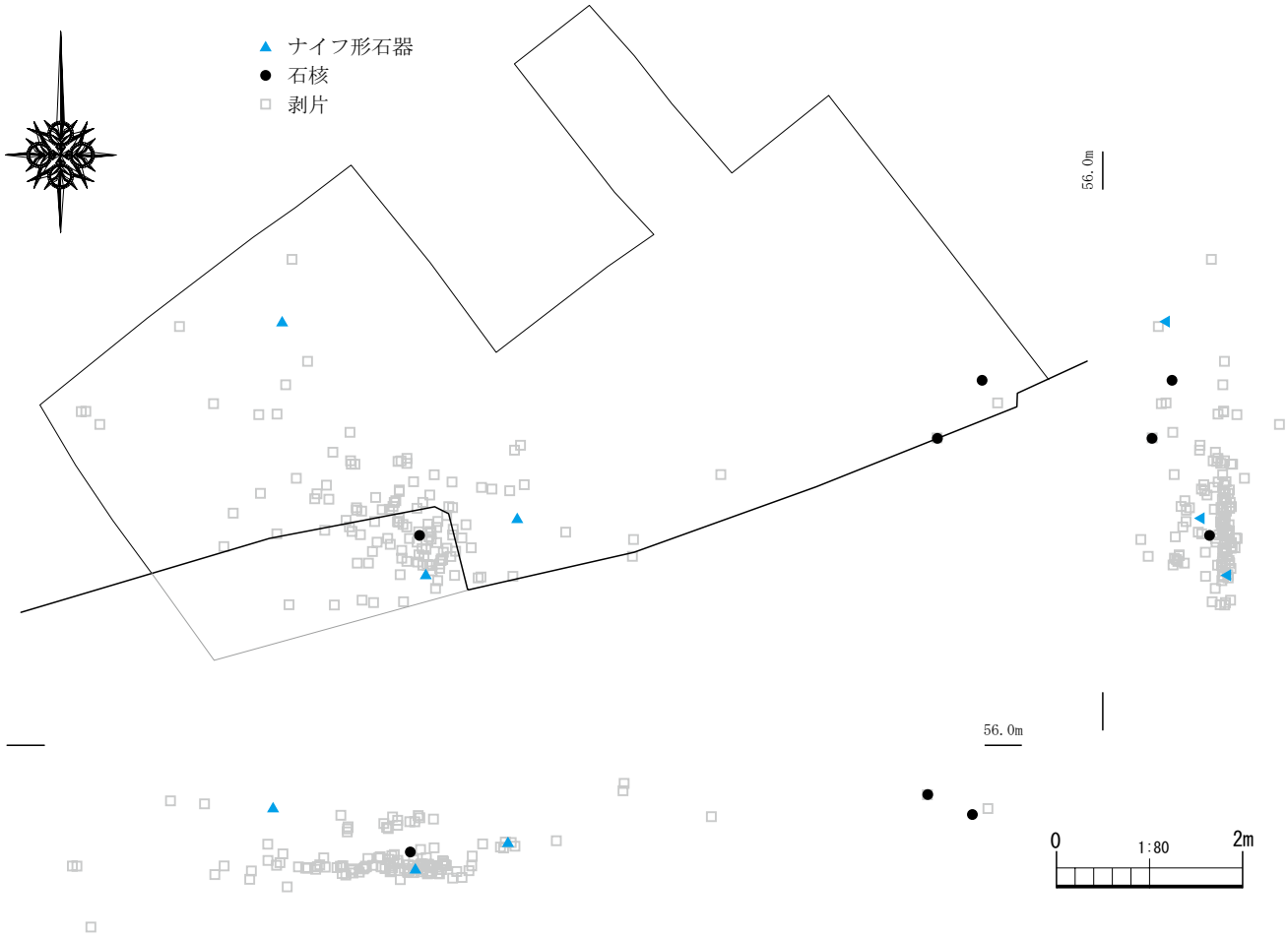
第4図　橋山第2遺跡2次調査基本土層図（S=1/30）

SR21は2.05m×1.3mの範囲で礫が広がっているが、重なり合っている状況は見られない。礫の個数は46個で、総重量は6.2kgを量る。礫の間に剥片2点（1・2）、石核1点（3）、敲石1点（4）が出土している。

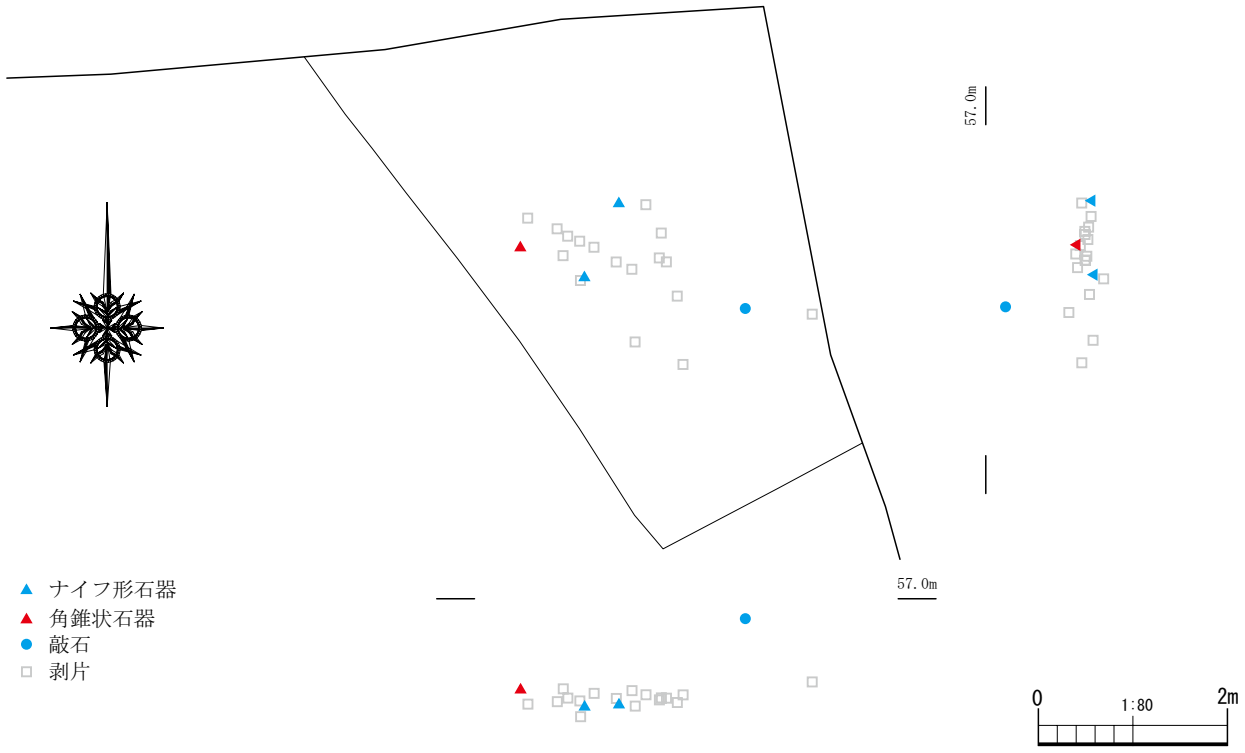
1は頁岩製の縦長剥片で、自然面を大きく残す。背面左側には縦裂け現象がみられ、下部は欠損している。2はチャート製の不定形な斜め剥ぎの剥片で下部に自然面を有す。3はチャート製の厚手の剥片を素材とする石核で剥片の下部に打面調整を行い、剥片剥離を行っている。4は砂岩製の敲石で、重量は1133.2ｇあり石核調整や剥片剥離に使用したものと考えられる。

5～7は頁岩製のナイフ形石器である。6は既存の分類では狸谷型に分類される。5はナイフ形石器の先端部の破片で、おそらく狸谷型のものであろう。7は不定形な横長の剥片を素材とするナイフ形石器で、素材の打面側に粗い刃潰し加工を施している。8は流紋岩製の剥片である。9は流紋岩製の石核で作業面を転回しながら剥片剥離を行っていた様子がうかがえる。

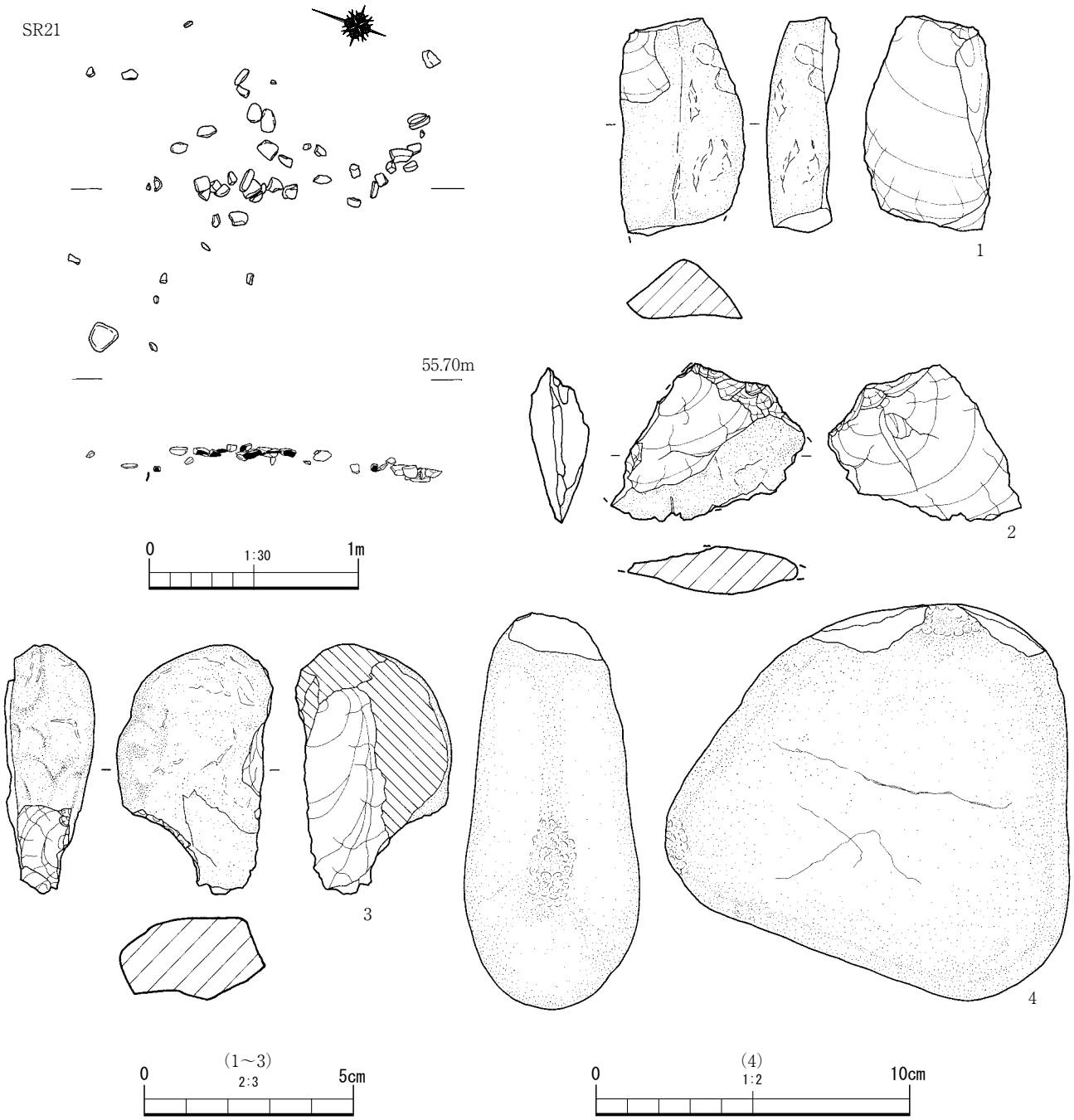
第5図　橋山第2遺跡2次調査旧石器時代遺物包含層（6～9層）出土石器分布図（S=1/500）



第6図　旧石器時代Aブロック出土石器分布図（S=1/80）



第7図　旧石器時代Bブロック出土石器分布図（S=1/80）



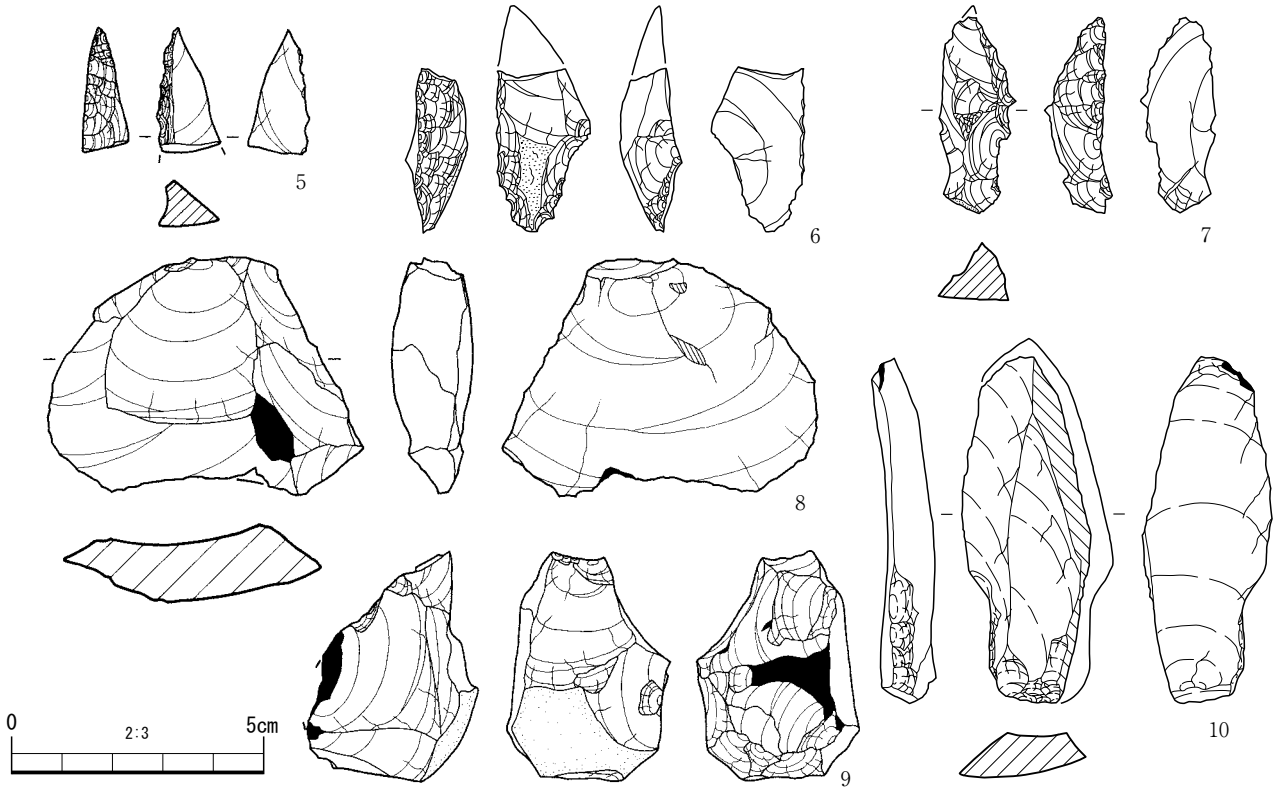
第8図　旧石器時代礫群（SR21）実測図（S=1/30）**及び出土石器実測図**（S=2/3・1/2）

第3項　Bブロックの調査成果

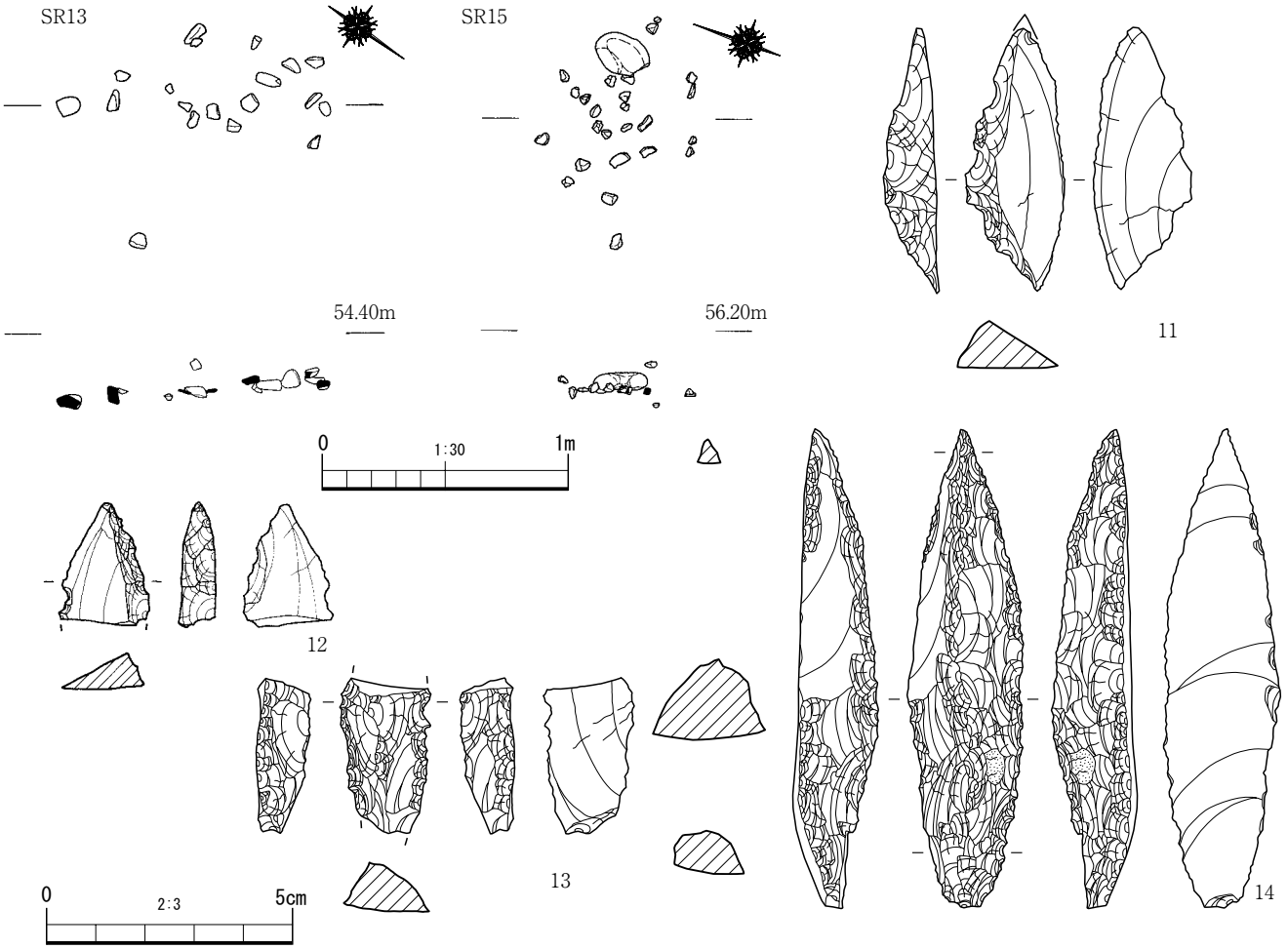
基本土層6層～8層にかけて遺物が出土しているが、6層中のものは敲石1点だけであり、これについては本ブロックに伴わない可能性が考えられる。設定したトレンチの概ね中央部分に3m×2mの範囲でナイフ形石器（11・12）、角錐状石器（13）、剥片が出土しており、その北側にSR15が8層より検出されている。

SR15は1m×0.75mの範囲で礫が検出されており、東端部分には25cm程の扁平な礫があった。礫は重なり合っているような状況ではなかった。礫の個数は26個で、総重量は4.6kgを量る。

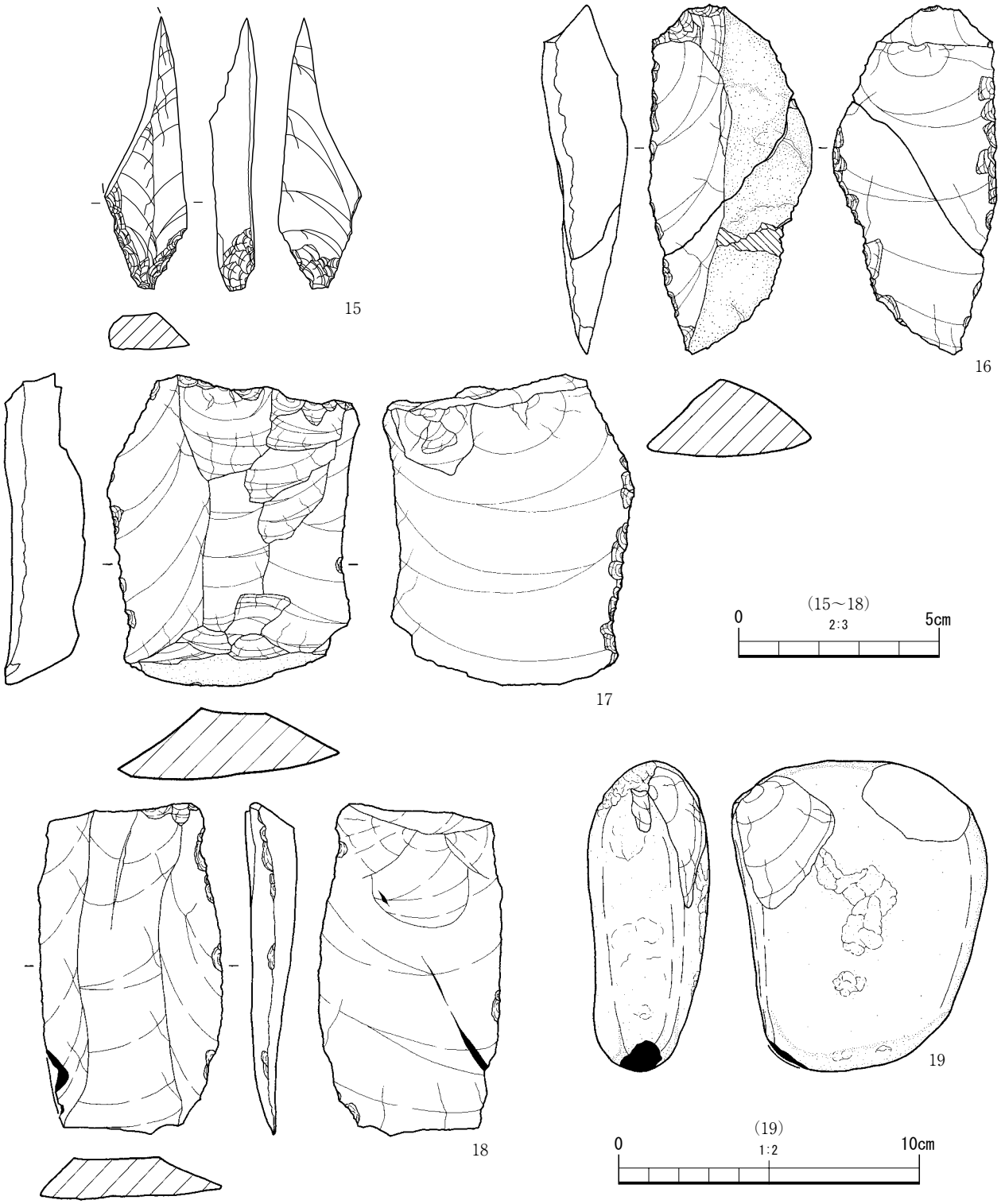
11・12は横長剥片を素材とするナイフ形石器で既存の分類で国府型ナイフ形石器に分類される。11は頁岩製、12は流紋岩製で、両者ともに翼状剥片の背面を完全に除去している。13は流



第9図　Aブロック及び旧石器時代遺物包含層（9層）出土石器実測図（S=2/3）



第10図　旧石器時代礫群（SR13・15）実測図（S=1/30）**及びBブロック・遺物包含層（8層）出土石器実測図**（S=2/3）



第11図　旧石器時代遺物包含層（6～7層）出土石器実測図（S=2/3・1/2）

紋岩製の横長剥片を素材とする2面加工の角錐状石器で、上部と下部が欠損している。

第4項　ブロック外の遺物と礫群について

本遺跡からは前述の2つのブロックのほかに集中域を伴わないが基本土層6層～9層にかけて礫群（SR13）、や遺物（10・14～19）が出土しているのでここでまとめて報告を行う。

SR13は調査区中央よりやや北東側に設定したトレンチにおいて8層中より検出された。分布

図上で周囲から出土している石器は、すべて7層中から出土しているもので本遺構とは明らかに高低差があり、同時期のものとは考えられない。1.1m×0.6mの範囲で礫が検出されているが、重なっているような状況は見られなかった。礫の個数は19個で、総重量は3.3kgを量る。

10は調査区中央部のトレンチで9層から出土しているホルンフェルス製の剥片尖頭器である。節理によって先端部から背面右側縁部が剥がれてしまっている。14はBブロックの南西側に設定したトレンチで8層中から出土した2面加工の角錐状石器である。幅広の縦長剥片か斜め剥ぎの剥片を素材とするものであるが、打面部を残すことを避けて作られているのではっきりとは判別できない。稜上調整は先端部から基部にまで施されているが、背面左側縁部には加工を施していない部分がある。本資料は完存品の良好な資料だが、基部の反りが着柄の状況を想定すると気になるところである。15・16は7層から出土した頁岩製のもので色調からは同一母岩の可能性がある。15はSR13の検出されたトレンチの東側に設定されたトレンチから出土したもので、縦長剥片を素材とするナイフ形石器である。先端部から背面左側縁部にかけて欠損しており、判別が難しいが基部加工のものと考えられる。素材剥片の打面部分には平坦剥離が行われている。16は縦長剥片を素材とするスクレイパーで両側縁に二次加工がみられる。SR13と同じトレンチから出土しているが、前述の通り、SR13よりも新しい時期のものと考えられる。

17～19は6層から出土した遺物である。本調査区においては6層から出土した遺物は少なく、出土層位からは縄文時代のものか旧石器時代のものか判別が難しい。後述する第3遺跡2地区では本調査区の6層と対比できる層から旧石器時代の遺物と考えられる資料が出土しているので、本調査区のものもここで報告する。17は幅広の縦長剥片を素材とするスクレイパーである。腹面右側縁部に二次加工がみられる。18はホルンフェルス製の縦長剥片である。背面側には縦長剥片を連続して生産した痕跡が確認される。19は尾鈴山酸性岩製の敲石である。側面上部と正面の平坦部に敲打痕がみられる。

第1表　橋山第2遺跡2次　旧石器時代礫群及び遺物包含層（6～9層）出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （グリッド・層・番号）	器種	石材	長さ （cm）	幅 （cm）	厚さ （cm）	重量 （g）	備考	実測 番号
p.11 第8図	1	SR21 1139	剥片	頁岩	(5.15)	2.95	1.75	(26.30)	下部欠損	96
	2	SR21 1075	剥片	チャート	4.30	(4.60)	1.30	(16.00)	側縁部欠損	65
	3	SR21 1060	石核	チャート	6.00	3.70	2.20	56.10		66
	4	SR21 1061	敲石	砂岩	12.90	12.60	5.60	1133.20		67
p.12 第9図	5	10G 9層 917	ナイフ形石器	頁岩	(2.45)	1.25	0.90	(1.60)	先端部破片	101
	6	10G 8層 810	ナイフ形石器	頁岩	(3.20)	1.80	1.20	(6.20)	先端部欠損	105
	7	10G 7層 973	ナイフ形石器	頁岩	(3.85)	1.50	1.30	(4.40)	先端部欠損	104
	8	10G 9層 773	剥片	流紋岩	4.70	6.30	1.70	28.30		68
	9	10G 9層 774	石核	流紋岩	4.50	3.30	(3.40)	(44.30)	一部ガジリ有	70
	10	12G 9層 1007	剥片尖頭器	ホルンフェルス	(6.80)	(2.50)	(1.00)	(16.80)	先端～右側縁部欠損	64
p.12 第10図	11	1G 8層 563	ナイフ形石器	頁岩	(5.40)	2.00	0.90	(5.50)	先端部欠損 刃縁部一部欠損	97
	12	1G 8層 701	ナイフ形石器	流紋岩	(2.50)	1.85	0.75	(2.20)	基部欠損	102
	13	1G 8層 700	角錐状石器	流紋岩	(3.15)	1.80	1.05	(5.10)	先端部・基部欠損	100
	14	1G 8層 511	角錐状石器	頁岩	9.70	2.30	1.70	32.30		95
p.13 第11図	15	9G 7層 690	ナイフ形石器	頁岩	(6.80)	(2.10)	1.20	(9.90)	基部加工 左側縁～先端部欠損	63
	16	7層 533	スクレイパー	頁岩	8.70	4.10	2.20	53.70		98
	17	8G 6層 520	スクレイパー	頁岩	7.70	6.30	2.00	95.30		103
	18	12G 6層 955	剥片	ホルンフェルス	8.20	4.65	1.35	62.20		99
	19	6層 586	敲石	尾鈴山酸性岩	10.30	8.50	4.00	439.70	磨石兼用	69

（ ）の値は残存法量を示す

第3節　縄文時代早期の調査

第1項　遺構について

集石遺構

集石遺構は基本土層5層から20基を検出した。そのうち遺跡の立地する尾根頂部に19基が分布する。集石遺構の調査方法として、散礫を検出後、焼礫が集中する範囲、もしくは掘り込みのプランが確認できるまで面で掘削した。確認後、上位の埋土を除去し、写真撮影を行った。検出時に明確にプランが確認できるものは少なく、判断がつかないものは土層確認トレンチを設定し、掘り込みの有無を判断した。複数の集石遺構から炭化物が出土しており、一部については放射性炭素年代測定を実施した。2次調査で検出された集石遺構は掘り込みをもたないものが大半を占めている。1次調査においても集石遺構は掘り込みを持たないものが多く、同じ傾向を示している。また､4層～5層の掘削に伴い多量の礫が出土した。これらはトータルステーションで座標位置を記録している。礫の分布を見ると、調査区南東側が希薄であるが、それ以外からは万遍なく分布している。調査区北東側は奥に行くほど礫の分布が密集しており、調査区外からも集石遺構が検出されることが想定される。調査区西側も礫がある程度分布するが、SI7しか集石遺構が検出されていない。構成礫の大半は砂岩製で被熱により赤色化していた。

以下に特徴的な集石遺構について所見を報告する。

SI7は5層上面で検出した。断面軸に沿って土層確認トレンチを設定したが、掘り込みは確認できなかった。唯一調査区の北西側から検出されている。大振りな扁平礫が横になった状態で配置されている。

SI8は掘り込みは確認できていない。礫が中央に集中するものの全体的に疎らに配置されている。南側の礫は中央部と比べレベル差が存在するため、SI8の構成外である可能性がある。

SI9は基本土層2層上位からの攪乱掘削中に5層上位で検出した。遺構検出時と礫の除去後に精査を行ったが、掘り込みは確認できなかった。西側を攪乱に切られており、遺構上面が削平を受けている。そのため、もともとは東側と同じレベルまで礫が存在していたと想定される。

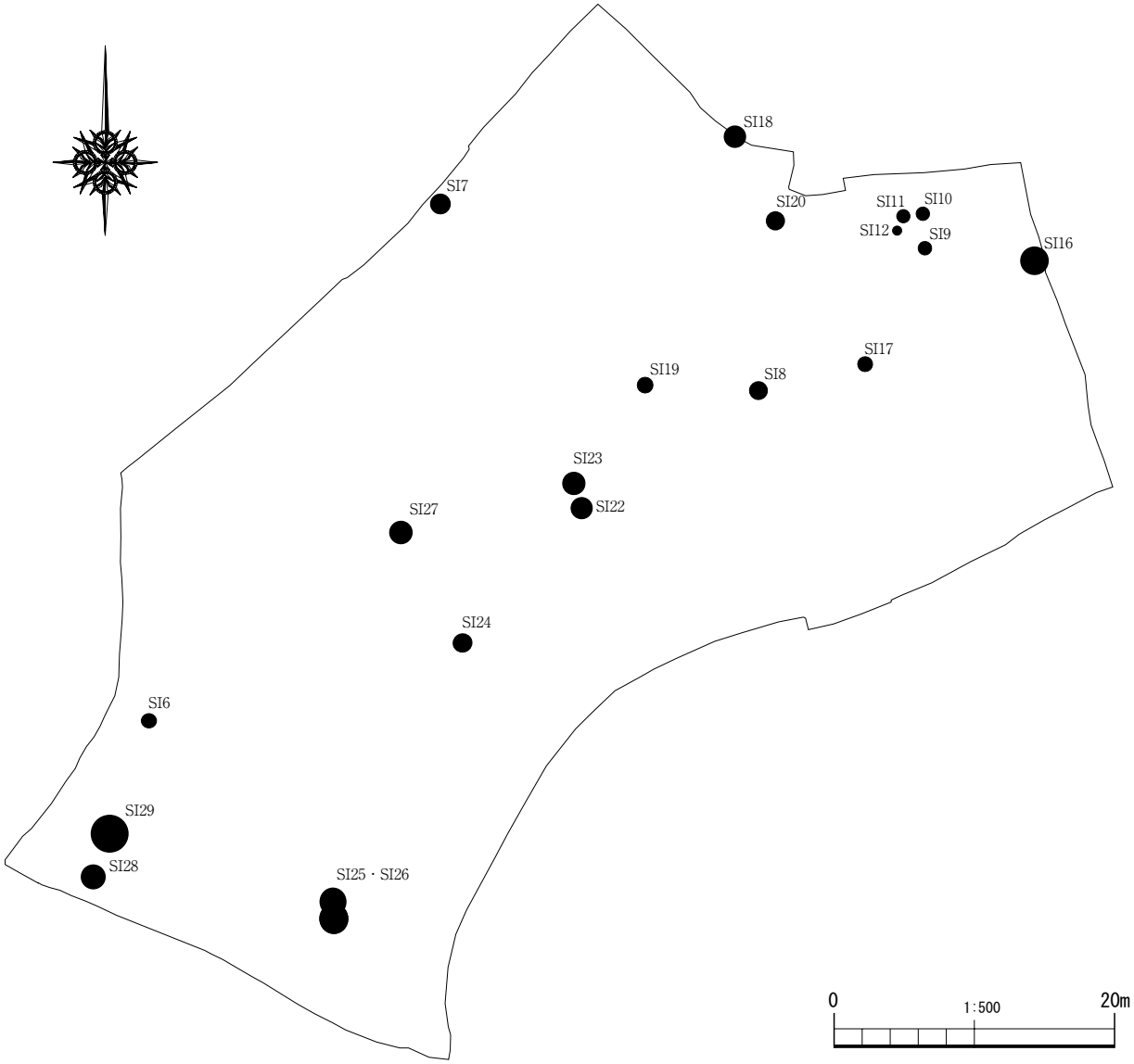
SI10は断面がレンズ状の掘り込みを有する。指頭大以下の礫が疎らに配置されている。埋土は地山より僅かに黒ずんでいたが、遺構の上部を包含層の一部として掘削してしまったため、本来の使用面は少なくとも礫の上部より上のレベルだと推定される。出土遺物は砂岩製敲石(20)、頁岩製剥片が出土している。

SI11は断面軸にそって土層確認トレンチを設定したが、掘り込みを確認できていない。大振りな礫が地山に沿って配置されている。砂岩製敲石（21)、頁岩製剥片3点が出土している。

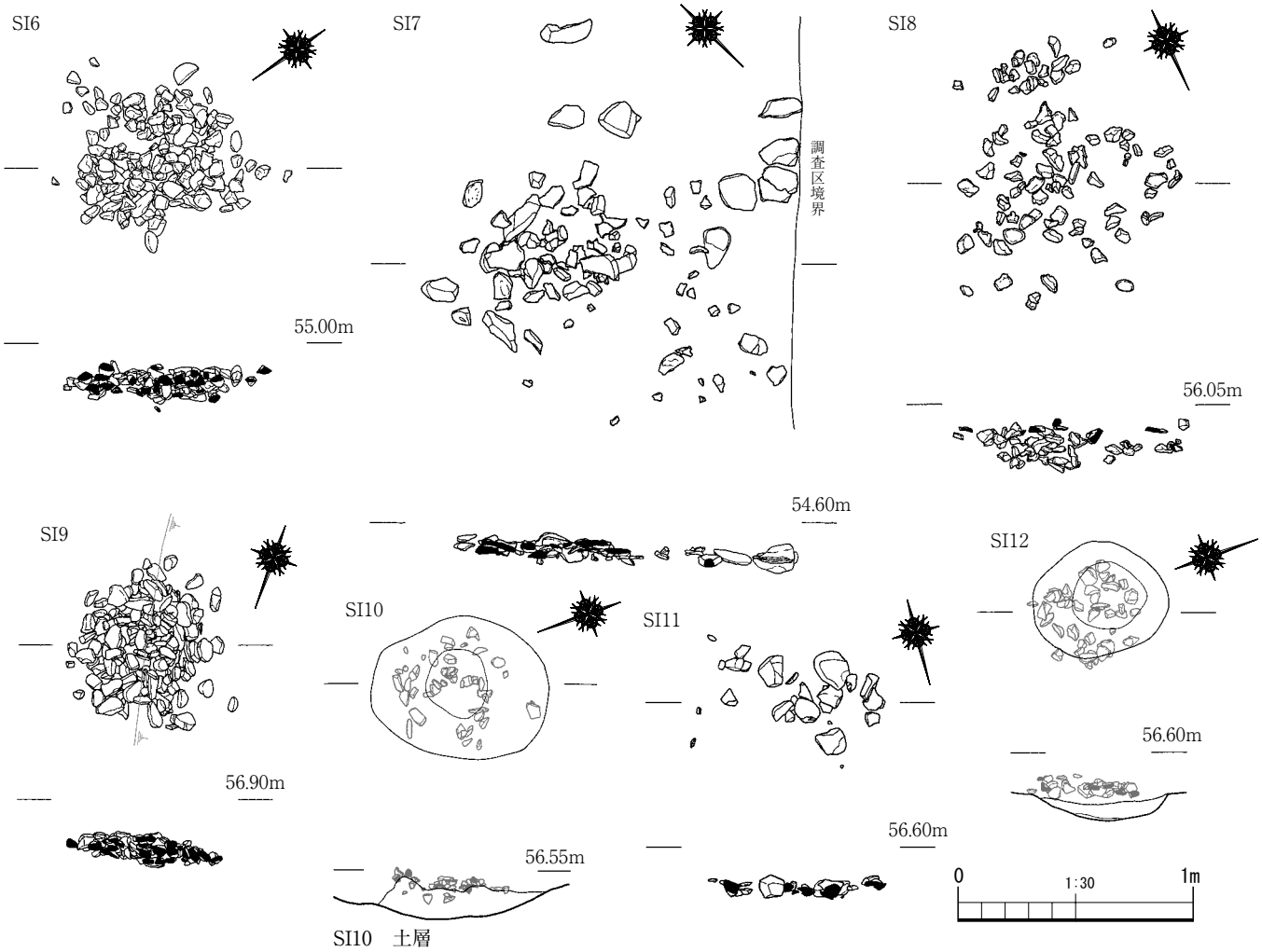
SI16は5層で検出した。礫が楕円形に分布し、密集する箇所が2箇所存在する。掘り込みも北側が少し深く南側と段差が存在するため、2基が切り合う可能性を想定し、土層断面で埋土の立ち上がりがないか確認したが、立ち上がりを示すような土層は確認されなかった。

SI18は調査区境界で出土しており、1m北側は谷の斜面である。礫自体も谷側へ傾斜するよう配置されており、自然地形を利用して構築されたと推定される。

SI19は掘り込みは確認できていない。大半が指頭大の礫で構成されている。SI22・23のように集石遺構下部において指頭大の礫が疎らに検出されることが多いため、SI19は何らかの理由



第12図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代早期（4～5層）遺構配置図（S＝1/500）



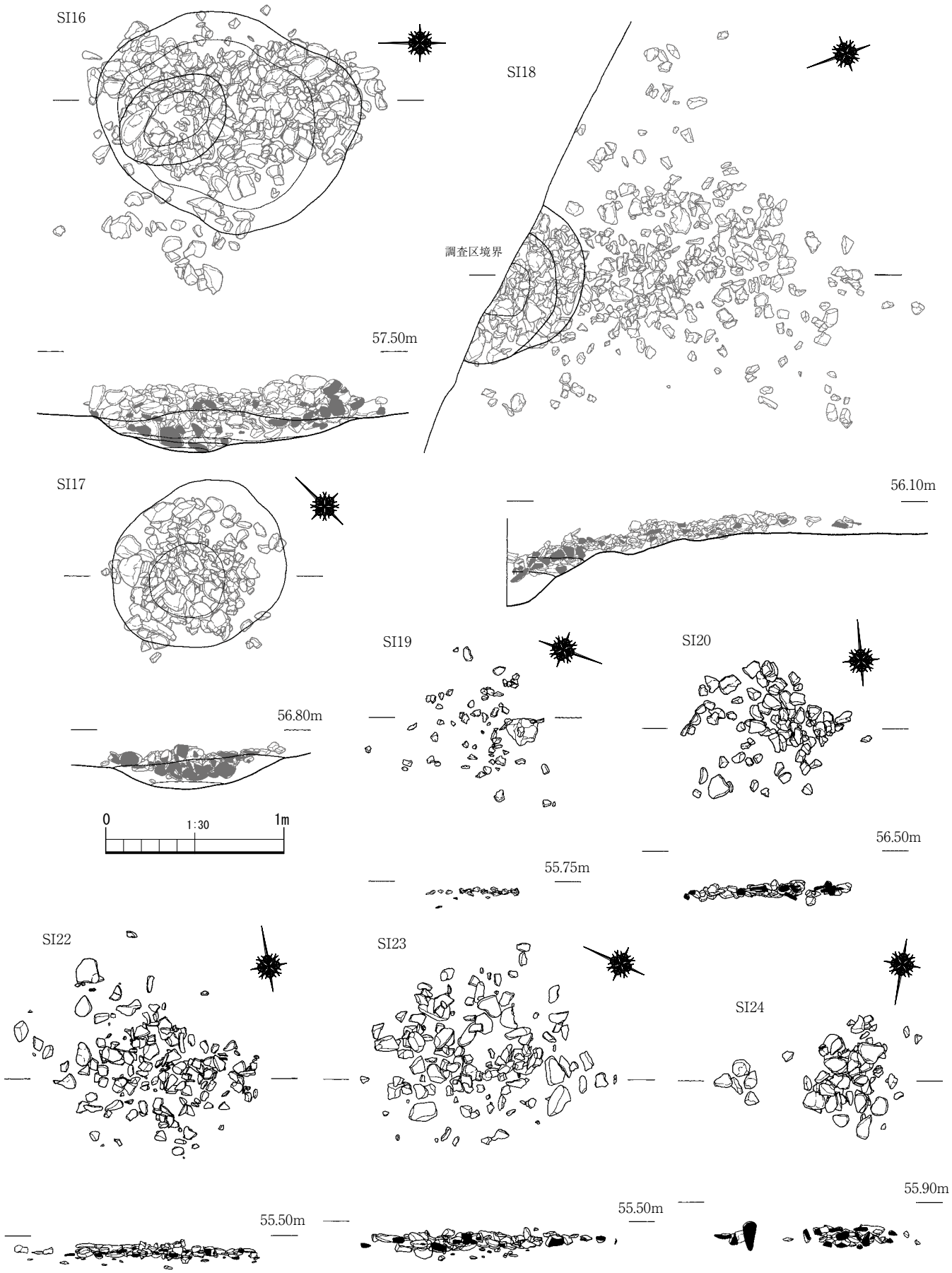
第13図　縄文時代早期集石遺構実測図①（S=1/30）

で上部礫が移動している可能性が想定される。

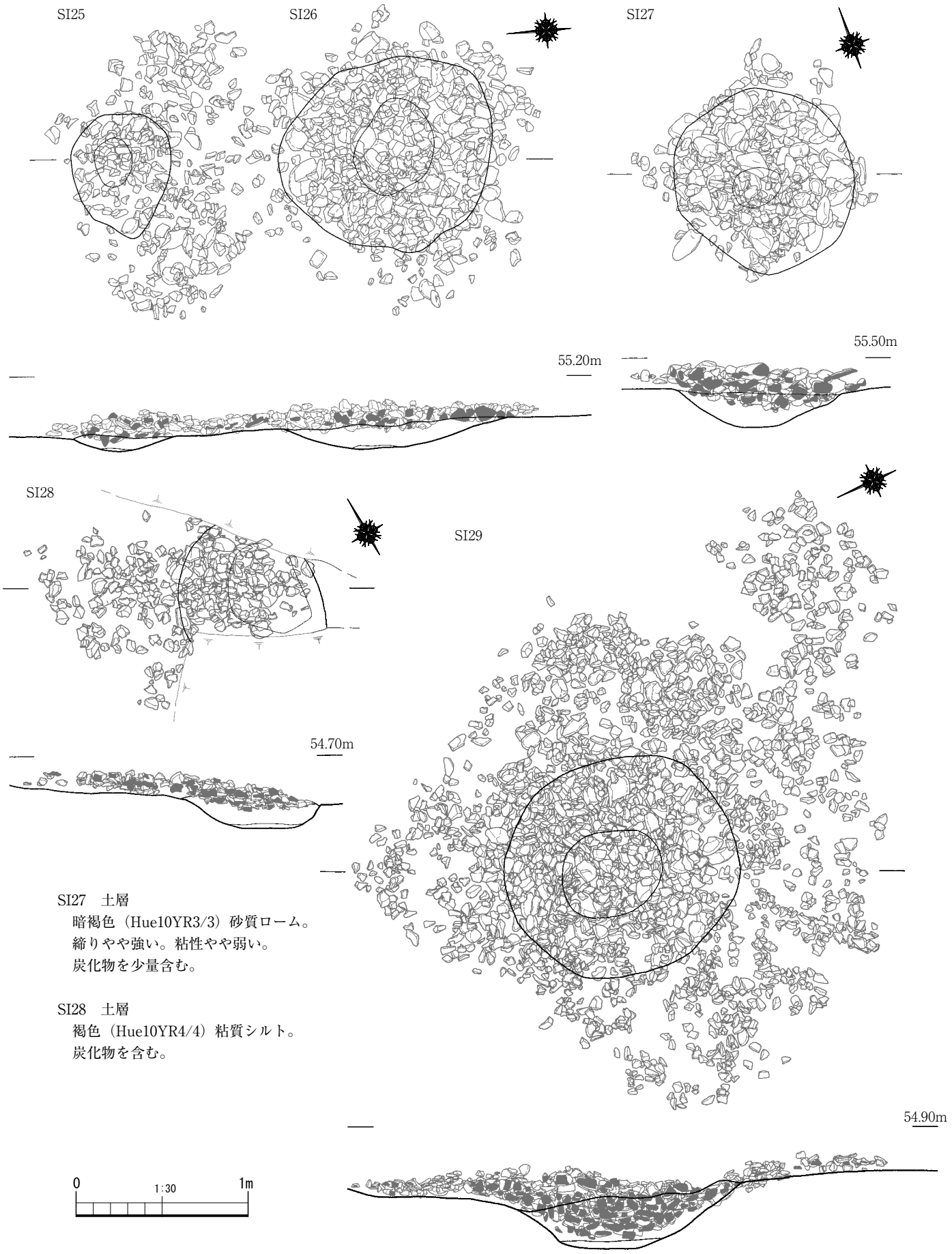
SI25・26は両遺構とも断面がレンズ状の掘り込みを有する。両遺構の掘り込みの間に平坦面があり、礫が疎らに分布している。SI25はSI26と接する部分がこの箇所にあたり、礫の範囲も接する部分がえぐられたように凹んでいる。SI26は礫が断面に沿わず、直線的に出土している。炭化物は補正年代で7630±25年BPの測定値が得られた。

SI27は5層上面で検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。礫が断面形に沿わず、直線的に出土している。礫と掘り込みの間から炭化物片が多く出土した。炭化物は補正年代で7630±25年BPの測定値が得られた。

SI29は断面がボウル状の掘り込みを有し、礫の範囲が直径3mを超える集石遺構であり、過去の調査も含め、橋山遺跡群では最大規模のものである。ただし礫の範囲と比べ、掘り込みは小さく直径1m以下である。掘り込みの内部も礫が密集して充填されており、周囲の礫がもともと掘り込みの中に充填されたとは考えづらい。遺構の北側は検出面から少し下がって礫が出土しており、稜線が引けることから、もともとは二段掘りの掘り込みであったことが想定されるが、平面及び土層断面では掘り込みの有無は確認できなかった。出土遺物は型式不明土器が出土している。炭化物は補正年代で8400±30年BPの測定値が得られた。1次調査で分析が行われた20号集石は補正年代で8370±50年BPであり、同時期の遺構と推定される。



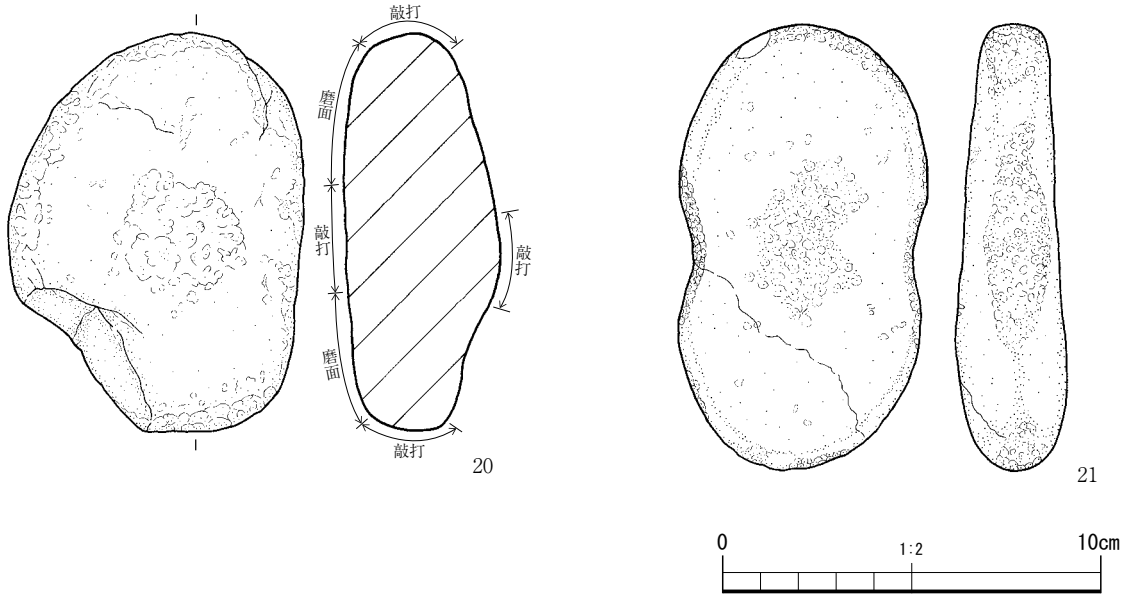
第14図　縄文時代早期集石遺構実測図②（S=1/30）



SI27　土層
暗褐色（Hue10YR3/3）砂質ローム。
締りやや強い。粘性やや弱い。
炭化物を少量含む。

SI28　土層
褐色（Hue10YR4/4）粘質シルト。
炭化物を含む。

第15図　縄文時代早期集石遺構実測図③（S=1/30）



第16図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図（S=1/2）

第2表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期集石遺構計測表

掲載頁 挿図番号	遺構名	礫			掘り込み		底石		遺物の 有無	C14 測定値 （年BP）	備考
		範囲 （m）	総礫数	総重量 （kg）	規模 （m）	深さ （m）	構成礫	総重量 （kg）			
p.17	SI6	1.03×0.78	232	22.4	—	—	—	—	—		
	SI7	1.82×1.76	114	—	—	—	—	—	—		
	SI8	1.02×1.14	103	8.9	—	—	—	—	—		
	SI9	0.79×0.74	150+α	20.0+α	—	—	—	—	—		
	SI10	0.66×0.41	56	2.4	0.76×0.62	0.12	—	—	○		
	SI11	0.82×0.44	35	7.1	—	—	—	—	○		
	SI12	0.50×0.40	43	2.4	0.58×0.50	0.10	—	—	—		
p.18	SI16	2.06×1.54	599	130.8	1.60×1.25	0.24	—	—	—		
	SI17	1.06×0.83	251	40.8	0.98×0.95	0.17	—	—	—		
	SI18	2.62+α×2.13	519	85.6	0.43+α×0.98	0.18+α	—	—	—		
	SI19	1.12×0.75	71	3.8	—	—	—	—	—		
	SI20	1.08×0.76	95	12.1	—	—	—	—	—		
	SI22	1.42×0.99	211	12.8	—	—	—	—	—		
	SI23	1.45×0.92	170	23.1	—	—	—	—	—		
	SI24	1.03×0.70	91	14.9	—	—	—	—	—		
p.19	SI25	1.35×1.54	293	35.5	0.59×0.73	0.10	—	—	—		SI26と切り合う
	SI26	1.72×1.63	583	112.9	1.24×1.15	0.14	—	—	—	7630±25	SI25と切り合う
	SI27	1.47×1.34	621	133.6	1.06×1.08	0.20	—	—	—	7630±25	
	SI28	1.68×1.13+α	401	39.1	0.91×0.58+α	0.15	—	—	—		
	SI29	3.72×3.04	2692	341.6	1.38×1.29	0.33	—	—	—	8400±30	

第3表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期集石遺構出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （遺構・番号）	器種	石材	長さ （cm）	幅 （cm）	厚さ （cm）	重量 （g）	備考	実測 番号
p.20 第16図	20	SI10 537	敲石	砂岩	10.50	7.85	4.20	398.60	磨石兼用	52
	21	SI11 505	敲石	砂岩	11.80	6.60	3.00	305.40		53

（ ）の値は残存法量を示す

第2項　基本土層4層から5層出土土器について

4層～5層にかけて縄文時代早期の土器が出土している。調査区の西側から南側にかけて多く分布がみられる。既存の分類に基づいて以下に報告を行う。

22は前平式土器の底部片である。23～31は別府原式土器である。外面には浅い条痕文がみられ、内面は丁寧なナデ調整が行われている。23～25は口縁部片で、23は穿孔が、24には口縁部にキザミがみられる。26～30は胴部片で、28は外面の条痕が一部格子状にみえる。

32は下剥峯式土器の胴部片で、串状工具による刺突文が確認される。33は桑ノ丸式土器の胴部片で、縦方向の短沈線文がみられる。34～36は押型文土器である。いずれも縦から斜め方向に施文されている。34・36の文様は肥大しているような印象をうける。

37～42は塞ノ神Ａ式土器である。37～40は口縁部片で、口唇部にキザミがみられる。また37～39は2条の微隆帯があり、その上にもキザミが施されている。40は他と異なり、口唇部にむかって反り返るような形状となっている。41・42は頸部片でこちらも微隆帯上にキザミがみられる。43～49は早期末条痕文土器である。43～45は口縁部片で口唇部にキザミ、その下から浅い斜位の条痕が確認できる。また内面にも横位の条痕がみられる。46は窄まる底部片である。47～49は胴部片であり、綾杉状の条痕がみられる。

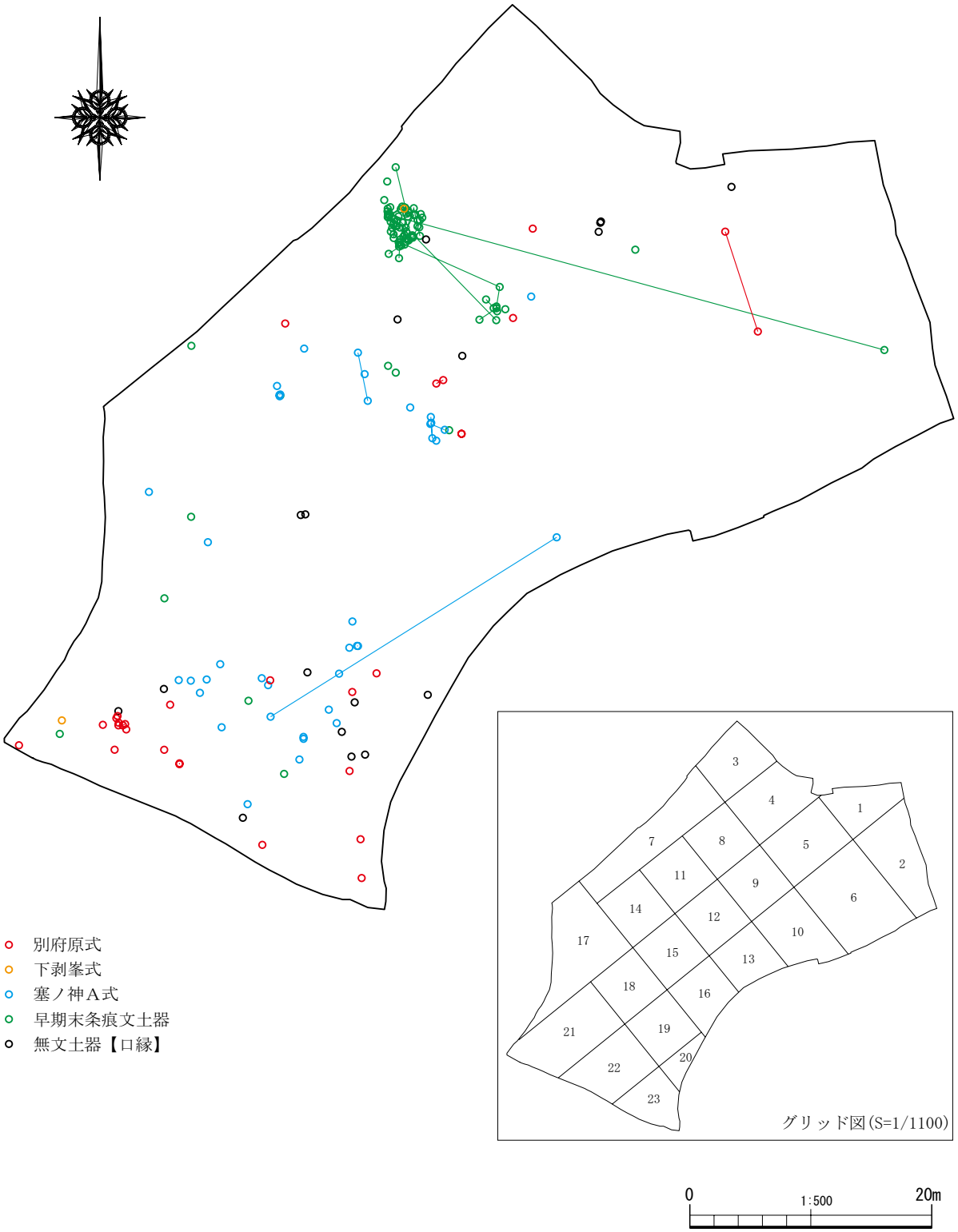
50・51は無文土器と分類したが、もしかすると塞ノ神式土器の壺の底部付近の破片の可能性も考えられる。

第3項　基本土層4層～5層出土石器について

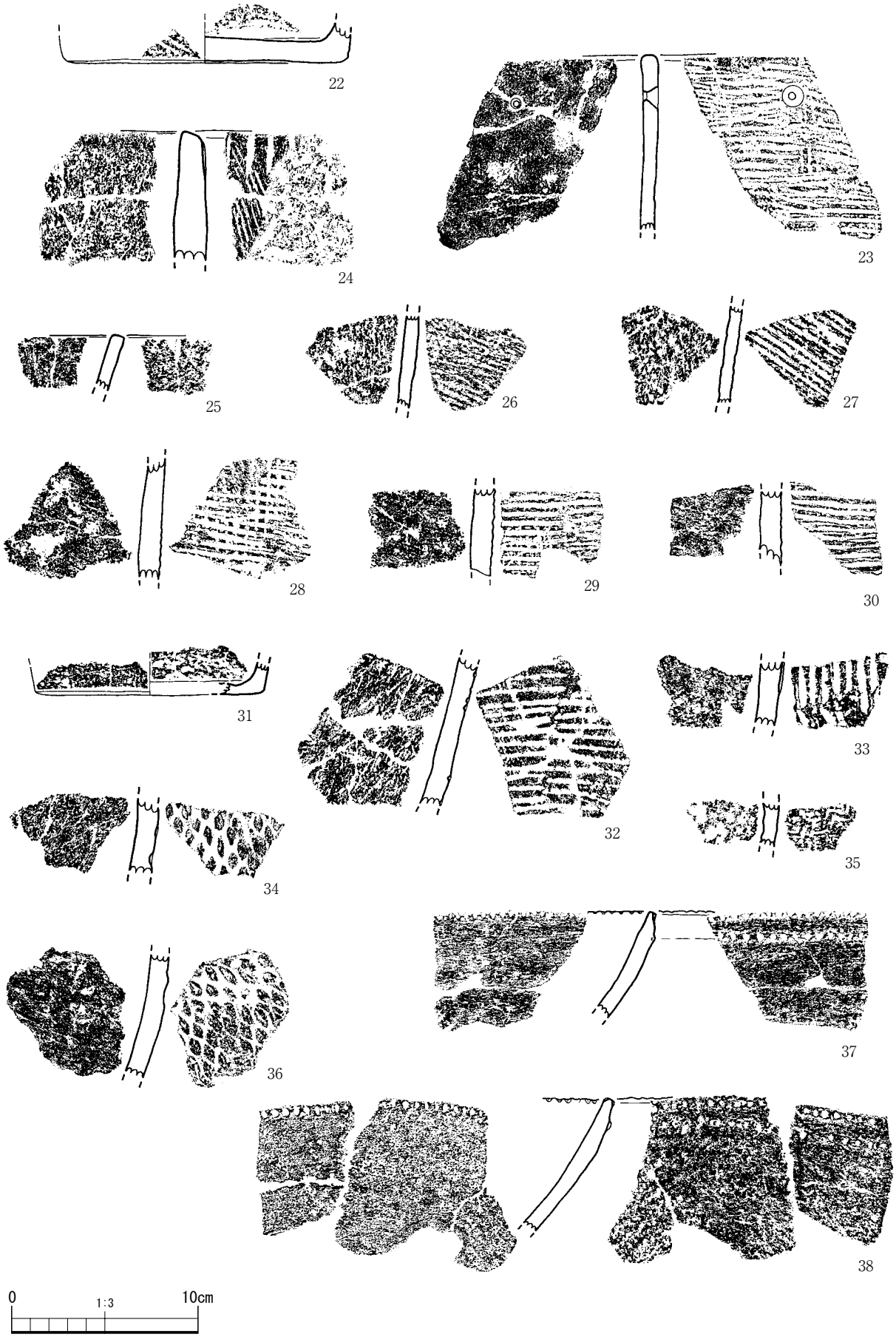
調査区の北東部と南西部に分布がやや固まる傾向がみられる。製品類を中心に報告を行う。その器種分類基準については第Ⅲ章第2節第3項に記載している。

52～59は石鏃である。欠損品も含め12点出土している。以下の4類に細分したが、この細分案は本調査区出土資料だけを対象とする。1類（52･53）は平基鏃で3点出土している。2類（54）はいわゆる鍬形鏃で1点のみの出土である。3類（55～58）は凹基鏃で4点出土している。脚部の先端が尖るものや丸く整えられているものとさらに細分が可能である。55は先端部付近で屈曲がみられる。57・58は安山岩製のものである。4類（59）は鋸歯状の縁辺を持つもので2点出土している。60は両面に自然面を有しており、加工も未熟のため未製品と考えられる。

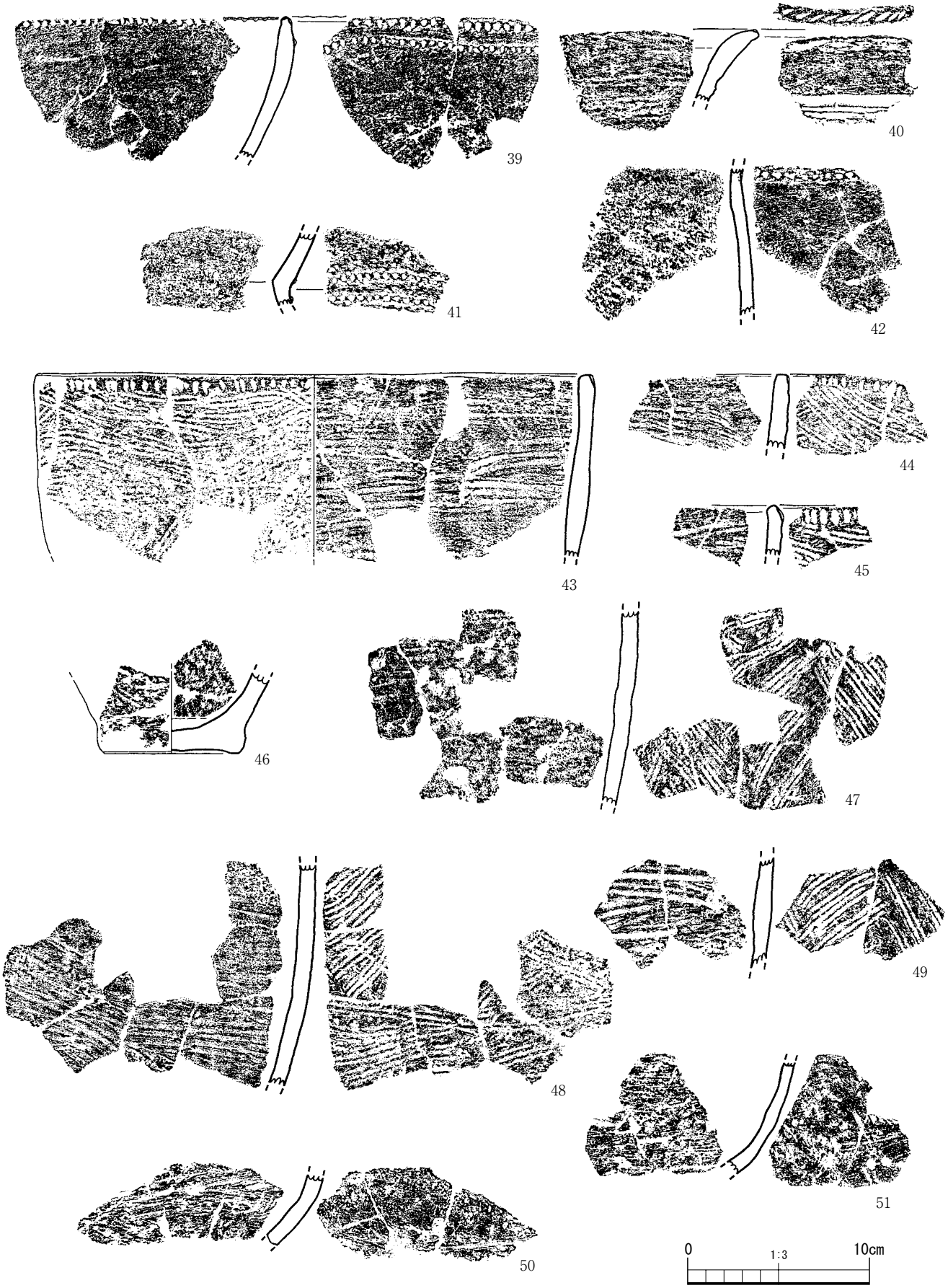
61は頁岩製の尖頭状石器である。両面に粗い調整を行って尖頭部を作り出している。62も両面に調整がみられるものあるが、下部を欠損していることもあって分類が難しく、ここでは両面調整剥片として報告しておく。本調査区からはこのほかに2点出土している。63・64はスクレイパーである。63は頁岩製で、64は緑色堆積岩製である。65～68は礫器で、全部で6点出土しており、砂岩ばかりが使用されている。66は扁平な礫を素材として、それ以外は自然面を有する大振りな剥片を素材としている。65・66には縁辺に敲打痕が確認される。69はホルンフェルス製の打製石斧基部の破片である。片面に自然面を大きく残している。70は尾鈴山酸性岩製の剥片で、下部を欠損している。71～75は敲石･磨石である。本調査区からは砂岩製のもの（72･73）が8点、尾鈴山酸性岩製のもの（74・75）が5点出土している。71は不整形な長楕円形の礫を使用するもので、上下の両端部に使用痕がみられる。73は敲石・磨石と両方の使用痕が確認



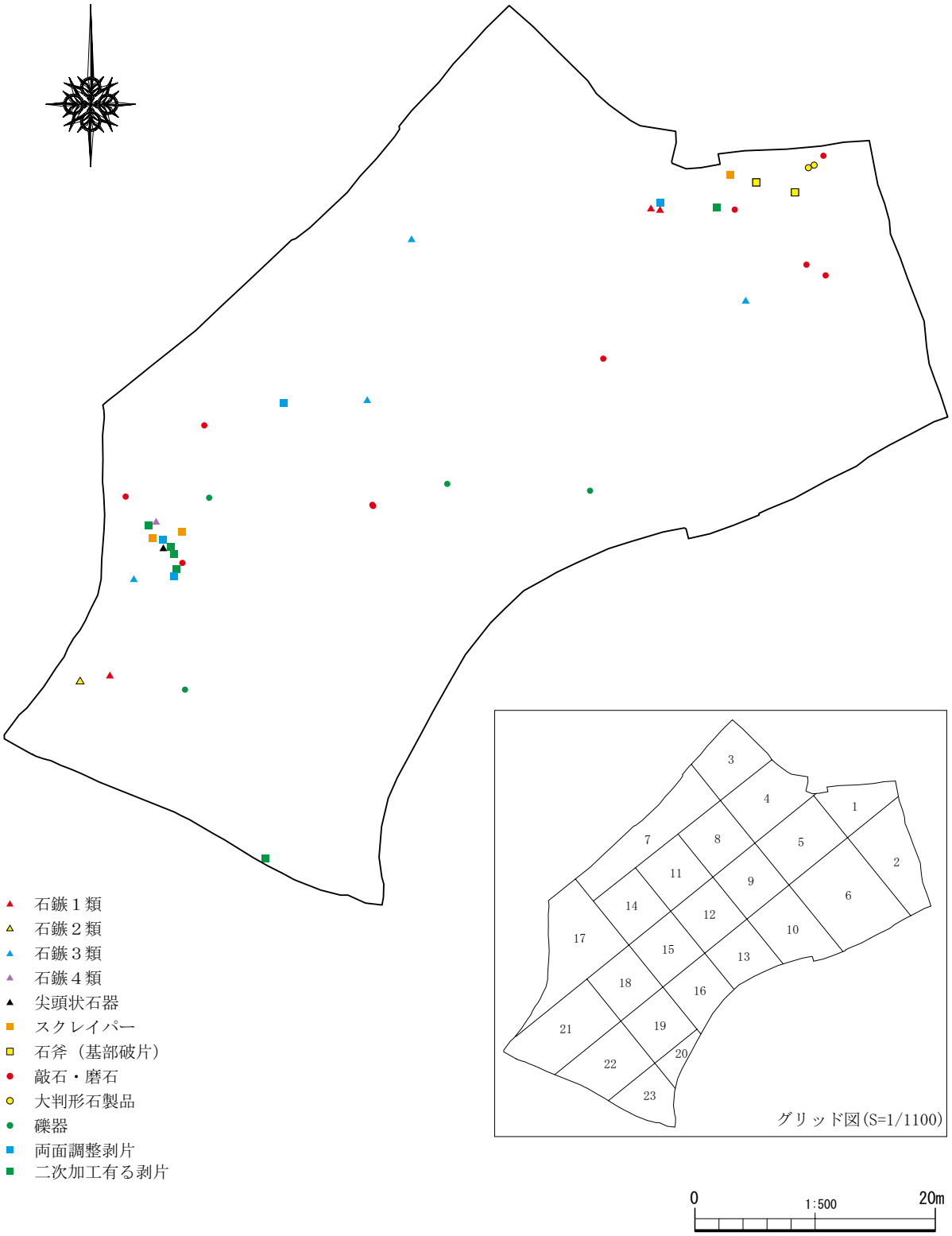
第17図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器分布図（S=1/500）



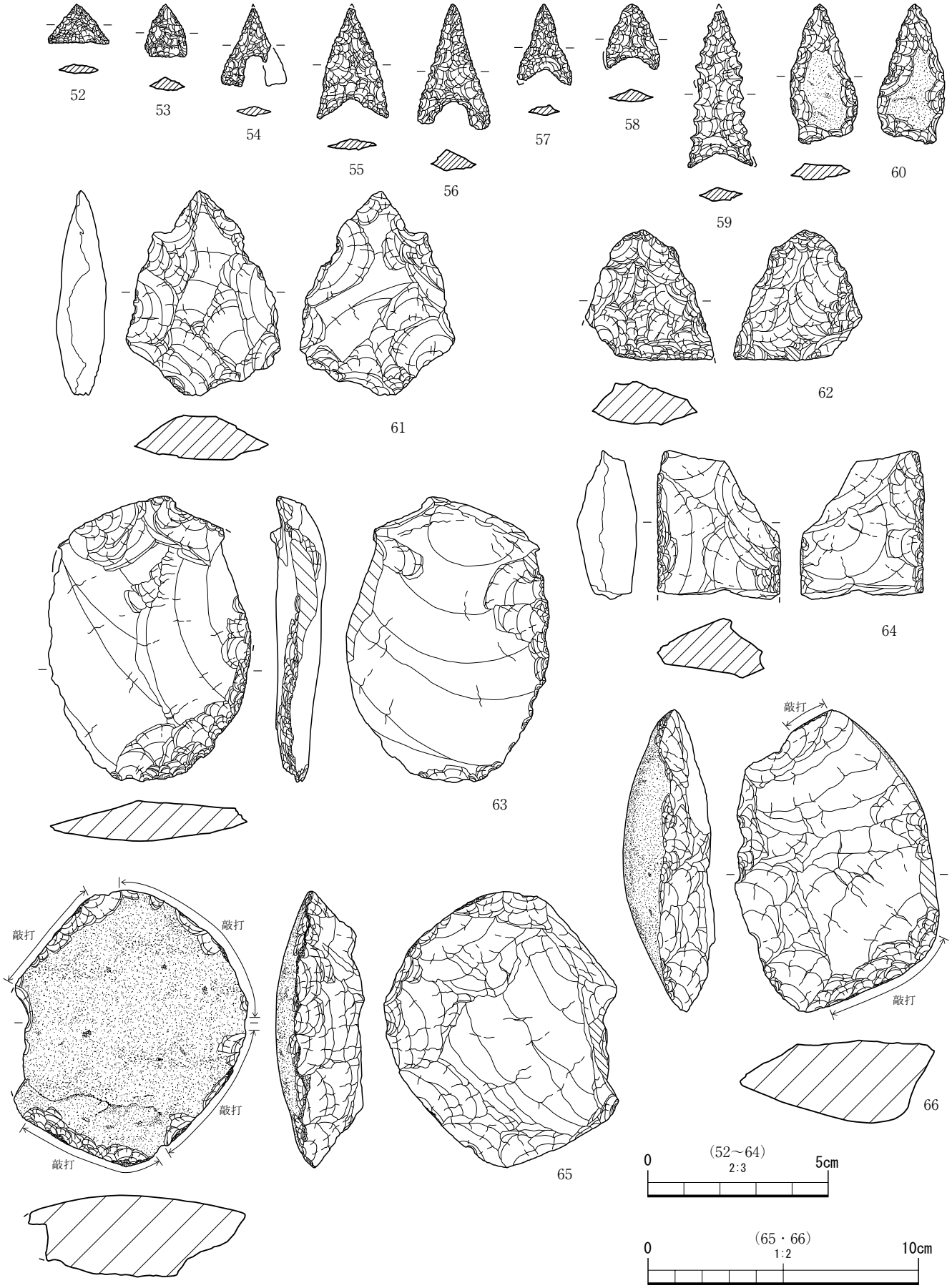
第18図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図①（S=1/3）



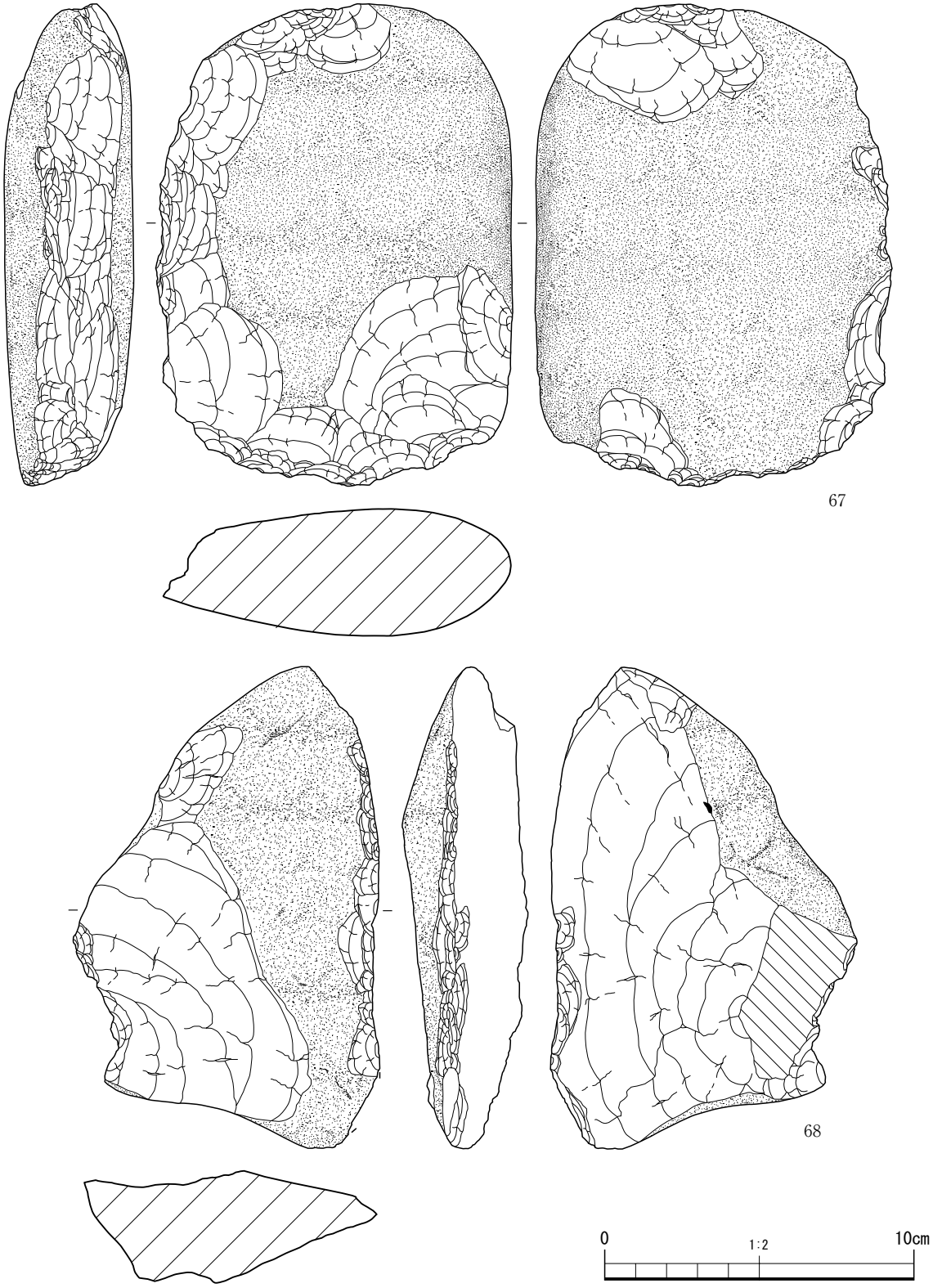
第19図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図②（S=1/3）



第20図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代早期遺物包含層（4 ～ 5層）出土主要石器分布図【器種別】（S=1/500）



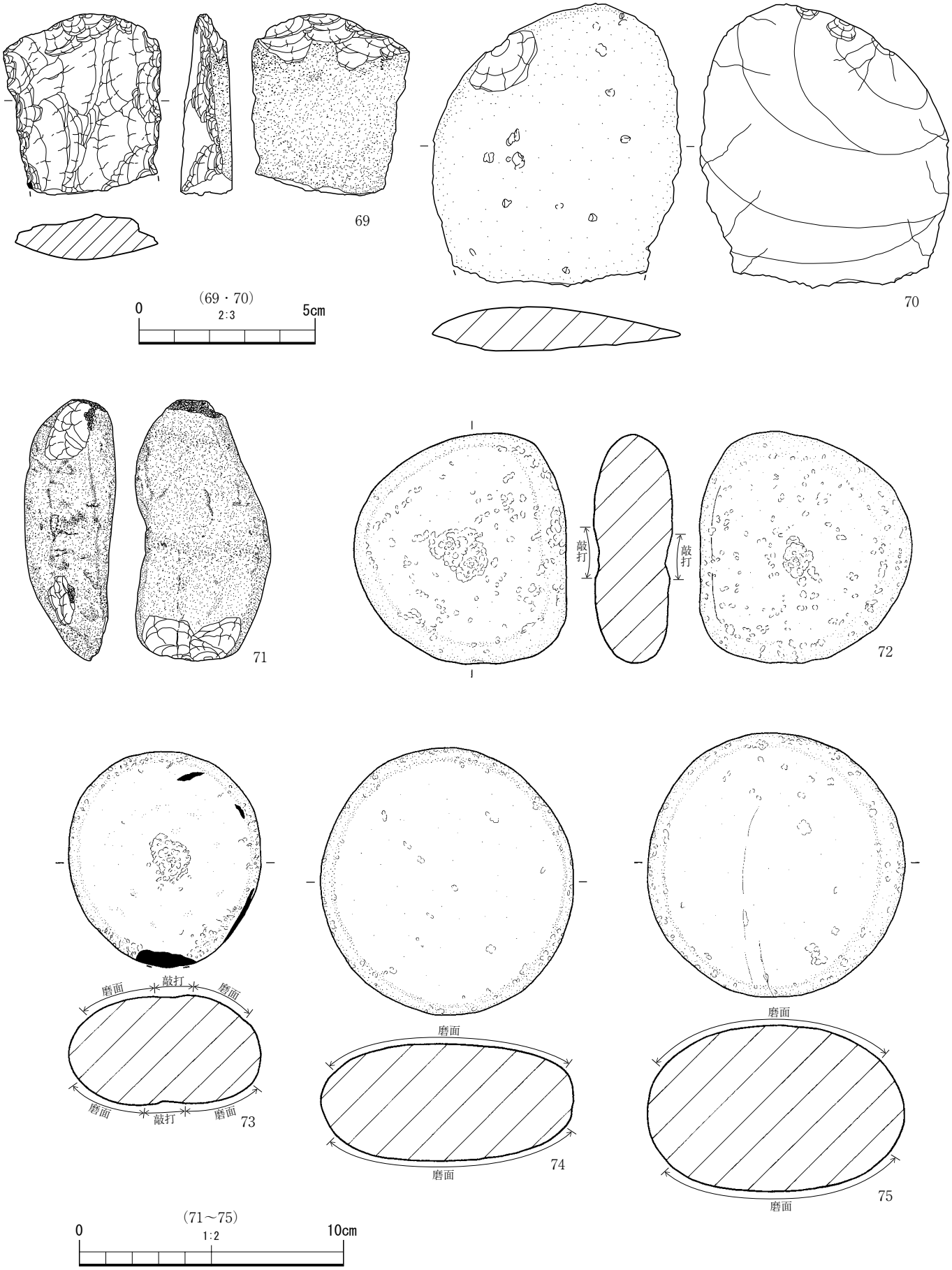
第21図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図①（S=2/3・1/2）



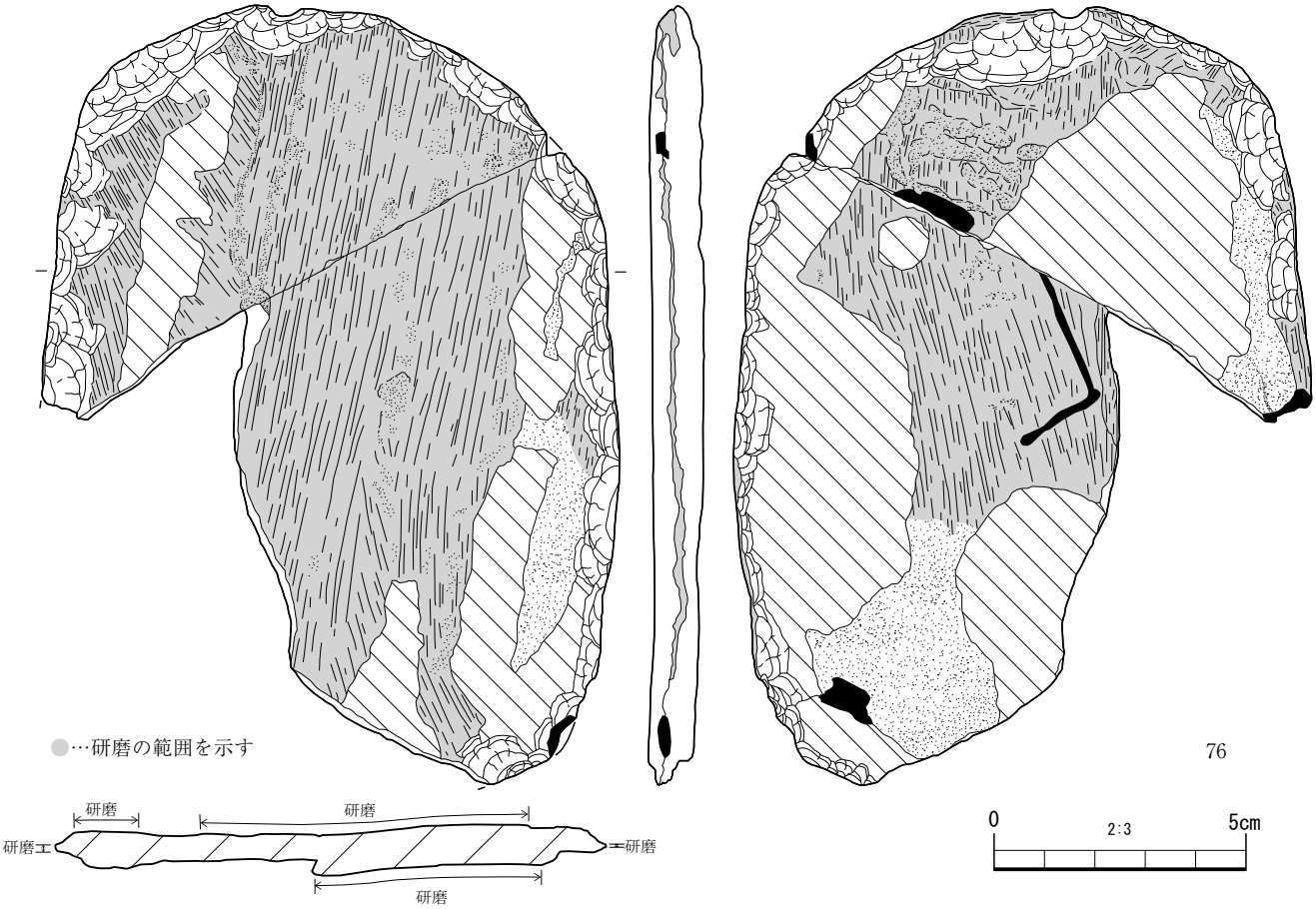
第22図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図②（S=1/2）

される。

76は石製円盤である。砂岩製のもので下部を大きく欠損している。両面に広く研磨痕が確認され、縁辺も全体の形状を整えるために調整を加えた後に研磨を行っている。平面形は大判のような印象を受ける。



第23図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図③（S=2/3・1/2）



第24図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図④（S=2/3）

第4表 橋山第2遺跡2次　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表 ①

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測番号
p.23 第18図	22	5層	縄文 深鉢	－	(14.0)	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文	ナデ	1 少	微少		前平式	11
	23	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	丁寧なナデ	1 少	2 少		別府原式　口唇部ミガキ 穿孔有	7
	24	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/3	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	ナデ・キザミ 条痕文	ナデ		6 僅		別府原式　口唇部キザミ	34
	25	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1.5 僅	1 僅		別府原式	36
	26	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文 (不明瞭)	ナデ	3 僅	2 少		別府原式	59
	27	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	ナデ(不明瞭)	1 僅	1 僅		別府原式	58
	28	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 7.5YR4/1	暗赤灰 2.5YR3/1	良好	条痕文	丁寧なナデ	3 多	微細 少	微細 少	別府原式	16
	29	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	条痕文	丁寧なナデ	5 多	微細 少	微細 少	別府原式	14
	30	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	条痕文	丁寧なナデ	4 多	微細 少	微細 少	別府原式　2層混入か	15
	31	4層	縄文 深鉢	－	(12.2)	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	丁寧なナデ	不明瞭	1 僅	1 少		別府原式	35
	32	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ後工具による刺突文	ナデか		1 少		下剥峯式	9
	33	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	短沈線文・ナデ	丁寧なナデ	3 少	1 少		桑ノ丸式	21
	34	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	3 少		4類	43
	35	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	暗紫灰 5P4/1	やや良好	山形押型文	不明瞭		1 僅		3類	44
	36	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ミガキ・ナデ 指押さえ	小 少	小 多		4類	17
	37	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ・微隆帯にキザミ	ナデ			3 少	塞ノ神A式　口唇部キザミ	26
	38	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ・微隆帯にキザミ	ナデ			4 多	塞ノ神A式　口唇部キザミ	28

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第5表 橋山第2遺跡2次　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.24 第19図	39	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	キザミ・微隆帯にキザミ ナデ	ナデ			1.5 多	塞ノ神A式　口唇部キザミ	27
	40	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	ナデ 沈線文	ナデ 条痕後ナデ	3 僅	2 僅		塞ノ神A式　外面スス付着 口唇部キザミ	12
	41	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ・微隆帯にキザミ	ナデ			2 少	塞ノ神A式	25
	42	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	微隆帯にキザミ ナデ	ナデ			3 多	塞ノ神A式	29
	43	4層	縄文 深鉢	(30.4)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	浅い条痕	浅い条痕	2 少	1 僅		早期末条痕文土器 口唇部キザミ	8
	44	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	41
	45	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕文	1 僅	1 僅		早期末条痕文土器 口唇部キザミ	42
	46	4層	縄文 深鉢	－	(7.3)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ	ナデ	2 僅	1 少		早期末条痕文土器	40
	47	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい黄褐 10YR6/3	良好	条痕文（綾杉状）	条痕後ナデ	1 僅			早期末条痕文土器	30
	48	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄褐 10YR6/3	良好	条痕文（綾杉状）	条痕後ナデ	2 僅	2 僅		早期末条痕文土器	32
	49	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文（綾杉状）	条痕文	1 僅	2 多		早期末条痕文土器	31
	50	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	丁寧なナデ	条痕後ナデ	1 僅	1 僅		無文土器	37
	51	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	丁寧なナデ	条痕後ナデ	1 僅	1 僅		無文土器	38

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第6表　橋山第2遺跡2次　縄文時代早期遺物包含層（4層～5層）出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 (グリッド・層・番号)	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	実測 番号
p.26 第21図	52	5G 5層 534	石鏃	チャート	1.10	1.70	0.25	0.40	1類	75
	53	21G 5層 1103	石鏃	黒曜石 (桑ノ木津留)	1.45	1.15	0.35	0.50	1類	76
	54	21G 5層 1102	石鏃	チャート	(2.15)	(1.35)	0.25	(0.40)	2類　先端部・脚部欠損	78
	55	6G 4層 356	石鏃	チャート	(3.05)	1.95	0.30	(1.50)	3類　先端部欠損	81
	56	17G 5層 155	石鏃	頁岩	3.45	2.00	0.60	2.20	3類	82
	57	8G 5層 503	石鏃	安山岩	2.25	(1.50)	0.30	(0.60)	3類　脚部欠損	80
	58	11G 4層 524	石鏃	安山岩	1.80	(1.45)	0.35	(0.70)	3類　脚部欠損	79
	59	4G 5層 526	石鏃	頁岩	(4.30)	(1.80)	0.40	(2.50)	4類 先端部・側縁部・脚部欠損	83
	60	5G 4層 357	石鏃未製品	頁岩	3.85	1.90	0.45	3.90		77
	61	17G 5層 193	尖頭状石器	頁岩	5.65	4.25	1.35	30.70		84
	62	14G 5層 607	両面調整剥片	チャート	(3.60)	(3.55)	1.25	(15.30)	下部欠損	88
	63	5G 5層 435	スクレイパー	頁岩	7.90	(5.60)	1.55	(59.40)	側縁部欠損	85
	64	17G 5層 232	スクレイパー	緑色堆積岩	(4.10)	(3.40)	1.65	(24.50)	下半部欠損	86
	65	18G 4層585	礫器	砂岩	10.20	(8.65)	3.25	(306.00)	左側縁部欠損 刃部使用痕（磨滅）有	91
	66	17G 4層	礫器	砂岩	11.20	7.50	3.40	282.10	使用痕（敲打痕）有	92
p.27 第22図	67	21G 5層 1046	礫器	砂岩	15.60	11.50	4.15	1023.40		89
	68	12G 5層 728	礫器	砂岩	15.60	(9.90)	4.10	(498.00)	右側縁部下端欠損	90
p.28 第23図	69	1G 5層 471	打製石斧片	ホルンフェルス	(5.10)	(4.45)	(1.45)	(35.70)	下半部欠損	87
	70	10G 5層 691	剥片	尾鈴山酸性岩	(8.00)	7.00	1.25	(80.30)	下部欠損	48
	71	11G 5層 529	礫素材敲石	砂岩	9.90	5.15	3.40	222.50		93
	72	17G 5層 192	敲石	砂岩	8.70	8.10	2.95	323.60		46
	73	6G 5層 543	敲石	砂岩	(8.15)	7.30	4.15	(351.00)	磨石兼用	47
	74	21G 5層 1051	磨石	尾鈴山酸性岩	10.1	9.55	4.40	646.50		51
	75	15G 5層 1003	磨石	尾鈴山酸性岩	10.00	9.80	6.30	884.40		50
p.29 第24図	76	1G 5層 477+478	石製円盤	砂岩	(15.40)	(11.40)	1.10	(171.20)	左下半～下部欠損 表裏・側縁部研磨痕有	94

（ ）の値は残存法量を示す

第4節　アカホヤ火山灰層（基本土層3層）上位の調査

第1項　遺構について

土坑4基、溝状遺構1条を検出した。遺物包含層からは縄文時代中期～後期の遺物が出土しているが、明確に縄文時代に比定できる遺構は検出していない。

土坑

4基とも遺物が出土しておらず、時期は不明である。

SC2は一部攪乱を受けているが、確認できた範囲では南北方向に0.5m、東西方向に0.3m＋αの円形プランを想定させる。深さは0.1mを測る。

SC3は床面に柱穴状の掘り込みを有する。0.9m×0.7mの不整楕円形プランを呈し、深さは0.1mを測る。柱穴状の部分は深さ0.25mを測る。

SC4･5はSC4がSC5を切っている。SC4はSC3と同じく床面に柱穴状の掘り込みを有する。1.1m×0.7mの不整楕円形プランを呈し、深さ0.3mを測る。柱穴状の部分は深さ0.6mを測る。SC5は確認できた範囲では1.28m×0.62m＋αの不整楕円形プランを呈する。深さ0.09mを測る。

溝状遺構

SE1は一部攪乱を受けているが、長さ26m、幅0.4～1.5mで概ね等高線に沿うように延びており、調査区南東側の境界付近で南方向へ屈曲している。東側から西側に向けて下降傾斜しているため、西側の一部は掘り込みの痕跡を確認できなかった。遺物は出土していないが、土層2で高原スコリアの堆積を確認しており、中世に帰属すると考えられる。

第2項　基本土層2層出土土器について

2層からは縄文時代中期から後期にかけての土器が出土している。調査区の西側から南側にかけて多く分布がみられる。大きく接合しているものもあって個体数は少ない。4層から5層の出土量と比較すると極端に減少している。既存の分類に基づいて以下に報告を行う。

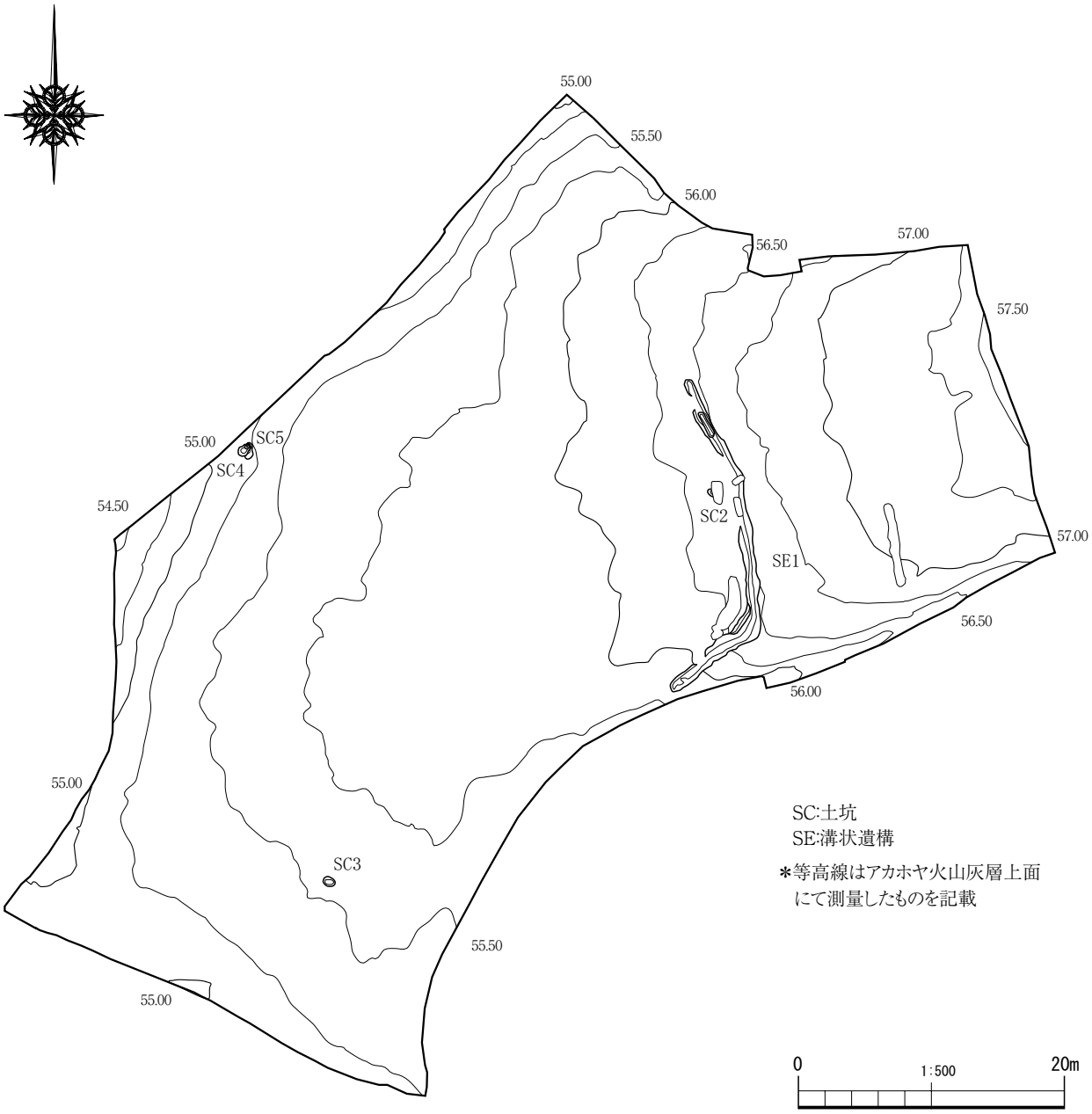
77～79は野久尾式土器に分類される土器の胴部片である。これらは同一個体の可能性があり、かなり大型のものとなる。外面につまみ技法を用いた隆帯を貼り付けている。この隆帯は波打つように湾曲しており、79の状況から上から下へと貼り付けている様子が確認される。また内外面には条痕の後にナデ調整を行っている。

80は外面に凹線を施すものである。

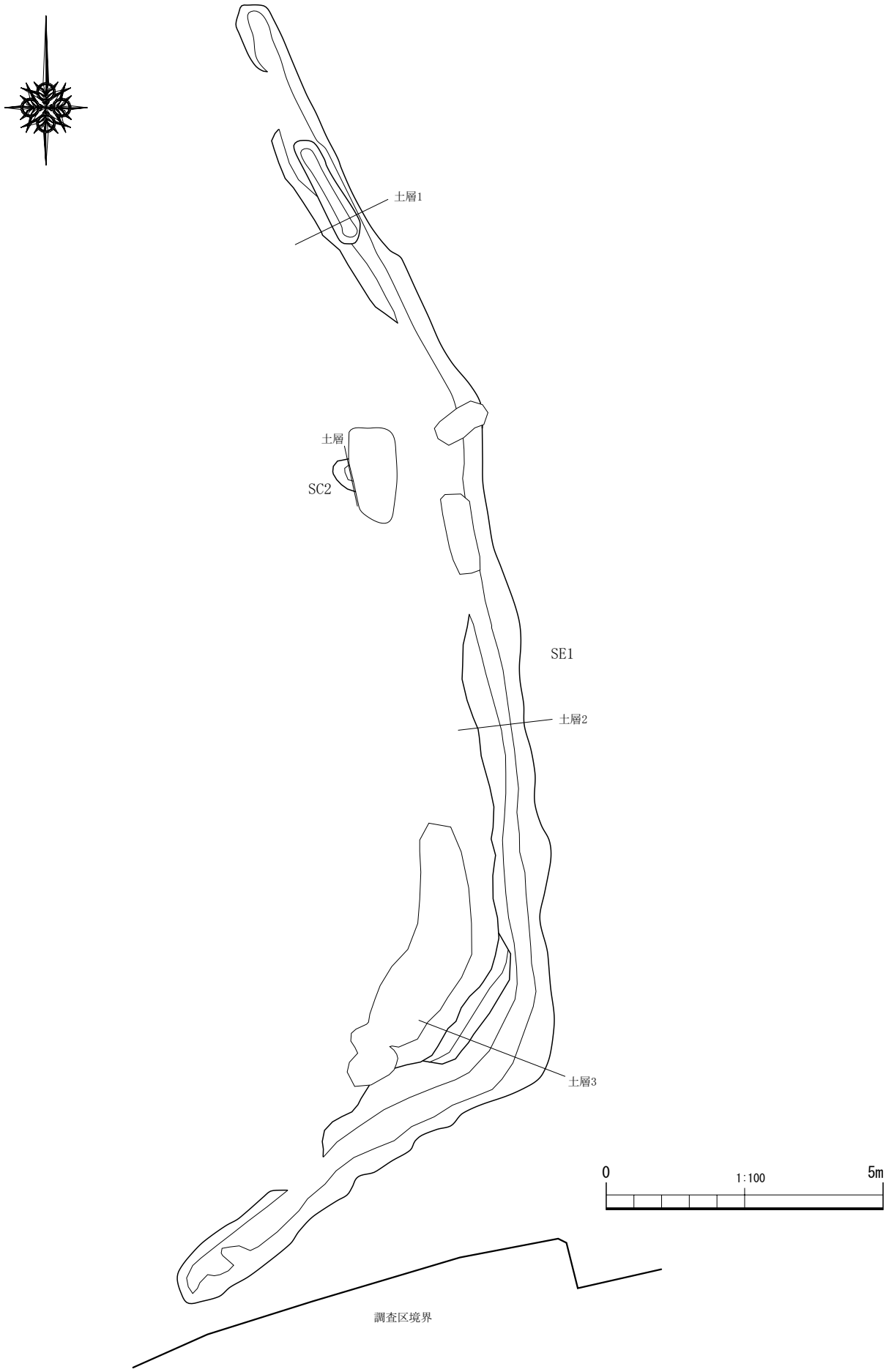
81は船元式土器で、外面に列点文がみられる。

82～91は宮之迫式土器である。82～87は口縁部から胴部片で概ね沈線文を施しており、新段階のものと考えられる。口縁部についてはやや外反する形状を呈している。88もかなり大型の個体となる。89～91は底部片である。89は平底状で外面には網代圧痕が確認されている。90・91はやや上げ底状を呈している。

92～94は市来式土器の口縁部片である。92は貝殻腹縁刺突文・沈線文、93は口唇部内面に沈

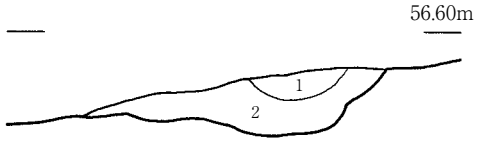


第25図　橋山第2遺跡2次調査アカホヤ火山灰層（3層）上面検出遺構配置図（S＝1/500）

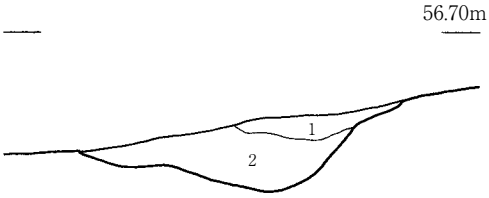


第26図　溝状遺構（SE1）及び土坑（SC2）平面実測図（S＝1/100）

SE1　土層1

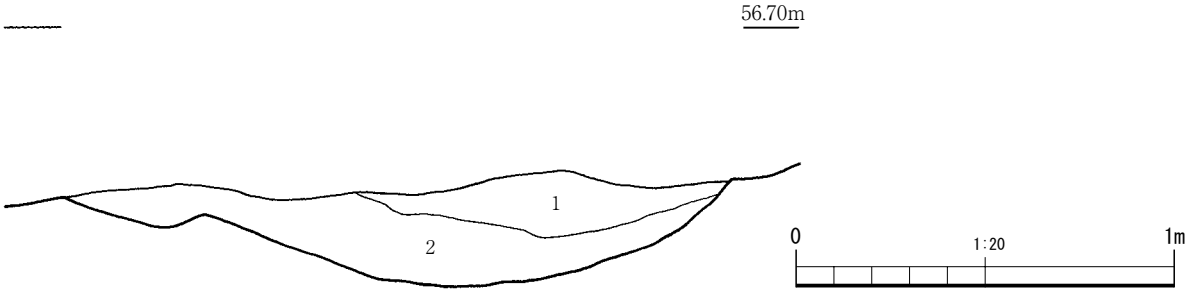


SE1　土層2

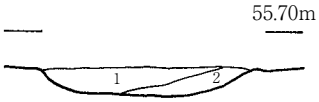


SE1　土層
1：黒褐色（Hue7.5YR3/2）砂質土。締り強い
2：暗褐色（Hue10YR3/4）砂質土。締り強い。
土層2は暗赤褐色（Hue5YR5/8）砂質土を含む。高原スコリア。

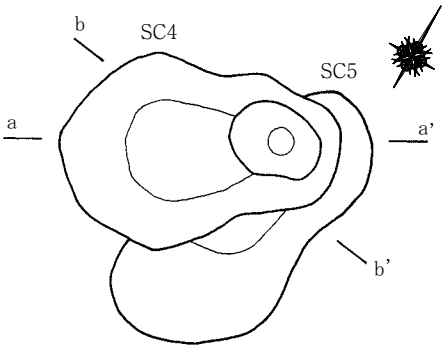
SE1　土層3



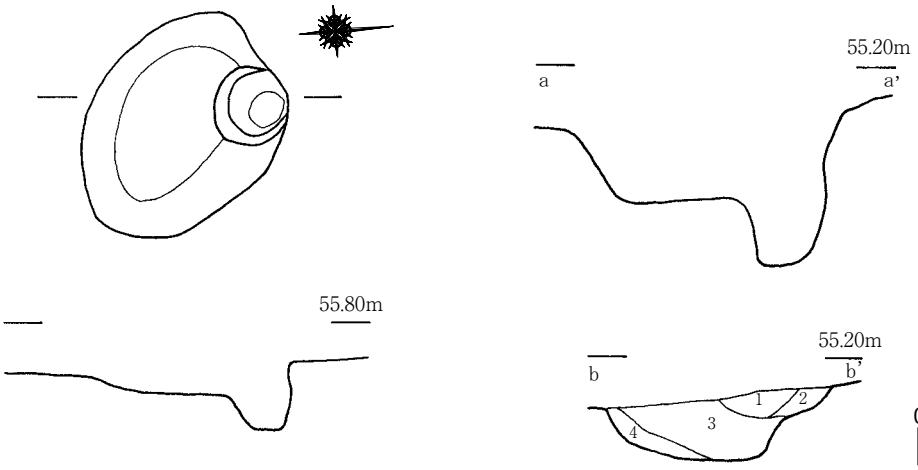
SC2　土層



SC2　土層
1：黒褐色（Hue7.5YR2/2）砂質土。
2：明褐色（Hue7.5YR5/8）砂質土。

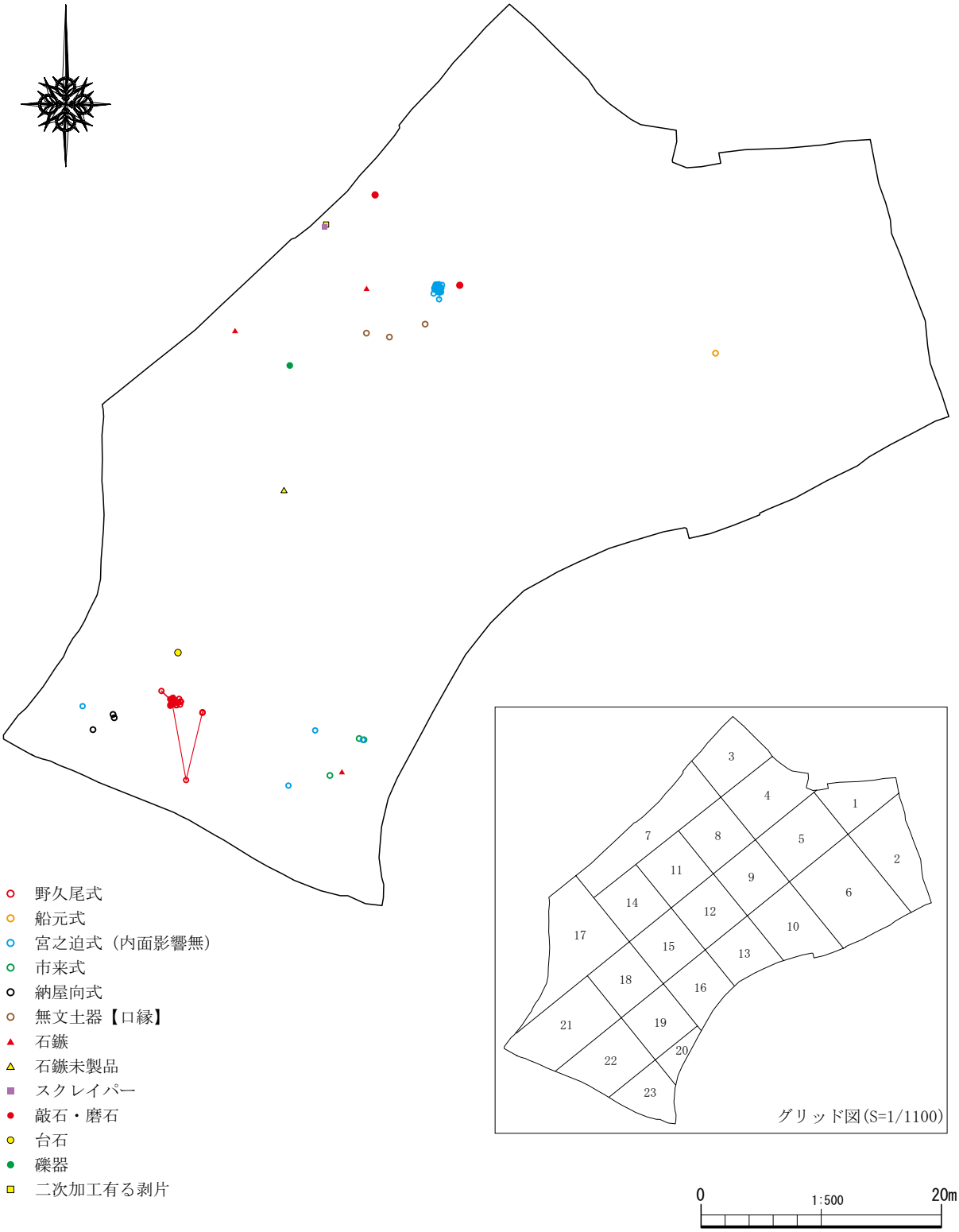


SC3

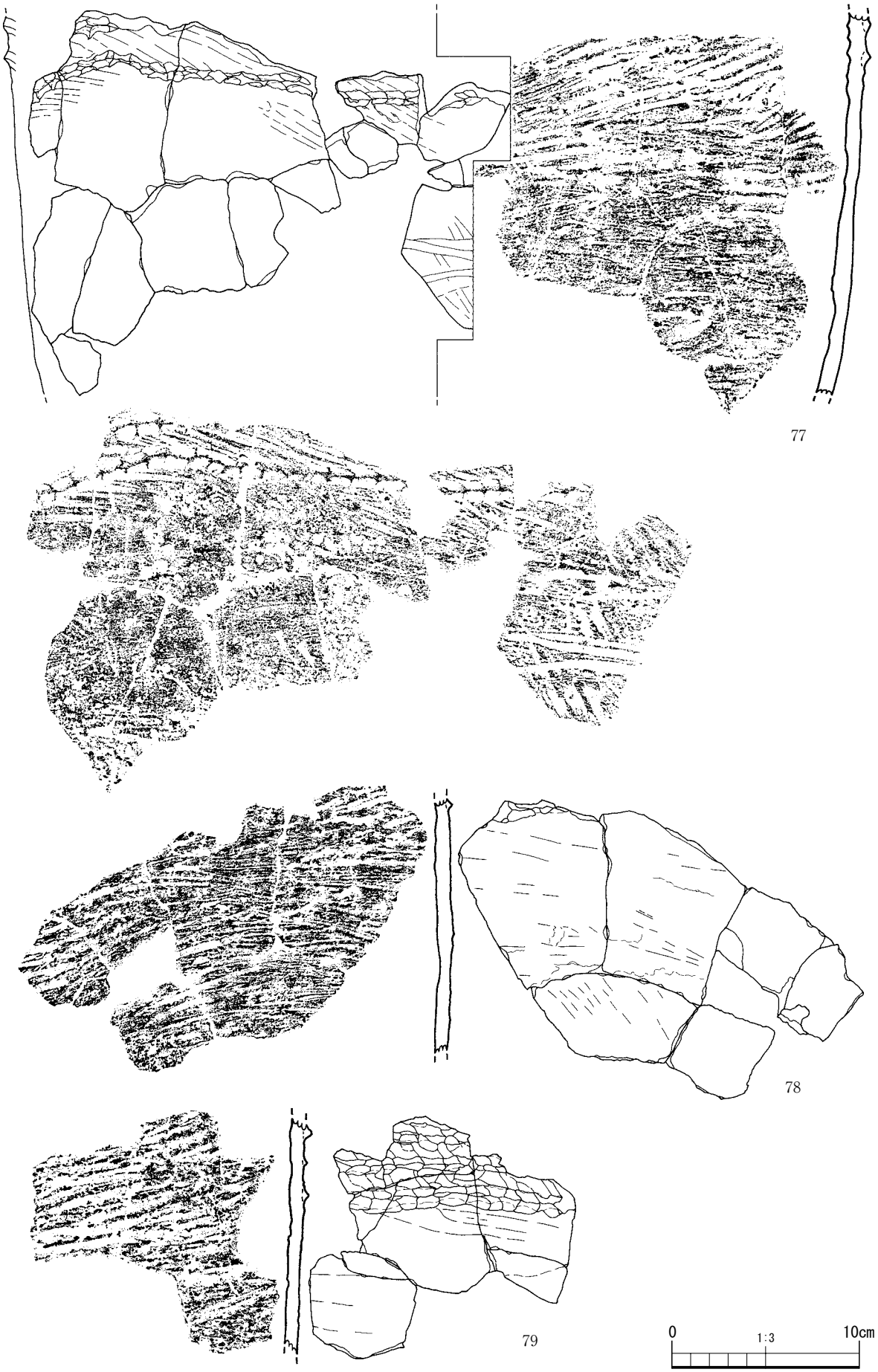


SC4・SC5　土層
1：黒褐色（Hue10YR2/3）砂質ローム。締り弱い。粘性弱い。1～2㎜程の砂粒を多量に含む。SC5埋土。
2：褐色（Hue7.5YR4/4）砂質ローム。締りやや弱い。粘性弱い。SC5埋土。
3：褐色（Hue10YR4/4）砂質ローム。締り弱い。粘性弱い。1～2㎜程の砂粒を多量に含む。SC4埋土。
4：褐色（Hue10YR4/4）砂質ローム。締りやや弱い。粘質やや弱い。SC4埋土。

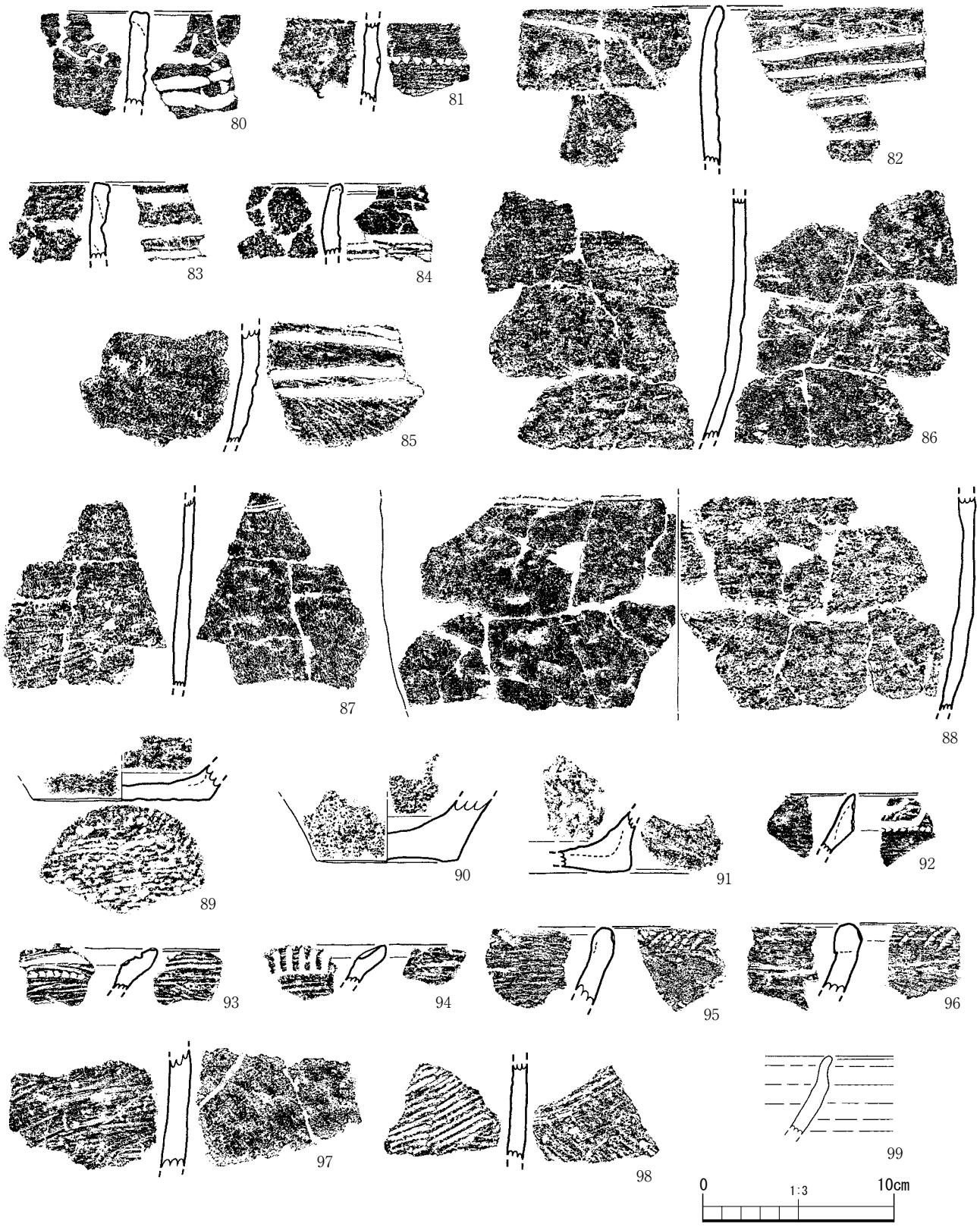
第27図　SE1土層断面図（S=1/20）及び土坑（SC2～5）実測図（S=1/30）



第28図　橋山第2遺跡2次調査縄文時代中期～後期遺物包含層（2層）出土遺物分布図（S=1/500）



第29図　縄文時代中期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図①（S=1/3）

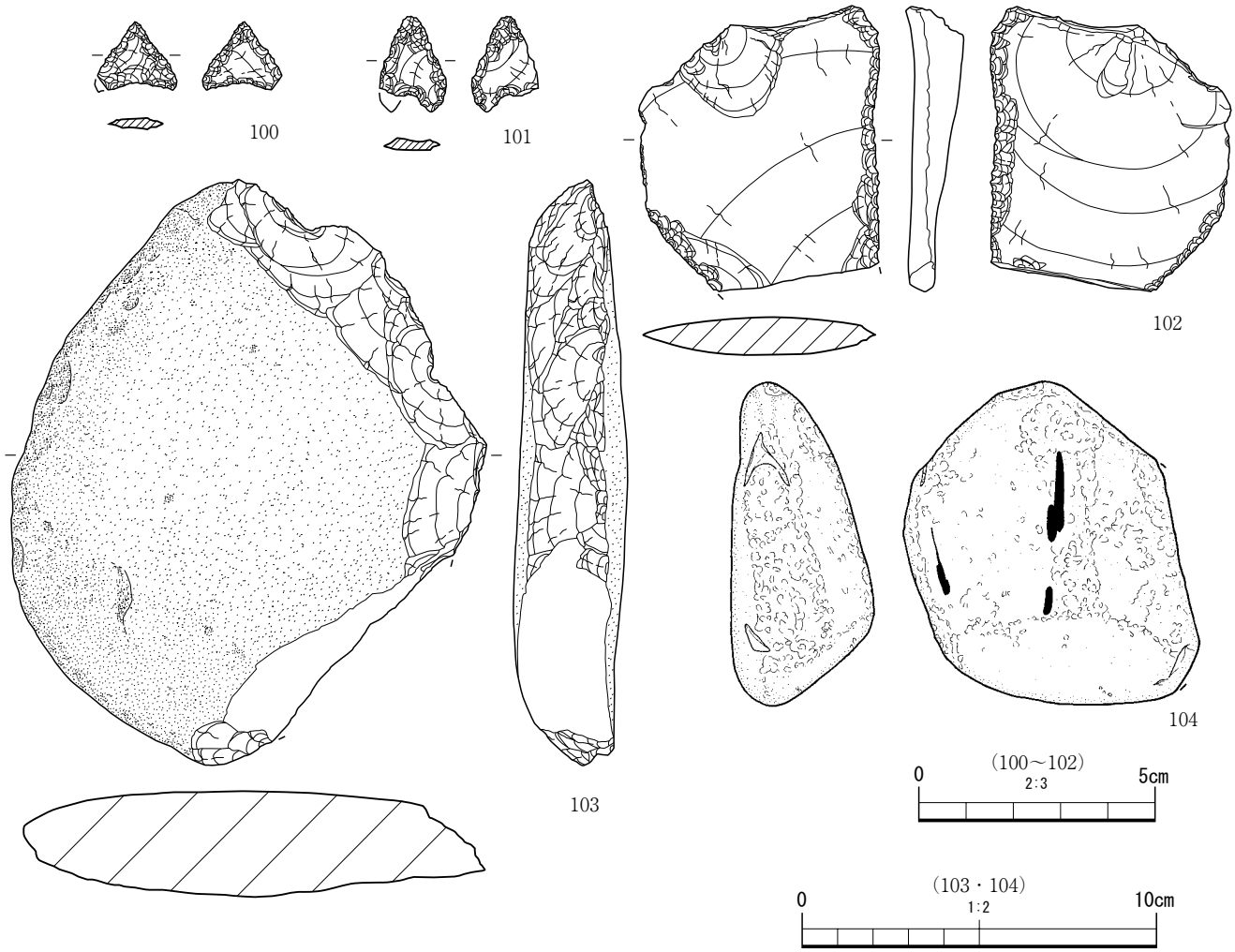


第30図　縄文時代中期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図②（S=1/3）

線文・列点文が確認される。94は口唇部内面にキザミが確認される。

95～97は納屋向式土器である。95・96は口唇部外面に斜位の貝殻腹縁刺突文がみられる。

98は内面に条痕文、外面は条痕の後ナデ調整を施すもので、分類が難しいが、轟式の可能性がある。



第31図　縄文時代中期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図（S=2/3・1/2）

99は採集資料の天目茶碗の口縁部片である。胎土から産地は瀬戸美濃と判別される。14世紀代のものであろう。

3. 基本土層2層出土石器について

土器と同じように石器類の出土量も極めて少ない。特に製品類は数えるほどで、その内訳は石鏃3点、石鏃未製品1点、スクレイパー1点、礫器2点、二次加工有る剥片1点、敲石・磨石2点、台石が1点である。分布状況については土器の範囲と概ね重なる状況である。これらのうち図化したものについて以下に記載する。

100・101は石鏃である。安山岩製のもの（100）とチャート製のもの（101）が見られる。両者共に素材剥片の状況を大きく残す周縁加工を施している。

102は頁岩製のスクレイパーで幅広の縦長剥片を素材としており、両側縁に細かい刃部加工が施されている。下部は欠損している。

103は砂岩製の礫器で、下部を欠損している。扁平な礫を素材としており、その一辺に粗い加工を施して、刃部を作り上げている。

104は砂岩製の敲石である。側面形は隅丸三角形状を呈しており、その稜線の部分に使用痕が確認される。

第7表　橋山第2遺跡2次　縄文中期～後期遺物包含層（2層）出土土器観察表

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上：mm 下：量) A	B	C	備考	実測 番号
p.36 第29図	77	2層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	隆帯 条痕後ナデ	条痕後ナデ	2 少	2 少		野久尾式 外面スス付着	22
	78	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文・隆帯 条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 少	1 少		野久尾式 外面スス付着	23
	79	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	隆帯 ナデ	条痕後ナデ	3 僅	1 少		野久尾式 外面スス付着	24
p 37 第30図	80	2層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	褐 7.5YR4/6	良好	ナデ・凹線文	ナデ	1 僅			宮之迫式か	62
	81	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	ナデ・列点文	ナデ			3 僅	船元式	56
	82	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR7/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ・沈線文	ナデ	4 多	2 僅		宮之迫式（新）	6
	83	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	凹線文・ナデ	ナデ	1 少			宮之迫式（新）	2
	84	2層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 10YR5/1	灰褐 10YR6/2	良好	ナデ・沈線文	ナデ	3 僅			宮之迫式（新）	3
	85	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/3	灰褐 7.5YR6/2	良好	ナデ	条痕後ナデ	1.5 僅	3 僅		宮之迫式（新）	39
	86	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ・沈線 条痕文	ナデ	1 僅			宮之迫式（新）	5
	87	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	暗褐灰 7.5YR7/2	良好	ナデ・沈線文	ナデ	1 僅	2 僅		宮之迫式（新）	4
	88	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ・沈線文	ナデ	3 僅			宮之迫式（新）	1
	89	2層	縄文 深鉢	－	(9.2)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅			宮之迫式 網代底	13
	90	2層	縄文 深鉢	－	(7.4)	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅			宮之迫式	18
	91	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい褐 7.5YR6/4	良好	ナデ	ナデ	1 僅			宮之迫式	10
	92	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 5YR5/4	にぶい褐 5YR5/4	良好	貝殻腹縁刺突文 沈線文・列点文 条痕文・ナデ	ナデ	1 少			市来式	19
	93	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	沈線文・ナデ 刺突文・条痕文	1 少	1 少		市来式	61
	94	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	条痕後ナデ ナデ	沈線文・条痕文	1 少			市来式	60
	95	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	貝殻腹縁刺突文	ナデ	1 僅			納屋向式	54
	96	2層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	明褐 7.5YR5/8	良好	ナデ・貝殻腹縁 刺突文・条痕文	ナデ	1 僅			納屋向式	55
	97	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	ナデ	条痕後ナデ	2 多	3 少		納屋向式	20
	98	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕後ナデ	条痕文	3 少	2 多		轟式か	33

※胎土 A：長石・石英 B：輝石・角閃石 C：雲母

第8表　橋山第2遺跡2次　陶磁器観察表

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別	器種	法量cm（ ）:復元 口径	底径	器高	産地	時期	備考	実測 番号
p.37 第30図	99	表採	天目碗	碗	－	－	－	瀬戸美濃	14世紀	外面　回転ナデ　口縁付近鉄釉か　鉄釉　貫入有　胴部下半露胎 内面　回転ナデ　口縁付近鉄釉か　鉄釉　貫入有 色調　外面　黒褐5YR2/2　内面　赤黒2.5YR2/1	57

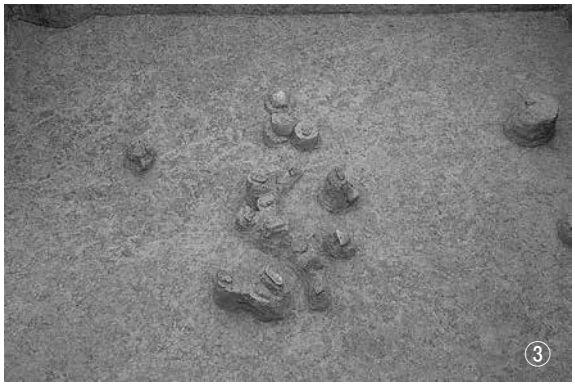
※（　）は残存法量

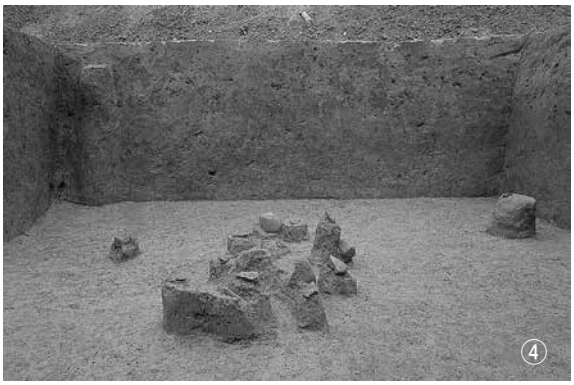
第9表　橋山第2遺跡2次　縄文中期～後期遺物包含層（2層）出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 (グリッド・層・番号)	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	実測 番号
p.38 第31図	100	11G 2層 488	石鏃	安山岩	1.40	(1.65)	0.25	(0.50)	脚部欠損	72
	101	2層 76	石鏃	チャート	2.00	1.40	0.30	(0.70)	脚部欠損	71
	102	2層 36	スクレイパー	頁岩	(6.00)	5.10	1.20	(33.70)	下部欠損	73
	103	14G 2層 566	礫器	砂岩	16.60	13.35	3.20	(790.60)	下部欠損	74
	104	11G 2層 418	敲石	砂岩	9.10	8.35	4.05	351.40	磨石兼用	49

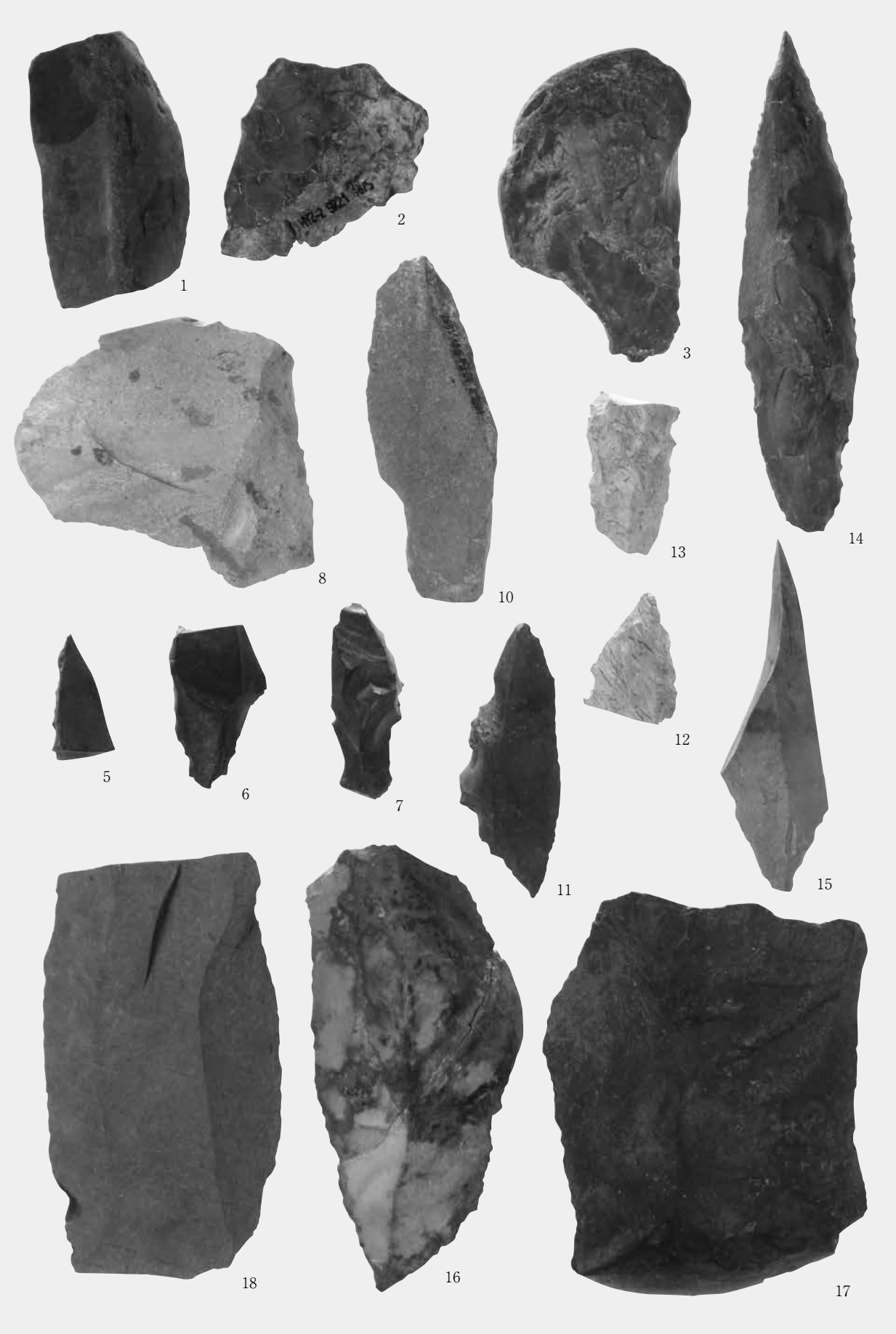
（ ）の値は残存法量を示す

図版2

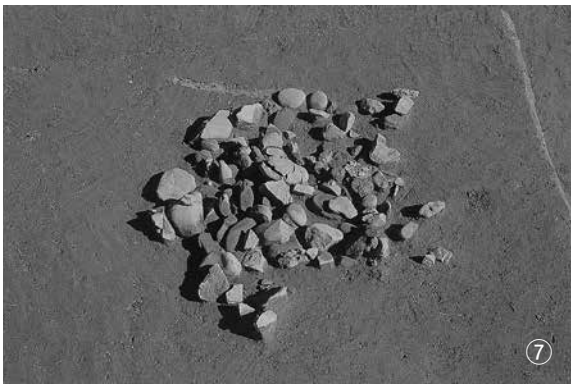




①SR21
②SR15
③SR13 ①
④SR13 ②
⑤Aブロック遺物出土状況
⑥終末期ナイフ(No.15)出土状況


1
2
3
14
8
10
13
5
6
7
11
12
15
18
16
17

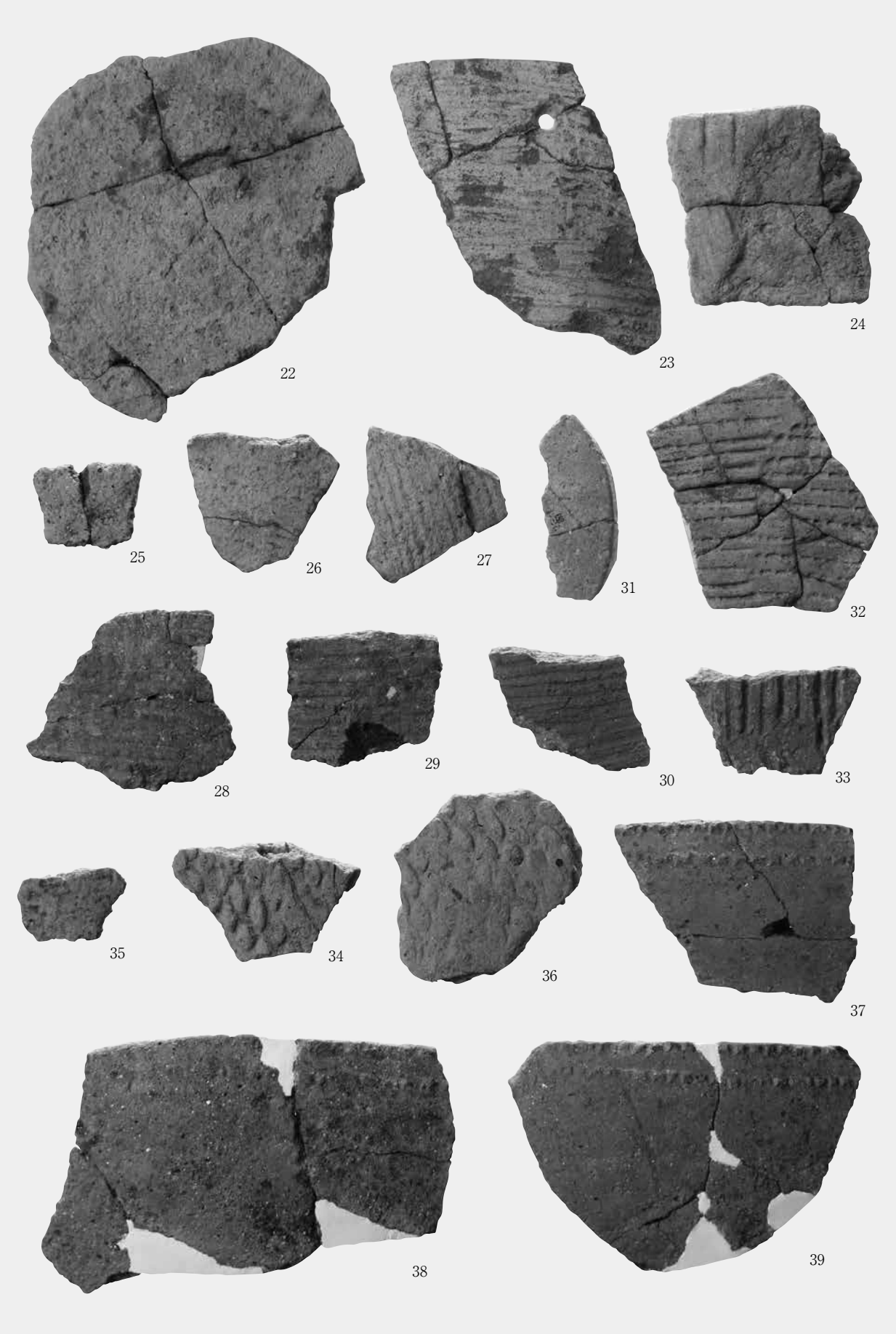
図版4

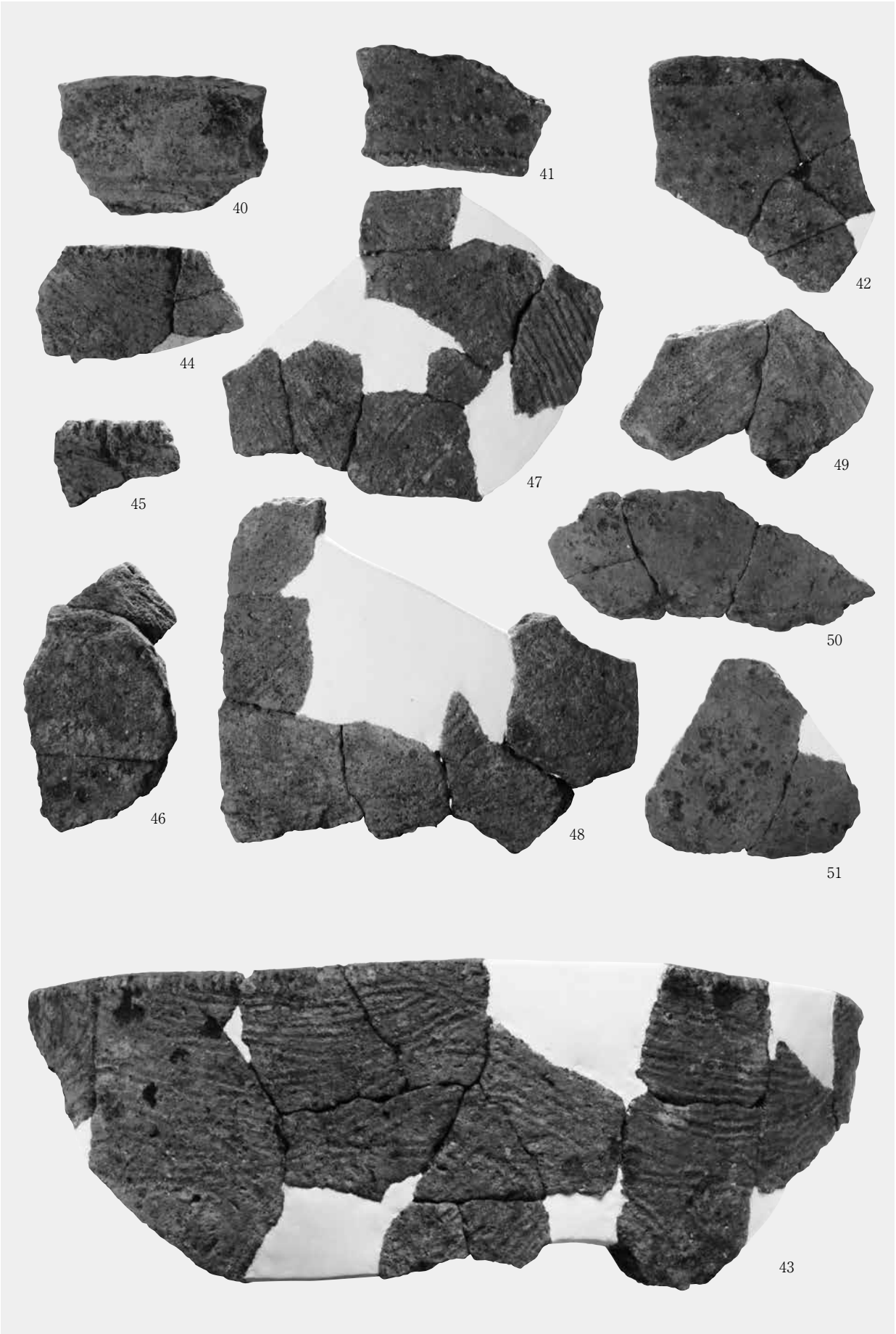


①SI6　②SI7　③SI8　④SI9～12　⑤SI16　⑥SI16土層断面　⑦SI17　⑧SI18

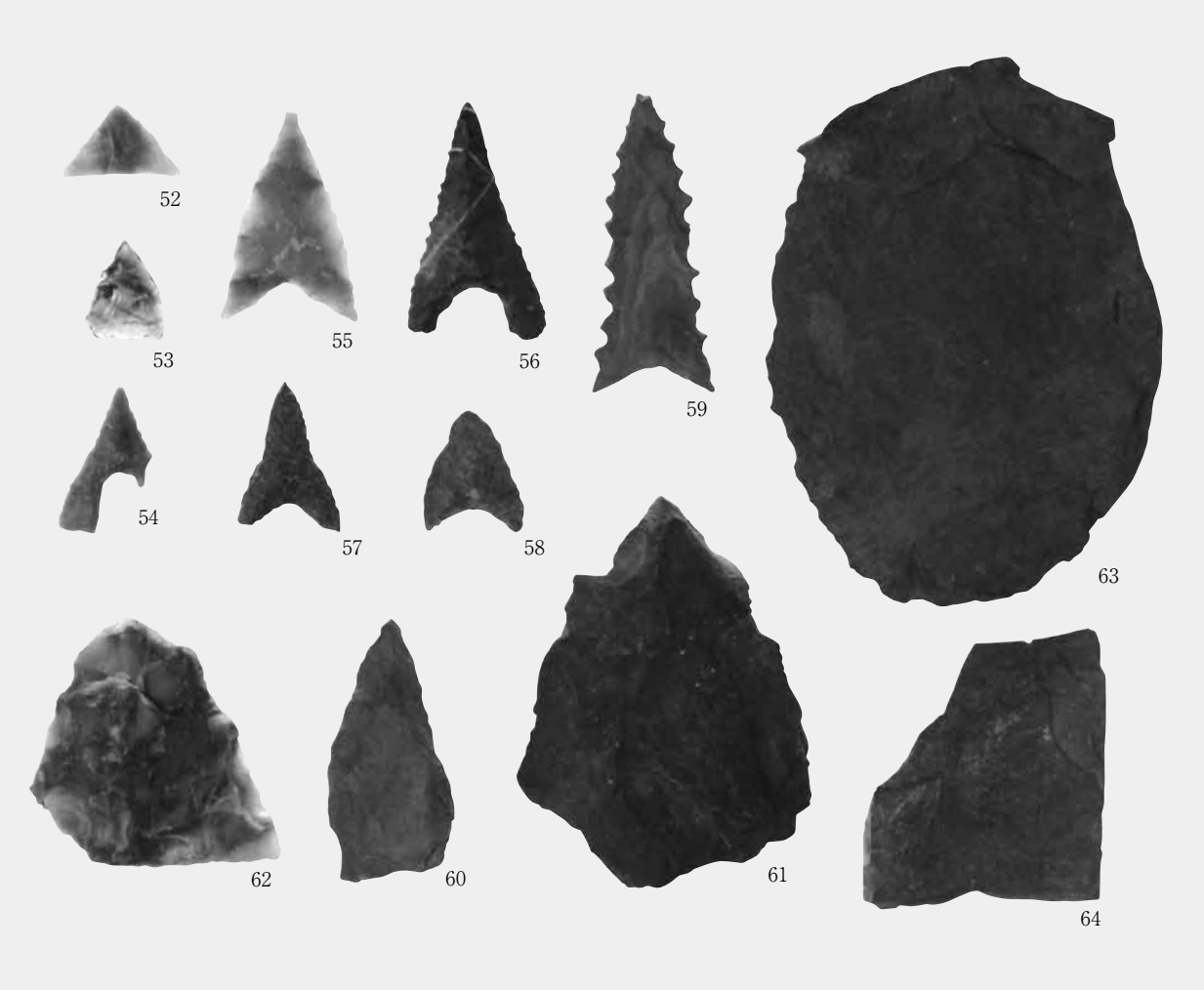
①SI18土層断面　②SI19　③SI20　④SI22・23　⑤SI24　⑥SI25・26　⑦SI27　⑧SI28

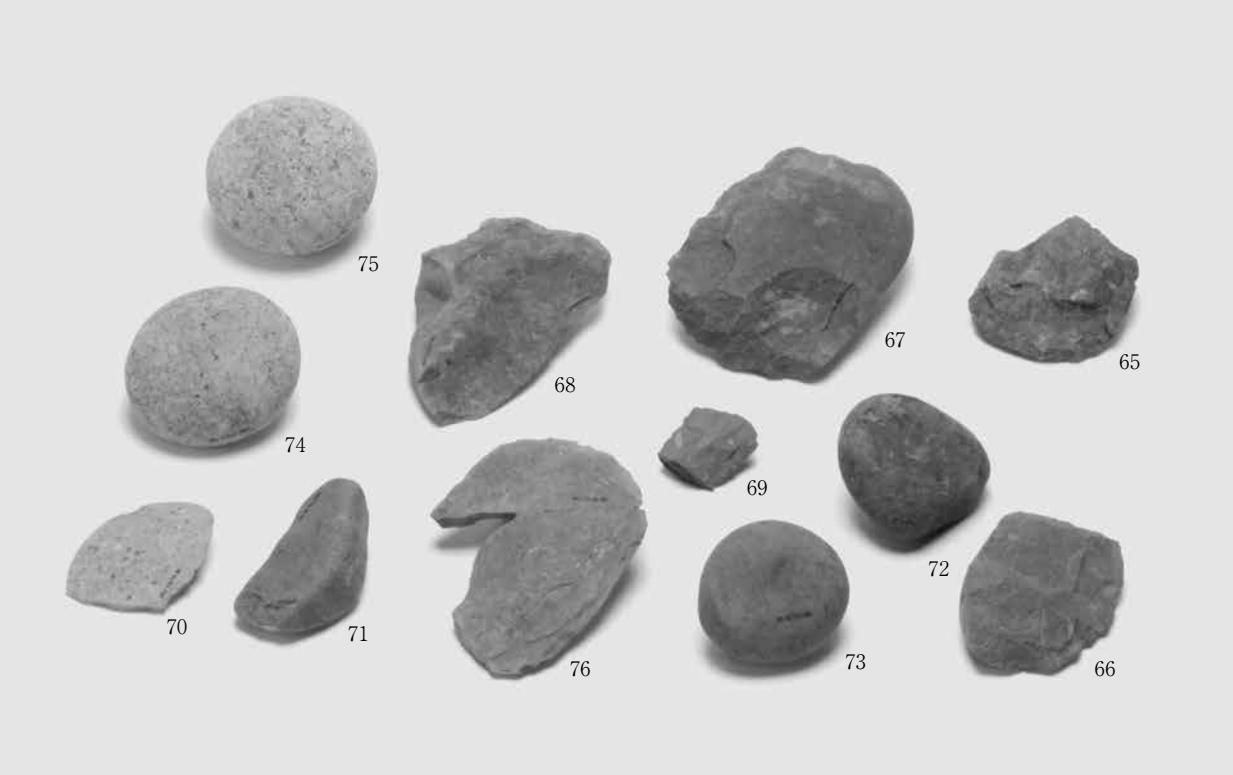
図版6

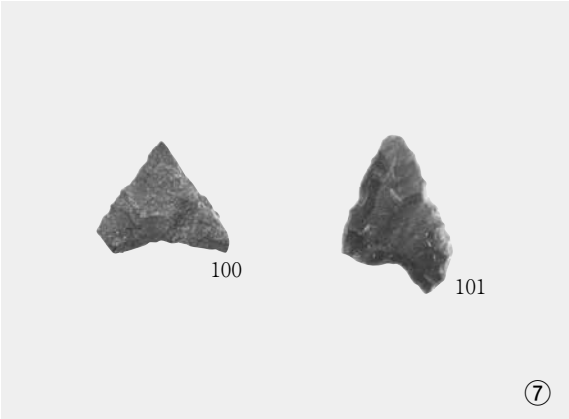


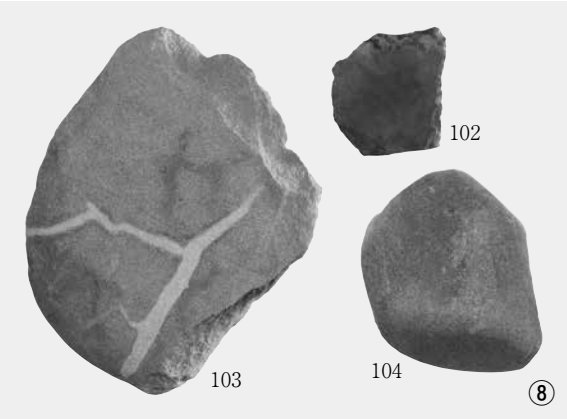

40
41
42
44
47
49
45
50
46
48
51
43

図版8


52
53
55
56
59
54
57
58
63
62
60
61
64

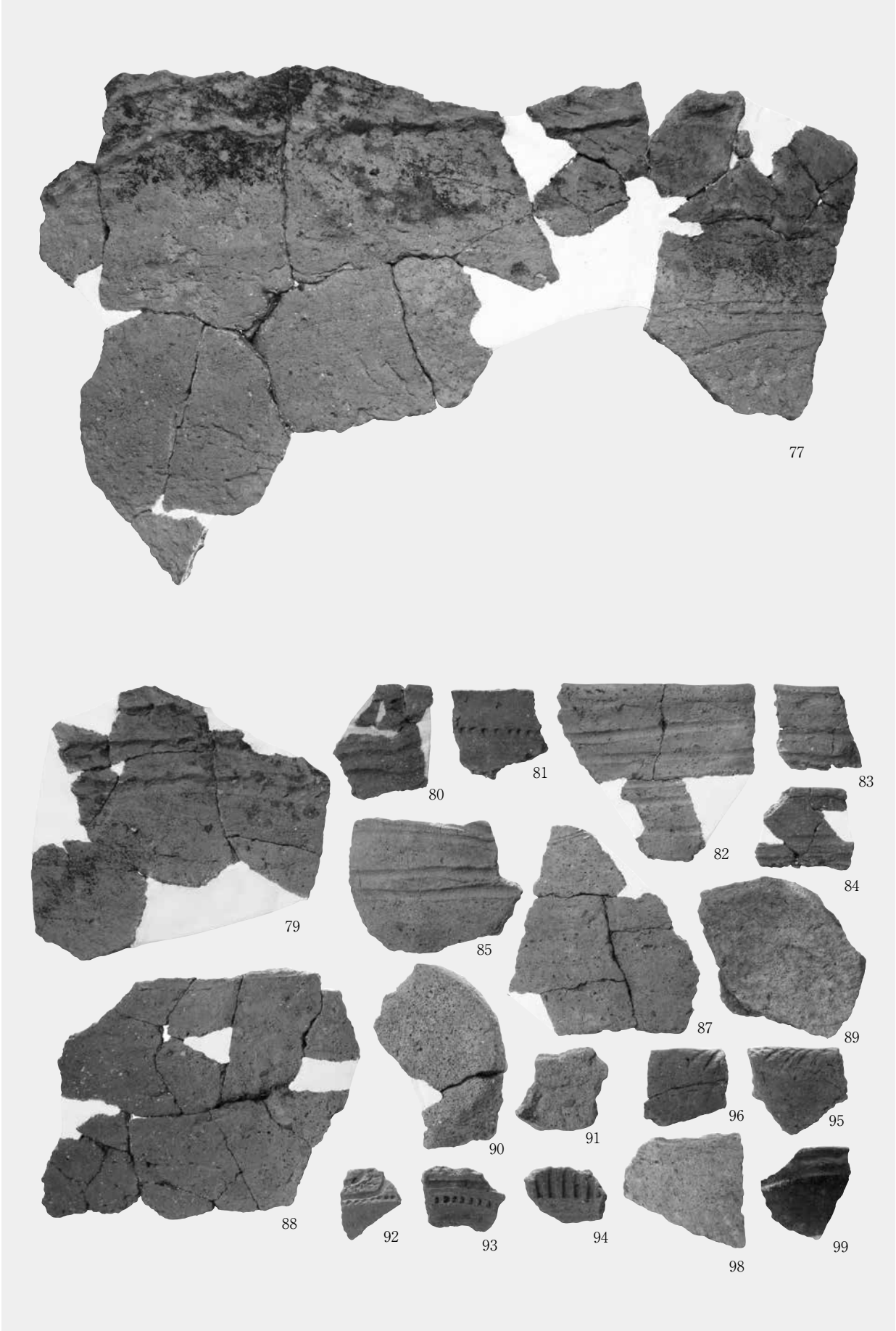

75
68
67
65
74
69
72
70
71
76
73
66





①21G土器（NO.77）出土状況（野久尾式）　②SC3完掘　③SC4・5完掘　④SE1土層1　⑤SE1土層2
⑥SE1土層3　⑦⑧縄文時代中期～後期遺物包含層（2層）出土石器

図版10



第Ⅲ章　橋山第3遺跡1地区の調査

第1節　調査概要

第1項　調査方法

基本的な調査方法は橋山第2遺跡と共通しており、第Ⅱ章第1節第1項に記載している。そのため以下に異なる点を記載する。

1地区では基本土層の2層が良好に堆積しており、遺物が豊富に出土したため、調査区全体でアカホヤ火山灰層上位の調査を行った。縄文時代早期も同じく全体で調査している。旧石器時代の調査については縄文早期の遺物包含層である4層～5層の掘削が終了した後に任意で設定したトレンチを掘削したが明確な旧石器時代遺物包含層の確認はできなかった。

第2項　基本層序について

1地区は橋山第3遺跡2地区が立地する台地から南東方向に伸びた尾根上の平坦面に位置する。現地形は調査区北東から南西方向へ向かって緩やかに下降傾斜しており、また調査区南端から南側の段丘崖にむかって下降傾斜がはじまっている。表土下の堆積も現地形と同様の傾斜が見られる。1地区の基本的な層序は周辺に見られる一般的な堆積状況とほぼ同じであるが、前述の調査区南端と、調査区中央にある溝状遺構を除くと、基本土層の2層以下が良好に堆積していた。縄文時代前期～後期を中心とする2層と、縄文時代草創期末～早期を中心とする4層～6層において遺物を確認している。特に4層～6層は2地区と比べて2倍の厚みが確認されており、約23万点の散礫が出土し、多くの集石遺構を検出した。7a層～11層にかけては旧石器確認トレンチ内で堆積状況を確認した。

第2節　縄文時代早期の調査

第1項　遺構について

集石遺構

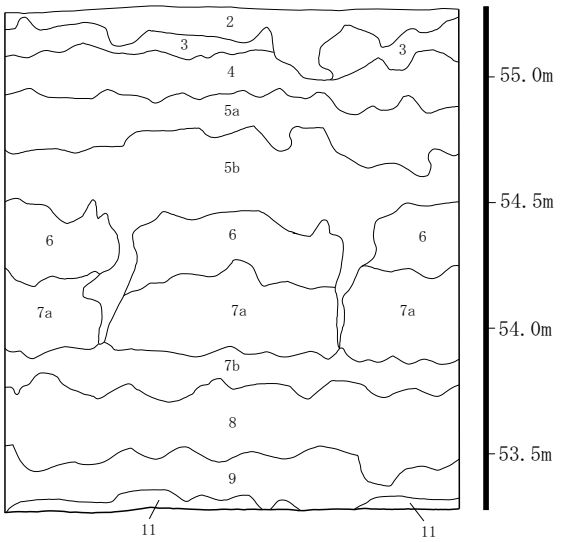
集石遺構は基本土層5a層～6層にかけて135基検出している。基本的な調査方法は第Ⅱ章第3節第1項に記載している。1地区では掘り込みを有するものが大半を占めており、多くの切り合い関係を確認した。また、5a層～6層の掘削に伴い多量の礫が全体から出土した。礫の分布を見ると、特に集石遺構が密集していた付近では、さらに集中している状況が伺える。

以下に特徴的な集石遺構について所見を報告する。

SI3は5層で検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。桑ノ木津留産黒曜石製剥片1点が出土しており、炭化物は補正年代で8050±30年BPの測定値が得られた。

SI4は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。大振りな礫が東側に固まり、西側に向かって下降傾斜するように小振りな礫が充填されていた。炭化物は補正年代で7935±30年BPの測定値が得られた。

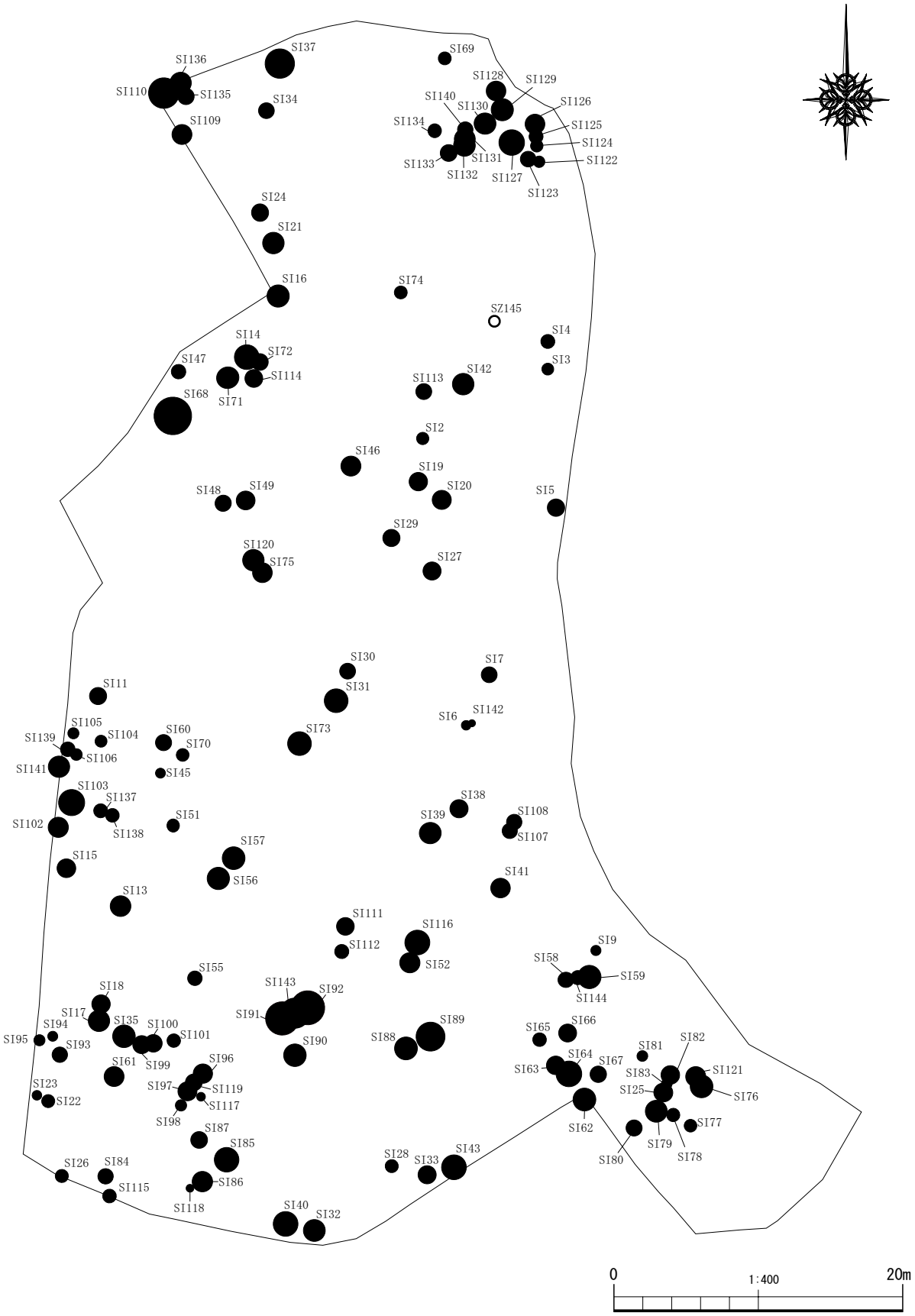
SI5は5a層上位で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有し、北側にテラスが見られる。



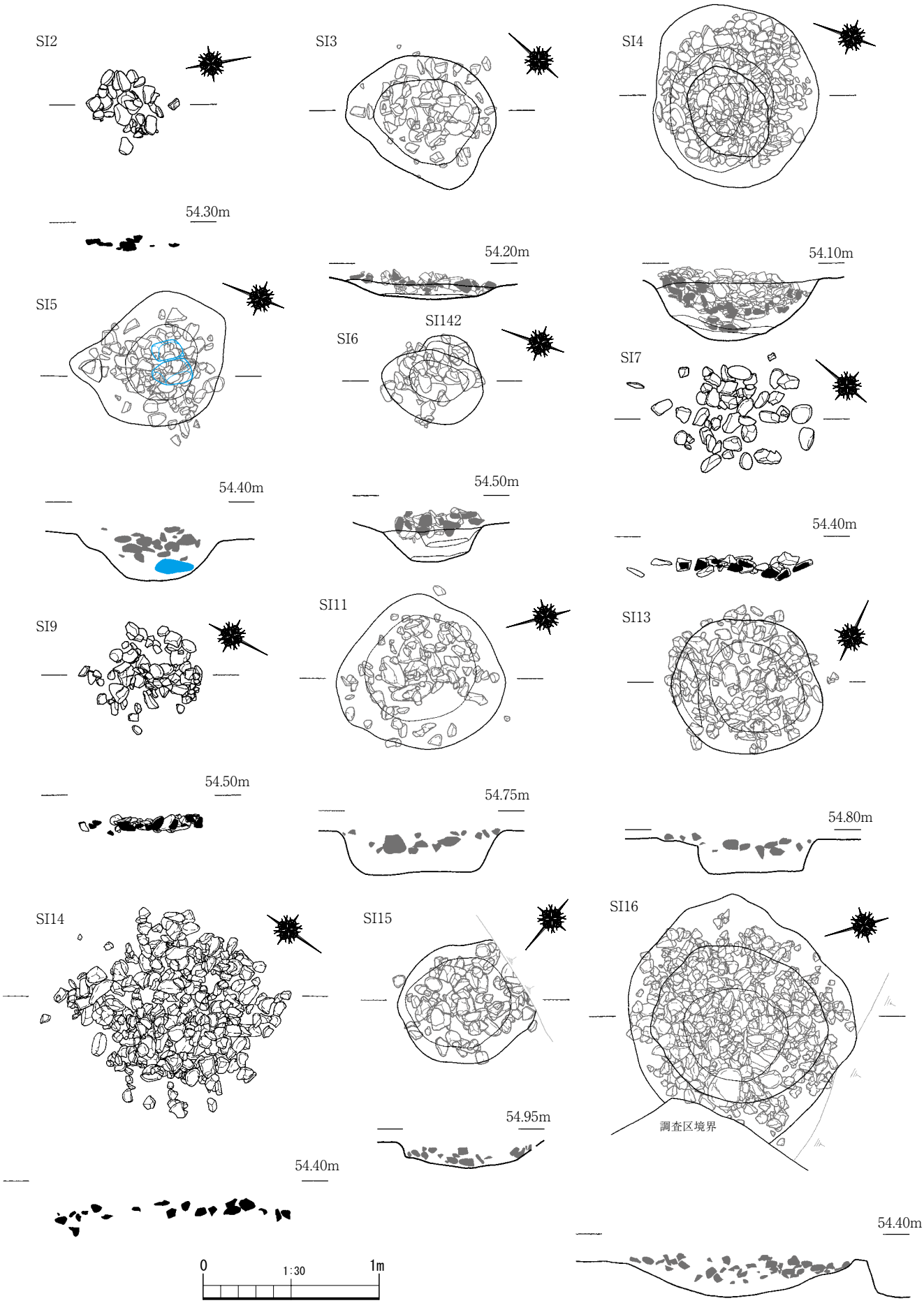
2：橙色（Hue7.5YR6/8）砂質。締り弱い。アカホヤ火山灰を含む。
3：橙色（Hue7.5YR6/8）ローム。締りやや強い。アカホヤ火山灰。
4：明褐色（Hue7.5Y5/8）シルト。
灰オリーブ（Hue5Y4/2）シルトを含む。牛のすね火山灰。
5a：黄褐色（Hue10YR5/6）シルト。
5b：黄褐色（Hue10YR5/6）シルト。
暗褐色（Hue10YR3/4）シルト混じり。
6：黄褐色（Hue10YR5/6）粘質シルト。
黒褐色（Hue2.5Y3/1）砂質土、霧島小林軽石を含む。
7a：オリーブ褐色（Hue2.5Y4/3）シルト質ローム。
霧島小林軽石を多量に含む。
7b：浅黄色（Hue2.5Y7/4）粘土質ローム。
明赤褐色（Hue5YR5/8）砂粒を含む。小林軽石を少量含む。
8：灰黄褐色（Hue10YR4/2）粘土質ローム。
黄褐色（Hue10YR5/6）粘土を含む。
9：黄橙色（Hue10YR7/8　粘土。
にぶい黄褐色（Hue10YR5/3）粘土を含む。
11：黄橙色（Hue10YR7/8）粘土質ローム。締り弱い。
にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）粘土ロームを含む。

第32図　橋山第3遺跡1地区基本土層図（S=1/30）

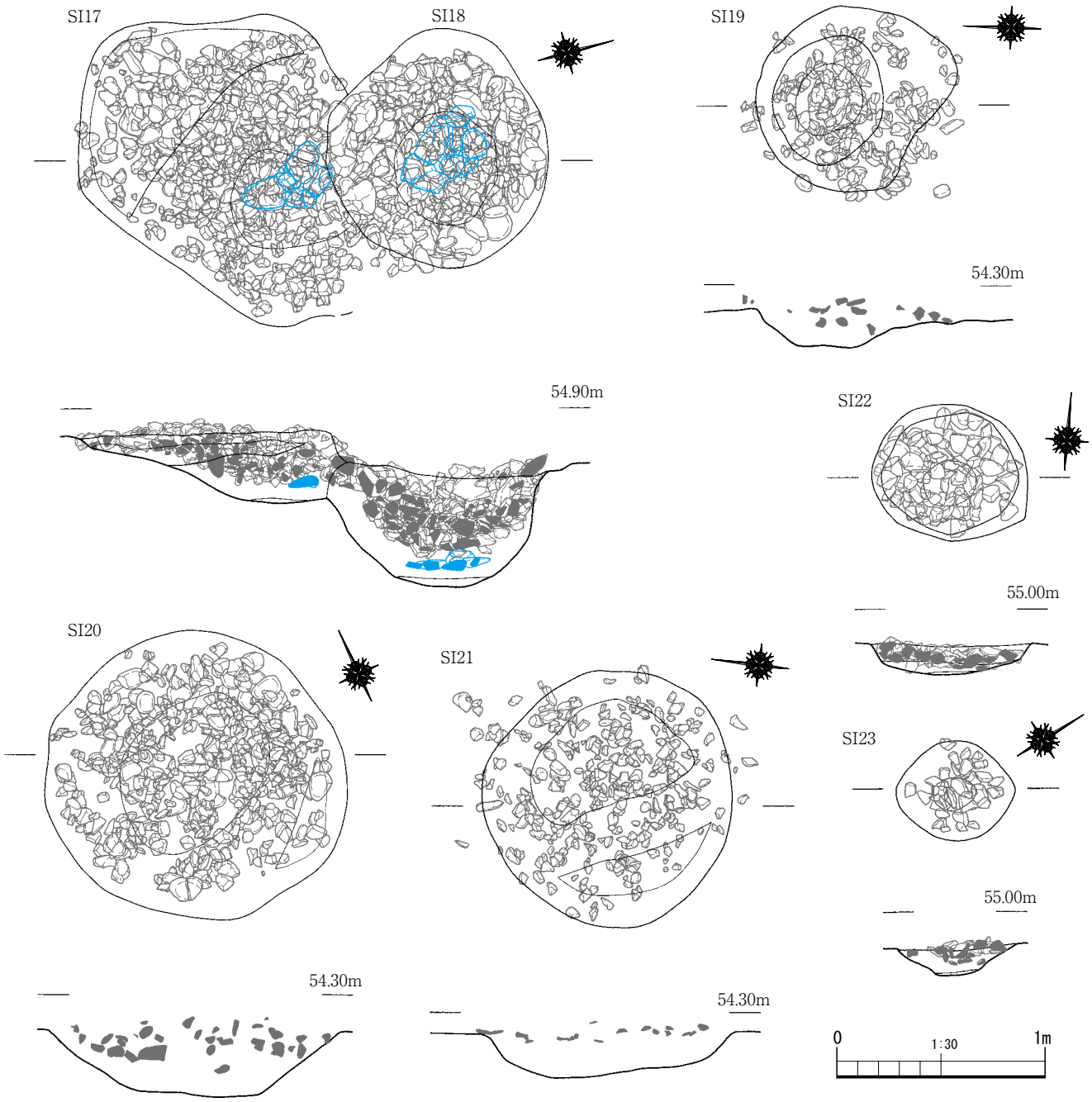
図版11　橋山第3遺跡1地区基本土層



第33図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期（4～5層）遺構配置図（S=1/400）



第34図　縄文時代早期集石遺構実測図①（S=1/30）



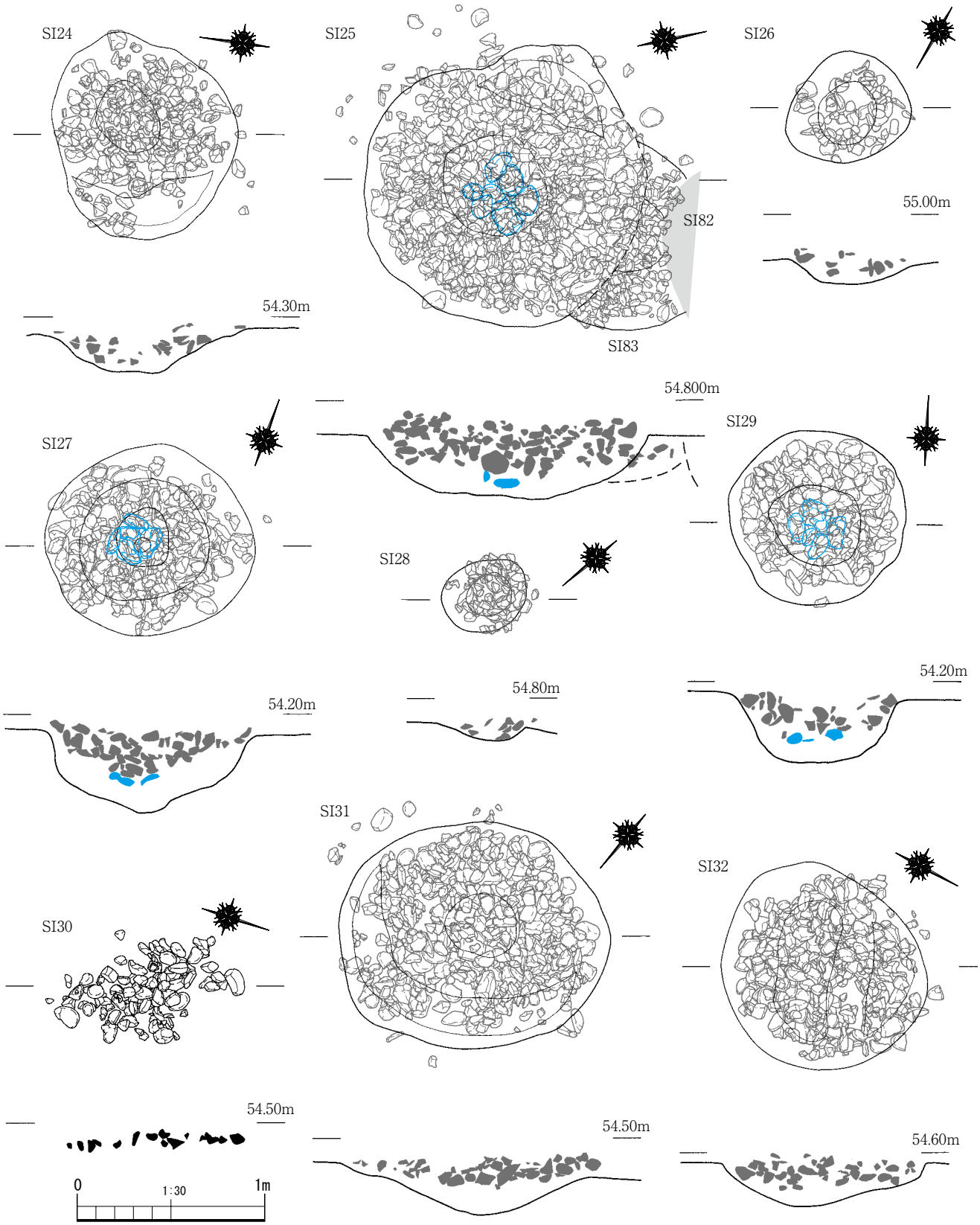
第35図　縄文時代早期集石遺構実測図②（S=1/30）

ただし、テラス付近は地層横転の影響を受けており、本来は平面が円形でテラスがないことが想定される。出土遺物は押型文3類（1）が1点出土している。

SI13は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。礫の取り上げ後に掘り込みを確認した。出土遺物は押型文4類（2）が1点出土している。

SI15は5a層で検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。掘り込みが認識される前に一部を掘削したため、南側が切られている。出土遺物は押型文3類（3）が出土している。

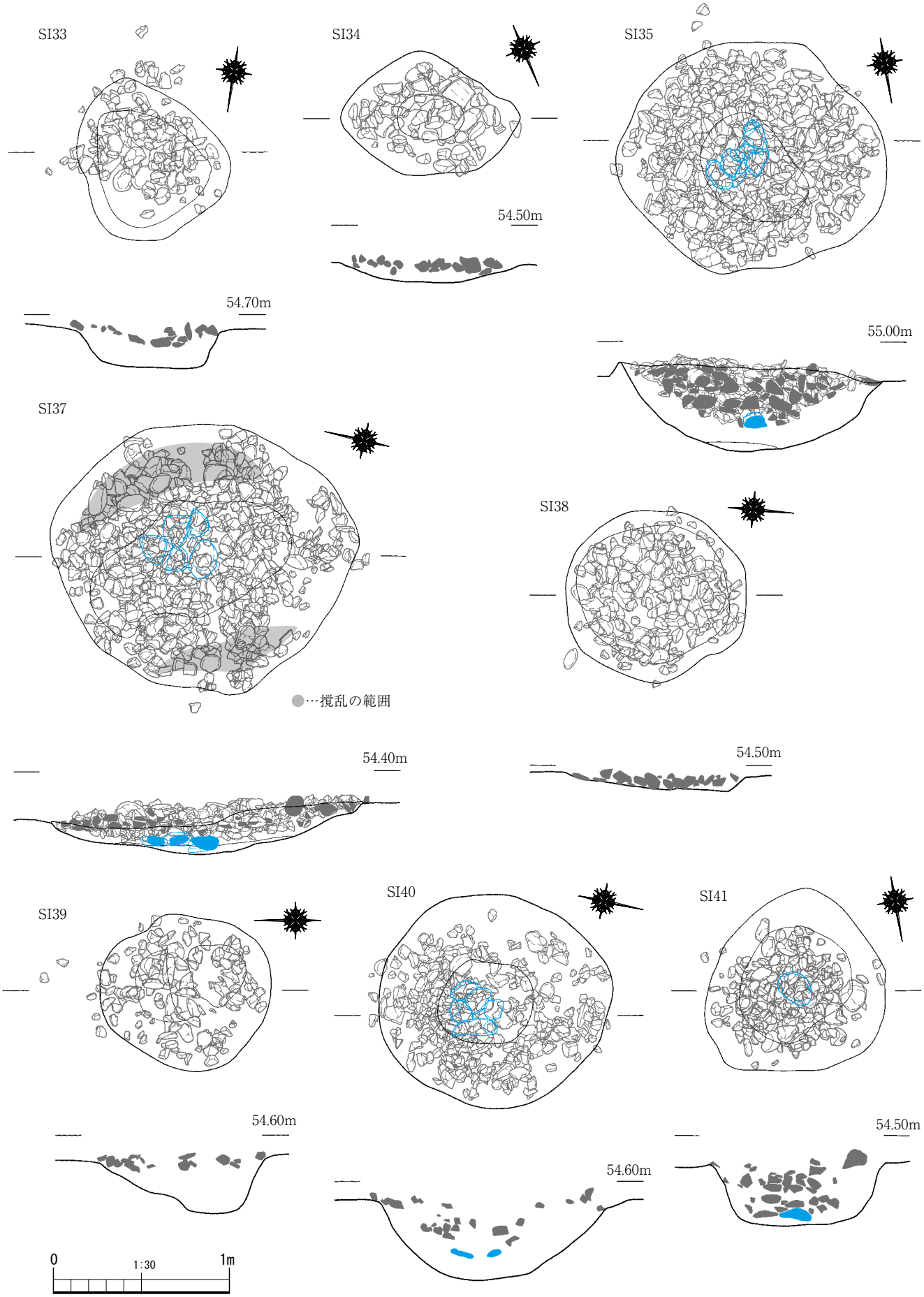
SI17・18は5a層で検出した。SI17をSI18が切っており、両遺構の検出面には明確なレベル差がある。SI17は断面がレンズ状の掘り込みを有し、南側にテラスが見られる。テラス側は比較的大振りの礫が配置される。SI18は断面がボウル状の掘り込みを有し、埋土は明確に黒ずんで



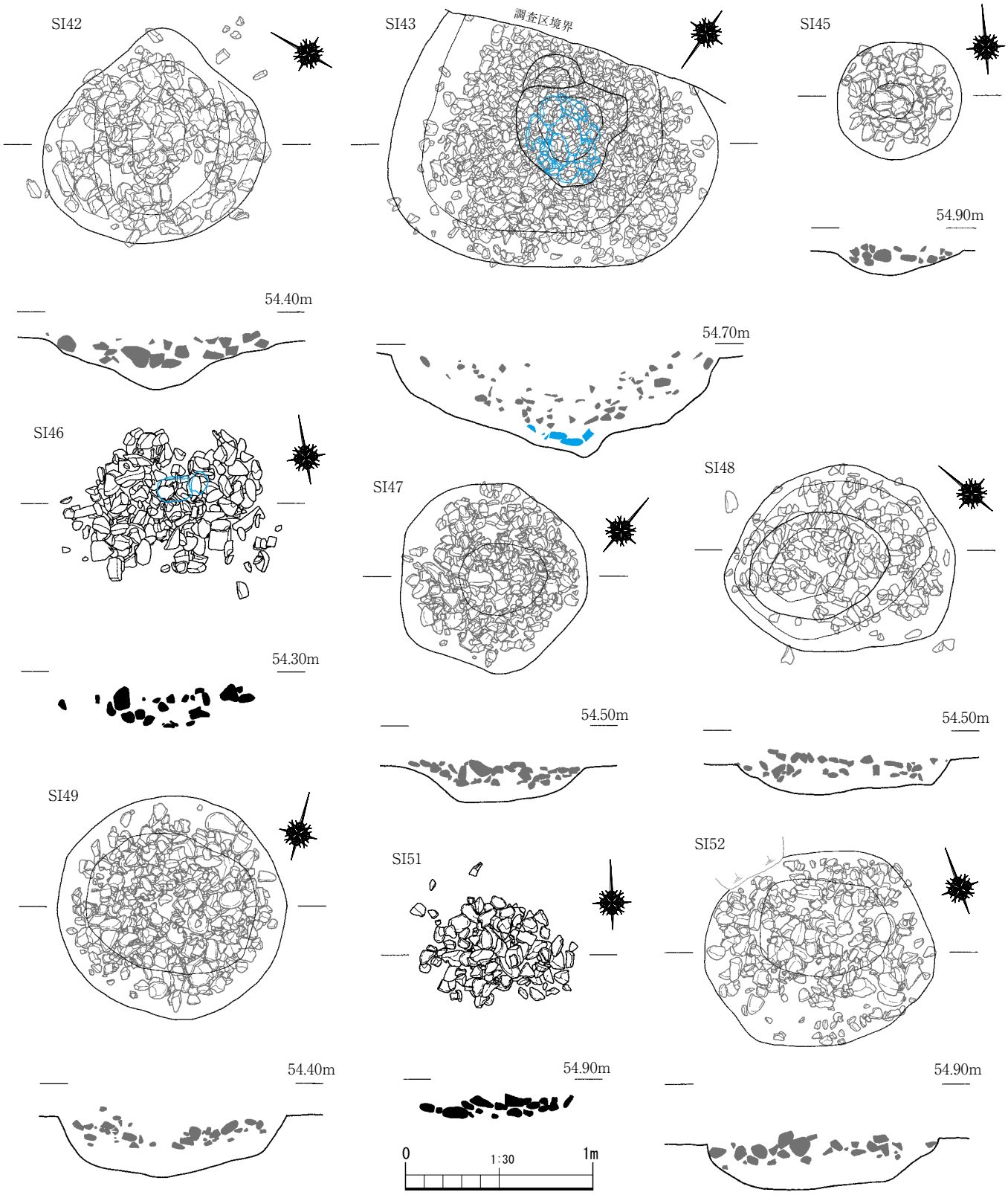
第36図　縄文時代早期集石遺構実測図③（S=1/30）

いる。大振りな礫が外周を囲むように配置され、中央部が落ち窪んでいる。

SI20は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。南西側が地層横転の影響を受けており、礫の密集度に差がみられる。出土遺物は押型文3類（4）が出土している。

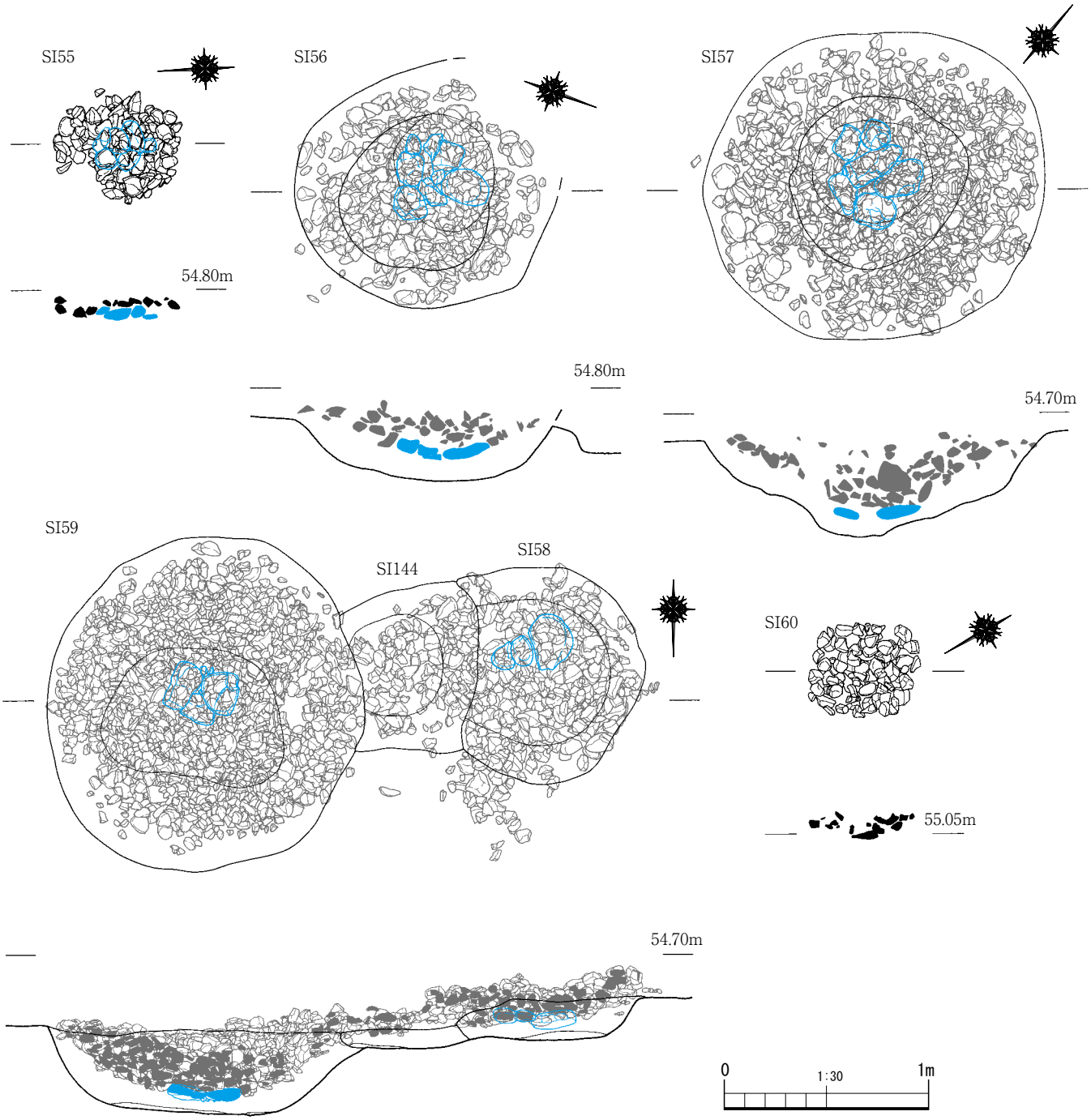


第37図　縄文時代早期集石遺構実測図④（S=1/30）



第38図　縄文時代早期集石遺構実測図⑤（S=1/30）

SI25・83は5a層で検出した。SI25は調査区南東部で密集していた集石遺構の中で最も上位のレベルで検出している。SI25は南側でSI79、北側でSI83を切っており、明確なレベル差がある。SI83は北側をSI82にも切られており、断面がボウル状の掘り込みを有する。出土遺物は押型文3類（5）が出土しており、4層及び5層中の遺物と接合した。



第39図　縄文時代早期集石遺構実測図⑥（S=1/30）

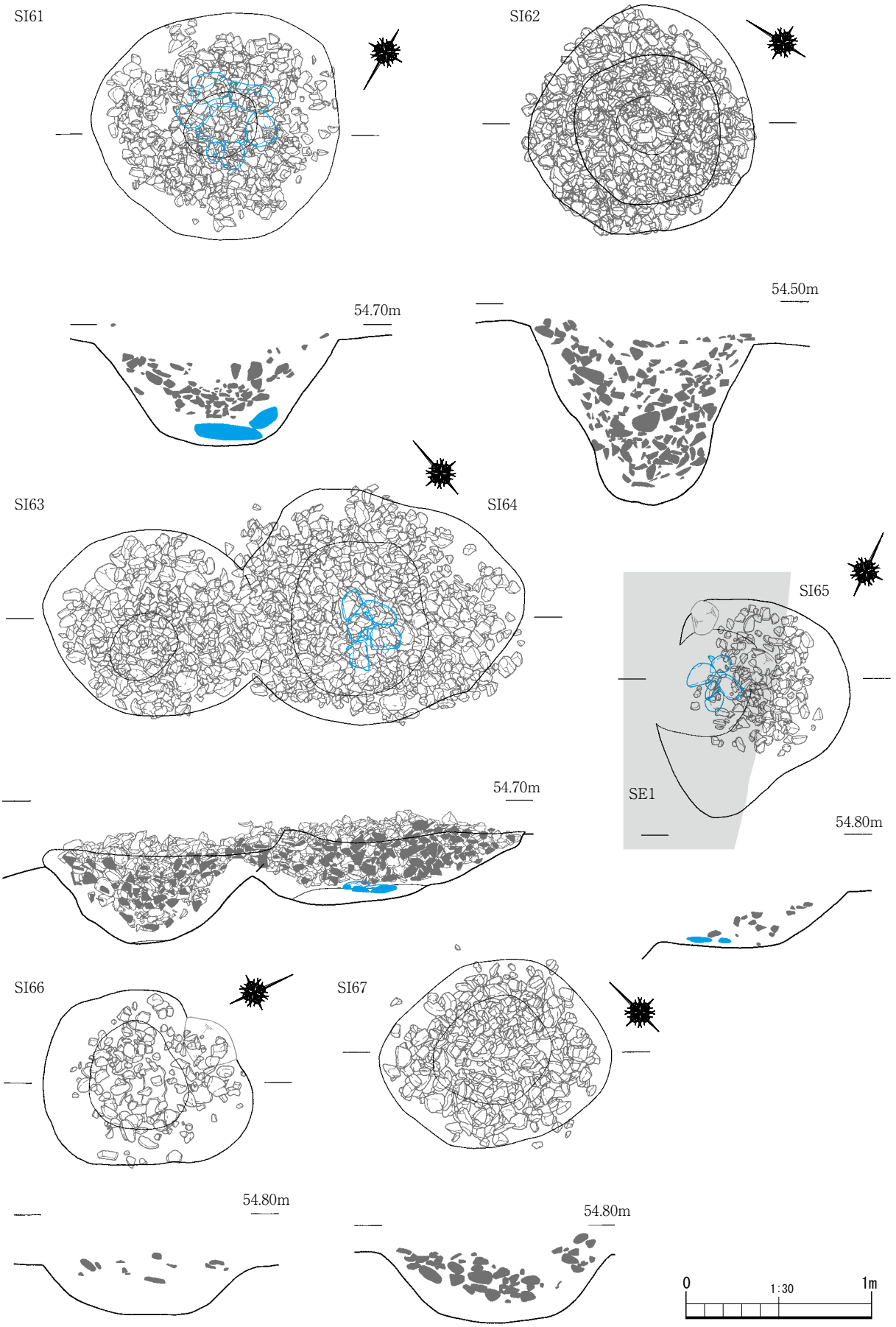
SI27は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。出土遺物はその他の押型文(6)が出土している。

SI41は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。出土遺物は押型文3類（7）が出土している。炭化物は補正年代で7925±30年BPの測定値が得られた。

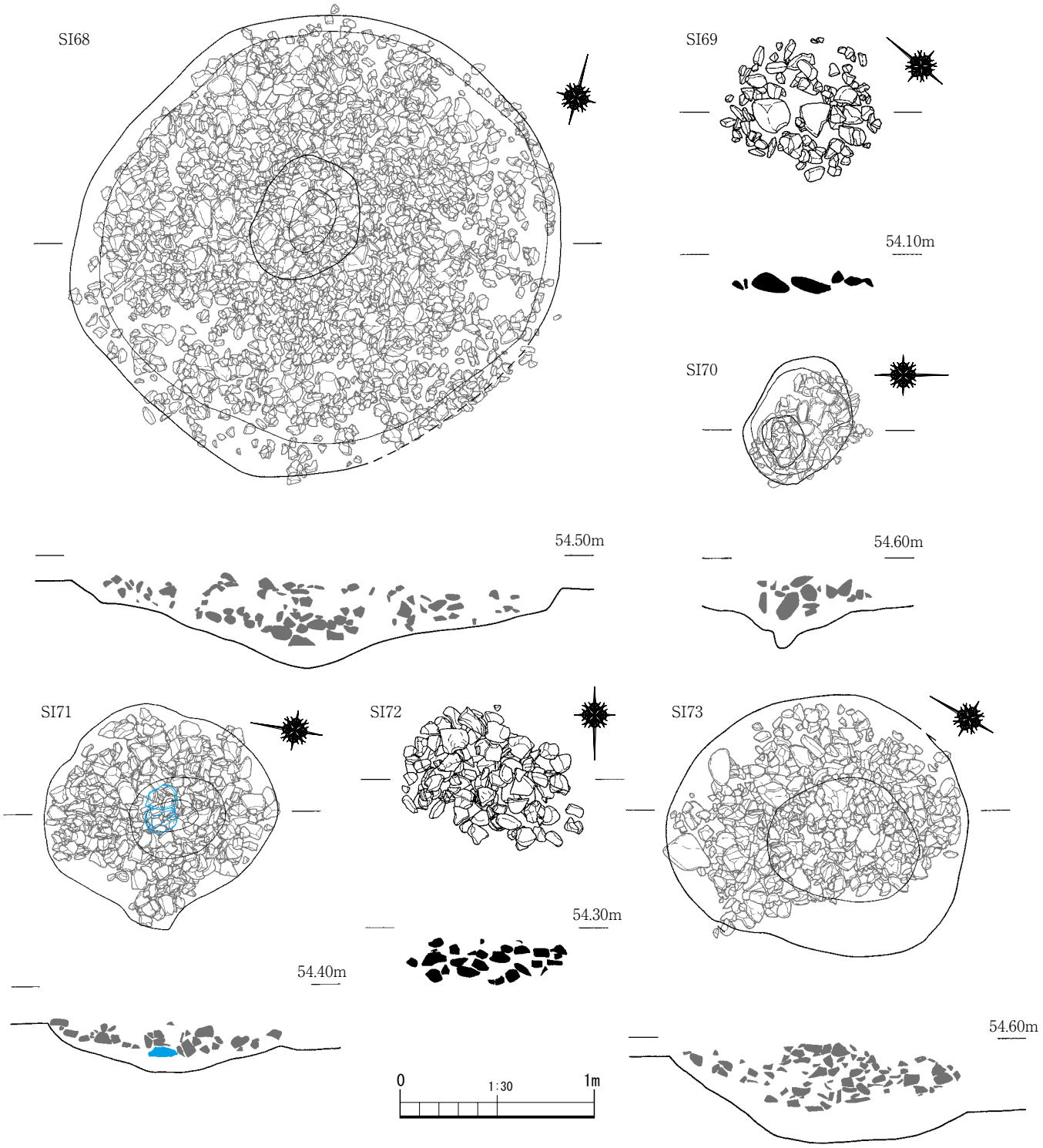
SI43は5a層上位で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。底石を除いた上部礫が全て拳大以下の小振りな礫で密集して充填されていた。凝灰岩製の敲石が出土した。

SI46は5a層で検出した。掘り込みは確認できなかったが、礫がレンズ状に配置されていた。出土遺物は押型文3類（8）が出土している。

SI52は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。礫が掘り込みの断面形に添わ



第40図　縄文時代早期集石遺構実測図⑦（S=1/30）



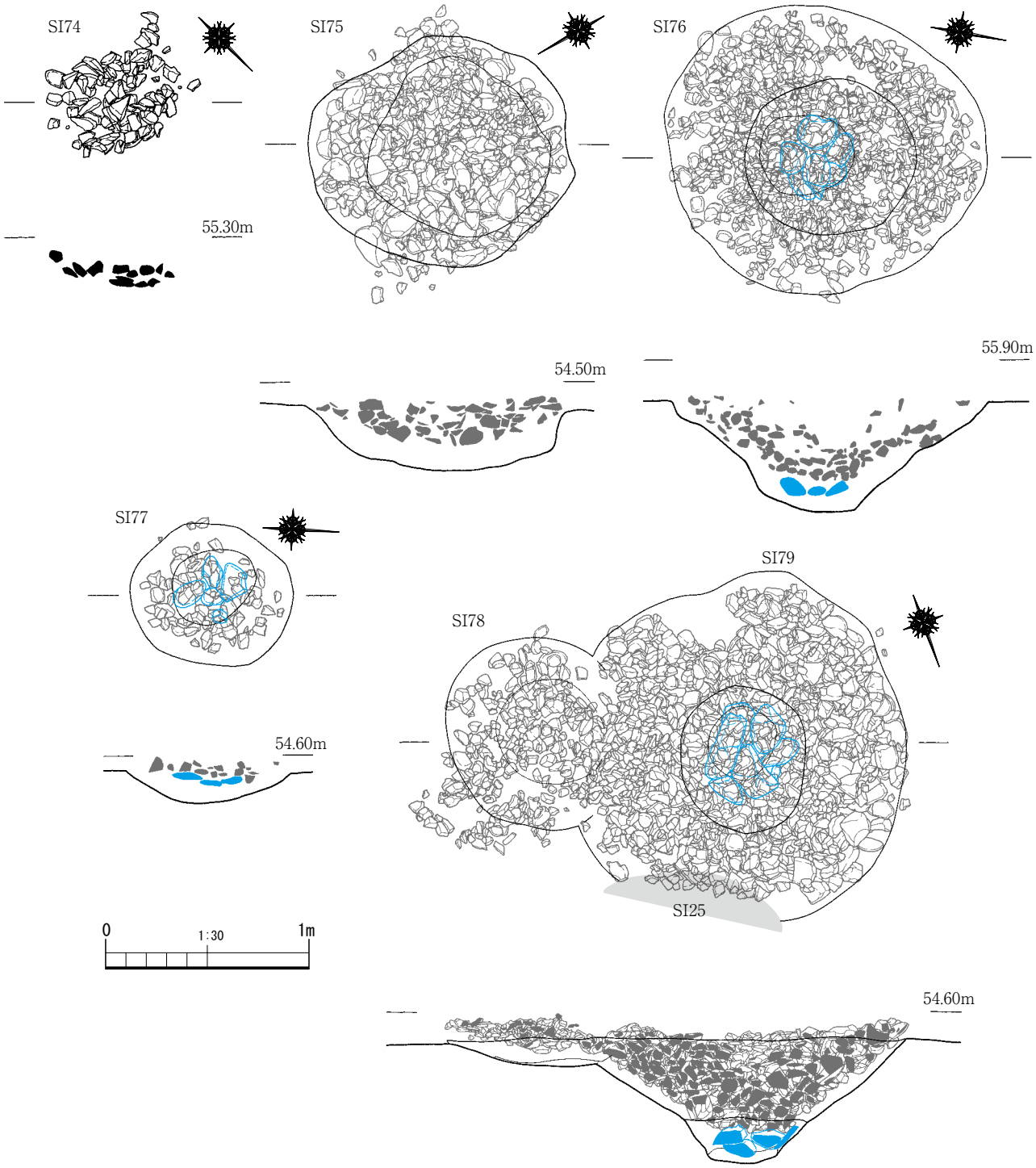
第41図　縄文時代早期集石遺構実測図⑧（S=1/30）

ず、直線的に配置される。出土遺物は押型文3類（9）が2点出土している。

SI55は5a層で検出した。掘り込みを確認できなかったが底石を検出している。出土遺物は押型文3類が2点と格子目押型文（10）が出土している。

SI57は5a層で検出した。2段掘りの掘り込みを有する。底石の配置されている範囲が1段低くなっている。周辺からSI56も検出しており、SI57のほうが低いレベルで検出している。押型文4類（11）と押型文3類が出土している。

SI58・59・144は5a層から検出した。SI58とSI59がSI144を切っている。SI58から押型文3類、

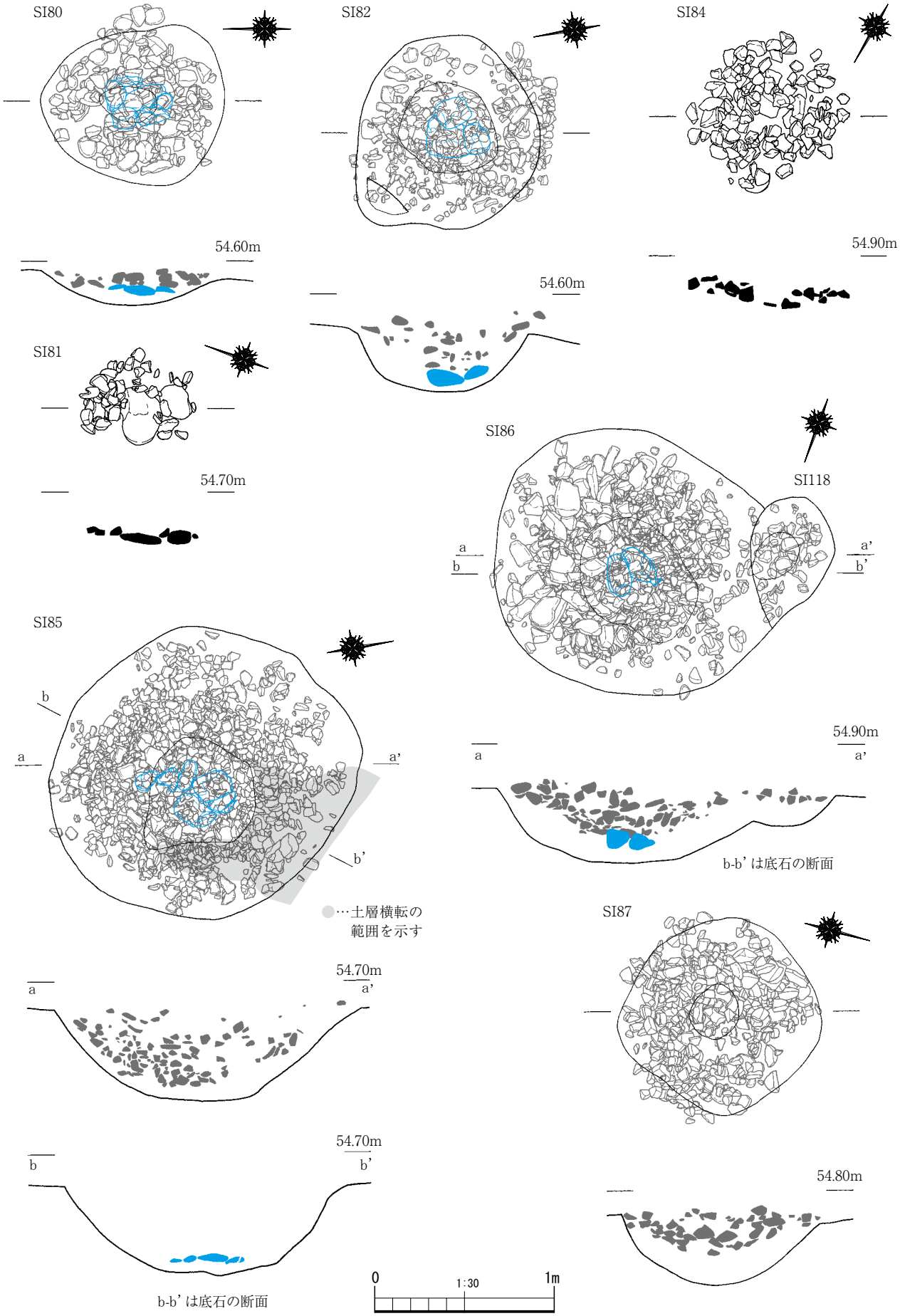


第42図　縄文時代早期集石遺構実測図⑨（S=1/30）

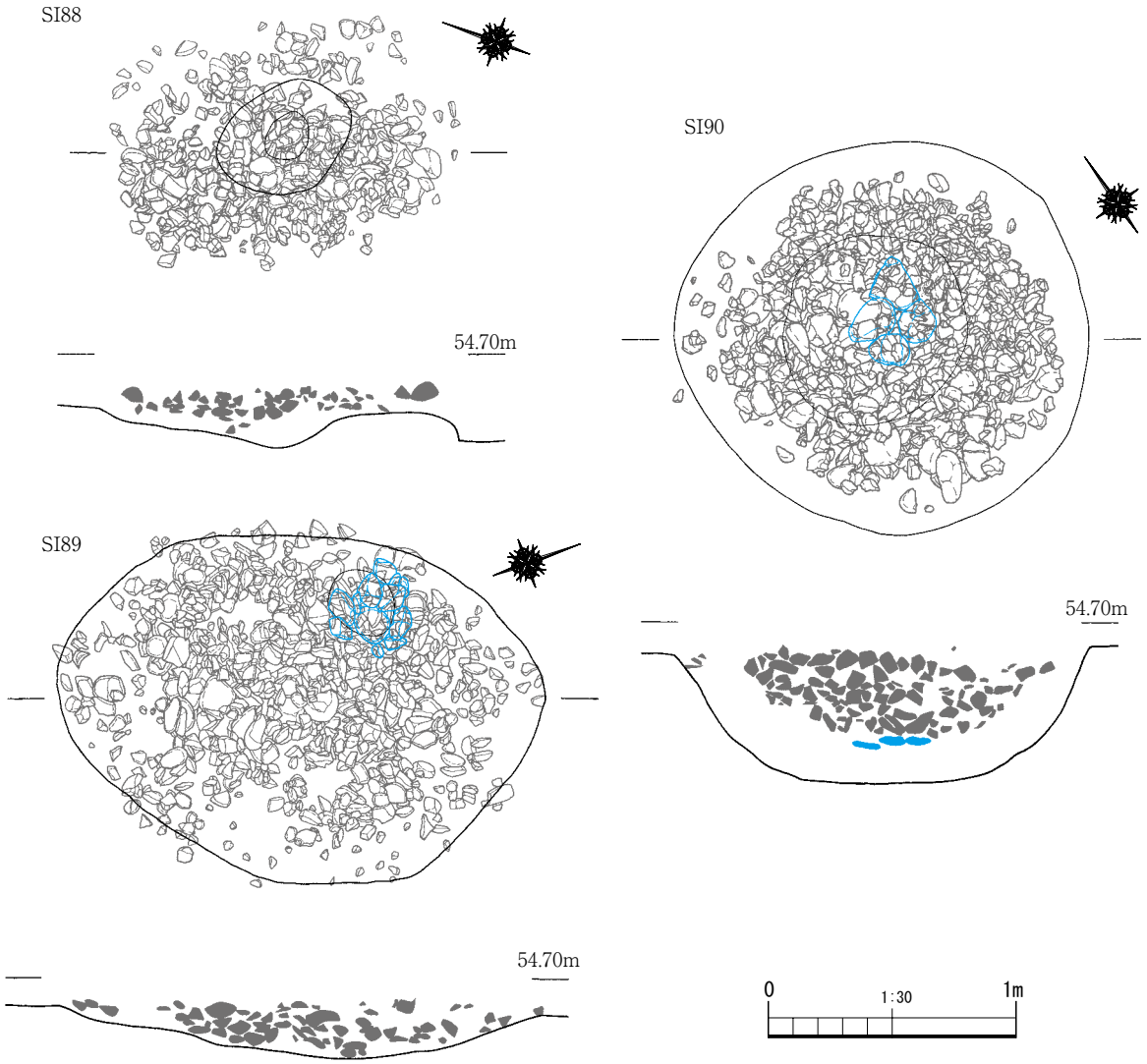
SI59から中原式（12）、押型文3類（13）、押型文4類（14）が出土している。

SI61は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。大半が拳大以下の礫で構成されていた。底石は中央で検出した扁平な礫を支えにして堀り込みに立てかけるように配置されていた。出土遺物は型式不明土器1点、西北九州産黒曜石製剥片1点が出土している。炭化物は補正年代で8115±30年BPの測定値が得られた。

SI67は5a層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。頁岩製石鏃3類（15）が出土している。炭化物は補正年代で8050±30年BPの測定値が得られた。



第43図　縄文時代早期集石遺構実測図⑩（S=1/30）



第44図　縄文時代早期集石遺構実測図⑪（S=1/30）

SI71は5b層で検出した。出土遺物は短枝回転押型文（16）が出土している。

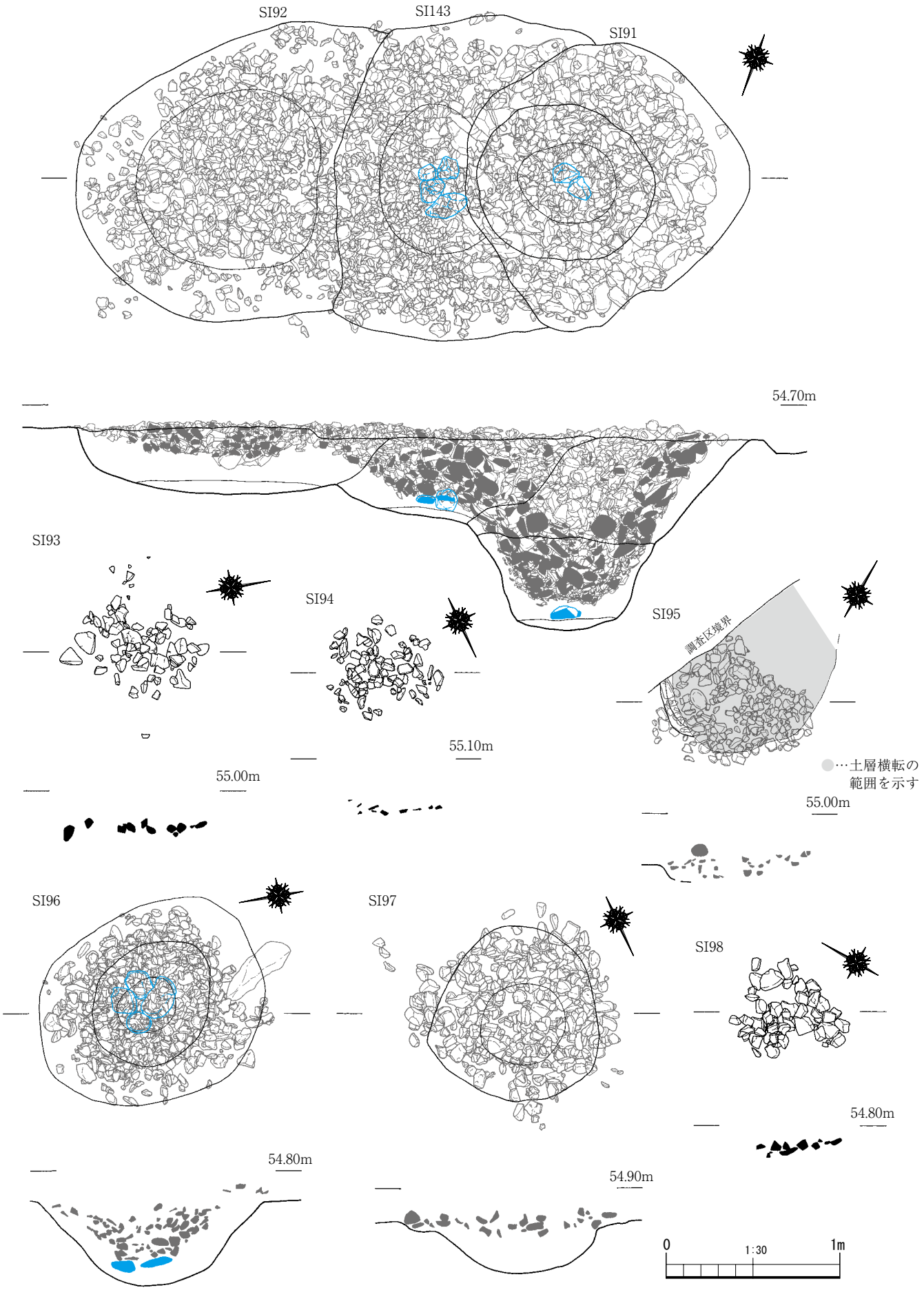
SI75は5b層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。出土遺物は下剥峯式（17）、押型文4類（18）、型式不明土器が出土している。

SI82は5a層で検出した。SI83を切っており、断面がボウル状の掘り込みを有する。出土遺物は砂岩製磨石（19）が出土している。

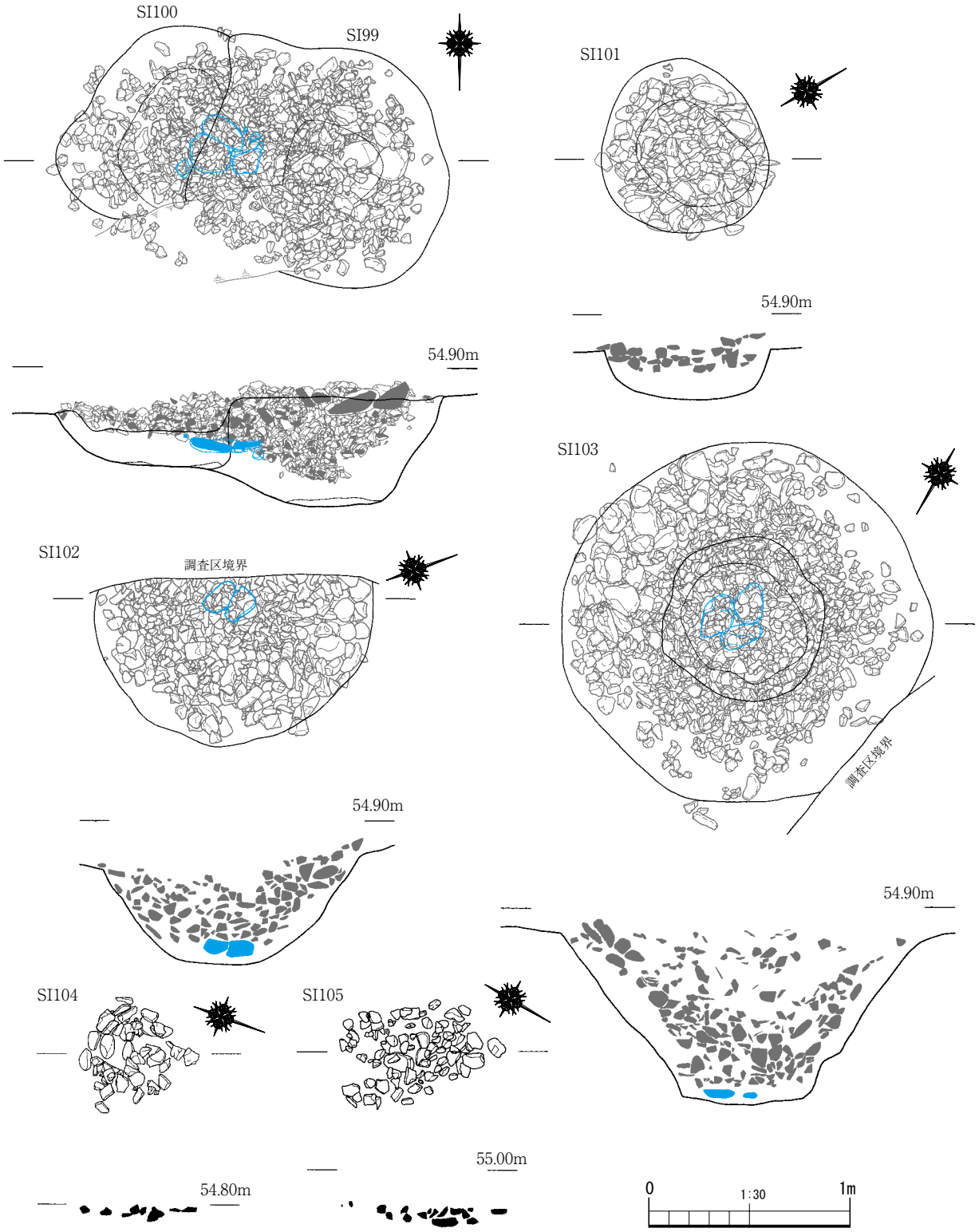
SI90は5b層で検出した。周辺が地層横転の影響を受けており、掘り込みの埋土が安定しなかった。出土遺物は押型文3類（20）、頁岩製剥片が出土している。

SI91・92・143は5a層で検出した。SI143がSI91・92に切られている。SI91は大振りな礫を外周に配置し、中央部が窪む形で拳大の礫が充填されている。掘り込みは小林軽石の固い層が抜けた地点から段をつけて掘削されている。出土遺物は押型文3類（21）2点が出土している。SI143は小形の礫が多く検出面ではっきり新旧関係を確認することができた。

SI99・100は5a層で検出した。SI99がSI100を切っており、両遺構とも断面がボウル状の掘り込みを有する。出土遺物はSI99とSI100の境界付近から桑ノ丸式（22）、押型文3類（23）、押型文2類（24）、桑ノ木津留産黒曜石製剥片が出土している。



第45図　縄文時代早期集石遺構実測図⑫（S=1/30）

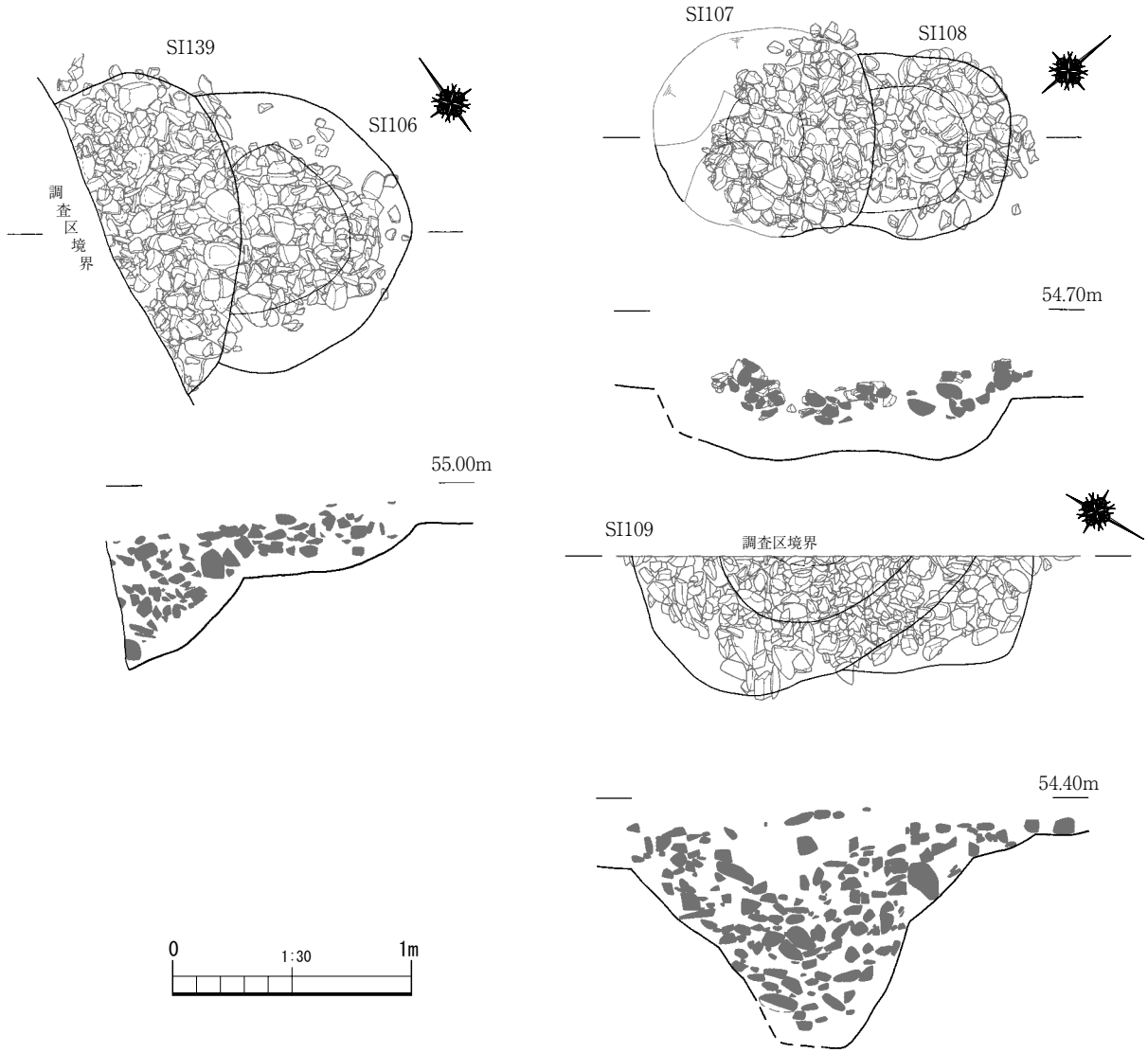


第46図　縄文時代早期集石遺構実測図⑬（S=1/30）

SI103は5a層で検出した。断面がV字状の掘り込みを有する。西側に大振りな礫が密集して配置される。出土遺物は押型文2類（25）、押型文3類（26～29）、桑ノ木津留産黒曜石製剥片が出土している。

SI107・108は5a層で検出した。南西側が地層横転の影響を受けており、礫が全く出土していない。SI107 がSI108を切っており、出土遺物は頁岩製剥片が出土している。

SI110は5a層で検出した。遺構の東側が調査区外に延びる。底面を検出できておらず、正確



第47図　縄文時代早期集石遺構実測図⑭（S=1/30）

な規模は不明である。掘り込みはSI91と同じく、小林軽石の層までは緩やかに傾斜し、ローム層から急傾斜で落ち込んでいる。出土遺物は押型文3類（30）が出土している。補正年代で炭化物①は8165±30年BP、黒色土壌②、③から8140±30年BP、7095±25年BPの測定値が得られた。

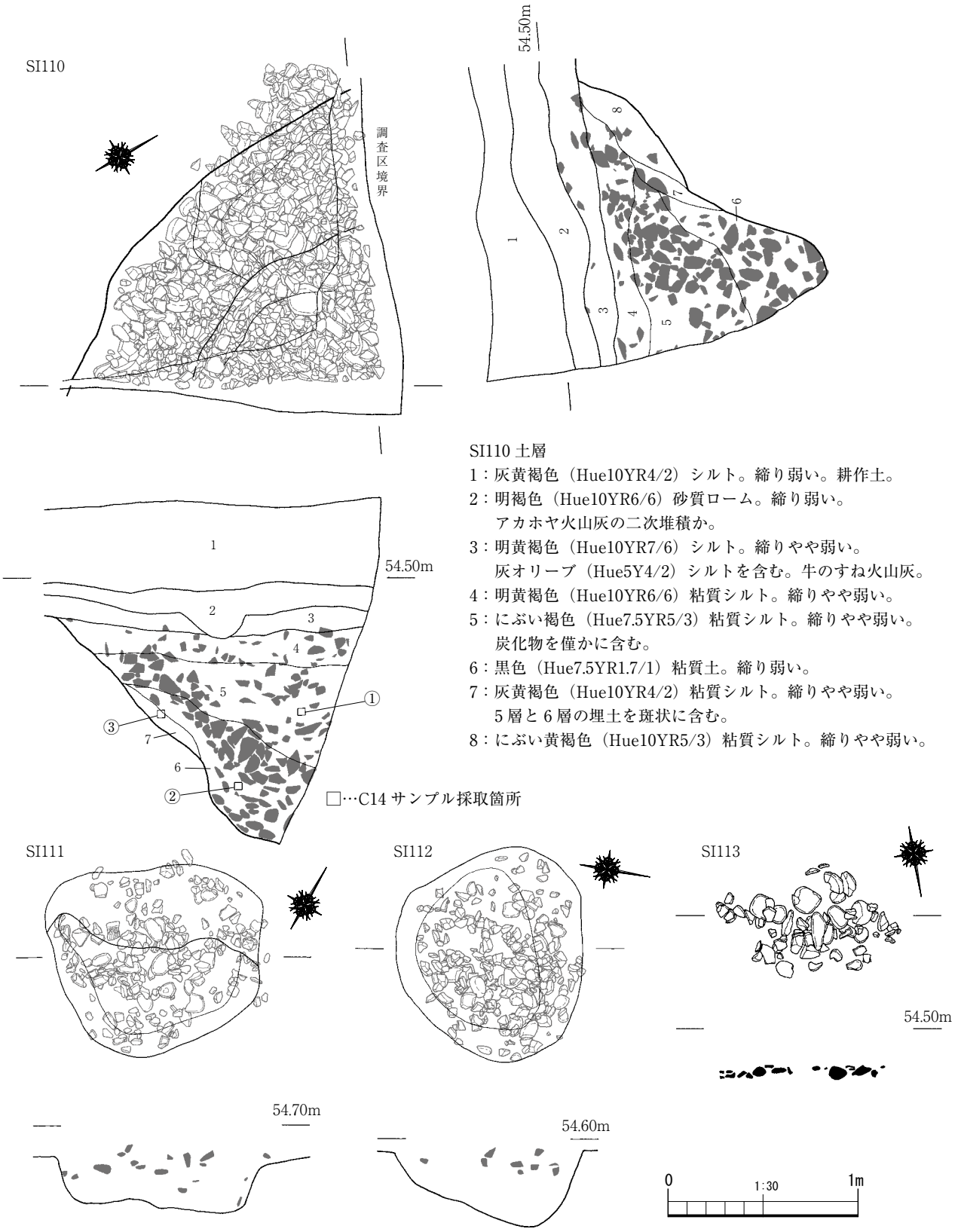
SI114は5b層から検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。出土遺物は押型文3類、砂岩製敲石が出土している。補正年代で炭化物は8020±30年BPの測定値が得られた。

SI120は5a層で検出した。SI75を切っている。出土遺物は押型文3類（31）、無文土器が出土している。

SI121は5a層で検出した断面がボウル状の掘り込みを有する。埋土は明確に黒ずんでいた。SI76に切られている。頁岩製尖頭状石器（32）が1点出土している。

SI122・123は5a層で検出した。両遺構とも断面がレンズ状の掘り込みを有する。SI122はSI123を切っている。SI123からは頁岩製剥片が1点出土している。

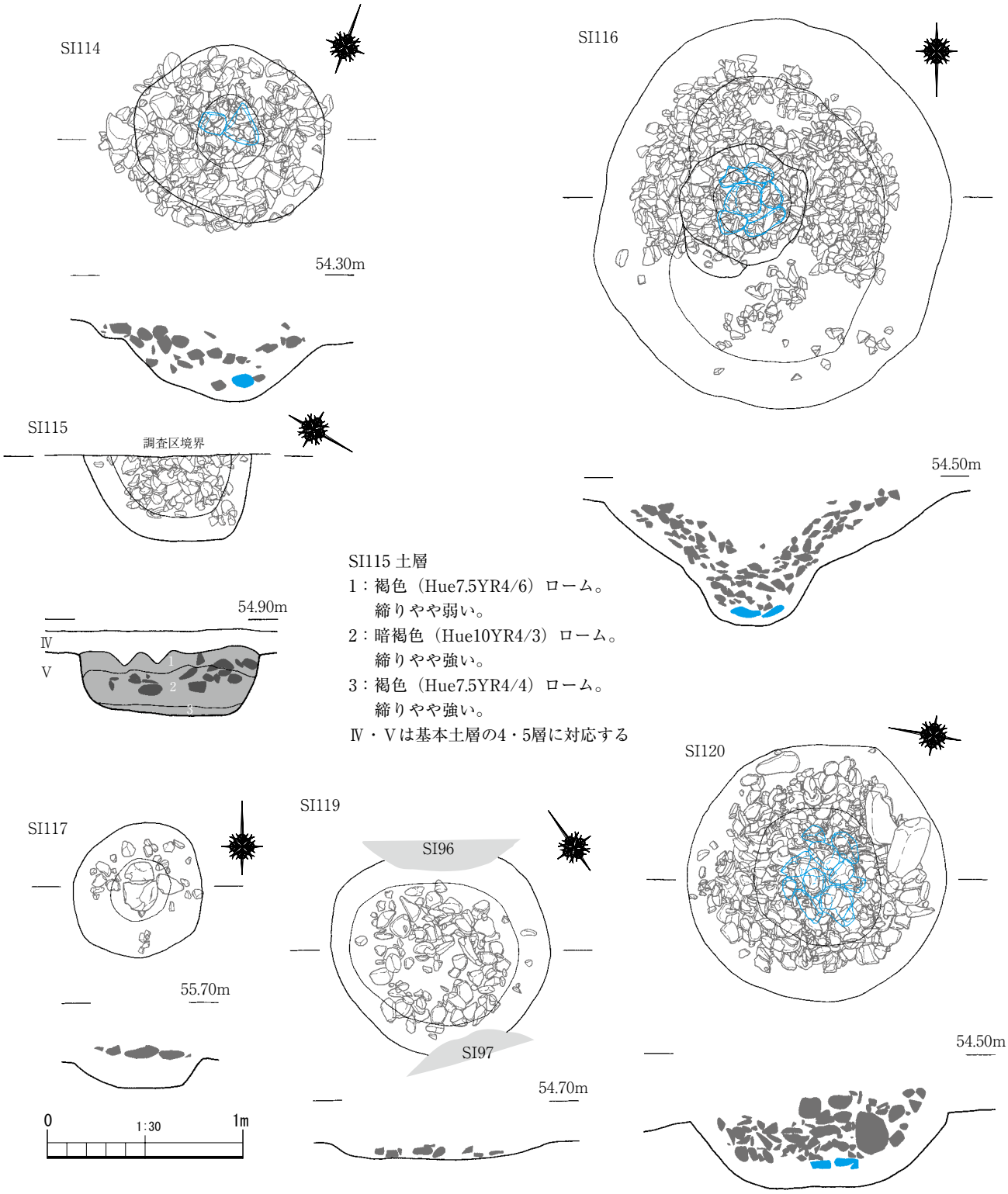
SI124･125･126は5a層で検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。SI124はSI125を切っている。断面形態ではSI125とSI126の切り合い関係は把握できなかったがSI125と比べSI126は礫が密集して充填されており、密集している範囲が平面プランで円形になることからSI126が



SI110 土層
1：灰黄褐色（Hue10YR4/2）シルト。締り弱い。耕作土。
2：明褐色（Hue10YR6/6）砂質ローム。締り弱い。
　アカホヤ火山灰の二次堆積か。
3：明黄褐色（Hue10YR7/6）シルト。締りやや弱い。
　灰オリーブ（Hue5Y4/2）シルトを含む。牛のすね火山灰。
4：明黄褐色（Hue10YR6/6）粘質シルト。締りやや弱い。
5：にぶい褐色（Hue7.5YR5/3）粘質シルト。締りやや弱い。
　炭化物を僅かに含む。
6：黒色（Hue7.5YR1.7/1）粘質土。締り弱い。
7：灰黄褐色（Hue10YR4/2）粘質シルト。締りやや弱い。
　5層と6層の埋土を斑状に含む。
8：にぶい黄褐色（Hue10YR5/3）粘質シルト。締りやや弱い。

第48図　縄文時代早期集石遺構実測図⑮（S=1/30）

SI125を切っていることが想定される。SI126の中央部からは礫が確認されなかった。礫のない中央部の周縁の礫は立った状態で配置されており、意図的に空白部を造った可能性がある。本遺構を検出する時も空白部の上位からは礫が確認されていない。SI126からは桑ノ木津留産黒曜石製石鏃6類（33）が1点出土している。

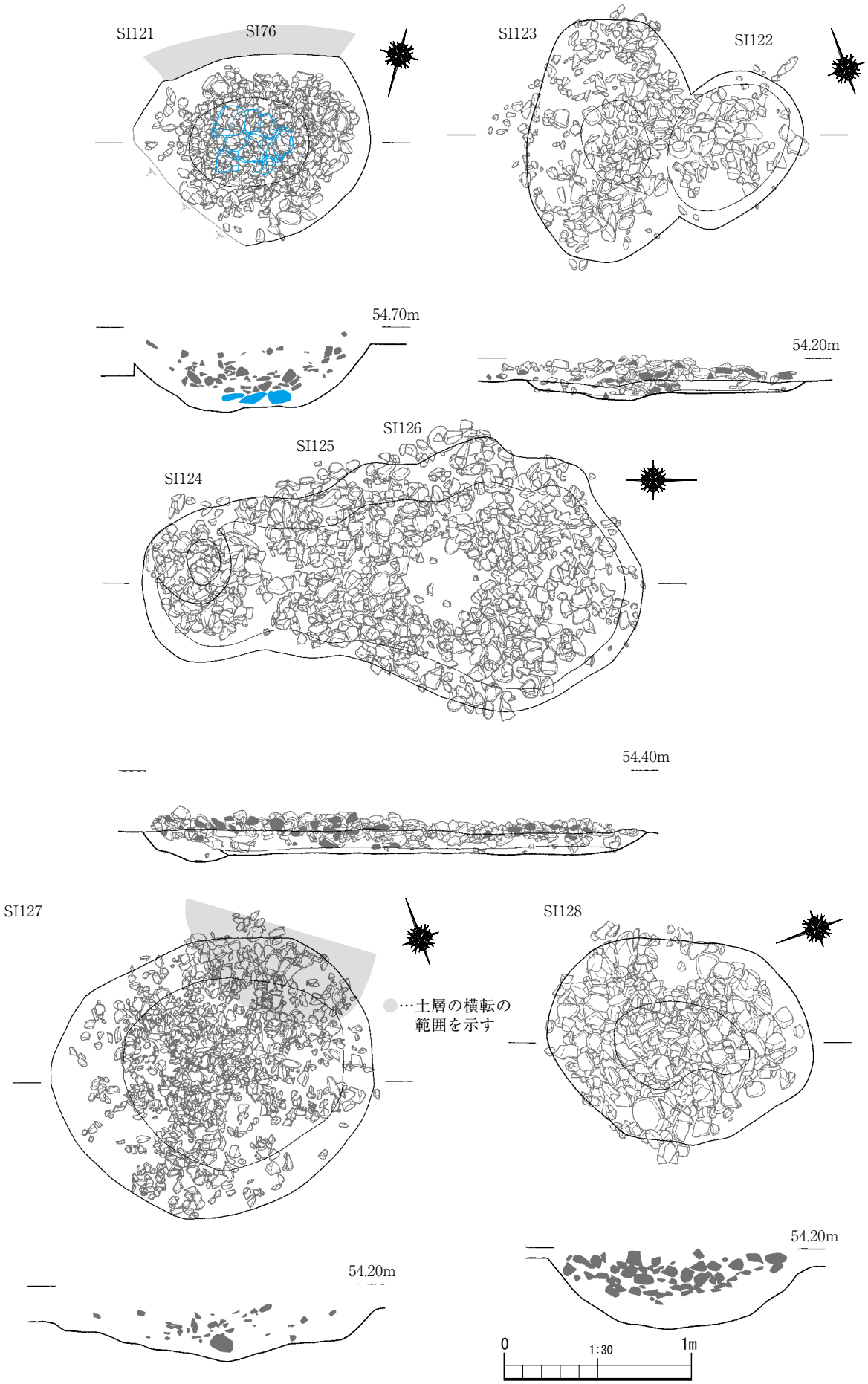


第49図　縄文時代早期集石遺構実測図⑯（S=1/30）

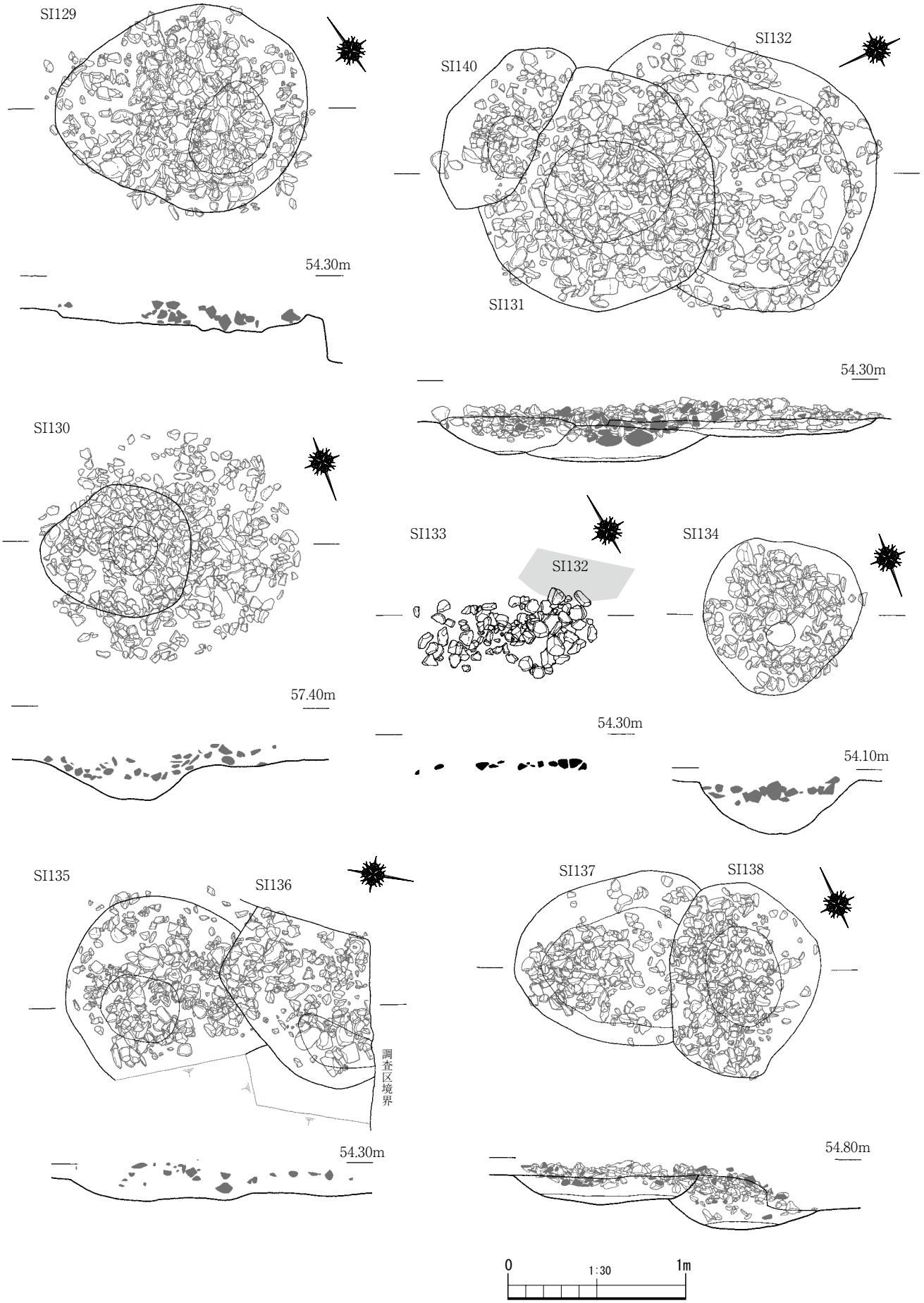
SI131･132･140は5a層で検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。SI131はSI132を切っており、SI140には切られている。SI131・140は埋土が明確に黒ずんでいた。出土遺物はSI131から押型文3類、砂岩製敲石1点が出土している。

SI134は5a層で検出した。断面がレンズ状の掘り込みを有する。中心部から礫は確認できなかった。出土遺物は砂岩製敲石（34）が1点出土している。

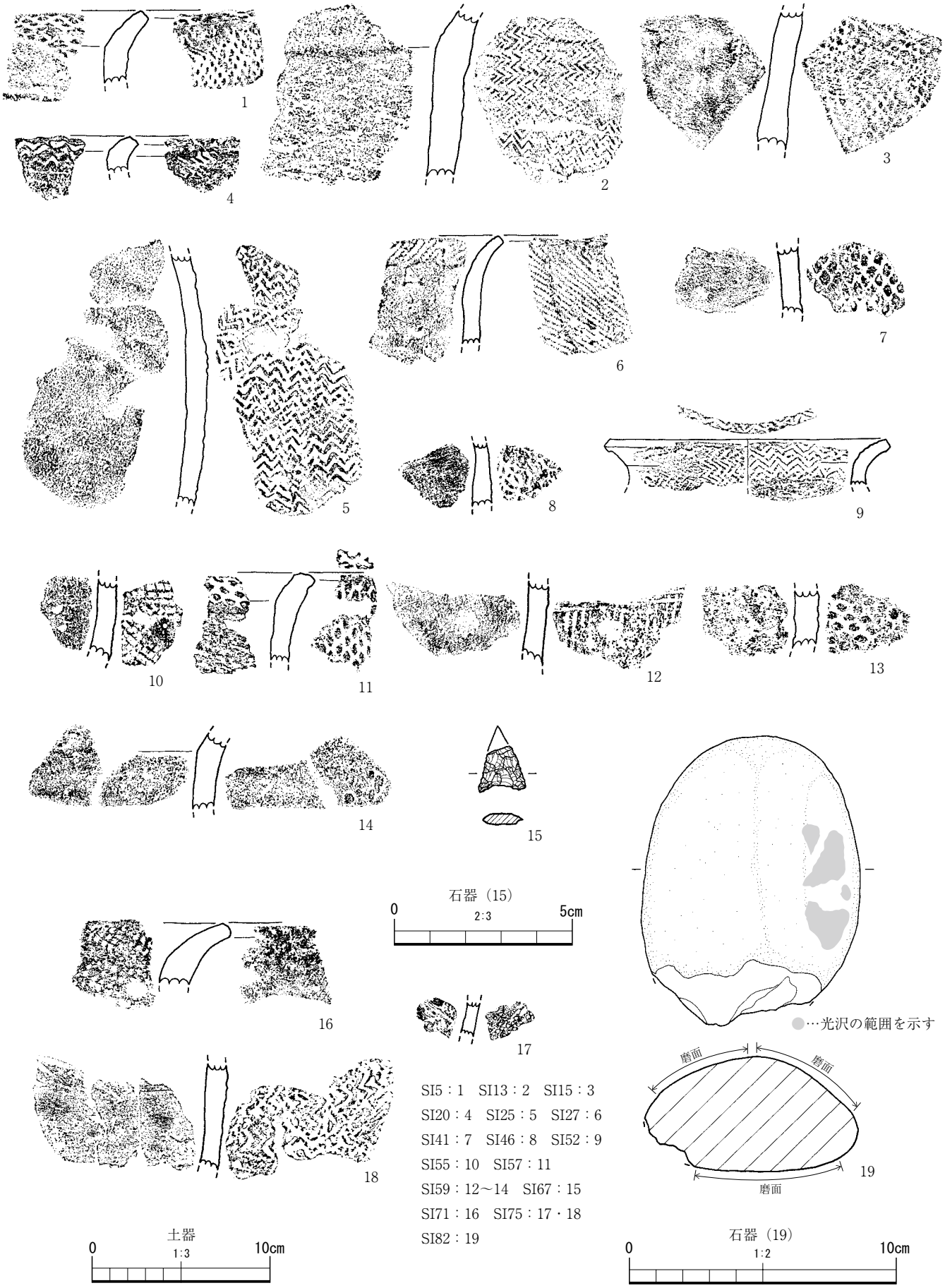
SI135・136は5b層で検出した。両遺構ともに断面がレンズ状の掘り込みを有する。SI136は



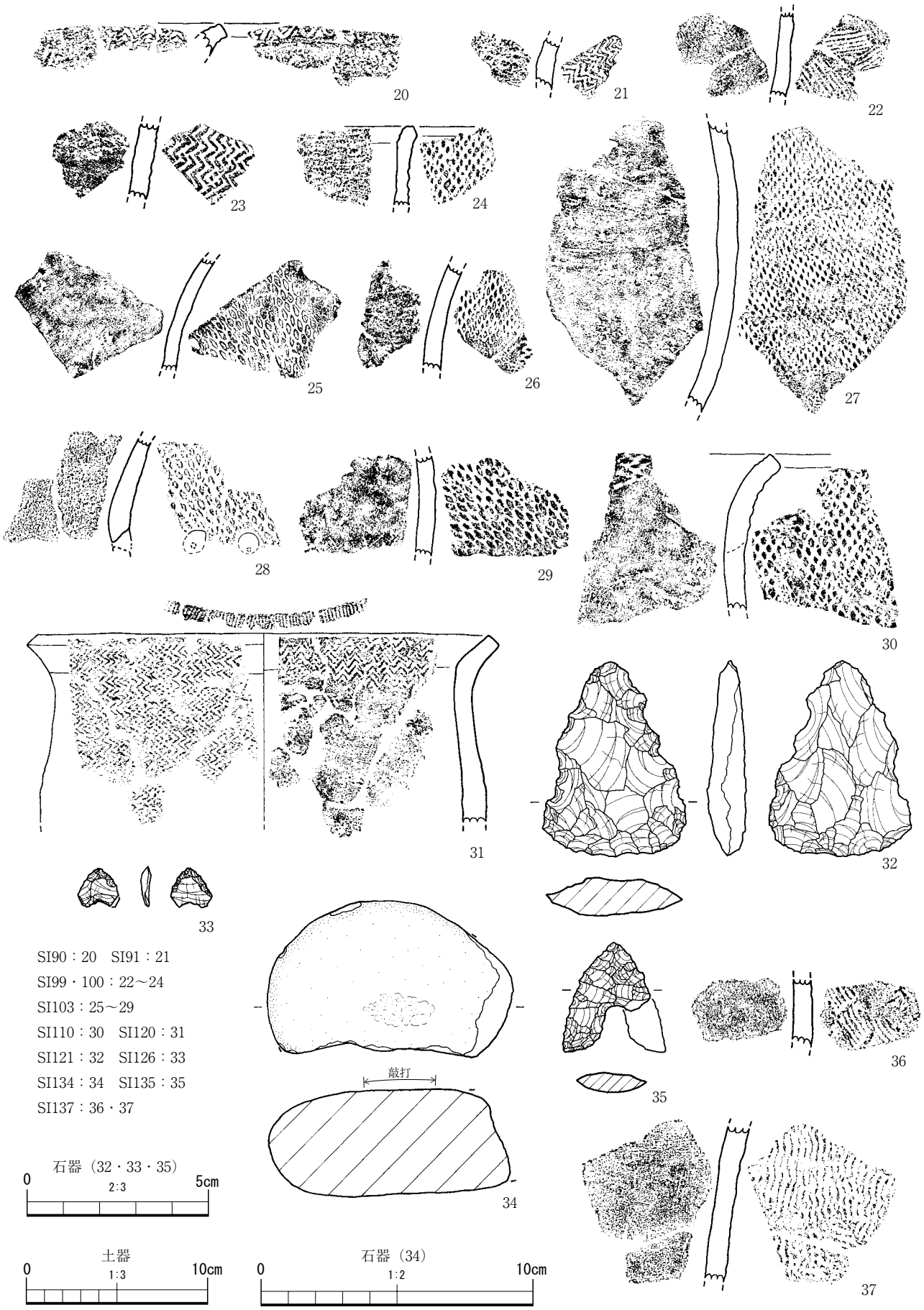
第50図　縄文時代早期集石遺構実測図⑰（S=1/30）



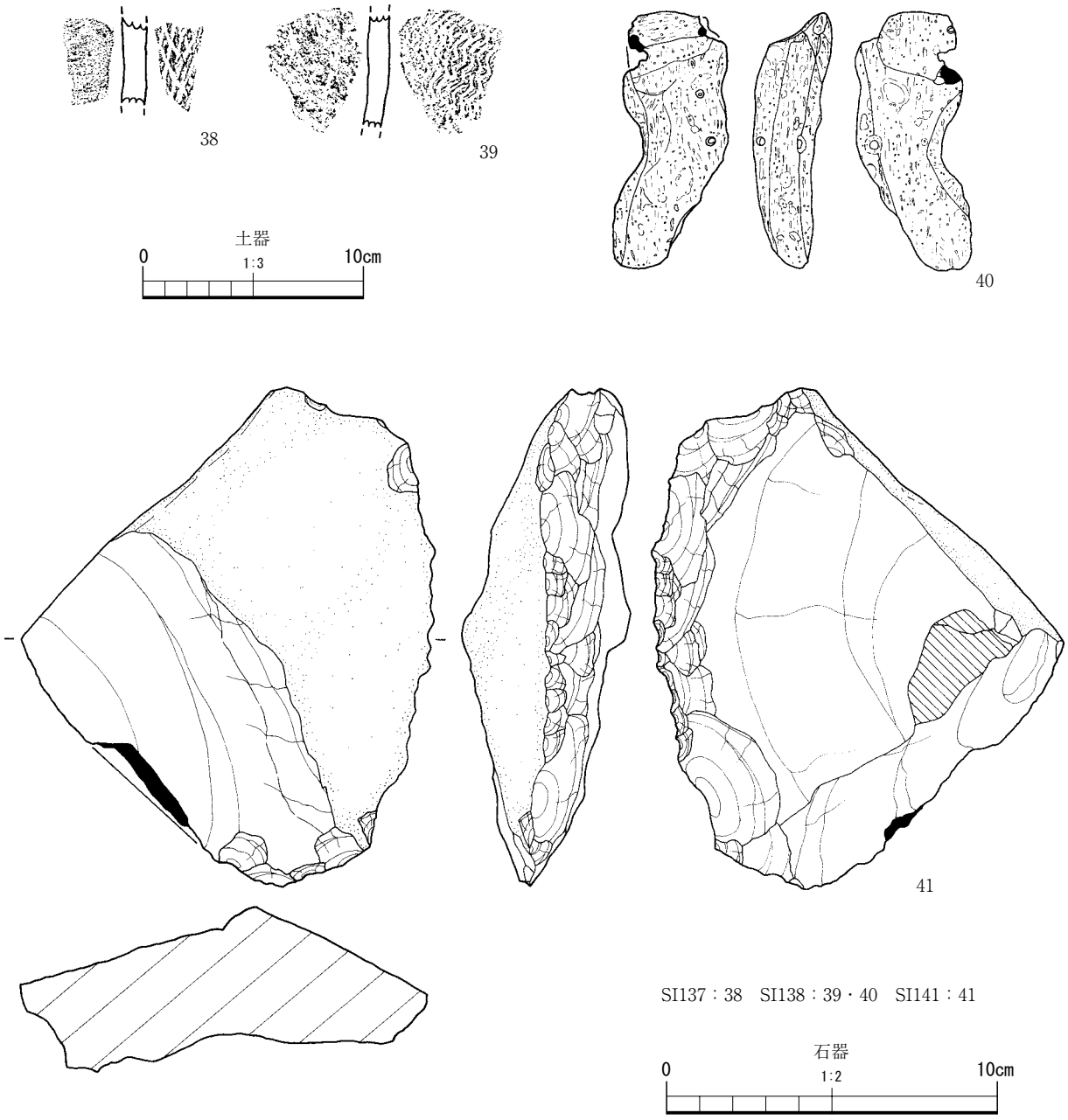
第51図　縄文時代早期集石遺構実測図⑱（S=1/30）



第52図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図①（S=1/3・2/3・1/2）



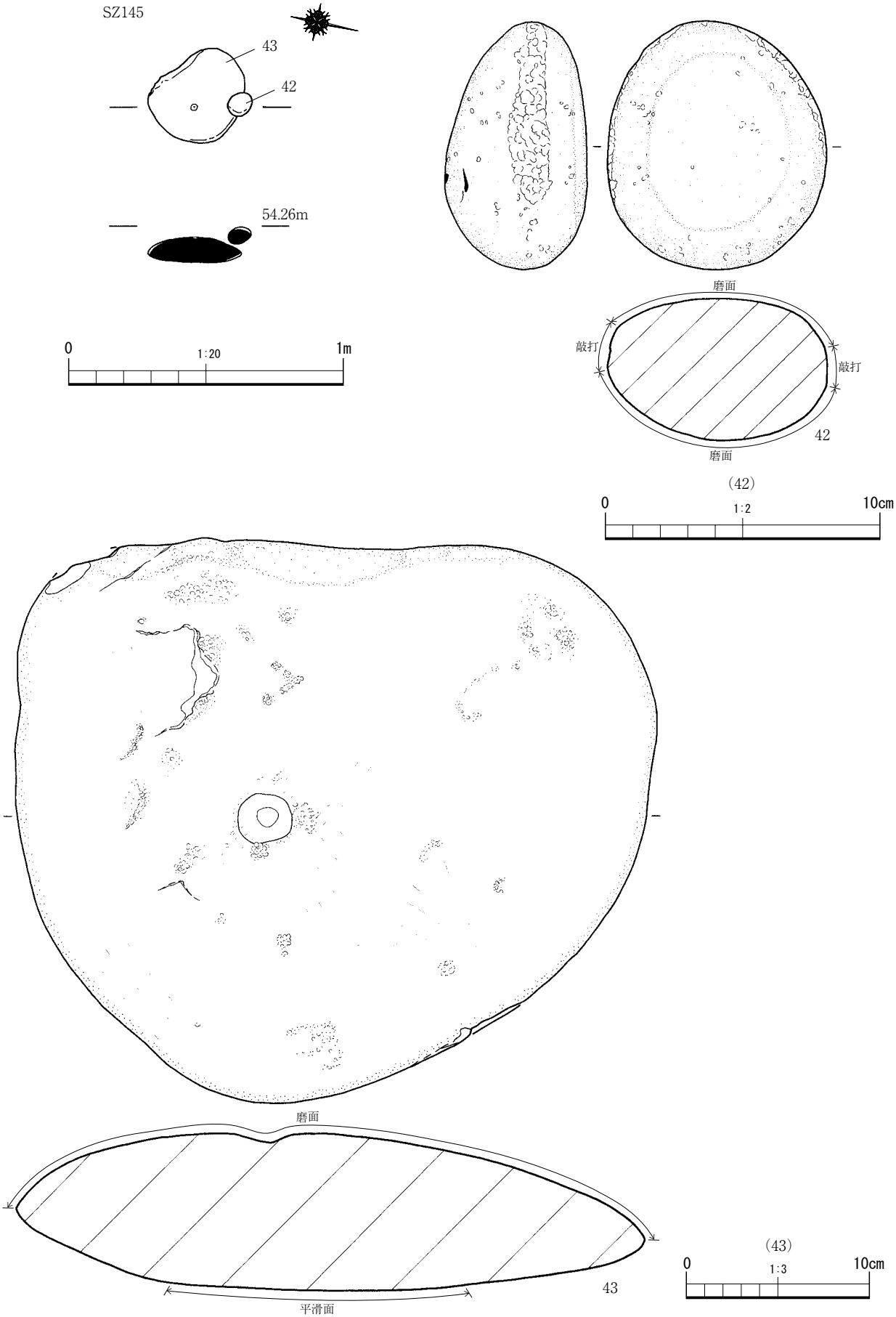
第53図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図②（S=1/3・2/3・1/2）



第54図　縄文時代早期集石遺構出土遺物実測図③（S=1/3・1/2）

SI135を切っており、SI110には切られている。SI135は誤って検出前に堀り込みの南側の一部を掘削してしまった。上部礫は拳大程の礫が配置され下部礫は指頭大の礫がまばらに検出された。玉髄製石鏃2類が1点出土している。炭化物は補正年代で8130±25年BPの測定値が得られた。SI136は大振りな礫が外周を囲むように配置され、中央部に小振りな礫が充填されている。

SI137・138は5a層で検出した。北側が地層横転の影響で礫が乱れており、明確に原位置から動いているものは図化しなかった。SI137・138ともに断面がレンズ状の掘り込みを有する。SI137はSI138を切っている。出土遺物は桑ノ丸式（36）、押型文3類、押型文4類（37）、塞ノ神A式（38）が出土している。SI138は押型文3類（39）、型式不明土器、軽石製品（40）が1点出土している。40は中央部の2箇所（1箇所未貫通）と、欠損部に2箇所の穿孔を確認した。研磨



第55図　SZ145（№42・43）出土状況（S=1/20）**及び実測図**（S=1/2・1/3）

により気泡を目立たなく成形している。

SI141は5b層下位で検出した。遺構の西側は調査区外に延びる。調査期間の都合上、その後の調査が行うことができなかった。不明土器片1点、砂岩製礫器（41）・敲石、頁岩製剥片が出土している。

その他の遺構

SZ145は敲石（42）と台石（43）がセットになって8グリッドの5a層で検出した。台石の上に磨石が置かれるような状況だったが、掘り込みは確認できなかった。周辺は土器の分布が希薄な状況とは対照的に、敲石などの石器が集中して出土している。42・43共に砂岩製で43の中央部には堅果類を割った痕跡と想定される窪みがある。

第10表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期集石遺構計測表①

掲載頁	遺構名	礫			掘り込み		底石		遺物の有無	C14 測定値（年BP）	備考
		範囲（m）	総礫数	総重量（kg）	規模（m）	深さ（m）	構成礫	総重量（kg）			
p.52	SI2	0.53×0.48	36	6.6	-	-	-	-			
	SI3	0.83×0.74	89	13.0	0.81×0.71	0.08	-	-		8050±30	
	SI4	0.93×0.91	626	89.6	1.03×1.00	0.33	-	-		7935±30	
	SI5	0.84×0.71	235	35.5	0.92×0.75	0.24	2	-	○		
	SI6	0.60×0.46	63	13.5	0.59×0.40	0.18	-	-			SI142と切り合う
	SI7	1.12×0.67	47	15.2	-	-	-	-			
	SI9	0.70×0.62	86	12.1	-	-	-	-			
	SI11	0.91×0.92	115	23.0	0.96×0.87	0.25	-	-			
	SI13	0.92×0.83	171	30.8	0.85×0.76	0.21	-	-	○		
	SI14	1.45×1.19	375	57.6	-	-	-	-			
	SI15	0.87+α×0.69	116	20.8	0.89+α×0.68	0.13+α	-	-	○		
	SI16	1.31×0.71+α	787	94.9	1.30×1.28+α	0.22	-	-			
p.53	SI17	1.54×1.21	821	90.2	1.21+α×1.50	0.35	8	7.0			SI18と切り合う
	SI18	1.13×1.10	861	186.2	1.10×1.07	0.60	8	7.0			SI17と切り合う
	SI19	1.04×0.90	215	23.5	0.99×0.90	0.16	-	-			
	SI20	1.31×1.23	670	77.8	1.48×1.36	0.32	-	-	○		
	SI21	1.52×1.24	482	18.2	1.21×1.24	0.22	-	-			
	SI22	0.72×0.63	-	-	0.79×0.66	0.13	-	-			
	SI23	0.49×0.45	44	5.0	0.58×0.49	0.13	-	-			
p.54	SI24	1.01×1.11	521	35.5	1.01×1.05	0.22	-	-			
	SI25	1.94×1.63	1995	321.4	1.52+α×0.15	0.34	9	10.2	○		SI79・SI83と切り合う
	SI26	0.65×0.50	96	11.0	0.69×0.58	0.12	-	-			
	SI27	1.21×0.96	680	103.2	1.13×1.01	0.43	5	3.0	○		
	SI28	0.50×0.42	72	7.3	0.46×0.38	0.08	-	-			
	SI29	0.87×0.88	350	97.5	0.97×0.95	0.37	5	4.9		8125±25	
	SI30	1.07×0.56	141	23.2	-	-	-	-			
	SI31	1.53×1.40	761	108.4	1.46×1.22	0.24	-	-			
	SI32	1.17×1.07	538	77.1	1.12×1.08	0.24	-	-			
p.55	SI33	1.00×1.06	176	30.3	0.90×0.87	0.23	-	-			
	SI34	0.99×0.60	117	25.8	1.02×0.71	0.10	-	-			
	SI35	1.55×1.53	1390	227.0	1.55×1.31	0.45	8	5.4			
	SI37	1.82×1.51	932	128.0	1.77×1.52	0.24	5	9.0			
	SI38	1.13×0.89	335	39.9	1.05×0.96	0.09	-	-			
	SI39	1.30×0.82	190	23.0	0.99×0.92	0.31	-	-			
	SI40	1.42×1.10	562	48.6	1.35×1.25	0.46	5	5.5			
	SI41	1.04×0.83	403	64.1	1.06×1.03	0.36	1	2.6	○	7925±30	
p.56	SI42	1.44×1.15	341	90.2	1.21×1.11	0.26	-	-			
	SI43	1.77+α×1.33+α	1469	113.5	1.79×1.35+α	0.54	18	9.9			
	SI45	0.65×0.61	116	15.5	0.69×0.63	0.12	-	-			

第11表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期集石遺構計測表②

掲載頁	遺構名	礫			掘り込み		底石		遺物の有無	C14測定値（年BP）	備考
		範囲（m）	総礫数	総重量（kg）	規模（m）	深さ（m）	構成礫	総重量（kg）			
p.56	SI46	1.20×0.82	534	73.0	-	-	2	-	○		
	SI47	1.00×0.94	396	45.5	1.05×0.99	0.18	-	-			
	SI48	1.48×1.17	-	-	1.25×1.00	0.17	-	-			
	SI49	1.16×1.11	662	82.7	1.23×1.20	0.33	-	-			
	SI51	0.96×0.66	123	26.8	-	-	-	-			
	SI52	1.23×1.01	-	-	1.23×1.1.05	0.25	-	-	○		横転の影響を受ける
p.57	SI55	0.65×0.56	110	17.4	-	-	6	-	○		
	SI56	1.29×1.07	613	91.5	1.13×1.22	0.29	9	14.0			
	SI57	1.73×1.49	1605	192.3	1.68×1.50	0.49	6	12.3	○		
	SI58	0.98+α×1.40	771	91.8	0.95+α×1.11	0.21	3	6.2			SI144と切り合う
	SI59	1.58×1.53	2570	243.2	1.57×1.54	0.41	6	8.3	○		SI144と切り合う
	SI60	0.60×0.53	87	15.6	-	-	-	-			
p.58	SI61	1.27×1.14	1310	117.6	1.35×1.28	0.57	7	32.6		8115±30	
	SI62	1.27×1.25	3431	414.2	1.22×1.23	0.91	-	-			
	SI63	1.07+α×0.97	1384	147.7	1.20+α×1.01	0.51	-	-			SI64と切り合う
	SI64	1.47+α×1.24	3205	276.4	1.46+α×1.30	0.41	6	7.3			SI63と切り合う
	SI65	0.68×0.82	221	19.5	1.10×1.14+α	0.30+α	5	3.1			SE1と切り合う
	SI66	0.88×0.88	111	21.9	1.14×0.96	0.27	-	-			
	SI67	1.11×1.19	628	102.5	1.26×1.01	0.38	-	-	○	8050±30	
p.59	SI68	2.62×2.33	3251	393.0	2.60×2.35	0.44	-	-			
	SI69	0.84×0.74	135	22.3	-	-	-	-			
	SI70	0.65×0.50	140	30.9	0.60×0.56	0.22	-	-			樹根の影響を受ける
	SI71	1.21×1.09	711	98.4	1.21×1.16	0.20	2	4.0	○		
	SI72	1.01×0.68	199	58.7	-	-	-	-			
	SI73	1.58×1.05	1273	208.8	1.57×1.36	0.31	-	-			
p.60	SI74	0.77×0.66	102	18.3	-	-	-	-			
	SI75	1.25×1.24	1222	168.4	1.33×1.14	0.30	-	-	○		SI120と切り合う
	SI76	1.55×1.38	2030	160.3	1.61×1.42	0.57	8	13.8			SI121と切り合う
	SI77	0.72×0.60	80	12.1	0.81×0.69	0.16	5	-			総重量に底石の重量含む
	SI78	1.01+α×0.87	315	25.0	0.73+α×0.97	0.13	-	-			SI79と切り合う
	SI79	1.65+α×1.59	3267	515.4	1.70+α×1.69	0.62	7	22.8			SI25・SI78と切り合う
p.61	SI80	1.01×0.90	217	43.9	1.04×0.90	0.17	8	-			総重量に底石の重量含む
	SI81	0.69×0.57	52	15.0	-	-	-	-			
	SI82	1.18×1.00	527	38.2	1.12×1.07	0.34	3	14.5	○		SI83と切り合う
	SI83	0.56×0.47	154+α	15.1+α	0.47+α×1.01	0.06	-	-			SI25・SI82と切り合う
	SI84	0.92×0.86	143	30.8	-	-	-	-			
	SI85	1.71×1.50	2480	176.7	1.77×1.64	0.51	7	9.5			
	SI86	1.42+α×1.38	1780	196.4	1.49+α×1.47	0.40	3	-			SI118と切り合う
	SI87	1.19×1.12	654	70.3	1.15×1.09	0.37	-	-			
p.62	SI88	1.42×1.10	599	52.0	0.58×0.43	0.10	-	-			
	SI89	2.01×1.41	1307	159.0	1.99×1.41	0.19	8	-			総重量に底石の重量含む
	SI90	1.57×1.49	2009	247.9	1.69×1.60	0.54	4	5.4	○		
p.63	SI91	1.61+α×1.62	7667	1088.6	1.64×1.65	1.11	2	2.7	○		SI143と切り合う
	SI92	1.81+α×1.64	2255	242.2	1.82×1.66	0.35	-	-			SI143と切り合う 総礫数と総重量はSI143との合計
	SI93	0.87×1.01	83	13.4	-	-	-	-			
	SI94	0.68×0.56	113	8.1	-	-	-	-			
	SI95	0.92×0.71	468	39.8	-	-	-	-			横転の影響を受ける
	SI96	1.53×1.11	1216	112.0	1.32×1.13	0.48	4	9.0			SI119と切り合う
	SI97	1.62×1.09	461	63.1	1.00×1.03	0.31	-	-			SI119と切り合う
	SI98	0.68×0.58	68	13.1	-	-	-	-			
p.64	SI99	1.28+α×1.16	1757	117.1	1.26×1.20	0.55	8	7.0	○		SI100と切り合う
	SI100	0.84+α×0.98	531	31.1	0.83×0.86	0.33	-	-	○		SI99と切り合う

第12表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期集石遺構計測表③

掲載頁	遺構名	礫			掘り込み		底石		遺物の有無	C14 測定値 (年BP)	備考
		範囲 (m)	総礫数	総重量 (kg)	規模 (m)	深さ (m)	構成礫	総重量 (kg)			
p.64	SI101	0.93×0.84	370	61.1	0.88×0.83	0.25	-	-			
	SI102	1.39×0.84+α	1303	126.5	1.40×0.85+α	0.56	2	5.0			
	SI103	1.77×1.87	5590	523.2	1.85×1.80	0.88	3	5.7	○		
	SI104	0.60×0.53	54	8.0	-	-	-	-			
	SI105	0.85×0.47	115	17.3	-	-	-	-			
p.65	SI106	0.75+α×0.93	-	-	0.72+α×1.17	0.20	-	-			SI139と切り合う
	SI107	0.73×0.88	-	-	0.94×0.87	0.28	-	-			SI108と切り合う
	SI108	0.66+α×0.77	-	-	0.58+α×0.81	0.26	-	-			SI107と切り合う
	SI109	1.90×0.61	1433	173.75	1.69×0.59	0.83	-	-			
p.66	SI110	2.06+α×1.38+α	4997	500.3	1.72+α×1.62+α	1.17+α	-	-	○	①8165±30 ②8140±30 ③7095±25	SI136と切り合う
	SI111	1.20×1.10	-	-	1.15×1.05	0.26	-	-			横転の影響を受ける
	SI112	0.86×1.05	325	25.0	1.06×1.07	0.40	-	-			
	SI113	0.99×0.57	116	16.3	-	-	-	-			
p.67	SI114	1.22×1.04	378	83.7	1.01×0.86	0.27	2	4.8		8020±30	
	SI115	0.79×0.37	86	13.8	0.87×0.44	0.32	-	-			
	SI116	1.47×1.38	1728	179.0	2.01×1.80	0.66	6	9.9		8190±30	樹根の影響を受ける
	SI117	0.60×0.58	43	7.6	0.68×0.70	0.15	-	-			
	SI118	0.52+α×0.65	48	3.9	0.47×0.72	0.18	-	-			SI86と切り合う
	SI119	0.94×0.79+α	152	19.5	1.13×0.94+α	0.10	-	-			SI96・SI97と切り合う
	SI120	1.30×1.15	1299	230.9	1.34×1.31	0.36	10	13.9	○		SI75と切り合う
p.68	SI121	1.16×0.97	1270	72.0	1.27×1.03	0.31	11	10.8	○		SI76と切り合う
	SI122	1.05×0.64+α	193	14.9	0.88×0.66+α	0.07	-	-			SI123と切り合う
	SI123	1.45×1.08	345	39.1	1.31×0.97	0.09	-	-			SI122と切り合う
	SI124	0.65+α×0.74	203	16.0	0.62+α×0.83	0.16	-	-			SI125と切り合う
	SI125	0.52+α×0.93+α	261	27.7	0.55+α×1.03+α	0.12	-	-			SI124・SI126と切り合う
	SI126	1.42×1.62	760	71.9	1.52×1.46	0.12	-	-	○		SI125と切り合う
	SI127	1.70×1.65	1260	52.7	1.27×1.49	0.24	-	-		8440±30	
	SI128	1.41×1.27	1028	157.6	1.45×1.10	0.36	-	-		8170±25	
p.69	SI129	1.56×1.20	724	68.6	1.44×1.19	0.10	-	-			
	SI130	1.50×1.31	515	64.9	0.85×0.99	0.22	-	-			
	SI131	1.35+α×1.21+α	711	121.3	1.33+α×1.36+α	0.20	-	-		8540±30	SI132・SI140と切り合う 総礫数と総重量はSI140との合計
	SI132	1.01+α×1.61	365	50.7	0.95+α×1.63	0.10	-	-			SI131と切り合う
	SI133	1.05×0.52	114	16.0	-	-	-	-			SI132と切り合う
	SI134	0.95×0.85	220	25.9	0.91×0.90	0.30	-	-	○		
	SI135	1.11+α×1.02+α	509	31.4	0.98×1.01+α	0.10+α	-	-		8130±25	SI136と切り合う
	SI136	0.85+α×0.81+α	221	16.4	0.85+α×0.90+α	0.02+α	-	-			SI110・SI135と切り合う
	SI137	0.82+α×0.84	244	19.4	0.96+α×0.99	0.17	-	-	○		SI138と切り合う
	SI138	0.89+α×1.05	467	25.8	0.86×1.10	0.27	-	-	○		SI137と切り合う
	SI139	0.57+α×1.49	-	-	0.61+α×1.32	0.54+α	-	-			SI106と切り合う
	SI140	0.65+α×0.69+α	-	-	0.58+α×0.79+α	0.17	-	-			SI131と切り合う
p.165	SI141	-	-	-	0.59+α×1.62+α	-	-	-	○		写真のみ
p.52	SI142	-	-	-	-	-	-	-			SI6と切り合う
p.63	SI143	0.77+α×1.80	-	-	1.50+α×1.85	0.50	4	7.0			SI91・SI92と切り合う
p.57	SI144	0.65+α×1.01	-	-	0.63+α×0.85	0.11	-	-			SI58・SI59と切り合う

第13表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺構内出土土器観察表

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土（上：mm 下：量） A	B	C	備考	実測 番号
p.70 第52図	1	SI5	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文	楕円押型文 （剥落有）	1 多	1 少		3類 口唇部楕円押型文	122
	2	SI13	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR4/2	灰黄 2.5Y6/2	良好	山形押型文	ナデ	2 多		1 僅	4類	517
	3	SI15	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	楕円押型文	ナデ	2 少	2 僅		3類	123
	4	SI20	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 7.5YR4/1	黄褐 2.5Y5/4	良好	山形押型文	山形押型文 ナデ	1 僅	1 僅		3類 口唇部山形押型文	518
	5	SI25+5層 ＋4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄橙 10YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	1 多			3類	519
	6	SI27	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	縄文	縄文　ナデ	1 多	1 僅			520
	7	SI41	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5Y5/4	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			3類	542
	8	SI46	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	2 僅		3類	124
	9	SI52	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	粘土のたるみ 山形押型文	山形押型文 ナデ			1 多	3類 口唇部山形押型文	521
	10	SI55	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	格子目押型文	ナデ	1 多	2 少			522
	11	SI57	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	褐灰 10YR4/1	良好	楕円押型文	楕円押型文 ナデ			2 多	4類 口唇部楕円押型文	125
	12	SI59	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 多	2 少		中原式	543
	13	SI59	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	褐灰 7.5YR4/1	良好	楕円押型文	不明瞭	1 多	1 僅		3類	523
	14	SI59	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	2 僅		4類	126
	16	SI71	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ	短枝回転文	1 少		3 少	口唇部キザミ	127
	17	SI75	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR4/2	良好	刺突文	ナデ	微 僅	1 僅	1 多	下剥峯式	525
	18	SI75+5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	微 僅		1 多	4類	524
p.71 第53図	20	SI90	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5Y5/2	灰オリーブ 5Y5/2	良好	ナデ	山形押型文	1 多	1 僅		3類 口唇部山形押型文	527
	21	SI91	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	山形押型文	楕円押型文 ナデ	1 少	1 僅		3類	528
	22	SI99・100	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	褐灰 7.5YR4/1	良好	羽状文	ナデ	2 多	2 僅		桑ノ丸式	531
	23	SI99・100	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 7.5YR4/1	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	1 少	1 僅		3類	530
	24	SI99・100	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	1 僅		2類	529
	25	SI103	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	明褐 7.5YR5/6	良好	楕円押型文	ナデ・指押さえ	1 少	1 僅		2類	129
	26	SI103	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			3類	131
	27	SI103	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄 2.5Y6/4	良好	楕円押型文	ナデ・指押さえ	1 僅	1 僅		3類　外面スス付着	130
	28	SI103+ 5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄 2.5Y6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅			3類	532
	29	SI103	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 5YR6/4	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	1 僅		3類	128
	30	SI110	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	楕円押型文 ナデ	1 多			3類	132
	31	SI120+ 5層	縄文 深鉢	(24.8)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	山形押型文	山形押型文 ナデ	2 少	2 少		3類　口唇部キザミ	534
	36	SI137	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	貝殻押引文	ナデ	1 多			桑ノ丸式	538
	37	SI137＋ 5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	山形押型文	ナデ	1 僅	2 少		4類	536
p.72 第54図	38	SI137	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	灰褐 5YR5/2	良好	撚糸文	ナデ	微 多			塞ノ神Ａ式	537
	39	SI138	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ケズリ	1 微		3 少	3類	539

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第14表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺構内出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （遺構等）	器種	石材	長さ （cm）	幅 （cm）	厚さ （cm）	重量 （g）	備考	実測 番号
p.70 第52図	15	SI67	石鏃	頁岩	(1.20)	1.30	0.30	(0.50)	3類　先端部欠損	673
	19	SI82	磨石	砂岩	10.80	8.20	4.30	489.00		526
p.71 第53図	32	SI121	尖頭状石器	頁岩	5.30	3.90	1.10	19.30		671
	33	SI126	石鏃	黒曜石 （桑ノ木津留）	1.10	(1.10)	0.25	(0.30)	6類　脚部（基部）欠損	674
	34	SI134	敲石	砂岩	(5.80)	(9.10)	3.95	(276.70)		535
	35	SI135	石鏃	玉髄	3.00	(1.90)	0.55	(2.50)	2類　脚部欠損	670
p.72 第54図	40	SI138	軽石製品	軽石	7.90	3.20	2.10	(8.20)	穿孔有　一部欠損	540
	41	SI141	礫器	砂岩	15.10	12.50	4.95	(716.00)		541
p.73 第55図	42	SZ145	敲石	砂岩	9.00	8.00	5.20	466.00	磨石兼用	663
	43	SZ145	台石	砂岩	30.60	34.80	8.50	12800.00		669

（ ）の値は残存法量を示す

第2項　基本土層4層から5層出土土器について

基本土層4層～5層にかけて縄文時代草創期から早期にかけての土器が出土している。本調査区においては特に押型文土器が最も多く出土しており、その様々な種類が調査区全体に広がっている。また押型文土器以外のものも多数出土しており、そのいくつかは分布状況にやや偏りがみられるのでいくつか指摘する。水迫式土器は調査区の南側に、中原式土器は南東部に多数接合する資料がみられる。桑ノ丸式土器は調査区の西側にやや多く分布し、塞ノ神Ａ式土器も調査区全体に概ね広がっているが、中央部分でやや集中する様子が見られる。以下に既存の分類を元に報告を行う。個別の詳細は第15～22表に示す。

水迫式土器（44～50）

円筒形の器形で、内外面の調整はナデか条痕の後ナデを施す。口唇部には貝殻押圧文（44・45）や貝殻押引文（46～48）、キザミ（49・50）がみられ、その下には沈線と刺突文（44・45）や貝殻押引文（46～50）で施文する。44・45はやや外反する口縁部でそのほかは直口する。なお44・45は焼成前の、46は焼成後の穿孔が確認される。

岩本式土器（51）

円筒形の器形で、内外面の調整は条痕の後ナデを施す。口縁部内面には段を有するのが特徴的である。口唇部にはキザミがあり、その下には貝殻押引文がみられる。

前平式土器（52～54・101）

円筒形の器形で、外面には貝殻条痕、内面にはナデか条痕の後ナデを施す。口縁部外面には貝殻腹縁刺突文がみられる。101は底部片で底面の圧痕をナデ消している。

中原式土器（55～62）

円筒形の器形で、外面には貝殻腹縁による条線が広く確認される。この条線は従位に行った後横位に行うものがみられる（55・58～61）。内面の調整はナデか貝殻条痕の後ナデを施す。56･57はやや内湾する口縁部片である。56は完全な形に復元できるもので、器高は14.2cmである。

別府原式土器（63～81・130・133）

器形はバケツ状か円筒形で底部は窄まっている。外面には横位か斜位の浅い貝殻条痕を施しているが、底部付近にはみられない。内面の調整は丁寧なナデかミガキである。63は完全な形に復元できるもので、器高は11.8cmである。65は口縁部外面に縦位の沈線がみられる。66・67は外反する口縁部片である。133は強く外反する口縁部片で縦位の条痕の後に横位の条痕を施している。

吉田式土器（82）

外面に貝殻腹縁押引文がみられ、内面の調整はナデである。

石坂式土器（83）

円筒形平底の底部片で、キザミがみられる。

下剥峯式土器（84～86）

器形はバケツ状で外面には刺突文を全面に施しており、内面の調整はナデかミガキである。84はやや内湾する口縁部片で、口唇部下に横位の刺突文、その下に長斜格子状の刺突文を施している。85は羽状の刺突文がみられる。

桑ノ丸式土器（87～100・131）

器形はバケツ状か円筒形で、外面には貝殻条痕や沈線によって全面を施文する。内面の調整はナデかミガキである。87・88・94・98・99は外面に貝殻条痕で、90は短沈線で羽状の文様を施している。そのほかに外面の文様としては横位・従位・斜位の貝殻条痕（91・95～97・131）、斜位の短沈線文（92）、横位の沈線文（93）などがある。

妙見式土器（102）

なだらかに外反する口縁部片で、4条の突帯がみられる。口唇部にはキザミを施している。

平栫式土器（103～105・109・111～113）

口縁は外に開き、頸部で窄まってから胴部がやや張り出す器形で、内面の調整は条痕の後ナデである。外面には縦位の結節縄文を施しているが、そのほかに縄文をナデ消している痕跡もみられる。103は口縁部片で口唇部は肥厚させ、内外面にキザミを施す。111は頸部付近の破片で連点文がみられる。

塞ノ神Ａ式土器（106～108・110・114～126・134～136）

口縁は外に開き、頸部で窄まってから胴部はやや張るか、底部へとまっすぐに向かう器形で、内外面の調整はナデである。外面の文様には微隆帯・横位や斜位の沈線文・縦位の撚糸文がみられる。106・107は口縁部～頸部片、117・122は頸部片で、内面には明瞭な稜線がみられる。110は微隆帯を有する壺形土器の破片の可能性がある。114には穿孔が行われている。135はおそらく壺形土器の口縁部片である。外面には横位の、口唇部には縦位の条線が施されている。

塞ノ神Ｂ式土器（127～129）

口縁部は外に開くが頸部での窄まりはやや不明瞭な器形で、外面に貝殻押引文や沈線文がみられる。内面の調整はナデか条痕である。

無文土器（137～143）

内外面の調整はナデか条痕の後ナデがみられ、口縁部は直口するもの（137・139・143）、外反するもの（138・140）がある。底部も平底（141）と尖底（142）がみられる。

その他の土器（132・144）

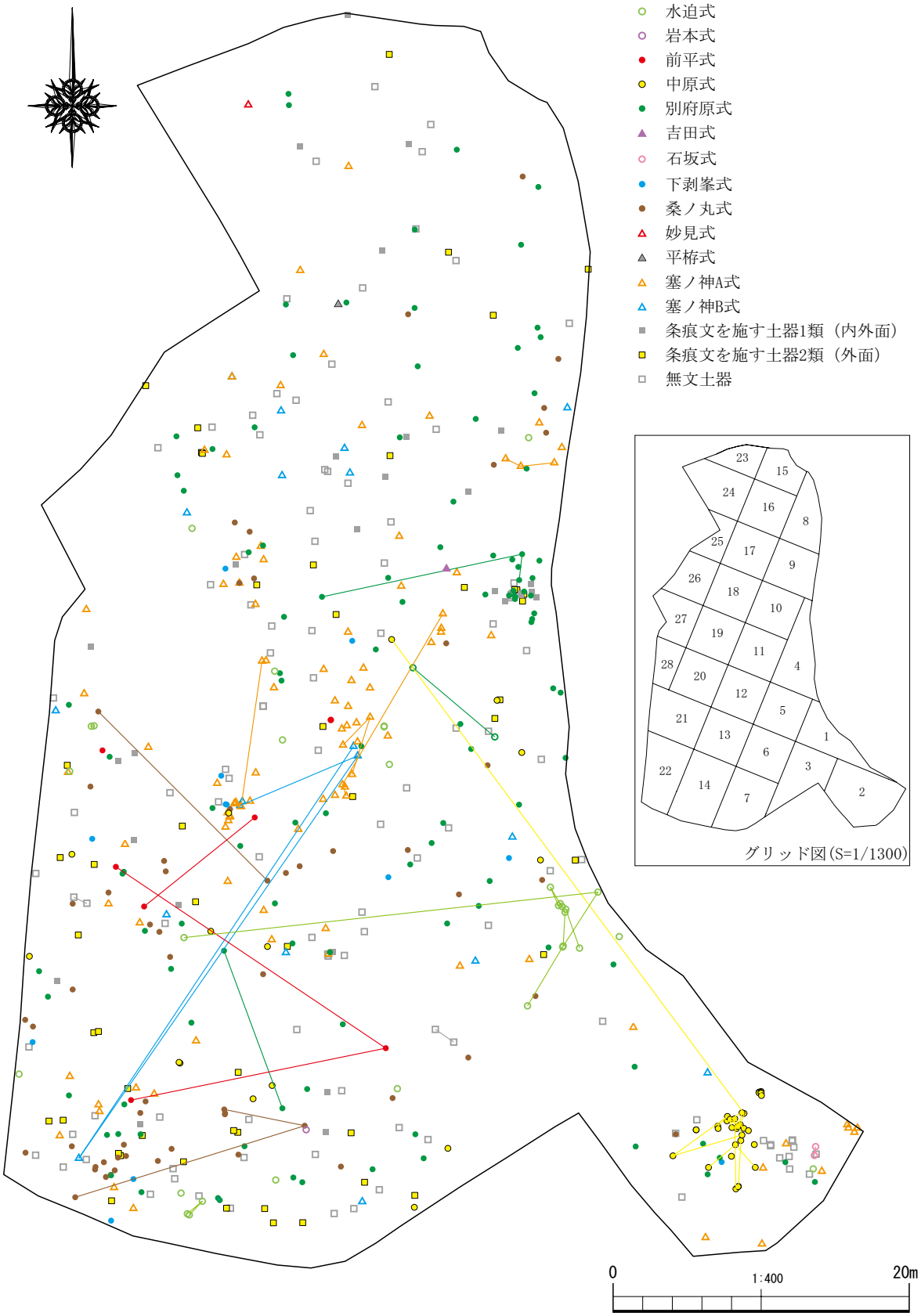
132は外面にナデ調整、内面に条痕を施す口縁部片で、縄文前期以降の可能性がある。144は表面に爪形の文様を施すものである。内面は稜線が見られるほどの強いナデを施している。

押型文土器（145～406）

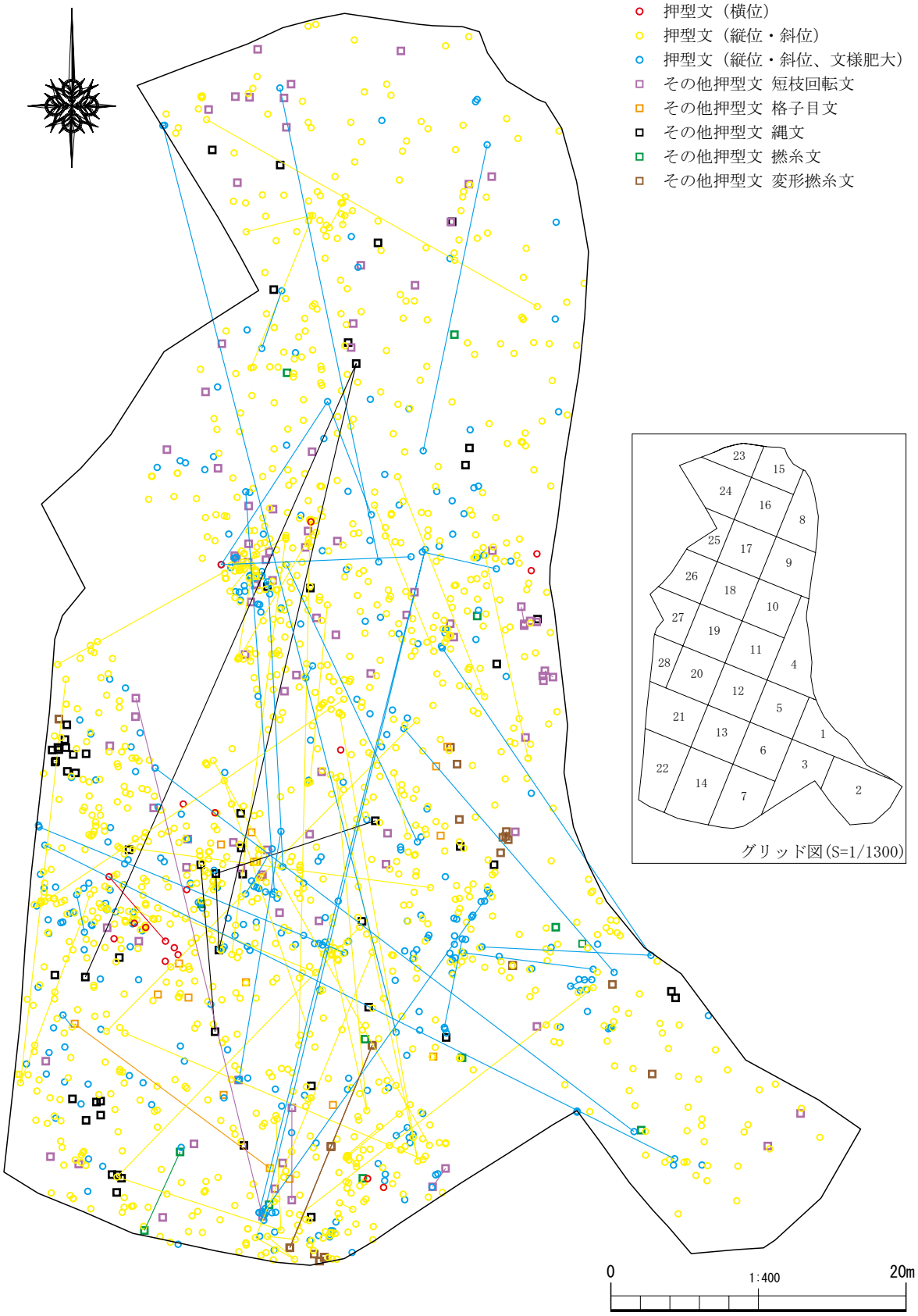
外面に彫刻を施した棒（原体）などを回転させて、内外面に山形や楕円形などの文様を施す土器である。1地区からは分類できたものが約1600点出土しており、縄文時代早期から出土した土器の7割を押型文土器が占める。施文方向や方法、器形の違いから以下の1類から4類に細分した。ここでは原体を回転させる施文方法が同じことから縄文や撚糸文を施す一群も押型文土器の範疇ととらえて報告する。なお、本書における押型文土器の細分例についてはここで記載している。

・1類（145～152）：外面に横位の押型文を施したもので内面の調整はナデかミガキである。

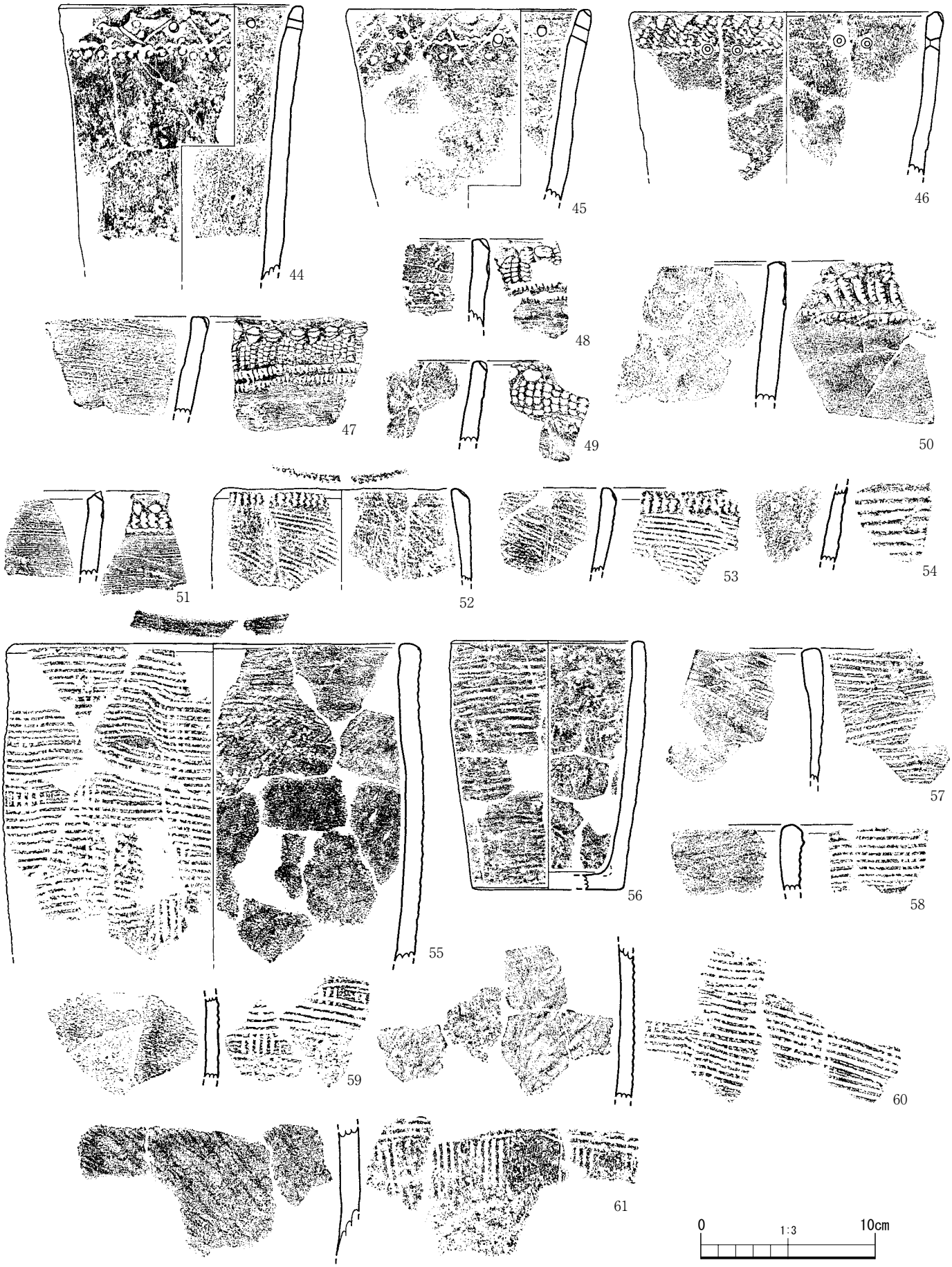
145～149はいわゆる弘法原式で口縁部が開くもの（145）、まっすぐ立ち上がるか、やや内湾するもの（146～149）がある。145は穿孔が2箇所ある。外面には横位の山形押型文が施され、内



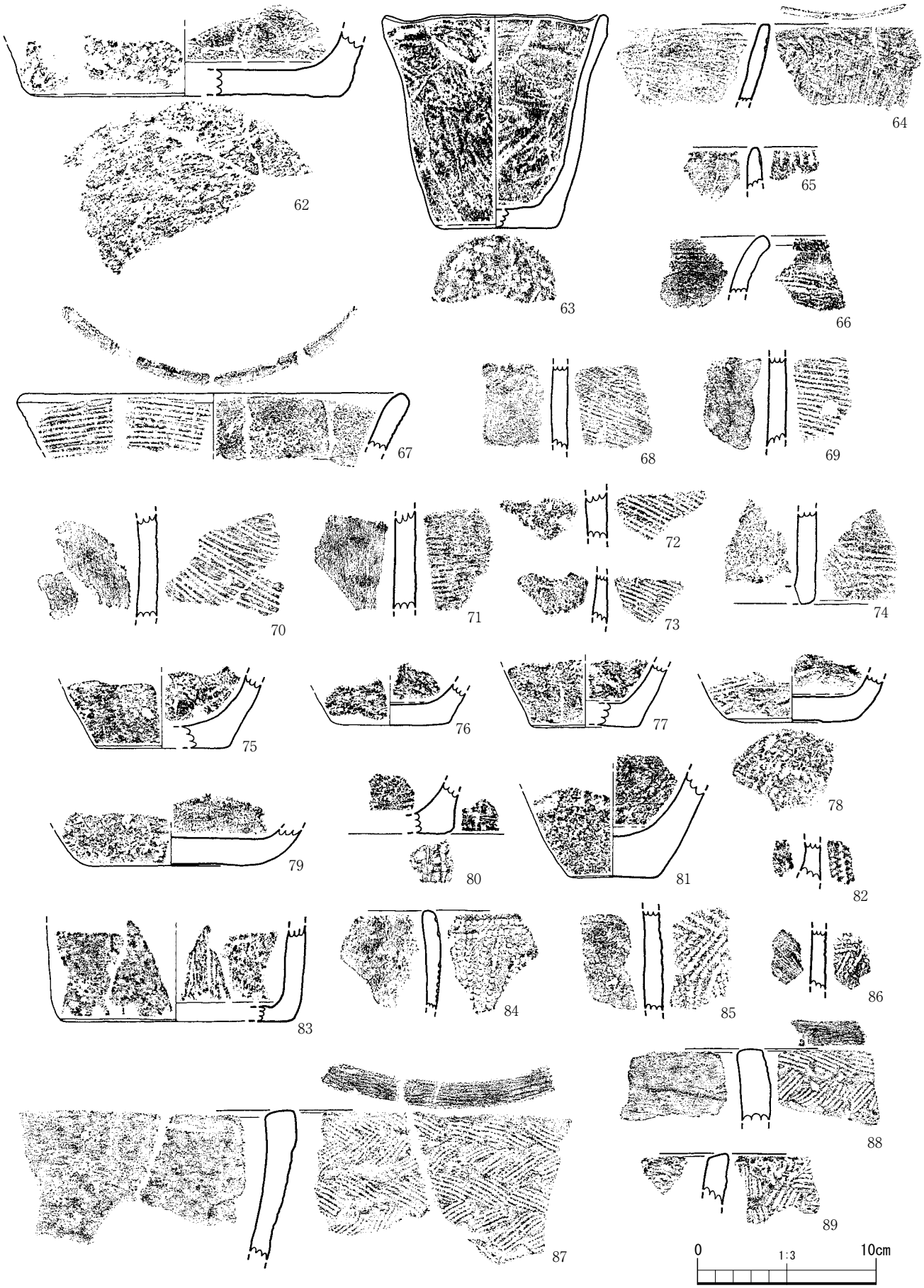
第56図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層（4 ～ 5層）
出土土器分布図①【押型文土器以外】（S=1/400）



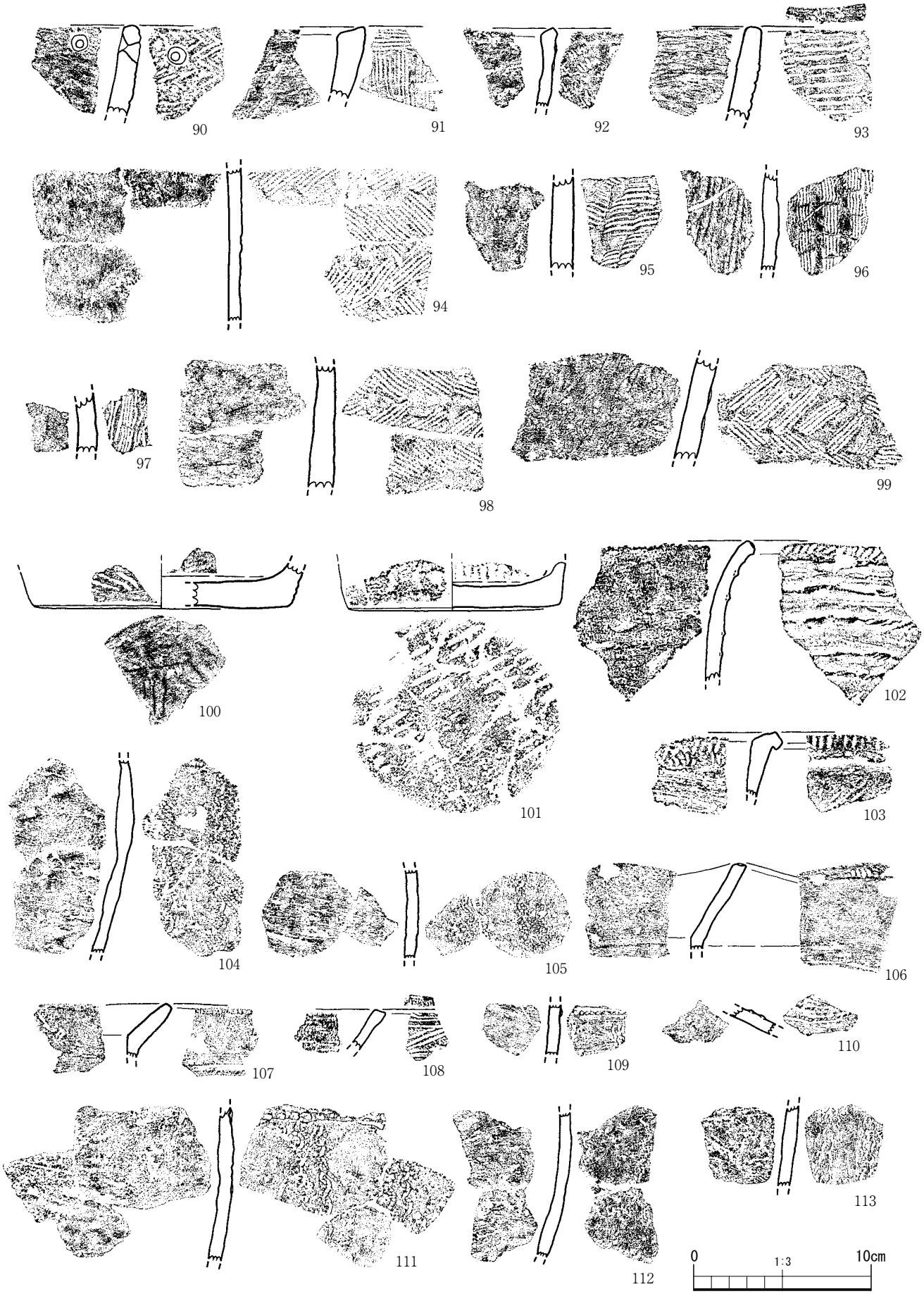
第57図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層（4 ～ 5層）
出土土器分布図②【押型文土器】（S=1/400）



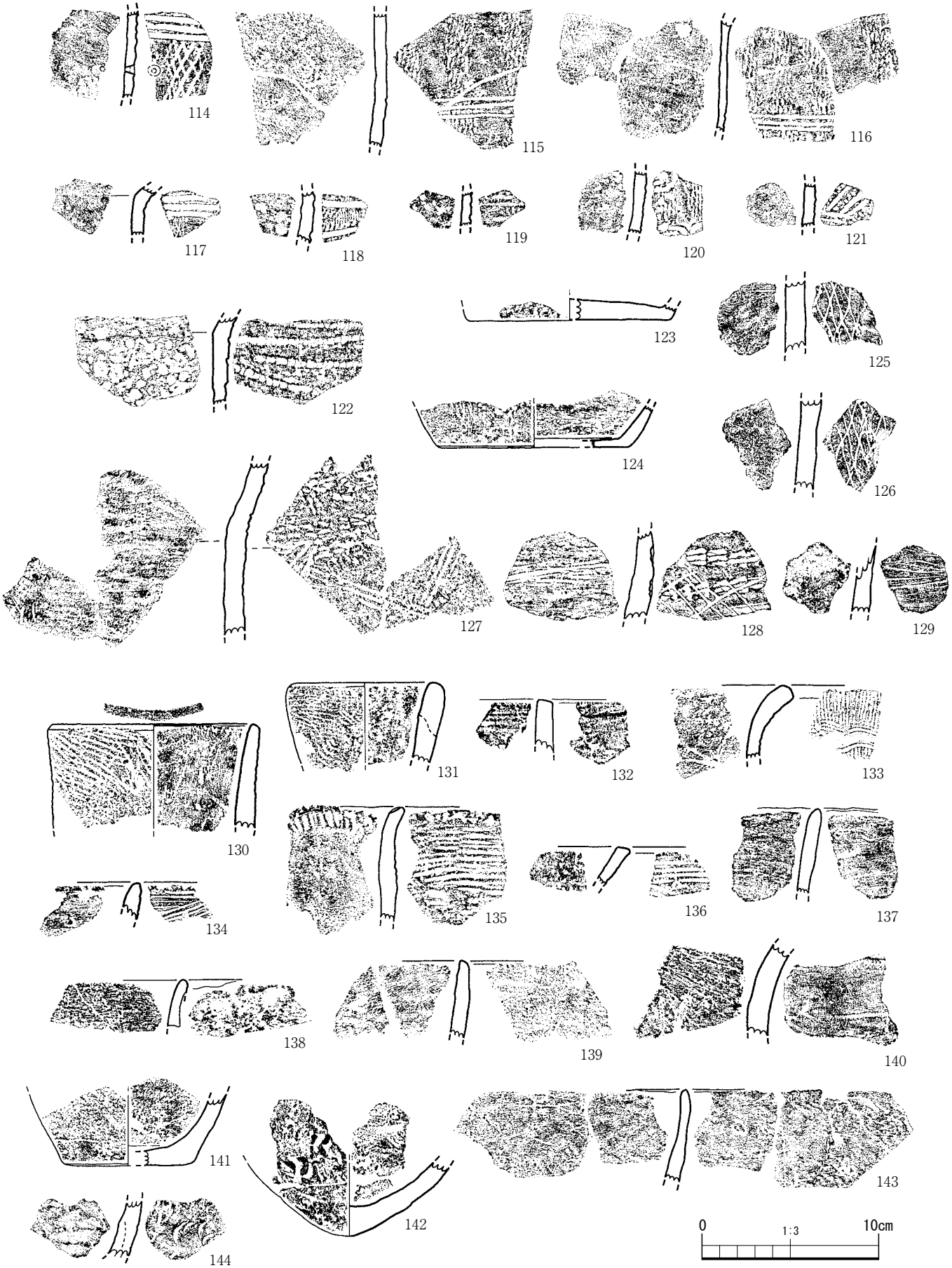
第58図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図①（S=1/3）



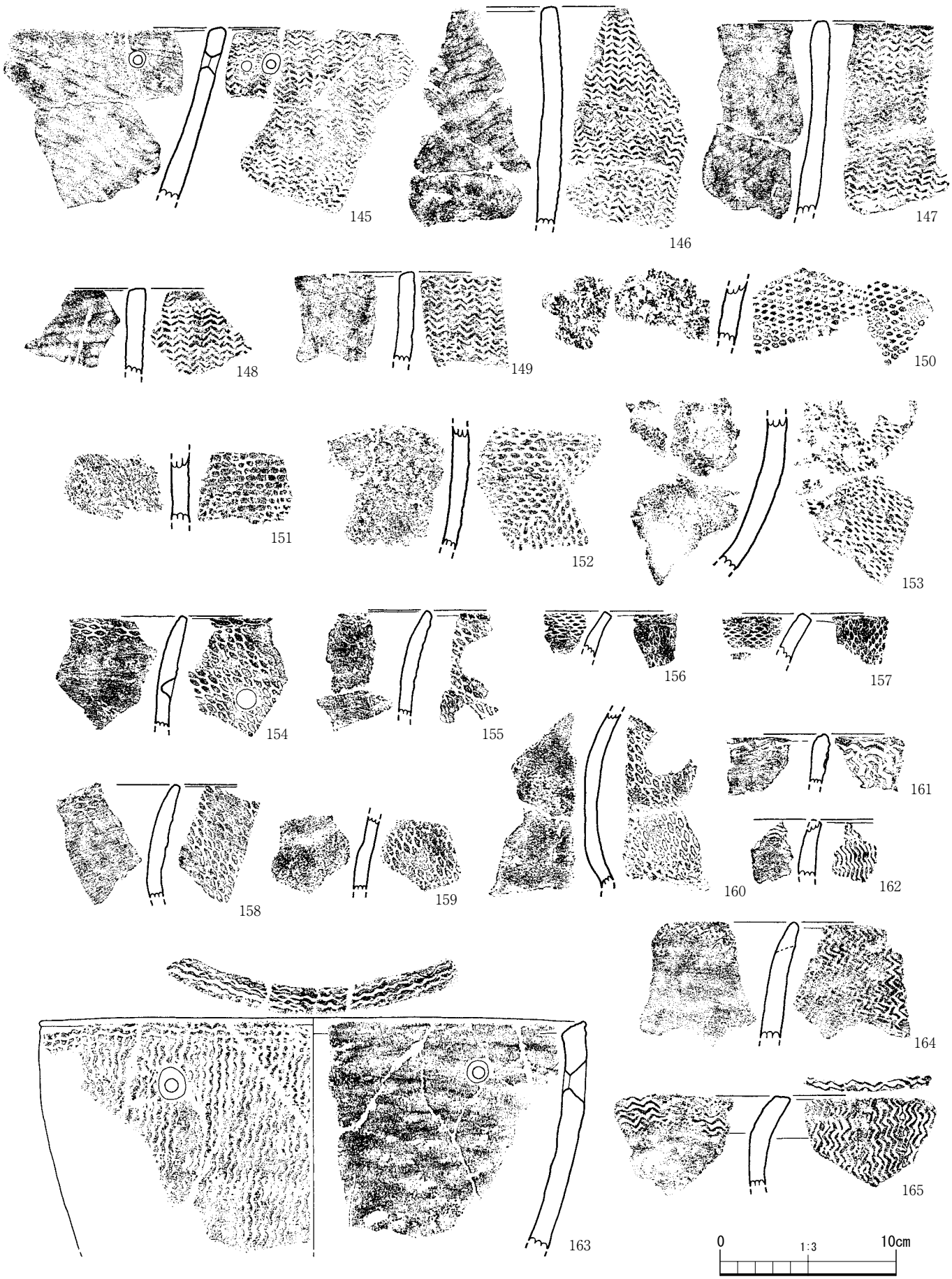
第59図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図②（S=1/3）



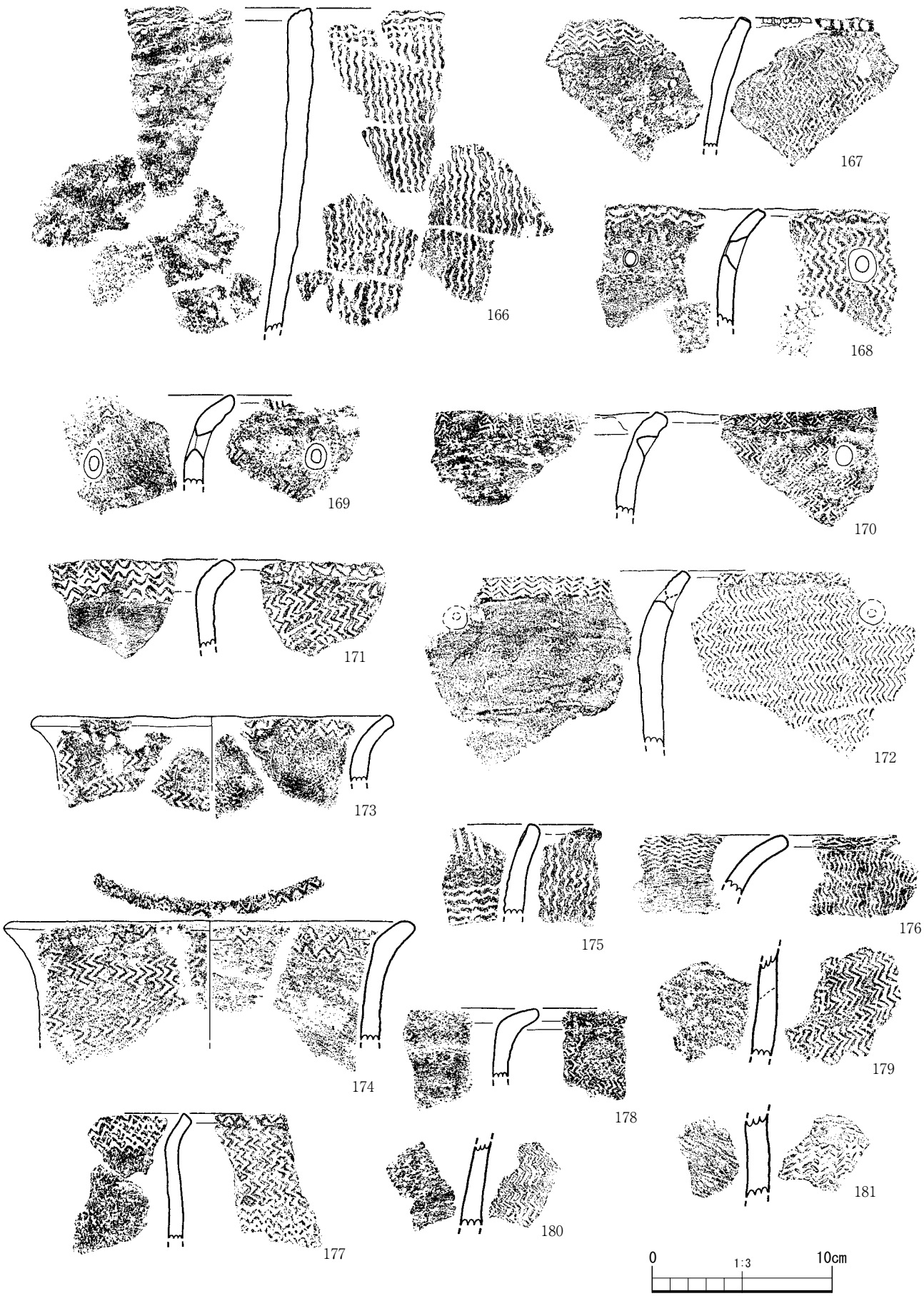
第60図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図③（S=1/3）



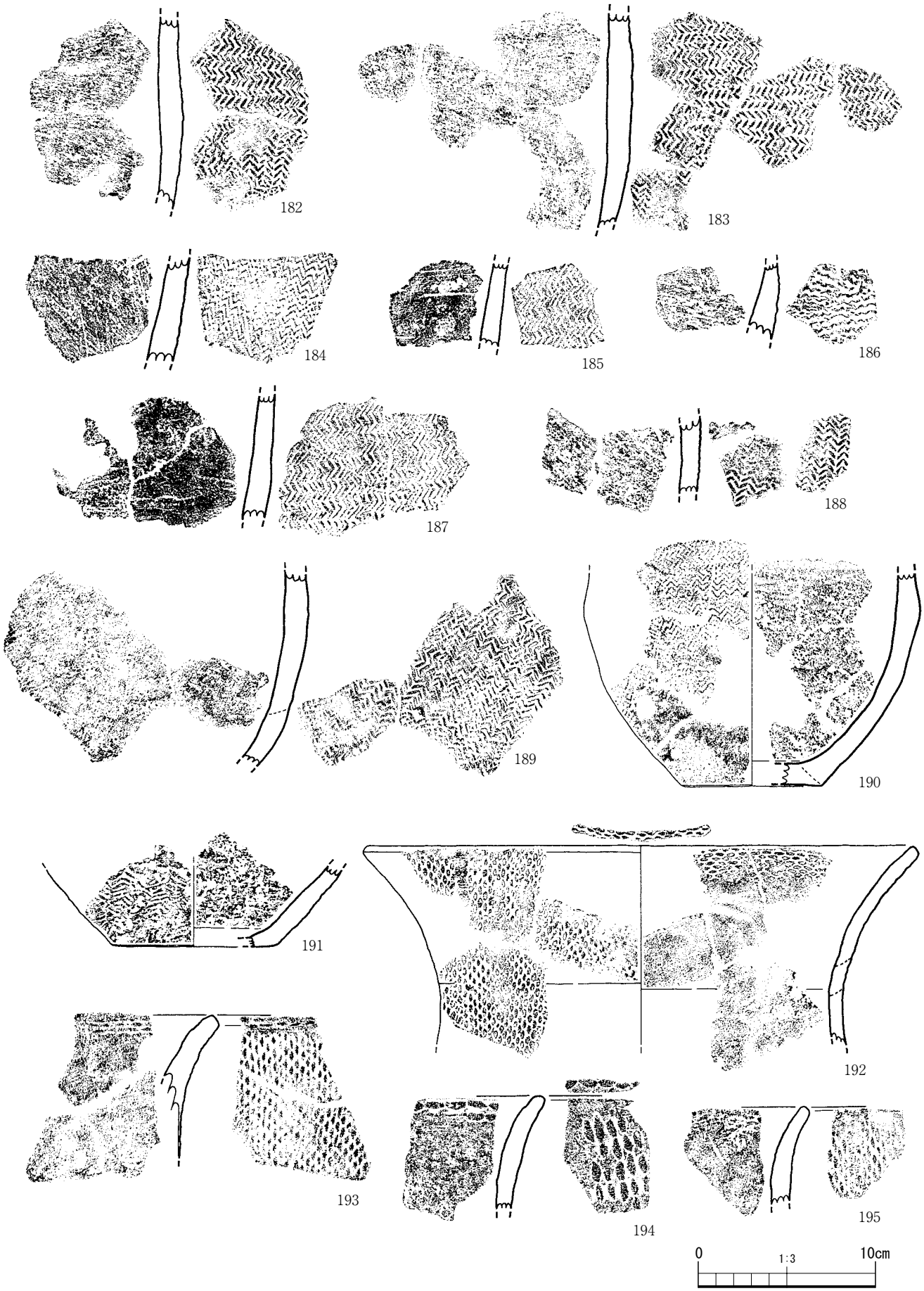
第61図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図④（S=1/3）



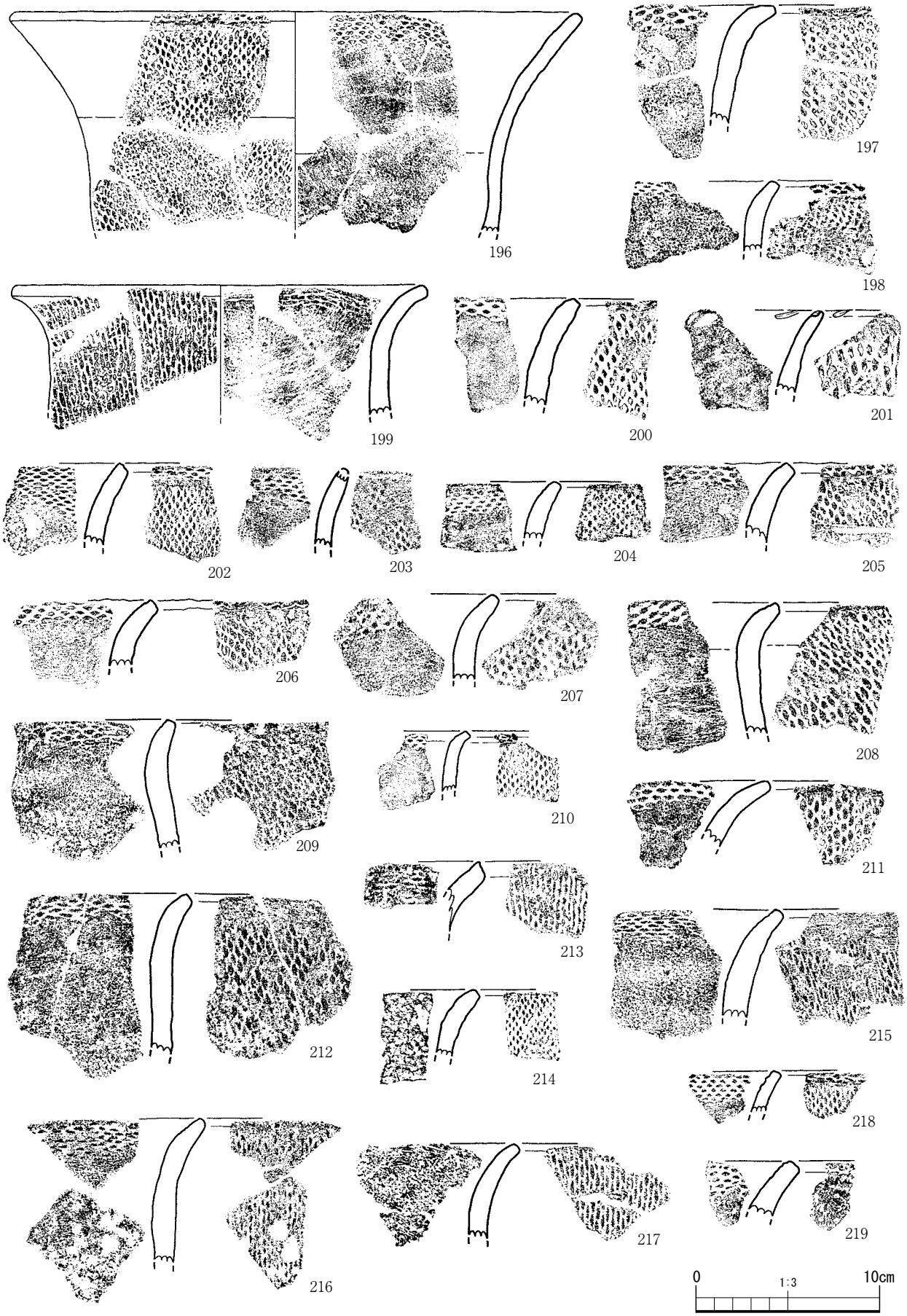
第62図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑤（S=1/3）



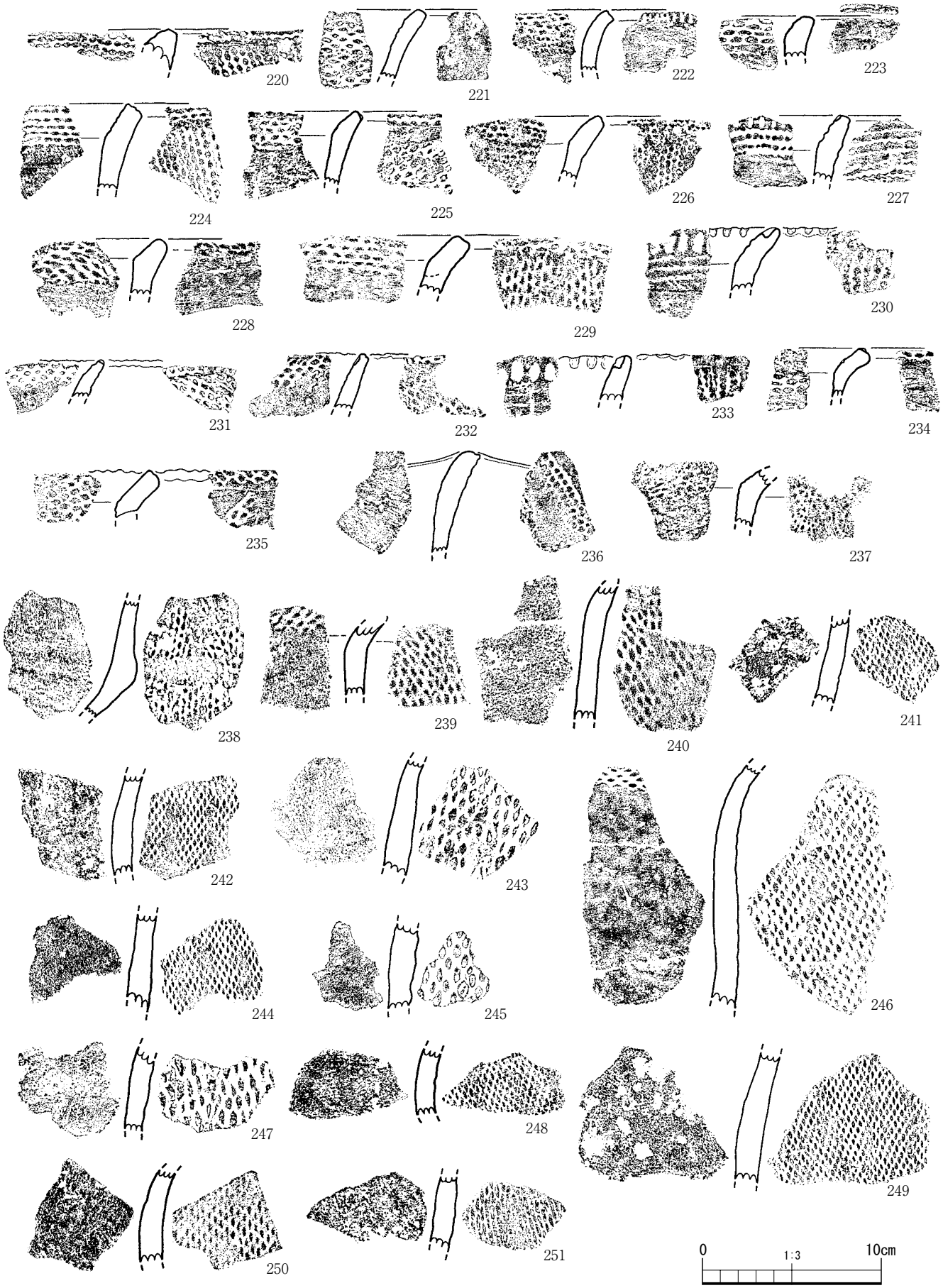
第63図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑥（S=1/3）



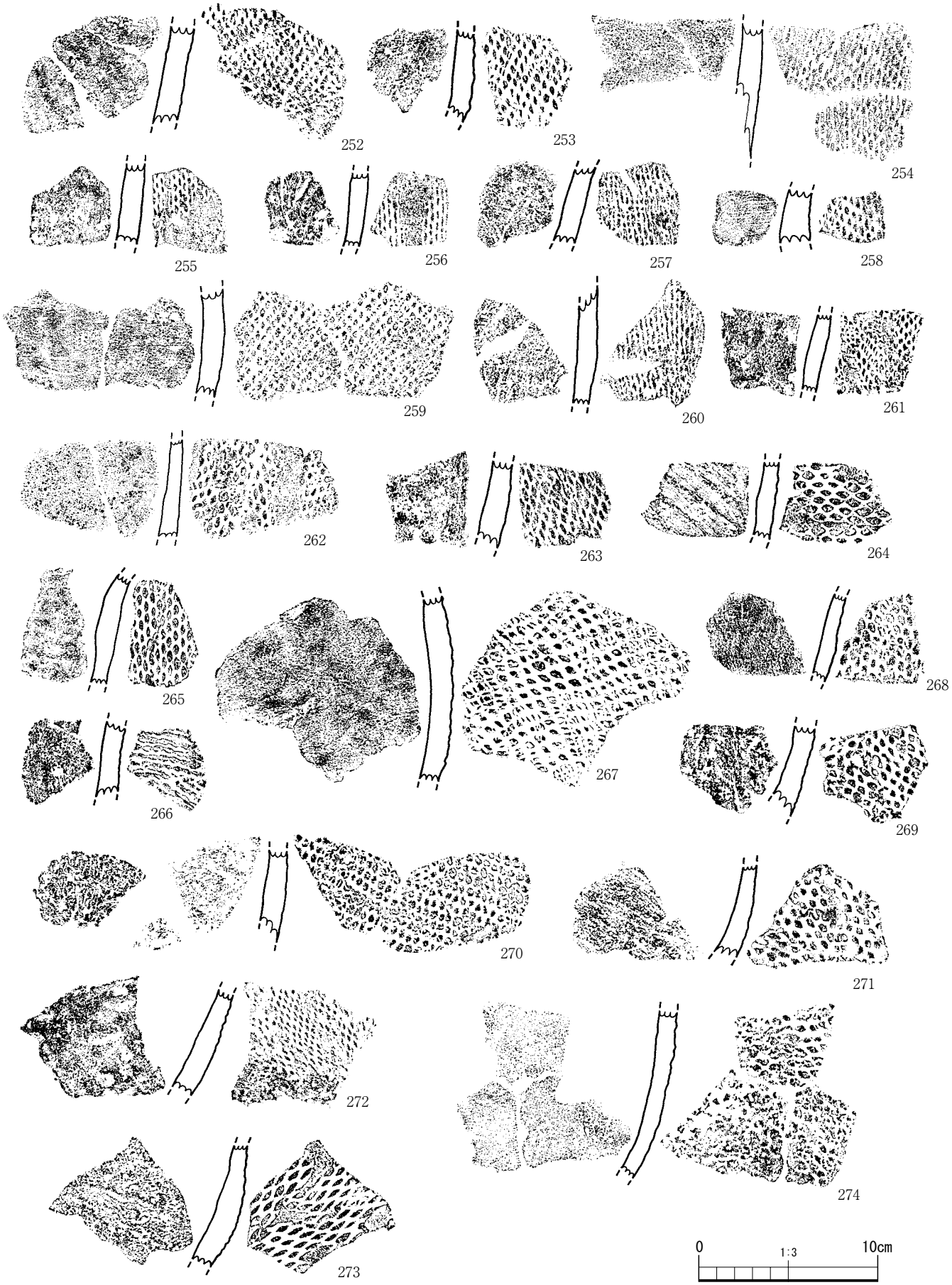
第64図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑦（S=1/3）



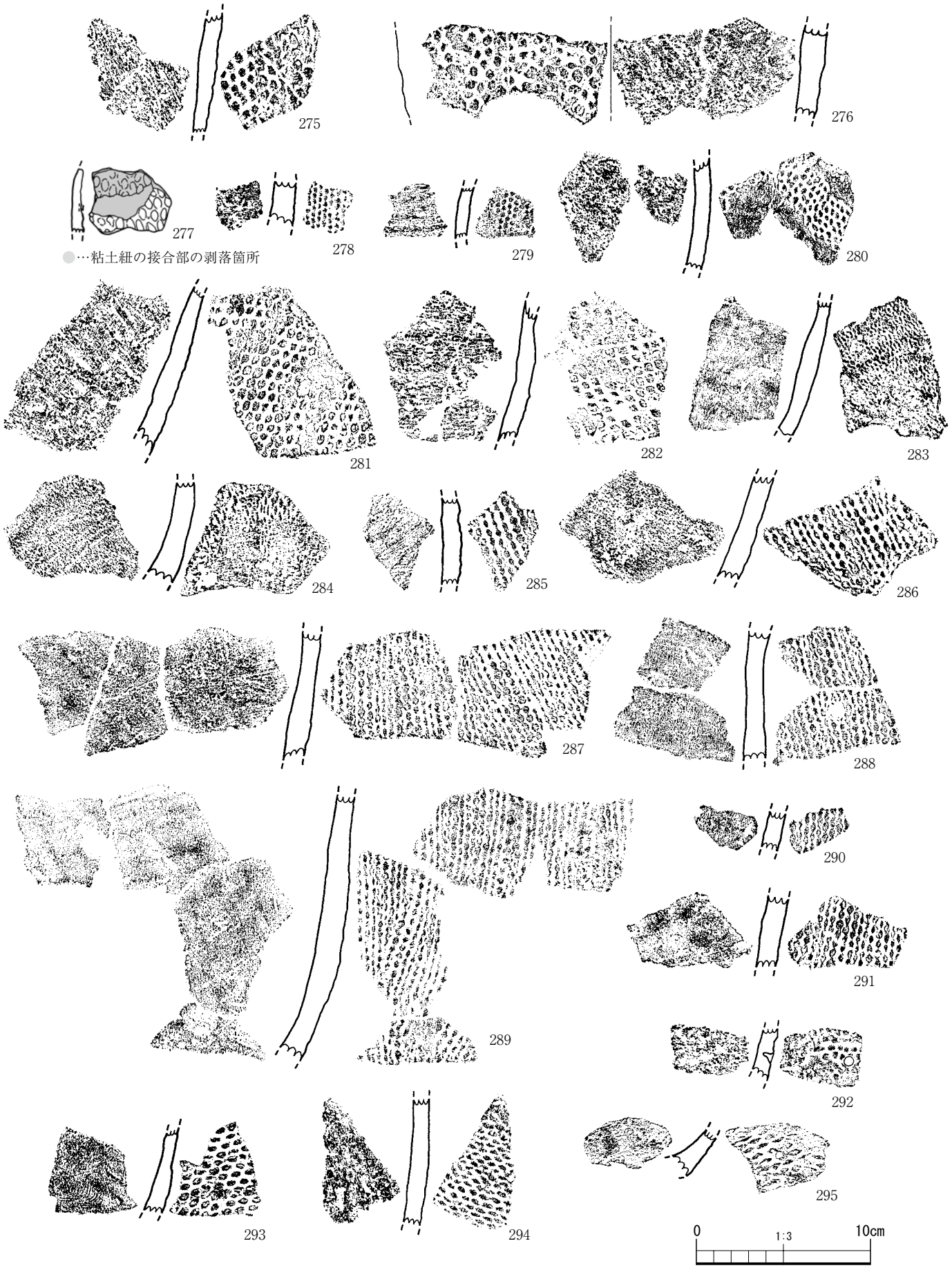
第65図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑧（S=1/3）



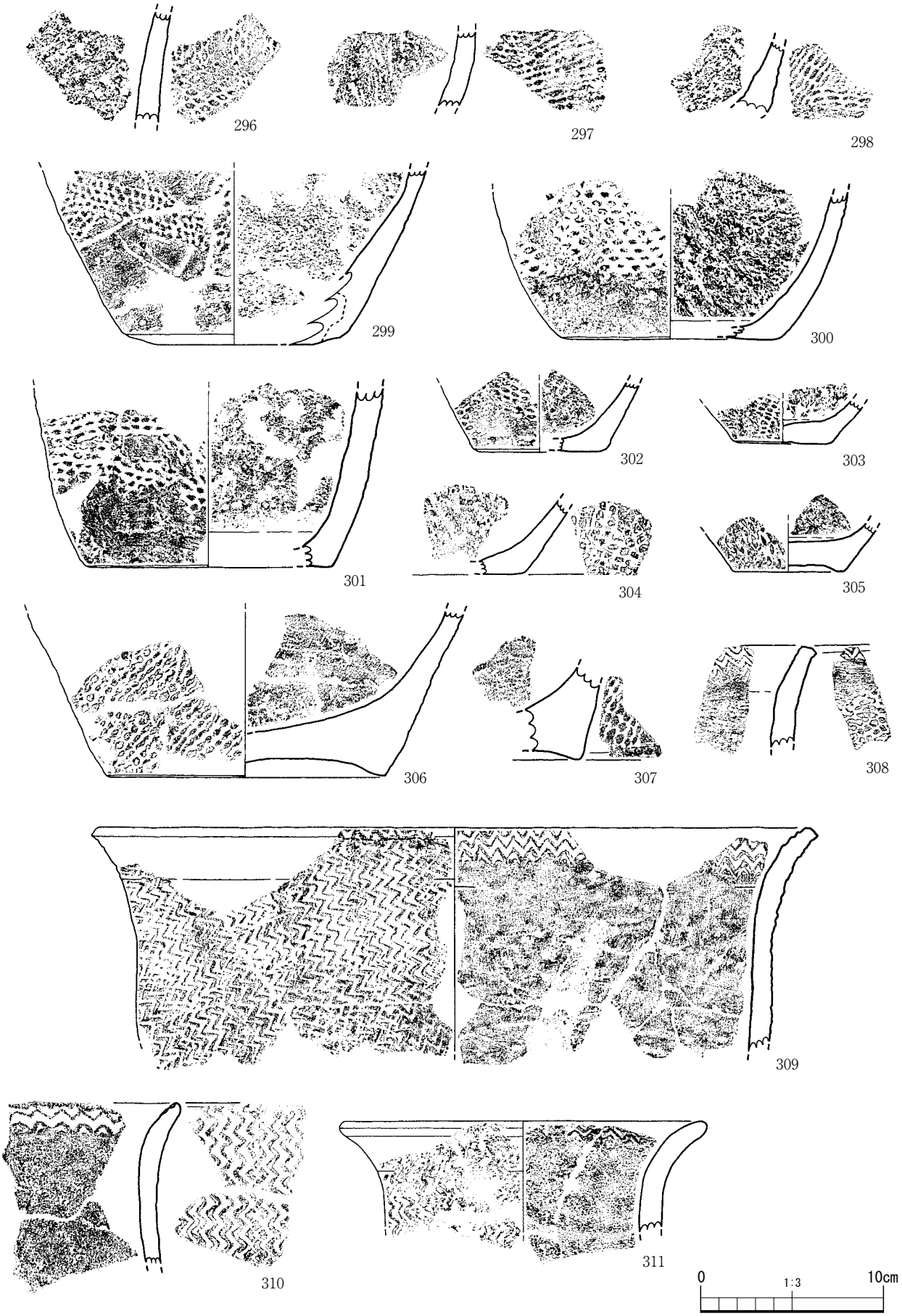
第66図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑨（S=1/3）



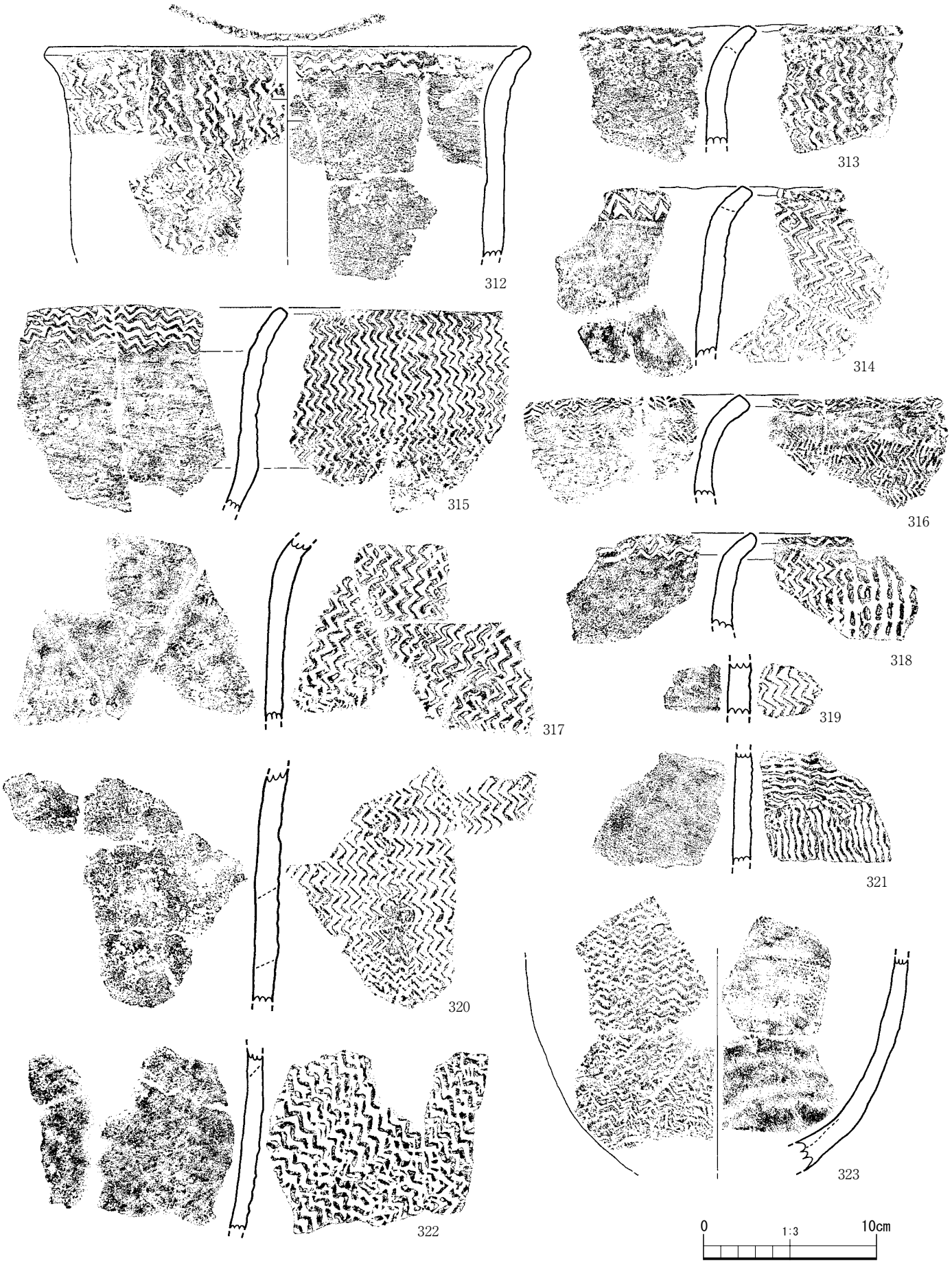
第67図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑩（S=1/3）



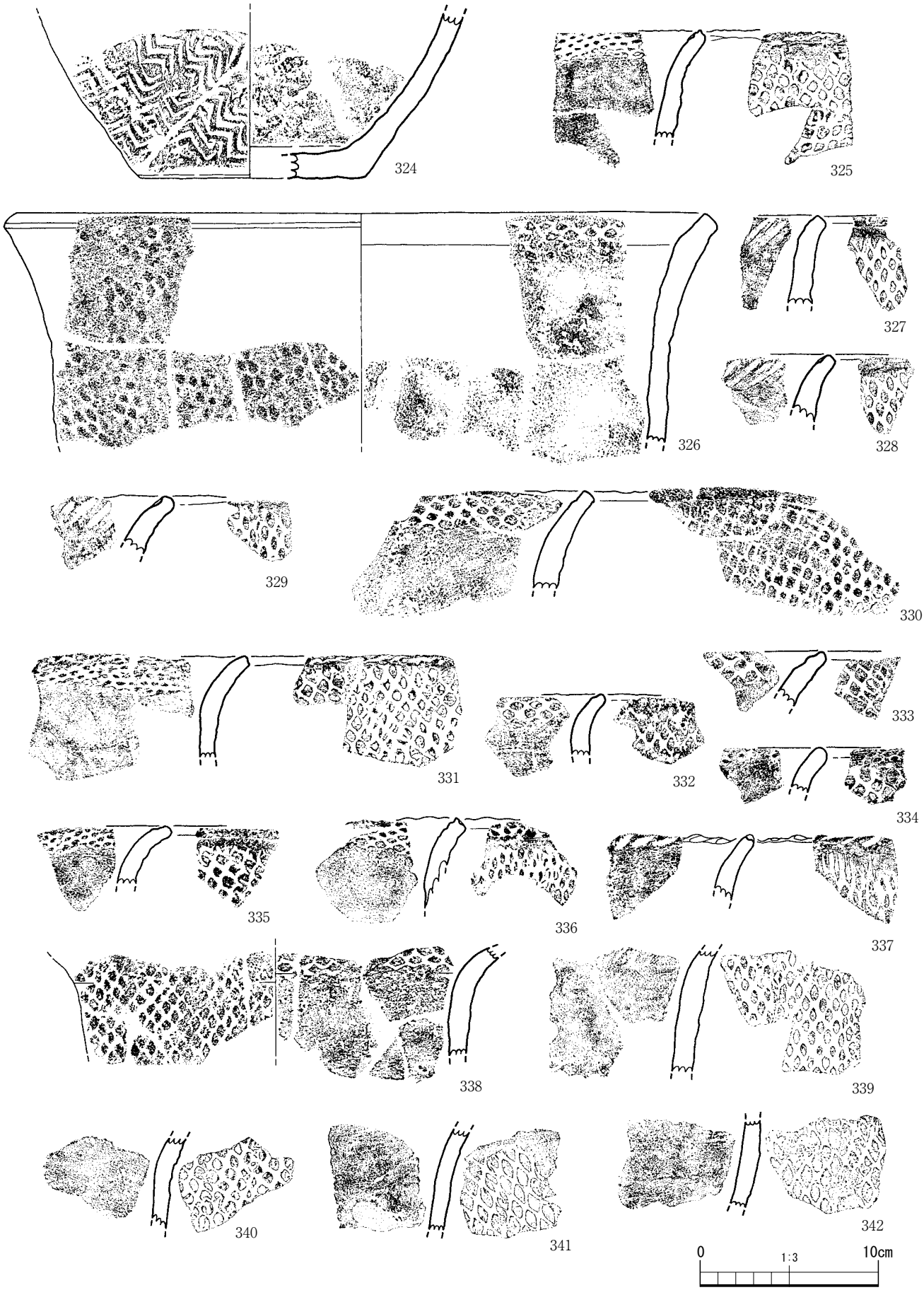
第68図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑪（S=1/3）



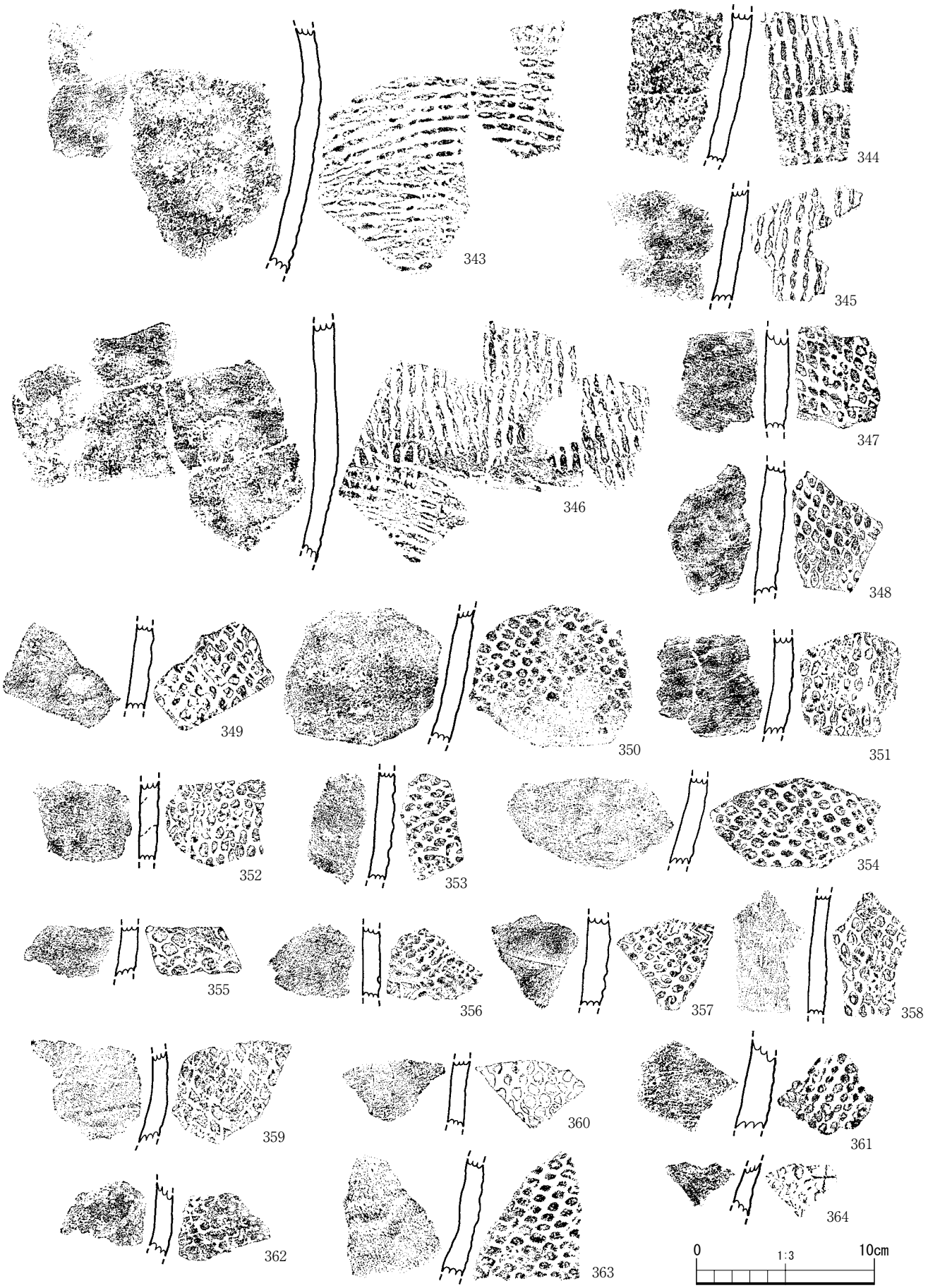
第69図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑫（S=1/3）



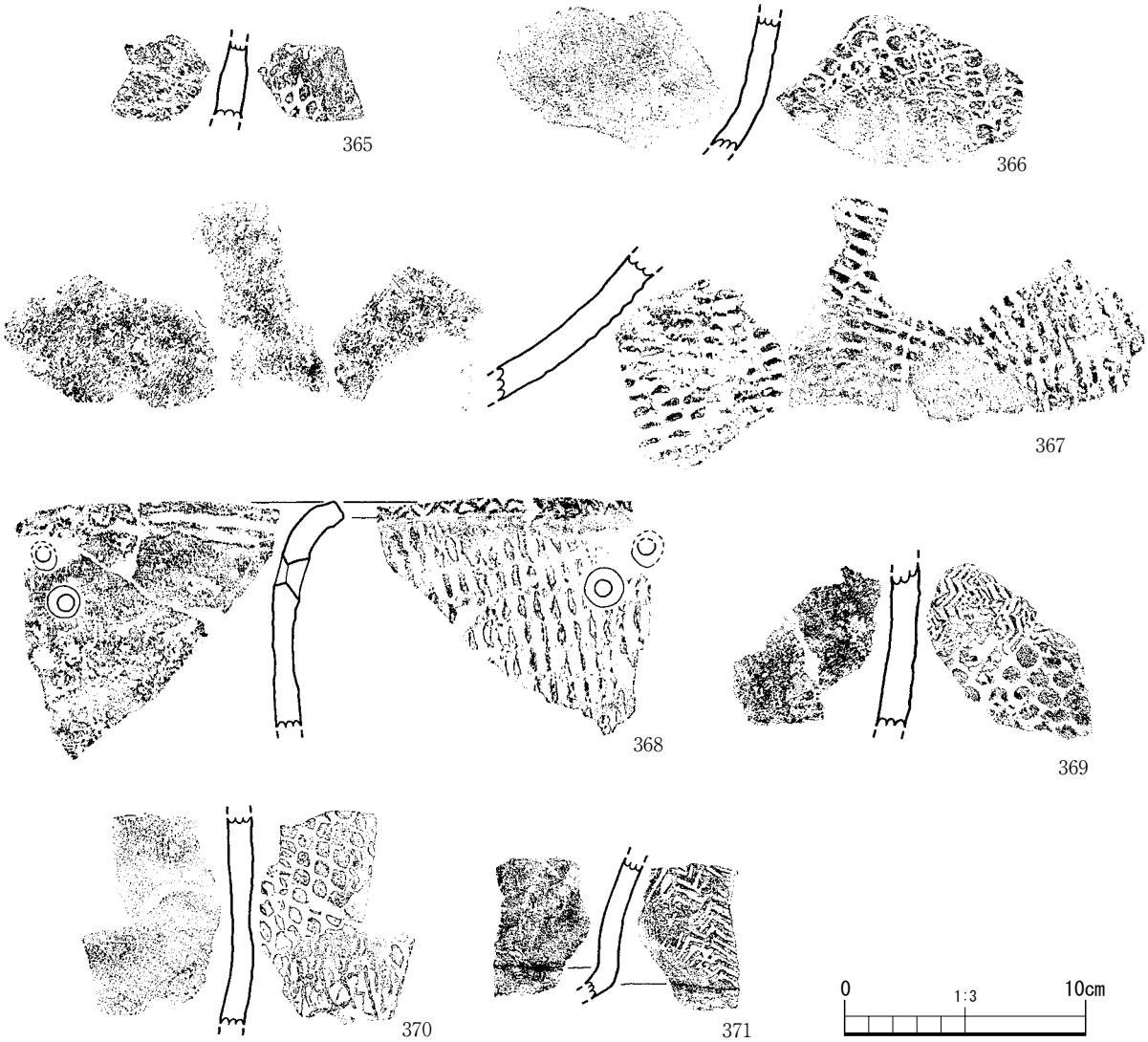
第70図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑬（S=1/3）



第71図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑭（S=1/3）



第72図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑮（S=1/3）

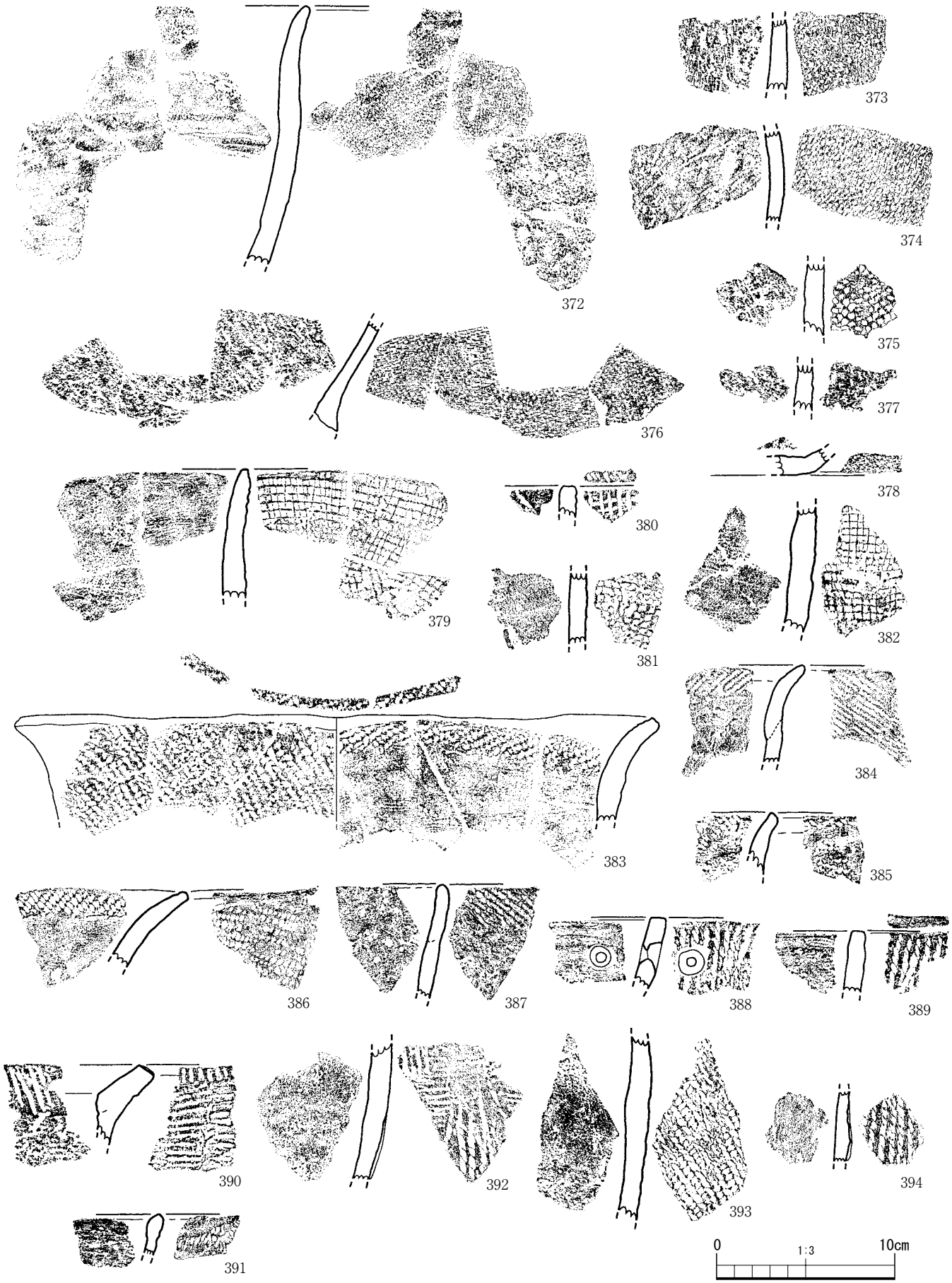


第73図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑯（S=1/3）

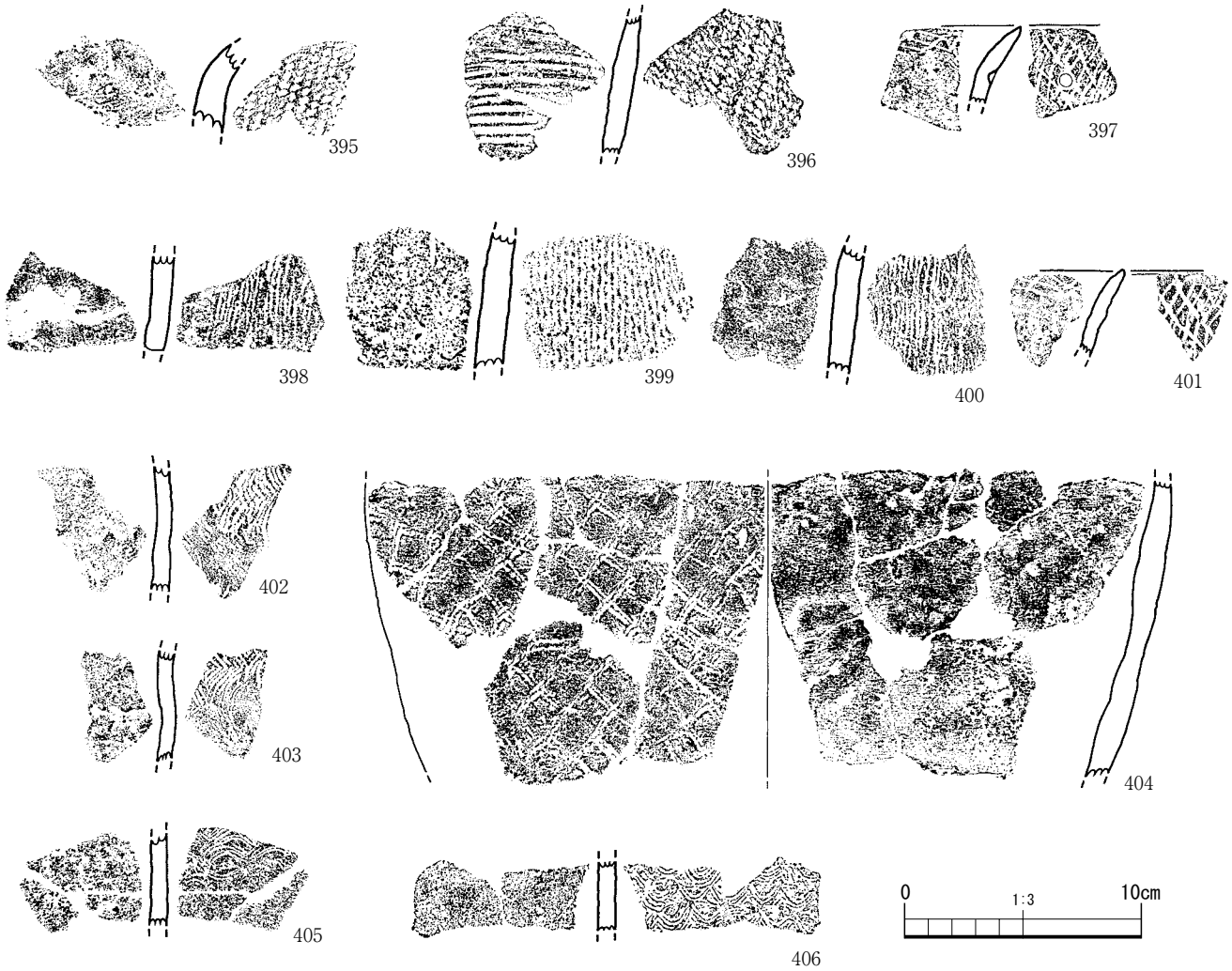
面には押型文はみられない。150・151は胴部片で楕円押型文が施される。152も胴部片だが横位の押型文を切って、斜位の押型文が施される。

・2類（154～160）：口縁が僅かに外反する器形で、外面に斜位、口縁部内面に横位の押型文を施す。内面の調整は丁寧なナデである。文様は楕円形のみである。後述する3類と類似するが、総じて薄手であり、胎土が緻密な印象を受ける。また扁平な原体を使用していることから細分して報告する。なお分布上では押型文（縦位・斜位）として3類とまとめている。154、155、158～160は胎土に角閃石を含む。

・3類（153・161～307）：口縁部が外反する器形で、内面には稜がみられるものもある。内面の調整は基本的にナデだが、稜があるものは、稜より下がケズリ調整のことが多い。外面には斜位の押型文を全体に施す。また下剥峯式や桑ノ丸式と共通するバケツ状の器形も存在する（163・166）。文様は山形（161～191）、楕円形（192～307）がみられる。277は粘土紐接合部の剥落箇所に楕円押型文が施文されている。粘土紐が押型文の上から接合されており、文様施文後に接合していたことがわかる。



第74図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑰（S=1/3）



第75図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑱（S=1/3）

・4類（308～371）：器形と施文方法は3類と変わらないが、文様が肥大化するものである。内面の調整はナデかケズリである。文様は山形（309～317・319～324）、楕円形（325～363・365～367）、複数の原体を施すもの（308・318・364・368～370）がみられる。312は粘土紐接合部分が偽口縁状を呈し、外反している部分が別の胎土で接合している痕跡がみられた。外反部分は赤みが強く、内面でも接合部分の境界を確認した。また313・314も接合痕跡がある。315は外反する口縁部片で胴部が屈曲する。318は山形と楕円形が複合して施される。

・その他（372～406）：器形が3類、4類と同じだが、縄文、撚糸文、格子目文、短枝回転文、変形撚糸文を施すものである。372～378は短枝回転文を施す。単位が小さいもの（372～374・376～378）と単位が大きいもの（375）がある。372はやや外反する口縁部片である。379・381・382は格子目文を施す。379はやや開く口縁部片で横位の格子目文を施す。383～396は縄文を施す。383～391は口縁部片で外反するもの（383～386）、外反し、内面に明瞭な稜をもつもの（390）、やや開くもの（387～389）がある。397～401・404は撚糸文を施す。397・401は外に開く口縁部片で口縁部上側の内面にも撚糸文を施す。402・403・405・406は変形撚糸文を施す。

第3項　基本土層4層から5層出土石器について

旧石器時代の遺物（第78図）

本調査区からは積極的に旧石器時代の包含層を確認するトレンチは設定できなかったが、遺物が数点出土しているので、本節で報告する。407は縦長剥片を素材とする基部加工のナイフ形石器で5層下部より出土した。408は二次加工有る剥片で6層から出土している。

基本土層4層～5層における縄文時代の石器の分布状況（第76・77図）

調査区の中央付近には石器の分布は多くなく、東側の谷部に接する方で多く分布している状況がみられる。特に石斧製作に関する資料が目立つことが特徴的である。また敲石・磨石が調査区南東端の集石遺構が密集した区域で多く確認されている。集石遺構の構成礫として転用された結果かもしれない。桑ノ木津留産黒曜石製の石器はその北西側の隣接する区域に多く見られる。尖頭状石器についても調査区の中央付近の東端に密集して出土している。

縄文時代早期の石器（第79～90図）

本項では4層～5層にかけて出土した石器のうち製品類を中心に報告を行う。規模等の詳細は第24～25表を参照していただきたい。なお、本書における縄文時代の石器の分類案についてはここで記載している。これは本書内で共通する分類案で、他の遺跡の資料では共通するものではない。本調査区で出土しなかった製品類については各調査区で分類基準を提示している。

石鏃（409～434）

剥片を素材として、押圧剥離を行って尖頭部を作り出し、全体の形状を三角形や五角形に整えるもの。本調査区から出土した石鏃は欠損品も含めると58点で、使用石材としてはチャート、桑ノ木津留産黒曜石、頁岩が目立つ。本調査区では以下の6種類に分類できる。

・1類（409・410）：基部の抉りのない平基鏃。6点出土している。

・2類（411～414・422）：基部の抉りが逆V字か逆U字を呈する特徴的で深いもの。いわゆる鍬形鏃である。12点出土している。

・3類（416～420）：基部の抉りが浅いもの。11点出土している。

・4類（421・423・424）：基部の抉りが深いもの。5点出土している。

・5類（425～427）：鋸歯状の縁辺を呈するもの。4点出土している。

・6類（415・428～434）：素材剥片の形状を大きく残すもの。一部には未製品の可能性がある。9点出土している。

石鏃未製品（435～440）

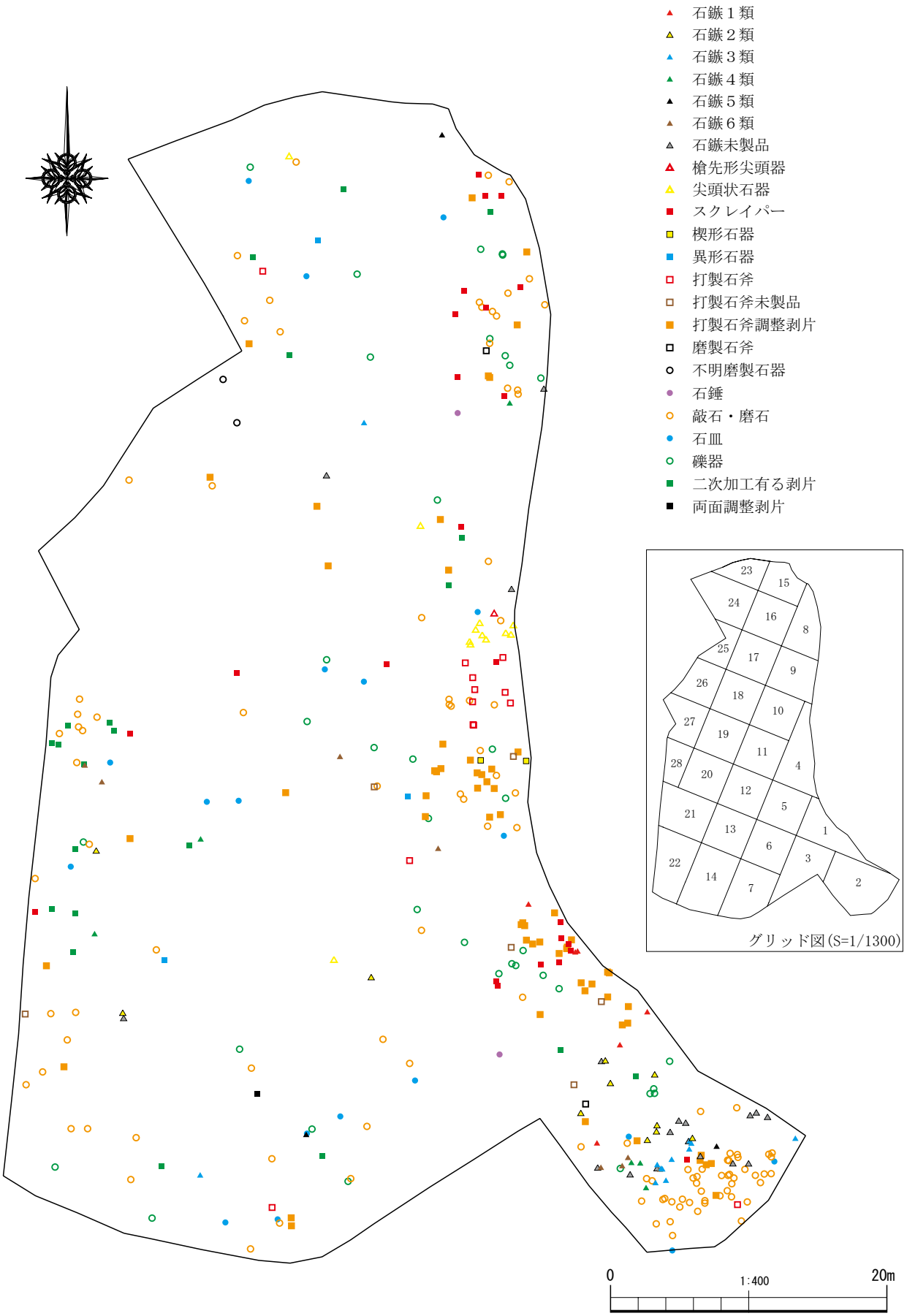
全体の形状や規模は石鏃に似ているが、加工が未熟で、尖頭部が鈍いものや作り出されていないもの。概ね石鏃よりも分厚い形状である。20点出土している。

槍先形尖頭器（441・442）

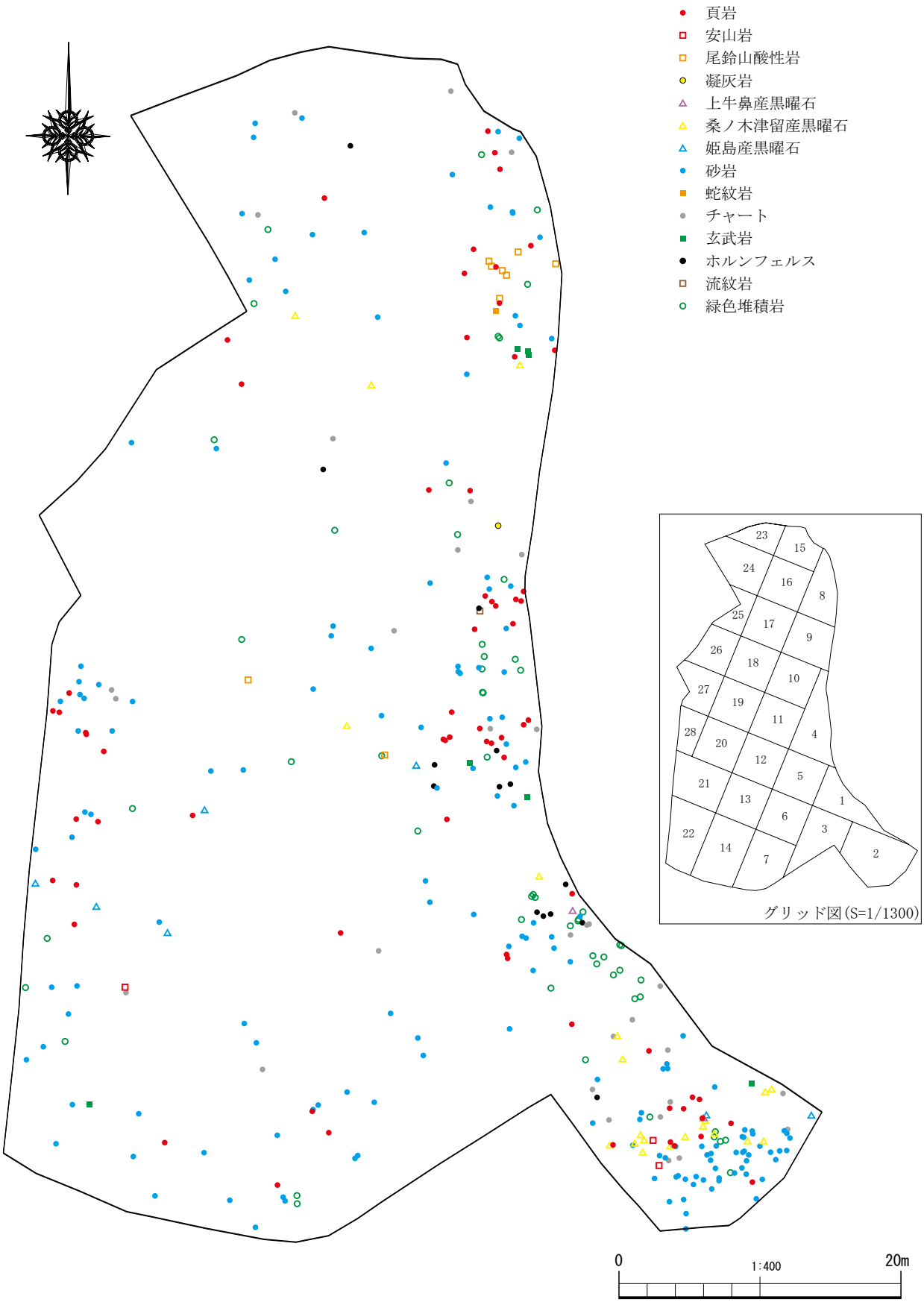
剥片を素材として、押圧剥離をおこなって尖頭部を作り出し、平面形が長楕円形で断面系がレンズ状を呈するもの。2点出土している。441は白色の流紋岩製で下部を欠損している。表面に光沢がみられ、剥離面の稜線が鈍くなっている部分がある。

尖頭状石器（443～448）

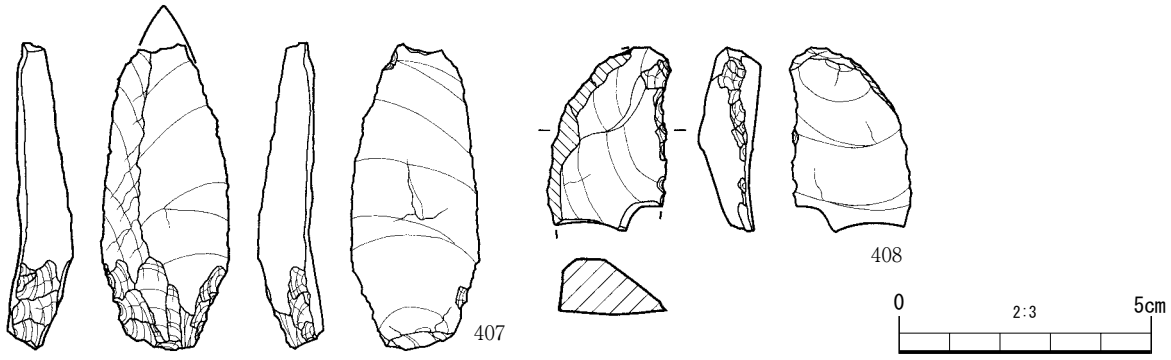
石鏃より規模は大きく、鈍い尖端を持つもので、基部の形状は平基か丸く整えられている。



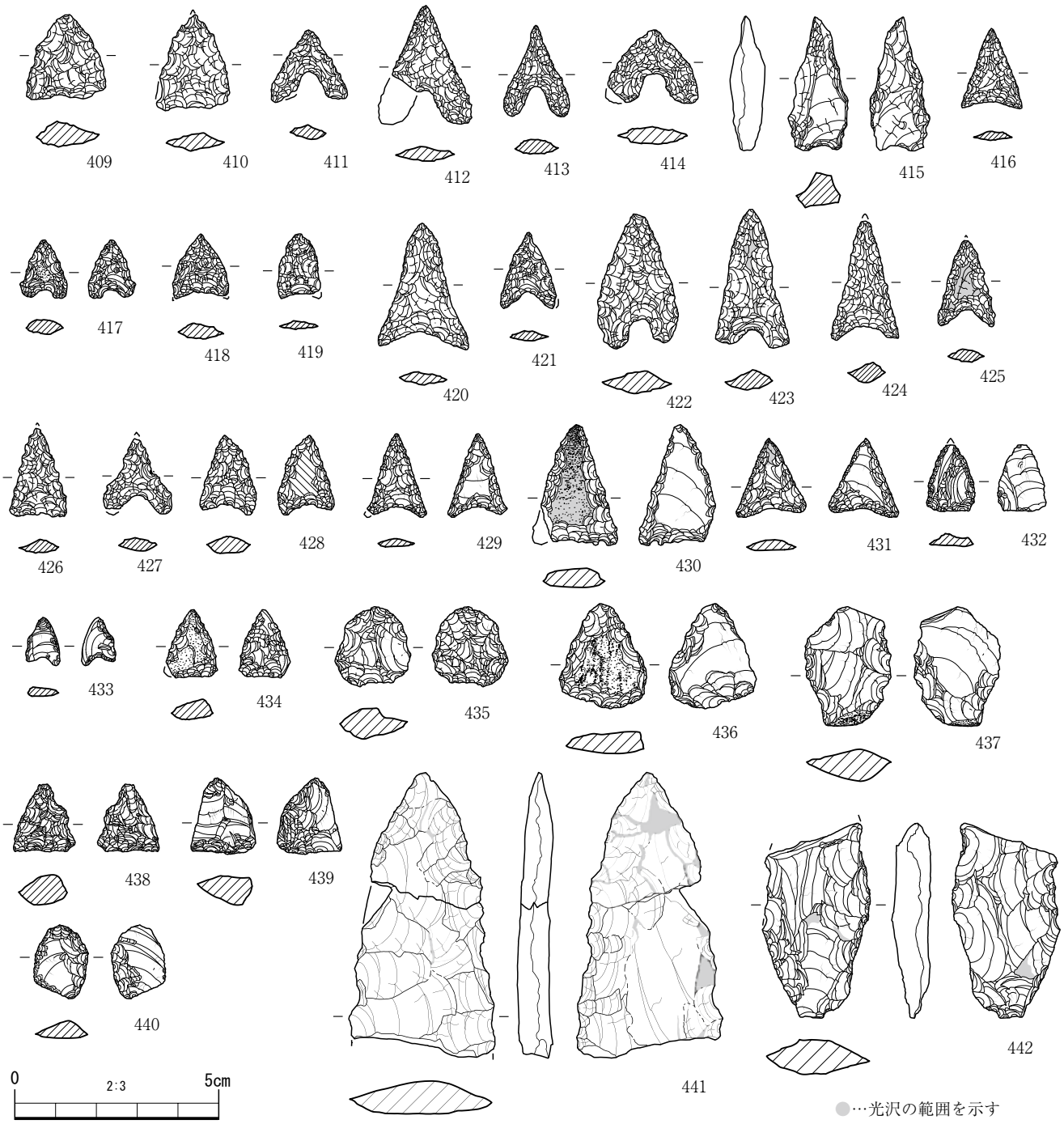
第76図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土主要石器分布図①【器種別】（S=1/400）



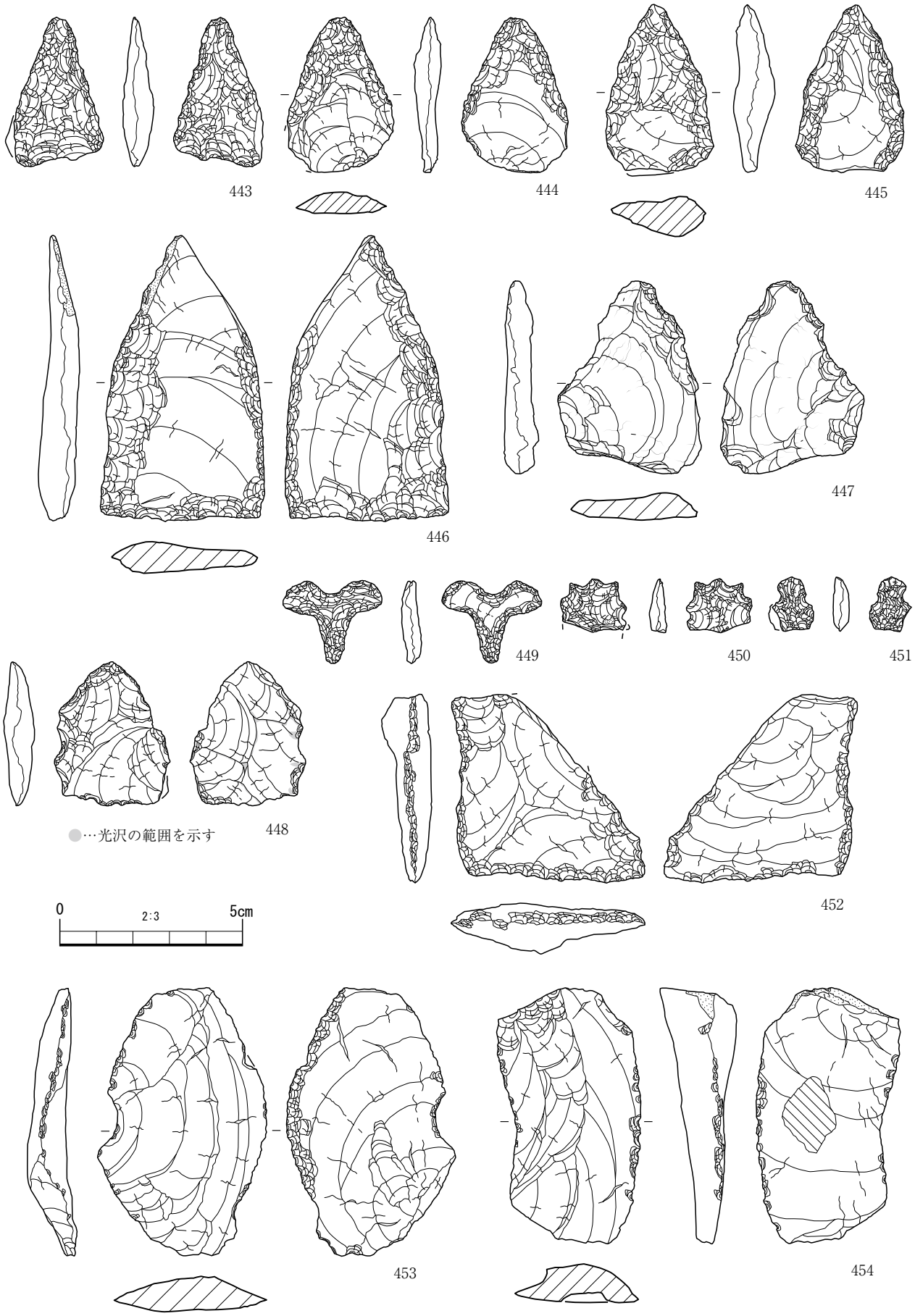
第77図　橋山第3遺跡1地区縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土主要石器分布図②【石材別】（S=1/400）



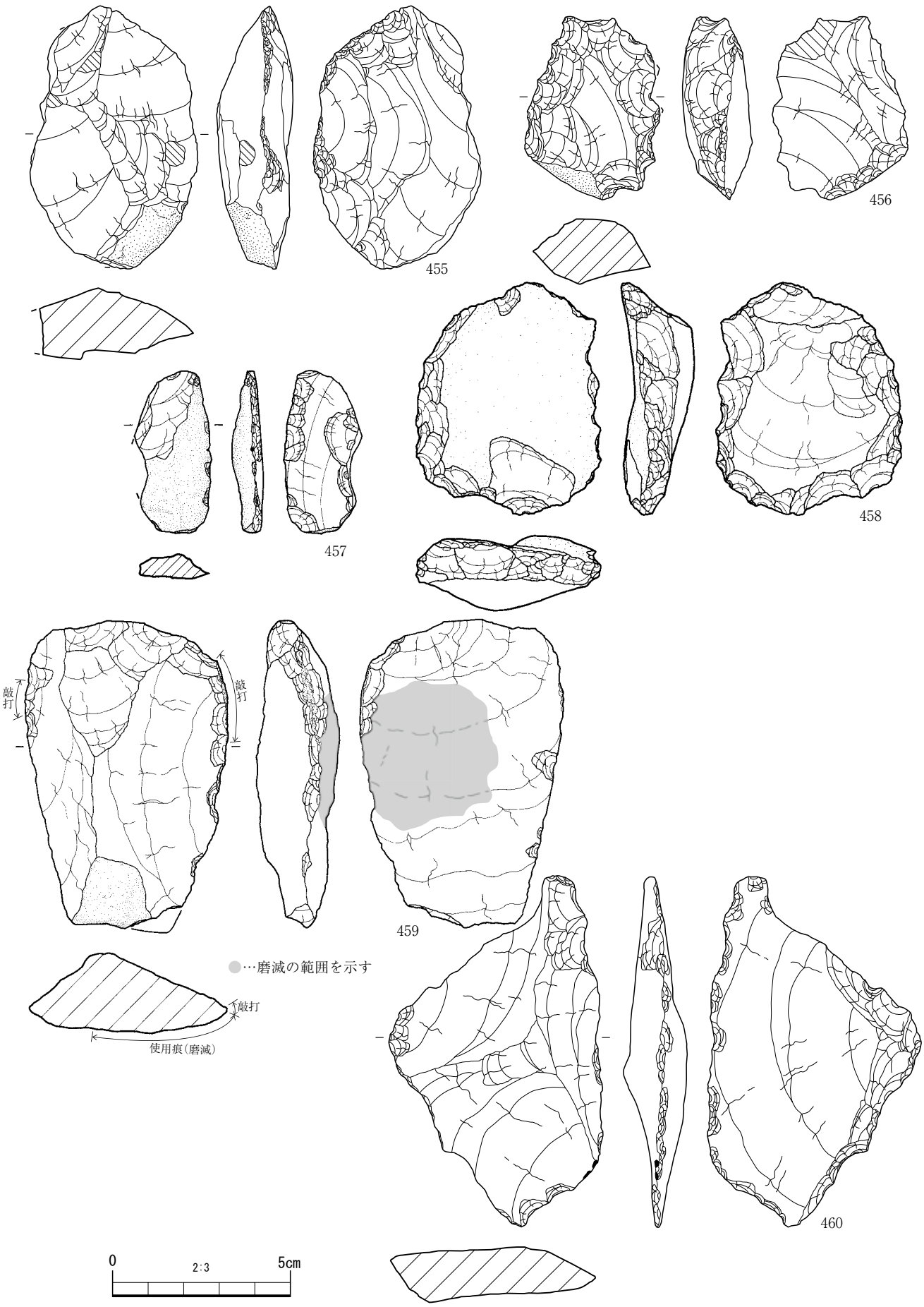
第78図　旧石器時代（5～6層）出土石器実測図（S=2/3）



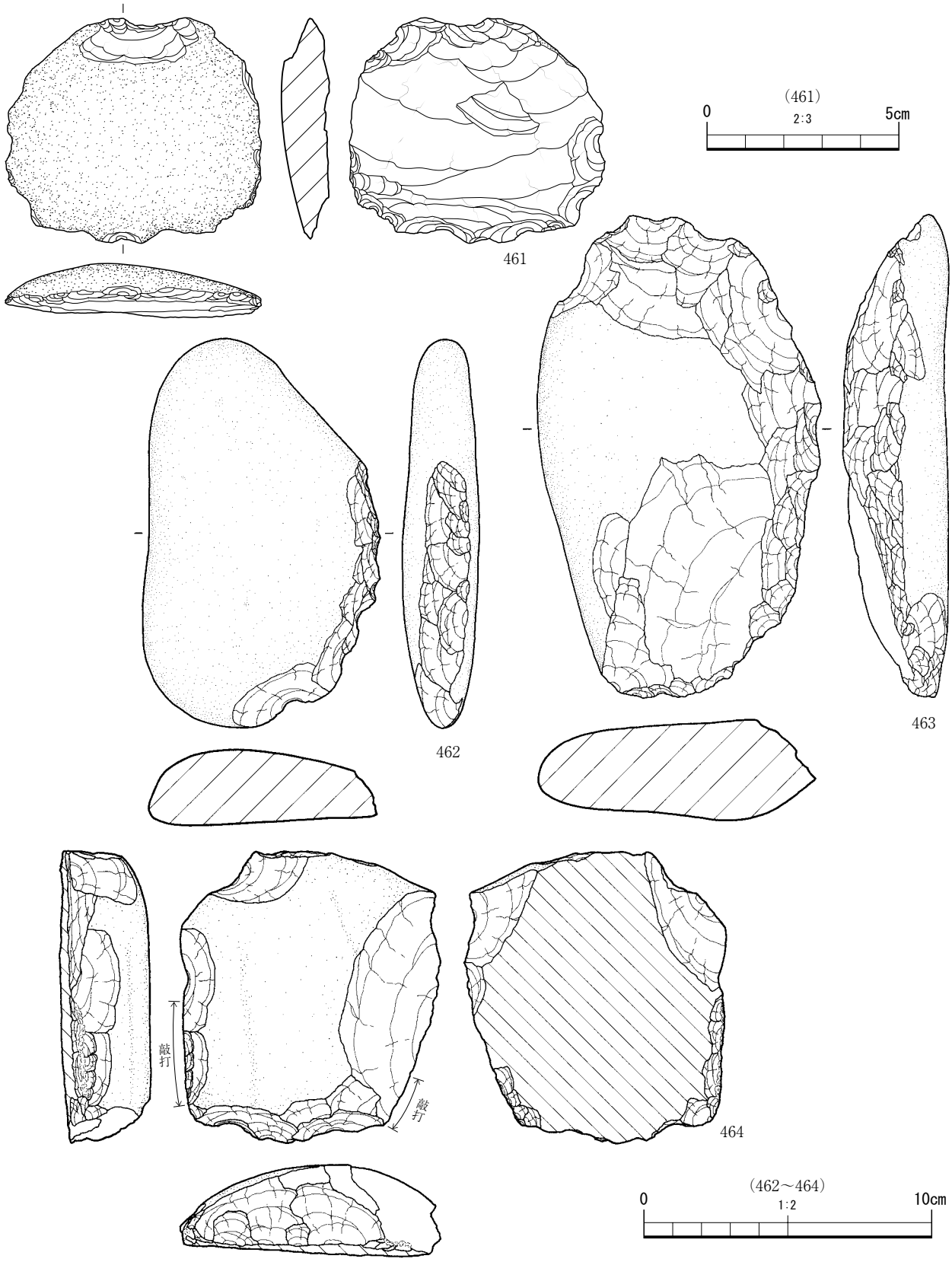
第79図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図①（S=2/3）



第80図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図②（S=2/3）

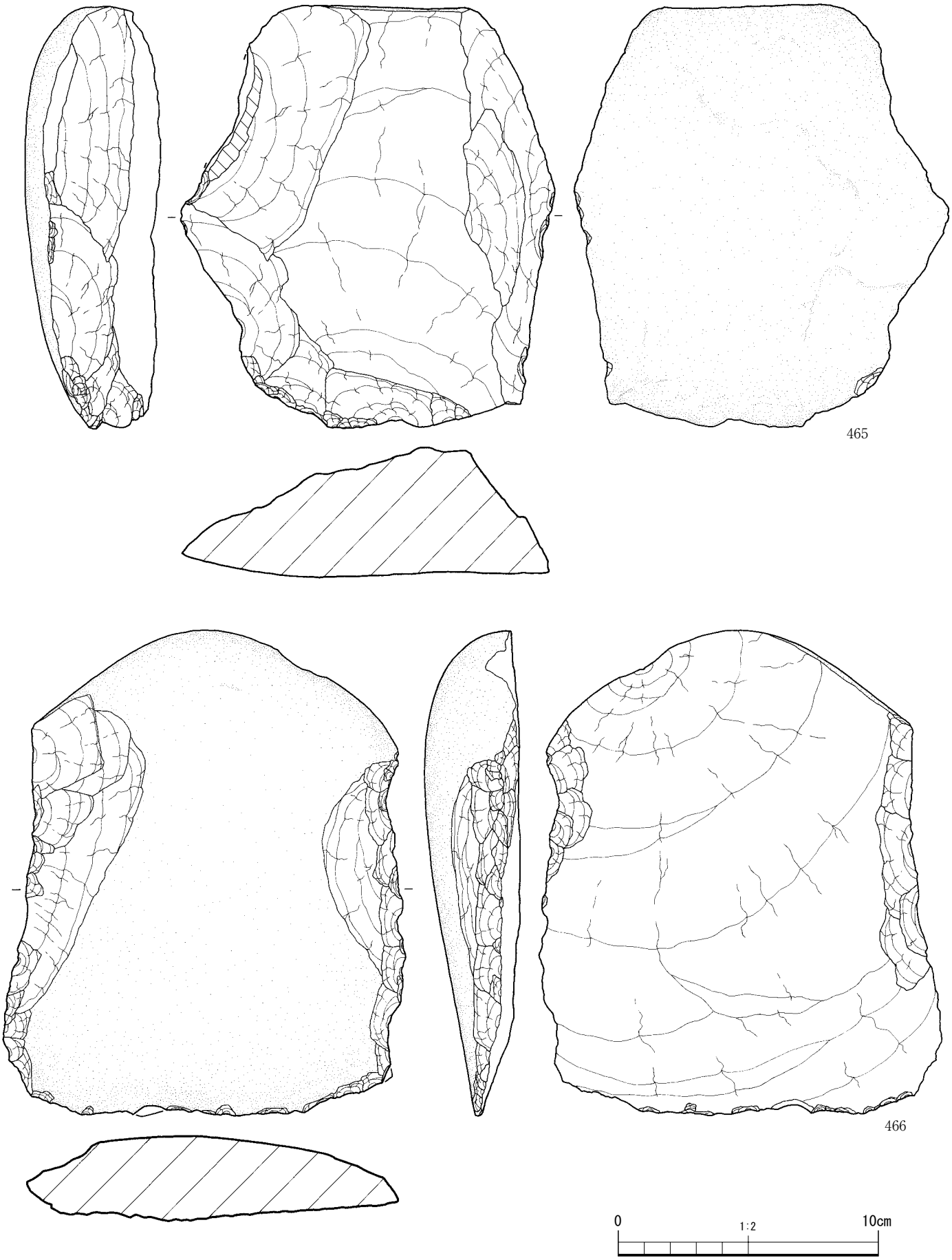


第81図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図③（S=2/3）

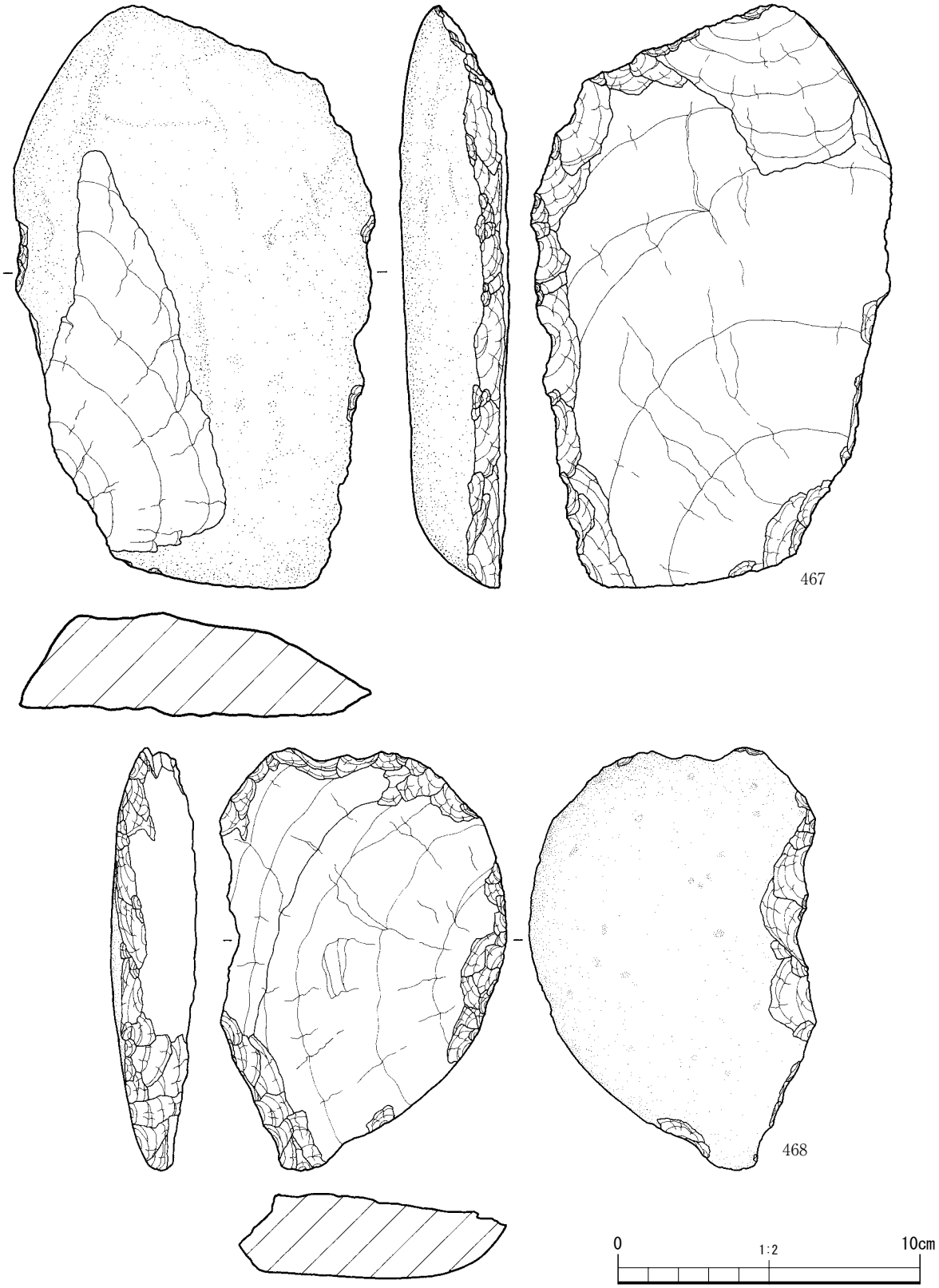


第82図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図④（S=2/3・1/2）

12点出土している。石鏃と異なり頁岩の使用が目立つ。石鏃の重量は1g以下から3g程度に対して、尖頭状石器は7g以上となっている。446は特に大振りで32ｇもあるが、加工が周縁部にのみにとどまることから未製品の可能性もある。447も未製品と考えられる。



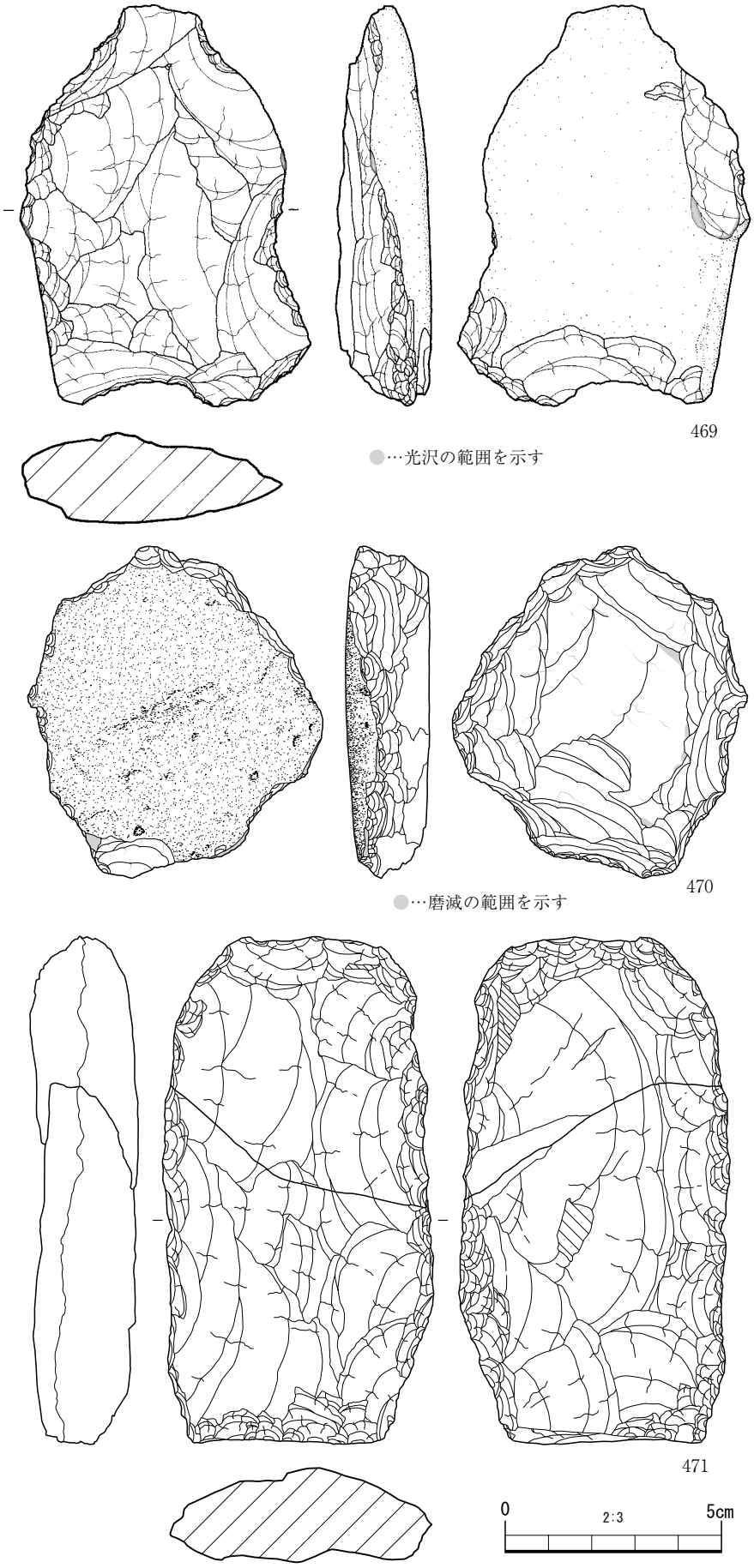
第83図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑤（S=1/2）



第84図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑥（S=1/2）

異形石器（449～451）

剥片を素材とするもので、定型的な石器と異なる形状を呈しており、機能が推定できないもの。3点出土している。449はいわゆる羊頭型に分類される。



第85図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑦（S=2/3）

スクレイパー（452～461）

剥片を素材として、その縁辺に連続的な調整を施して刃部を作り出したもの。26点出土しており、453は中央付近に抉りを持つ。459は腹面中央付近が磨滅している。461は石斧によく使用される緑色堆積岩を使用している。

礫器（462～468）

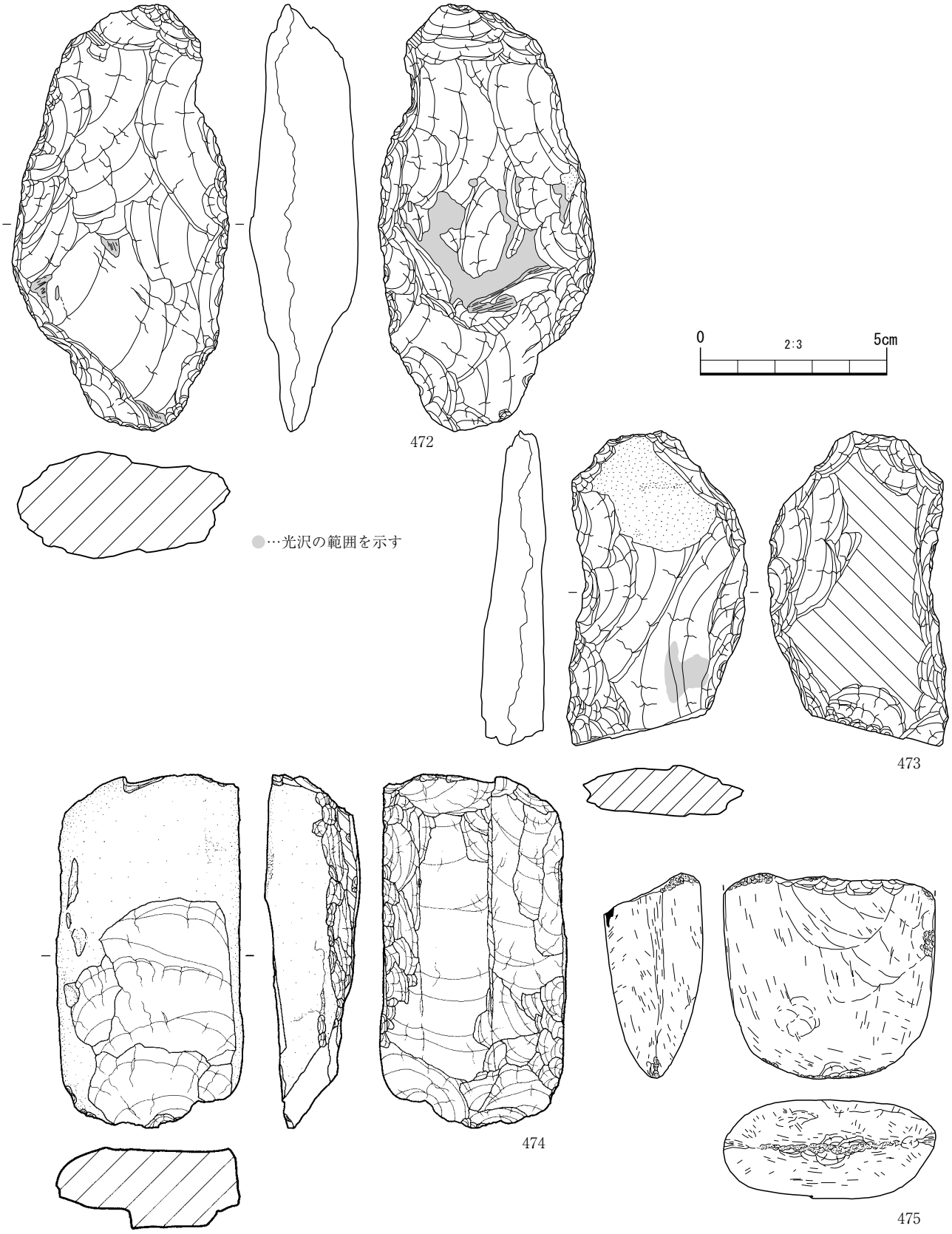
礫または礫面を有する大型の剥片を素材として、その一部に調整を施し粗い刃部を施したもの。41点出土している。大型のものは1kgを超える。468の尾鈴山酸性岩製以外はすべて砂岩製である。464は縁辺に敲打痕がみられる。

石斧（469～476）

剥片または縦長の礫を素材として、その短辺に刃部を形成するもの。研磨を施すものもみられる。未製品を含めると、個体別資料として19点出土している。475は砂岩製で、それ以外は緑色堆積岩製と頁岩製である。欠損品、未製品が多く全体の形状が把握できるものは1点も出土していない。

石斧調整剥片（477～479）

剥片のうち腹面側に剥片剥離で生じた打点がみられないなど両極打法の痕跡が確認されるもの。研磨痕がみられるものもあり、これは再加工の際に生じたものと考えられる。

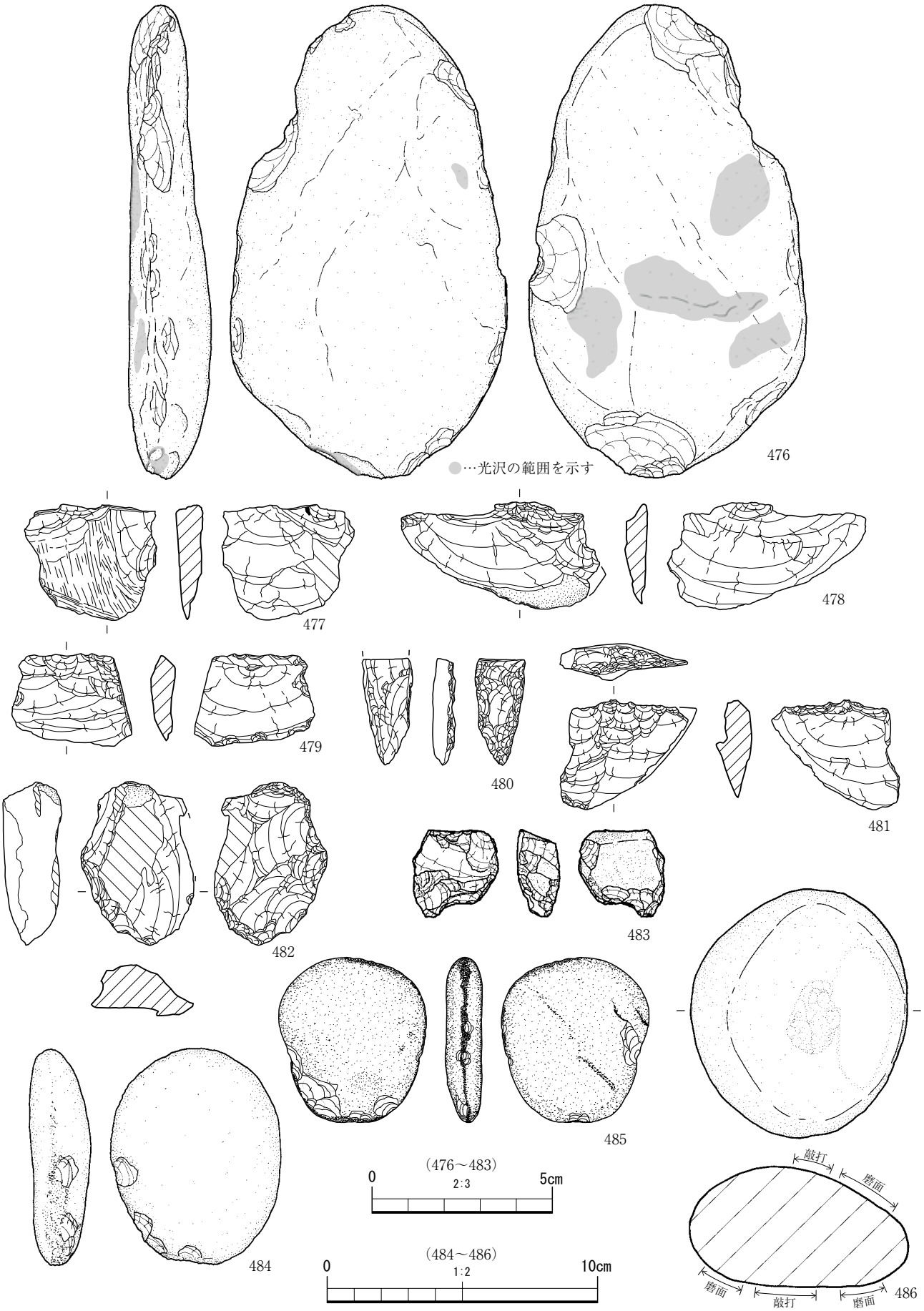


第86図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑧（S=2/3）

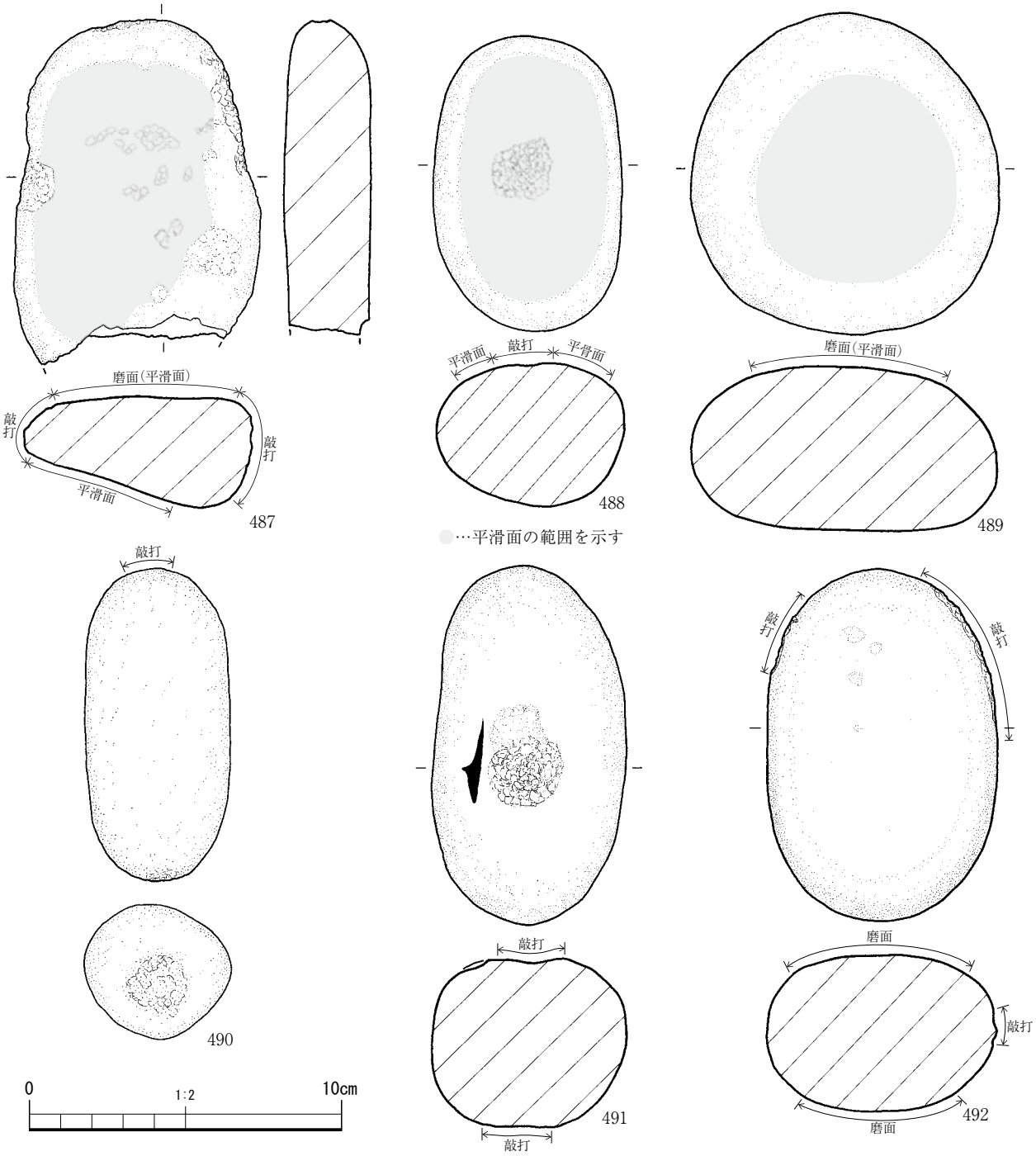
使用石材は緑色堆積岩、頁岩、ホルンフェルスに限定される。63点出土している。

二次加工有る剥片（480～482）

剥片に調整が施されているが、その調整の意図が読み取れないもの。未製品や石核である可



第87図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑨（S=2/3・1/2）



第88図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑩（S=1/2）

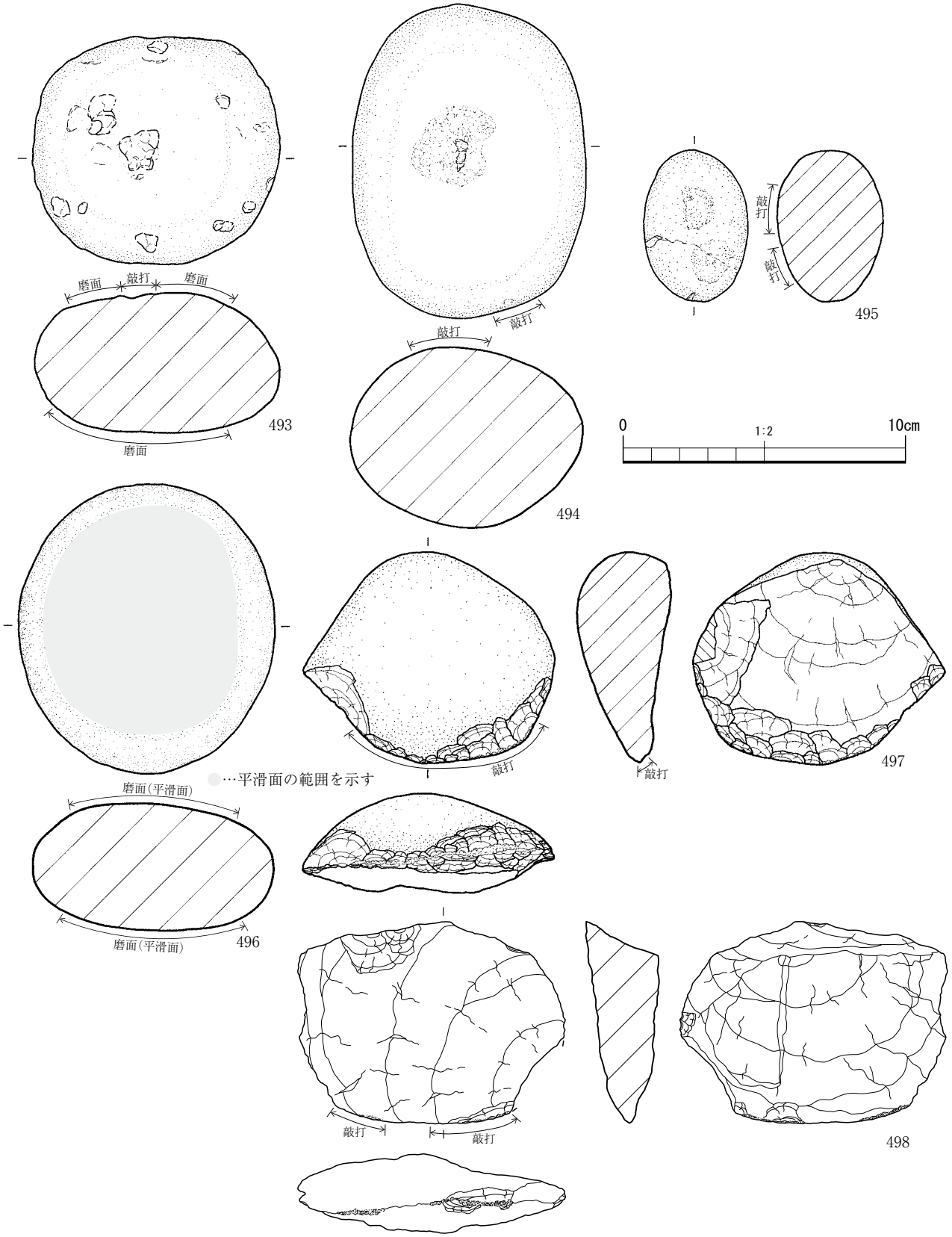
能性も考えられる。23点出土している。481は剥片剥離後、背面側打面部に調整を施している。

楔形石器（483）

小規模の石核のようにみえるが、対象に打ち込んだ際に生じる小規模な剥離痕が上部と下部に確認されるもの。2点出土している。

敲石・磨石（484～498）

敲石は礫または分厚い剥片の一部に敲打痕が確認されるもので、磨石は円礫の一部に平滑面をもつもの。両者が混在する資料もある。礫を素材とするものを1類（484～496）、剥片素材のものを2類（497・498）と細分しておく。砂岩が多く用いられているが、尾鈴山酸性岩、凝灰

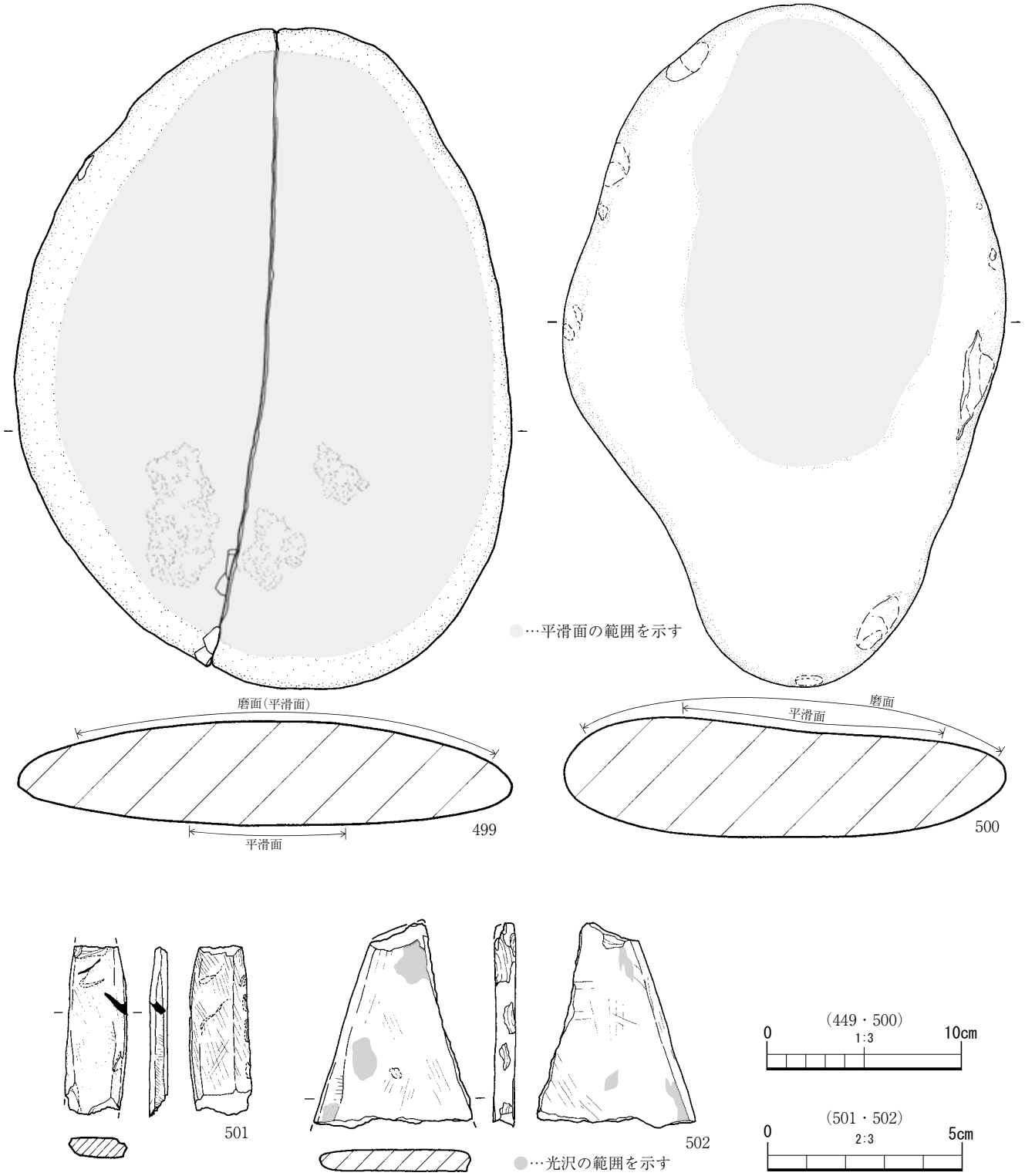


第89図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑪（S=1/2）

岩製のものもみられる。126点出土している。484・485は扁平な礫の周縁部に、490は棒状礫の下端部に敲打痕がみられる。

石皿（499・500）

大振りの礫を素材として、その平らな面に敲打痕や平滑面やくぼんだ滑らかな面をもつもの。



第90図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑫（S=2/3・1/3）

21点出土しており、すべて砂岩製である。

不明磨製石器（501・502）

剥片を素材として表面に研磨痕がみられるもので、使用状況などが推測できないものをまとめた。2点出土している。501は頁岩製で細身に作り上げられている。磨製の尖頭器の可能性が考えられる。502は頁岩製で下部を欠損している。表面には研磨痕以外に光沢もみられる。

第15表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表①

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.82 第58図	44	5層	縄文 深鉢	(13.4)	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	貝殻腹縁刺突文･沈線文 （鋸歯状）･円形刺突文	ナデ	1 少	2 僅		水迫式　口唇部貝殻 押圧文　穿孔有	370
	45	5層	縄文 深鉢	(13.0)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR4/2	良好	貝殻腹縁刺突文･沈線文 （鋸歯状）･円形刺突文	ナデ	1 多	2 少		水迫式　口唇部貝殻 押圧文　穿孔有	369
	46	5層	縄文 深鉢	(17.2)	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	貝殻腹縁押引文 貝殻腹縁刺突文・ナデ	ナデ	1 僅	微 僅		水迫式　口唇部貝殻 押引文　穿孔2ヶ所有	371
	47	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	貝殻腹縁押引文・貝殻 腹縁刺突文・条痕後ナデ	ナデ	1 少	1 僅		水迫式　口唇部貝殻 押引文	373
	48	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	貝殻腹縁押引文 ナデ	ナデ	1 少			水迫式　口唇部貝殻 押圧文	375
	49	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄褐 10YR6/3	良好	貝殻腹縁押引文 ナデ	ナデ	1 多			水迫式　口唇部キザミ	374
	50	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	貝殻腹縁押引文	ナデ	微 少			水迫式　口唇部キザミ	372
	51	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	貝殻腹縁押引文 条痕文	条痕文	2 多	1 僅		岩本式　口唇部キザミ	376
	52	5層	縄文 深鉢	(13.2)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 多	2 僅		前平式　口唇部貝殻 腹縁刺突文	377
	53	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 多	2 僅		前平式　口唇部貝殻 腹縁刺突文	378
	54	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	条痕文	ナデ	2 多	1 多		前平式	393
	55	4層＋5層	縄文 深鉢	(21.8)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条線文	ミガキ	3 多		1 僅	中原式　口唇部ミガキ	449
	56	5層	縄文 深鉢	(10.6)	(8.0)	14.2	にぶい黄橙 10YR6/3	灰褐 7.5YR4/2	良好	条線文	ナデ（一部不明瞭）	2 僅	2 僅		別府原式	515
	57	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 10YR5/1	良好	条線文	条痕後ナデ	1 多			中原式	452
	58	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条線文	ナデ	2 多			中原式	454
	59	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条線文	ナデ	2 多		2 僅	中原式	453
	60	2層＋4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条線文	ナデ	2 多			中原式	451
	61	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条線文	ミガキ	3 多			中原式	450
p.83 第59図	62	5層	縄文 深鉢	－	(17.3)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR4/2	良好	ナデ	ナデ	3 多			中原式	455
	63	5層	縄文 深鉢	(12.2)	(6.0)	11.85	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕文・指押さえ	2 少			別府原式	434
	64	5層	縄文 深鉢	－	－	－	黄灰 2.5Y5/1/	褐灰 10YR4/1	良好	貝殻腹縁刺突文 条痕文	条痕文・指押さえ	微 多			別府原式 外面スス付着	448
	65	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ・沈線文	ナデ	1 僅	1 僅		別府原式	457
	66	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ・条痕文	ナデ	1 多			別府原式	385
	67	5層	縄文 深鉢	(21.0)	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄 2.5Y6/3	良好	条痕文	ナデ	2 多	2 僅		別府原式	456
	68	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 僅			別府原式	458
	69	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	ナデ	1 少	2 僅		別府原式	461
	70	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい黄 2.5Y6/3	良好	条痕文	丁寧なナデ	2 多	2 僅		別府原式	464
	71	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	丁寧なナデ	1 多	2 僅		別府原式	459
	72	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	条痕文	ナデ	1 多	1 僅		別府原式	460
	73	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	ナデ	1 僅			別府原式	463
	74	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	ナデ・指押さえ	1 僅	1 僅		別府原式	462
	75	5層	縄文 深鉢	－	(7.0)	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		別府原式	466
	76	5層	縄文 深鉢	－	(6.0)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅			別府原式	468
	77	5層	縄文 深鉢	－	(5.6)	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅			別府原式	467
	78	5層	縄文 深鉢	－	(7.0)	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕後ナデ	ナデ	1 少	1 僅		別府原式　網代底	470
	79	5層	縄文 深鉢	－	8.4	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	ナデ	ナデ	1 多			塞ノ神式	472
	80	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ	丁寧なナデ	2 少			別府原式　網代底	469
	81	5層	縄文 深鉢	－	(4.5)	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ（一部磨耗）	ナデ	1 少	2 少		別府原式	259
	82	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	貝殻押引文	ナデ	微 僅	1 僅		吉田式	379
	83	5層	縄文 深鉢	－	(12.7)	－	橙 5YR6/8	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ	条痕後ナデ	微 僅			石坂式　底部にキザミ	255
	84	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 7.5YR4/2	褐灰 7.5YR5/2	良好	櫛状工具刺突文	ナデ	1 少	2 少		下剥峯式	474
	85	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	櫛状工具刺突文	丁寧なナデ	1 僅			下剥峯式	473
	86	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰褐 7.5YR4/2	良好	櫛状工具刺突文	条痕後ナデ	1 僅	1 僅		下剥峯式	475
	87	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕による羽状文	丁寧なナデ	2 多	1 僅		桑ノ丸式 口唇部ミガキ	476
	88	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕による羽状文	ナデ	1 少	1 僅	微 僅	桑ノ丸式 口唇部ミガキ	483
	89	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	短沈線による羽状文	ナデ（不明瞭）	1 僅			桑ノ丸式 口唇部丁寧なナデ	480

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第16表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表②

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測番号
p.84 第60図	90	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短沈線による羽状文	ナデ	1 少	1 僅		桑ノ丸式 穿孔有	489
	91	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	ミガキ	1 僅		1 僅	桑ノ丸式 口唇部ミガキ	481
	92	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文・ナデ	ナデ・指押さえ	2 少	1 僅		桑ノ丸式	482
	93	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	明灰黄 2.5Y5/2	良好	短沈線文	ミガキ	1 僅	1 僅		桑ノ丸式 口唇部ミガキ	479
	94	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕による羽状文	丁寧なナデ	1 少	1 僅		桑ノ丸式	477
	95	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 7.5YR5/2	良好	短沈線による羽状文	ナデ	微 僅	微 僅		桑ノ丸式	486
	96	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	ミガキ	微 僅	微 僅		桑ノ丸式	485
	97	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	条痕文	ナデ	微 僅			桑ノ丸式	484
	98	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕による羽状文	丁寧なナデ	1 多	1 少		桑ノ丸式	478
	99	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕による羽状文	ミガキ	2 少	1 僅	微 僅	桑ノ丸式	487
	100	5層	縄文 深鉢	－	(14.3)	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	短沈線文	丁寧なナデ	1 僅		1 少	桑ノ丸式　底部ミガキ	488
	101	5層	縄文 深鉢	－	11.2	－	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	ナデ	条痕文	1 僅	1 僅		前平式 網代底	471
	102	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕後ナデ 貼付突帯にキザミ	ナデ・指押さえ	1 多	2 僅		妙見式　口唇部キザミ	433
	103	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	条痕後ナデ	撚糸文・ケズリ	1 少		1 少	平栫式　口唇部キザミ	397
	104	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	ナデ 結節縄文	ナデ	1 僅	1 僅		平栫式	495
	105	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ 結節縄文	ナデ	1 僅	1 少		平栫式	498
	106	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	浅黄橙 10YR8/4	良好	ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		塞ノ神A式　波状口縁	491
	107	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	浅黄橙 7.5YR8/3	良好	ナデ	ナデ・指押さえ	1 僅	1 僅		塞ノ神A式	490
	108	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	条痕文	ナデ	微 多	3 僅		塞ノ神A式	388
	109	5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 10YR8/3	灰白 10YR8/1	良好	ナデ・微隆帯に キザミ・結節縄文	ナデ	1 多			平栫式	508
	110	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR7/6	橙 7.5YR6/6	良好	ナデ・微隆帯にキザミ	ナデ	1 少	1 少		塞ノ神A式	507
	111	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/4	良好	連点文 結節縄文・ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		平栫式	499
	112	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR7/6	橙 7.5YR6/6	良好	ナデ・結節縄文	ナデ	1 僅			平栫式	504
	113	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	ナデ・縄文	ナデ	微 僅	微 少		平栫式	500
p.85 第61図	114	4層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	にぶい橙 7.5YR7/3	良好	ナデ・沈線文 撚糸文	ナデ	1 僅	1 僅		塞ノ神A式　穿孔有	501
	115	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 7.5YR8/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	ナデ・撚糸文・沈線文	ナデ	1 僅			塞ノ神A式	497
	116	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	にぶい橙 7.5YR7/4	良好	ナデ・撚糸文・沈線文	ナデ	1 少			塞ノ神A式	496
	117	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	浅黄橙 10YR8/3	良好	ナデ・沈線文・撚糸文	ナデ	1 僅			塞ノ神A式	493
	118	5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 7.5YR8/4	浅黄橙 7.5YR8/2	良好	撚糸文・沈線文	ナデ	1 少	微 僅		塞ノ神A式	503
	119	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ・沈線文・撚糸文	ナデ	1 僅	1 僅		塞ノ神A式	509
	120	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ・撚糸文・沈線文	ナデ		1 少		塞ノ神A式	502
	121	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	撚糸文・沈線文	ナデ	3 多			塞ノ神A式	494
	122	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	浅黄橙 10YR8/4	良好	ナデ・沈線文	ナデ（不明瞭）	1 僅	1 僅		塞ノ神A式	492
	123	5層	縄文 深鉢	－	(11.2)	－	にぶい橙 7.5YR6/4	橙 7.5YR7/6	良好	ナデ・沈線文	ナデ	1 僅	1 僅		塞ノ神A式	505
	124	－	縄文 深鉢	－	(10.4)	－	浅黄橙 10YR8/3	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	ナデ・撚糸文	ナデ	1 少	1 僅		塞ノ神A式	506
	125	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ・撚糸文	ナデ		1 僅		塞ノ神A式	513
	126	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰白 10YR8/3	淡黄 2.5YR8/3	良好	ナデ・撚糸文	ナデ	微 僅			塞ノ神A式	512
	127	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	灰褐 7.5YR6/2	良好	貝殻腹縁押引文 ナデ・条痕文	ナデ		1 多		塞ノ神B式	510
	128	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ・貝殻腹縁押引文 沈線文	条痕文後ナデ	1 僅	微 僅		塞ノ神B式	514
	129	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	明赤褐 5YR5/6	良好	ナデ 工具による沈線文	ナデ	1 僅			塞ノ神B式	511
	130	5層	縄文 深鉢	(11.4)	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 5YR4/1	良好	条痕文	丁寧なナデ	1 少	2 多		別府原式	381
	131	5層	縄文 深鉢	(7.2)	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	褐灰 10YR4/1	良好	条痕文	ナデ・指押さえ	2 多			桑ノ丸式	382
	132	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ	条痕後ナデ	2 少			外面スス付着	441
	133	4層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 10YR4/1	黄褐 2.5Y5/3	良好	条痕文・波状文	ナデ	1 多	1 少		別府原式	384
	134	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰褐 7.5YR6/2	良好	条痕文	ナデ	1	2 僅		塞ノ神A式	392
	135	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	条痕文・ナデ	原体条痕・ナデ	1 少	2 僅		塞ノ神A式	380

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第17表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表③

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.85 第61図	136	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	ナデ	微 僅	1 僅		塞ノ神式	389
	137	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅			無文土器	439
	138	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 10YR4/1	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ・粘土剥がれ	ナデ	1 多			無文土器	445
	139	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ	ナデ	1 少			無文土器　繊維痕有	447
	140	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ	条痕	2 少			無文土器	438
	141	4層＋5層	縄文 深鉢	－	(7.0)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 多			無文土器 外面スス付着	446
	142	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 10YR4/4	暗灰黄 2.5YR4/2	良好	ナデ	ナデ	2 少			無文土器	289
	143	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	爪形文・縄文後ナデか	ナデ	1 僅			無文土器 繊維痕有	444
	144	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ・爪形文	ナデ	1 少			爪形文	516
p.86 第62図	145	5層	縄文 深鉢	(23.3)	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ミガキ	1 多	2 少	1 多	1類　弘法原式　外面未貫通穿孔有　穿孔有	136
	146	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	山形押型文・ナデ	ミガキ	2 多		1 少	1類　弘法原式	135
	147	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ（磨耗気味） ミガキ	4 少	1 僅	1 少	1類　弘法原式	137
	148	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	山形押型文	ミガキ	1 少		1 僅	1類　弘法原式	134
	149	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	3 多		1 少	1類　弘法原式	133
	150	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	黄灰 2.5Y5/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	1 少		1類	192
	151	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 7.5YR5/4	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅		2 多	1類	189
	152	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明黄褐 10YR6/8	明黄褐 10YR7/6	良好	楕円押型文	ナデ（不明瞭）	1 僅			1類	190
	153	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	1 僅		3類　外面スス付着	191
	154	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	橙 7.5YR7/6	良好	楕円押型文	楕円押型文 丁寧なナデ	1 僅	2 僅		2類　口唇部楕円押型文 外面未貫通穿孔有	198
	155	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	楕円押型文	楕円押型文 丁寧なナデ	1 僅	2 僅		2類 口唇部楕円押型文	193
	156	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	灰褐 7.5YR4/2	良好	楕円押型文	楕円押型文 丁寧なナデ		2 僅		2類	197
	157	5層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	楕円押型文	楕円押型文 丁寧なナデ	1 僅	1 僅		2類	196
	158	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	楕円押型文	楕円押型文 丁寧なナデ	1 多	1 少		2類	194
	159	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	2 多		2類	199
	160	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	明褐 7.5YR5/6	良好	楕円押型文	丁寧なナデ	1 少	2 僅		2類	195
	161	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ミガキ	1 少	1 僅	微 僅	3類 口唇部山形押型文	157
	162	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明赤褐 5YR5/6	にぶい赤褐 2.5YR5/4	良好	山形押型文	山形押型文・ミガキ		1 僅		3類	156
	163	4層＋5層	縄文 深鉢	(30.8)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	山形押型文	ナデ	2 少	2 少		3類　口唇部山形押型文　穿孔有	170
	164	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 10YR6/1	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 少			3類	142
	165	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	3 多	2 少		3類 口唇部山形押型文	143
p.87 第63図	166	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	山形押型文	ナデ	3 多	2 少		3類 口唇部山形押型文	169
	167	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	橙 7.5YR6/6	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	2 少			3類　口唇部原体条痕	150
	168	2層＋4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	2 少	2 少		3類　口唇部山形押型文　穿孔有	176
	169	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文 （磨耗気味）	山形押型文・ナデ	1 多			3類　口唇部山形押型文　穿孔有	364
	170	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	2 少	2 僅	2 多	3類　外面未貫通穿孔有 口唇部山形押型文	163
	171	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい橙 5YR6/4	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 僅	1 僅		3類 口唇部山形押型文	184
	172	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 多			3類　口唇部山形押型文　穿孔有	154
	173	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 多	2 多		3類 口唇部山形押型文	164
	174	5層	縄文 深鉢	(25.1)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	3.5 多	1 少		3類 口唇部山形押型文	147
	175	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 7.5YR7/6	良好	山形押型文	原体条痕・山型押型文	2 少	2 僅		3類	167
	176	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	微 僅			3類 口唇部山形押型文	165
	177	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	暗赤灰 5R4/1	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ			1.5 多	3類 口唇部山形押型文	155
	178	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	2 多	1 僅		3類	168
	179	4層	縄文 深鉢	－	－	－	黄灰 2.5Y5/1	黄灰 2.5Y6/1	良好	山形押型文	ナデ			2 多	3類	145
	180	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	1.5 多	1 僅		3類	146
	181	9層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	暗灰黄 2.5Y4/2	良好	ナデ・山形押型文	ナデ	5 少	2 僅		3類	158

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第18表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表④

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測番号
p.88 第64図	182	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	3 多			3類	141
	183	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	1 多	1 多		3類	139
	184	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	4 少	2 少		3類	148
	185	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	微 僅	2 少		3類　外面スス付着	153
	186	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	2 少		1 多	3類	151
	187	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	2 少	2 少		3類	162
	188	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	1 多			3類	140
	189	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	1 多			3類	138
	190	4層＋5層	縄文 深鉢	－	(7.8)	－	にぶい黄褐 10YR5/3	黄褐 2.5Y5/3	良好	山形押型文・ナデ	ナデ	3 多		3 多	3類	152
	191	5層	縄文 深鉢	－	(9.2)	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	3 多		2 少	3類	166
	192	5層	縄文 深鉢	(32.3)	－	－	明黄褐 10YR6/6	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 多	1 少	1 僅	3類 口唇部楕円押型文	293
	193	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円型押型文・ナデ （不明瞭）	1 多	微 僅		3類 口唇部楕円押型文	249
	194	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	5 少	1.5 少		3類 口唇部楕円押型文	368
	195	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円形押型文(一部 磨滅により不明瞭)	楕円押型文・ナデ	微 僅	微 僅		3類	230
p.89 第65図	196	5層	縄文 深鉢	(32.3)	－	－	明黄褐 10YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 多			3類 口唇部楕円押型文	292
	197	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰白 5YR8/1	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多			3類 口唇部楕円押型文	303
	198	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少			3類 口唇部楕円押型文	262
	199	5層	縄文 深鉢	(19.5)	－	－	明黄褐 10YR6/6	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	楕円押型文 （磨耗気味）	ナデ（磨耗気味）	3 多	1 少		3類	294
	200	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	明褐灰 5YR7/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多	2 少		3類 口唇部楕円押型文	306
	201	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR4/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	3 多			3類　口唇部キザミ	344
	202	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	明褐灰 7.5YR7/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多	2 僅		3類 口唇部楕円押型文	308
	203	5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 10YR7/3	浅黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多	2 僅		3類	212
	204	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰白 10YR8/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 少			3類	213
	205	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 10YR6/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多	2 僅		3類 口唇部楕円押型文	310
	206	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 少		3類 口唇部楕円押型文	302
	207	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 僅		3類	205
	208	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/4	浅黄 2.5Y7/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 僅		3類	298
	209	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 僅	1 僅	微 多	3類	200
	210	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰赤 7.5R6/2	明赤灰 10R7/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	3 少	1 僅		3類 口唇部楕円押型文	215
	211	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 僅			3類	208
	212	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少	1 僅		3類	202
	213	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多			3類	304
	214	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	楕円押型文（不明瞭） ナデ	1 少	1 少		3類	214
	215	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 多	2 少		3類	201
	216	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 10YR6/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 少		3類	312
	217	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR6/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 少			3類	283
	218	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 僅			3類 口唇部楕円押型文	244
	219	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	灰白 10YR7/1	良好	ナデ	楕円押型文・ナデ	2 少			3類 口唇部楕円押型文	313
p.90 第66図	220	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	明褐灰 7.5YR7/1	良好	楕円押型文	楕円押型文	1 僅		1 多	3類 口唇部楕円押型文	307
	221	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰白 7.5YR8/2	良好	ナデ	楕円押型文・ナデ	2 多	2 少		3類	222
	222	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ	楕円押型文・ナデ	1 少	2 僅		3類　口唇部キザミ	206
	223	5層	縄文 深鉢	－	－	－	黄褐 2.5Y5/4	黄灰 2.5Y4/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 多	2 僅		3類 口唇部楕円押型文	301
	224	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 少			3類 口唇部楕円押型文	210
	225	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	黄灰 2.5Y4/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・粗いナデ	1 少		2 多	3類 口唇部楕円押型文	252
	226	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR7/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	1 僅		3類 口唇部楕円押型文	203
	227	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	黄灰 2.5Y4/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・丁寧な ナデ　刺突文	1 僅			3類	144

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第19表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表⑤

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.90 第66図	228	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ	楕円押型文・ナデ	1 僅			3類 口唇部楕円押型文	211
	229	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 少	2 僅		3類 口唇部楕円押型文	207
	230	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰白 5YR8/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・原体条痕 ナデ（不明瞭）	1 多	1 僅		3類　口唇部刺突文	219
	231	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR6/2	にぶい黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少	2 僅		3類 口唇部楕円押型文	216
	232	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	2 少	微 僅		3類 口唇部楕円押型文	242
	233	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	明褐灰 7.5YR7/1	良好	楕円押型文・ナデ	楕円押型文 原体条痕・ナデ	2 少		1 僅	3類	220
	234	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	褐灰 5YR6/1	良好	楕円押型文・ナデ	楕円押型文・ナデ	2 多	1 僅	1 多	3類 口唇部楕円押型文	218
	235	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1.5 僅		1 僅	3類 口唇部楕円押型文	232
	236	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰赤 2.5YR4/2	褐灰 5YR4/1	良好	楕円押型文	粗いナデ	1 少	微 僅		3類　波状口縁	246
	237	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	褐 7.5YR4/3	良好	楕円押型文 （不明瞭）	楕円押型文 ナデ（不明瞭）	1.5 多	1 僅		3類	240
	238	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	1 僅		3類	288
	239	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	3 多			3類	209
	240	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 少			3類	204
	241	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ （一部劣化により磨滅）	1 僅	微 僅		3類	253
	242	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	明褐灰 7.5YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	2 多			3類	311
	243	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR4/2	灰褐 5YR4/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	微 僅		3類	352
	244	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅			3類	228
	245	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			3類	331
	246	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	微 僅	2 多		3類	229
	247	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR4/2	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅			3類	353
	248	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅	2 僅		3類	278
	249	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	褐灰 10YR6/1	良好	楕円押型文	ナデ	2 少			3類	309
	250	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 少		3類	268
	251	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ（不明瞭）	2 少			3類	224
p.91 第67図	252	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	3 多	1 僅		3類	282
	253	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 微			3類	273
	254	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 僅		3類	299
	255	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰白 10YR8/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 少	2 僅		3類	226
	256	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 5Y4/1	赤黒 2.5YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ （剥離の為不明瞭）	2 多			3類	221
	257	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰褐 5YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 僅		3類	267
	258	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅	微 僅		3類	231
	259	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	2 少		3類	305
	260	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	2 僅			3類	287
	261	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 微			3類	277
	262	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR4/2	良好	楕円押型文 （不明瞭）	ナデ（不明瞭）	微 多	1 多		3類	300
	263	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ（不明瞭）	1 少	1 僅		3類	279
	264	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	粗いナデ	1 僅		2 多	3類	276
	265	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 10YR5/3	灰褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	3 僅			3類	266
	266	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	2 少		3類	149
	267	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	黄灰 2.5Y5/1	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅	2 多		3類	271
	268	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 微			3類	274
	269	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR4/2	良好	楕円押型文	ケズリ	1 少		1 多	3類	284
	270	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ			2 多	3類	254
	271	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10Y5/2	良好	楕円押型文	ナデ	2 僅		1 多	3類	281
	272	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	赤黒 2.5YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 少			3類	227
	273	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	3 少		1 多	3類	290

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第20表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表⑥

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.91 第67図	274	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 少		3類	357
p.92 第68図	275	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	褐灰 7.5YR4/1	良好	楕円押型文	ナデ	微 少		1 少	3類	285
	276	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅		3 多	3類	265
	277	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			3類	234
	278	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	褐灰 7.5YR4/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅			3類	237
	279	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰赤 2.5YR4/2	良好	楕円押型文 （劣化により不明瞭）	ナデ （劣化により不明瞭）	1 少	0.5 僅	0.5 僅	3類	238
	280	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 7.5YR4/2	良好	楕円押型文・ナデ	ナデ	2 少	微 僅		3類	233
	281	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	粗いナデ	2 多		1 少	3類	270
	282	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	粗いナデ	2 僅		2 少	3類	260
	283	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	明褐灰 7.5YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	2 少			3類	225
	284	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 少		3類	291
	285	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰褐 5YR4/2	良好	楕円押型文	ケズリ後ナデ （一部劣化）	1 少	1 僅		3類	247
	286	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ（磨耗気味）	1 多	2 僅		3類	286
	287	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	黄橙 7.5YR7/8	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	楕円押型文	ナデ	3 多			3類	257
	288	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	橙 7.5YR6/6	良好	楕円押型文	ナデ	2 少			3類	256
	289	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	楕円押型文	ナデ	2 少			3類	258
	290	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明赤褐 5YR5/6	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	1.5 僅		3類	243
	291	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	褐灰 7.5YR4/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 微			3類	280
	292	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	灰褐 5YR4/2	良好	楕円押型文 （一部不明瞭）	ナデ（不明瞭）	1 少			3類 外面未貫通穿孔有	241
	293	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 多			3類	269
	294	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	暗灰 N3/0	良好	楕円押型文	粗いナデ	1 多			3類	275
	295	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文・ナデ	ナデ	1 僅		1 多	3類	248
p.93 第69図	296	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	2 少			3類	263
	297	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	粗いナデ	2 少		3 多	3類	272
	298	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ （劣化磨滅）	微 僅		2 多	3類	251
	299	5層	縄文 深鉢	－	(12.0)	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 5YR4/2	良好	楕円押型文 （一部不明瞭）	ナデ （劣化磨滅）	1 少	微 僅		3類	250
	300	5層	縄文 深鉢	－	(10.8)	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文・ナデ	ケズリ	2 僅		2 多	3類	261
	301	5層	縄文 深鉢	－	(13.1)	－	にぶい褐 2.5YR5/4	灰褐 7.5YR4/2	良好	楕円押型文・工具ナデ	ナデ（不明瞭）	2 少			3類	264
	302	5層	縄文 深鉢	－	(6.4)	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文・ナデ	ナデ	2 多	2 僅		3類	314
	303	5層	縄文 深鉢	－	5.4	－	明褐 7.5YR5/6	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	楕円押型文	ナデ・指押さえ	2 多	2 多		3類	295
	304	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰白 10YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	3 多		1 多	3類	315
	305	5層	縄文 深鉢	－	6.0	－	橙 7.5YR7/6	にぶい黄 2.5Y6/3	良好	楕円押型文・指押さえ	ナデ	1.5 多	微 少		3類	296
	306	4層＋5層	縄文 深鉢	－	(15.2)	－	明褐 7.5YR5/6	褐灰 7.5YR4/1	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	1 多		3類	297
	307	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	明褐灰 5YR7/1	良好	楕円押型文	ナデ	3 多			3類	316
	308	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	褐灰 7.5YR5/1	良好	ナデ・楕円押型文	山形楕円押型文 丁寧なナデ・粗いナデ	1 少	1 僅		4類 口唇部山形押型文	177
	309	5層	縄文 深鉢	(38.3)	－	－	浅黄 2.5Y7/4	にぶい黄 2.5Y6/3	良好	山形押型文	ナデ・指押さえ 山形押型文	1 少			4類 口唇部山形押型文	161
	310	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	灰黄褐 10YR6/2	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 多	2 少		4類	172
	311	5層	縄文 深鉢	(19.5)	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR7/4	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 少			4類	183
p.94 第70図	312	5層	縄文 深鉢	(27.1)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1.5 多	1 少		4類 口唇部山形押型文	174
	313	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	1 多	2 僅		4類　擬口縁有 口唇部山形押型文	175
	314	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい黄褐 10YR6/3	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	微 少		1 少	4類 口唇部山形押型文	181
	315	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	山形押型文・ナデ	2 僅	2 少		4類	180
	316	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 10YR4/1	良好	山形押型文	山形押型文 ケズリ・ナデ	1 少		2 多	4類 口唇部山形押型文	182
	317	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	1 多	2 少		4類 口唇部山形押型文	173
	318	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	山形押型文 楕円押型文	山形押型文・ナデ	1 僅	1 僅	微 少	4類	188
	319	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	山形押型文	ナデ	1 多			4類	159

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第21表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表⑦

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.94 第70図	320	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	山形押型文	ナデ	1 多			4類	160
	321	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい橙 7.5YR7/4	良好	山形押型文	ナデ	1 僅	1 少		4類	185
	322	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	明褐灰 5YR7/1	良好	山形押型文	ナデ	2 多	2 僅		4類	179
	323	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	山形押型文	ナデ	微 僅	2 僅	1 僅	4類	171
p.95 第71図	324	5層	縄文 深鉢	－	(12.4)	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文	ナデ	4 少	4 僅	3 多	4類　外面スス付着	178
	325	5層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	褐灰 10YR4/1	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 僅		4類 口唇部楕円押型文	340
	326	4層＋5層	縄文 深鉢	38.6	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	明黄褐 10YR7/6	良好	楕円押型文	ナデ・楕円押型文	2 多	3 微	2 少	4類	348
	327	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			4類	330
	328	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	暗褐 7.5YR4/3	良好	楕円押型文	原体条痕・ナデ	1 多			4類	326
	329	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 5YR4/2	灰黄 5YR5/3	良好	楕円押型文	原体条痕・ナデ	微 僅	1 僅		4類	336
	330	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 僅		4類	356
	331	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/2	灰黄 2.5Y6/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少	2 少		4類 口唇部楕円押型文	342
	332	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少	1 僅		4類	346
	333	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	灰褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 僅	2 多		4類	343
	334	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少	2 僅		4類 口唇部楕円押型文	332
	335	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多	2 少		4類 口唇部楕円押型文	367
	336	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 少	2 僅		4類 口唇部楕円押型文	350
	337	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR4/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ		1 僅		4類 口唇部キザミ	347
	338	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 7.5YR4/1	灰赤 2.5YR4/2	良好	楕円押型文	楕円押型文・ナデ	1 多			4類	355
	339	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 2.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	楕円押型文	ナデ・指押さえ	2 少			4類	341
	340	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	微 少		4類	337
	341	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			4類	339
	342	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅			4類	334
p.96 第72図	343	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1.5 少	3 少		4類	362
	344	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2.5 僅		4類	361
	345	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄 2.5Y6/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 僅		4類	360
	346	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR6/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	2 僅		4類	365
	347	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多			4類	317
	348	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	にぶい褐 7.5YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ・指押さえ	1 多	1 僅		4類	320
	349	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	2 多	3 多		4類	345
	350	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	黒褐 5YR3/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 多			4類	358
	351	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/6	褐 7.5YR4/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 少	1 僅		4類	324
	352	5層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/4	褐 7.5YR4/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 少			4類	321
	353	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	浅黄 2.5Y7/4	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	1 多	微 少	4類	319
	354	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	黒褐 7.5YR3/1	良好	楕円押型文	ナデ・指押さえ	1 多	2 僅		4類	327
	355	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	褐灰 10YR5/1	良好	楕円押型文	ナデ	1 多			4類	328
	356	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR7/6	黄褐 2.5Y5/3	良好	楕円押型文	ナデ	微 少	3 多		4類 繊維痕有	323
	357	5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 10YR8/3	灰黄褐 10YR6/2	良好	山形押型文 楕円押型文	ナデ	微 多	1 少		4類	329
	358	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明黄褐 10YR6/6	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	1.5 多	2 少		4類	322
	359	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	楕円押型文	ナデ	微 僅	1 少		4類	338
	360	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	楕円押型文	ナデ	微 少	2 少		4類	335
	361	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR4/3	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	楕円押型文	ナデ	2 少	1 僅		4類	354
	362	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR7/6	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	楕円押型文・ナデ	ナデ	微 多	2 多		4類	325
	363	5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 10YR8/4	浅黄橙 10YR8/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 微	1 微		4類	351
	364	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	褐灰 7.5YR4/1	良好	楕円押型文 格子目押型文	ナデ	微 少	1 僅		4類	366
p.97 第73図	365	5層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	灰黄 2.5Y6/2	良好	楕円押型文・ナデ	ナデ	1 多	1 僅	微 多	4類	318

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第22表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表⑧

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.97 第73図	366	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明黄褐 10YR7/6	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	楕円押型文	ナデ	1 僅	1 微		4類	349
	367	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 多	3 少		4類	363
	368	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	楕円押型文・粗いナデ	1 多	2.5 少		4類　口唇部山形押型文　穿孔有	359
	369	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	山形押型文 楕円押型文	ナデ	1 僅	1 僅		4類	187
	370	2層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR7/2	良好	楕円押型文 格子目押型文	ナデ	微 僅	微 少		4類	333
	371	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	浅黄 2.5Y7/3	良好	山形押型文・ナデ	ナデ	微 僅			4類	186
p.98 第74図	372	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	短枝回転文	条痕後ナデ	1.5 多	1 多			420
	373	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	短枝回転文	粗いナデ	2 多		1 多		423
	374	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短枝回転文	ナデ	2 多		1 多		422
	375	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	短枝回転文	粗いナデ	1.5 多		1 多		424
	376	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	短枝回転文	粗いナデ	2 多		1 多		421
	377	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短枝回転文	粗いナデ	2.5 多		1 多		425
	378	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短枝回転文	粗いナデ	2 多		1 少		426
	379	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	格子目押型文	ナデ・工具によるナデ	3 多	2 多			419
	380	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	格子目押型文	ナデ	1 少			中原式 口唇部キザミ	418
	381	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	格子目押型文	ナデ	1 僅	1 多			417
	382	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	灰黄褐 10YR6/2	良好	格子目押型文	ナデ・指押さえ	3 多	2 多			416
	383	4層＋5層	縄文 深鉢	(35.2)	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	縄文	縄文・ナデ	1 多	1 少		口唇部縄文	399
	384	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	条痕文	ナデ	1 僅	1 少			412
	385	5層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	ナデ	縄文・ナデ	1 多		微 少	口唇部縄文	406
	386	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	にぶい黄褐 10YR7/2	良好	縄文	縄文・ナデ	1 僅	1 僅			410
	387	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	縄文・ナデ	ナデ	4 少	1 多			413
	388	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	縄文	丁寧なナデ	2 多			口唇部ミガキ 穿孔有	405
	389	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	縄文	丁寧なナデ	微 僅	1 僅	1 僅	口唇部ミガキ	407
	390	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/3	灰黄褐 10YR6/3	良好	縄文	原体条痕・粗いナデ	2 多		2 多	口唇部ミガキ	408
	391	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR5/4	にぶい黄橙 10YR5/3	良好	貝殻腹縁押引文・ナデ	ナデ	1 多	1.5 多		桑ノ丸式	409
	392	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR6/2	良好	沈線文・縄文	ナデ・指押さえ	3 多	3 多			414
	393	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	縄文	ナデ	1 少	2 僅			400
	394	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐 7.5YR5/6	にぶい黄 2.5Y6/4	良好	縄文	ナデ	2 多	1 少			415
p.99 第75図	395	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	縄文	ナデ	1 少		微 僅		404
	396	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	縄文	条痕文	3 多				401
	397	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰褐 7.5YR5/2	良好	撚糸文	撚糸文・ナデ 指押さえ	1 少	1 少		外面未貫通穿孔有	398
	398	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	撚糸文	ナデ	微 多				396
	399	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	撚糸文	ナデ	2 多	1 少			394
	400	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR4/2	灰褐 5YR4/2	良好	撚糸文	ナデ	1 少	2 僅			395
	401	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	変形撚糸文	撚糸文・ナデ	1 僅	2 多			431
	402	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	変形撚糸文	ナデ	4 多				429
	403	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	変形撚糸文	ナデ	1 多				430
	404	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	変形撚糸文・ナデ	ナデ・指押さえ	2 僅		1 僅		432
	405	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	黒褐 10YR3/2	良好	変形撚糸文	ナデか（不明瞭）	1 多				428
	406	4層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	変形撚糸文	ナデ	3 少	1 多			427

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第23表　橋山第3遺跡1地区　旧石器時代（5～6層）出土石器観察表

掲載頁	掲載	出土位置	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	備考	実測
図番号	番号	（グリッド・層・番号）			（cm）	（cm）	（cm）	（g）		番号
p.103 第78図	407	20G　5層　6597	ナイフ形石器	頁岩	(6.00)	2.50	1.30	(14.90)	先端部欠損	676
	408	19G　6層　2874	二次加工有る剥片	頁岩	(3.60)	2.50	1.20	(9.60)	下部欠損	675

（ ）の値は残存法量を示す

第24表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器観察表①

掲載頁	掲載	出土位置	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	備考	実測
図番号	番号	（グリッド・層・番号）			（cm）	（cm）	（cm）	（g）		番号
p.103 第79図	409	7G　5層　4085	石鏃	チャート	2.05	1.95	0.60	2.20	1類	607
	410	21G　5層　4124	石鏃	チャート	(2.30)	(1.80)	0.45	(1.50)	1類　先端部・側縁部欠損	606
	411	24G　5層　3370	石鏃	チャート	1.75	1.85	0.35	(0.80)	2類　脚部欠損	608
	412	7G　5層　3989	石鏃	チャート	2.90	(1.95)	0.40	(1.40)	2類　脚部欠損	609
	413	21G　4層　1367	石鏃	頁岩	2.20	1.60	0.40	0.70	2類	610
	414	22G　4層　1245	石鏃	安山岩	1.80	(2.20)	0.40	(1.10)	2類　脚部欠損	611
	415	26G　5層　4871	石鏃	チャート	3.25	1.45	0.85	3.40	6類	612
	416	13G　5層　6898	石鏃	頁岩	2.00	1.50	0.25	0.60	3類	613
	417	19G　5層　5707	石鏃	黒曜石（西北九州）	1.40	1.15	0.35	0.40	3類	684
	418	12G　5層　7545	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.60)	1.40	0.40	(0.60)	3類　脚部欠損	616
	419	3G　5層　5935	石鏃	黒曜石（上牛鼻）	1.60	(1.05)	0.25	(0.40)	3類　脚部欠損	617
	420	14G 5層 5186	石鏃	安山岩	3.10	2.20	0.35	1.60	3類	614
	421	4G 5層 1876	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	1.90	(1.35)	0.25	(0.40)	4類　脚部欠損	619
	422	20G　4層　4360	石鏃	黒曜石（姫島）	3.30	2.00	0.60	2.40	2類　使用痕有	620
	423	16G　5層　7091	石鏃	安山岩	3.40	1.80	0.60	2.20	4類　光沢有	618
	424	26G　5層　6008	石鏃	砂岩	(2.90)	1.75	0.50	(1.70)	4類　先端部欠損	615
	425	2G　4層　439	石鏃	頁岩	(2.10)	1.40	0.35	(0.60)	5類　先端部欠損　光沢有	621
	426	7G　4層　2999	石鏃	頁岩	(2.15)	1.40	0.35	(0.80)	5類　先端部欠損	622
	427	8G　5層　8178	石鏃	黒曜石（姫島）	(1.85)	1.65	0.30	(0.60)	5類 先端部・脚部・側縁部欠損	623
	428	27G　5層　861	石鏃	チャート	1.95	1.40	0.40	1.00	6類	679
	429	7G　5層　8052	石鏃	チャート	2.05	(1.45)	0.20	(0.50)	6類　脚部欠損	683
	430	8G　5層　7868	石鏃	安山岩	2.95	(1.90)	0.55	(2.80)	6類　脚部欠損　光沢有	678
	431	5G　4層　4285	石鏃	頁岩	1.90	1.70	0.30	0.70	6類　光沢有	677
	432	22G　5層　990	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.65)	1.20	0.30	(0.60)	6類　先端部欠損	681
	433	11G　4層　2936	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	1.20	0.85	0.20	0.20	6類	682
	434	14G　5層　5136	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	1.70	(1.30)	0.50	(0.90)	6類　脚部欠損	680
	435	5G　5層　5149	石鏃未製品	チャート	1.95	1.85	0.70	2.70		688
	436	6G　5層　4819	石鏃未製品	緑色堆積岩	2.60	2.15	0.60	3.20		689
	437	5G 4層　6486	石鏃未製品	頁岩	2.95	2.10	0.85	4.90		687
	438	2G 5層 4437	石鏃未製品	黒曜石（桑ノ木津留）	1.65	1.50	0.70	1.30		686
	439	16G　5層 6928	石鏃未製品	黒曜石（桑ノ木津留）	1.85	1.60	0.70	1.80		685
	440	21G　5層　3807	石鏃未製品	チャート	1.80	1.35	0.50	0.90		690
	441	14G 5層 5333+7G 5層 4095	槍先形尖頭器	流紋岩	(6.90)	3.10	1.00	(18.90)	下部欠損　光沢有	672
	442	6G 5層 7270	槍先形尖頭器	緑色堆積岩	(4.80)	2.65	0.95	(11.80)	上部・左側縁部欠損　光沢有	695
p.104 第80図	443	6G　5層　6646	尖頭状石器	頁岩	4.05	(2.45)	0.85	(7.30)	左側縁部欠損	596
	444	11G　5層　3820	尖頭状石器	頁岩	4.20	(2.90)	0.75	(7.20)	左側縁部欠損	597
	445	26G　5層　5722	尖頭状石器	頁岩	(4.55)	2.95	1.15	(12.20)	下部欠損	594
	446	14G　5層　5884	尖頭状石器	頁岩	7.80	4.45	1.10	32.00		595
	447	24G　5層　3455	尖頭状石器	ホルンフェルス	5.30	3.95	0.95	18.90		691
	448	9G　4層　3848	尖頭状石器	ホルンフェルス	3.90	3.15	0.85	(8.70)	右側縁部欠損 使用痕（光沢）有	598
	449	24G　4層　7062	異形石器	頁岩	2.25	2.70	5.50	1.70		601
	450	24G　5層　3446	異形石器	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.45)	(1.80)	0.50	(1.00)	下半部欠損	600
	451	21G　4層　7141	異形石器	黒曜石（西北九州か）	1.50	(1.10)	0.45	(0.60)	左側縁部欠損	599

（ ）の値は残存法量を示す

第25表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器観察表②

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （グリッド・層・番号）	器種	石材	長さ （cm）	幅 （cm）	厚さ （cm）	重量 （g）	備考	実測 番号
p.104 第80図	452	11G 4層 3845	スクレイパー	チャート	(5.15)	5.25	1.40	(25.80)	右側縁部欠損	578
	453	24G 5層 3445	スクレイパー	チャート	7.40	4.60	1.35	(34.60)	右側縁部欠損	579
	454	7G 5層 4002	スクレイパー	頁岩	6.95	3.90	2.10	38.20		575
p.105 第81図	455	25G 5層 8214	スクレイパー	頁岩	7.30	(4.70)	2.15	(71.80)	左側縁部～下部欠損	576
	456	26G 5層 7149	スクレイパー	頁岩	5.10	(3.80)	2.00	(35.80)		577
	457	21G 4層 1236	スクレイパー	黒曜石（姫島）	4.55	(2.20)	0.90	(7.40)	左側縁部欠損	582
	458	2G 4層 1063	スクレイパー	砂岩	6.50	5.25	2.10	66.80		581
	459	20G 4層 1000	スクレイパー	砂岩	(8.60)	5.70	2.35	(112.50)	敲打痕・磨滅痕有・下部欠損	580
	460	5G 5層 4784	スクレイパー	ホルンフェルス	9.80	6.00	1.80	71.60		583
p.106 第82図	461	19G 4層 5248	スクレイパー	緑色堆積岩	5.90	6.70	1.40	60.90		692
	462	13G 5層 7416	礫器	砂岩	13.50	8.20	2.70	398.00		569
	463	18G 5層 7527	礫器	砂岩	16.75	9.80	3.70	673.60		566
	464	8G 5層 7493	礫器	砂岩	10.10	9.10	3.15	392.20	両側縁部に敲打痕有	568
p.107 第83図	465	4G 4層 487	礫器	砂岩	16.15	(14.40)	5.20	(1340.40)	左側縁部欠損	570
	466	9G 4層 1838	礫器	砂岩	(18.65)	15.50	3.65	(1265.60)	下端部欠損・右側縁部欠損	571
p.108 第84図	467	7G 4層 3296	礫器	砂岩	19.20	12.00	3.65	962.90		567
	468	26G 5層 3150	礫器	尾鈴山酸性岩	14.00	9.50	28.50	422.80		572
p.109 第85図	469	7G 4層 3267	打製石斧	頁岩	9.30	6.75	2.20	145.90	使用痕（光沢）有	588
	470	24G 5層 3164	打製石斧片	ホルンフェルス	7.70	6.85	1.95	122.20	磨滅有	693
	471	21・22G 5層 2349+3714	打製石斧	緑色堆積岩	11.65	6.20	2.50	228.20		587
p.110 第86図	472	14G 5層 5122	打製石斧	緑色堆積岩	11.40	5.80	2.90	195.80	使用痕（光沢）有	585
	473	11G 4層 2945	打製石斧	緑色堆積岩	8.40	4.80	1.60	80.70	使用痕（光沢）有	586
	474	4G 5層 2586	打製石斧	緑色堆積岩	9.50	5.00	2.60	168.00	光沢有	584
	475	2G 4層 2423	磨製石斧片	砂岩	(5.50)	(5.65)	(2.65)	(108.70)	上半部欠損	589
p.111 第87図	476	11G 4層 2944	石斧未製品	緑色堆積岩	13.10	7.70	2.30	275.60	光沢有	590
	477	18G 4層 6391	石斧調整剥片	ホルンフェルス	3.20	3.65	0.75	8.40		593
	478	26G 4層 3597	石斧調整剥片	緑色堆積岩	2.95	(5.45)	0.70	(10.10)	右側縁部欠損	591
	479	2G 4層 858	石斧調整剥片	緑色堆積岩	2.55	3.30	0.80	7.50		592
	480	24G 4層 2947	二次加工有る剥片	チャート	(2.90)	(1.40)	0.65	(2.90)	上部欠損	602
	481	25G 5層 1819	二次加工有る剥片	流紋岩	3.00	(3.50)	1.00	(7.70)	右側縁部欠損	603
	482	20G 4層 4472	二次加工有る剥片	頁岩	4.50	(3.10)	1.60	(21.80)	右側縁部欠損	604
	483	17G 5層 5921	楔形石器	チャート	2.40	2.40	1.15	8.90	敲打痕有	605
	484	22G 5層 5176	敲石	砂岩	8.00	2.25	2.30	148.40		634
	485	6G 5層 5223	敲石	砂岩	6.10	5.50	1.35	65.20		694
	486	12G 5層 6246	敲石	砂岩	9.20	8.00	4.50	437.60		625
p.112 第88図	487	7G 5層 4346	敲石	砂岩	10.95	7.90	3.50	383.00	磨石兼用	633
	488	10G 5層 7591	敲石	砂岩	9.50	6.10	4.60	380.50		631
	489	14G 5層 7902	磨石	砂岩	10.35	9.90	5.20	769.30		628
	490	5G 5層 5144	敲石	砂岩	10.00	4.70	4.30	317.20		626
	491	22G 4層 3209	敲石	砂岩	10.60	6.20	5.60	554.60		627
	492	13G 5層 7891	敲石	砂岩	11.30	7.40	5.00	591.60	磨石兼用	632
p.113 第89図	493	22G 4層 3320	敲石	凝灰岩	8.10	8.70	5.00	505.30	磨石兼用	624
	494	24G 5層 4443	敲石	尾鈴山酸性岩	11.15	8.30	6.50	877.40	全面に赤化がみられる	629
	495	4G 5層 1616	敲石	尾鈴山酸性岩	5.35	3.75	3.80	105.10		635
	496	22G 5層 1974	磨石	尾鈴山酸性岩	10.25	9.05	4.50	630.10		630
	497	8G 4層 935	剥片素材敲石	砂岩	7.50	8.85	3.50	228.00		574
	498	26G 4層 3146	剥片素材敲石	砂岩	7.15	9.45	2.80	(177.40)	右側縁部欠損	573
p.114 第90図	499	11G 5層 3589	石皿	砂岩	33.80	25.40	5.30	6240.00		668
	500	20G 5層 5100	石皿	砂岩	34.85	22.55	7.10	6100.00		665
	501	21G 5層 3390	不明磨製石器	頁岩	(4.30)	(1.60)	(0.55)	(5.50)	上下端部欠損	639
	502	18G 5層 6805	不明磨製石器	頁岩	(5.20)	(4.10)	(0.55)	(14.80)	上下端部欠損　光沢有	640

（ ）の値は残存法量を示す

第3節　アカホヤ火山灰層上面の調査

第1項　遺構について

土坑

土坑は4基検出した。出土遺物からこれらは縄文時代中期～後期に帰属すると考えられる。

SC8は0.78m×0.68mの不整円形プランを呈し、深さ0.28mを測る。土器が密集する範囲を精査したところ、プランが確認できたため、実際の掘り込み面は上位であることが推定される。出土遺物は内外面に条痕文を施す土器（503）、宮之迫式（504）、型式不明土器17点、頁岩製剥片、日東産黒曜石製剥片、敲石が出土している。504は口縁部片で外面に縦位の貝殻刺突文、その下に横位の沈線文が施される。また口唇部にキザミがみられる。沈線文の内面への影響はなく新段階の宮之迫式である。

SC44は1.4m×1.0m＋αの不整円形プランを呈し、深さ1.87mを測る。断面がV字条の掘り込みを有し、底面はシラスまで到達している。土層断面を断ち割る際に、誤って平面プランの記録を取らずに掘削したため、西側の平面プランが消失している。平面規模や深さから陥し穴状遺構であることも想定したが、逆茂木などは検出されなかった。出土遺物は内外面に条痕文を施す土器（505・506）2点、土器の細片6点が出土している。

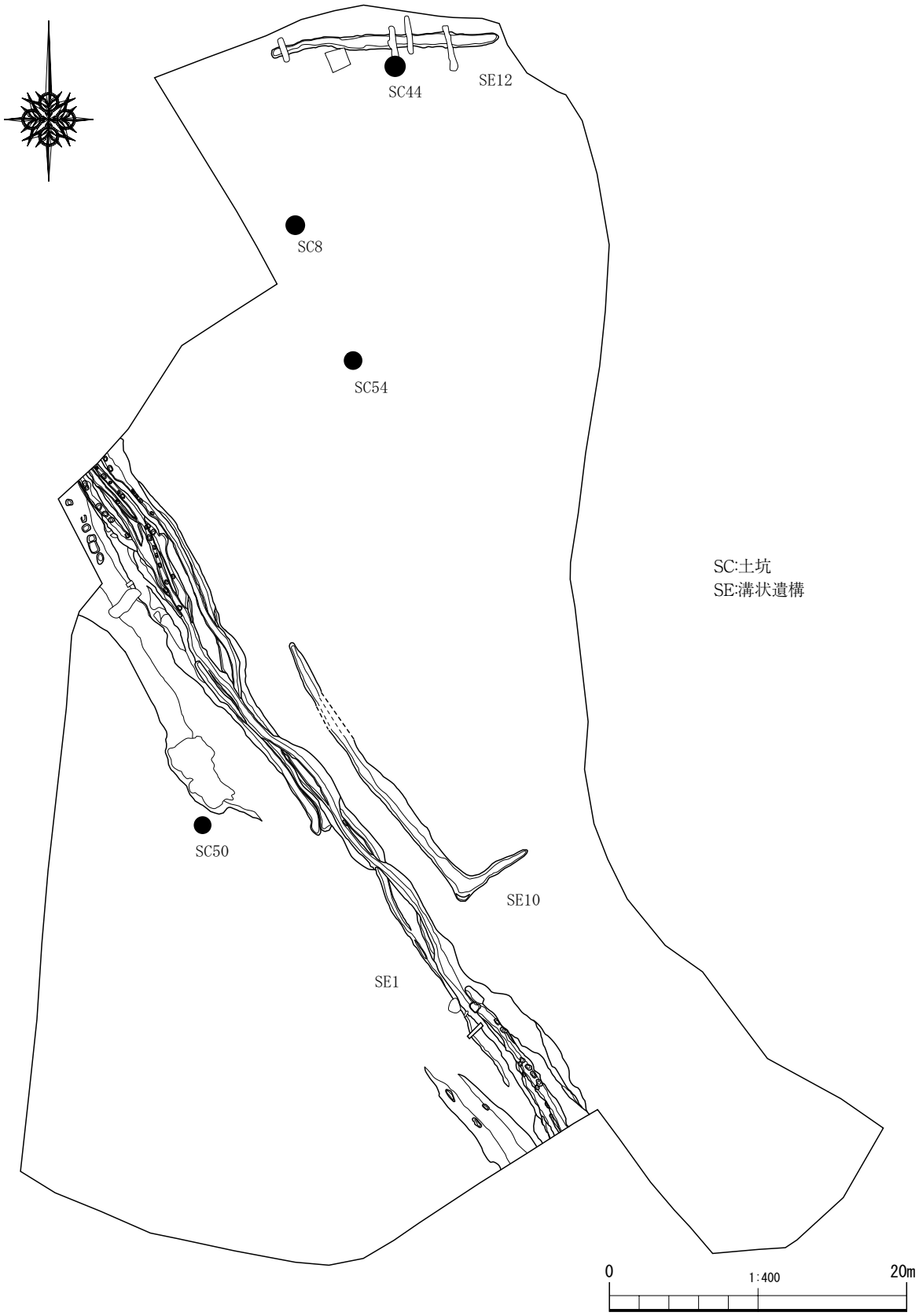
SC50は0.78m×0.59mの不整楕円形プランを呈し、深さ0.18mを測る。出土遺物は船元式（507）1点、無文土器3点、砂岩製石錘（508）が出土している。507は外面に縄文が施されている。508は扁平な礫を素材として短辺に抉りを形成する。

SC54は0.71m×0.62mの不整楕円形プランを呈し、深さ0.21mを測る。出土遺物は内外面に条痕文を施す土器（509・510）4点、無文土器（511）4点が出土している。509は外面に条痕を残しているが、内面は条痕の後にナデ調整を行っている。

溝状遺構

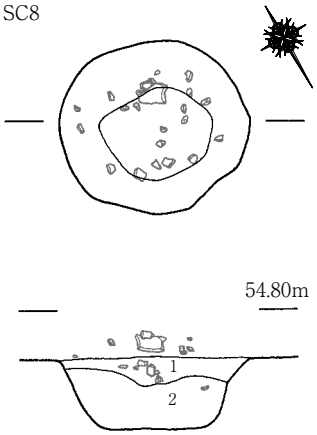
溝状遺構は3条検出した。

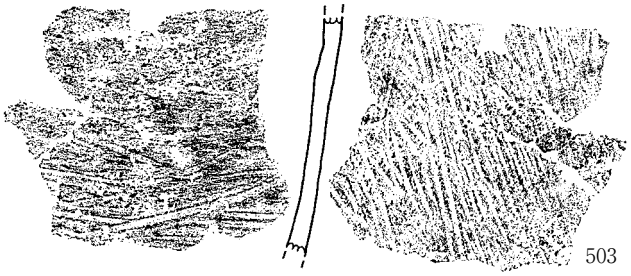
SE1は長さ54.4m＋α、幅約0.8m～8.4mで調査区を北西側から南東側へ縦断している。調査区中央部は遺構幅が狭くなるが、両端と比べ地形が高いため、削平を受けていることが想定される。硬化面が大半で検出されており、多くの切り合い関係が存在する。調査区北西側は特に顕著に見られ、複数の溝毎に硬化面が存在することから、何度も掘り返して利用していたことが推定される。調査区北西側と南東側からは波板状凹凸面も検出している。また調査区北西側の一番南側の溝からは空き缶や肥料のビニル袋など現代遺物が多く出土している。地元の方に話を伺ったところ、工業団地が造成される前は花見から中山へ抜ける道が存在しており、調査区付近を通っていたとのことである。過去の地図を確認したところSE1と重なる位置に道路が通っていたことを確認できた。2地区でもSG2、SG54～56を検出しており、前述の道路と一致することから同一遺構と考えられる。硬化面には高原スコリアが混入しており、少なくとも中世からは利用が開始され、工業団地造成前までは生活道路として機能していたと思われる。実際に旧高岡町が試掘を行った2004年には1地区は蜜柑園として利用されており、車道が通っていたことが分かっている。他の溝は下端の幅が人の横幅程であるのに対し、一番南側の溝は下端の



第91図　橋山第3遺跡1地区アカホヤ火山灰層（3層）上面検出遺構配置図（S=1/400）

SC8



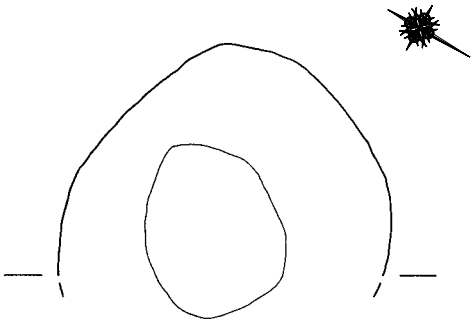


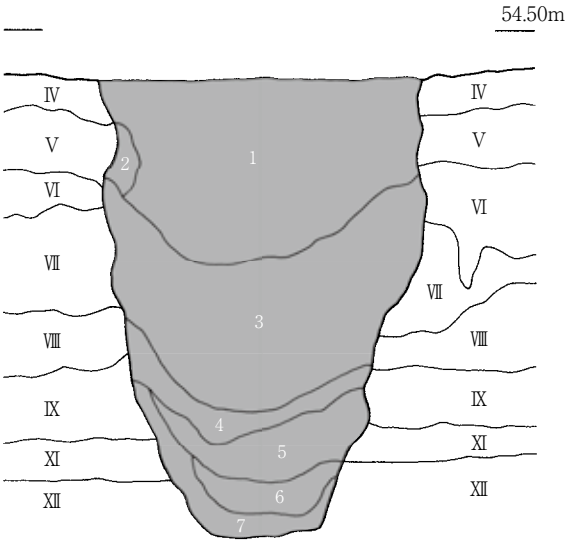
SC8：503・504

SC8 土層
1：暗赤褐色（Hue5YR3/6）砂質シルト。
　締り弱い。炭化物を多く含む。
2：暗褐色（Hue7.5YR3/4）粘質シルト。

土器
0　1:3　10cm

SC44



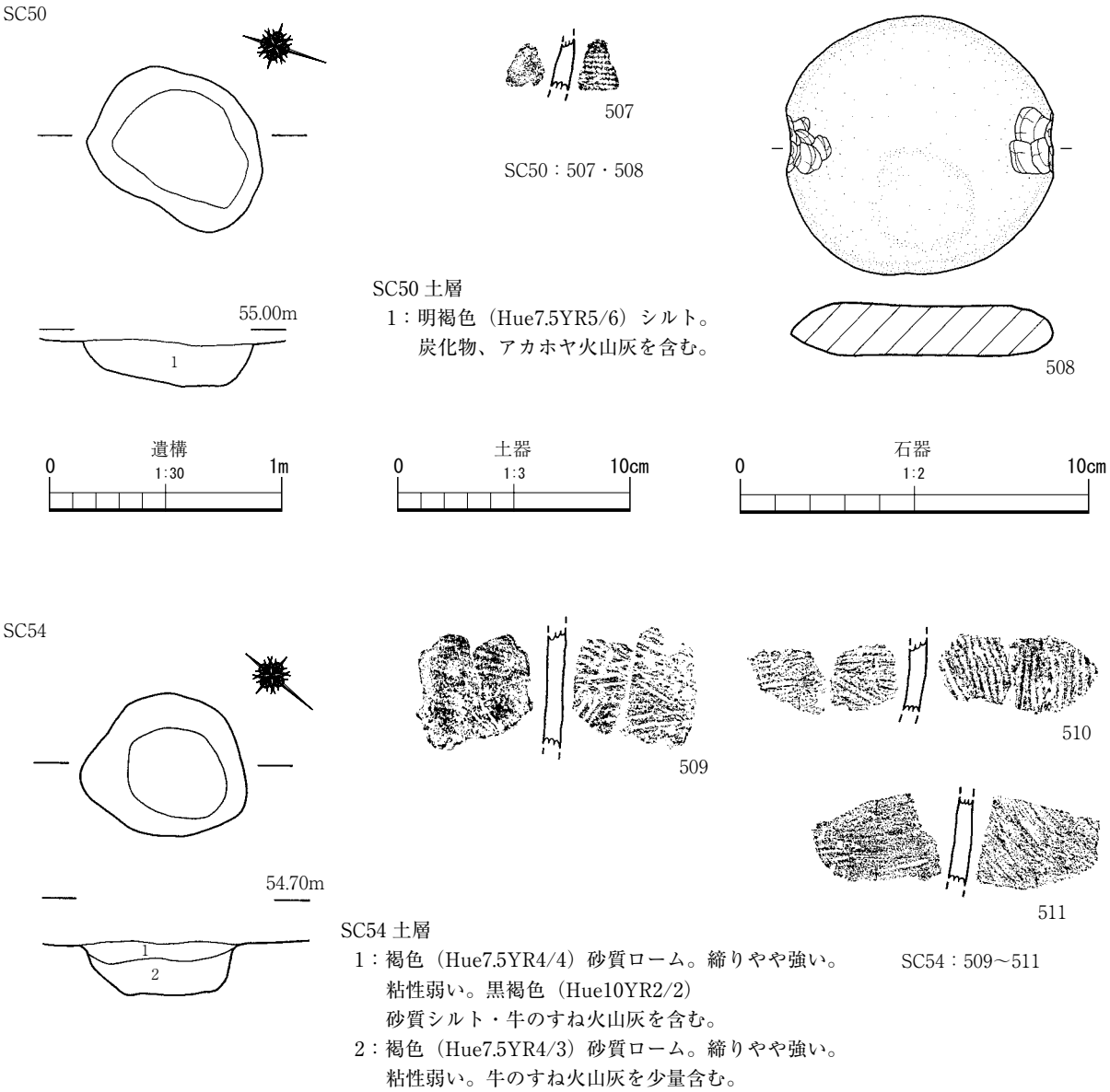


SC44：505・506

SC44 土層
1：黄褐色（Hue10YR5/8）砂質ローム。締り強い。
　炭化物、霧島小林軽石、アカホヤ火山灰を少量含む。
2：褐色（Hue10YR4/6）砂質ローム。締り弱い。
　黄褐色（Hue10YR5/6）シルト、アカホヤ火山灰を含む。
3：黄褐色（Hue10YR5/6）砂質ローム。締り弱い。
　炭化物、アカホヤ火山灰、霧島小林軽石を少量含む。
4：黄褐色（Hue10YR5/8）砂質ローム。締り弱い。
　炭化物、アカホヤ火山灰、霧島小林軽石を少量含む。
5：明褐色（Hue7.5YR5/8）ローム。締り弱い。
　炭化物、霧島小林軽石を少量含む。
6：明褐色（Hue7.5YR5/6）ローム。締り弱い。
　霧島小林軽石、シラスを少量含む。
7：明黄褐色（Hue10YR6/8）ローム。締り弱い。
　霧島小林軽石、シラスを少量含む。
Ⅳ～Ⅻ層は基本層位の4～12層に対応する

遺構
0　1:30　1m

第92図　縄文時代前期～後期土坑（S=1/30）**及び出土遺物**（S＝1/3）**実測図①**

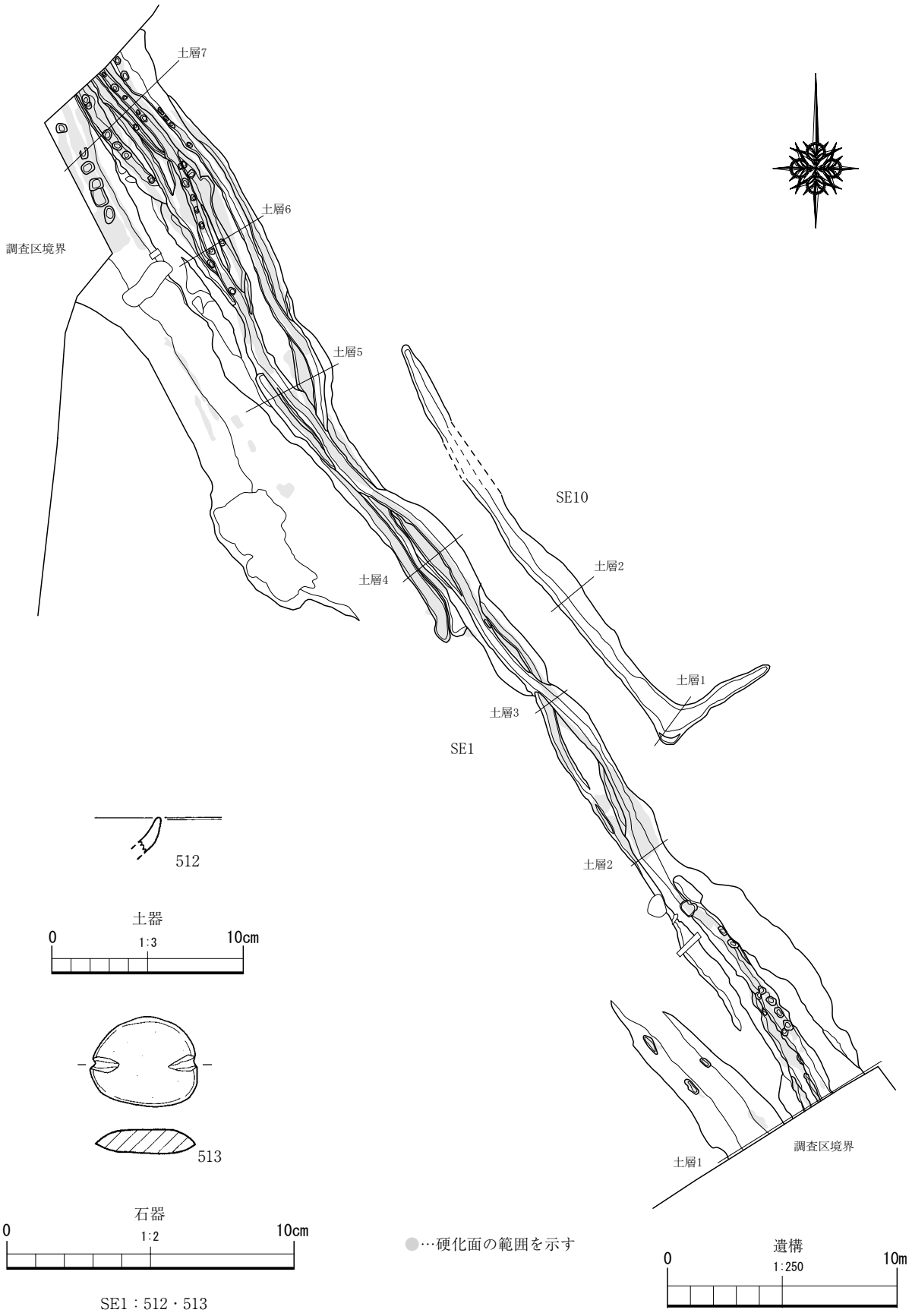


第93図　縄文時代前期～後期土坑（S=1/30）**及び出土遺物**（S=1/3・1/2）**実測図②**

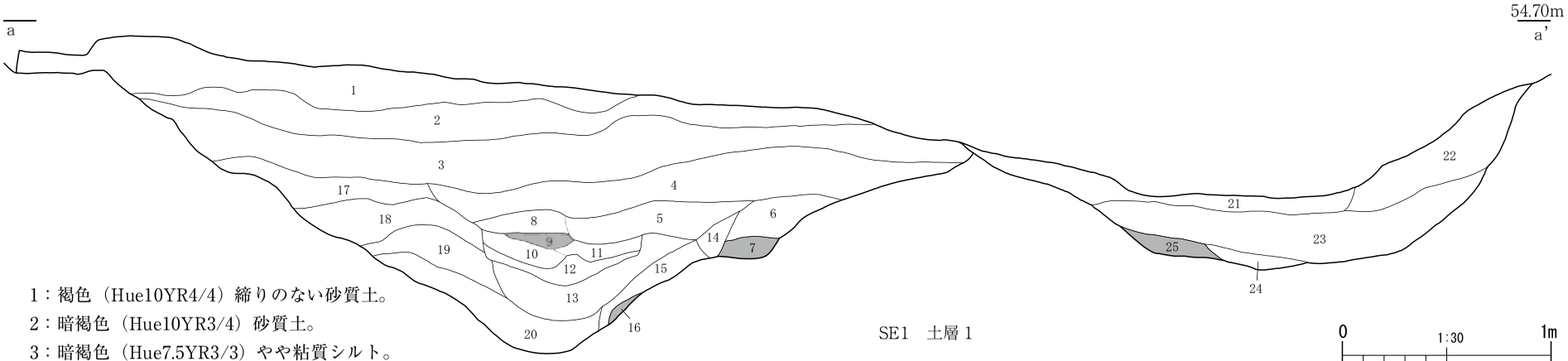
幅が2m以上あることから、一番南側の溝が前述の車道に該当すると考えられる。出土遺物としては土師器片（512）4点と頁岩製の切り目石錘（513）が出土している。石錘は遺構埋土にアカホヤ火山灰を含む層から出土しており、埋没時に混入したと推定される。

SE10は長さ約24.8m、幅約0.8m～1.2mでSE1に大半は平行して延びており、北西側から南西側に向かって約20mの所で北東側へおよそ直角に屈曲する。断面形はレンズ状の浅い掘り込みを有し、遺物は出土していない。硬化面も検出しておらずSE1との関連性は不明である。

SE12は調査区北端で検出した。長さ約15.2m、幅約0.8mで複数の攪乱に切られている。出土遺物は無文土器（514）、チャート製剥片が出土している。縄文時代の他の遺構埋土と比べて、多くの砂を含み、1地区で検出した攪乱埋土と類似することから、縄文時代の遺構ではない可能性がある。



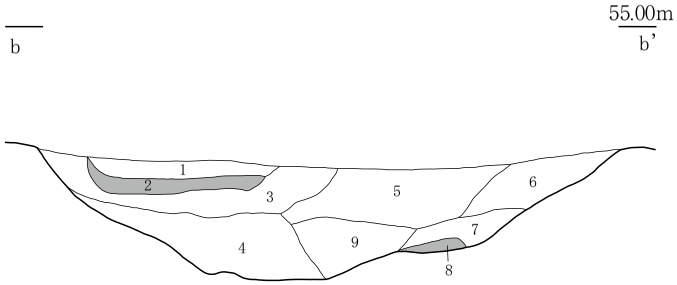
第94図　溝状遺構（SE1・10）平面図（S=1/250）**及びSE1出土遺物**（S=1/3・1/2）**実測図**



SE1　土層 1

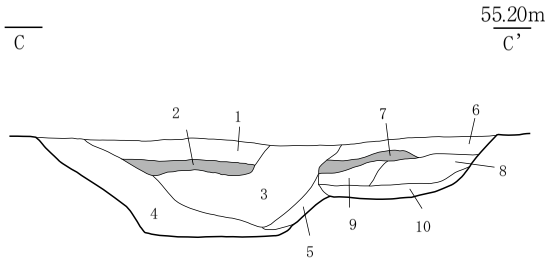
0　1:30　1m

1：褐色（Hue10YR4/4）締りのない砂質土。
2：暗褐色（Hue10YR3/4）砂質土。
3：暗褐色（Hue7.5YR3/3）やや粘質シルト。
4：暗褐色（Hue10YR3/3）やや粘質シルト。
5：黒褐色（Hue7.5YR2/2）粘質土。
6：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）粘質土。
7：灰白色（HueN7/）硬質土。
8：黒褐色（Hue10YR2/2）やや粘質シルト。
9：黒色（Hue10YR2/1）硬質土。
10：褐色（Hue7.5YR4/3）砂質シルト。
11：黒色（Hue10YR2/1）粘質土。
12：黒褐色（Hue2.5Y3/2）粘質土。
13：黒褐色（Hue10YR2/3）粘質土。
14：黒色（Hue2.5Y2/1）粘質シルト。
15：にぶい黄褐色（Hue10YR5/4）粘質土。
16：にぶい黄橙色（Hue10YR6/3）硬質土。
17：黒褐色（Hue7.5YR3/2）砂質シルト。
18：褐色（Hue7.5YR4/4）粘質シルト。
19：黒褐色（Hue7.5YR3/2）やや粘質シルト。
20：にぶい褐色（Hue7.5YR5/4）やや粘質シルト。
21：黒褐色（Hue7.5YR2/2）粘質土。
22：黒褐色（Hue7.5YR3/2）粘質土。
23：暗褐色（Hue7.5YR3/4）粘質土。
24：暗褐色（Hue10YR3/4）粘質土。
25：灰色（Hue10Y5/1）硬質土。



SE1　土層 2

1：黒褐色（Hue7.5YR3/1）粘質シルト。
2：暗赤褐色（Hue5YR3/2）硬質土。
3：黒褐色（Hue7.5YR3/2）粘質土。
4：褐色（Hue7.5YR4/3）粘質シルト。
5：黒色（Hue7.5YR2/1）やや粘質シルト。
6：黒褐色（Hue10YR3/1）粘質シルト。
7：褐色（Hue10YR4/4）やや粘質シルト。
8：暗緑灰色（Hue10G4/1）硬質土。鉄分を含む。
9：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）粘質土。

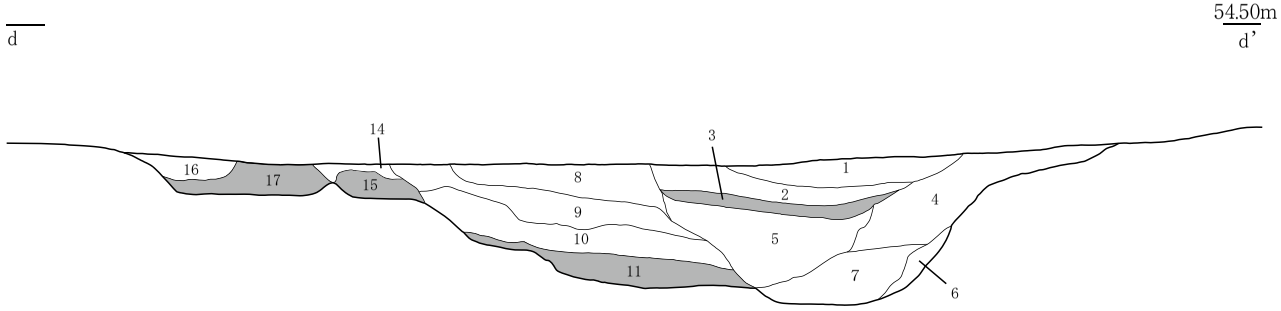


SE1　土層 3

1：黒色（Hue7.5YR2/1）粘質シルト。
2：黒色（Hue7.5YR2/1）硬質土。
3：黒色（Hue7.5Y2/1）粘質土。
4：明褐色（Hue7.5YR5/6）粘質土。
5：黒色（Hue7.5YR2/1）粘質土。
6：黒褐色（Hue7.5YR3/1）粘質シルト。
7：黒褐色（Hue5YR3/1）硬質土。
8：黒褐色（Hue7.5YR3/2）粘質土。
9：黒色（Hue7.5YR2/1）粘質土。
10：明褐色（Hue7.5YR5/6）粘質土。

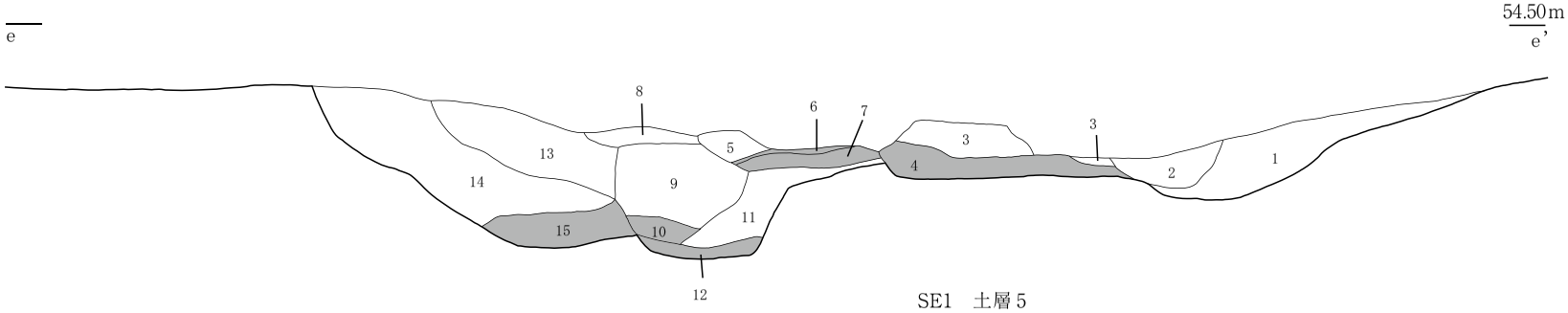
0　1:20　1m

第95図　SE1土層断面図①（S=1/30）



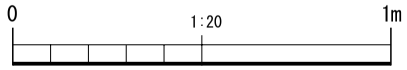
SE1　土層４

1：黒褐色（Hue7.5YR2/2）砂質シルト。
2：黒色（Hue7.5YR2/1）粘質シルト。
3：黒色（Hue7.5YR2/1）硬質土。
4：黒褐色（Hue10YR2/3）粘質シルト。
5：黒色（Hue7.5YR2/1）粘質土。
6：極暗褐色（Hue7.5YR2/3）粘質土。
7：極暗褐色（Hue7.5YR2/3）粘質土。
8：黒色（Hue2.5Y2/1）粘質土。
9：黒褐色（Hue2.5Y3/1）粘質土。
10：暗オリーブ褐色（Hue2.5Y3/3）粘質土。
11：緑灰色（Hue7.5YR5/1）硬質土。
14：暗褐色（Hue10YR3/3）やや粘質シルト。
15：暗緑灰色（Hue7.5GY4/1）硬質土。
16：黒褐色（Hue7.5YR3/2）やや粘質シルト。
17：暗緑灰色（Hue7.5GY4/1）硬質土。

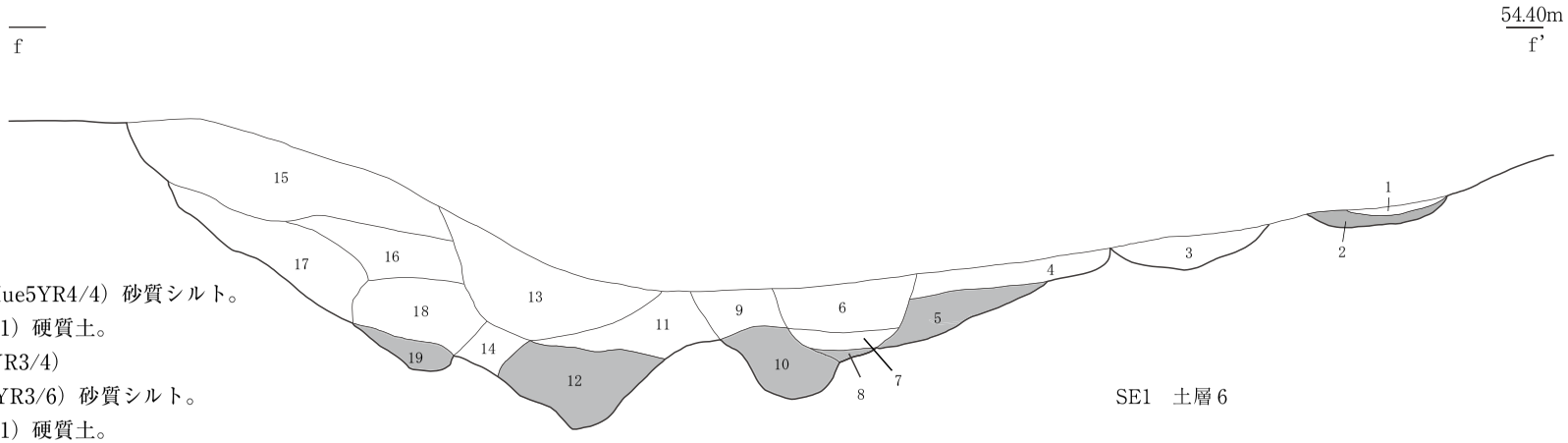


SE1　土層５

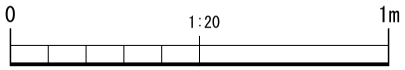
1：褐色（Hue10YR4/4）砂質シルト。
2：にぶい赤褐色（Hue5YR4/4）砂質シルト。
3：褐色（Hue7.5YR4/4）粘質シルト。
4：青灰色（Hue5BG5/1）硬質土。
5：黒褐色（Hue10YR3/2）砂質シルト。
6：にぶい黄橙色（Hue10YR6/4）硬質土。
7：暗青灰色（Hue5BG4/1）硬質土。
8：暗赤褐色（Hue5YR3/6）やや粘質シルト。
9：黒褐色（Hue7.5YR3/2）砂質シルト。
10：緑灰色（Hue10G5/1）硬質土。
11：黄褐色（Hue10YR5/6）砂質シルト。
12：青灰色（Hue5BG5/1）硬質土。
13：黒褐色（Hue7.5YR3/2）粘質シルト。
14：暗褐色（Hue7.5YR3/4）粘質シルト。
15：青灰色（Hue5BG5/1）硬質土。

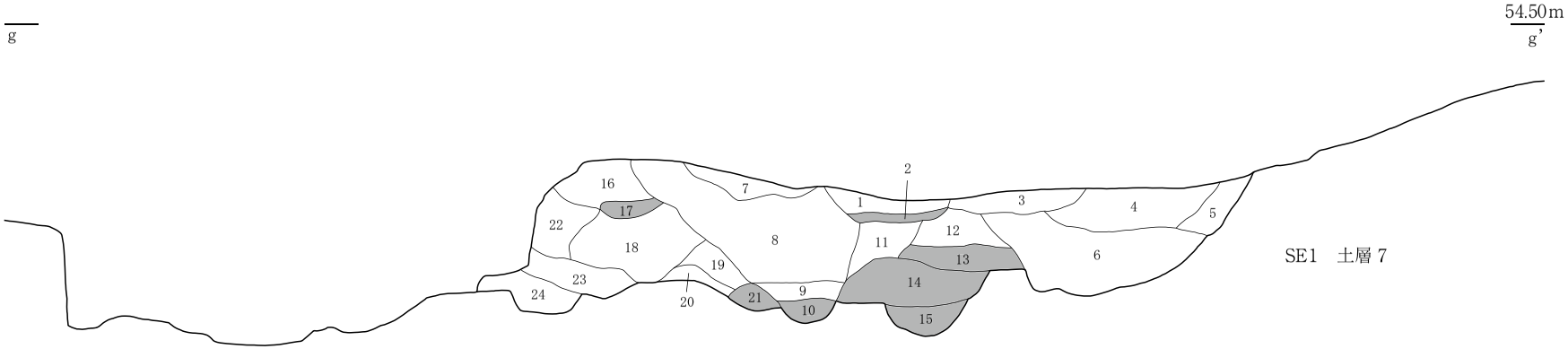


第96図　SE1土層断面図②（S=1/30）



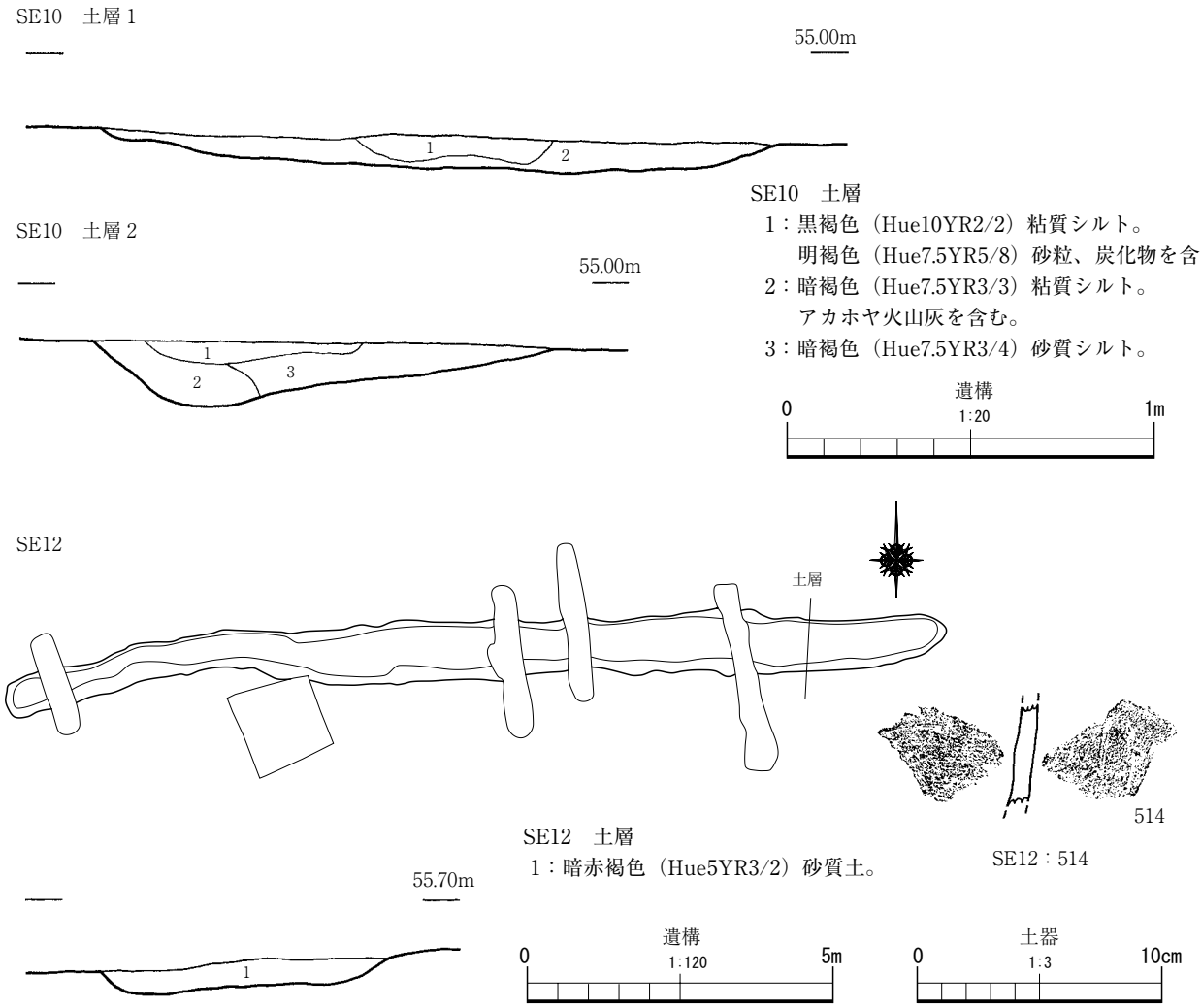
1：にぶい赤褐色（Hue5YR4/4）砂質シルト。
2：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
3：暗褐色（Hue7.5YR3/4）
4：暗赤褐色（Hue5YR3/6）砂質シルト。
5：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
6：暗褐色（Hue10YR3/4）砂質シルト。
7：にぶい赤褐色（Hue5YR4/4）砂質シルト。
8：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
9：褐色（Hue7.5YR4/4）砂質シルト。
10：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
11：褐色（Hue10YR4/4）粘質土。
12：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
13：暗褐色（Hue10YR3/3）粘質土。
14：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）粘質土。
15：褐色（Hue7.5YR4/3）砂質シルト。
16：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）粘質シルト。
17：褐色（Hue7.5YR4/3）粘質シルト。
18：暗褐色（Hue7.5YR3/3）粘質シルト。
19：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。





1：暗褐色（Hue10YR3/3）砂質土。
2：にぶい褐色（Hue7.5YR5/4）硬質土。
3：暗褐色（Hue10YR3/4）砂質土。
4：暗赤褐色（Hue5YR3/6）砂質土。
5：極暗赤褐色（Hue5YR2/4）砂質シルト。
6：褐色（Hue7.5YR4/4）砂質土。
7：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）砂質シルト。
8：褐色（Hue10YR4/4）砂質シルト。
9：にぶい赤褐色（Hue5YR4/4）砂質シルト。
10：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
11：明褐色（Hue7.5YR5/6）砂質土。
12：褐色（Hue7.5YR4/6）砂質土。
13：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
14：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
15：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
16：暗赤褐色（Hue5YR3/2）砂質シルト。
17：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
18：にぶい赤褐色（Hue5YR4/3）砂質シルト。
19：褐色（Hue7.5YR4/4）やや粘質シルト。
20：暗褐色（Hue7.5YR3/3）粘質シルト。
21：灰色（Hue10Y6/1）硬質土。
22：明赤褐色（Hue5YR5/6）砂質シルト。
23：暗赤褐色（Hue5YR3/4）やや粘質シルト。
24：褐色（Hue7.5YR4/4）粘質土。

第97図　SE1土層断面図③（S=1/30）



第98図　溝状遺構（SE10･12）実測図（S=1/20・1/120）**及びSE12出土遺物**（S=1/3）**実測図**

第26表 橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期土坑及び中世溝状遺構内出土土器観察表

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.127 第92図	503	SC8	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR5/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 多				106
	504	SC8	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	灰褐 5YR5/2	良好	貝殻復縁刺突文 棒状工具沈線文 ナデ	条痕文	2 少			宮之迫式（新） 口縁部キザミ	108
	505	SC44	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 7.5YR8/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 僅			条痕文（外面）	111
	506	SC44	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 僅	1 僅		条痕文（内外面）	112
p.128 第93図	507	SC50	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄 2.5YR6/2	良好	縄文	ナデ	微 僅			船元式 外面にスス付着	113
	509	SC54	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 微			条痕文（内外面）	114
	510	SC54	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 僅			条痕文（内外面） 外面スス付着	115
	511	SC54	縄文 深鉢	－	－	－	明黄褐 10YR7/6	明黄褐 10YR7/6	良好	条痕文	ナデ	1 僅		1 僅	無文土器	116
p.129 第94図	512	SE1	土師器 坏	－	－	－	橙 7.5YR6/6	橙 7.5YR6/6	良好	回転ナデ	回転ナデ	微 僅				117
p.133 第98図	514	SE12	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		無文土器	120

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第27表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期土坑及び中世溝状遺構内出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （遺構等）	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	実測 番号
p.128 第93図	508	SC50	石錘	砂岩	7.50	7.60	1.55	129.60		110
p.129 第94図	513	SE1	石錘	頁岩	3.10	3.70	0.85	14.70	切り目	121

（ ）の値は残存法量を示す

第2項　基本土層2層出土土器について

2層より縄文前期から後期にかけての土器が出土している。主体となるのは内面に凹線の影響を及ぼさない宮之迫式土器である。土器は調査区の南東部には分布が少ない傾向が見受けられる。既存の分類を元に以下に報告を行う。

轟Ｂ式土器（515～520）

内外面に細かい条痕を施すもので、515・516のように口縁部は外反するものと517のようにやや内湾するものがみられる。また微隆帯を外面に縦・横・斜め方向に施すもの（517～520）もみられる。一部は調査区の南東部に分布するが、多くが調査区の北側から出土した。なお517に付着した炭化物で年代測定を行った結果、補正年代で5565±25年BPの測定値が得られた。

西唐津式土器（521）

外面に細い沈線で幾何学的な文様を施す。

深浦式土器（522～528）

内外面の調整は条痕や条痕の後ナデを施すもので、524・526のように微隆帯や522・523・525・527・528のように細目の突帯を施すものもある。調査区の中央よりやや北側でまとまって出土している。522は口縁部片でやや内湾する形状を呈している。

船元式土器（529～534）

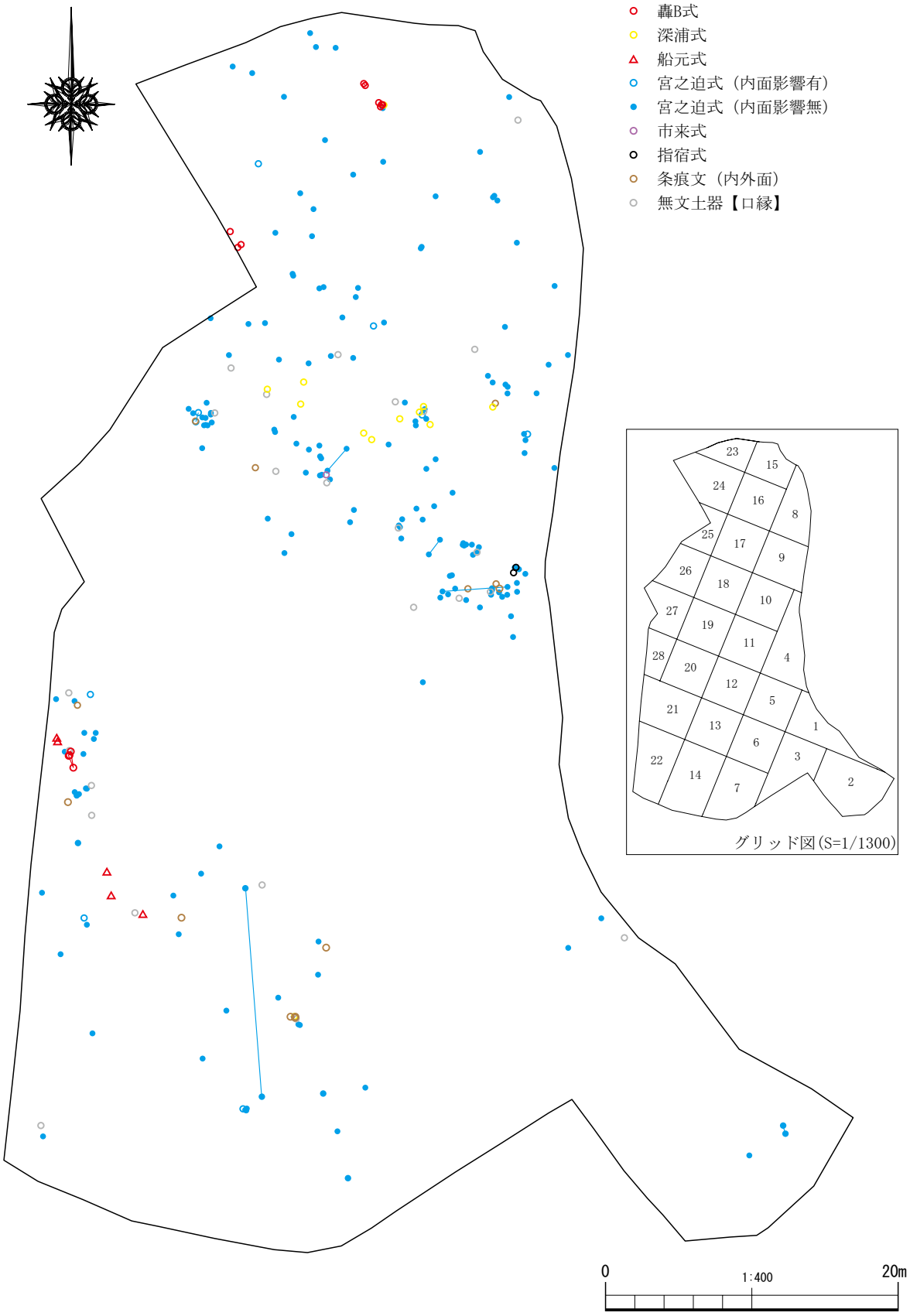
外面に縄文を施し、内面は条痕かナデ調整を行う。口縁部は直口気味のもの（529）といわゆるキャリパー形を呈するもの（531）がある。調査区の南西部付近にまとまって出土している。529は口唇部に押引文を施す。531は微隆帯を持つもので、その上にも縄文が見られる。なお、529・530は石英の混入が見られ、胎土も明らかに他のものと異なることから搬入品と考えられる。

宮之迫式土器古段階（535～540）

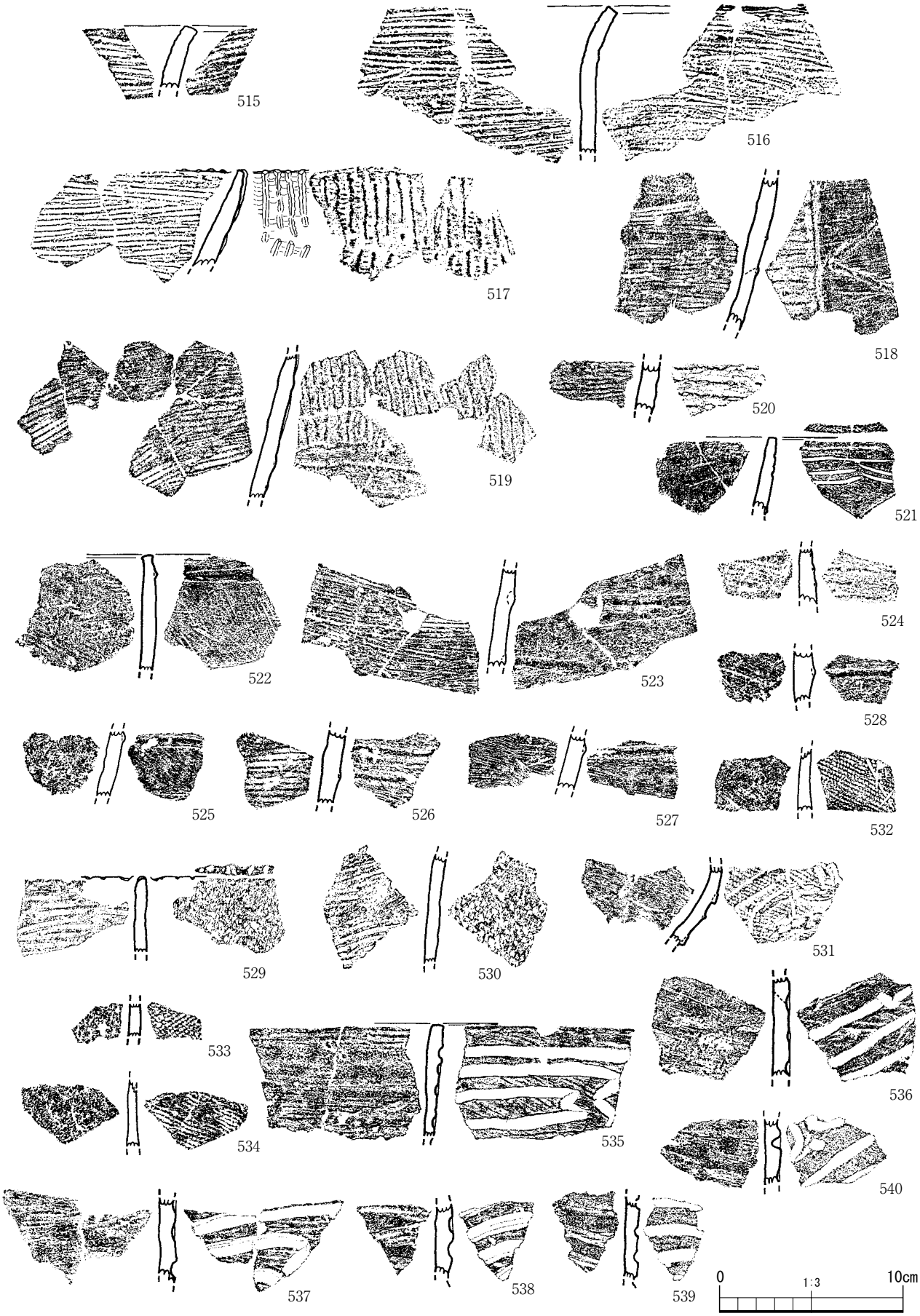
内外面の調整は条痕後ナデか、ナデ調整を施すもので、外面に凹線文や沈線文を施し、その影響が内面にも及んで凹凸がみられる。535は直口する口縁部片である。

宮之迫式土器新段階（541～596）

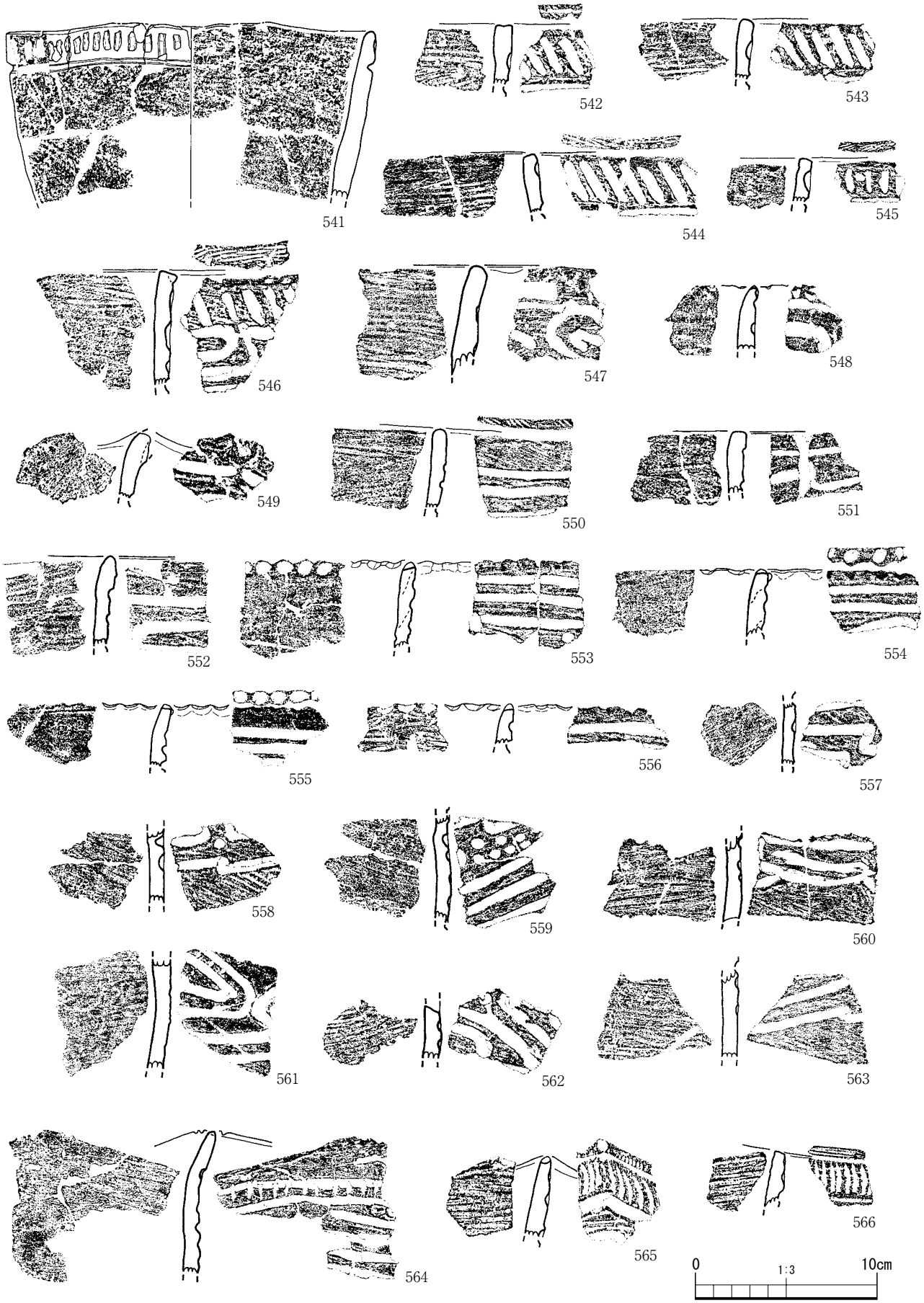
内外面の調整は条痕、条痕の後ナデ調整を施すもので、外面には凹線文か沈線文を施しているが、内面へは影響をおよぼしていない。古段階のものより厚手のものが多い。541は口縁部から胴部の破片で直口する口縁で縦位の短沈線文を施す。542～556は外面に凹線や沈線がみられる口縁部片で直口するもの（542・545・546・551・553）、やや外反するもの（543・547～549・552・554～557）、内湾するもの（544・550）がある。542は口唇部上に沈線を施す。542～546は口唇部下に縦～斜位の短沈線文で施文する。544～546は口唇部上に貝殻で押圧している。549は瘤状突起を施す。553～556は口唇部上に太目の押圧文を施文する。557～563は胴部片で、558・559は円形の刺突文がみられる。564～584は貝殻での刺突文・押引文が施されている口縁部片である。564・565は波状口縁で突出部にキザミや刺突文がみられる。567は口唇部上に貝殻腹縁刺突文を施し、瘤状突起を施して波状口縁を作り出している。568は口唇部上に貝殻腹縁刺突文、その下に貝殻腹縁押引文を施している。569は口唇部上に太目の押圧文がみられる。570・572は口唇部上に貝殻による押圧文を施し、その下に斜位の沈線文を施文する。571・573～576は口縁



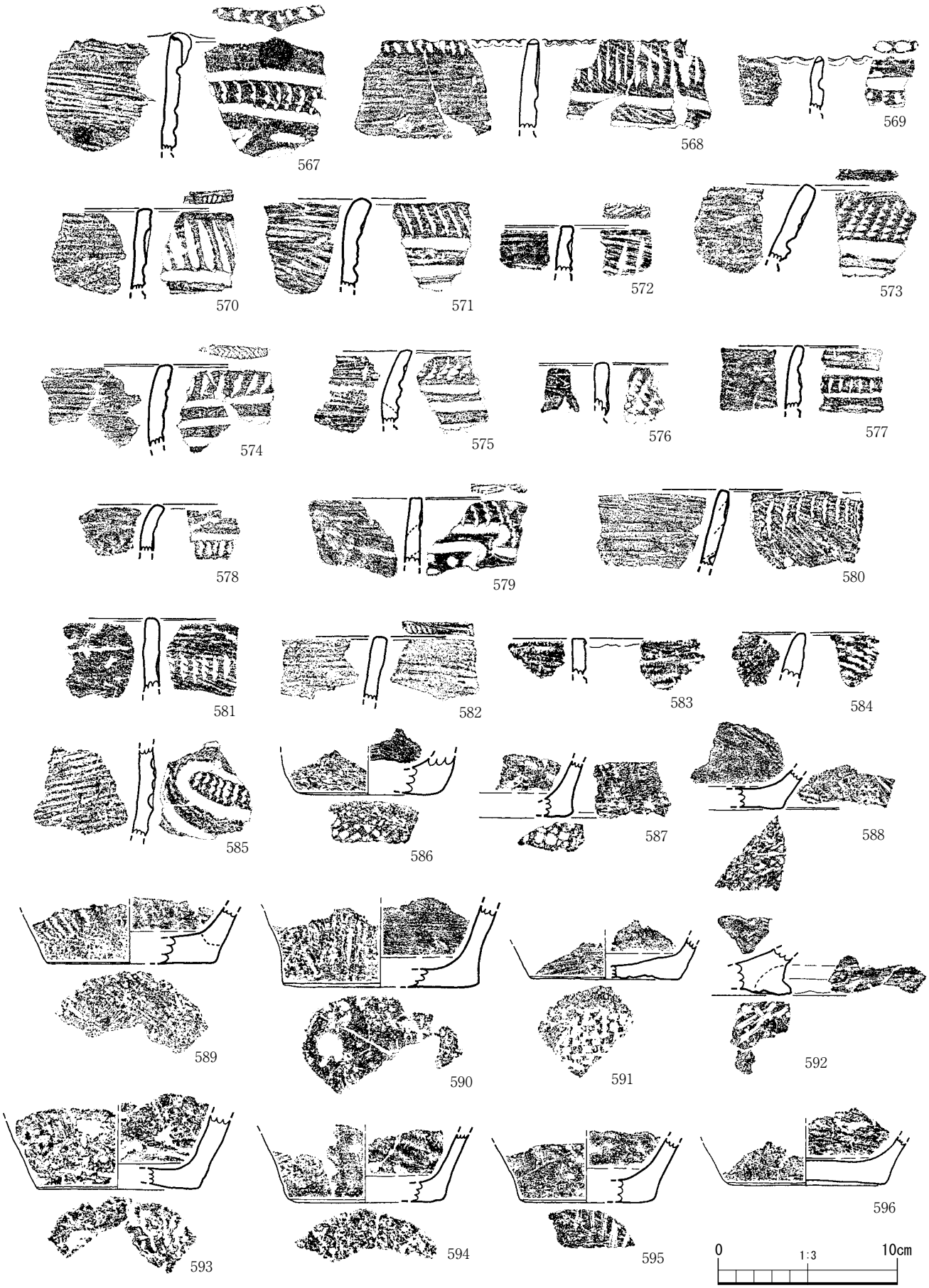
第99図　橋山第3遺跡1地区縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器分布図（S=1/400）



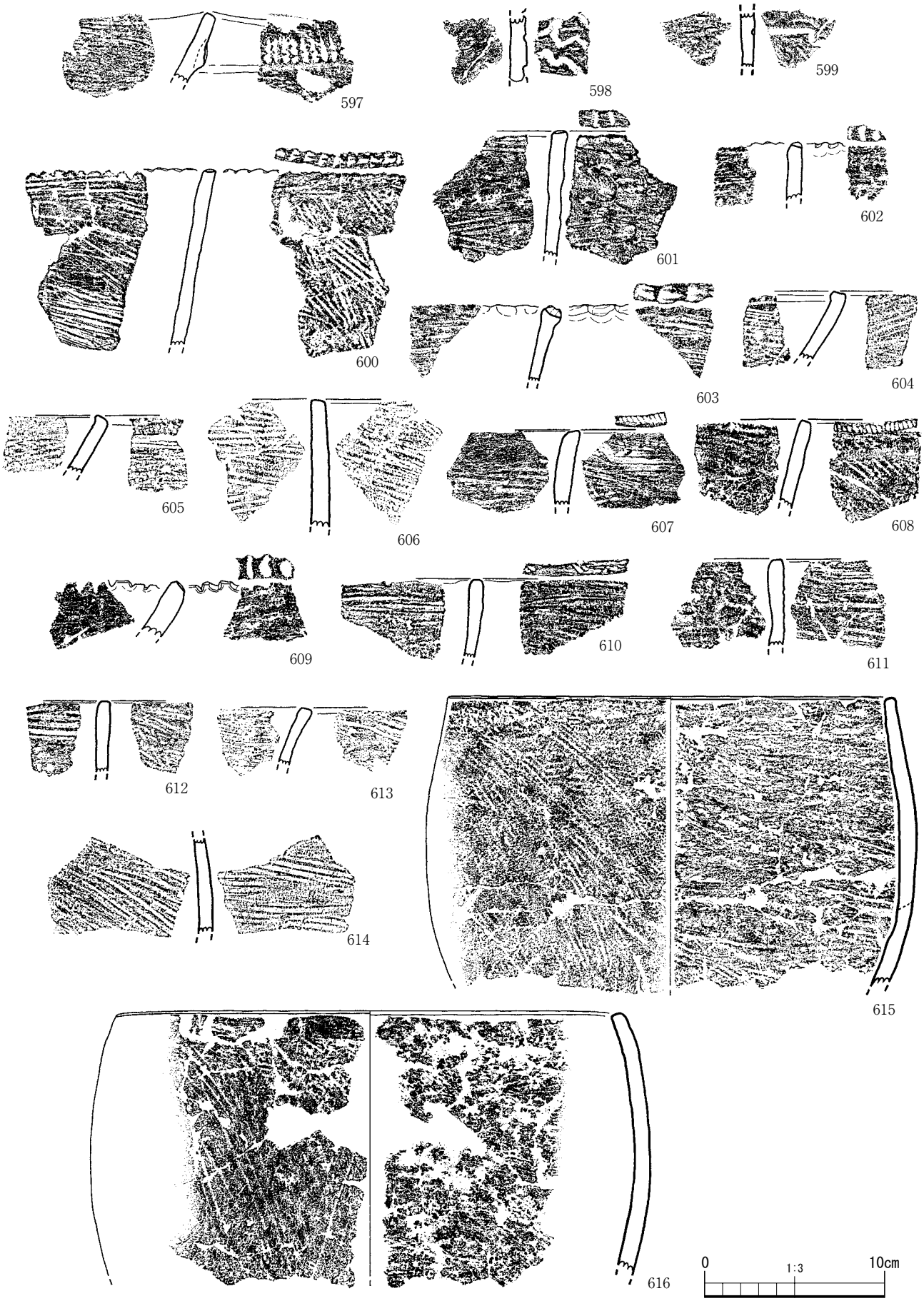
第100図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図①（S=1/3）



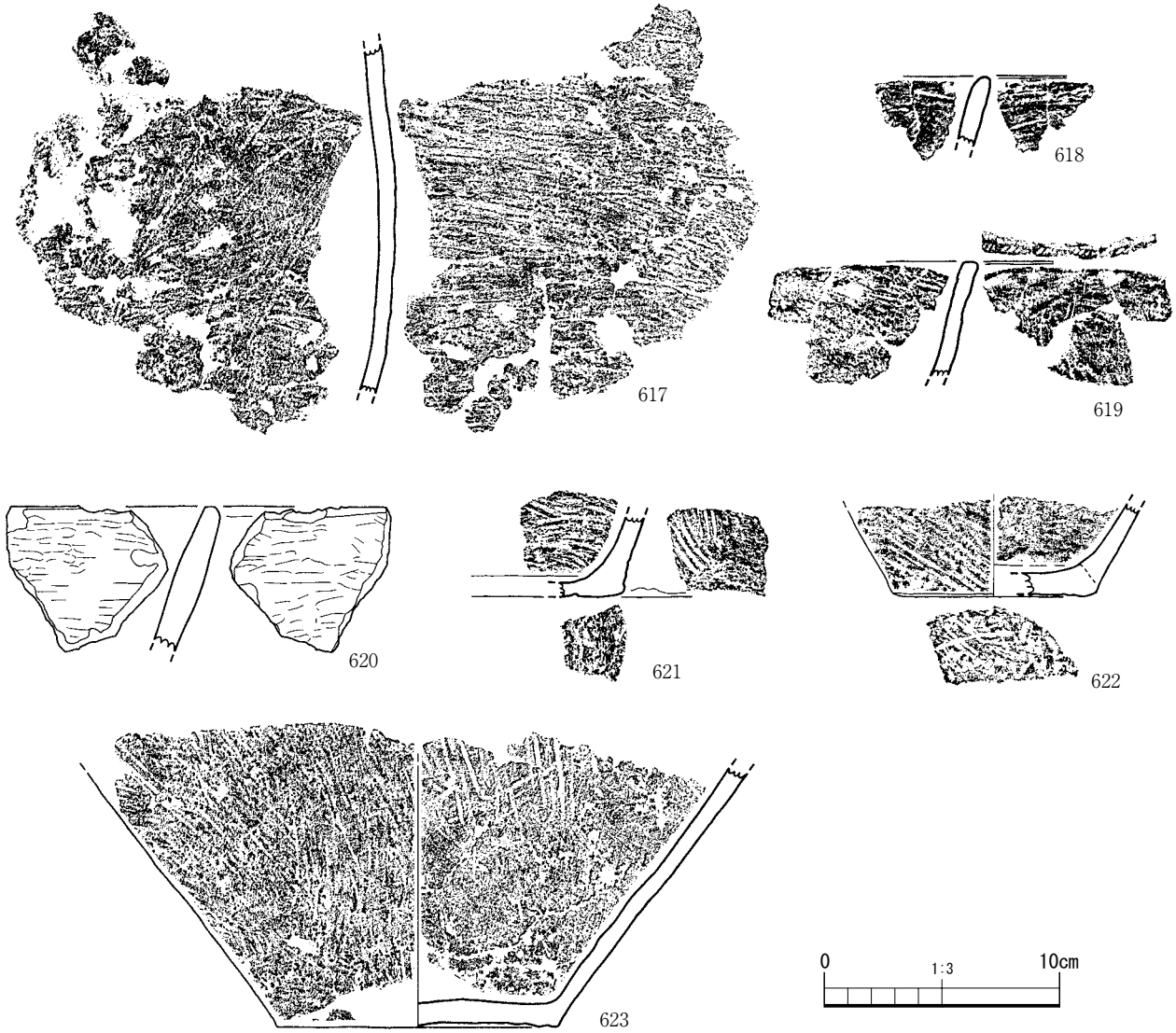
第101図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図②（S=1/3）



第102図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図③（S=1/3）



第103図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図④（S=1/3）



第104図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器実測図⑤（S=1/3）

部に斜位の貝殻押引文を施文する。577・578は沈線文で区画された内部に貝殻刺突文を施している。579～581・584は口縁部に貝殻刺突文がみられる。586～596は底部片で、やや上げ底気味の588・593・596を除くと全て平底である。また網代圧痕が586～588・590～593・595にみられる。589は網代底をナデ消している。

市来式土器（597）

口縁部下に突帯をめぐらせることで肥厚した口縁部を作り出して、貝殻腹縁刺突文を施す。内面には条痕を施す。

指宿式土器（598・599）

屈曲する沈線文を持つもので、内外面はナデ調整である。

内外面に条痕文を施す土器（600～608・610～617・621～623）

調査区の中央付近に分布が確認される。600～603は口唇部上に貝殻押引文を施文するもので、直口する口縁部片である。604・605は口唇部内面に突帯をめぐらすもので外反する口縁部片である。607・608は口唇部上におそらく貝殻を押圧し、610はキザミを有する口縁部片である。

606は直口、607・608は外反している。611～613は口唇部上に施文はみられないもので、一部は条痕の後ナデ調整を行っている。610～612は直口から内湾、613は外反する形状である。614は胴部片である。615・616は同地点で出土したものであるが、同一個体ではない。両者共にやや内湾する口縁部片である。615の外面の調整は条痕だけで、内面は条痕の後にナデ調整を行っている。一方、616の器面調整は内外面共に条痕の後にナデ調整を行うものである。617は胴部片で、外面は条痕、内面は条痕の後ナデ調整を施す。618･619は条痕の後ナデ調整を施すもので、両者共に外反している。621～623は底部片である。622には網代圧痕が確認される。621は内外面共に条痕、622・623は外面に条痕、内面には条痕の後にナデ調整を施す。

内外面にナデ調整を施す土器（609）

609は口唇部にキザミを有するもので、波状口縁の可能性も考えられる。

内外面にミガキ調整を施す土器（620）

620は外反する口縁部片で内外の器面調整はミガキである。

第3項　基本土層2層出土石器について

2層から縄文時代の石器が出土している。中心となるのは最も多くの土器が出土した中期後半から後期前半にかけてのものであろう。出土量としては4層から5層と比べると減っており、石鏃がかなり少ないという点、その一方で石錘と剥片素材の敲石が多くなっているということが大きな相違点となっている。このことは縄文早期と生業に違いを表している可能性が考えられる。以下に既存の分類に基づいて報告を行うが、器種分類基準は第Ⅲ章第2節第3項に基づく。また規模等については第32表を示す。

石鏃（624～626）

3点出土している。625・626は頁岩製で素材剥片の形状を多く残すものである。

石匙（627～629）

3点出土している。つまみがやや不明瞭であるが石匙として分類しておく。627･628は頁岩製、629はチャート製である。

スクレイパー（630～633）

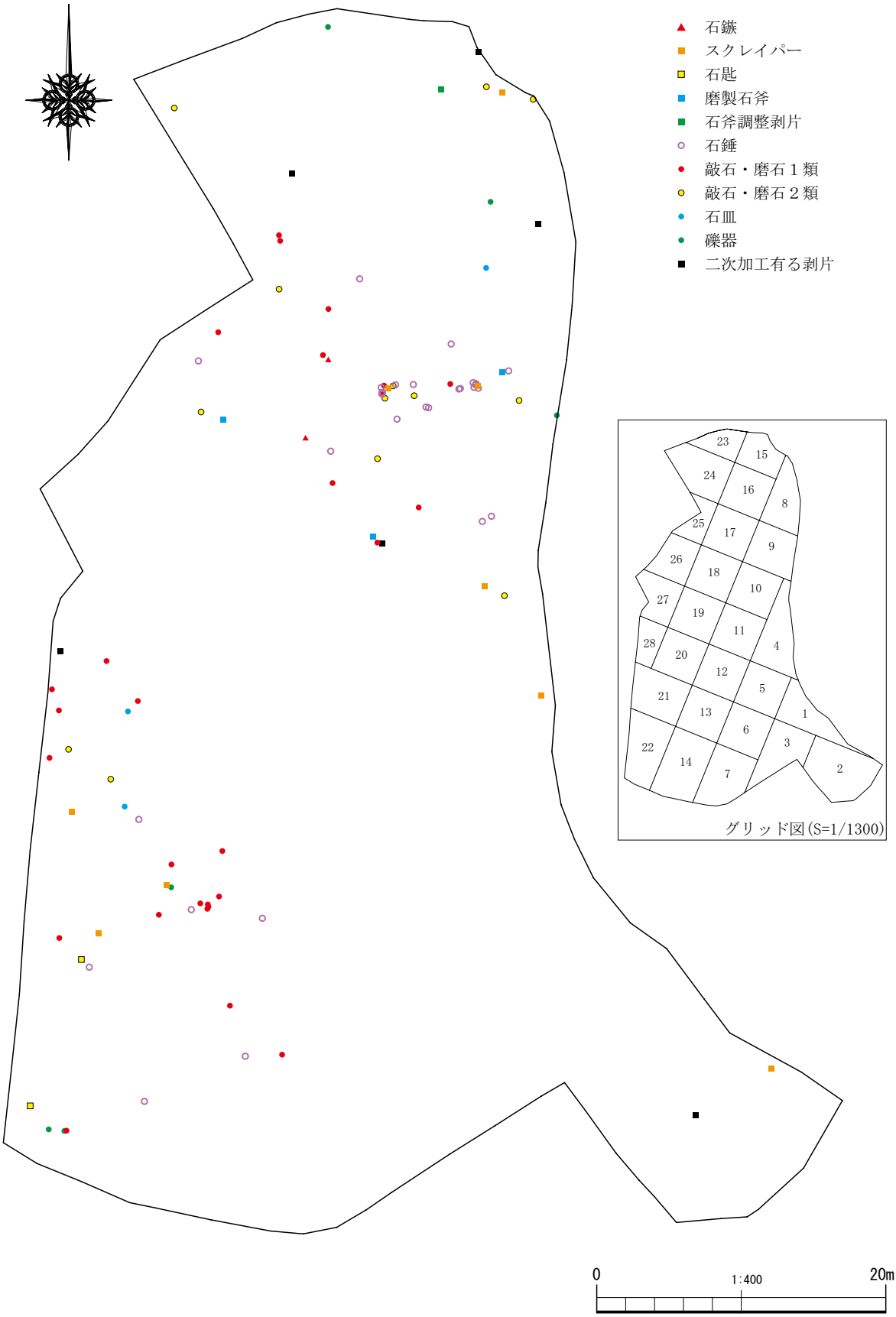
9点出土している。630･633は粗い刃部加工を施すもので、631･632のそれは細かい調整となっている。ホルンフェルス製の631・633は大ぶりの資料である。

礫器（634～636）

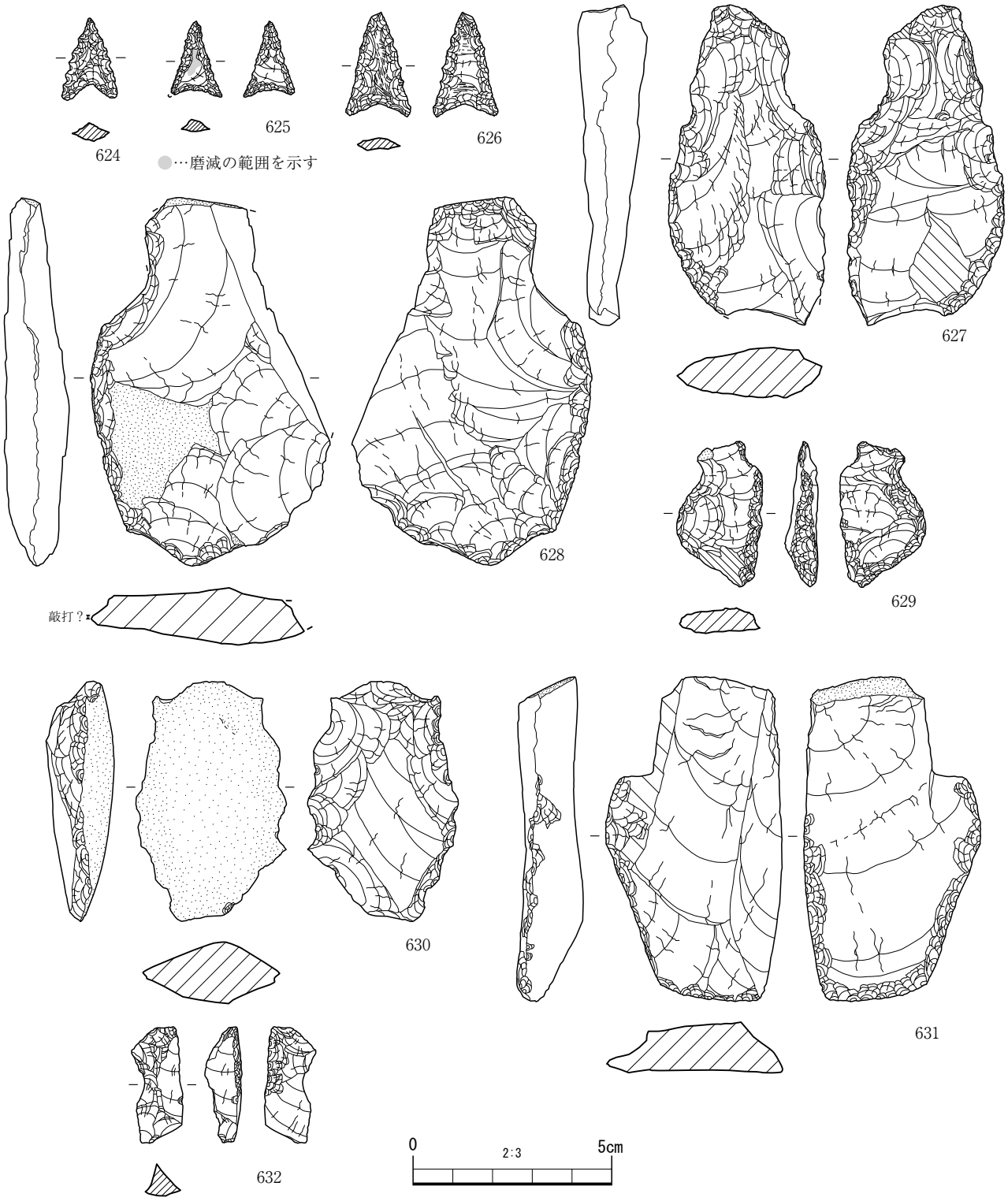
砂岩製のものばかりが8点出土している。635は背面に敲打痕がみられる。

磨製石斧（637～641）

5点出土している。640の蛇紋岩製のものを除いてすべてホルンフェルス製のものである。637は刃部の破片である。638は使用で欠損したためか、再加工の途中だったためか刃部が偏っている。また側面と基部付近に光沢がみられる。639は表面に整形時の剥離面を多く残す。中央部付近で屈曲がみられる。こちらも表面に光沢が観察される。640は基本土層4層の調査時に発見されたものだが、地層横転箇所の2層中から出土したため、本項で報告を行った。小型品で、刃部から基部まで磨き上げ表面には複数の稜線がみられる。641は基部の破片で表面に光沢が



第105図　橋山第3遺跡1地区縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土主要石器分布図【器種別】（S=1/400）

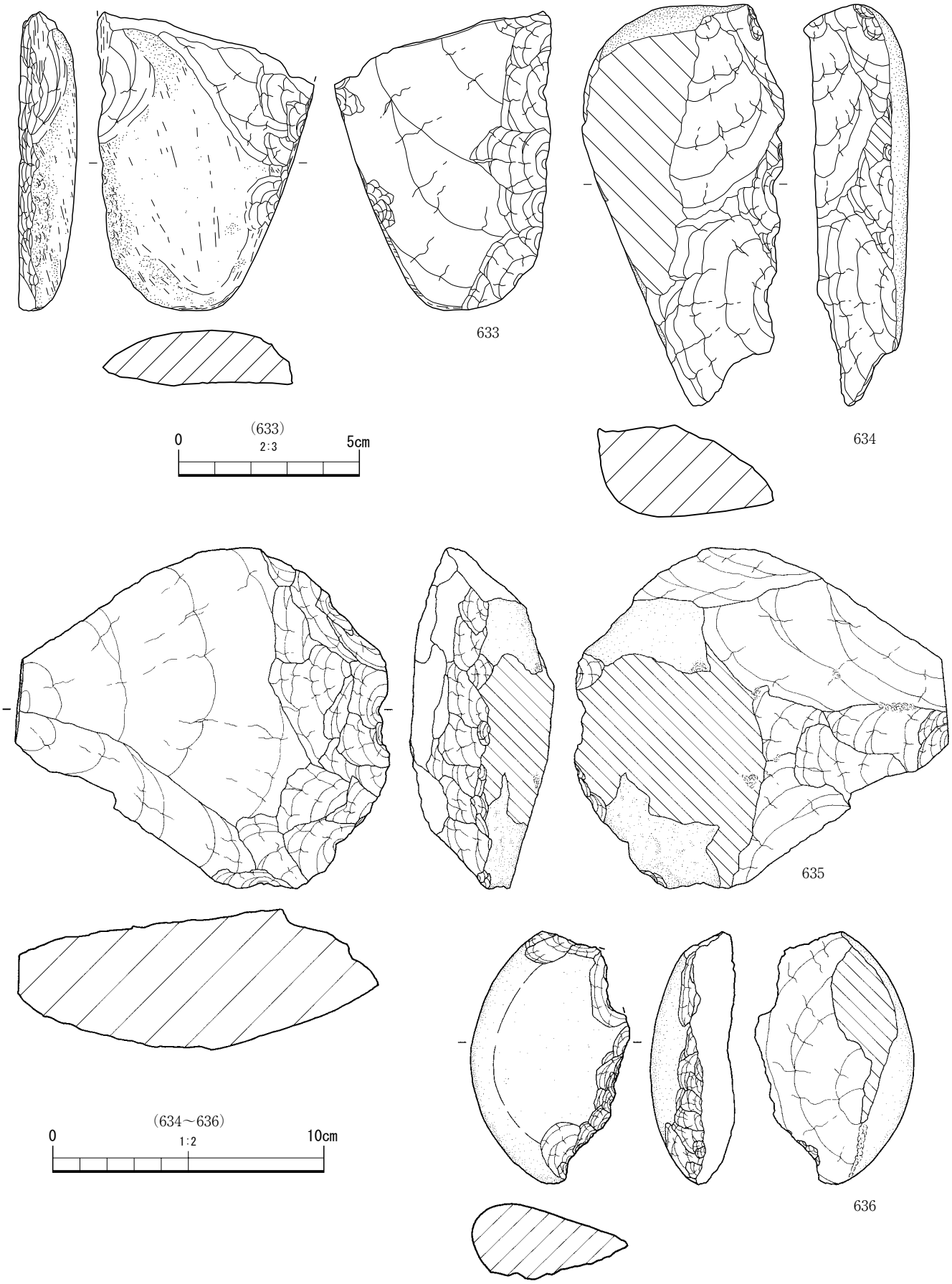


第106図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図①（S=2/3）

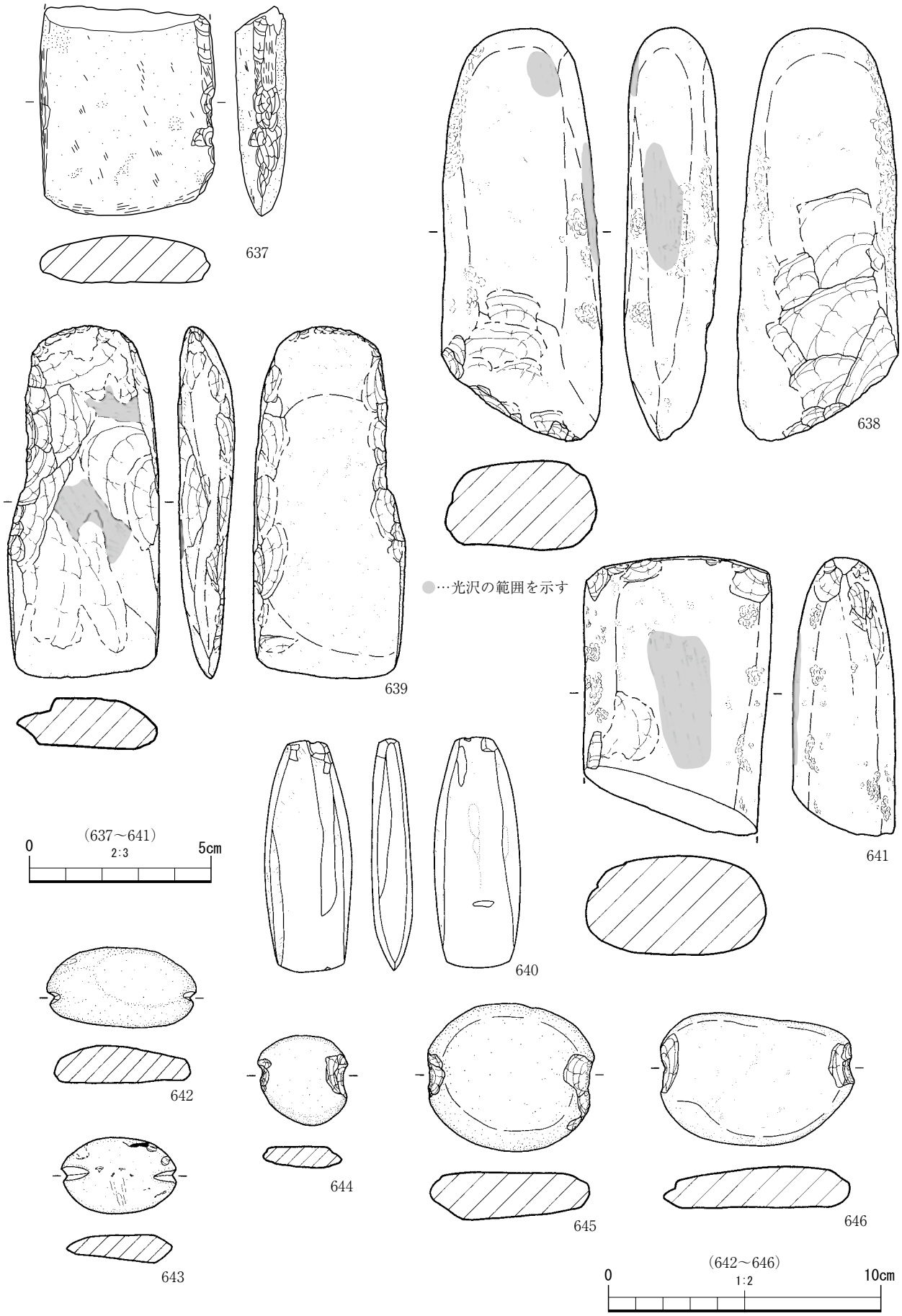
みられる。638・639・641で確認された光沢はすべて中央付近から基部付近で観察されるもので柄の装着と関係があるかもしれない。

石錘（642～653）

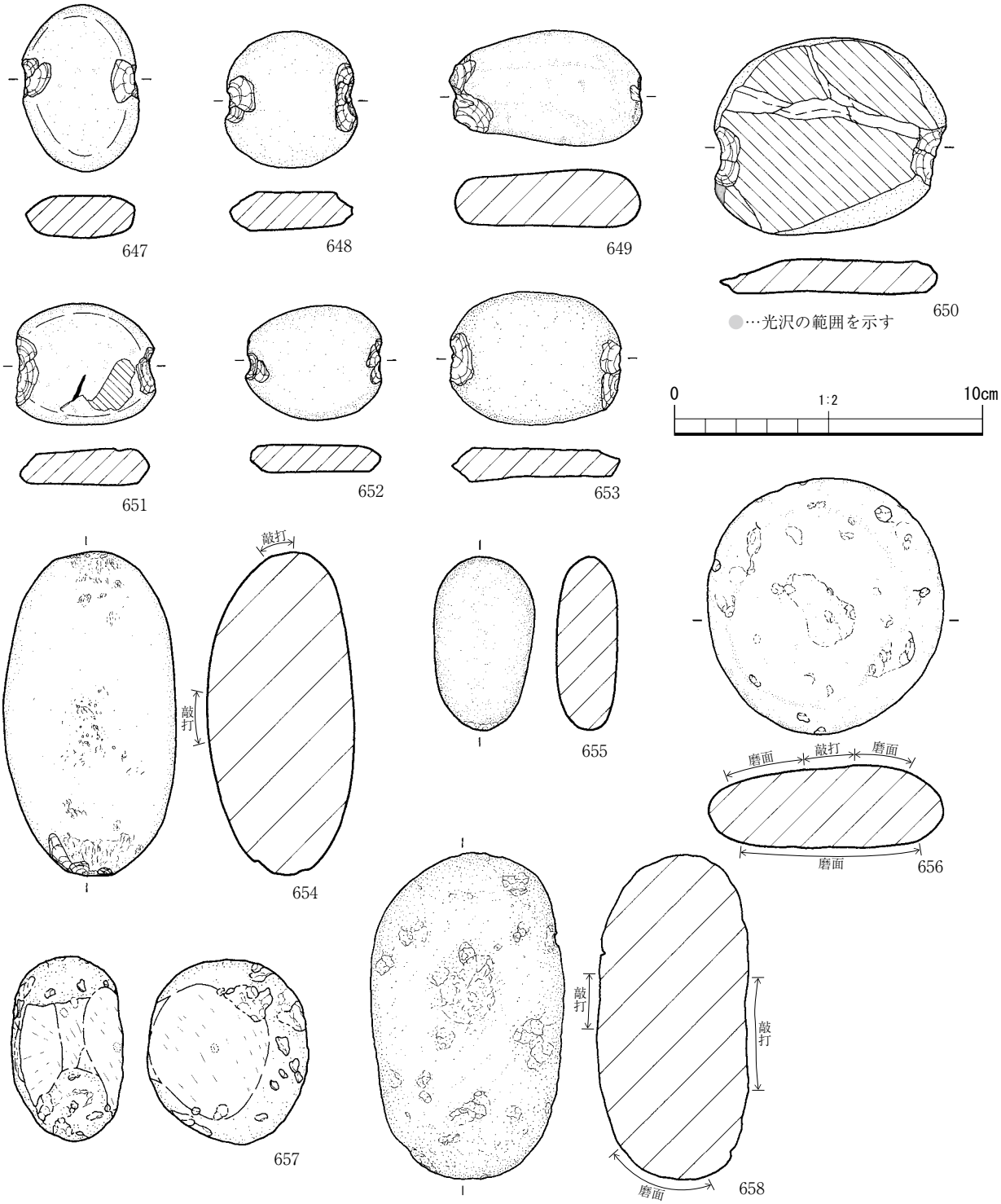
34点出土している。頁岩製の642・643は切り目石錘で、他のものはすべて砂岩製の打ち欠き石錘である。基本的にすべて扁平な礫を素材として短辺に抉りを形成するが、647だけ長辺部分に抉りを入れている。



第107図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図②（S=2/3・1/2）



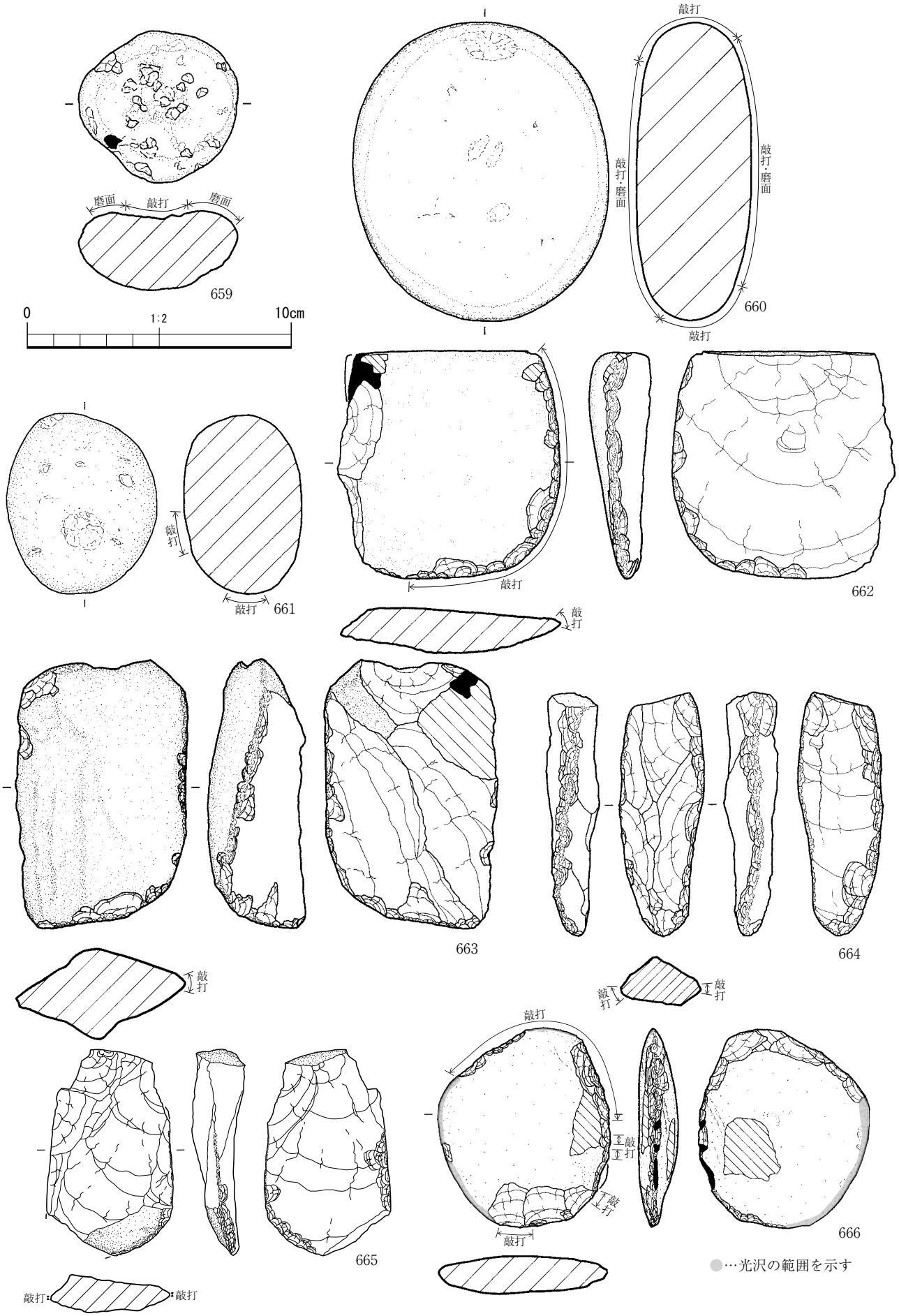
第108図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図③（S=2/3・1/2）



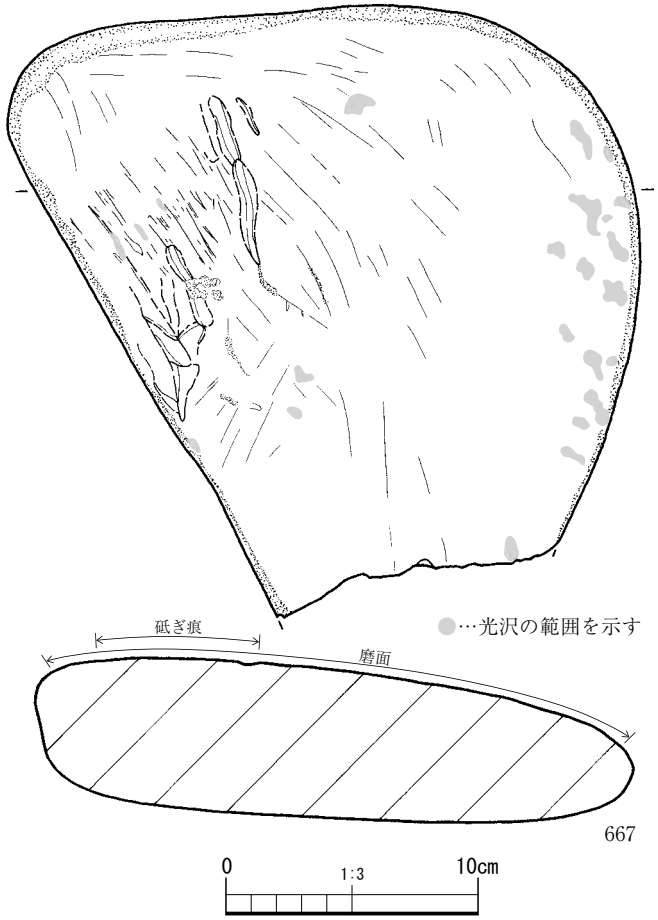
第109図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図④（S=1/2）

敲石・磨石（654～666）

礫素材の1類（654～661・663・666）が30点、剥片素材の2類（662・664・665）は15点出土した。この敲石・磨石について本調査区の基本土層4層から5層の状況を比べると2類の占める割合が高くなっていること、凝灰岩製と尾鈴山酸性岩製のものが砂岩製のものよりも多くなっていることなど素材の用い方や使用石材に違いがみられる。654・658・661は表面だけでなく端部にも敲打痕が確認される。656・659は磨石と兼用するものである。666は頁岩製の扁平な



第110図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図⑤（S=1/2）



第111図　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器実測図⑥（S=1/3）

礫を使用するもので、縁辺に敲打痕がみられ、そのためにできたと考えられる剥離面が多くみられる。

2類の敲石は砂岩製のものが14点、頁岩製のものが1点みられる。662は砂岩製の自然面を有する分厚い剥片を素材とするもので、背面の右側縁から下端部にかけて敲打痕とそのためにできたであろう剥離面が観察され、素材の稜線はつぶれて鈍くなっている。663はもともと礫素材か石核を転用したものの可能性がある。664・665は自然面をあまり有していない比較的小型の剥片を素材とするものである。664は上部以外すべての縁辺で敲打痕がみられる。

石皿（667）

砂岩製のものばかり3点出土している。表面にはうっすらと擦痕、敲打痕が観察される。また浅い溝状の痕跡もみられる。

第28表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器観察表①

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:㎜ 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.136 第100図	515	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	条痕後ナデ	条痕文	1 僅	1 僅		轟B式　口唇部条痕文	90
	516	4層+5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰褐 7.5YR5/2	良好	条痕後ナデ	条痕文	2 多			轟B式　口唇部条痕文	383
	517	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕文 微隆帯	条痕文	1 少	2 僅		轟B式　外面炭化物付着 5565±25年BP	67
	519	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	微隆帯・ナデ	条痕文	微 僅	1 僅		轟B式 外面スス付着	62
	518	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/1	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕後ナデ 微隆帯	条痕後ナデ 条痕文		1 僅		轟B式	63
	520	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	微隆帯・ナデ	条痕後ナデ		1 僅		轟B式	66
	521	－	縄文 深鉢	22.0	－	－	灰黄 2.5Y6/2	灰黄 2.5Y6/2	良好	沈線文・弧状沈線文 条痕文	ナデ		微 僅		西唐津式　口唇部キザミ 外面スス付着	68
	522	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	隆帯文・ナデ	ナデ	1 多	2.5 多		深浦式	78
	523	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	灰黄褐 10YR5/2	良好	隆帯文・ナデ	条痕文		1 僅		深浦式 外面スス付着	79
	524	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	微隆帯・ナデ	条痕後ナデ	1 僅	1 僅		深浦式　内面圧痕有	81
	525	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	隆帯文 条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 僅	2 少		深浦式	83
	526	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕後ナデ 微隆帯	条痕文		1 僅		深浦式	80
	527	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	隆帯文・ナデ	条痕後ナデ		1 僅		深浦式	77
	528	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	隆帯文・ナデ	条痕後ナデ	微 僅	微 僅		深浦式	84
	529	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	縄文後ナデ	条痕文	3 多			船元式 口唇部キザミ	411
	530	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	灰赤 10YR5/2	良好	縄文	条痕文	3 少			船元式	403
	531	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	明黄褐 10YR7/6	良好	微隆帯・縄文	ナデ	1	1 少		船元式 外面スス付着	73

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第29表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器観察表②

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.136 第100図	532	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	縄文・沈線文	ナデ	2 僅			船元式	74
	533	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐灰 7.5YR7/1	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	縄文	ナデ	微 僅			船元式	72
	534	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR5/3	良好	縄文	ナデ	微 僅			船元式	71
	535	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	凹線文 条痕後ナデ	条痕後ナデ 指押さえ	3 僅			宮之迫式（古）	6
	536	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明赤褐 5YR5/6	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	凹線文 条痕後ナデ	ナデ・指押さえ	2 少			宮之迫式（古）	7
	537	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	凹線文・ナデ	条痕後ナデ	1 少			宮之迫式（古）	8
	538	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	凹線文・ナデ	条痕後ナデ	2 僅			宮之迫式（古）	9
	539	2層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	凹線文・ナデ	条痕後ナデ	2 多			宮之迫式（古）	11
	540	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	凹線文・ナデ 円形刺突文	ナデ	1 少			宮之迫式（古）	10
p.137 第101図	541	2層	縄文 深鉢	(19.8)	－	－	暗灰黄 2.5Y4/2	黄褐 2.5Y5/3	良好	短沈線文・沈線文 条痕後ナデ	条痕後ナデ	2 少	微 僅		宮之迫式（新）	46
	542	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短沈線文・ナデ 沈線文	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新） 口唇部沈線文	32
	543	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短沈線文・ナデ 沈線文	条痕後ナデ	1 多			宮之迫式（新）	33
	544	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短沈線文・ナデ 沈線文	条痕後ナデ	1.5 多	2 少		宮之迫式（新） 口唇部貝殻押圧文	25
	545	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	短沈線文・沈線文 条痕後ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		宮之迫式（新） 口唇部貝殻押圧文	36
	546	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条痕後ナデ・短沈線文 沈線文	条痕後ナデ	1 多			宮之迫式（新） 口唇部貝殻押圧文	15
	547	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	2 少			宮之迫式（新）	14
	548	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	沈線文・刺突文 ナデ	ナデ	1 少			宮之迫式（新） 口唇部刺突文	38
	549	2層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y4/2	暗灰黄 2.5Y4/2	良好	瘤状突起 沈線文・ナデ	丁寧なナデ	1 僅			宮之迫式（新） 波状口縁	105
	550	2層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄 2.5Y7/3	灰黄 2.5Y6/2	良好	沈線文 条痕後ナデ	条痕後ナデ	微 多	1 僅		宮之迫式（新） 口唇部キザミ	16
	551	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 多	1 少		宮之迫式（新）	21
	552	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ 指押さえ	1 僅			宮之迫式（新）	22
	553	2層	縄文 壺	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	沈線文・ナデ	ナデ	2 少			宮之迫式（新） 口唇部押圧文	12
	554	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	沈線文・ナデ	ナデ	2 少			宮之迫式（新） 口唇部押圧文	29
	555	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 少			宮之迫式（新） 口唇部押圧文	24
	556	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新）口唇部 押圧文　外面スス付着	26
	557	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	沈線文・ナデ	ナデ	1 僅			宮之迫式（新） 外面スス付着	37
	558	2層	縄文 深鉢	－	－	－	黄褐 2.5Y5/3	灰黄 2.5Y6/2	良好	円形刺突文・沈線 文・条痕後ナデ	ナデ	微 僅			宮之迫式（新）	20
	559	－	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	橙 5YR6/6	良好	沈線文・ナデ 円形刺突文	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新）	41
	560	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 少		微 少	宮之迫式（新） 外面スス付着	40
	561	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/3	にぶい黄 2.5Y6/4	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新）	42
	562	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新）穿孔有	39
	563	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	明赤褐 5YR5/6	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 少		微 少	宮之迫式（新）	31
	564	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明赤褐 5YR5/6	赤褐 5YR4/8	良好	沈線文後 貝殻腹縁刺突文	ナデ	3 少	1 僅		宮之迫式（新） 口唇部キザミ　波状口縁	49
	565	2層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR7/6	明黄褐 10YR7/6	良好	条痕後ナデ 縄文 貝殻腹縁刺突文	条痕後ナデ	微 僅			宮迫之式（新）口唇部 棒状刺突文　波状口縁 キザミ	60
	566	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	貝殻腹縁刺突文 沈線文・ナデ	条痕後ナデ		1 少		宮之迫式（新） 波状口縁　口唇部条痕文	57
p.138 第102図	567	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐 7.5YR5/8	明褐 7.5YR5/8	良好	瘤状突起 貝殻腹縁刺突文 沈線文・ナデ	条痕後ナデ	2 多			宮之迫式（新） 口唇部貝殻腹縁刺突文 波状口縁	50
	568	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	貝殻腹縁押引文 沈線文 条痕後ナデ	条痕後ナデ	微 僅	微 僅		宮之迫式（新） 口唇部貝殻腹縁刺突文 貝殻押引文	19
	569	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/4	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	沈線文・ナデ 押引文	ナデ	1 僅			宮之迫式（新） 口唇部押圧文	51
	570	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR6/4	良好	沈線文・ナデ	条痕後ナデ	2 僅			宮之迫式（新） 口唇部貝殻押圧文	18
	571	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい橙 5YR6/4	良好	貝殻腹縁刺突文 沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新） 口唇部条痕文	13
	572	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄 2.5Y6/2	良好	条痕文 短沈線文・ナデ	条痕後ナデ		1 僅		宮之迫式（新） 口唇部貝殻押圧文	27
	573	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	ナデ・貝殻腹縁押引文 沈線文	条痕後ナデ	1 少			宮之迫式（新）	23
	574	2層	縄文 深鉢	－	－	－	黄褐 2.5Y5/3	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	貝殻腹縁刺突文 沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 少			宮之迫式（新）口唇部 キザミ　外面スス付着	17
	575	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	貝殻腹縁押引文 沈線文・ナデ	条痕後ナデ	1 僅			宮之迫式（新）	53

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第30表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器観察表③

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.138 第102図	576	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰 10Y5/1	灰 10Y5/1	良好	貝殻腹縁押引文 ナデ	ナデ	1 僅			宮之迫式（新）	82
	577	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/3	黄灰 2.5Y5/1	良好	沈線文・ナデ 貝殻腹縁刺突文	ナデ	1 僅	1 僅		宮之迫式（新）	58
	578	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/3	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	沈線文・ナデ 貝殻腹縁刺突文	ナデ	1 僅	1 僅		宮之迫式（新）	56
	579	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	沈線文・ナデ 貝殻腹縁刺突文	条痕後ナデ	1 少	微 多		宮之迫式（新） 口唇部条痕文	55
	580	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	灰黄 2.5Y6/2	良好	貝殻腹縁刺突文 条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 僅		微 少	宮之迫式（新） 外面未貫通穿孔有	28
	581	4層	縄文 深鉢	－	－	－	褐 7.5YR4/4	明赤褐 5YR5/6	良好	貝殻腹縁刺突文 条痕後ナデ	ナデ	1 少			宮之迫式（新）	52
	582	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 多			宮之迫式（新） 口唇部キザミ	386
	583	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰褐 7.5YR5/2	良好	沈線文・ナデ	ナデ	1 僅	2 僅		宮之迫式（新） 口唇部キザミ	442
	584	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	条痕文	ナデ	微 少	1 少		宮之迫式（新） 口唇部キザミ	390
	585	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 5YR6/4	にぶい橙 5YR7/4	良好	沈線文 貝殻擬似縄文	条痕文	2 少			宮之迫式（新）	54
	586	2層	縄文 深鉢	－	(6.6)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	褐灰 7.5YR5/1	良好	ナデ	ナデ	2 多	2 僅		宮之迫式（新） 網代底	100
	587	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 少			宮之迫式（新） 網代底	98
	588	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR6/3	良好	粗いナデ	ナデ	1 多	2 僅		宮之迫式（新） 網代底	101
	589	2層	縄文 深鉢	－	(9.1)	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕後ナデ	ナデ	2 多			宮之迫式（新） 網代底後ナデ	44
	590	2層	縄文 深鉢	－	(10.8)	－	灰黄褐 10YR6/2	褐灰 10YR4/1	良好	粗いナデ	ナデ 指押さえ	1 少			宮之迫式（新） 網代底　ナデ	61
	591	2層	縄文 深鉢	－	(8.0)	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ	ナデ	2 多			宮之迫式（新） 網代底	45
	592	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	灰黄褐 10YR6/2	良好	ナデ	ナデ	3 少			宮之迫式（新） 網代底	99
	593	5層	縄文 深鉢	－	(8.6)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ	ナデ	1 僅			宮之迫式（新） 網代底か	437
	594	4層+5層	縄文 深鉢	－	(7.4)	－	灰黄褐 10YR5/2	黄灰 2.5Y4/1	良好	指押さえ ナデ	指押さえ ナデ	1 僅	1 僅		宮之迫式（新）	436
	595	2層	縄文 深鉢	－	(7.0)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	褐灰 10YR5/1	良好	ナデ	ナデ	1 少			宮之迫式（新） 網代底か	97
	596	2層	縄文 深鉢	－	(8.4)	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 多	1 少		宮之迫式（新）	43
p.139 第103図	597	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄 2.5Y6/2	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	突帯に貝殻腹縁刺突文 ナデ	条痕後ナデ	1 僅			市来式　波状口縁	103
	598	2層	縄文 深鉢	－	－	－	黄灰 2.5Y5/1	褐灰 10YR4/1	良好	ナデ・沈線文	ナデ	0.5 少			指宿式	69
	599	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	ナデ・沈線文	条痕後ナデ	1 多	1 僅		指宿式	70
	600	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕文 ナデ	微 僅	1 少		条痕文（内外） 口唇部貝殻腹縁押引文	87
	601	2層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	黒褐 2.5Y3/2	良好	指押さえ 条痕後ナデ	条痕後ナデ	2 僅	2 僅		条痕文（内外） 口唇部貝殻腹縁押引文	92
	602	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ	条痕後ナデ	1 多			条痕文（内外） 口唇部貝殻腹縁押引文	95
	603	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/4	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	条痕文	条痕後ナデ	2 僅	2 僅		条痕文（内外） 口唇部貝殻腹縁押引文	104
	604	2層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 10YR6/1	淡黄 2.5Y8/3	良好	条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 僅			条痕文（内外） 外面スス付着	89
	605	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕後ナデ	条痕文	1 少			条痕文（内外）	387
	606	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	条痕文 指押さえ	1 僅			条痕文（内外）	465
	607	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 僅	1 僅		口唇部貝殻押圧文	91
	608	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	条痕後ナデ	ナデ	2 少			条痕文（内外） 口唇部貝殻押圧文	440
	609	2層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ	ナデ	1 僅			無文土器　口唇部キザミ 外面スス付着"	96
	610	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文	条痕文	2 少			条痕文（内外）口唇部 キザミ　外面スス付着	86
	611	2層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	黄灰 2.5Y4/1	良好	条痕文	指押さえ ナデ	1 少			無文土器	93
	612	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	条痕後ナデ	条痕文	1 少			条痕文（内外） 口唇部条痕後ナデ 外面スス付着	88
	613	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文・ナデ	粗いナデ	1 少			条痕文（内外）	391
	614	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文	条痕文	1 少			外面スス付着	64
	615	2層	縄文 深鉢	(24.4)		－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	条痕文	条痕後ナデ	2 多	2 少		外面スス付着	2
	616	2層	縄文 深鉢	(27.8)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 少	2 僅		外面スス付着	3
p.140 第104図	617	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	1.5 多	1 少		外面スス付着	4
	618	5層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕後ナデ	条痕後ナデ	1 少	2 僅		外面スス付着	443
	619	4層+5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕後ナデ	条痕後ナデ	2 少	2 僅		口唇部キザミ	435

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第31表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土土器観察表④

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.140 第104図	620	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	ミガキ	ミガキ	1 少			無文土器	94
	621	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条痕文	条痕後ナデ	2 多	1 少		条痕文（内外）網代底	102
	622	2層	縄文 深鉢	－	(7.6)	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 僅	2 僅		条痕文（内外）網代底	85
	623	2層	縄文 深鉢	－	(12.0)	(12.4)	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 少	微 僅		条痕文（内外）	1

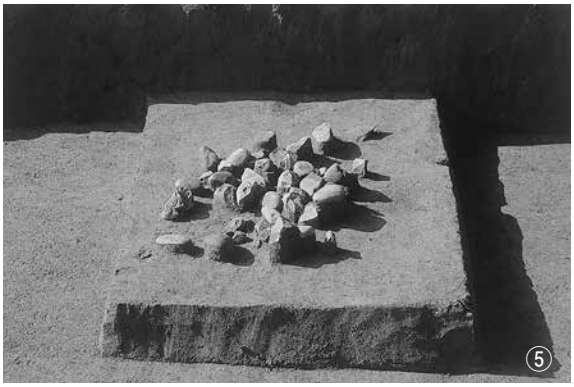
※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第32表　橋山第3遺跡1地区　縄文時代前期～後期遺物包含層（2層）出土石器観察表

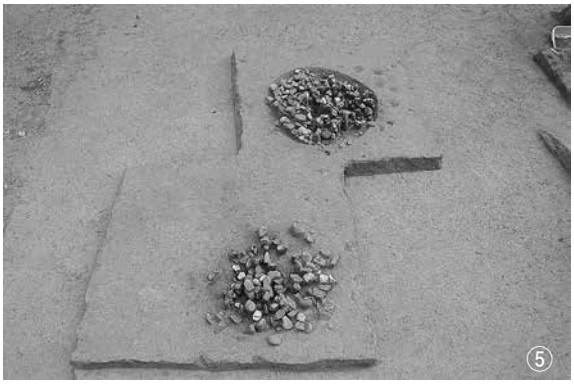
掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （グリッド・層・番号）	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	実測 番号
p.143 第106図	624	28G　2層　389	石鏃	安山岩	2.05	1.40	0.45	0.80		544
	625	17G　2層　7692	石鏃	頁岩	1.90	(1.25)	0.35	(0.50)	脚部欠損 正面に磨滅（光沢）有	545
	626	24G　2層　3260	石鏃	頁岩	12.60	1.60	0.40	1.20	正面・裏面・脚部抉りに研磨痕有	546
	627	2層	石匙	頁岩	(8.00)	3.95	1.70	(46.40)	下部欠損	548
	628	22G　2層　117	石匙	頁岩	9.20	(6.00)	1.60	(76.40)	左上部・右側縁部欠損 左側縁刃部一部つぶれ有 (使用痕か)	549
	629	22G　2層　107	石匙	チャート	3.65	2.15	0.80	5.90		547
	630	17G　2層　7666	スクレイパー	頁岩	6.00	3.75	1.70	34.00		551
	631	9G　2層　227	スクレイパー	ホルンフェルス	8.10	4.40	1.65	61.00		552
	632	2G　2層　521	スクレイパー	黒曜石（姫島）	2.90	1.30	0.90	2.10		550
p.144 第107図	633	21G　2層　589	スクレイパー	ホルンフェルス	(8.20)	(5.95)	1.60	(96.70)	上部欠損	553
	634	8G　2層　336	礫器	砂岩	14.80	7.45	3.90	416.70		558
	635	23G　2層　15	礫器	砂岩	12.50	13.75	5.30	818.90	被熱痕・敲打痕有	560
	636	22G　2層　102	礫器	砂岩	9.25	5.85	3.10	(165.60)	右側縁部欠損　磨石転用か	559
p.145 第108図	637	10G　2層　2057	磨製石斧片	ホルンフェルスか	(5.75)	(4.80)	(1.40)	(62.30)	上部欠損	554
	638	26G　2層　2927	磨製石斧片	ホルンフェルス	11.40	4.50	2.60	201.50	光沢有	555
	639	2層	磨製石斧	ホルンフェルス	9.70	4.20	155.00	86.60	光沢有	556
	640	5層　7710	磨製石斧	蛇紋岩	6.35	2.40	1.10	25.80	層位横転箇所から出土	696
	641	9G　2層　537	磨製石斧片	砂岩	(7.70)	(5.20)	(2.80)	(181.50)	光沢有	557
	642	25G　2層　1970	石錘	頁岩	2.95	5.55	1.45	30.50	切り目	649
	643	14G　2層　4513	石錘	頁岩	2.80	4.25	1.00	15.90	切り目	652
	644	9G　2層　617	石錘	砂岩	3.30	0.80	3.30	12.50		645
	645	22G　2層　12	石錘	砂岩	5.45	6.10	1.80	82.50		641
	646	17G　2層　7656	石錘	砂岩	4.85	7.10	1.55	69.50		650
p.146 第109図	647	9G　2層　533	石錘	砂岩	5.45	3.58	1.40	42.10		647
	648	17G　2層　7671	石錘	砂岩	4.40	4.30	1.25	35.50		644
	649	9G　2層　934	石錘	砂岩	3.70	6.20	1.45	55.80	打欠きと切り目兼用	651
	650	16G　2層　7635	石錘	砂岩	6.30	7.50	1.10	95.80		643
	651	21G　2層　258	石錘	砂岩	3.90	4.18	1.18	31.60		648
	652	9G　2層　462	石錘	砂岩	3.75	4.45	0.90	21.90		646
	653	13G　2層　5772	石錘	砂岩	4.40	5.65	1.15	42.70		642
	654	13G　2層　7435	敲石	頁岩	10.50	5.60	4.75	403.80		655
	655	22G　2層　365	敲石	砂岩	5.50	3.30	2.00	52.50		656
	656	18G　2層　6087	敲石	凝灰岩	8.35	7.65	2.70	235.10	磨石兼用	653
	657	10G　2層　1967	敲石	凝灰岩	6.00	5.20	3.15	136.00		660
	658	17G　2層　4600	敲石	凝灰岩	10.60	6.30	5.00	310.00		658
p.147 第110図	659	21G　2層　123	敲石	凝灰岩	5.75	6.00	3.00	126.50	磨石兼用	659
	660	2層	敲石	尾鈴山酸性岩	11.30	9.70	4.35	764.60	磨石兼用	654
	661	17G　2層　7670	敲石	尾鈴山酸性岩	6.85	5.75	4.50	234.90		657
	662	8G　2層　339	剥片素材敲石	砂岩	8.60	8.45	2.35	(188.30)	左側縁上部欠損	561
	663	9G　2層　667	敲石	砂岩	10.15	6.50	3.70	227.00		564
	664	25G　2層　416	剥片素材敲石	砂岩	9.15	3.15	2.00	55.90		563
	665	4G　2層　400	剥片素材敲石	砂岩	(7.80)	(4.80)	2.00	(62.10)	右側縁部・左下部欠損	562
	666	24G　2層　2469	敲石	粘板岩か	7.50	(6.50)	1.50	(83.00)	右側縁部欠損　側縁部光沢有	565
p.148 第111図	667	21G　2層　426	石皿	砂岩	(24.10)	25.00	6.50	(4840.00)	上部欠損　砥石か	664

（ ）の値は残存法量を示す

図版12

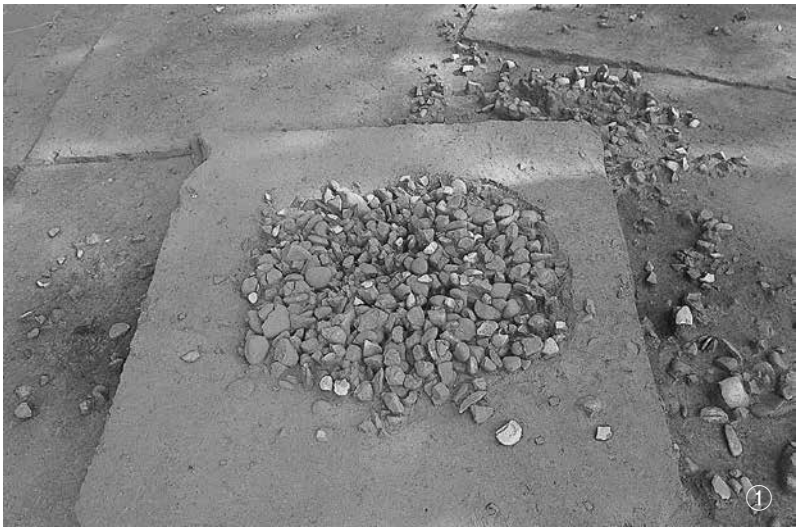


①SI2　②SI3･4　③SI5　④SI6　⑤SI7　⑥SI9　⑦SI11　⑧SI13

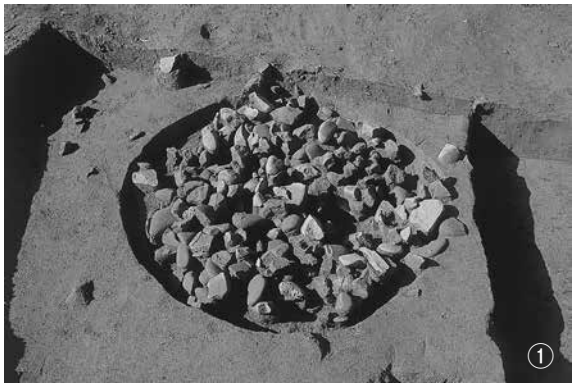


①SI14　②SI15　③SI16　④SI17・18　⑤SI19・20　⑥SI21　⑦SI22・23　⑧SI24

図版14

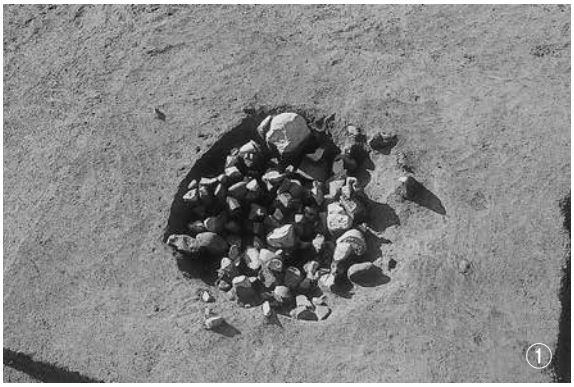


①SI25
②SI26
③SI27
④SI28
⑤SI29
⑥SI30
⑦SI31

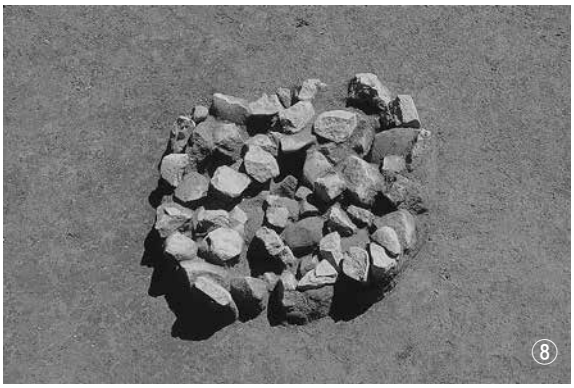


①SI32　②SI33　③SI34　④SI35　⑤SI37　⑥SI38　⑦SI39　⑧SI40

図版16



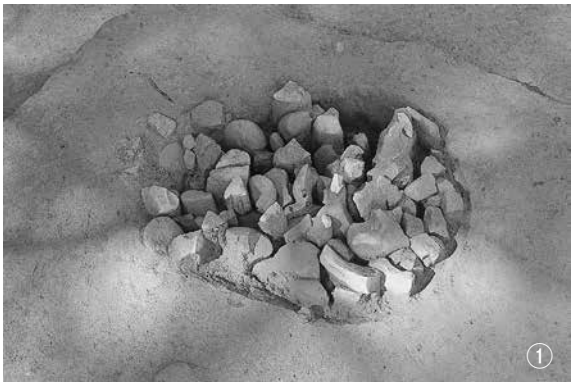
①SI41　②SI42　③SI43　④SI45　⑤SI46　⑥SI47　⑦SI48・49　⑧SI51



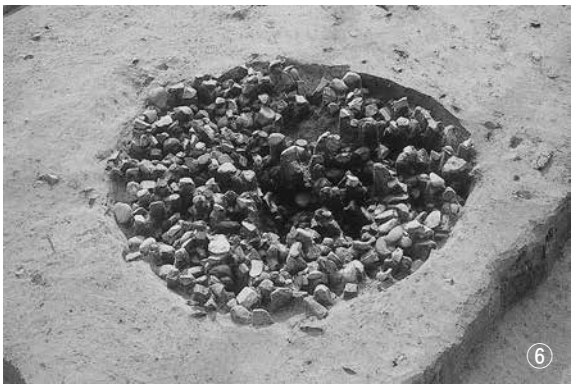
①SI52　②SI55　③SI56・57　④SI56底石　⑤SI57底石　⑥SI58・59・144　⑦SI58・59・144土層断面
⑧SI60

図版18

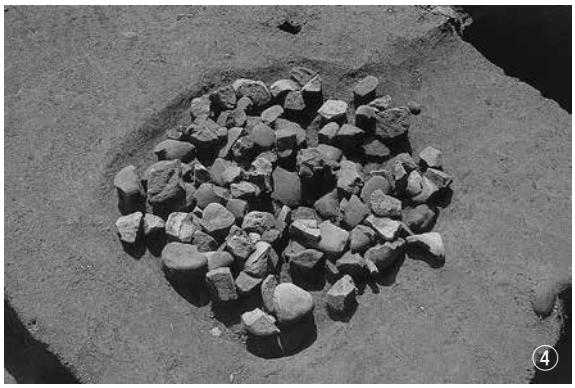
①SI61
②SI61底石
③SI62～67
④SI68
⑤SI69
⑥SI70
⑦SI71



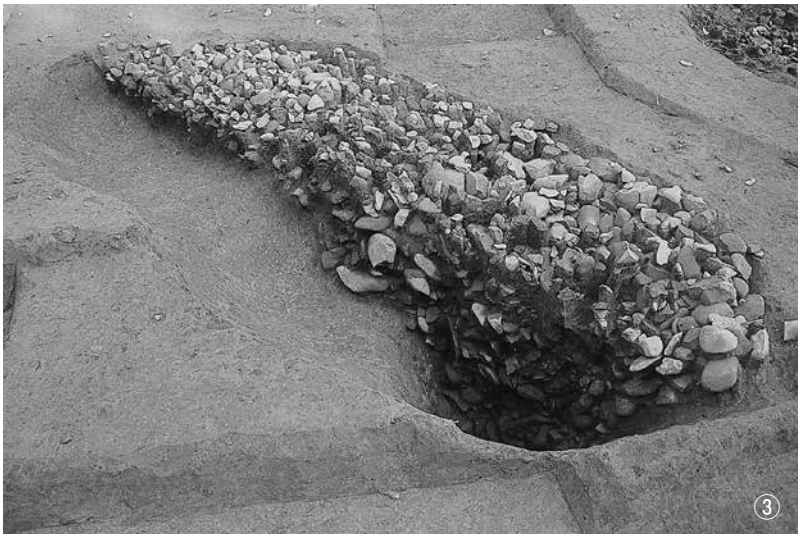
①SI72
②SI73
③SI74
④SI75
⑤SI76～83
⑥SI76
⑦SI76底石



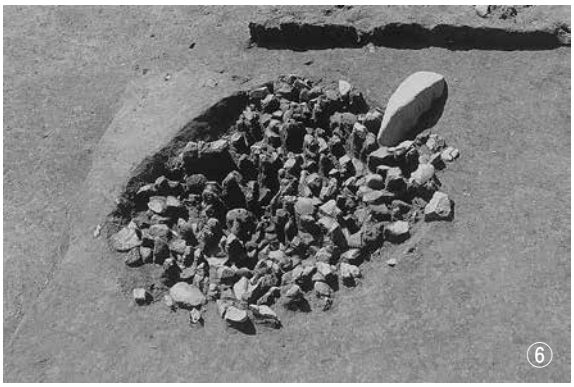
図版20

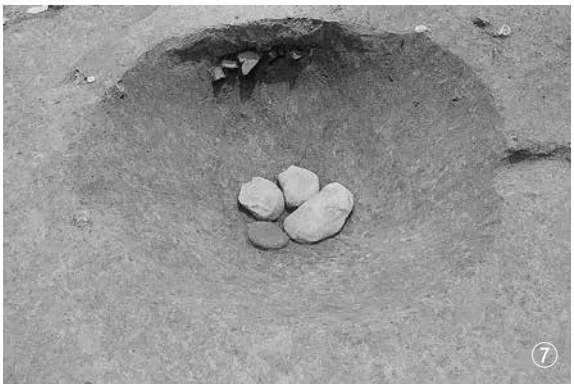


①SI78・79　②SI78・79土層断面　③SI82底石　④SI84　⑤SI85～87・118　⑥SI86・118
⑦SI88・89　⑧SI88

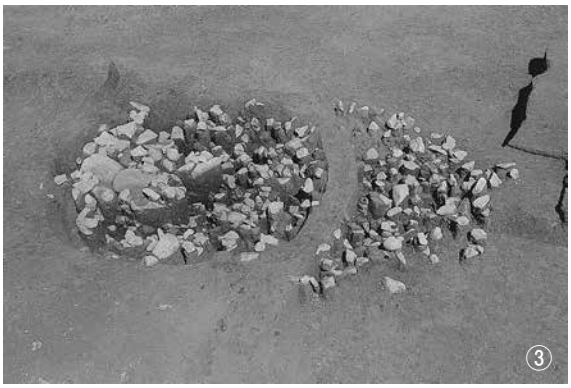


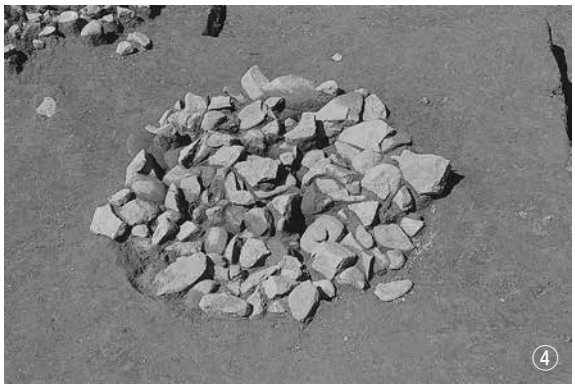
①SI89
②SI90
③SI91・92・143土層断面
④SI91・143底石
⑤SI93～95
⑥SI96
⑦SI96底石





図版22

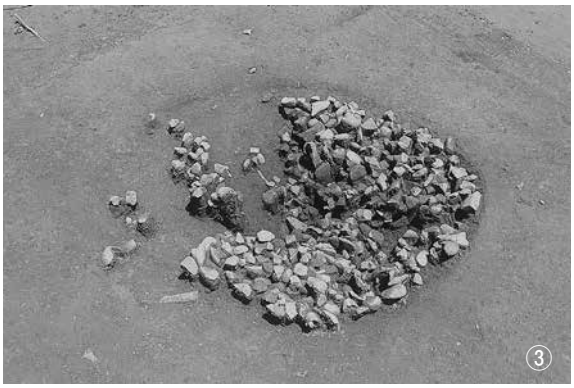


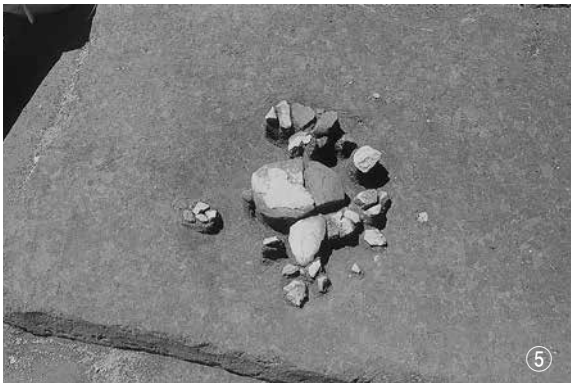


①SI97　②SI98　③SI99・100　④SI101　⑤SI102　⑥SI103　⑦SI105・106・139
⑧SI106・139土層断面

①SI107・108
②SI109検出
③SI109土層断面
④SI110
⑤SI110土層断面
⑥SI111・112
⑦SI113

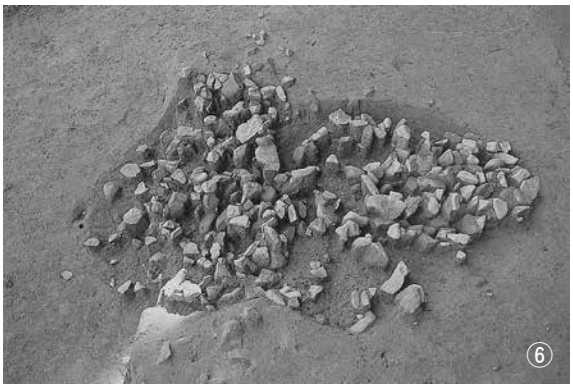
図版24



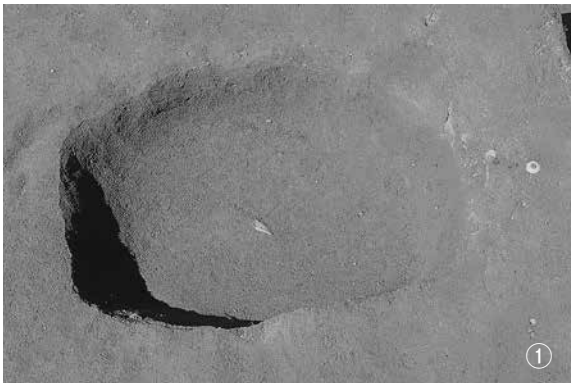


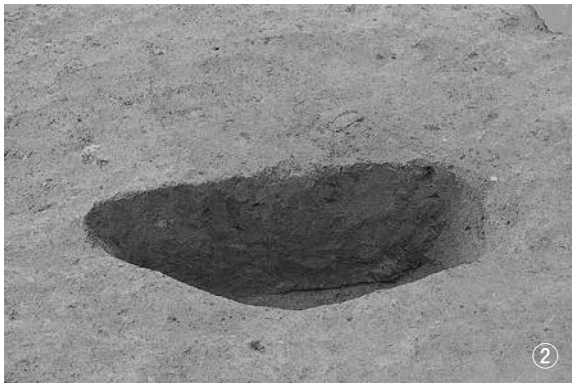
①SI114　②SI115　③SI116　④SI116底石　⑤SI117　⑥SI119　⑦SI120　⑧SI120底石

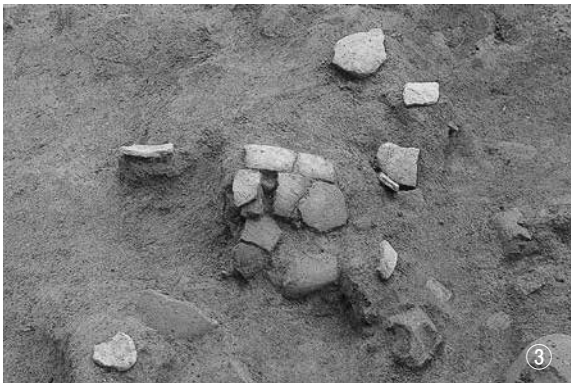
①SI121
②SI121底石
③SI122～134
④SI128～130
⑤SI135・136
⑥SI137・138
⑦SI141検出

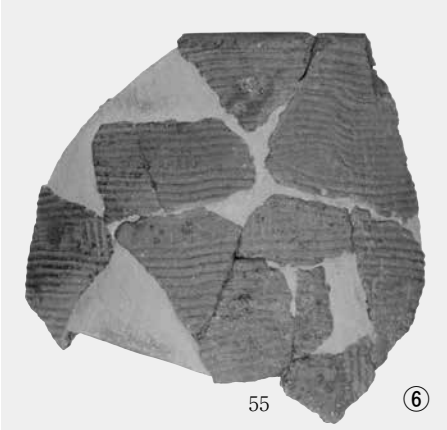


図版26

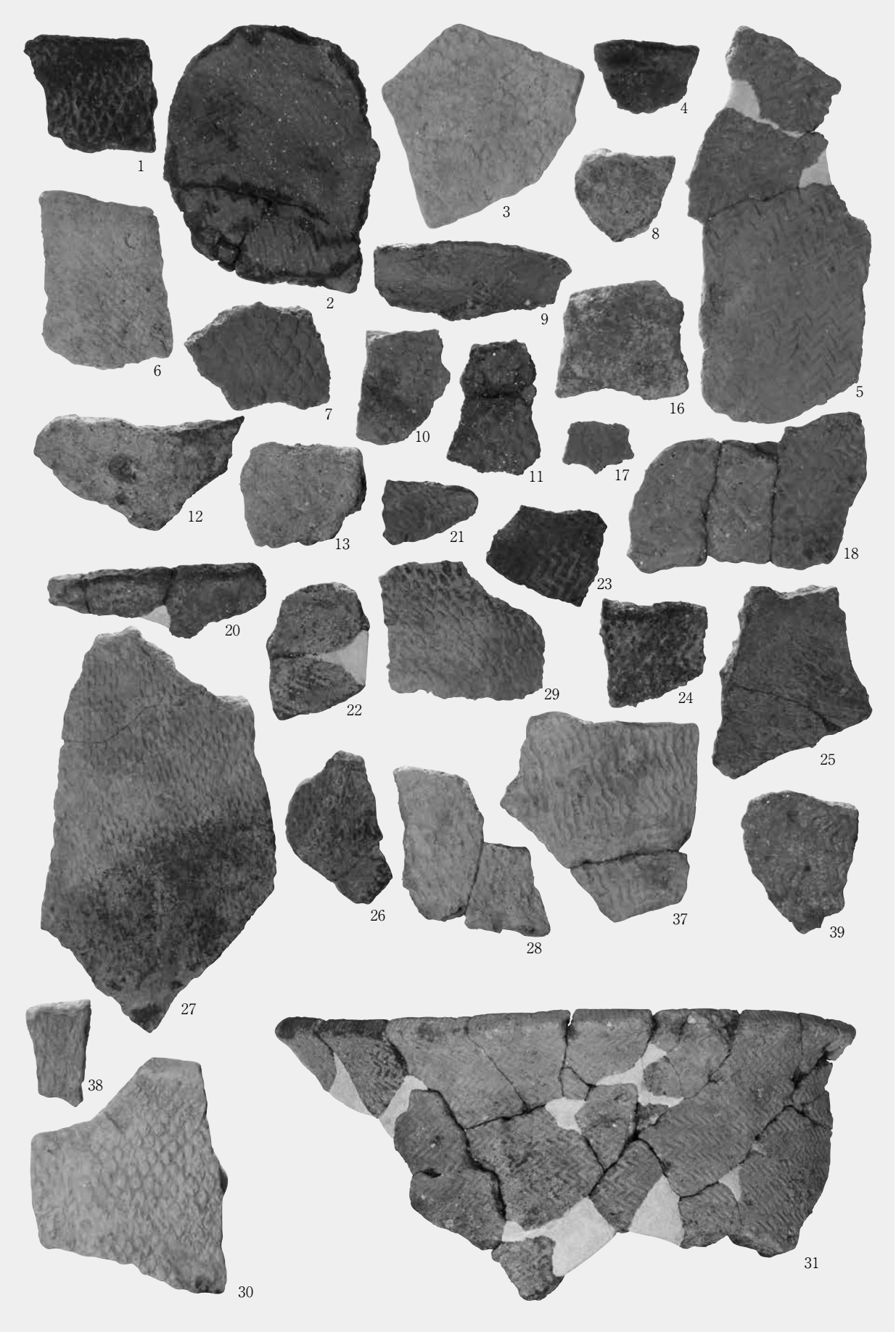




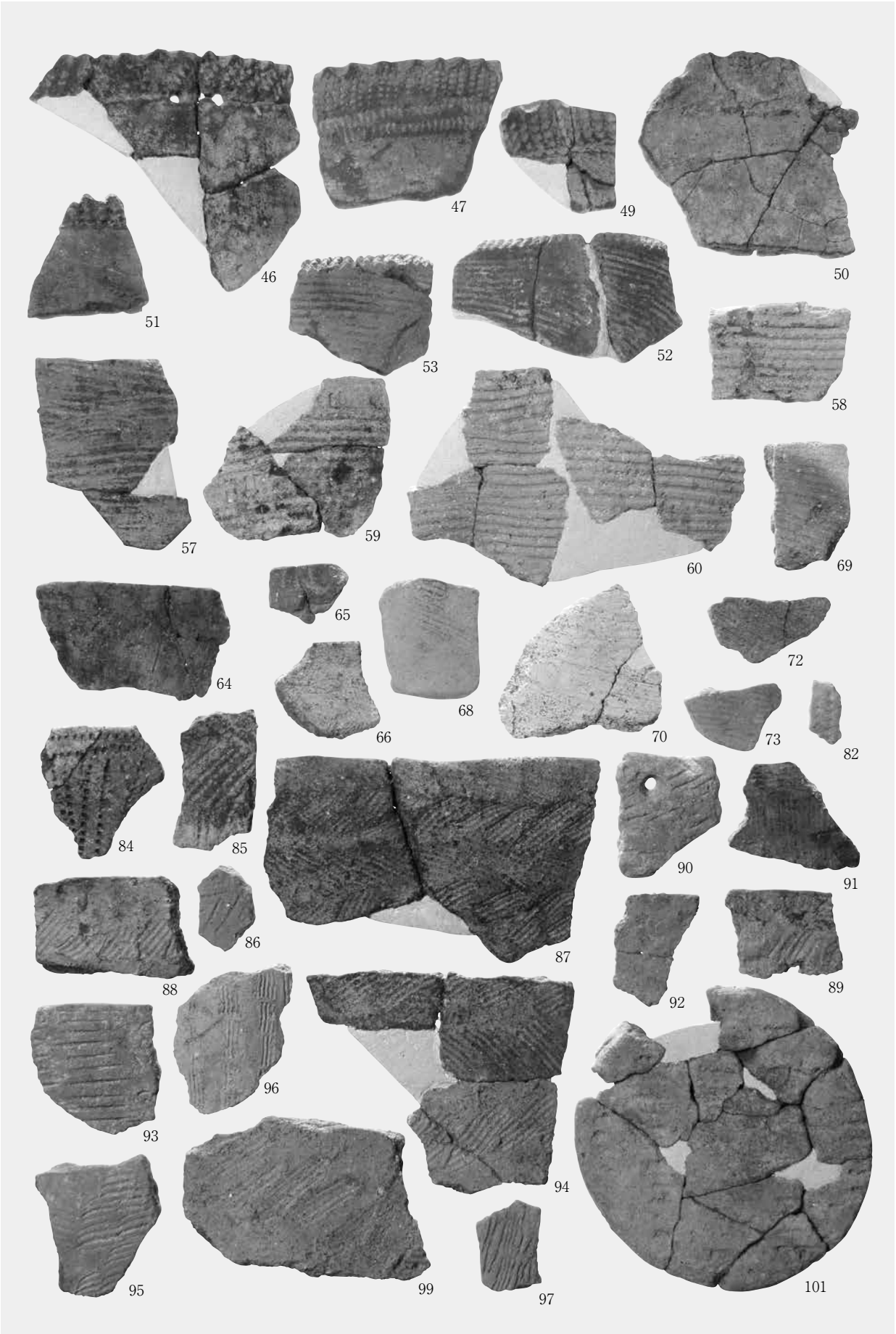




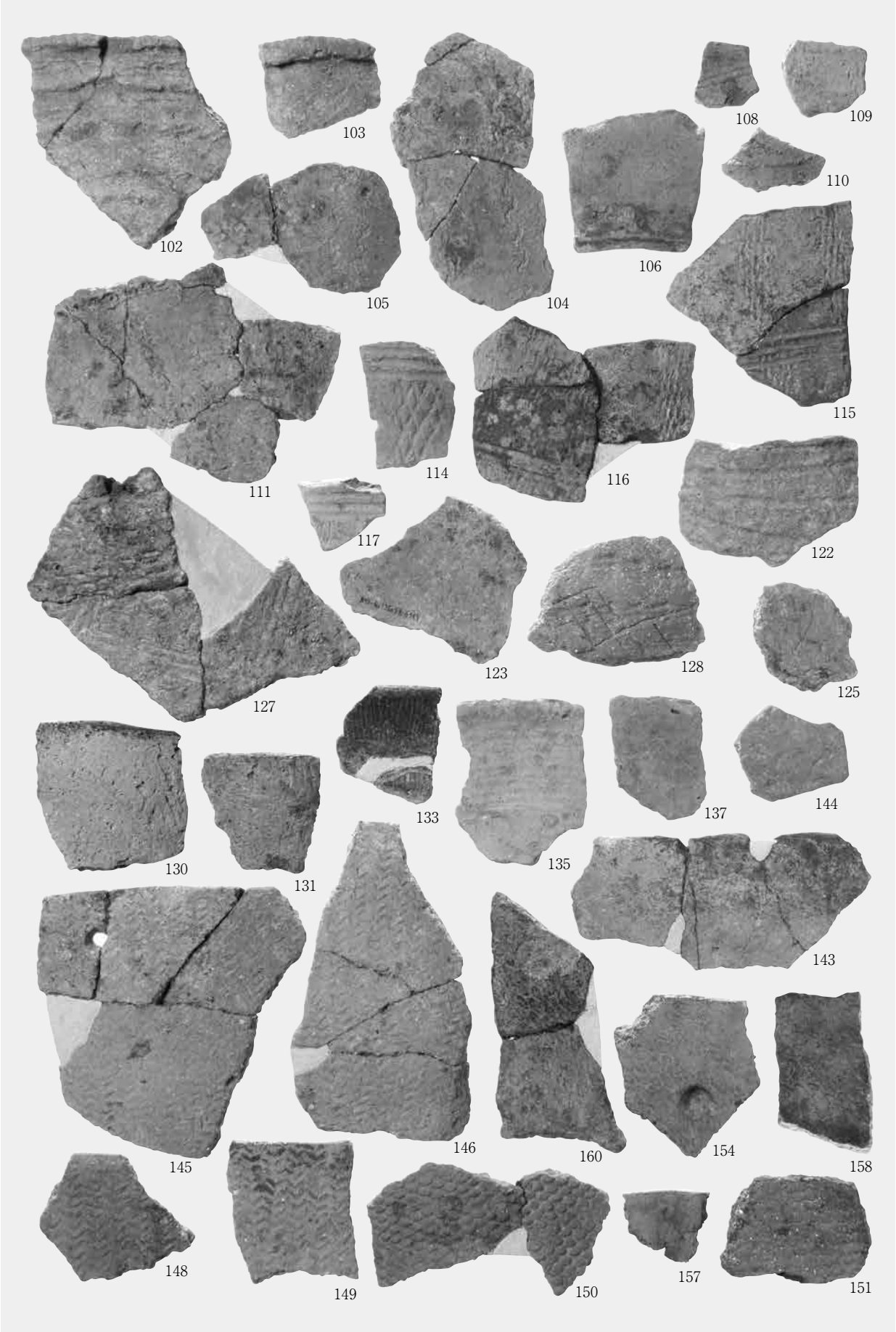
①SC50完掘　②SC54土層断面　③縄文土器（No.404）出土状況
④蛇紋岩製磨製石斧（No.640）出土状況　⑤～⑦縄文時代早期遺物包含層（4・5層）出土土器

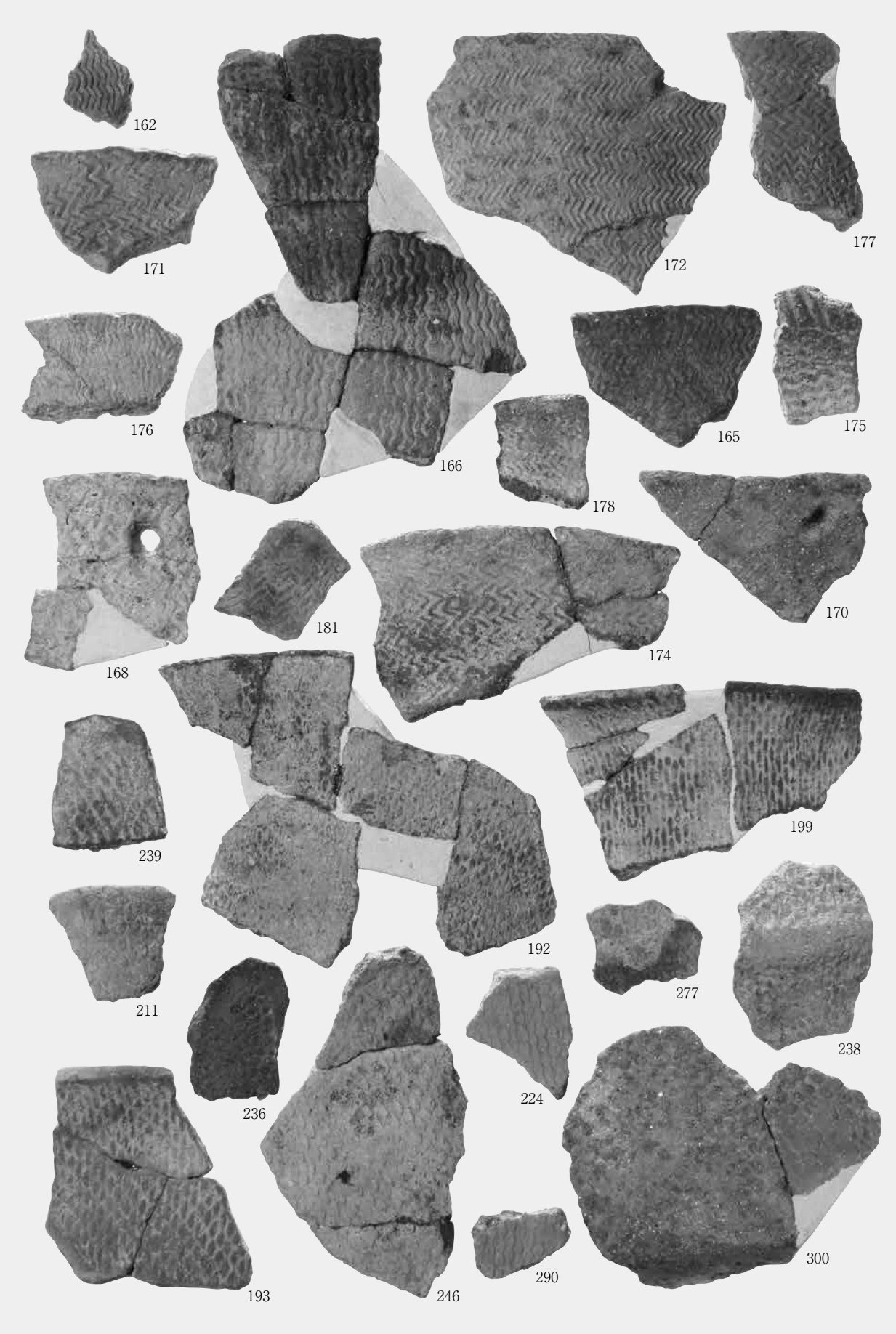

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
16
17
18
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
37
38
39

図版28

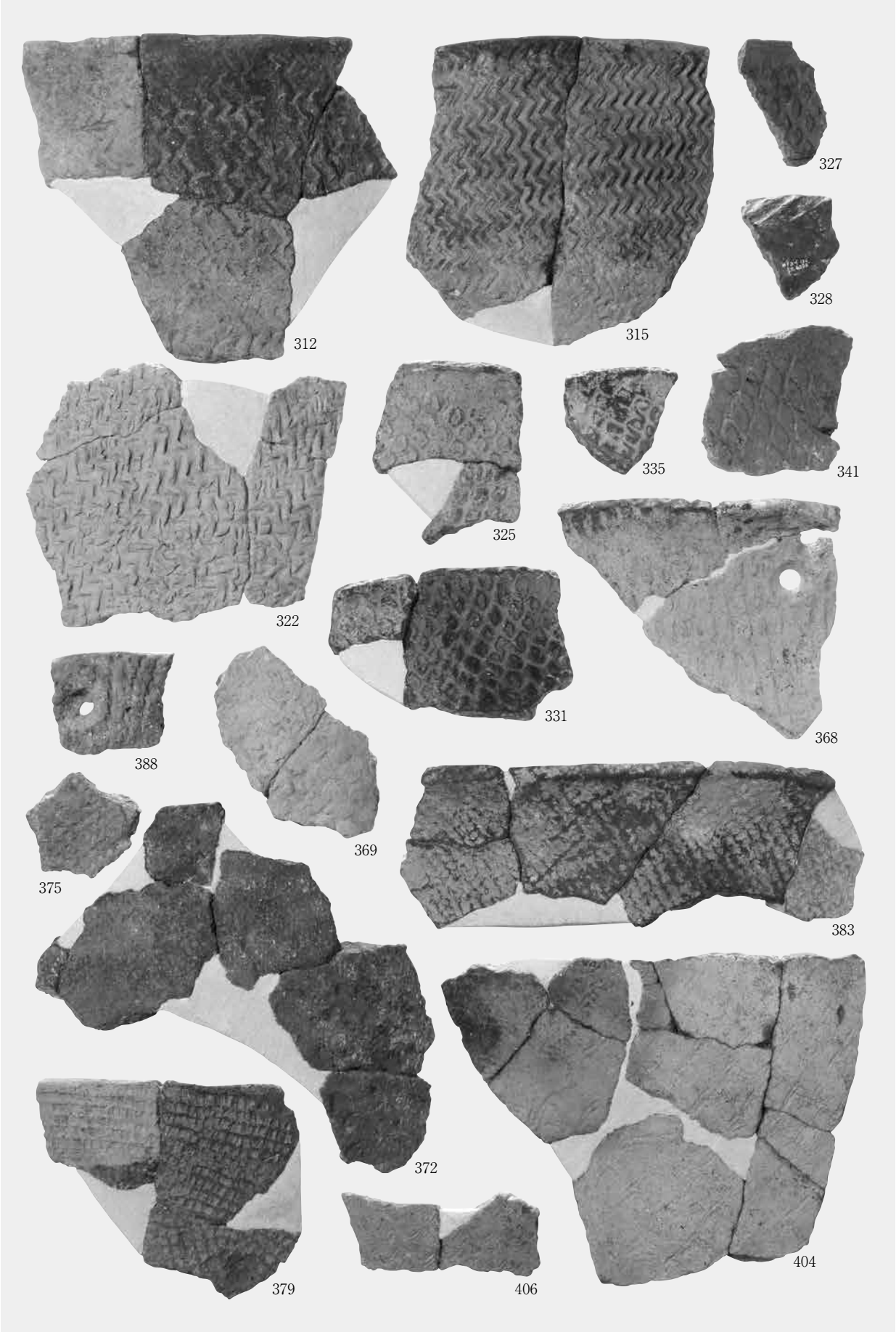

46
47
49
50
51
52
53
57
58
59
60
64
65
66
68
69
70
72
73
82
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
99
101

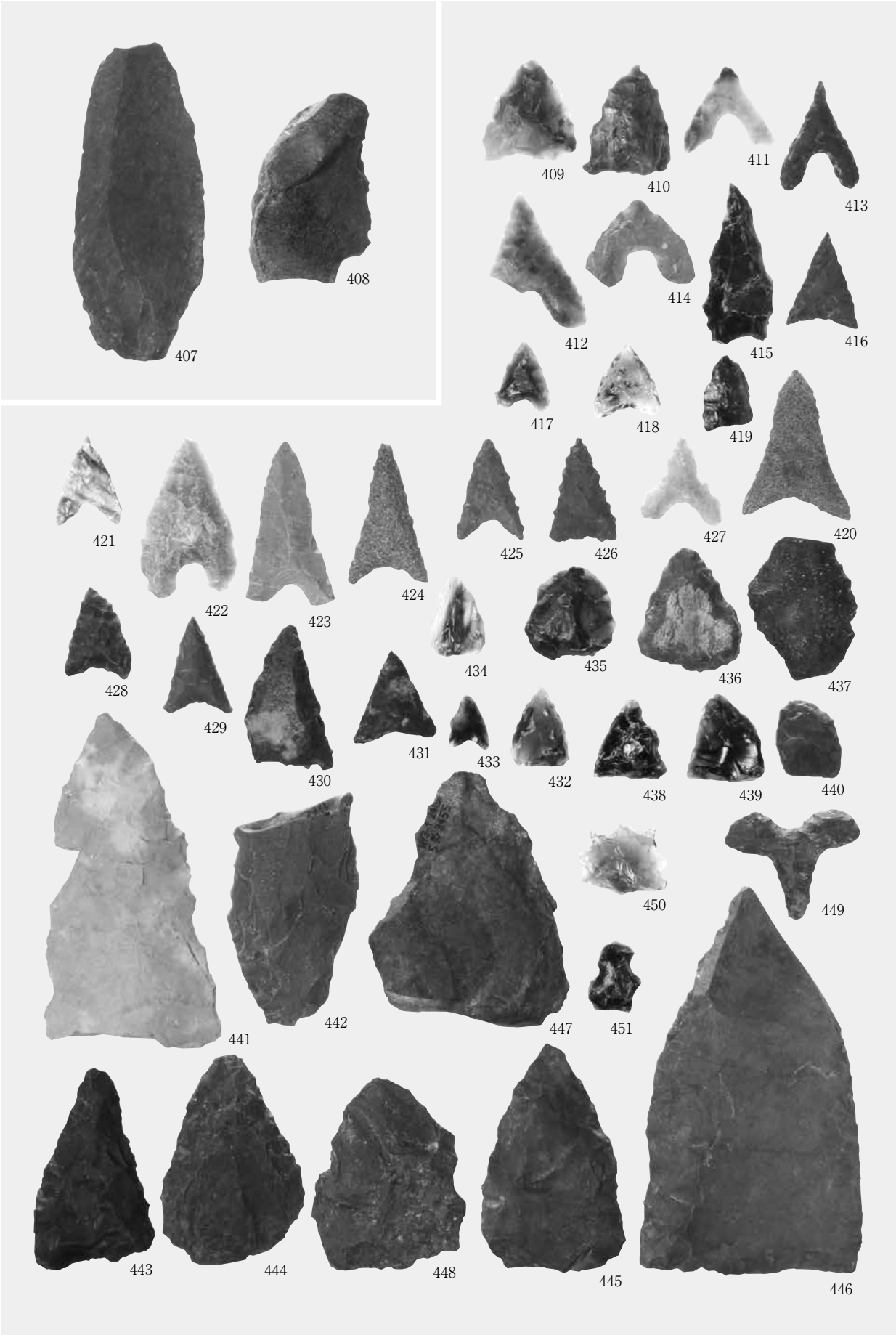
図版30


102
103
104
105
106
108
109
110
111
114
115
116
117
122
123
125
127
128
130
131
133
135
137
143
144
145
146
148
149
150
151
154
157
158
160

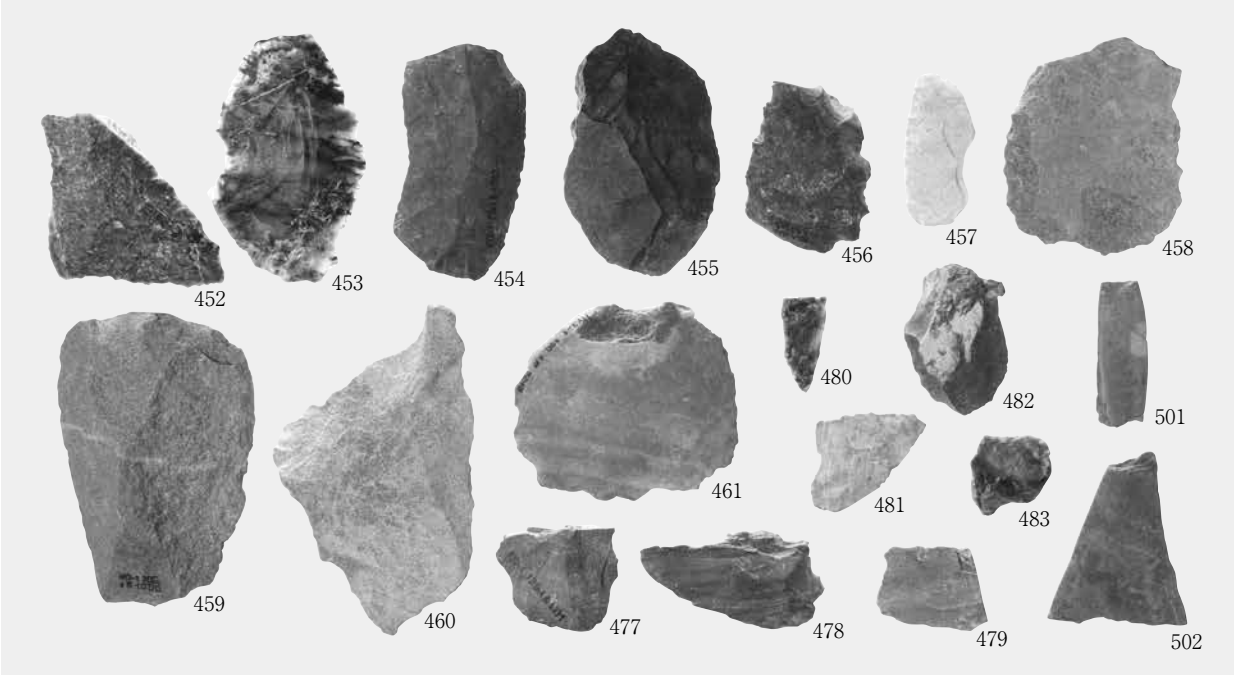

162
171
172
177
176
166
165
175
178
168
181
174
170
239
199
192
211
277
238
236
224
193
246
290
300

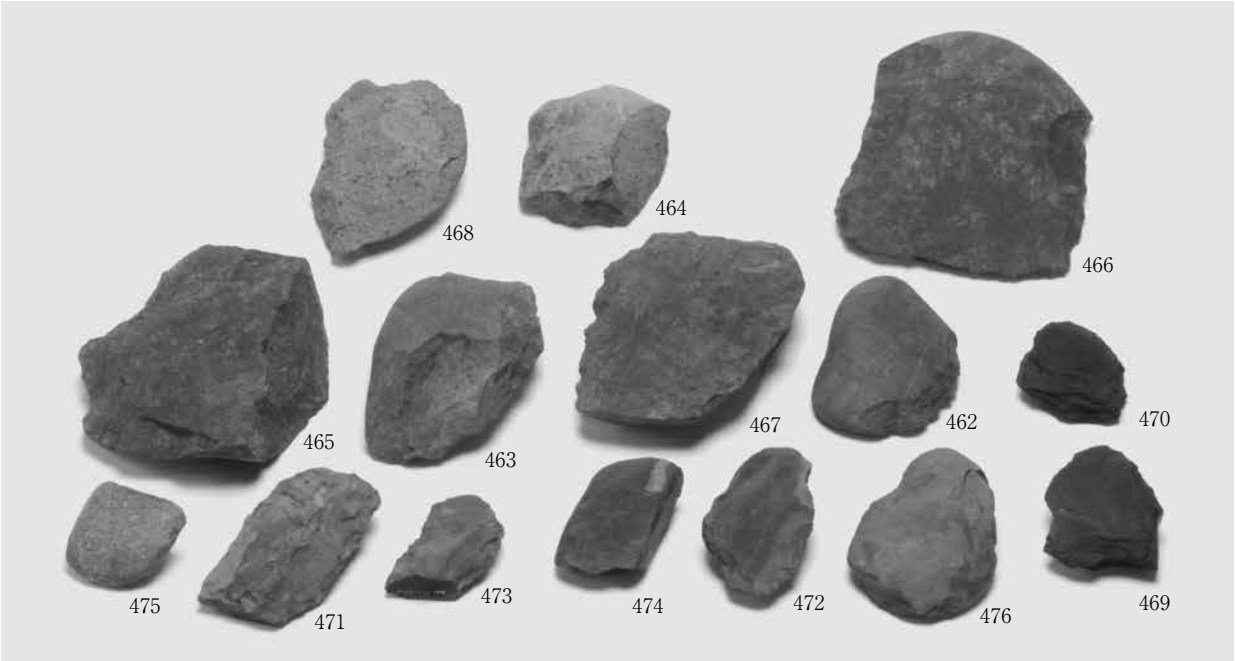
図版32

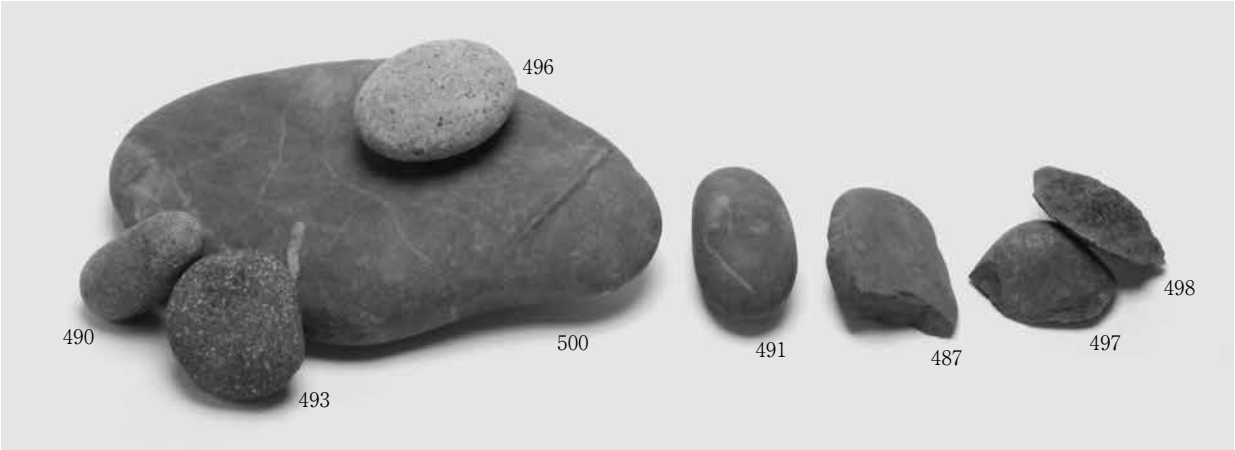

312
315
327
328
322
325
335
341
331
368
388
369
375
383
372
379
406
404

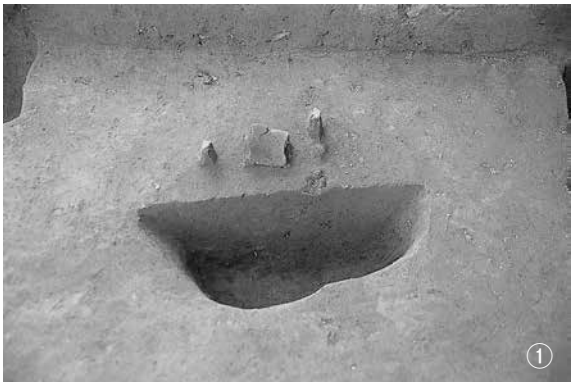

407
408
409
410
411
413
412
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451

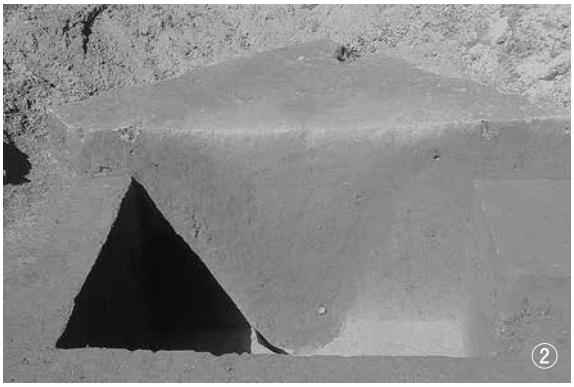
図版34


452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
477
478
479
480
481
482
483
501
502


468
464
466
465
463
467
462
470
475
471
473
474
472
476
469

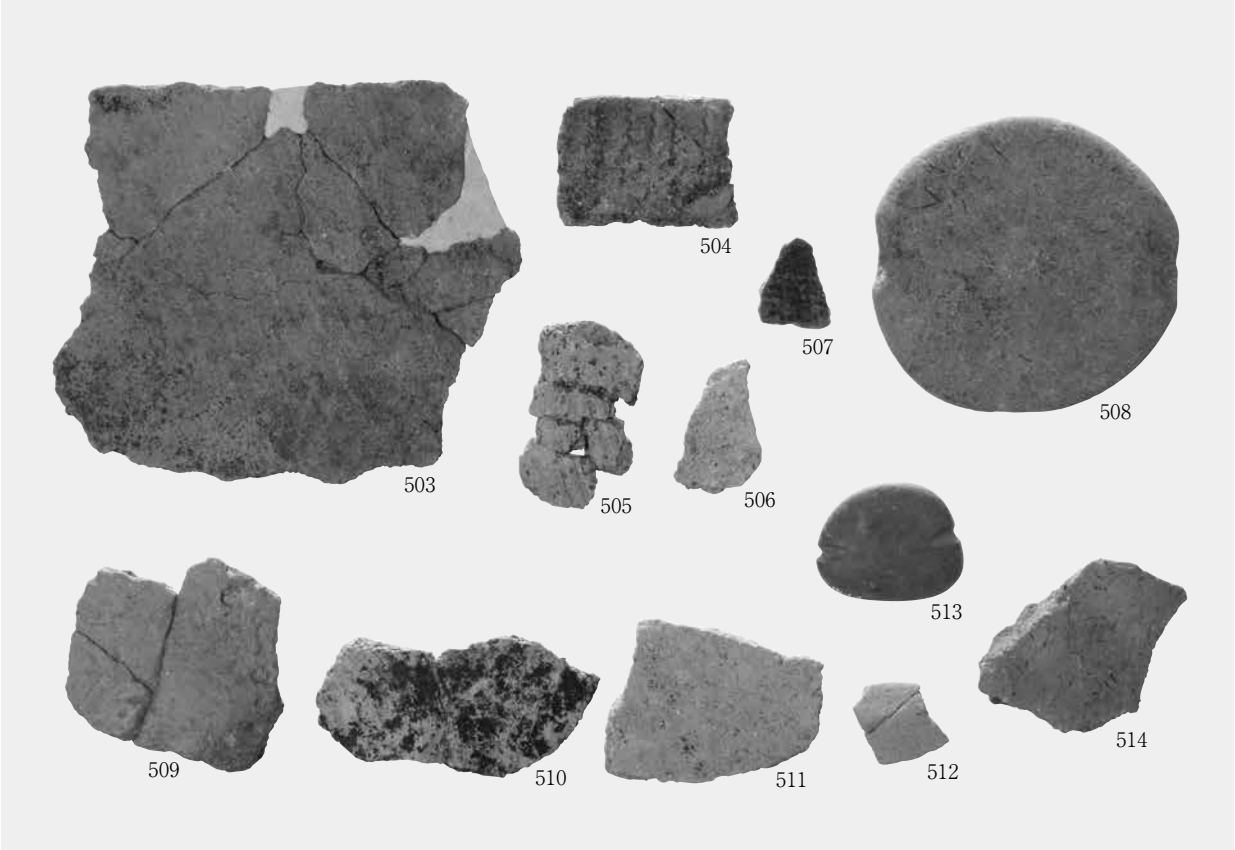

496
490
493
500
491
487
497
498



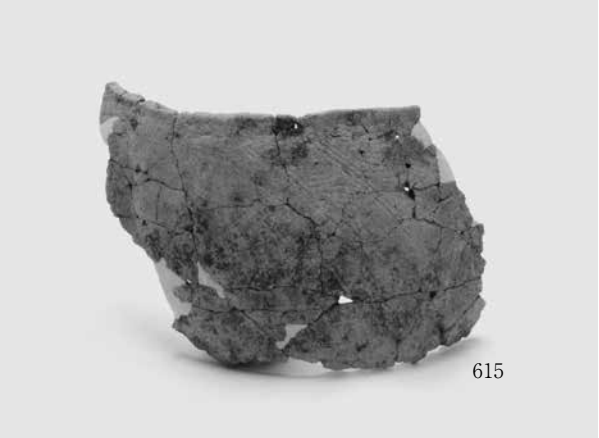


①SC8土層断面　②SC44土層断面　③26G縄文土器（№623）・磨製石斧（№638）出土状況
④SE1土層1　⑤SE1土層3　⑥SE1土層6　⑦SE1土層7　⑧SE1東側完掘

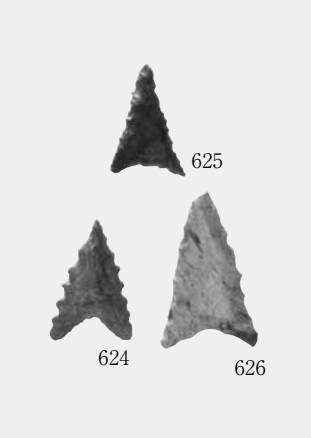
図版36


503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514

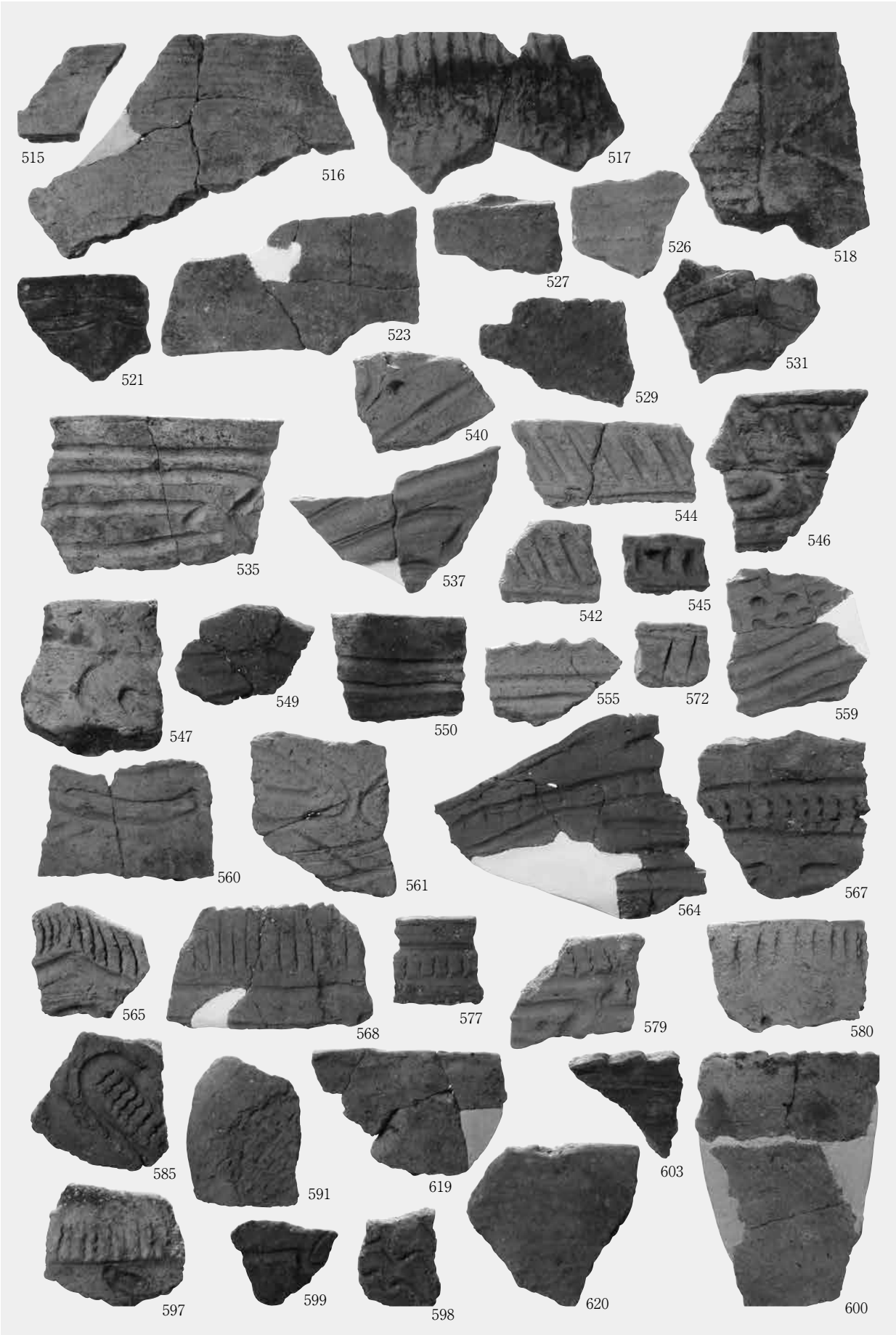
541


615

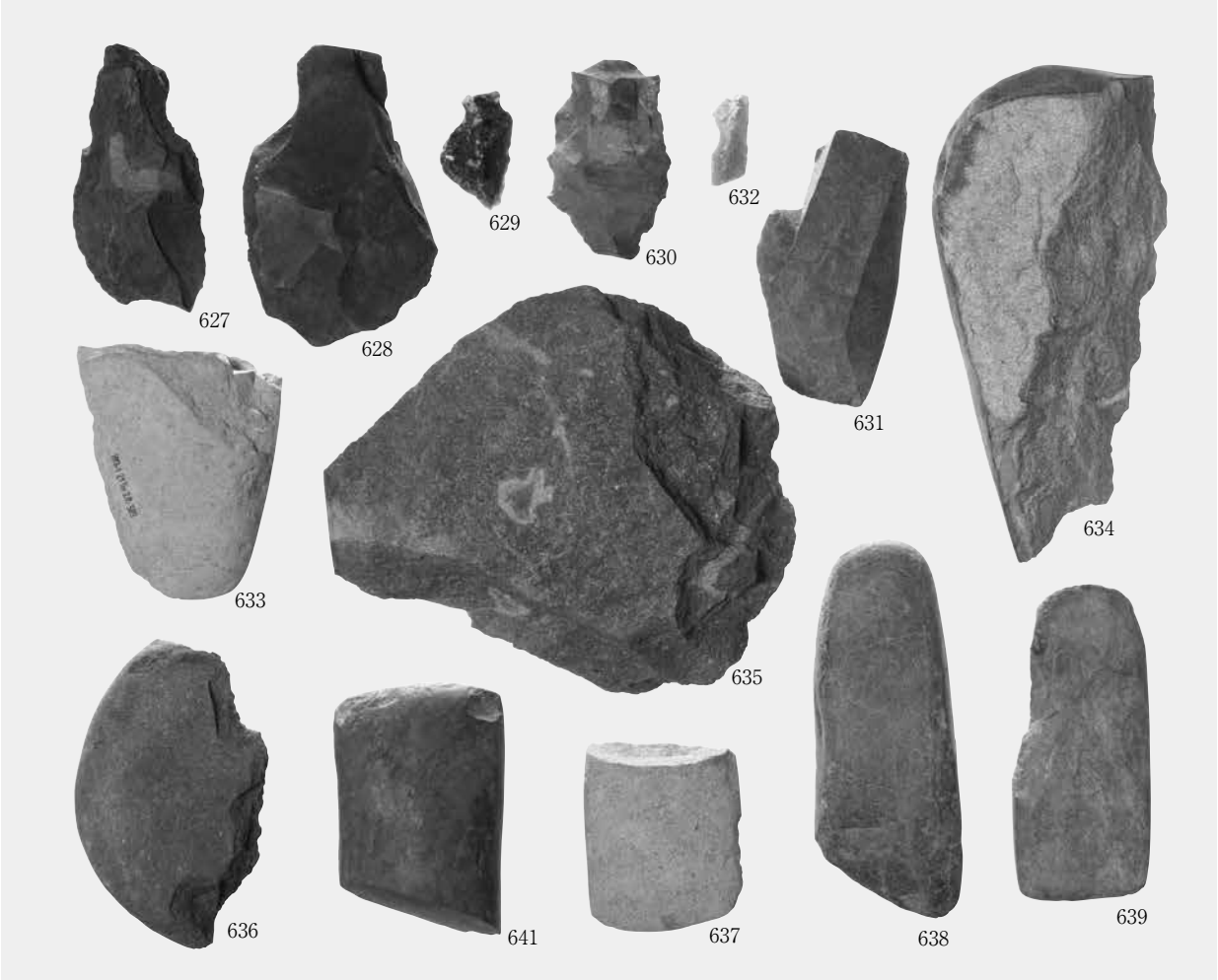
623

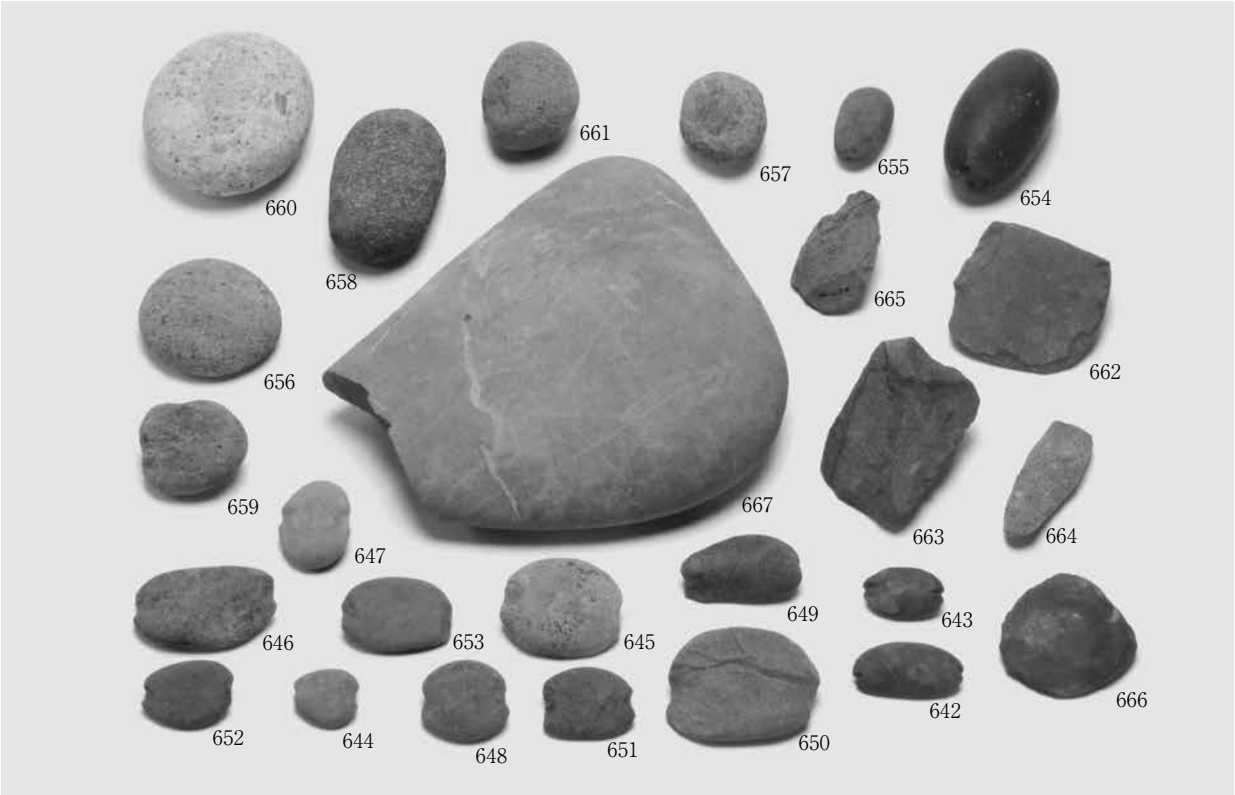

625
624
626

640


515
516
517
518
526
527
521
523
531
529
540
535
537
544
546
542
545
547
549
550
555
572
559
560
561
564
567
565
568
577
579
580
585
591
619
603
597
599
598
620
600

図版38


627
628
629
630
632
631
634
633
635
636
641
637
638
639


660
658
661
657
655
654
665
656
662
659
667
663
664
647
646
653
645
649
643
666
652
644
648
651
650
642

第Ⅳ章　橋山第3遺跡2地区の調査

第1節　調査概要

第1項　調査方法

基本的な調査方法は橋山第2遺跡2次調査、橋山第3遺跡1地区と共通するため、そちらの参照をお願いする。ここでは特徴的な部分を記載する。

2地区は表土剥ぎ後、調査区東側中央部では基本土層の2層が検出されず、基本土層4層以下が検出された。また調査区北側の12グリッドや、調査区東側の4・5グリッドでは調査区外に向かって激しく下降傾斜しており、5層及び6層以下が検出されている。そのため、基本土層の2層が良好に堆積する範囲に調査区域（T1～T9）を設定して部分的に2層の掘削を行った（第163図）。なおT2及びT8は掘削範囲が広いため、調査区域内をT2はA～L、T8はA、Bに細分して遺物を取り上げている。設定した調査区域のうち、遺物が確認されたのはT1、T2、T5、T6～T9である。その中で特に遺物が集中したT1をB調査区、T2をA調査区、T6～T9をC調査区として本章第2節第2項で報告している。

未調査箇所は重機を使用して、2～3層の掘削を行った。その後はグリッド毎に縄文時代早期の遺物包含層の4層～5層上面において遺構検出を実施した。その結果、51グリッド及び調査区東側の中央部では、遺構及び遺物は検出されず、散礫もほとんどなかったので、グリッド中央部にトレンチを設定し、部分的に縄文時代早期の遺物包含層の掘削を行った。そこでも遺構及び遺物、散礫が検出されなかったグリッドに関しては、そのトレンチの掘削をもって縄文時代早期の調査を終了している。縄文時代早期の調査を行わなかったのは22･30･51グリッドである。そのほかのグリッドについては遺構検出後、6層上面まで掘削している。

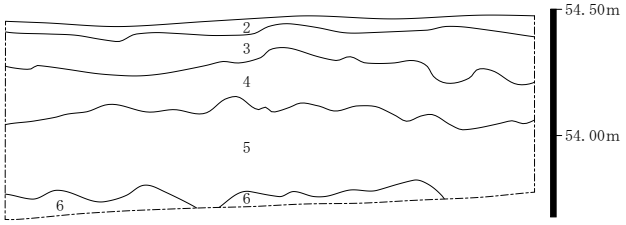
縄文時代早期の調査が終了したグリッドでは随時、旧石器時代の遺物包含層の確認トレンチを任意に設定した。その結果、4箇所で石器の集中箇所を検出し、石器の出土を確認した周囲を拡張して調査を行った。

第2項　基本層序について

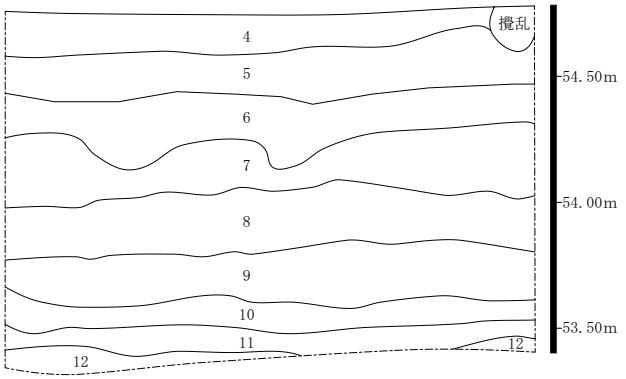
2地区の基本層序は1地区の堆積状況と基本的に同じであるが、一部で1地区とは異なる層を確認した。以下に詳細を記述する。

2地区では前述したように1地区と比べ、2～3層が削平を受けている箇所も多く、残存していても、樹根の影響により良好に堆積している箇所が少なった。特に調査区南西側の66グリッドはグリッド全体が樹根の影響を強く受けており、地層横転が随所にみられた。

また調査区南東側の26・27・34・35グリッドでは6～7層にかけて桜島薩摩火山灰（約12800年前）を局所的に検出している。検出箇所は周辺と比べて窪んだ地形であり、霧島小林軽石（約16700年前）と混在した状況で検出された。桜島薩摩火山灰を検出した6～7層の上位は桜島薩摩火山灰の降灰以後とは言えるが、鍵層としてはあまり信頼できない。なお27グリッド北壁から採取したテフラを用いて分析を行い、桜島薩摩火山灰と霧島小林軽石を同定している。



53G北壁



32G北壁

1：表土
（土層図は表土剥ぎ後に作成）
2：明褐色（Hue7.5YR5/8）砂質。
アカホヤ火山灰の二次堆積か。
（削平により部分的に残存）
3：橙色（Hue7.5YR6/6）砂質シルト。
アカホヤ火山灰。
（削平により部分的に残存）
4：黄褐色（Hue10YR5/6）砂質シルト。
牛のすね火山灰。
5：褐色（Hue7.5YR4/4）粘質シルト。
6：明褐色（Hue7.5YR5/6）粘質シルト。
霧島小林軽石を少量含む。
7：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）粘質シルト。
霧島小林軽石を多量に含む。
＊6～7層にかけて桜島薩摩火山灰を
局所的に確認。
8：明黄褐色（Hue10YR6/6）砂質粘土。
黒褐色（Hue10YR3/2）シルトを含む。
9：褐色（Hue10YR4/6）粘土。
褐灰色（Hue10YR4/1）シルトを含む。
10：黄褐色（Hue10YR5/6）粘土。
11：明黄褐色（Hue2.5Y6/8）粘土。
シラスの二次堆積か。
12：黄色（Hue2.5Y7/8）硬質砂質。
シラス。

第112図　橋山第3遺跡2地区基本土層図（S=1/30）

本調査区域からは縄文時代前期～中期を中心とする2層と、縄文時代早期を中心とする4～5層において遺物を確認している。また前述した桜島薩摩火山灰が確認された6～7層からは縄文時代早期前葉の前平式土器が集中して出土している。桜島薩摩火山灰が確認された箇所を除くと6層から11層にかけて旧石器時代の遺物を確認している。

第2節　旧石器時代の調査

第1項　出土層位と遺物分布について

基本土層6層～11層にかけて旧石器時代の遺物が出土した。旧石器時代の調査については第2遺跡と同様に縄文早期の遺物包含層である4層から5層の掘削が終了した後に任意で設定したトレンチを掘削し、遺物の出土状況を見ながらそのトレンチを拡幅することによって行った。

その結果、調査区の東側で4箇所の遺物の集中域が確認されている。北東端の集中域をＡブロック、南東端の集中域をＢブロック、南西端をＣブロック、調査区中央付近をＤブロックとして報告を行う。

第2項　Aブロックの調査成果（第115図～第120図）

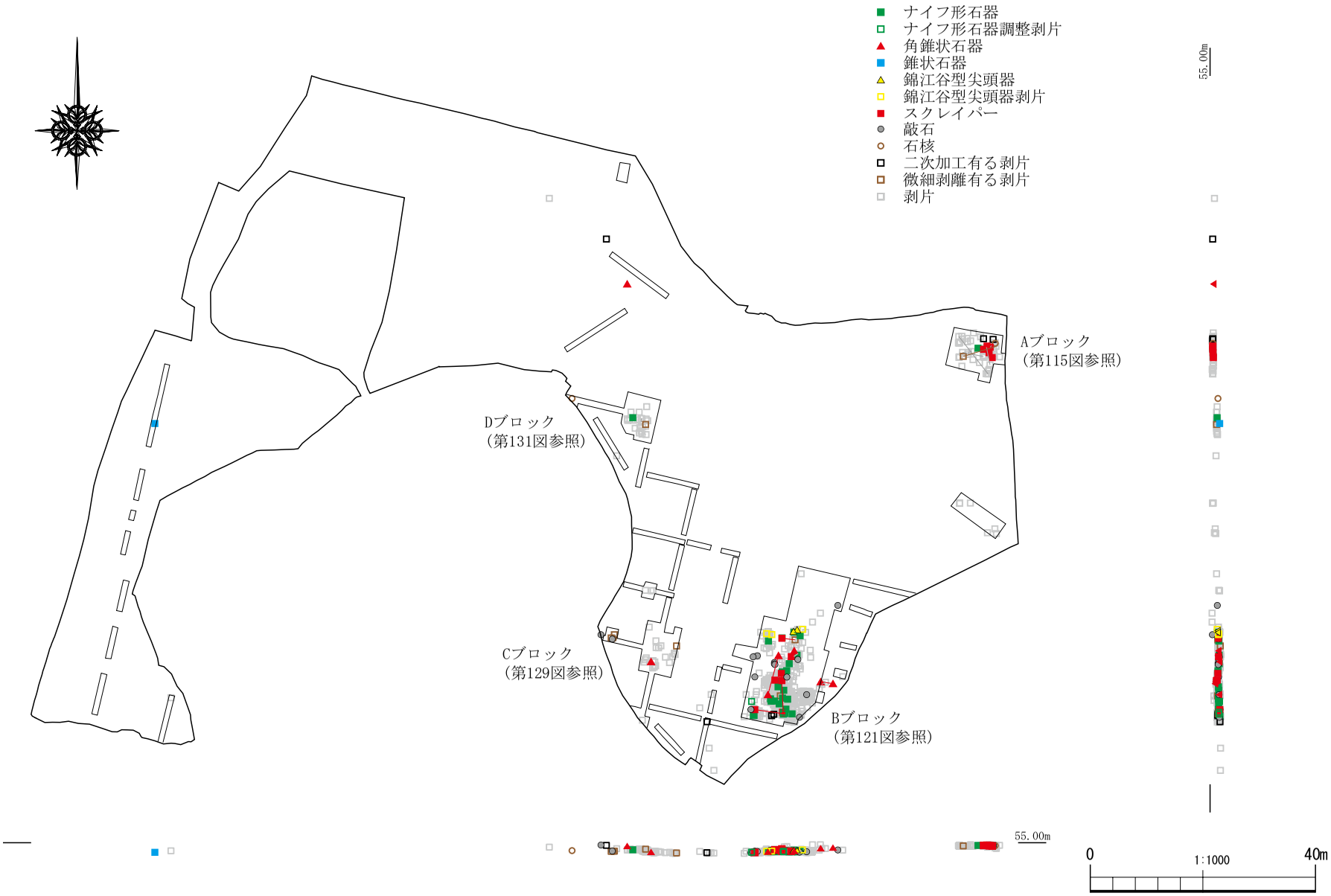
縄文早期の遺物包含層である基本土層5層の掘削が終了し、遺構検出を行った際に頁岩製の縦長剥片が数点出土したことからトレンチの設定を行うこととなった。その結果、概ね6層中より遺物が出土しており、その範囲は約8m×約7mに及んだ。本地点ではあまり7層が明瞭でなく、調査の日程の都合上、遺物が出土しなくなった時点でやめざるを得ず、遺物がどの基本土層の上から出土している状況かを確認することができなかった。部分的にでも掘削を行い、層序の確認をしておくべきであった。本ブロックにおいて礫はあまり出土しておらず、出土した石器は縦長剥片又はそれを素材とするスクレイパー類（1～4・7・13）が目立つ状況であった。なお、本ブロックからは9組の接合資料が確認されている。

1は頁岩製の縦長剥片を素材とする掻器の再加工の様子を示す接合資料である。旧掻器は縦長剥片の下端部に刃部加工を施すもので、節理面の剥落でその一部を欠損している。これは使用による欠損かどうか判別できない。本資料の接合箇所は旧掻器の刃部と新掻器の折れ面であり、これは使用によって発生した折れ面であろう。旧掻器の刃部が折れた後、さらにその縁辺に刃部加工を施して新掻器に作り直そうとしたようだが、肝心の下端部において加工を施すことを辞め、廃棄に至ったものと考えられる。2は頁岩製の縦長剥片を素材とする削器である背面右側縁に刃部加工を施している。なお、下端部には光沢がみられる。3は縦長剥片を生産した頁岩製の石核に刃部加工を施したと考えられる削器である。下部は欠損している可能性があり、剥離面をみると同一方向から縦長剥片を生産している様子がうかがえる。4は頁岩製の自然面を多く残す不整形な自然面を大きく残す剥片を素材とする削器である。5は頁岩製の縦長剥片の下端部に二次加工を施すもので、掻器の可能性もある。9は頁岩製の自然面を大きく残す幅広の縦長剥片に二次加工を施すものである。10は頁岩製の縦長剥片である。11は砂岩製の敲石で、大きく欠損しているが、平坦面に使用痕がみられる。

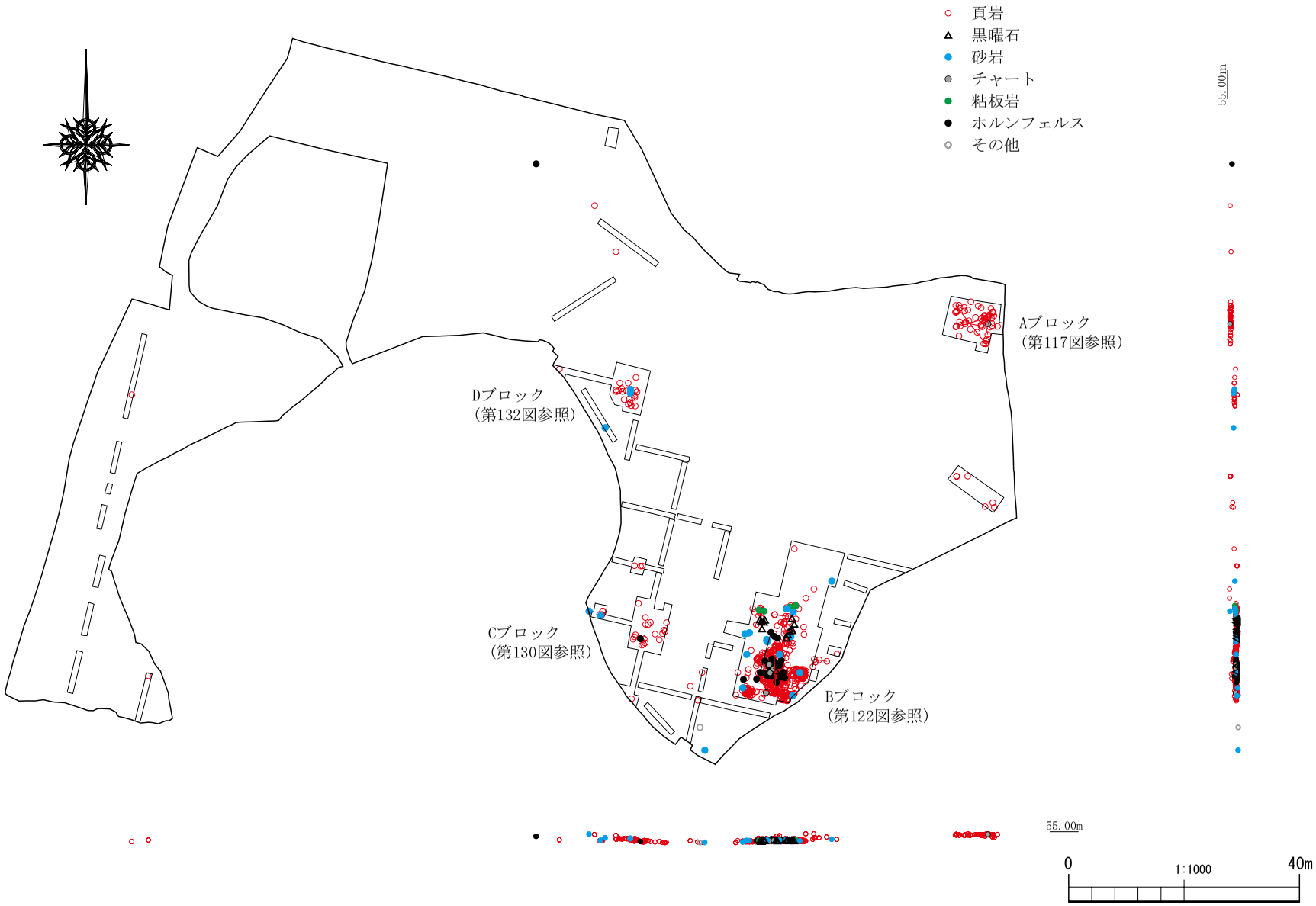
接合資料①は頁岩製でナイフ形石器（6）と掻器（7）と幅広の縦長剥片（8）の接合状態で、現状確認できる剥離順は6→7→8である。6は縦長剥片を素材としてその打面部に小規模な刃潰し加工を施している。7は縦長剥片を素材とする掻器で接合する縦長剥片8の剥離面をみると長さ7㎝程度の素材剥片であったことがわかる。1の資料を参考にすると再加工を繰り返して短くなったのかもしれない。接合資料②は頁岩製の削器（13）と縦長剥片（12）の接合状態で、現状の剥離順は13→12だが、両者の打面は別方向に設定されている。12は自然面を有する。13は背面右側縁に刃部加工がみられ、下部に刃部加工の施されている破片が接合している。接合部分は折れ面であり、使用のために欠損した可能性がある。1と同じように欠損後、その折れ面の上部に再加工を施したようであるが、その加工は小規模である。

第3項　Bブロックの調査成果（第121図～第128図）

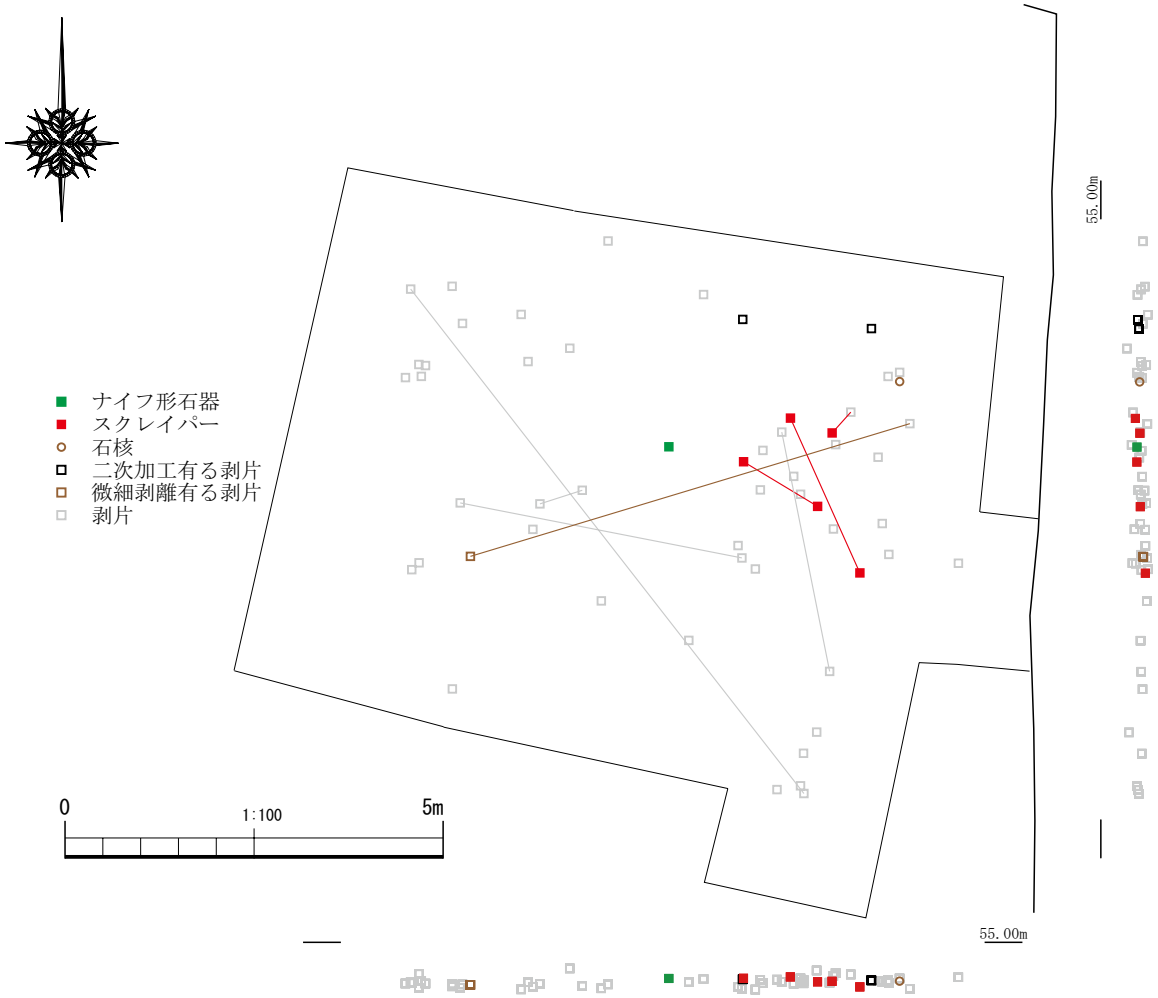
基本土層8層～11層にかけて遺物が出土しているが、最も遺物が多く出土したのは10層である。設定したトレンチの南側で特に遺物が集中しており、トレンチ外へとさらに分布が広がる可能性が考えられる。遺物が特に集中する範囲は広く約18m×約10mに及ぶ。その中でもいくつかの集中域が存在する印象を受ける。非在地系石材の分布状況をみると北側に黒曜石が、南



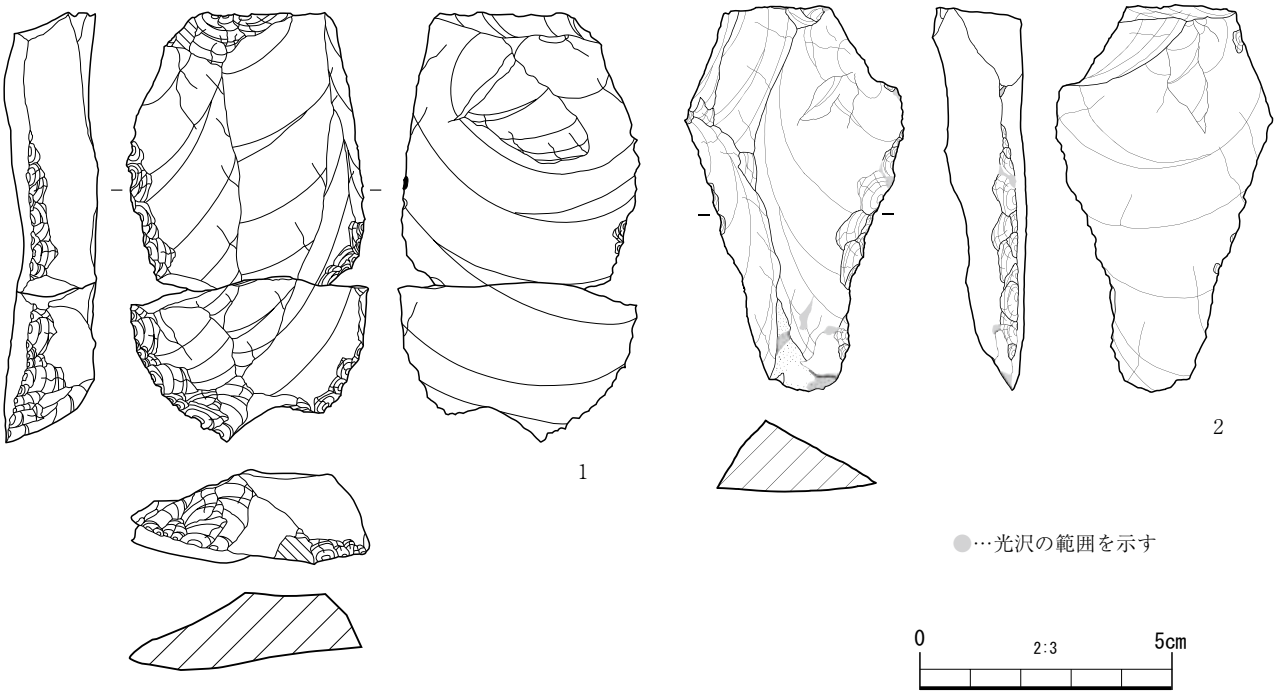
第113図　橋山第3遺跡2地区旧石器時代遺物包含層（5～9層）出土石器分布図①【器種別】（S=1/1000）



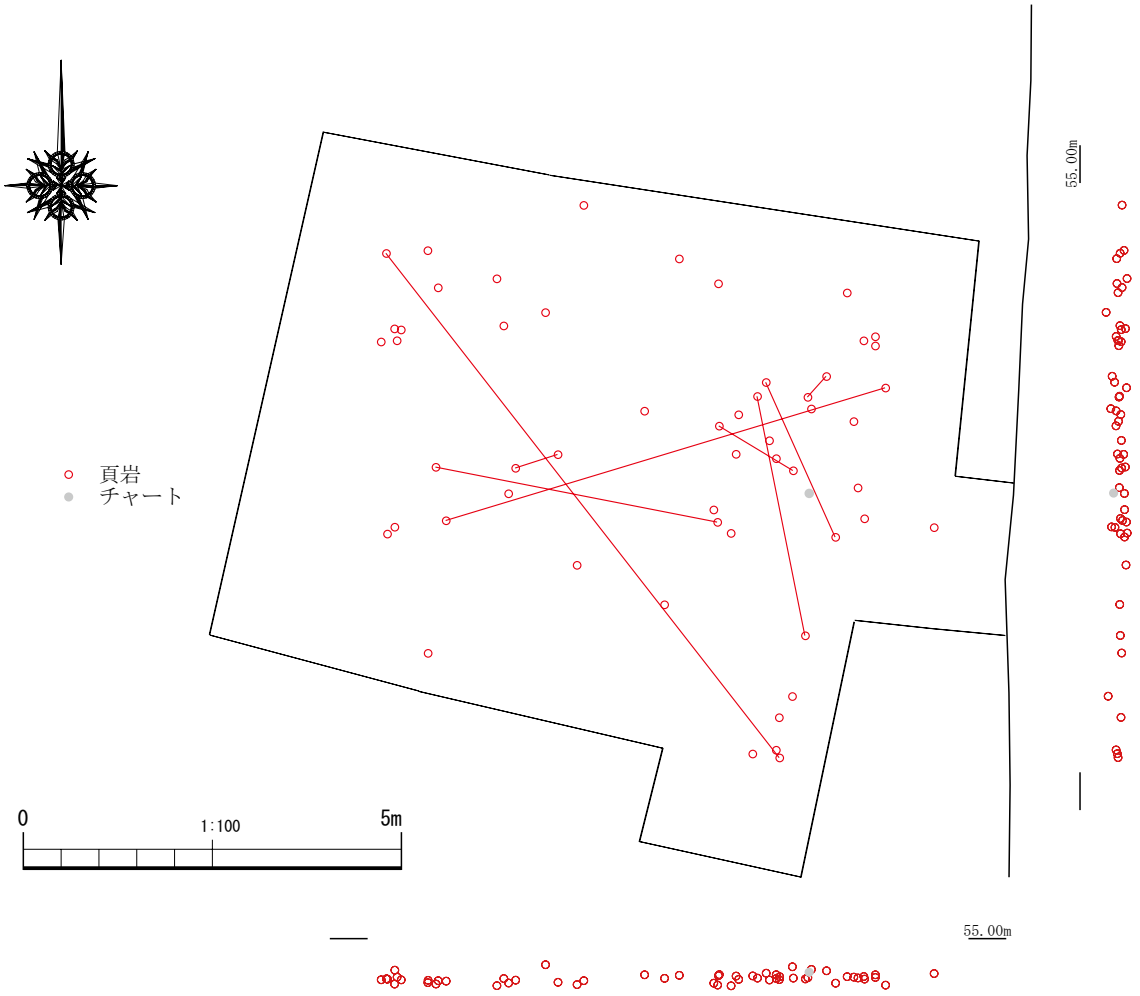
第114図　橋山第3遺跡2地区旧石器時代遺物包含層（5～9層）出土石器分布図②【石材別】（S=1/1000）



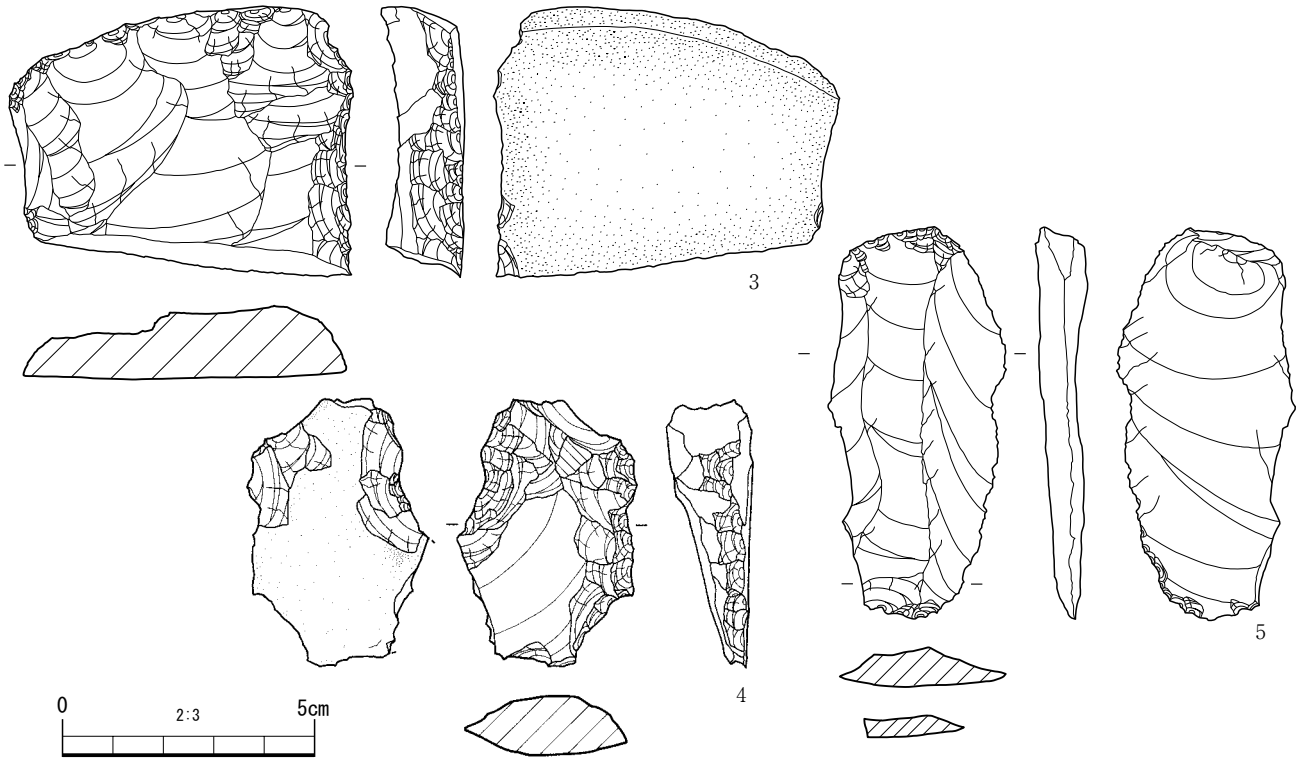
第115図　旧石器時代Aブロック出土石器分布図①　【器種別】（S=1/100）



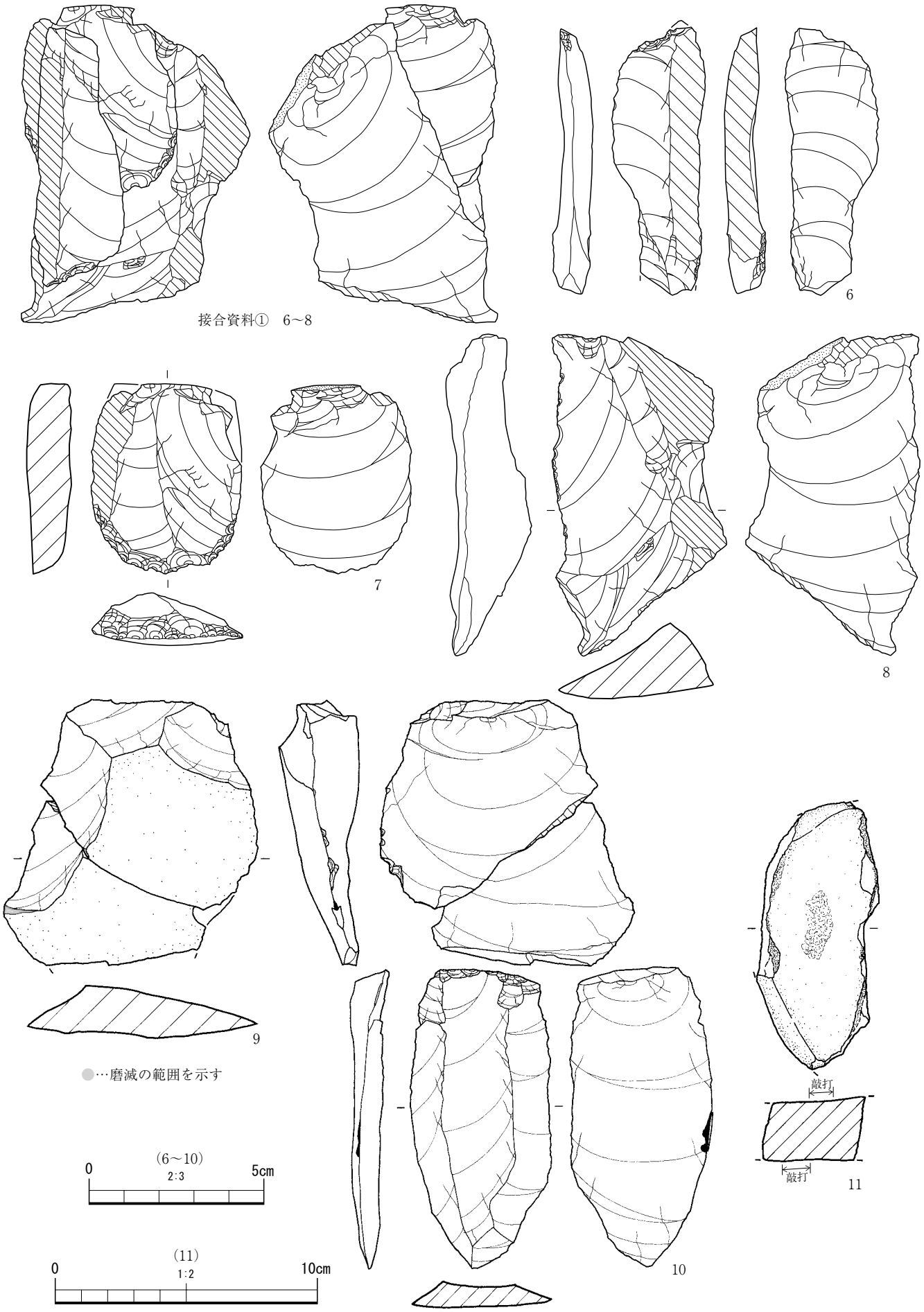
第116図　Aブロック出土石器実測図①（S=2/3）



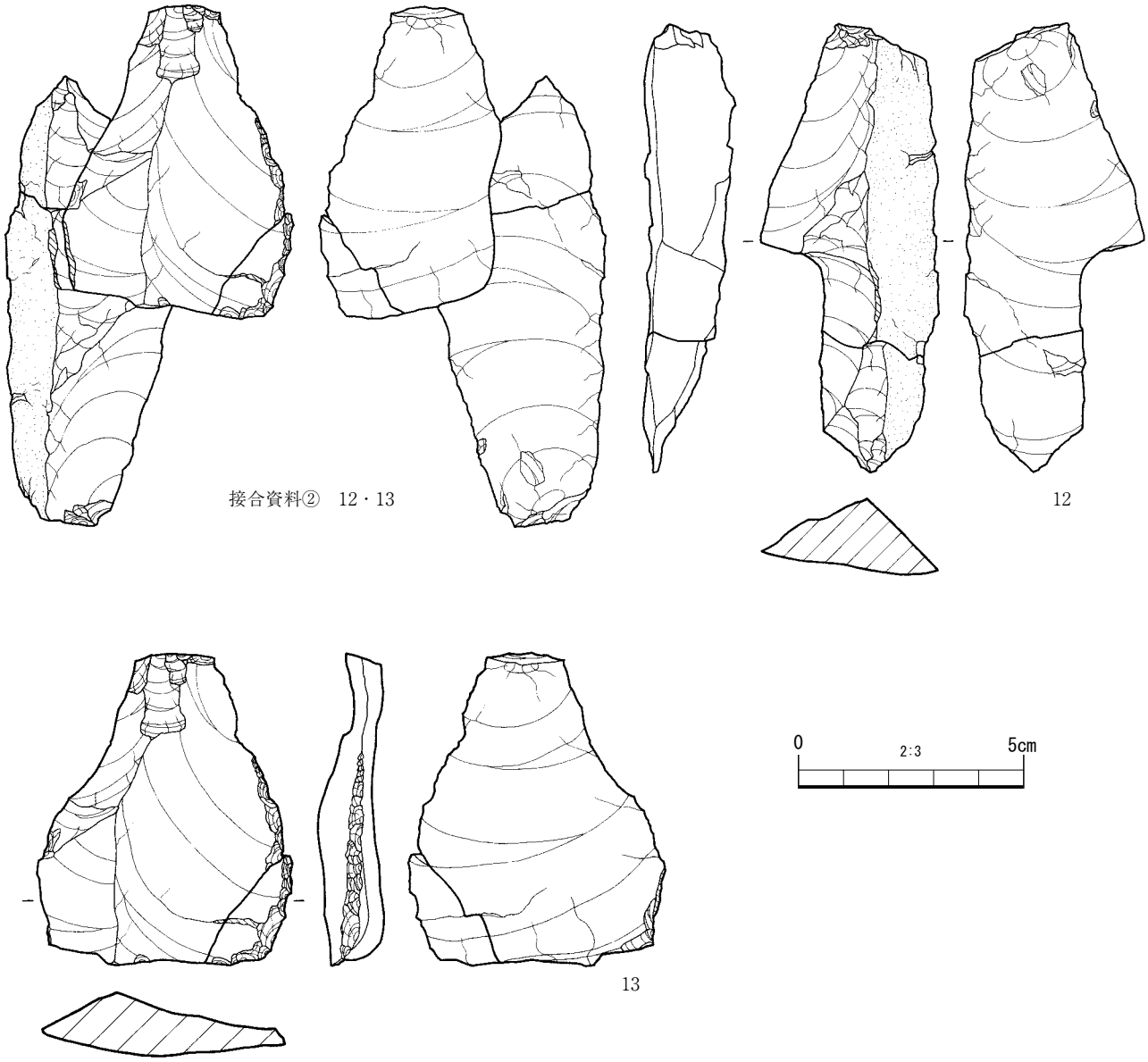
第117図　旧石器時代Aブロック出土石器分布図②　【石材別】（S=1/100）



第118図　Aブロック出土石器実測図②（S=2/3）



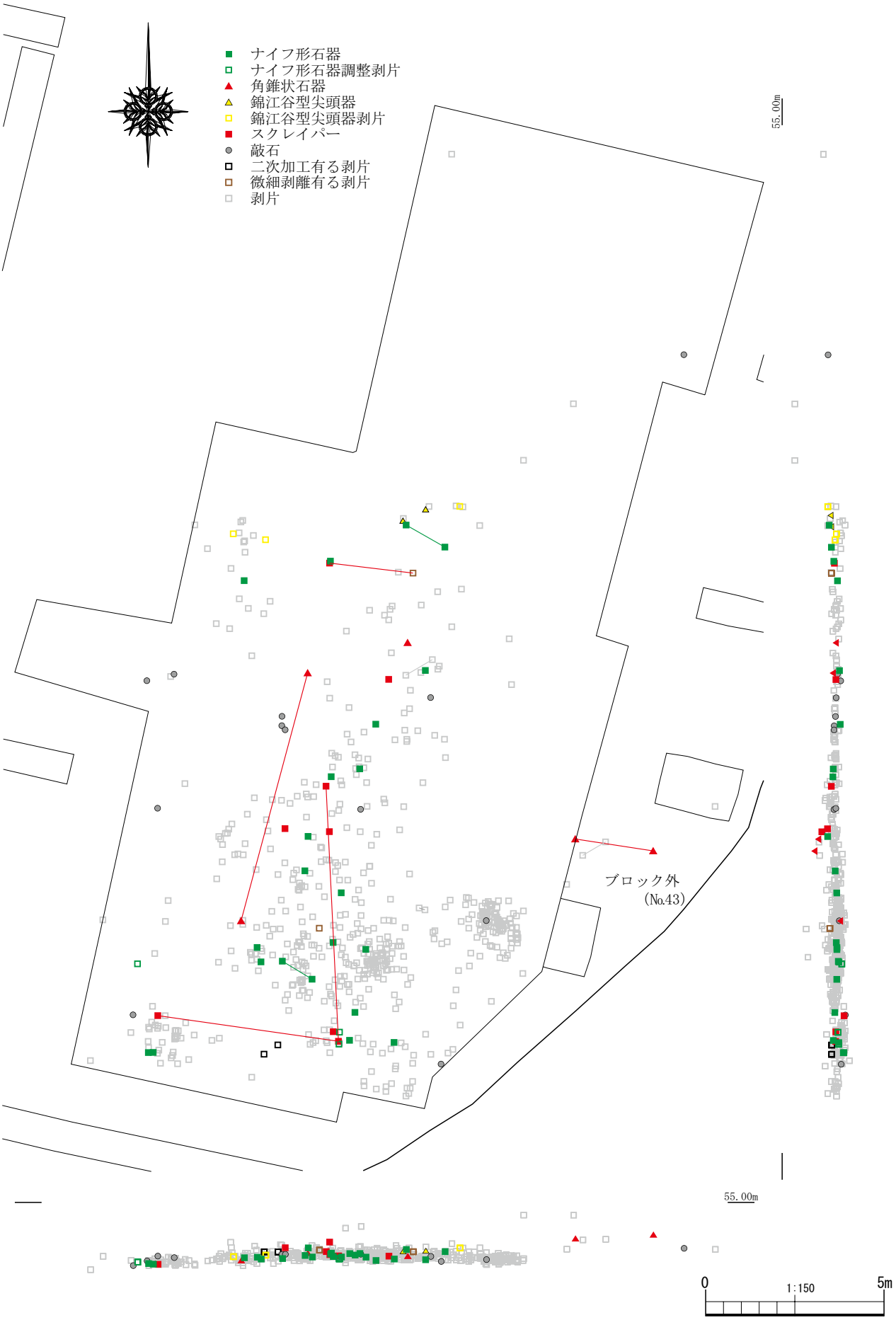
第119図　Aブロック出土石器実測図③（S=2/3・1/2）



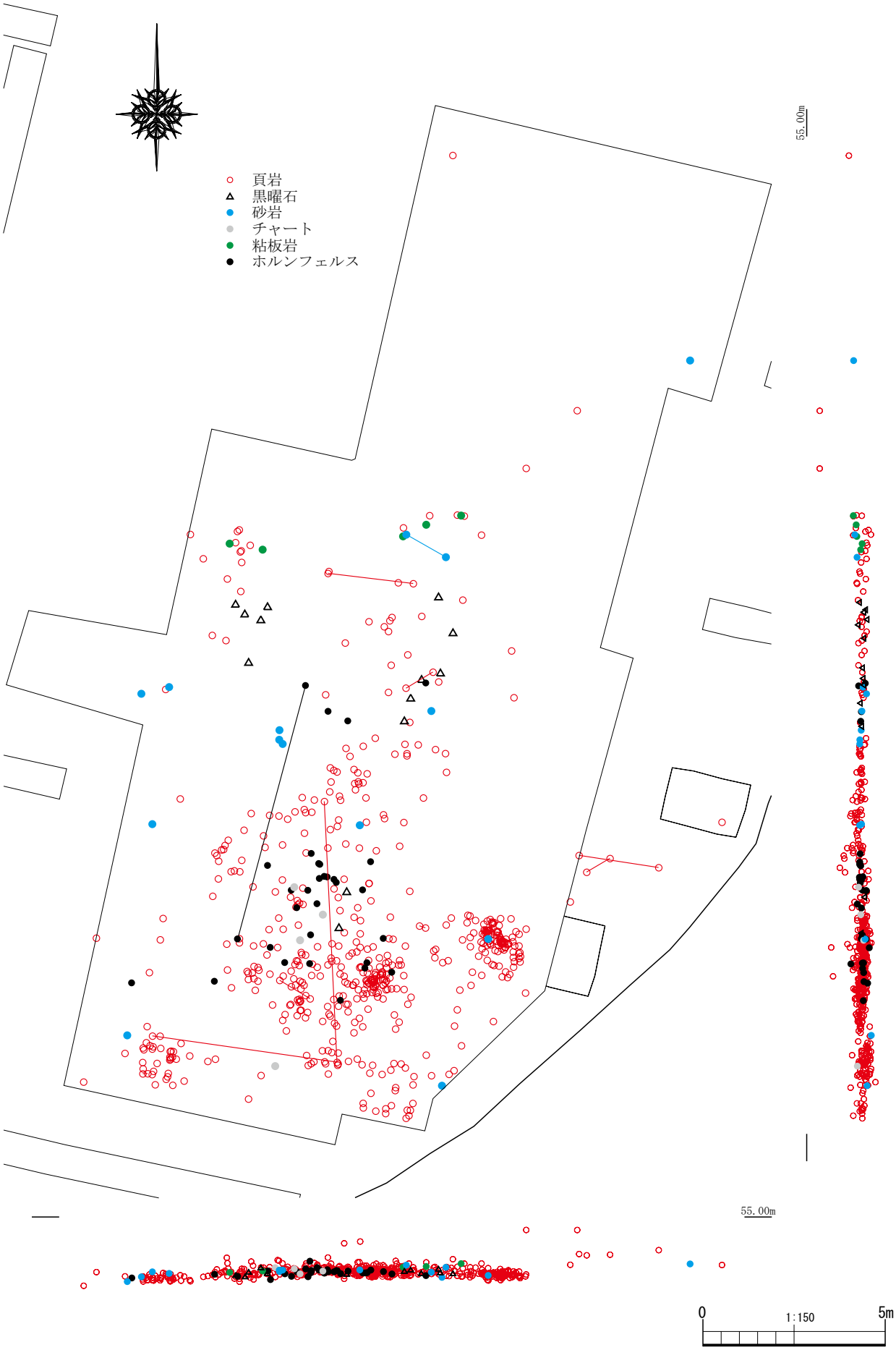
第120図　Aブロック出土石器実測図④（S=2/3）

側にホルンフェルスの分布がまとまる様子がうかがえることから、本ブロックは複数回に及ぶ集団の往来の結果形成された可能性がある。ナイフ形石器（14～20・29・30）、角錐状石器（21・32）、錦江谷型尖頭器（22・23）、スクレイパー類（24・35・36）、2次加工有る剥片（37）、敲石（26・27）などが出土している。接合資料も6組確認されたが、本ブロックにおける接合作業については十分な時間をとることができなかった。ここからは多くの調整剥片が確認されており、敲石も複数出土しているため、本来はもっと多くの接合資料が存在する可能性は高く、今回は悔やまれる報告となってしまった。礫も出土していたが、一か所にまとまるような状況ではなかった。

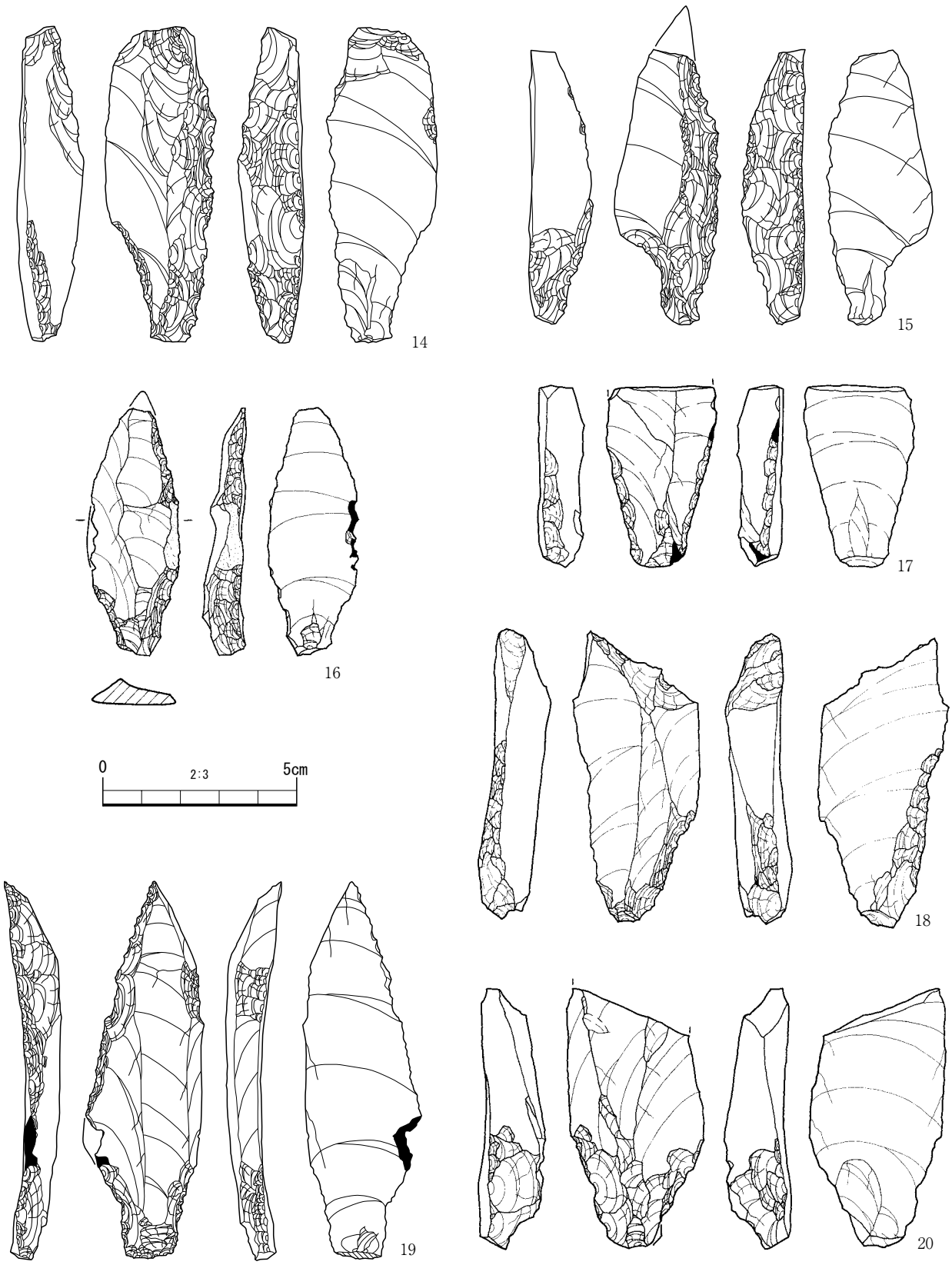
本ブロックから出土したナイフ形石器は縦長剥片を素材とするものばかりで、素材剥片の打面部を基部に設定している。二側縁加工のもの（14・15）、基部加工・部分加工のもの（16～18）に分類される。本調査区から出土したものは先端部を欠損したものが多く、使用痕の可能



第121図　旧石器時代Bブロック出土石器分布図①　【器種別】（S=1/150）

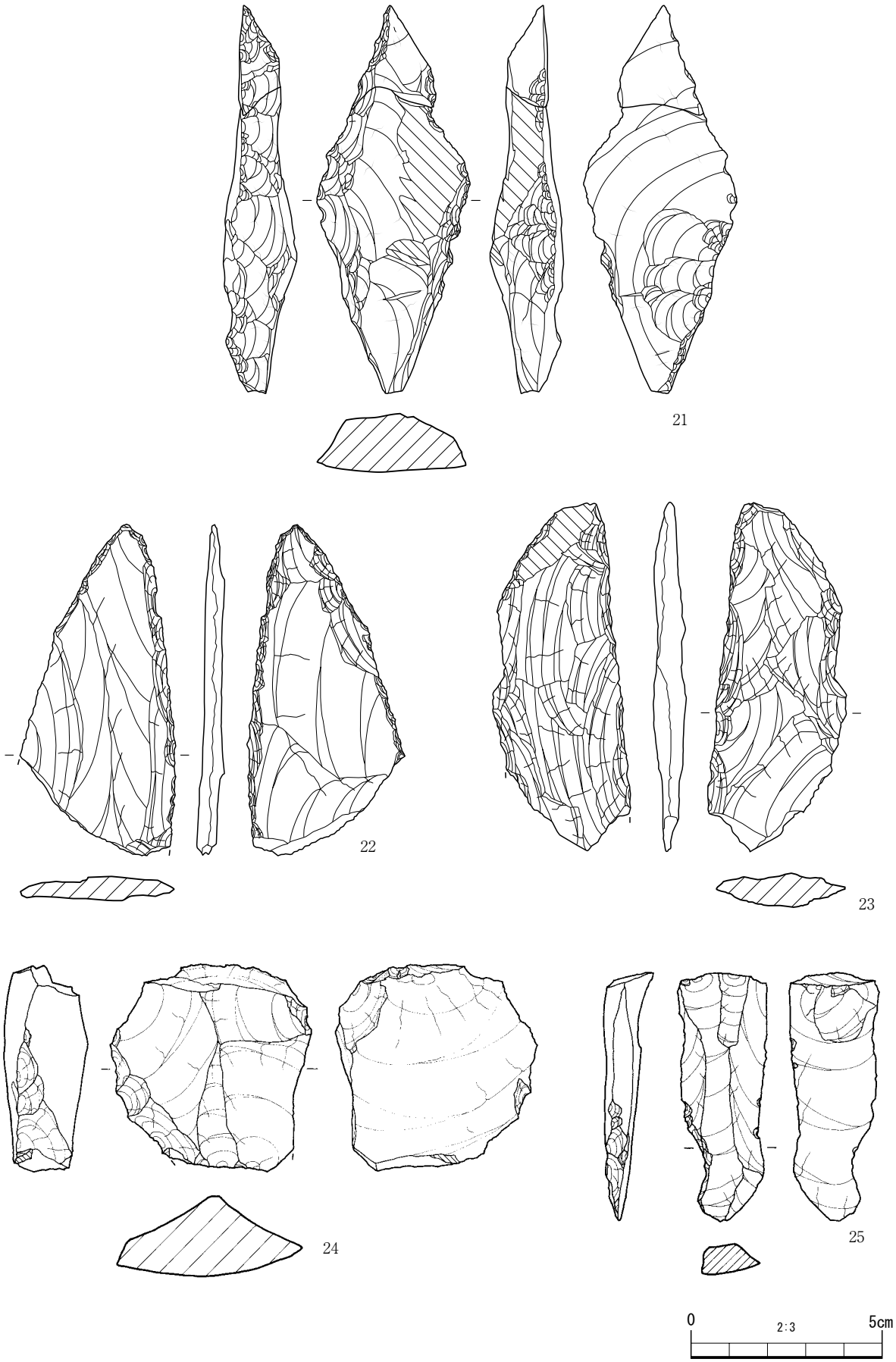


第122図　旧石器時代Bブロック出土石器分布図②　【石材別】(S=1/150)

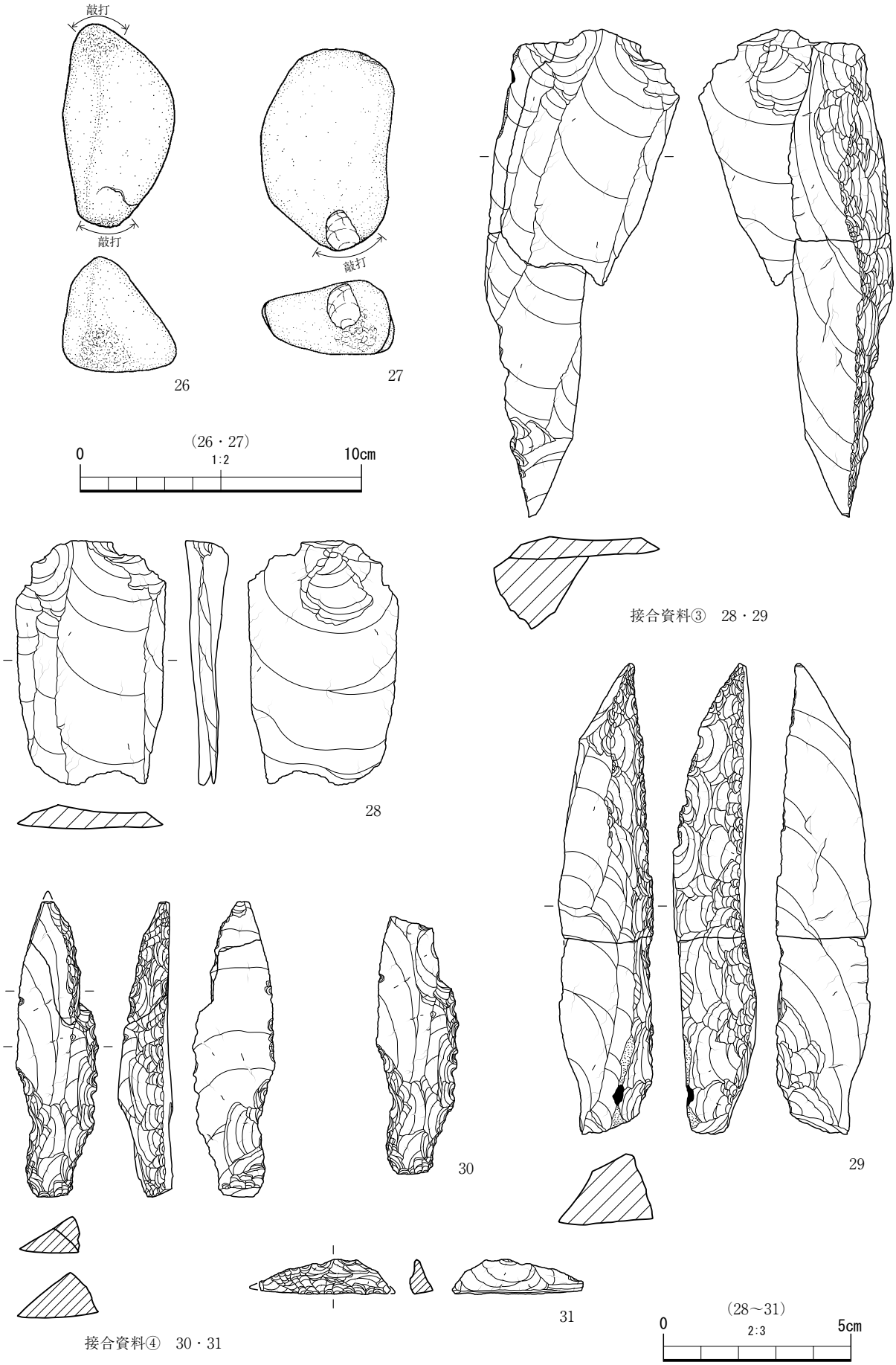


第123図　Bブロック出土石器実測図①（S=2/3）

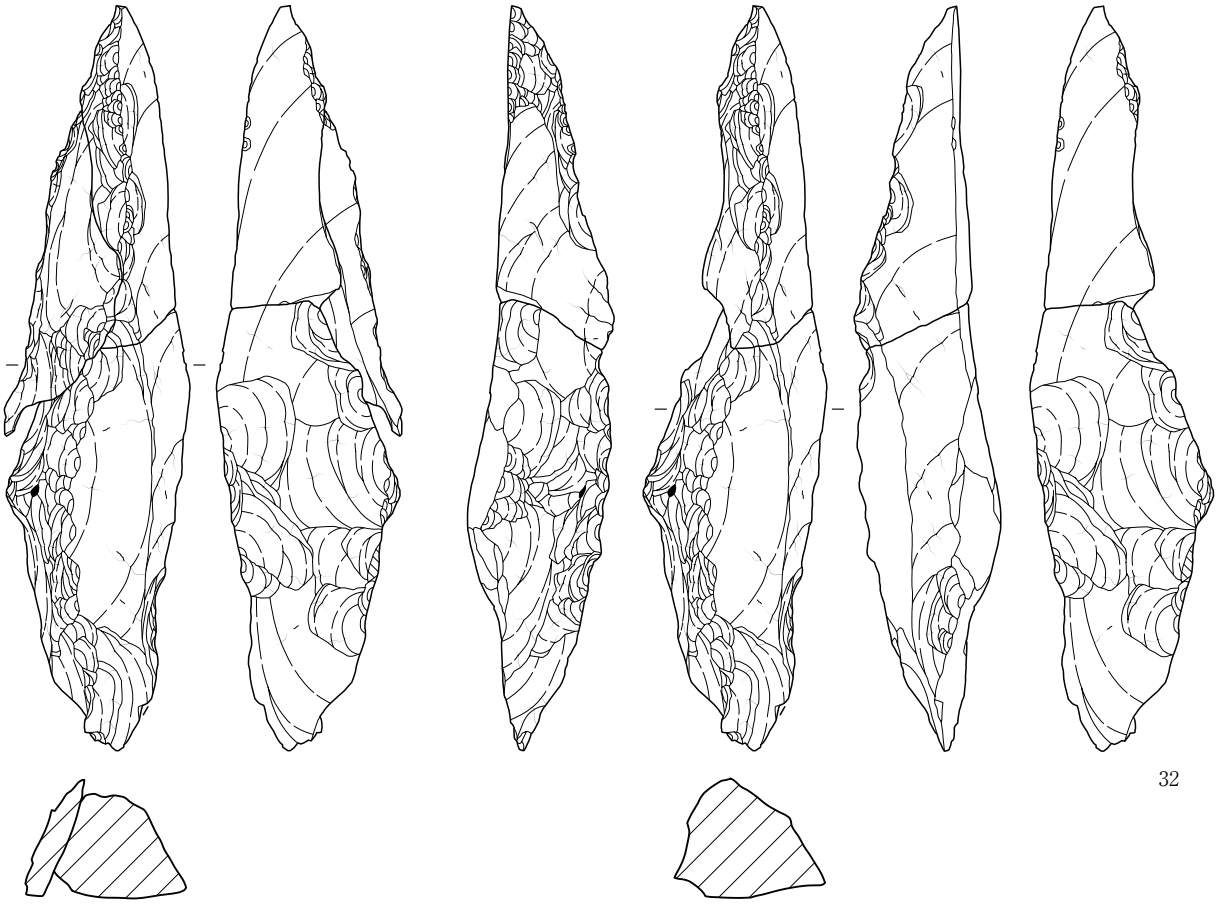
性がある。14は先端部欠損後に再加工を加えた痕跡がみられる。18はホルンフェルス製の基部加工・部分加工を施すものであるが、尖端部には樋状剥離が確認されており、彫刻刀型石器へと転用している資料である。19・20はほかのナイフ形石器よりも大振りで素材の打面部を残し

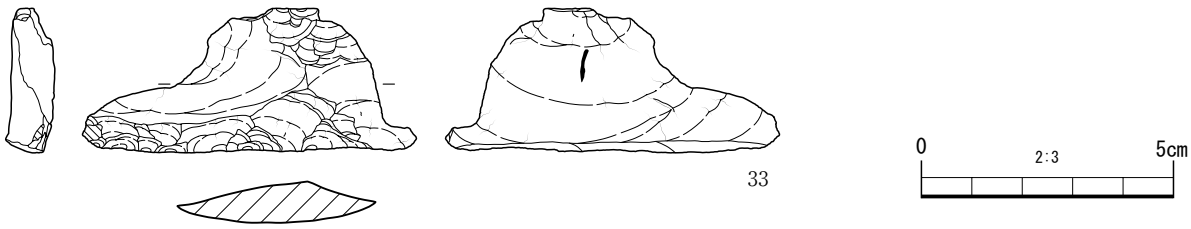


第124図　Bブロック出土石器実測図②（S=2/3）



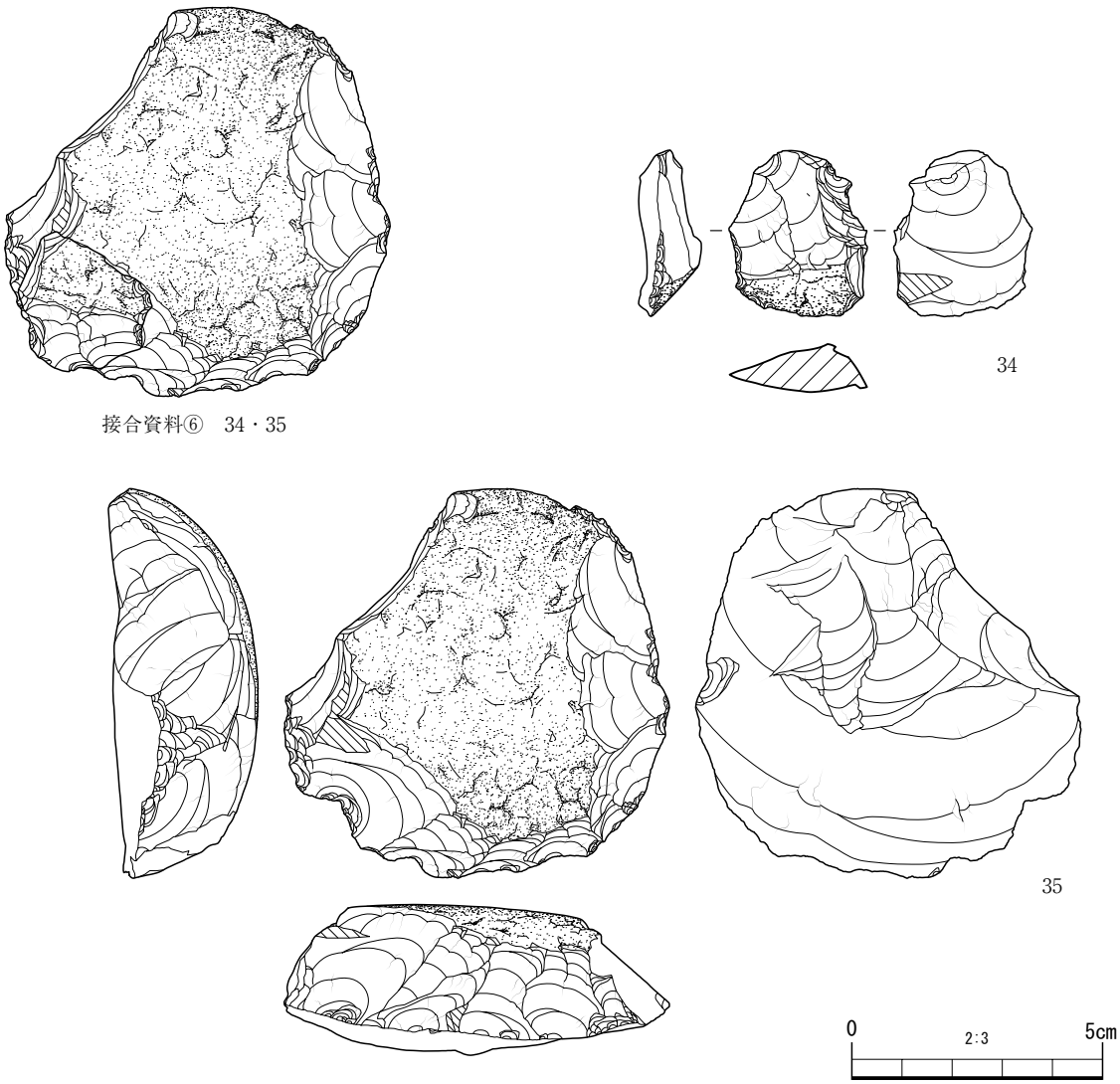
第125図　Bブロック出土石器実測図③（S=1/2・2/3）





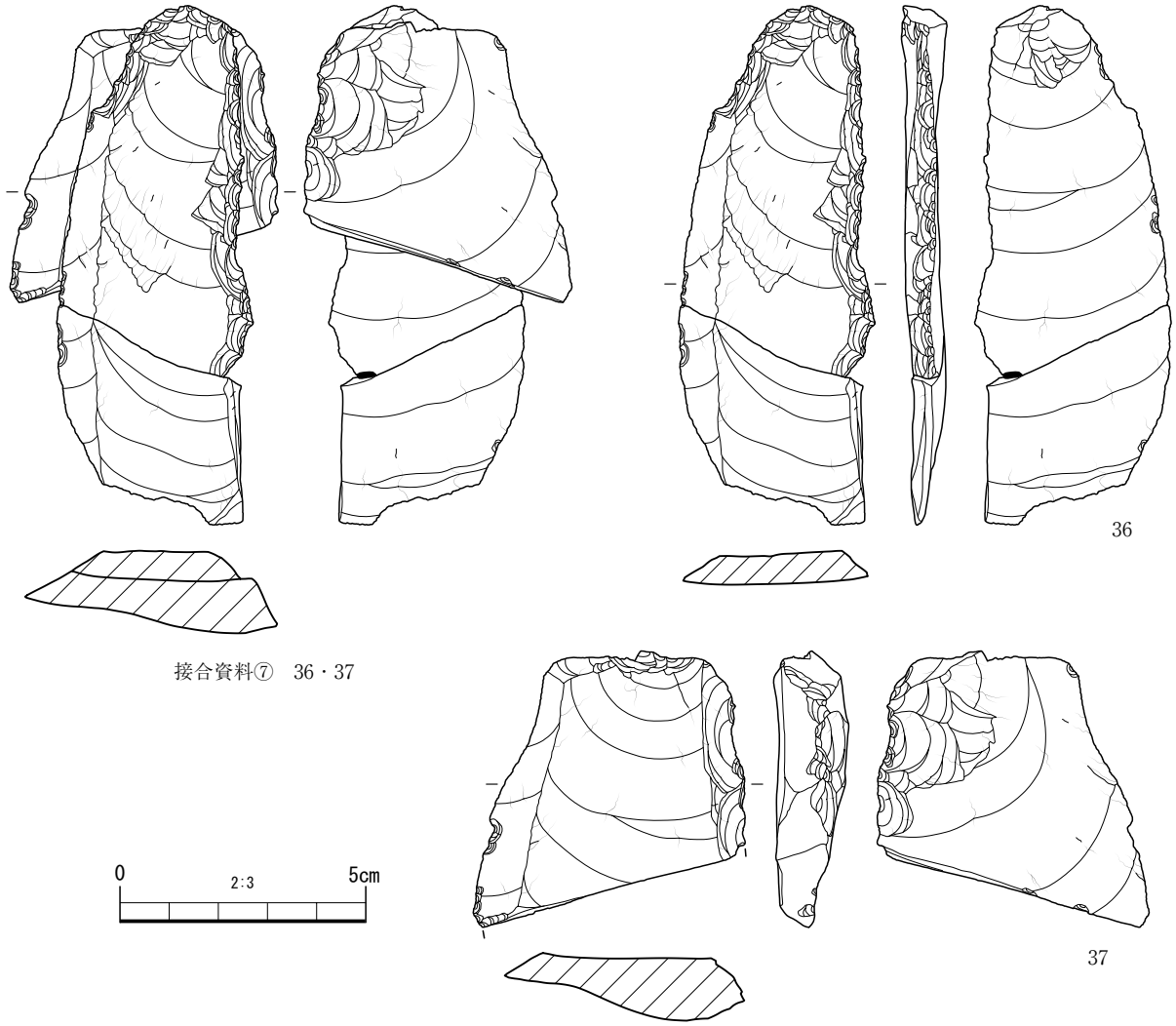
第126図　Bブロック出土石器実測図④（S=2/3）

ており、剥片尖頭器にも分類される。21は頁岩製の角錐状石器で斜め剥ぎの剥片を素材とするが、調整が施されていない部分もあるので未製品と考えられる。腹面の打面部の厚みを除去する加工が施されている。22・23は薄く剥がれる性質の粘板岩を使用するいわゆる錦江谷型尖頭器である。両者ともに欠損品と考えられる。また本資料と同一母岩の可能性がある剥片も出土しており、これらは本ブロックの北側端部からすべて出土している。24は頁岩製の掻器で、使用のためか刃部の一部を欠損している。また本資料は被熱している可能性がある。25は頁岩製の縦長剥片で背面左側縁下部に二次加工がみられる。26・27は砂岩製の敲石である。110～120ｇ程度で剥片剥離や二次加工も行っていた可能性がある。



第127図　Bブロック出土石器実測図⑤（S=2/3）

接合資料③は頁岩製の縦長剥片（28）とナイフ形石器（29）の接合状態である。同一方向に剥片剥離を行っており、剥離順は28→29である。29はナイフ形石器に分類されるが中央付近の折れ面で接合している。刃潰し加工時の衝撃で折れたものと考えられる。一側縁加工となっているが、角錐状石器か二側縁加工のナイフの未製品の可能性がある。接合資料④は砂岩製のナイフ形石器（30）と調整剥片（31）の接合状態である。接合状態のナイフ形石器の先端部は欠損しており、その再加工の際に31が作出されている。接合資料⑤はホルンフェルス製の角錐状石器（32）と調整剥片（33）の接合状態である。32は横長剥片を素材とする。調整が行われていない縁辺があり未製品と考えられる。33の作出時に折れてしまったようであるが、基部側について再度加工を試みているが、尖端部を作り出すことはなく廃棄している。接合資料⑥は頁岩製の大型の掻器（35）と調整剥片（34）の接合状態で、自然面を大きく残す幅広の縦長剥片を素材としている。接合資料⑦は頁岩製の削器（36）と二次加工有る剥片（37）との接合状態である。両者ともに下部を欠損している。剥離順は36→37で、36は下部欠損後に刃部加工を施している。37は腹面打面部の厚みを除去しようとしている様子がうかがえる。



第128図　Bブロック出土石器実測図⑥（S=2/3）

第4項　Cブロックの調査成果（第129図・第130図・第133図）

Bブロックの西側から約20m離れたところから検出され、基本土層8層～10層にかけて遺物が出土している。出土層位からはBブロックの西端部分に当たる可能性も考えられるが、調査期間の都合上、それを確認できる位置にトレンチを設定することができなかった。遺物の分布範囲は東側に約3m×約2.6mと西側に径約1mの2箇所確認されており、角錐状石器（38）、敲石（39）などが出土している。

38はホルンフェルス製の角錐状石器で先端部を欠損している。二面加工で稜上調整もみられる。39は砂岩製の敲石で両端部を欠損している。使用痕は周縁部にみられる。重量は260.8ｇで剥片剥離や二次加工も行っていた可能性がある。

第5項　Dブロックの調査成果（第131図～第133図）

基本土層8層中よりナイフ形石器（40）や剥片類（41）が数点出土している。本ブロックの特徴としては礫が全く出土しなかったことである。明らかにB・Cブロックよりも上位の層から出土した石器ブロックである。遺物の分布範囲は径約3mで、ナイフ形石器（40）や微細剥離

第129図　旧石器時代Cブロック出土石器分布図①　【器種別】（S=1/150）

のある剥片（41）などが出土している。また西側に約11m離れたところに頁岩製の石核が1点出土している。

40は頁岩製の縦長剥片を素材とするナイフ形石器である。素材剥片の打面部を基部に設定して刃潰し加工を施している。41は頁岩製の剥片で、腹面右側縁に微細剥離が確認される。

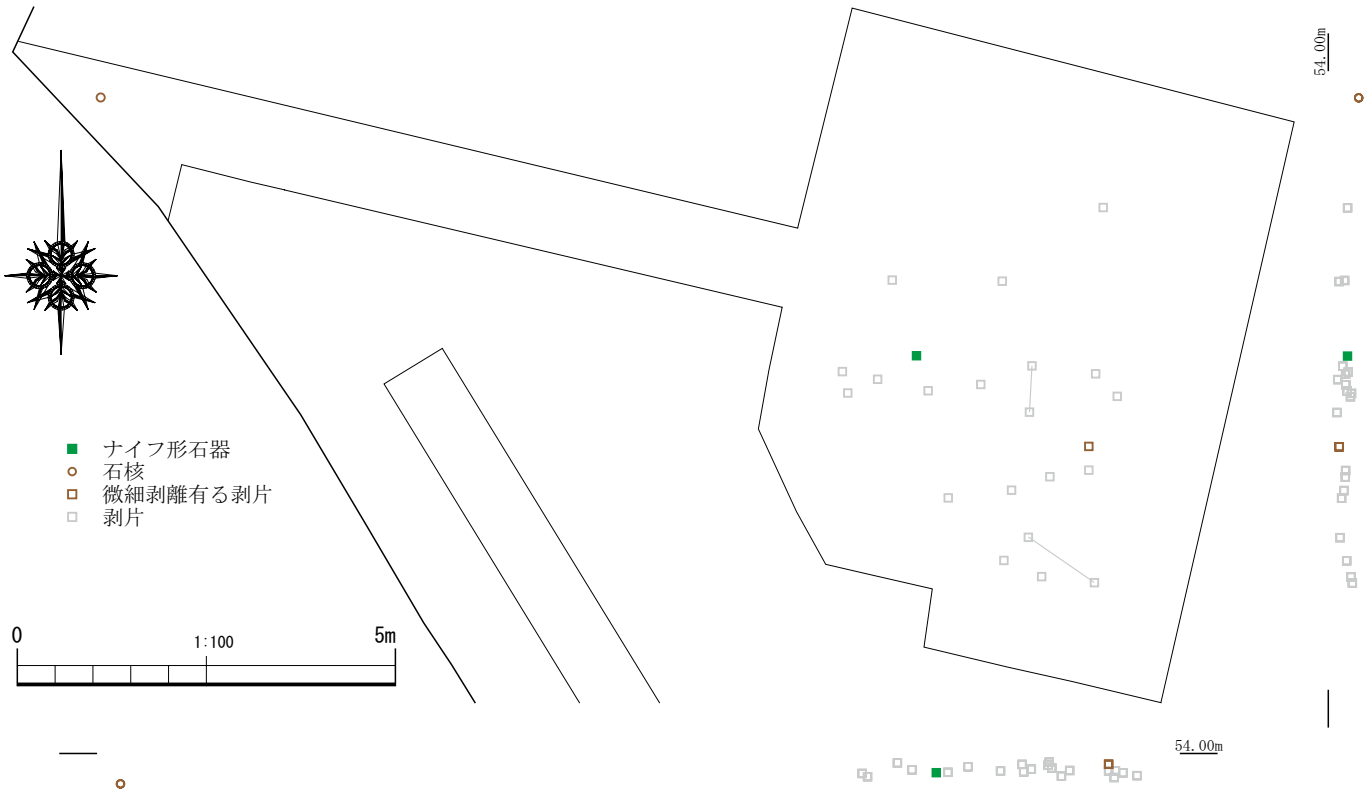
第6項　ブロック外の遺物と礫群について（第133図）

本遺跡からは前述の4つのブロックのほかに集中域を伴わないが基本土層6層～8層にかけて

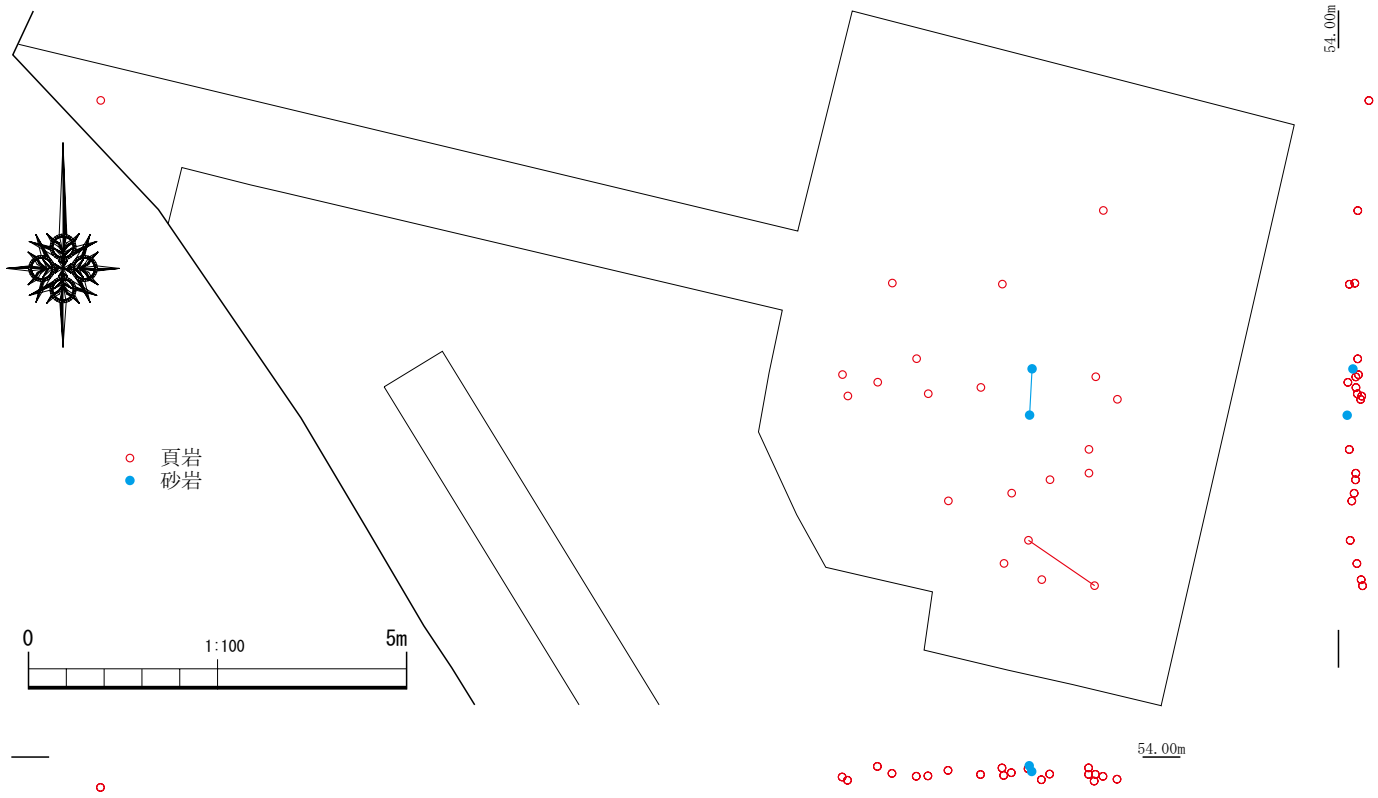
第130図　旧石器時代Cブロック出土石器分布図②　【石材別】（S=1/150）

角錐状石器（42・43）や縄文早期の遺物包含層である5層から細石刃（44・45）が出土しているのでここでまとめて報告を行う。

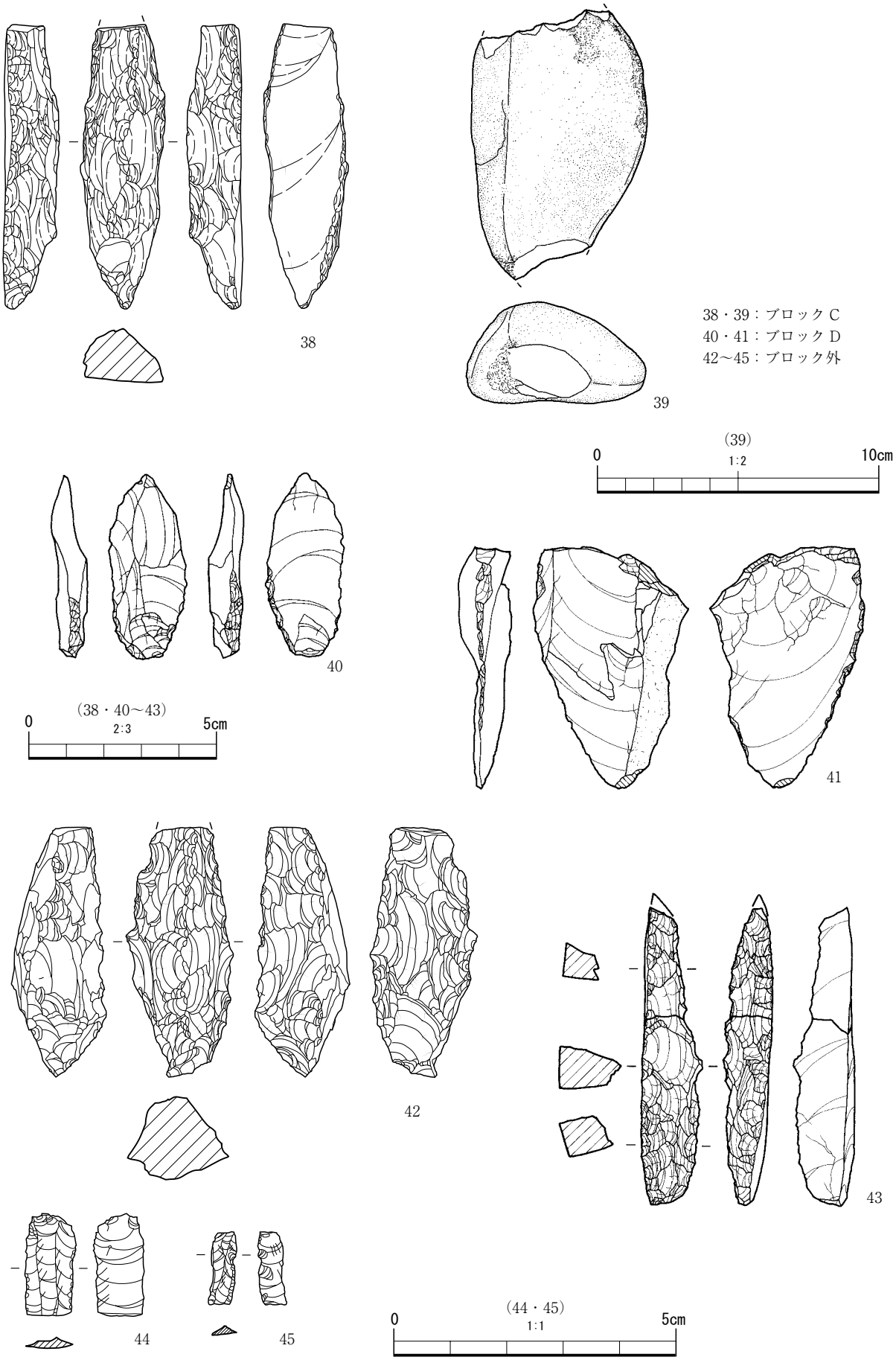
42・43は基本土層の5層の掘削終了後の遺構検出時に出土したものである。42は頁岩製の角錐状石器でＤブロックの北側で出土している。分厚いため、未製品の可能性もある。43は頁岩製の角錐状石器で尖端部は欠損している。Ｂブロックのトレンチの東端付近で出土した。素材剥片の打面部を基部と設定して、背面側に二方向から調整を行い一面加工の細身に仕上げている。44・45は桑ノ木津留産黒曜石の細石刃である。両者ともに縁辺に微細剥離が確認される。



第131図　旧石器時代Dブロック出土石器分布図①　【器種別】(S=1/100)



第132図　旧石器時代Dブロック出土石器分布図②　【石材別】(S=1/100)



第133図　C・Dブロック出土石器及びブロック外出土石器実測図（S=2/3・1/2・1/1）

第33表　橋山第3遺跡2地区　旧石器時代遺物包含層（5～11層）出土石器観察表

掲載頁	掲載	出土位置	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	備考	実測
図番号	番号	（グリッド・層・番号）			（cm）	（cm）	（cm）	（g）		番号
p.184 第116図	1	1G　6層　1611+1617	スクレイパー	頁岩	8.50	4.70	1.60	75.00		211
	2	5層　1514	スクレイパー	頁岩	7.50	4.20	1.80	42.40	光沢有	218
p.185 第118図	3	6G　5層　1790	スクレイパー	頁岩	5.40	6.80	1.60	70.70		212
	4	5層　1929	二次加工有る剥片	頁岩	5.30	(3.50)	1.65	(26.10)	側縁部欠損	320
	5	6層　1634	二次加工有る剥片	頁岩	7.70	3.45	1.00	23.00		318
p.186 第119図	6	1G　6層　1403	ナイフ形石器	頁岩	(7.60)	2.60	(1.10)	(15.40)	接合資料① 先端・基部欠損	325
	7	1G　6層　1622	スクレイパー	頁岩	5.40	4.30	1.50	(38.20)	接合資料①・基部欠損	326
	8	6G　6層　1900	微細剥離有る剥片	頁岩	9.15	5.00	2.40	76.20	接合資料①	327
	9	6層　1601＋1602	二次加工有る剥片	頁岩	(7.60)	7.30	2.30	(103.90)	下部欠損	323
	10	6層　1624	剥片	頁岩	8.55	4.05	1.15	34.30		217
	11	6G　6層　1904	敲石	砂岩	(10.10)	(4.65)	2.60	(172.80)	側縁部欠損	189
p.187 第120図	12	6層　1594＋1698	剥片	頁岩	9.95	4.00	2.10	56.30	接合資料②	321
	13	6層　1608＋1615	スクレイパー	頁岩	6.50	5.70	1.50	43.00	接合資料②	322
p.190 第123図	14	11層　1408	ナイフ形石器	頁岩	8.10	2.85	1.65	33.50		224
	15	11層　1333	ナイフ形石器	頁岩	(7.00)	2.70	1.70	(22.90)	先端部欠損	223
	16	10層　1127	ナイフ形石器	ホルンフェルス	(6.40)	2.35	1.10	(13.10)	先端部欠損	225
	17	26G　5層　1076	剥片尖頭器	ホルンフェルス	(4.65)	2.85	1.20	(16.30)	先端部欠損	313
	18	11層　1157	ナイフ形石器	ホルンフェルス	7.50	3.30	1.90	30.40	彫刻刀型石器への転用	222
	19	10層　2026	ナイフ形石器	頁岩	9.70	3.10	1.40	29.40		221
	20	18G　10層　2759	剥片尖頭器	頁岩	(6.75)	3.55	1.20	(29.20)	先端部・基部欠損	314
p.191 第124図	21	18G　10層　2679＋2025	角錐状石器	頁岩	10.15	4.00	1.90	55.70		303
	22	18G　10層　2024	錦江谷型尖頭器	粘板岩	8.60	4.50	0.70	20.90		219
	23	18G　10層　2022	錦江谷型尖頭器	粘板岩	9.10	3.60	0.90	24.80		220
	24	18G　10層　2675	スクレイパー	頁岩	(5.40)	5.30	2.20	(61.40)	被熱　端部再加工か 下部欠損	329
	25	19G　10層　2083	二次加工有る剥片	頁岩	6.60	2.40	1.35	15.30		328
p.192 第125図	26	26G　10層　4230	敲石	砂岩	7.25	4.05	4.10	113.50		188
	27	19G　11層　4295	敲石	砂岩	7.20	4.70	2.65	122.50		187
	28	19G　11層　1162	剥片	頁岩	6.50	4.00	1.15	21.80	接合資料③	296
	29	19G　10・11層 1168＋1121	ナイフ形石器	頁岩	12.55	2.50	2.20	(62.70)	接合資料③	297
	30	18G　10層　2023	ナイフ形石器	砂岩	(6.85)	2.20	1.45	(17.50)	接合資料④先端部欠損	311
	31	18G　10層　2033	剥片	砂岩	0.90	(3.50)	1.10	(2.30)	接合資料④ 左右端部欠損	312
p.193 第126図	32	18G　10層　2043＋2731	角錐状石器	ホルンフェルス	14.80	3.66	2.90	(100.90)	接合資料⑤ 右下側縁部欠損	300
	33	19G　10層　2145	剥片	ホルンフェルス	2.85	6.60	1.00	13.60	接合資料⑤	299
p.194 第127図	34	18G　10層　2036	剥片	頁岩	3.30	2.75	1.25	9.30	接合資料⑥	306
	35	18G　11層　1409	スクレイパー	頁岩	7.75	7.70	3.00	188.20	接合資料⑥	305
p.195 第128図	36	18G　10層　2048＋2740	スクレイパー	頁岩	10.55	4.00	0.90	36.00	接合資料⑦	308
	37	26G　11層　4247	二次加工有る剥片	頁岩	(5.60)	(5.50)	1.50	(38.60)	接合資料⑦下部欠損	309
p.199 第133図	38	42G　9層　901	角錐状石器	ホルンフェルス	(7.60)	2.25	1.50	(27.90)	先端部欠損	301
	39	41G　8層　1069	敲石	砂岩	(9.60)	6.30	(3.60)	(260.80)	上下端部欠損	186
	40	8層　980	ナイフ形石器	頁岩	4.90	2.10	1.00	7.10		319
	41	46G　8層　973	二次加工有る剥片	頁岩	6.40	4.10	1.45	23.20		226
	42	48G　6層　2513	角錐状石器	頁岩	(6.65)	2.85	2.50	(41.90)	先端部欠損	302
	43	6層　1027＋18G 7層　1414	角錐状石器	頁岩	(7.95)	1.60	1.10	(15.70)	先端部欠損	227
	44	66G　5層　2883	細石刃	黒曜石 （桑ノ木津留）	1.80	0.90	0.20	0.10	縁辺に微細剥離有	316
	45	67G　5層　3748	細石刃	黒曜石 （桑ノ木津留）	1.30	0.50	0.15	0.10未満	縁辺に微細剥離有	317

（ ）の値は残存法量を示す

第3節　縄文時代早期の調査

第1項　遺構について

集石遺構

集石遺構は基本土層4層～5層にかけて51基検出している。2地区では掘り込みを有するものが26基、掘り込みを有しないものが25基あり、橋山第2遺跡2次調査、橋山第3遺跡1地区と異なり偏りが見られない。また掘り込みを有するもののうち底石を検出した集石遺構はSI15とSI45の2基である。1地区が複数の礫を組み合わせたものが大半を占めるのに対し、2地区では2例とも大振りな亜円礫を1個配置したものである。集石遺構の分布状況としては調査区の東側に大半が分布する。土器の分布図と重ねると、集石遺構が希薄な中央部から西側にかけては早期末条痕文土器が多く分布しているのに対し、集中する東側では前平式や下剝峯式、桑ノ丸式が多く分布する。

以下に特徴的な集石遺構について所見を報告する。

SI6は調査区北側の5層で検出した。断面形はレンズ状の掘り込みを有する。2地区において最大規模の集石遺構である。南西側にテラスを有するがそこからはあまり礫が検出されなかった。礫下の土層は厚さ0.1mほど黒色埋土が堆積しており、埋土から礫は検出されていない。

SI15は調査区南東側の5層で検出した。ボウル状の掘り込みにテラス部分が付帯する。ボウル状の掘り込み部では底石が検出されており、上端及びテラスとの境の稜線まで底石を支えにして扁平礫が断面形に沿って配置されている。テラス部分は礫が密集していない。

SI16は調査区南東側の5層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。大振りな礫が北側半分に多く配置され、反対に南側は小振りな礫が多くを占めている。礫が断面形に沿わず、直線的に出土している。出土遺物は無文土器が出土している。

SI18・61は2基の間に散礫が分布しており、検出時にはどちらの集石に帰属するか判別がつかなかった。SI18は全体的に礫がSI61側に固まっており、掻き出した痕跡の可能性がある。

SI22・23は調査区東側の5層で検出した。両遺構とも断面がボウル状の掘り込みを有する。平面プランでSI22は埋土が薄く黒ずんでおり、SI23を切っていることが確認された。

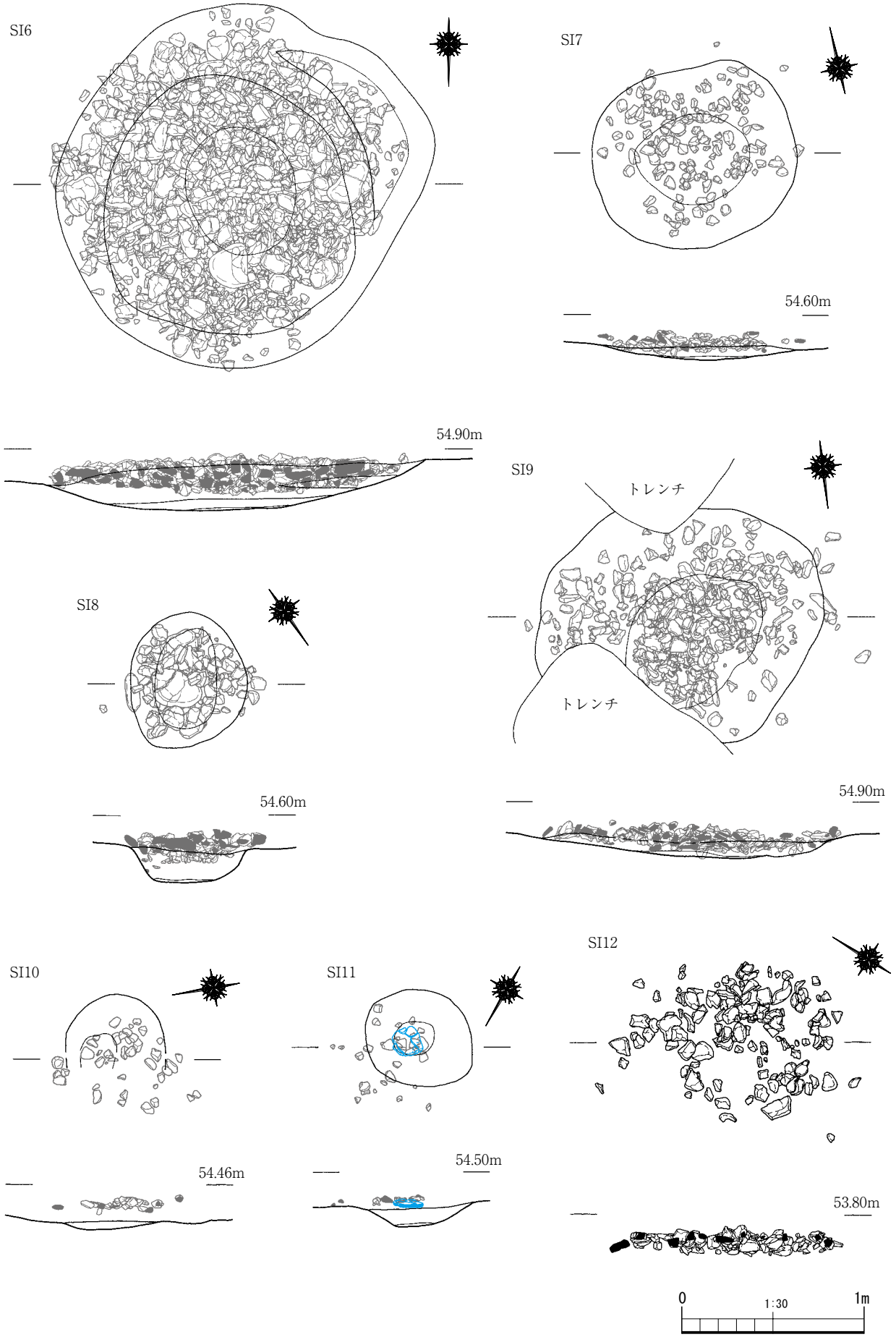
SI39は調査区東側中央部の4層で検出した。他の集石遺構は少なからず上部で散礫が密集した状態で掘削し、その後検出されたが、周辺は礫の分布も希薄であり、散礫の分布状況と一致しなかった。大振りな礫が平面的に配置されており、掘り込みは確認できなかった。

SI45は調査区北東隅の5層で検出した。断面がボウル状の掘り込みを有する。北側が調査区外に延びている。礫は小振りなものが密集して配置されるが、一部空白部も存在する。

SI49は調査区西側の5層で検出した。掘り込みは確認できていない。小振りで同程度の大きさの礫が配置されている。頁岩製剥片が出土している。

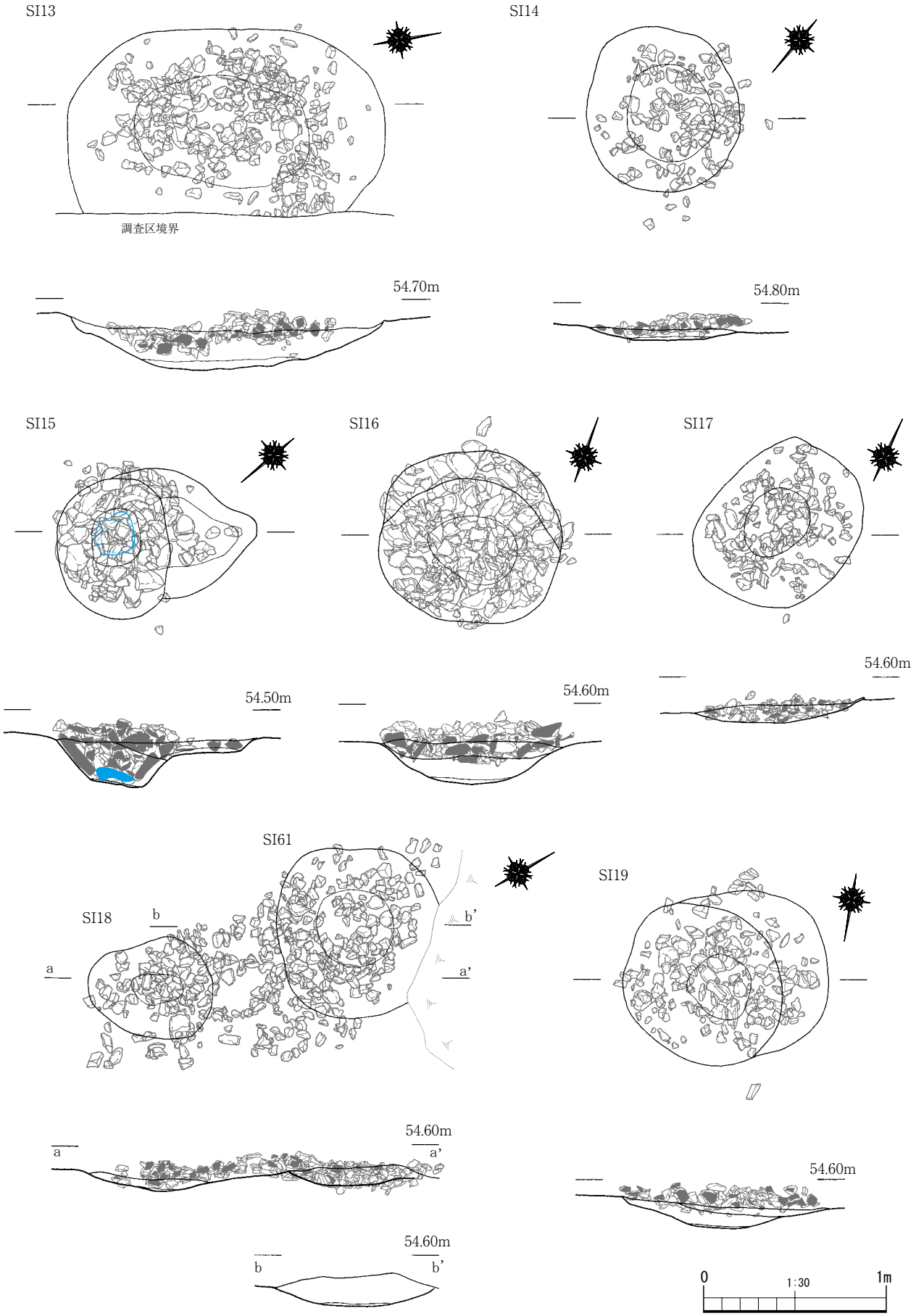
SI57は調査区東側の5層で検出した。断面はレンズ状の掘り込みを有する。断面形に沿って礫が多く充填されており、底面付近からは扁平な薄い礫が多く検出された。

SI59は調査区南西側の5層で検出した。掘り込みは確認できていない。他の集石遺構とは異なり、遺構上位及び周辺で散礫は見られなかった。構成礫の表面が被熱により薄く剥離しているものが多くみられた。

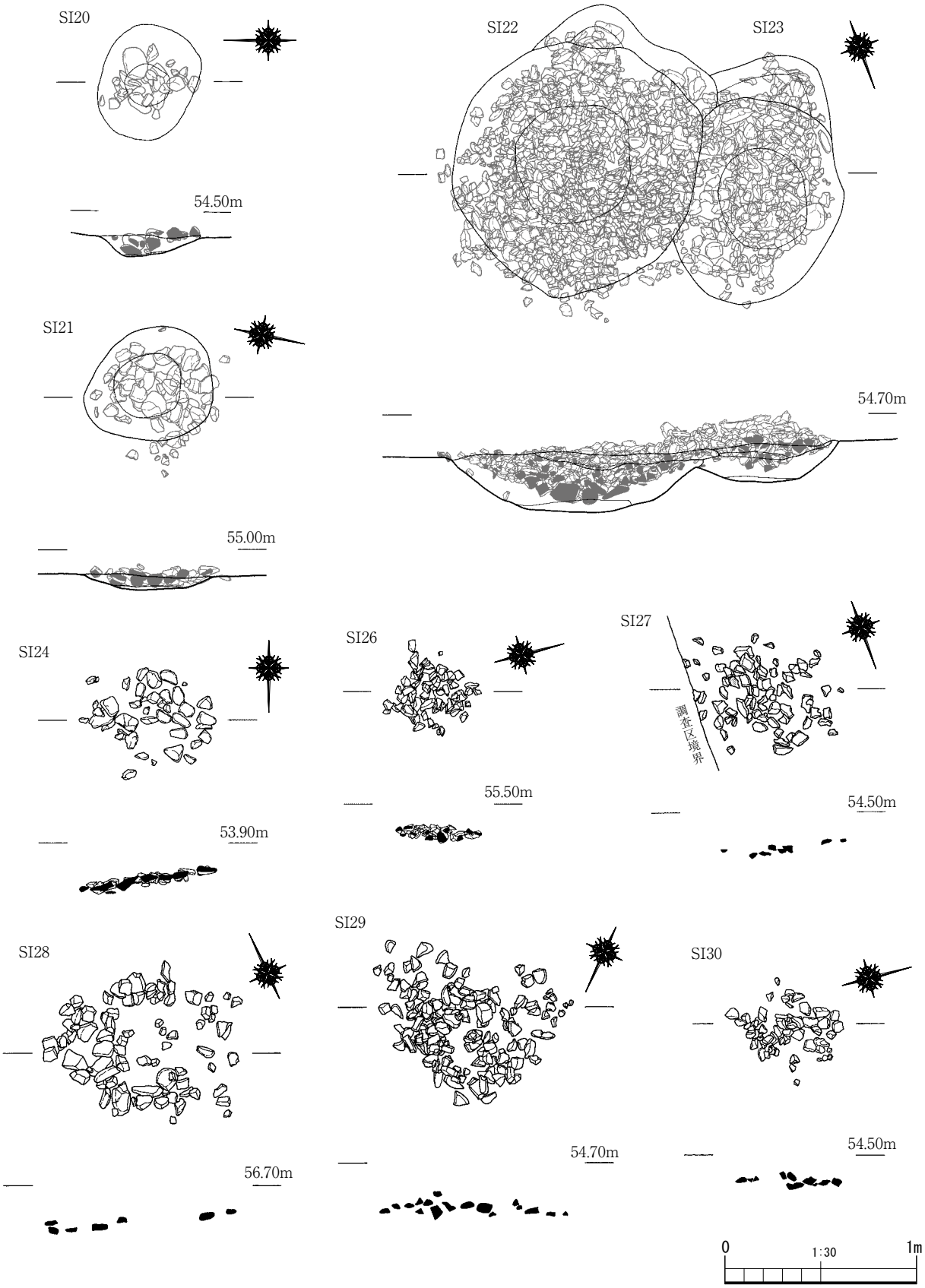


第134図　縄文時代早期集石遺構実測図①（S=1/30）

第135図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期（4 ～ 5層）遺構配置図（S=1/500）



第136図　縄文時代早期集石遺構実測図②（S=1/30）

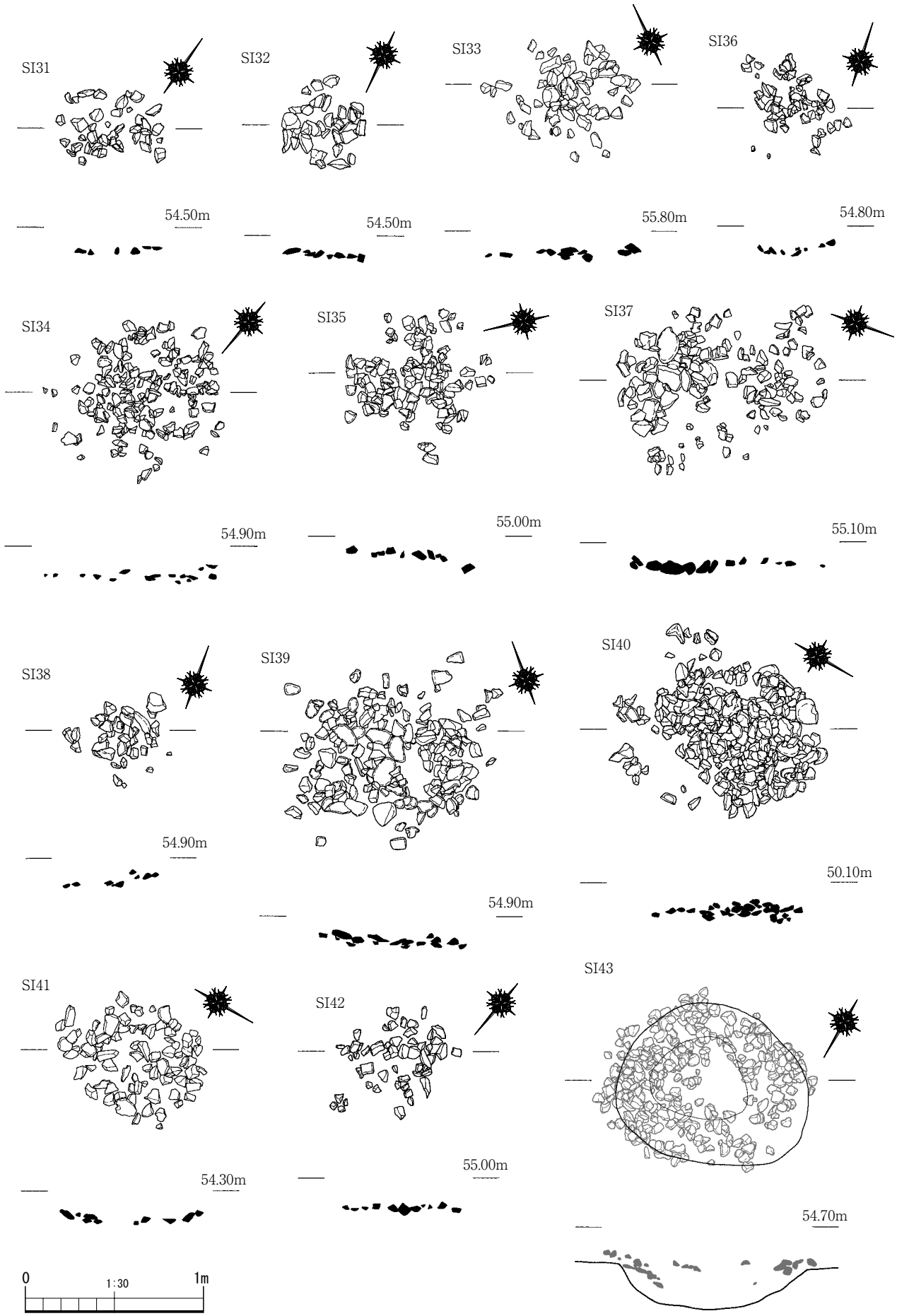


第137図　縄文時代早期集石遺構実測図③（S=1/30）

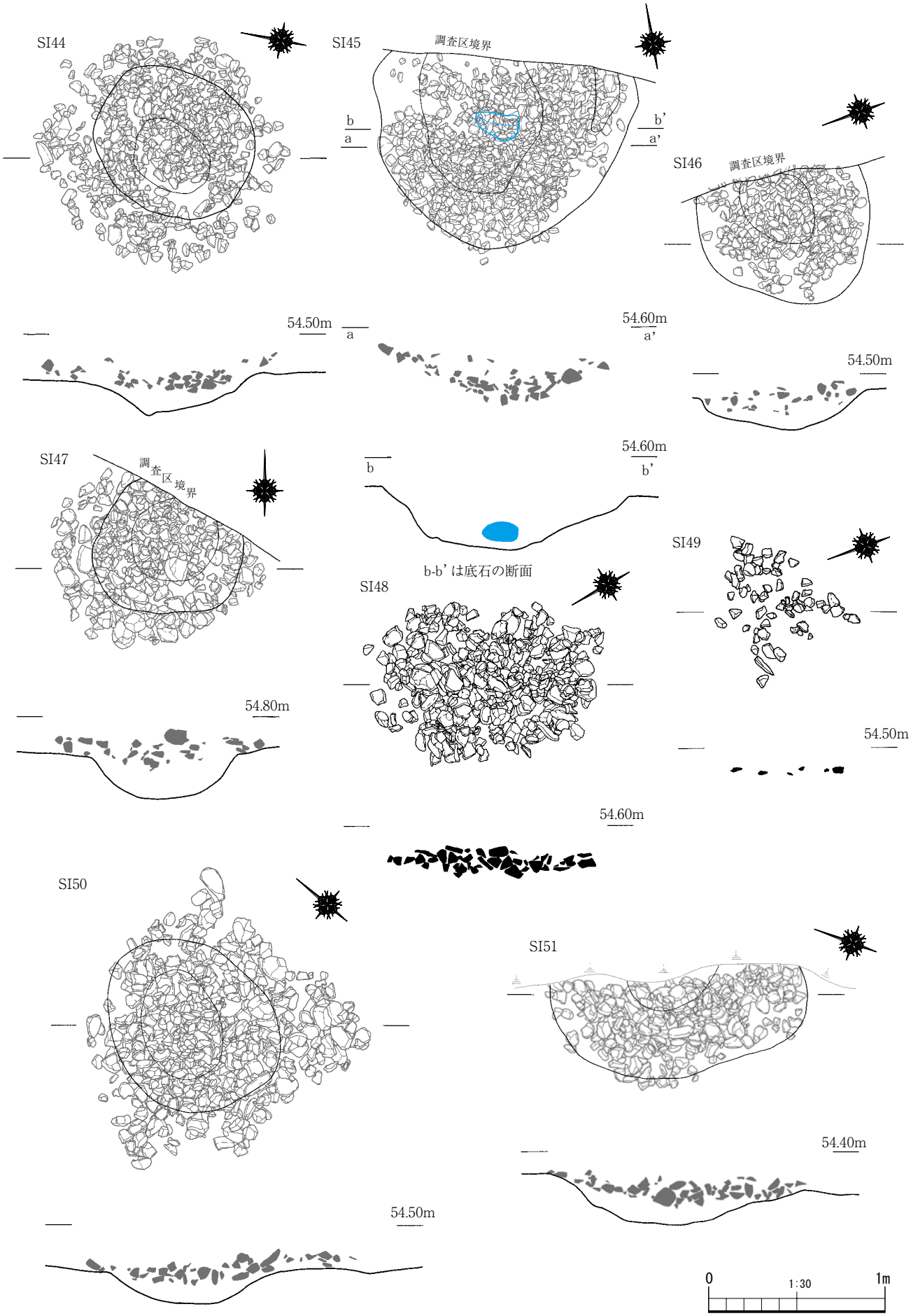
土坑

土坑は基本土層5層中から3基検出している。遺物は出土していない。

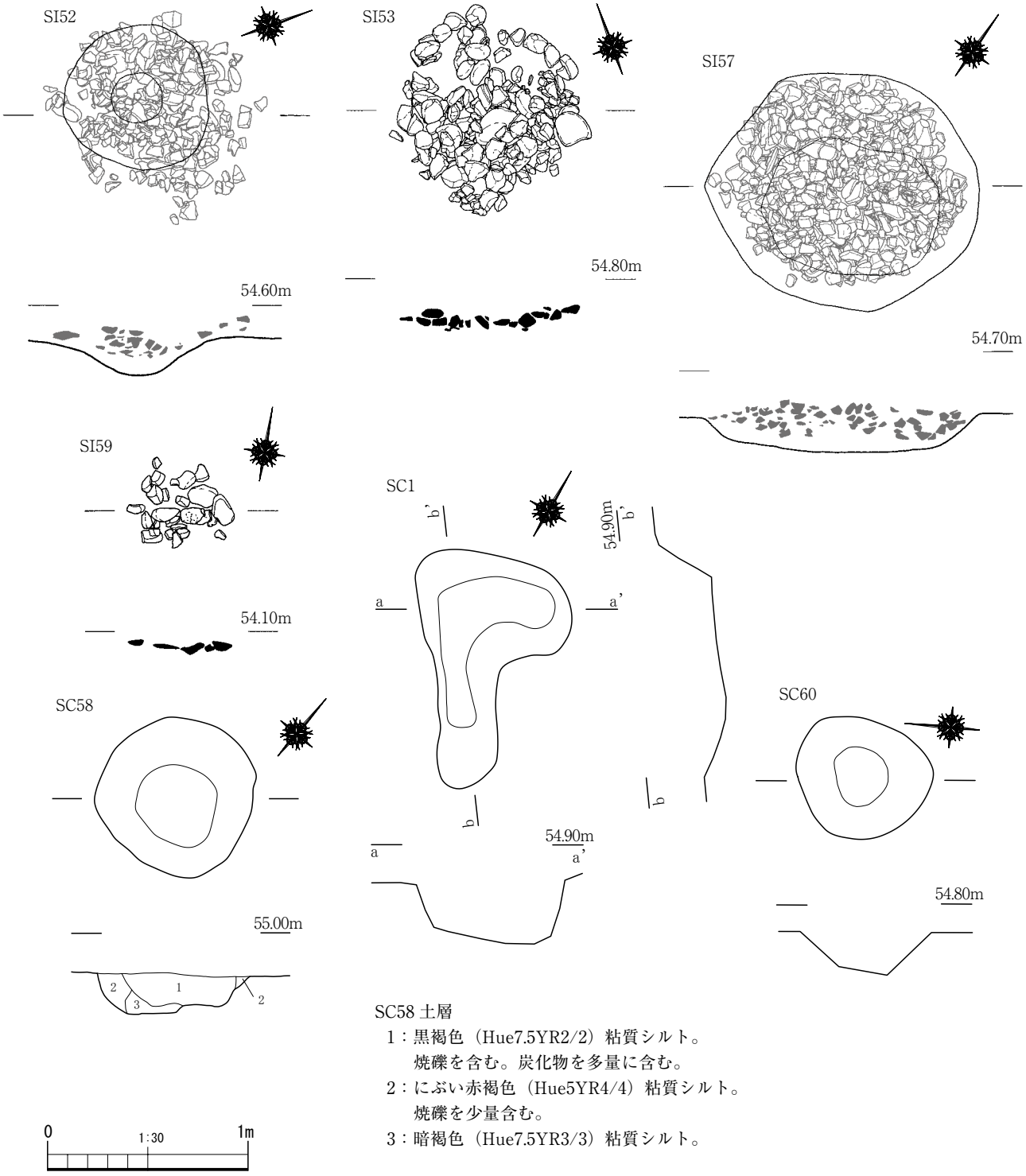
SC1は5層で検出した。U字形の平面プランで、断面はボウル状の掘り込みを有する。検出面



第138図　縄文時代早期集石遺構実測図④（S=1/30）



第139図　縄文時代早期集石遺構実測図⑤（S=1/30）



第140図　縄文時代早期集石遺構実測図⑥及び土坑実測図（S=1/30）

が北から南へ向かって低くなるため、元々の使用面は北側と同程度とみられる。埋土が他の縄文時代早期の遺構と類似するため、縄文早期のものと推定される。

SC58・60は5層で検出した。両遺構は隣接して検出しており、ボウル状の掘り込みを有する。埋土中に焼礫が含まれているが、集中箇所がなく不規則だったため、集石遺構として扱っていない。4層上面での遺構検出時は検出されておらず、5層掘削中に平面プランを検出したため、縄文時代早期の遺構と推定される。

第34表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期集石遺構計測表

掲載頁	遺構名	礫			掘り込み		底石		遺物の有無	C14 測定値（年BP）	備考
		範囲（m）	総礫数	総重量（kg）	規模（m）	深さ（m）	構成礫	総重量（kg）			
p.204	SI6	1.99×1.94	1839	231.8	2.10×1.97	0.24	-	-			
	SI7	1.14×0.80	153	12.3	1.13×1.01	0.70	-	-			
	SI8	0.78×0.12	185	27.9	0.64×0.74	0.17	-	-			
	SI9	1.92×1.20	414	43.5	1.60×1.30+α	0.10	-	-			
	SI10	0.90×0.49	43	3.6	0.55×0.32+α	0.40	-	-			
	SI11	0.54×0.49	31	2.8	0.58×0.53	0.10	-	-			
	SI12	1.47×0.89	153	22.1	-	-	-	-			
p.205	SI13	1.47×1.09	368	43.8	1.76×1.02	0.21	-	-	○		
	SI14	0.97×1.00	134	12.7	0.84×0.91	0.05	-	-			
	SI15	1.05×0.78	231	86.7	1.10×0.81	0.27	1	4.2			
	SI16	1.14×1.11	423	94.1	1.01×0.95	0.23	-	-	○		
	SI17	0.82×0.83	138	10.9	0.93×0.93	0.09	-	-			
	SI18	1.15+α×0.86	437	44.1	0.69×0.54	0.11	-	-			SI61と切りあう 総礫数と総重量はSI61との合計
	SI19	1.14×1.05	204	23.5	1.15×0.95	0.12	-	-			
p.206	SI20	0.55×0.39	41	8.6	0.51××0.60	0.11	-	-			
	SI21	0.69×0.70	63	17.4	0.68×0.60	0.08	-	-			
	SI22	2.10×1.55	1437	141.7	1.36×1.38	0.31	-	-		8210±30	SI23と切り合う
	SI23	0.75×1.26	506	77.3	0.78+α×1.33	0.20	-	-			SI22と切り合う
	SI24	0.73×0.54	42	8.9	-	-	-	-			
p.268	SI25	-	-	-	-	-	-	-			写真のみ
p.206	SI26	0.54×0.57	86	7.2	-	-	-	-			
	SI27	0.90×0.55	108	8.5	-	-	-	-			
	SI28	1.09×0.82	90	14.5	-	-	-	-			
	SI29	1.02×0.70	168	17.9	-	-	-	-			
	SI30	0.62×0.45	64	4.6	-	-	-	-			
p.207	SI31	0.65×0.41	46	4.4	-	-	-	-			
	SI32	0.50×0.53	34	3.6	-	-	-	-			
	SI33	0.90×0.63	68	8.7	-	-	-	-			
	SI34	1.05×0.93	183	10.8	-	-	-	-			
	SI35	0.85×0.98	115	11.4	-	-	-	-			
	SI36	0.71×0.36	42	3.8	-	-	-	-			
	SI37	1.21×0.95	146	22.4	-	-	-	-			
	SI38	0.63×0.44	42	4.1	-	-	-	-			
	SI39	1.40×0.92	110	28.7	-	-	-	-			
	SI40	1.26×1.00	310	43.0	-	-	-	-			
	SI41	0.86×0.66	79	10.9	-	-	-	-			
	SI42	0.71×0.60	51	4.5	-	-	-	-			
	SI43	1.28×0.95	252	28.2	1.08×0.92	0.24	-	-		9445±30	
p.208	SI44	1.47×1.33	680	50.8	0.94×0.83	0.22	-	-			
	SI45	1.48×1.18	1123	94.2	1.52×1.12+α	0.33	1	5.0			
	SI46	1.00×0.78+α	335	24.9	1.00×0.77+α	0.20	-	-			
	SI47	1.25×0.96+α	403	52.7	0.84×0.69+α	0.25	-	-			
	SI48	1.40×0.94	465	72.0	-	-	-	-			
	SI49	0.83×0.75	65	5.3	-	-	-	-	○		
	SI50	1.80×1.61	619	125.3	1.10×0.89	0.19	-	-			
	SI51	1.50×0.61+α	387	53.0	1.48×1.07+α	0.24	-	-			
p.209	SI52	1.12×1.06	393	41.0	0.73×0.72	0.19	-	-			
	SI53	0.98×0.98	228	44.8	-	-	-	-			
	SI57	1.30×1.03	898	95.9	1.37×1.18	0.19	-	-			
	SI59	0.55×0.43	28	6.3	-	-	-	-			
p.205	SI61	1.39+α×0.90	−	−	0.98×0.95	0.18	-	-			SI18と切り合う

第2項　基本土層4層～5層出土土器について

4層～5層にかけて縄文早期前葉から末葉の土器が出土している。遺物は調査区の東端、南東部、南西部にやや集中する様子が確認された。本調査区からは早期末条痕文土器が多く出土しており、調査区全面に分布がみられるが、特に調査区西側に集中している。その中には100m程度離れた破片が接合している事例もある。調査区の東端部分では無文土器、中原式土器、下剥峯式土器、桑ノ丸式土器、押型文土器（その他・縄文施文）が目立って出土している。調査区の南東部分の桜島薩摩火山灰が確認された周辺では前平式土器が多く出土している。以下に既存の分類を元に報告を行う。個別の詳細は第35～37表に示す。

前平式土器（46～52・58）

円筒形の器形で、外面には貝殻条痕、内面にはナデか条痕の後ナデを施しており。口縁部外面にはキザミ目状の刺突文や貝殻腹縁刺突文がみられる。46・47は口唇部に浅いキザミがあり、46・48は上部に刺突文、その下に貝殻腹縁押引文がみられ、47は二段の刺突文が施されている。49は1段の貝殻腹縁刺突文がみられる。52は底部片で底面の圧痕をナデ消している。

中原式土器（53～56）

円筒形の器形で、外面には貝殻腹縁による条線が広く確認される。この条線は縦位の後に横位に行っている。内面の調整はナデか貝殻条痕の後ナデを施す。53の横位の条線はやや波状を呈する。53・56は直口、54はやや外反、55はやや内湾する口縁部を呈する。

別府原式土器（57）

外面には横位か斜位の浅い貝殻条痕を施している。内面の調整はナデである。

下剥峯式土器（59～66）

器形はバケツ状で外面には刺突文を全面に施しており、内面の調整はナデで、丁寧なものもある。59～61は口唇部下に横位の貝殻腹縁刺突文を連続的に巡らせ、その下に縦位の貝殻腹縁刺突文を全面に施している。59・61は穿孔が見られる。63は羽状の刺突文がみられる。

辻タイプ（68・69）

羽状の短沈線文と刺突文の両方がみられるもの。68は縦位の69は横位の刺突文がみられる。

桑ノ丸式土器（67・70～81）

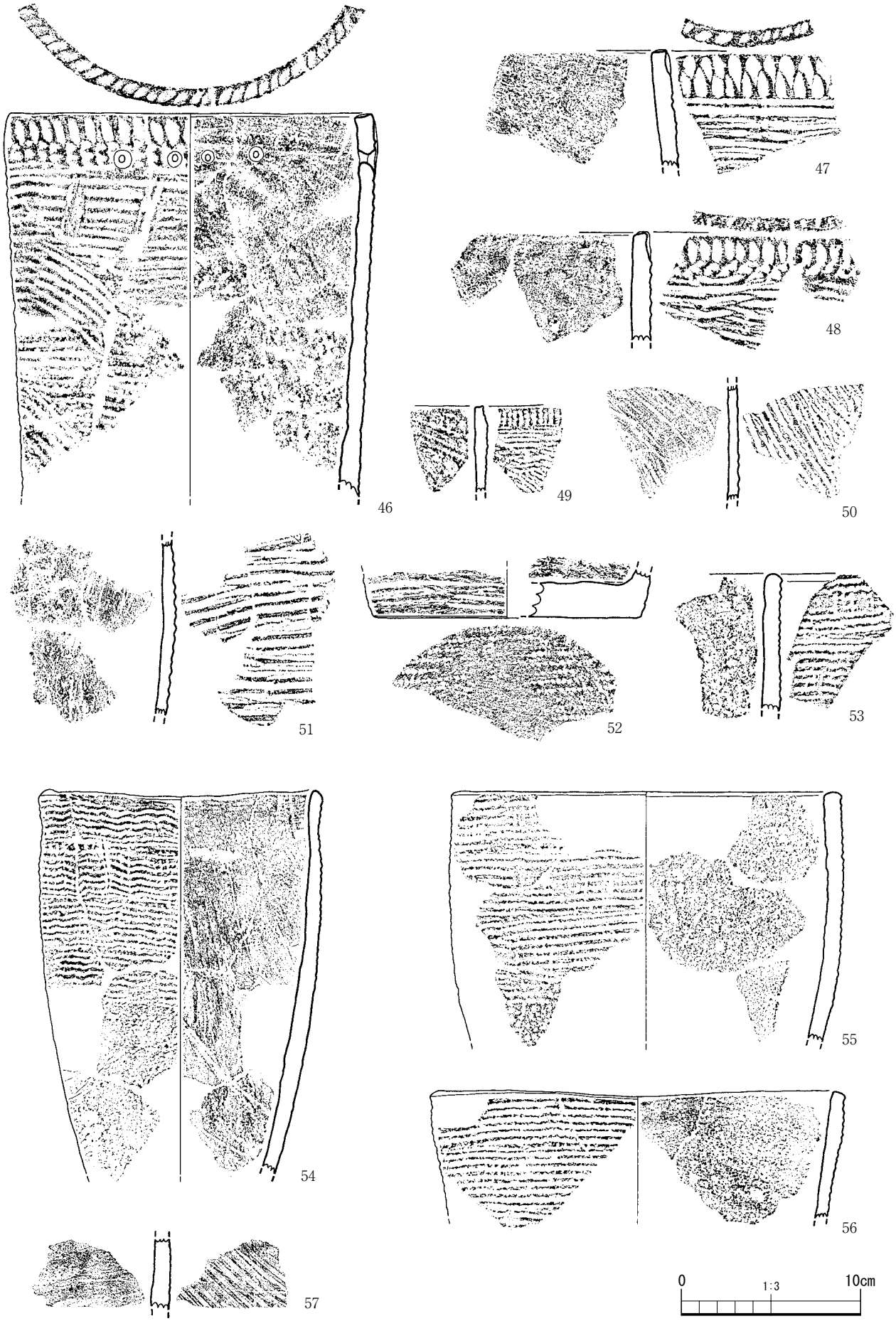
器形はバケツ状で、外面には貝殻条痕や沈線によって全面を施文する。内面の調整はナデか条痕の後ナデである。67・71～75は短沈線による文様が施されており、羽状のもの（67・73・75）と縦位に施文するもの（72・74）がみられる。76～81は貝殻条痕で施文する。

押型文土器（82～88）

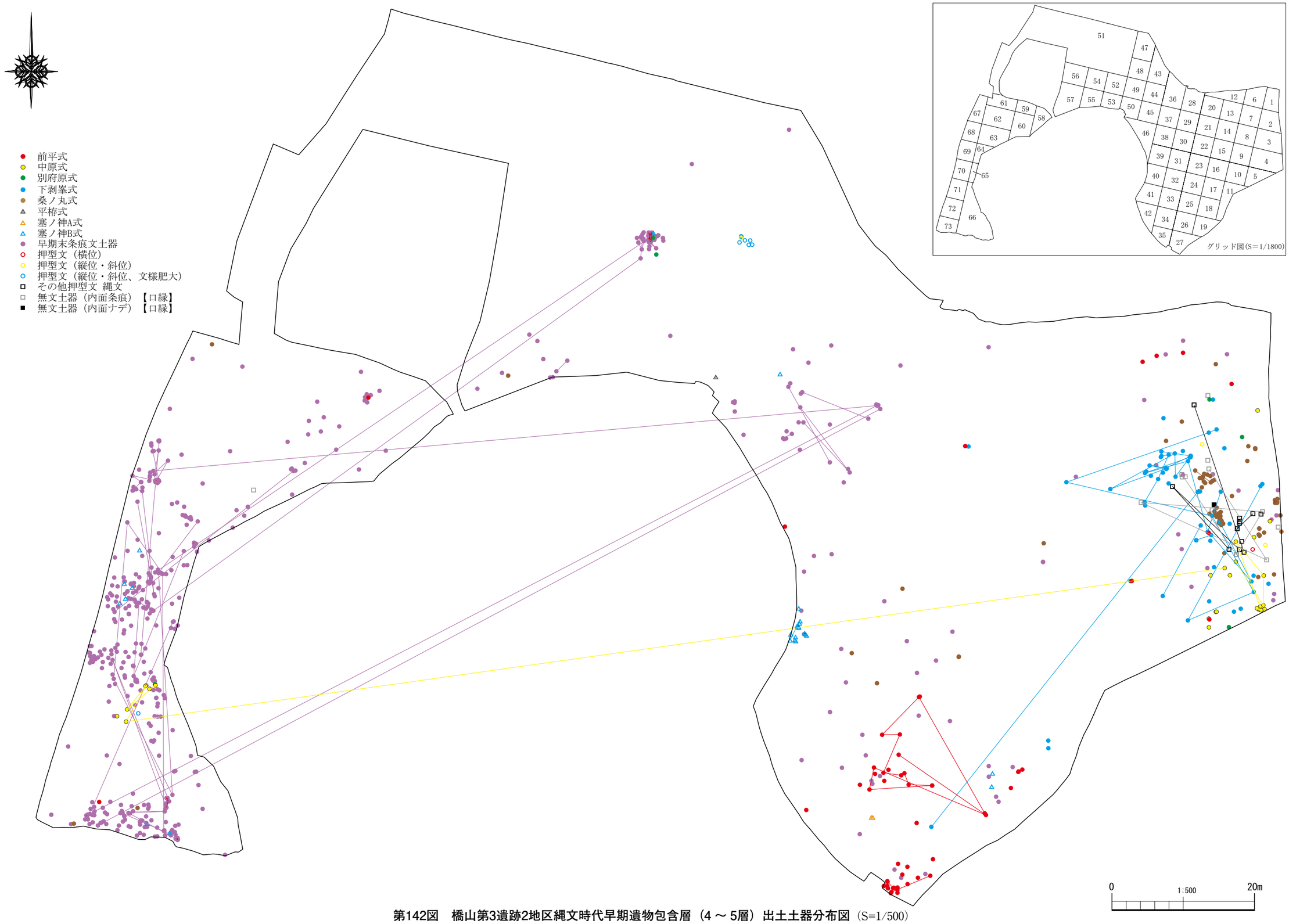
外面全面に原体を転がして押し付けることによって文様を施すもので、内面の調整はナデか条痕の後ナデである。器形は外反する口縁部を持つもの（85）や桑ノ丸式土器に似るものがみられる（88）。文様は楕円形（82～86）短枝回転文（87）、縄文（88）がみられる。85は口唇部に原体条痕があり、内面に横位、外面に斜位の押型文がみられる。82・84・86は横位、83・85は縦位に押型文が施されている。

平栫式土器（89）

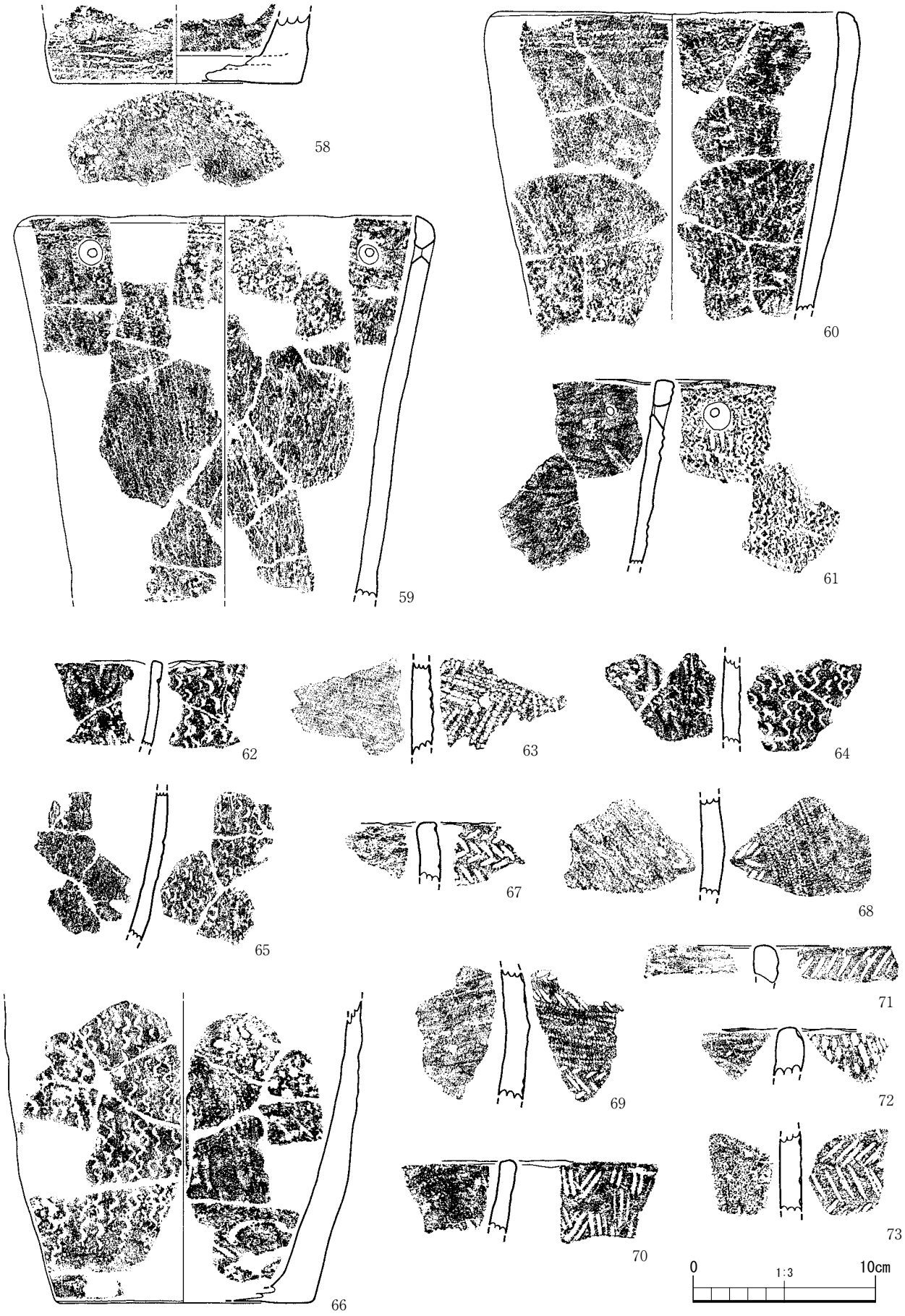
地文に縄文を施し、キザミを持つ突帯を巡らせている。



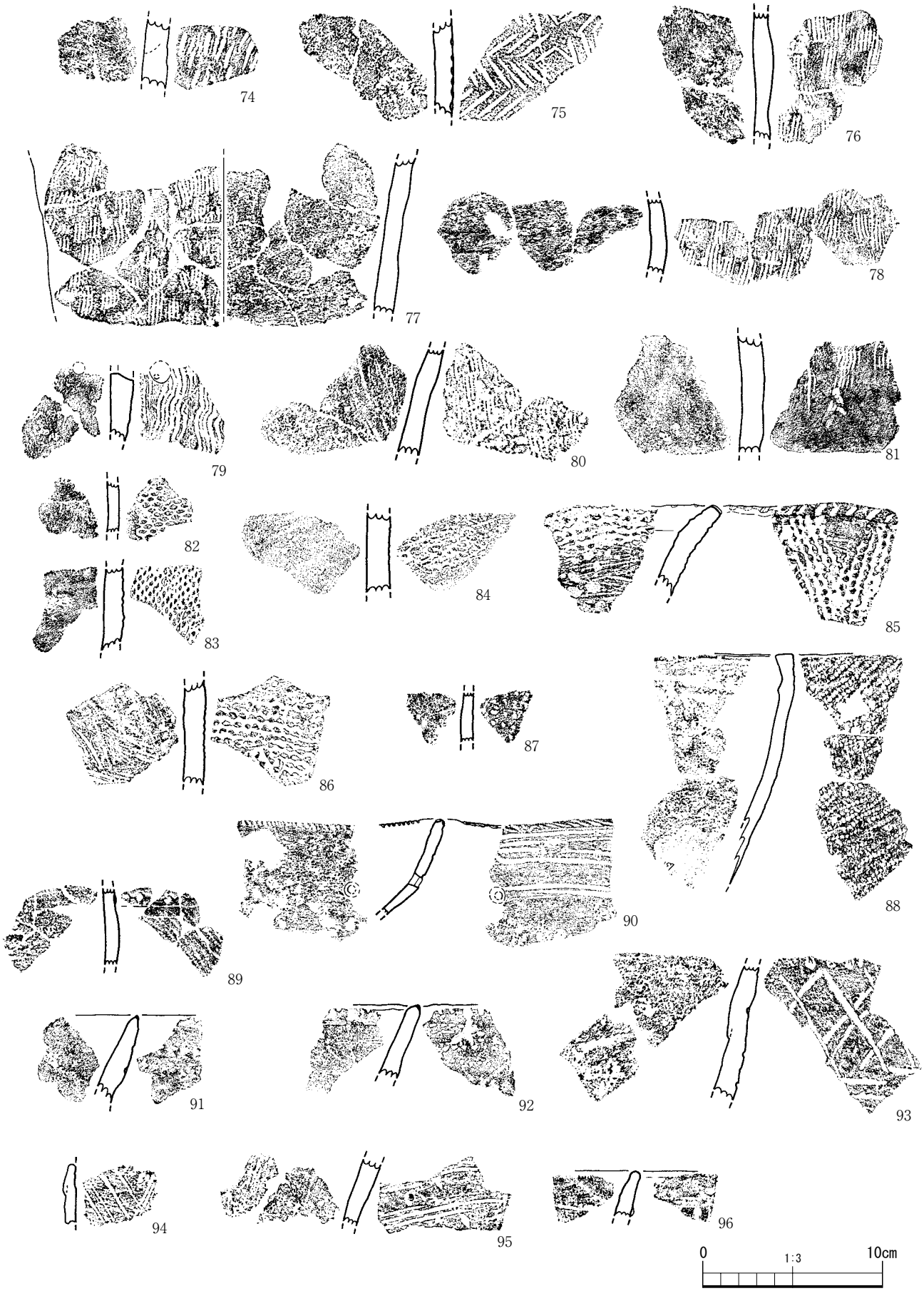
第141図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図①（S=1/3）



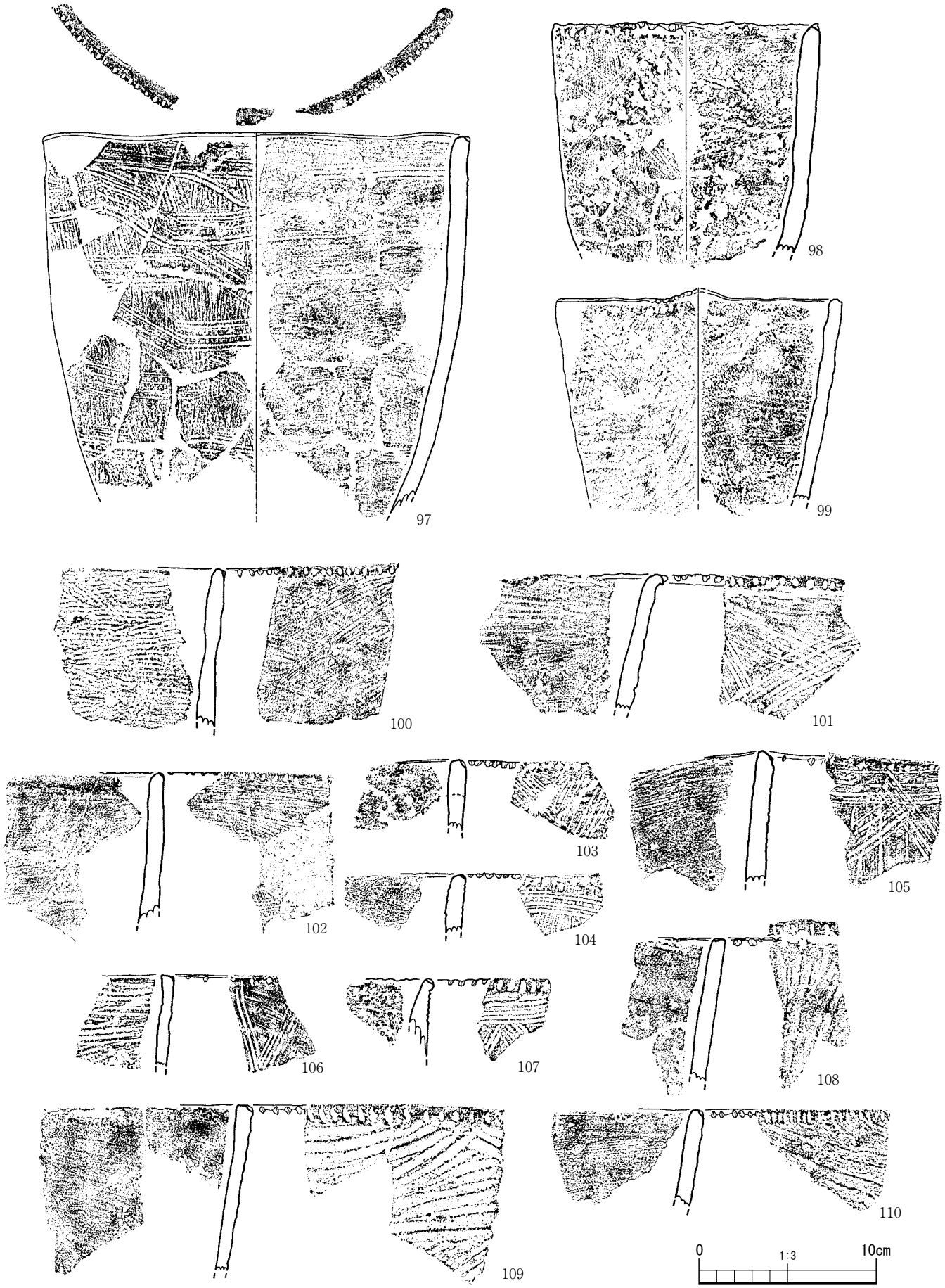
第142図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期遺物包含層（4 ～ 5層）出土土器分布図（S=1/500）



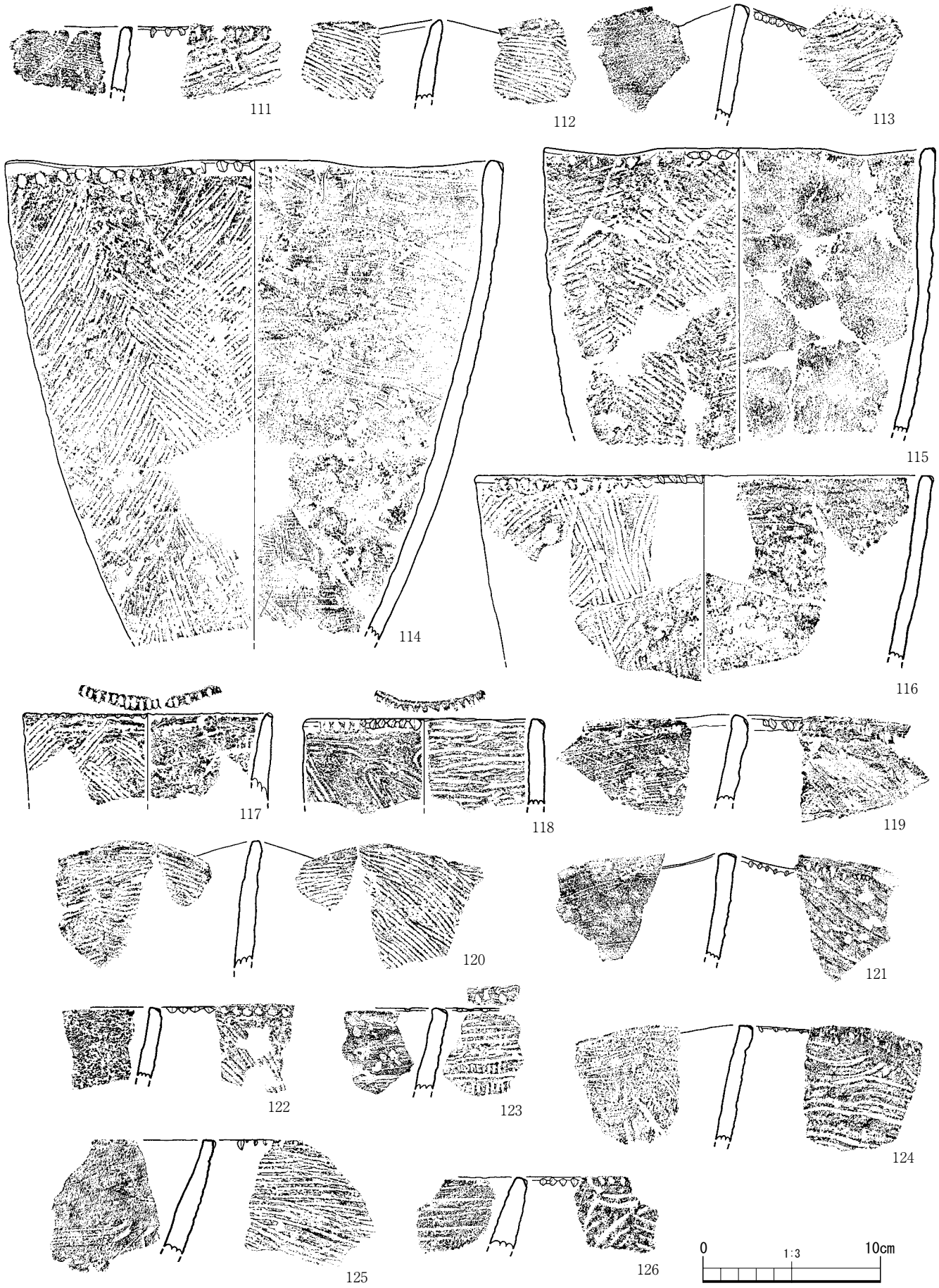
第143図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図②（S=1/3）



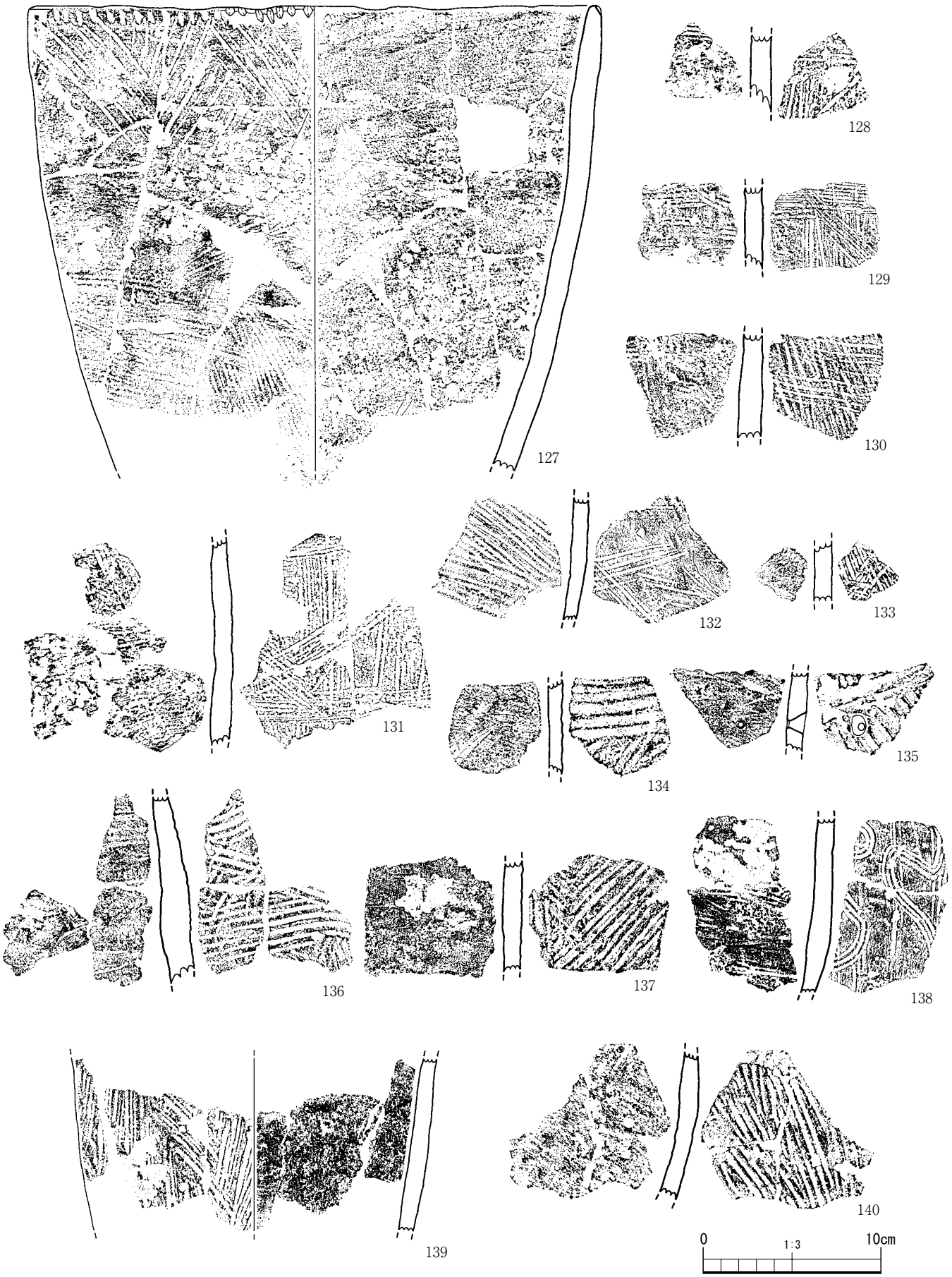
第144図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図③（S=1/3）



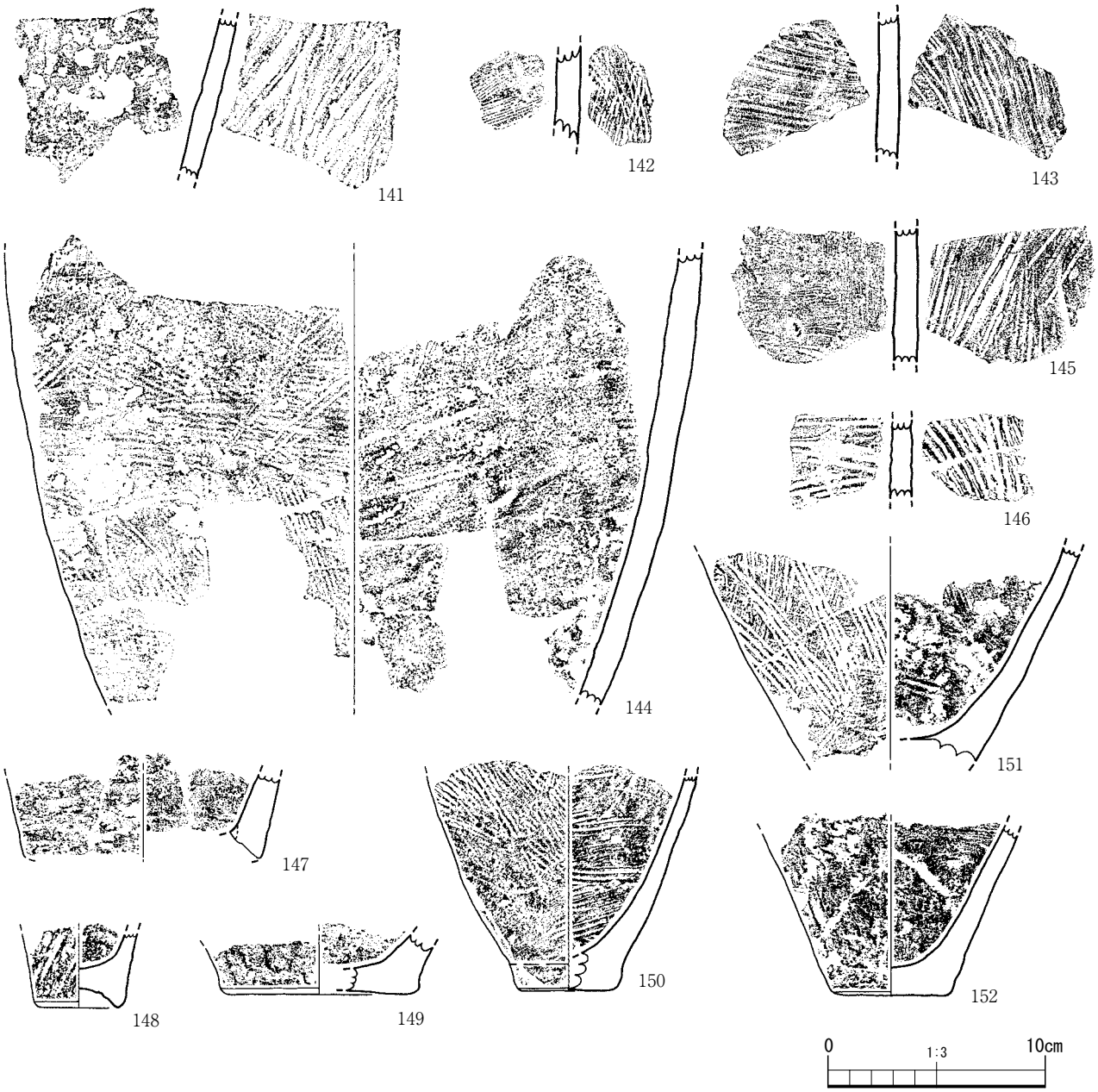
第145図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図④（S=1/3）



第146図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑤（S=1/3）



第147図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑥（S=1/3）



第148図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑦（S=1/3）

塞ノ神式土器（90～95）

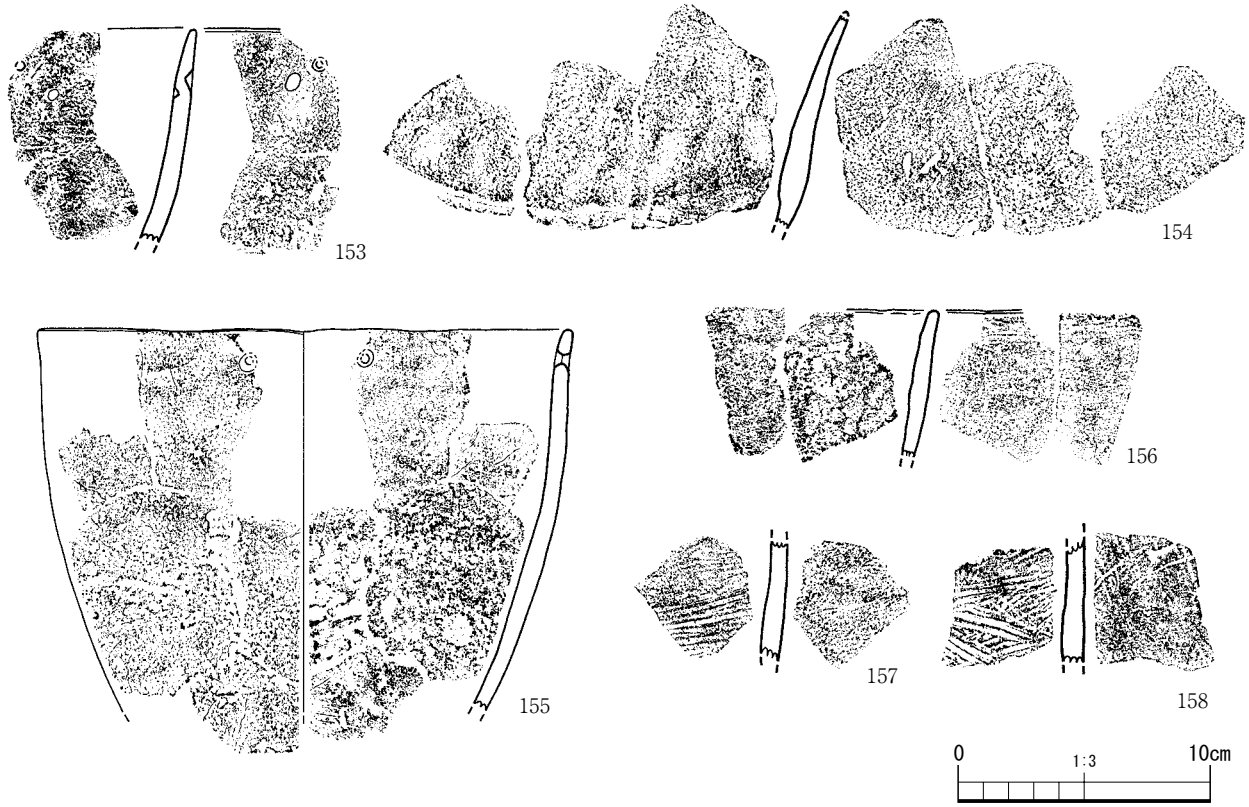
口縁は外に開き、頸部で窄まってから底部へ向かう器形で、沈線文や撚糸文を施すA式（90・95）と貝殻文や断面V字状の沈線文で施文するB式（91～94）がある。90は二重口縁状を呈しており、口唇部にキザミ、その下には横位の沈線文を施しており、穿孔も見られる。91・92は口縁部片で口唇部に貝殻腹縁刺突文、その下には貝殻腹縁押引文がみられる。93は円形の刺突文の下に斜格子状の沈線文を施す。95は壺型土器の破片の可能性が考えられる。

苦浜式土器（96）

外反する口縁部片で口唇部下に突起がみられる。

早期末条痕文土器（97～152）

口縁部は直口または外に向かって広がり、底部は窄まる器形を呈する。外面の調整は条痕、



第149図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器実測図⑧（S=1/3）

内面調整には条痕や条痕の後ナデを行う。口縁部片に注目すると以下のように細分した。

・1類（97～107・123・128～133・138・142・144）：外面全面に縦方向に浅い条痕を施した後、横方向や斜め方向に条痕を施して口唇部にキザミをいれるもの。138は流水文状の条痕がみられる。

・2類（108～111・113・121・134・135・137・141・143）：外面に大きい単位のやや深めの条痕を施して口唇部にキザミ入れるもの。135は穿孔が見られる

・3類（112・120）：内外面に斜め方向の条痕を施すもので波状の口縁部を呈するもの。

・4類（114～117・122・139・140・145・146・151）：外面に斜位の条痕により綾杉状に施文して口唇部にキザミを入れるもの

・5類（127）：沈線と条痕を組み合わせて、口唇部にキザミを入れるもの。

・6類（118・119・124～126・136）：上記以外のもので、斜位や横位に条痕を施して口唇部にキザミを入れるもの。

底部は極端に窄まるもので平底のもの（150・152）と上げ底状を呈するもの（148）とそうでないもの（147・149）がみられる。

無文土器（153～158）

やや外反する口縁部を呈し、底部へは窄まる器形が想定される。外面の調整はナデで、内面の調整はナデのもの（153～156）と条痕のもの（157・158）がある。153は穿孔と穿孔途中の痕跡が内外面にみられる。154の内面には粘土帯接合の段が見られ、口縁部に向けてナデ上げた単位が明瞭に確認される。156～158は内外面に繊維混入の痕跡がある。

第3項　基本土層4層から5層出土石器について

4層から5層にかけて縄文時代の石器が出土している。土器の分布状況と概ね同様の出土状況である。調査区の西端では桑ノ木津留産黒曜石、姫島産黒曜石、安山岩を使用する石器の分布が多く確認され、早期末条痕文土器の分布と重なる様子が確認される。それと同じ区域では石鏃やその未製品、欠損品の分布が多くみられる。以下に既存の分類に基づいて報告を行うが、その分類基準は第Ⅲ章第2節第3項に基づく。また規模等については第38・39表を示す。

石鏃（159～186）

本調査区では分類ができなかった欠損品の12点を含めて、総数で50点が出土している。使用石材としてはチャート、桑ノ木津留産黒曜石、姫島産黒曜石、頁岩が目立つ。基部の形態や加工の状況を見て以下の8種類に分類できた。

・1類（159～161）：基部の抉りのない平基鏃。4点出土している。

・2類（162～166）：基部の抉りが逆V字か逆U字を呈する特徴的で深いもの。いわゆる鍬形鏃である。7点出土している。

・3類（167～170）：基部の抉りが浅いもの。7点出土している。169は再加工のためか、尖端部に屈曲がみられる。

・4類（171～176）：基部の抉りが深いもの。8点出土している。

・5類（177・178）：鋸歯状の縁辺を呈するもの。3点出土している。

・6類（179～181）：素材剥片の形状を大きく残すもの。4点出土している。179は169のように先端部が屈曲している。181は後述の8類にも分類される脚部を呈している。

・7類（182～184）：局部磨製を施すもの。3点出土している。これらは鋸歯状の縁辺を呈しており、平面形は5類に類似する。

・8類（185・186）：脚部が屈曲して張り出すもの。2点出土している。

石鏃未製品（187～191）

10点出土している。チャート・桑ノ木津留産黒曜石が目立つ。188は素材剥片の打面部を残している。また調整初期段階のものと考えられる。191は緑色堆積岩製で全面磨製石鏃の未製品と考えられる。一見すると弥生時代の無茎磨製石鏃の未製品ともみえるような平面形を呈しているが5層出土である。また表面には光沢が確認される。

槍先形尖頭器（192）

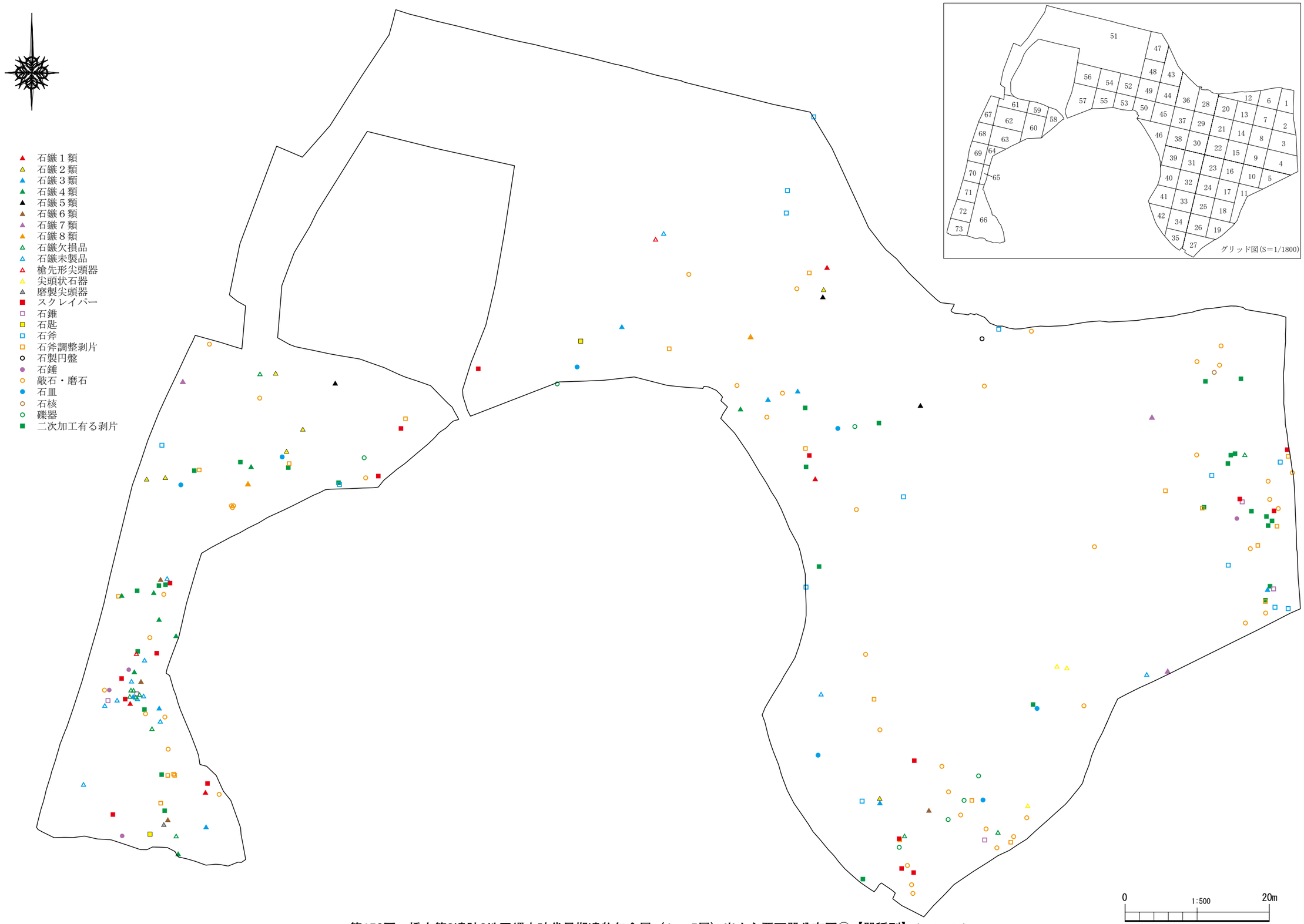
安山岩製の優品で、細身でアンシンメトリーに仕上げられており、側面の稜線はやや捻じれている。また断面形状もややいびつなレンズ状を呈している。調査区の西端部分で出土しており、平面分布上は早期末条痕文土器が分布しているが、土器が出土しなくなった5層下部から発見されたもので、早期末条痕文土器とは明確にレベル差を持って出土している。

磨製尖頭器（193）

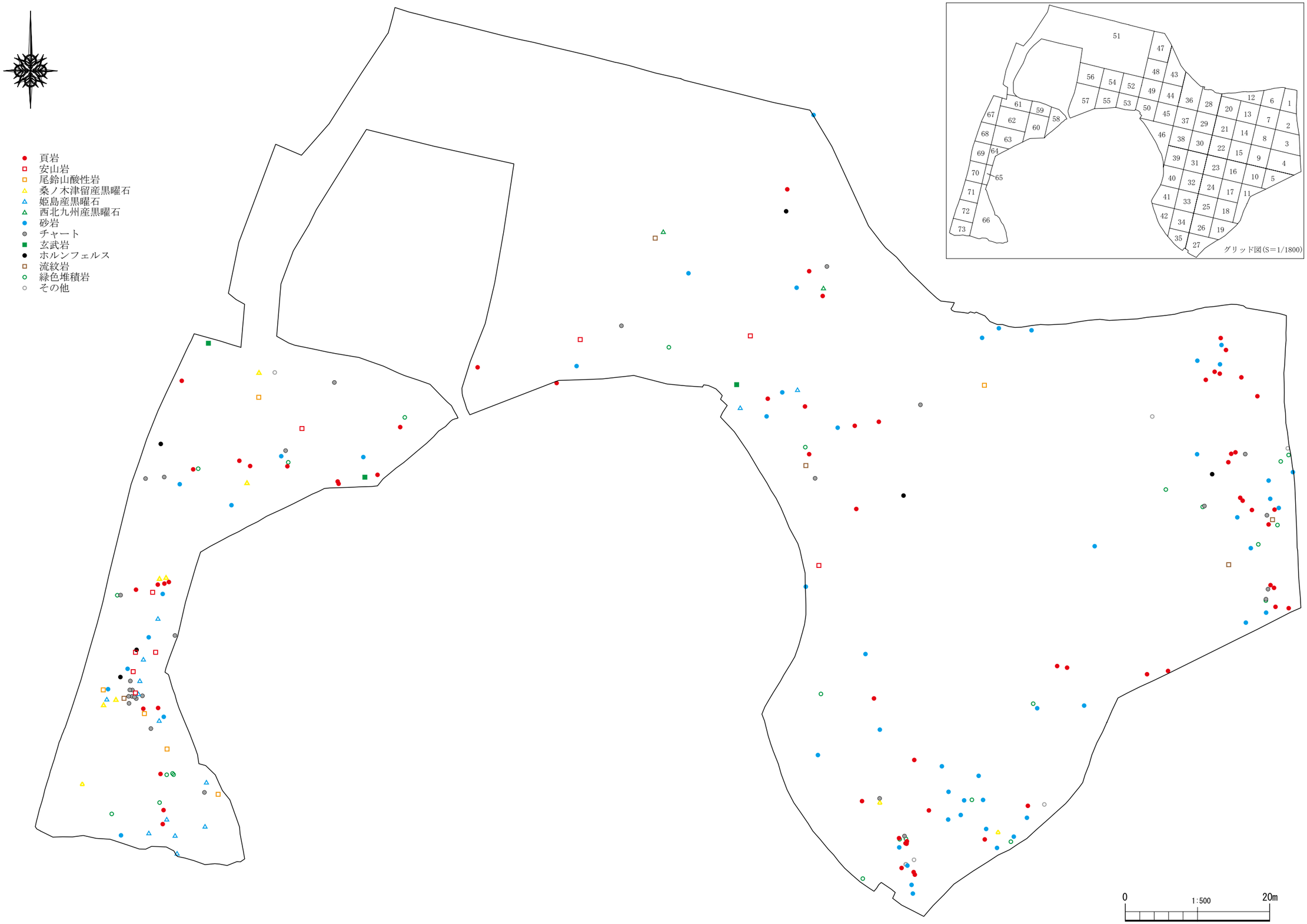
剥片を素材とし、周縁加工と研磨痕で柳葉形の平面形を整えている。緑色堆積岩製で尖頭部は鈍く、薄手での小型品である。

尖頭状石器（194・195）

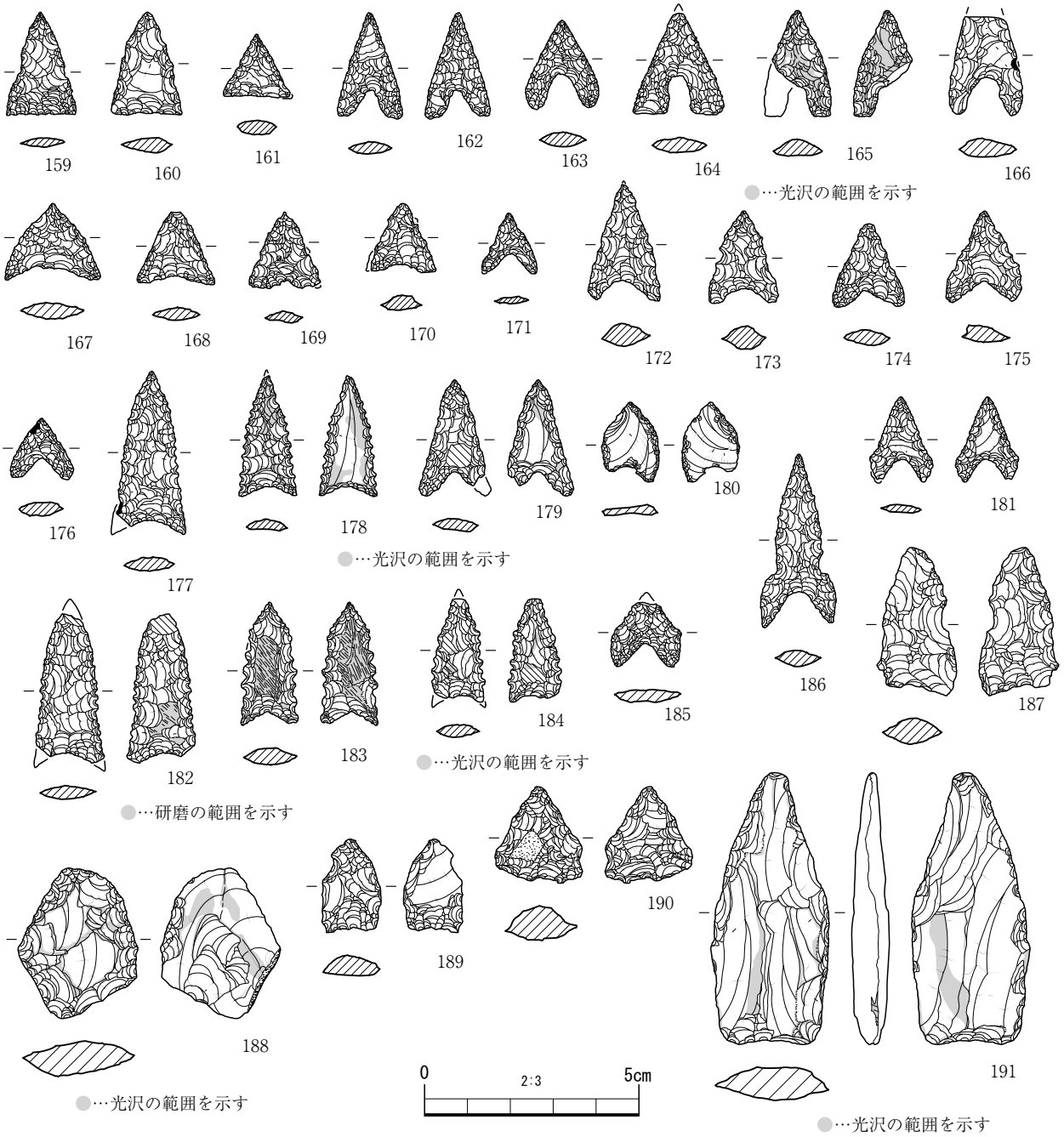
両者ともに頁岩製で、基部には光沢がみられるほどの研磨痕が確認されるため、もしかした



第150図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期遺物包含層（4 ～ 5層）出土主要石器分布図①【器種別】(S=1/500)



第151図　橋山第3遺跡2地区縄文時代早期遺物包含層（4 ～ 5層）出土主要石器分布図②【石材別】(S=1/500)



第152図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図①（S=2/3）

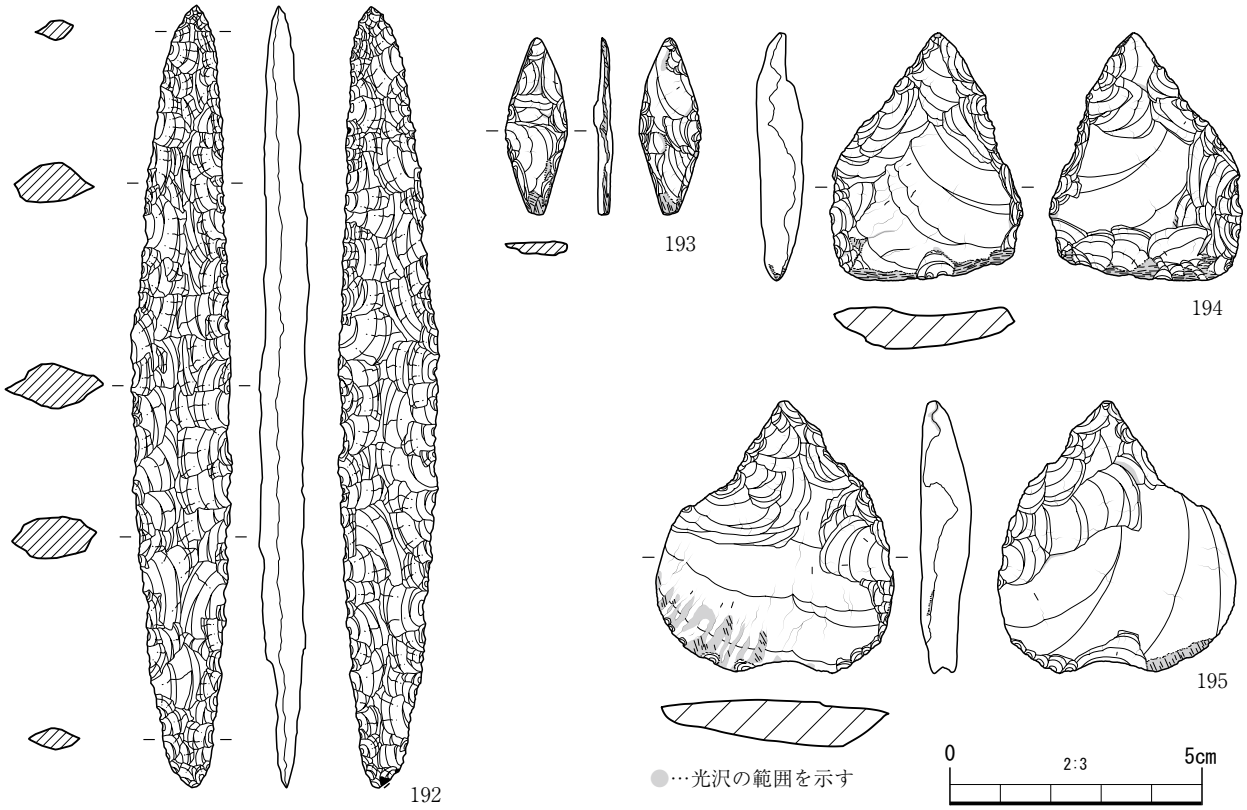
ら基部のほうが使用されていたものかもしれない。第1調査区から出土した尖頭状石器には見られなかった特徴である。

石錐（196～198）

剥片を素材として両面調整、半両面調整、または一部に調整を施して尖端（錐部）を作り出したものである。5点出土している。196は表面に光沢がみられ、握って使用した痕跡の可能性がある。197・198は両面調整で197は特に長い錐部を持つ。

石匙（199・200）

剥片を素材として両面調整または半両面調整、周縁調整によって全体の形状を整え、つまみ部分と刃部を作り出しているもの。横型が2点出土している。199は両面調整で200は周縁調整



第153図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図②（S=2/3）

のものである。200は右半部を大きく欠損している。左側端の調整も欠損後の再加工の可能性がある。

スクレイパー（201～207）

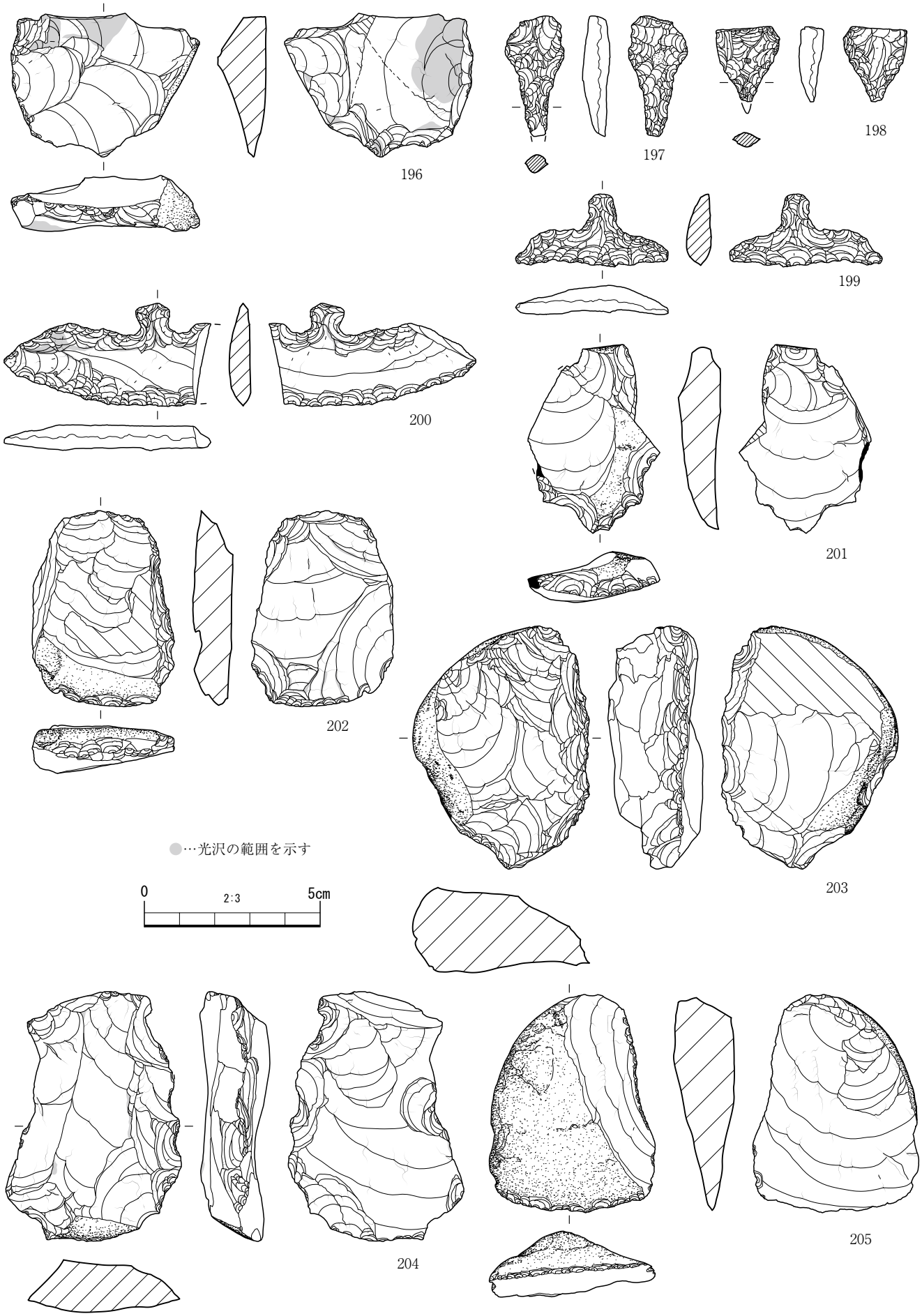
16点出土しており、頁岩製のものが多くみられる。201は背面左側を欠損しており、刃部は素材剥片の下部に設定されている。201と204の刃部は尖端部を作り出しているようにも見え、石錐の兼用品の可能性がある。202は素材剥片の背面右側縁から下部にかけて刃部が設定されている。205は素材剥片の下部に刃部を設定しているが、背面右側縁に微細剥離が確認される。206は姫島産黒曜石製の小型で、207は緑色堆積岩製の大型の削器である。

礫器（208～211）

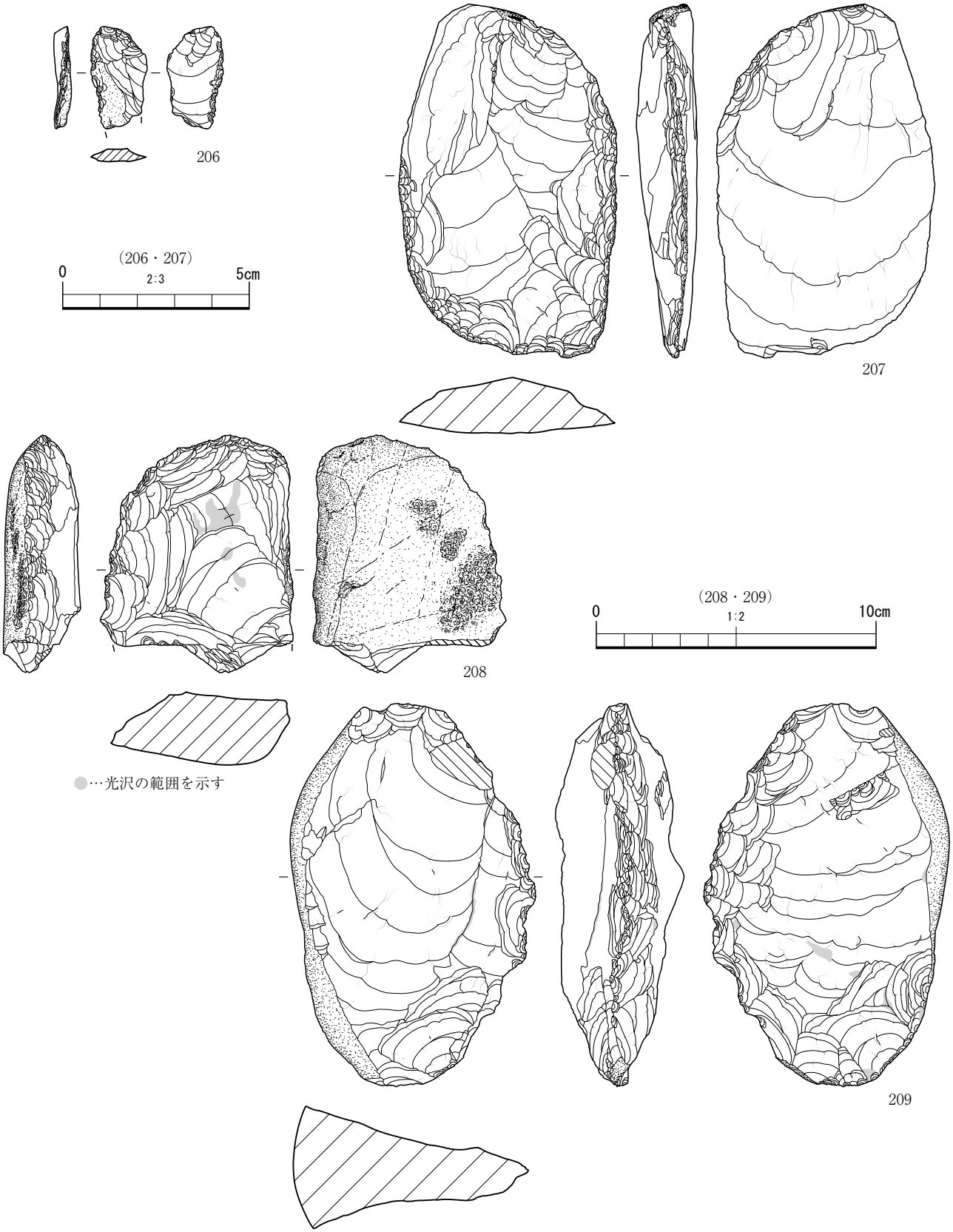
8点出土している。砂岩製のもの（210・211）と頁岩製のもの（208・209）があり、前者のほうが大きくて加工が粗いものが多い。なお、図示した頁岩製の2点は表面に光沢がみられる。208は礫面を持つ剥片を素材とするもので、下部を欠損しており、礫面には敲打痕が観察される。211は刃部の加工は小さく上下には敲打痕がみられる。

石斧（212～216）

接合状態のものもあり、未製品、欠損品も含めて13個体が出土している。ホルンフェルスが4点、砂岩と頁岩が各3点、流紋岩と緑色堆積岩が各1点という使用状況である。212は流紋岩製で全面を磨き上げているが、両面に自然面をわずかに残すことから扁平な礫素材のものと考えられる。刃部の一部に調整が行われており、刃部再生の途中だったかもしれない。213・214は

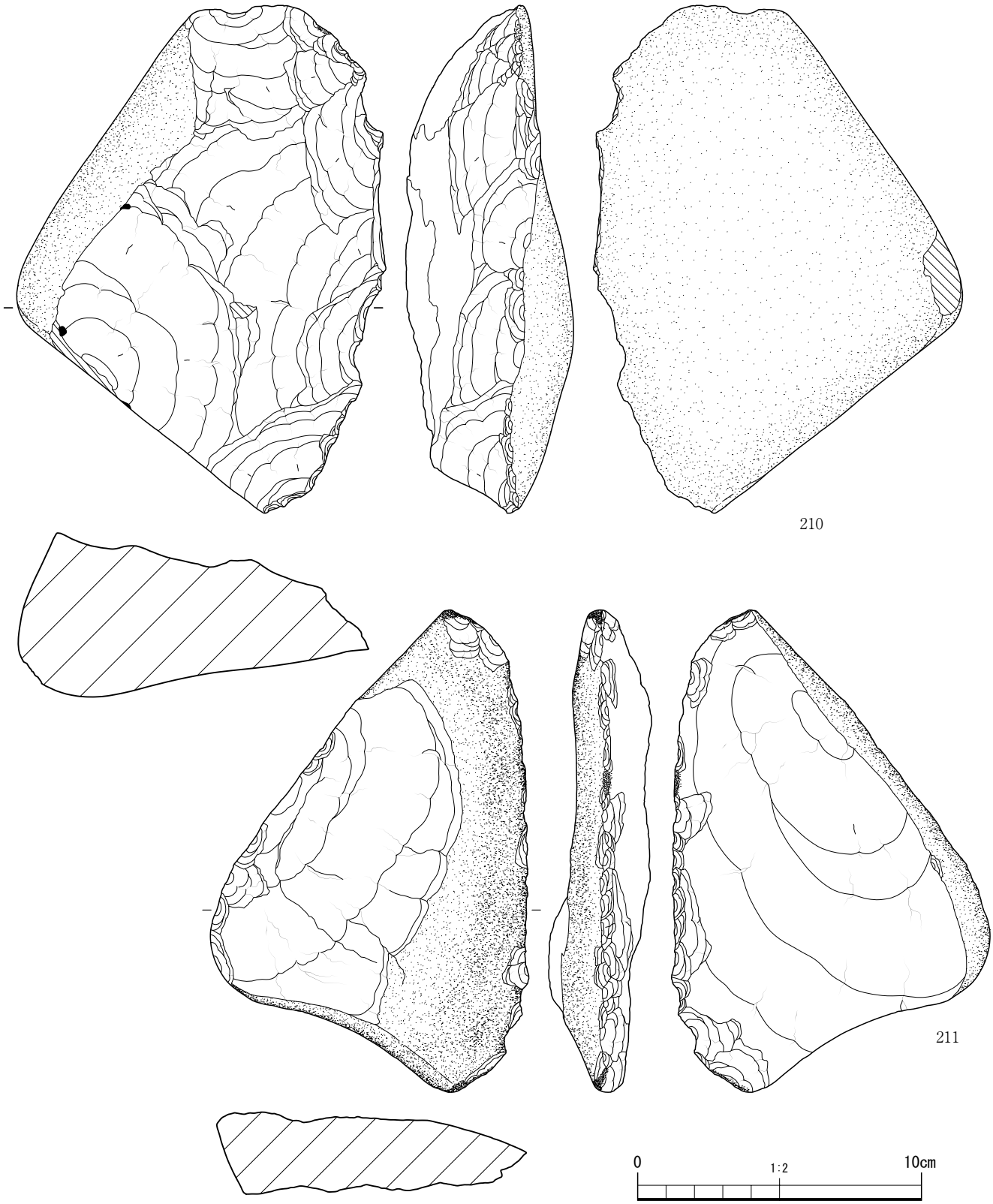


第154図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図③（S=2/3）



第155図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図④（S=2/3・1/2）

分割礫を素材とする。213は砂岩製で側縁部には敲打痕がみられる。刃部と設定したであろう下部には研磨痕がみられるが、鋭角には整えられておらず未製品と考えられる。215はホルンフェルス製で両面調整を行い、刃部付近に研磨を施しているので剥離面の稜線が鈍くなってい

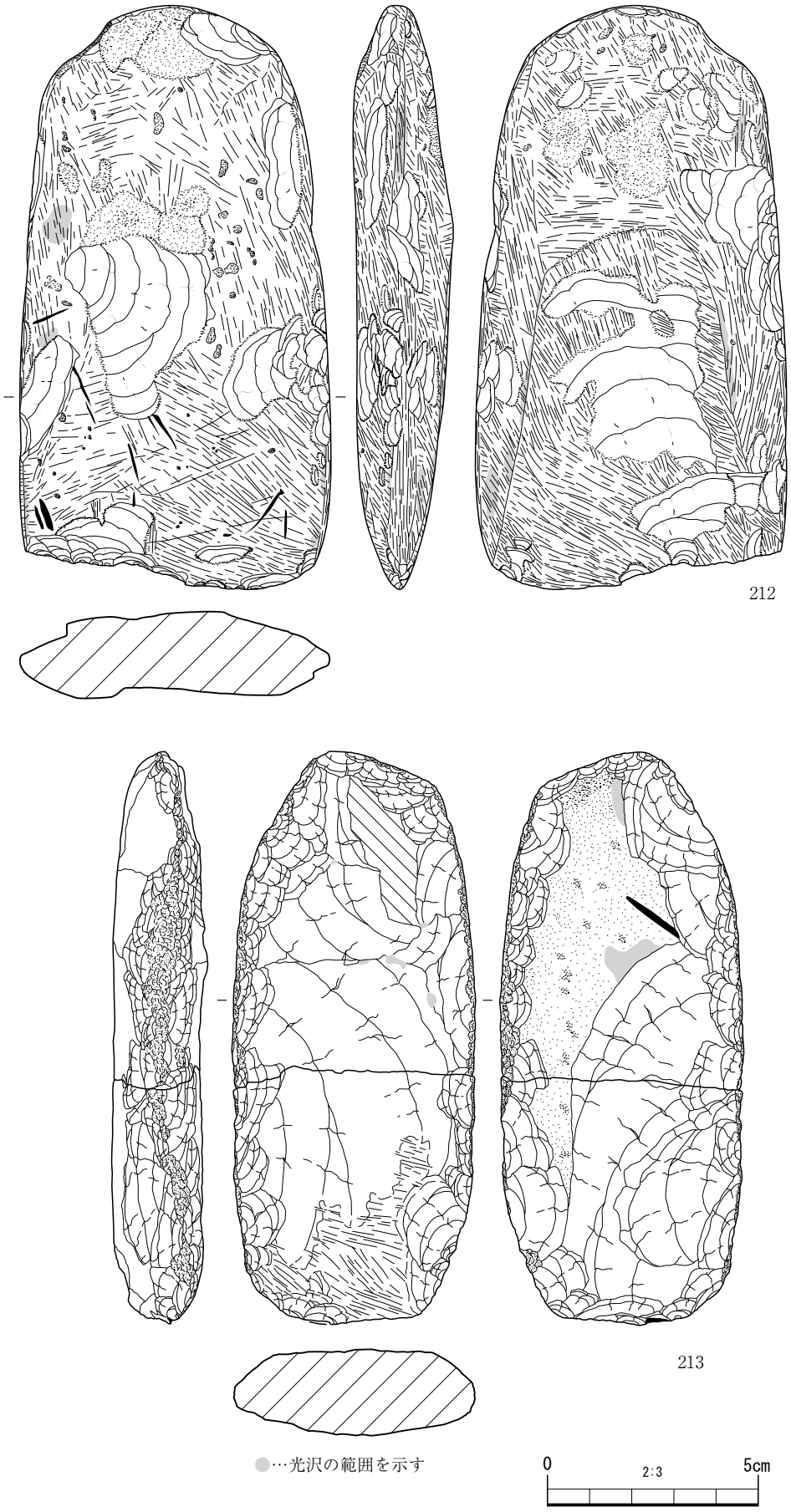


第156図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑤（S=1/2）

る。215・216からは敲打痕は確認されない。

石斧調整剥片（217～220）

20点出土している。頁岩製のものが1点で、他はすべて緑色堆積岩製のものである。219は表面に研磨痕が確認されるので、再加工のための調整剥片と考えられる。220は大振りの剥片で



第157図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑥（S=2/3）

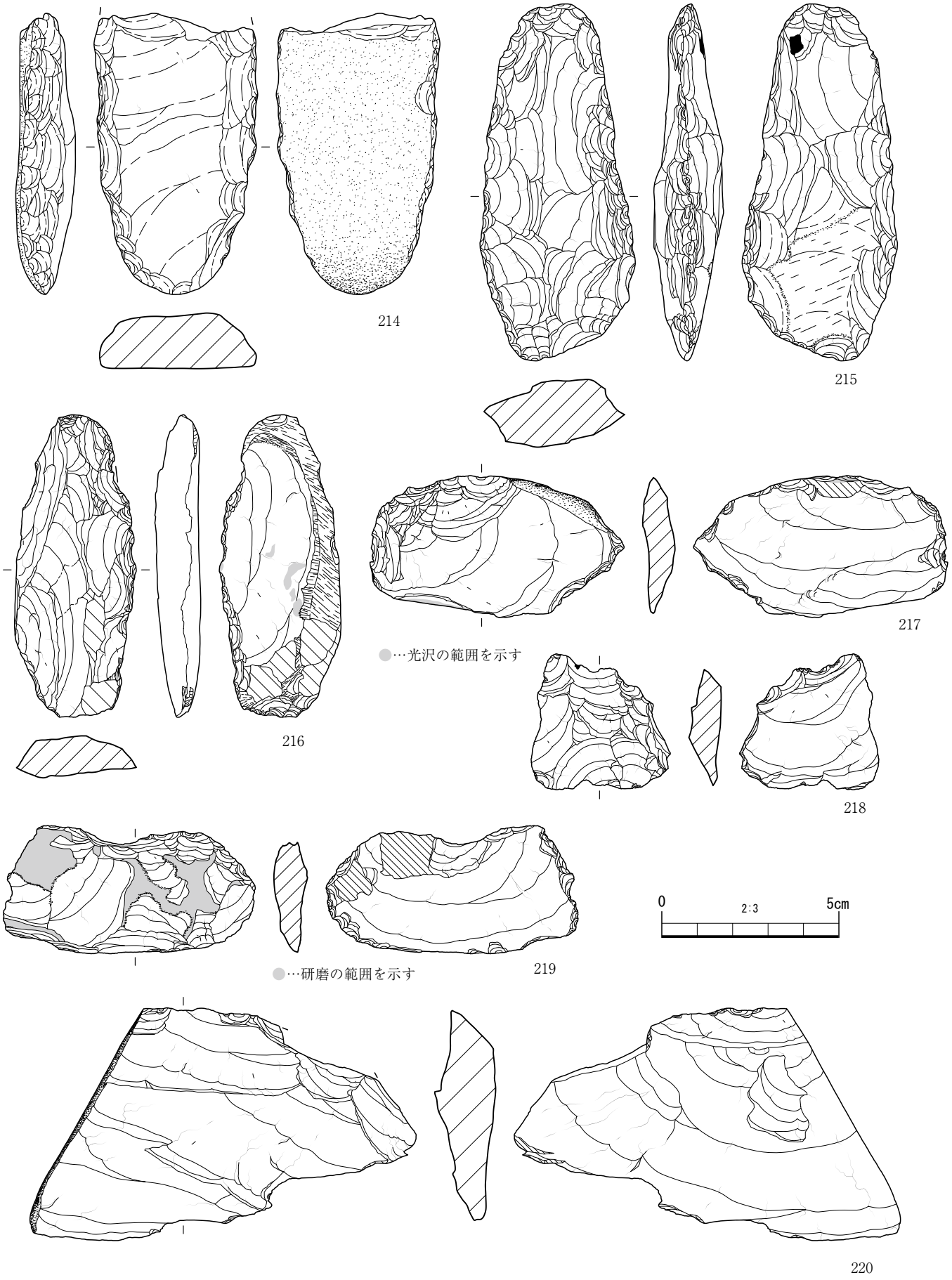
製作初期段階のものか、素材剥片が欠損して廃棄されたものと考えられる。

二次加工有る剥片（221～226）

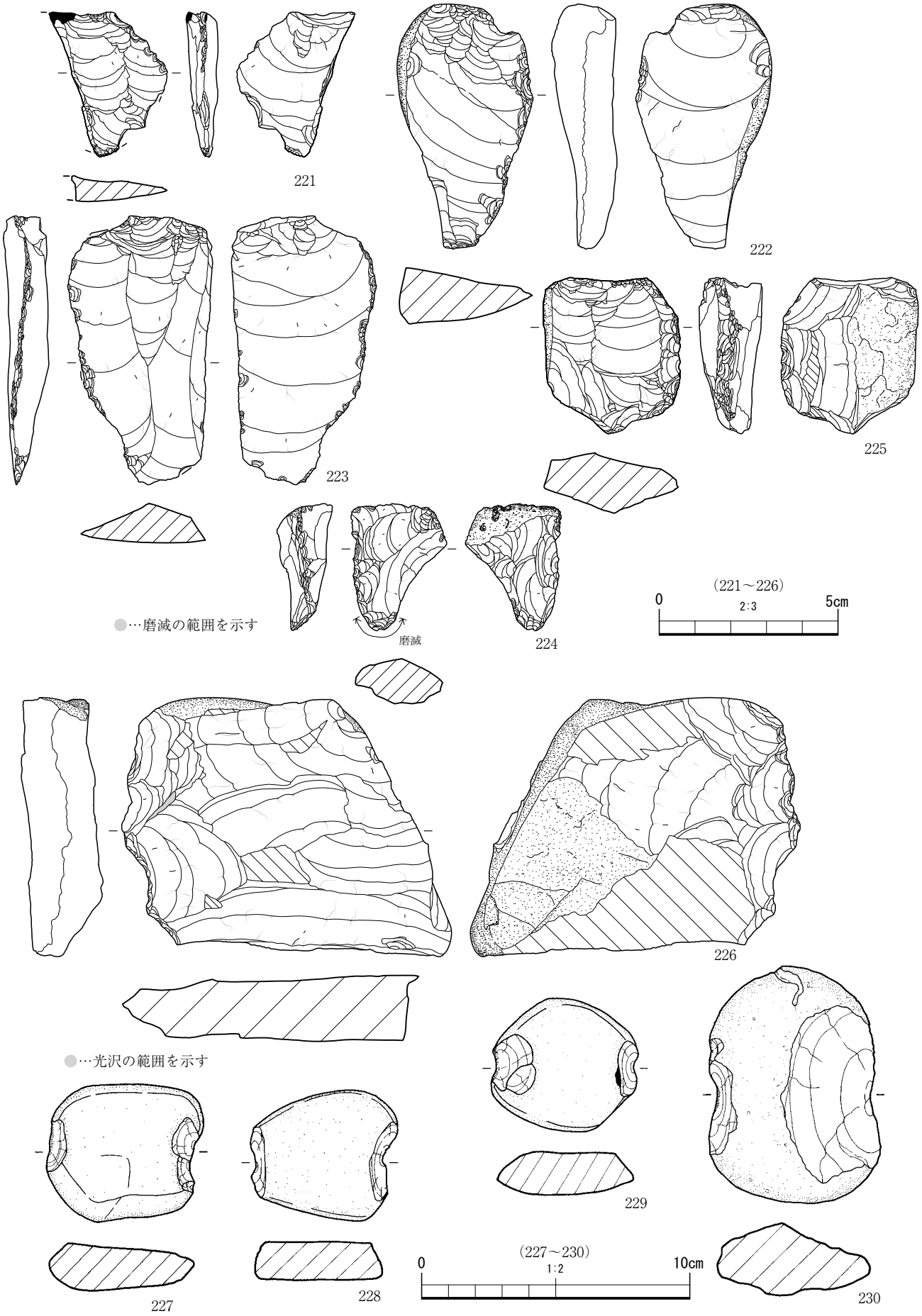
25点出土しており、頁岩製のものが16点と最も多い。221は不定形な剥片で、背面左半部を欠損している。222・223は縦長剥片で222は背面右側縁部に、223は左側縁部に加工がみられる。224は安山岩製で不定形な剥片の背面左側縁から下端部にかけて調整が行われており、下端部については稜線が鈍くなっている。225・226は緑色堆積岩製で両者ともに石核の可能性もある。

石錘（227～230）

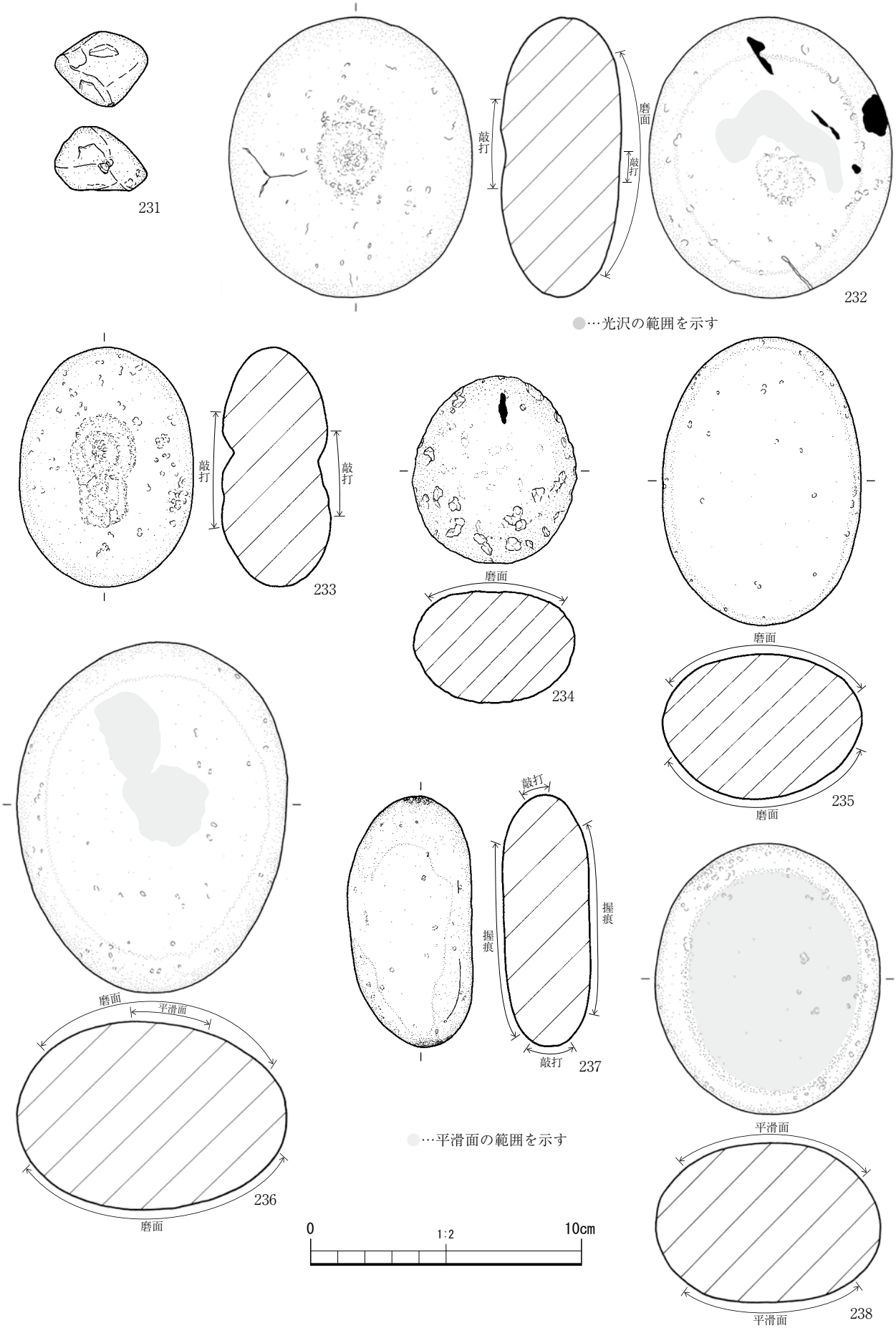
礫を素材としてその一部を打ち欠いて抉り部分を作り出すものである。砂岩製のものばかりが4点出土している。



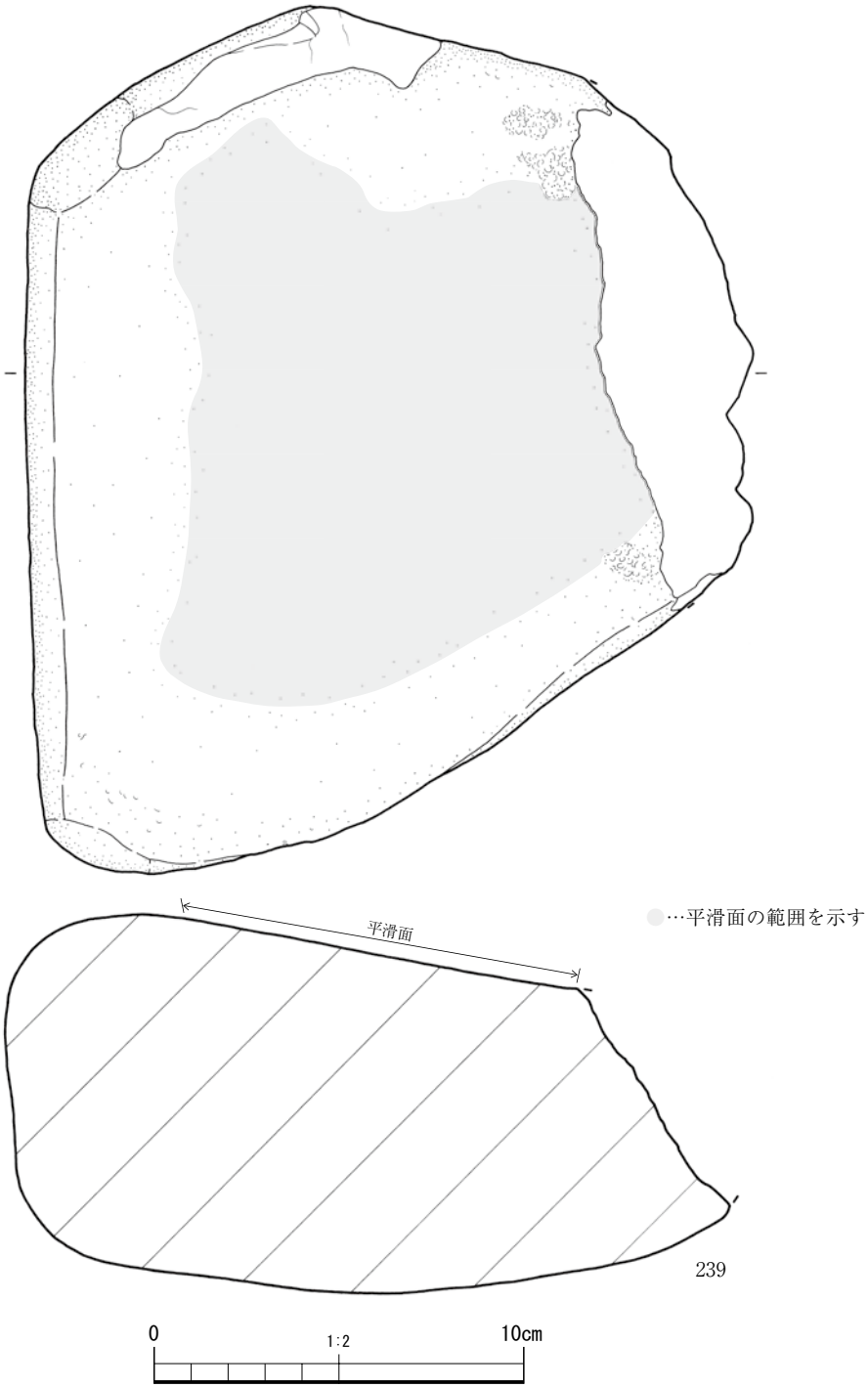
第158図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑦（S=2/3）



第159図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑧（S=2/3・1/2）



第160図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑨（S=1/2）



第161図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑩（S=1/2）

230は素材礫の長辺に抉り部分を設定しており、その他は短辺に設定している。

敲石・磨石（231～238）

41点出土している。その内訳は砂岩製が31点、尾鈴山酸性岩製が6点、凝灰岩製のものが3点、頁岩製が1点となっており、砂岩のものが突出している。後述する基本土層2層出土のものは凝灰岩製のものが最も多い状況であり、本遺跡においてはこの石器に主体的に用いる石材に変化がみられるようである。231は頁岩製の小型品で23.1gしかなく、石器製作の二次加工用のものであろう。232・236は磨石の兼用品で、表面には光沢がみられるほど使い込まれている。233

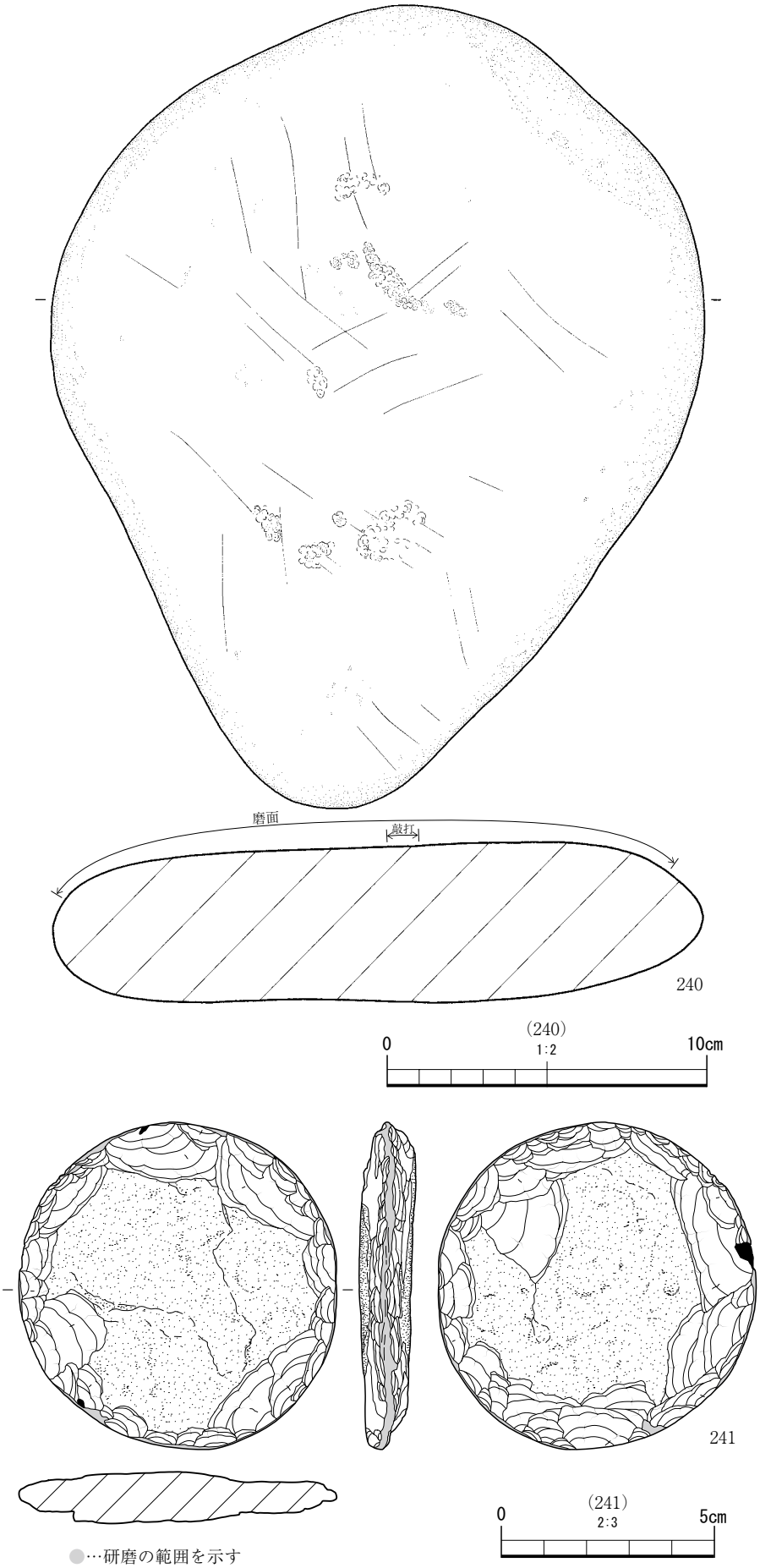
は両面に凹み部分が数箇所みられる。234は凝灰岩製の磨石で使用されている平坦面上では自然面の稜線がなくなっている。237は長楕円形の礫で平坦面を磨石に、端部を敲石に使用するものである。

石皿（239・240）

砂岩製のものばかり7点出土している。239は右側を欠損している平坦面には平滑面がみられる。240は平坦面に擦痕と敲打痕がみられる。

石製円盤（241）

扁平な礫を素材とし、その周縁に加工を施した後に研磨を施して全体の形状を円盤型に整えるもの。241は砂岩礫を素材としており、周縁加工を行い。その際にできた稜線を丸く整えるように研磨が施されている。



第162図　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器実測図⑪（S=2/3・1/2）

第35表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表①

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測番号
p.212 第142図	46	4層＋5層	縄文 深鉢	(20.1)	－	－	灰褐 7.5YR4/2	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	刺突文・貝殻腹縁押引文 条痕文	条痕後ナデ	2 少	2 僅		前平式　穿孔有 口唇部キザミ	49
	47	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	刺突文・条痕文	ナデ	1 少			前平式　口唇部キザミ	51
	48	5層＋7層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	刺突文・貝殻腹縁押引文 条痕文	ナデ	1 少	2 僅		前平式　口唇部キザミ	50
	49	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	貝殻腹縁刺突文 条痕文	条痕後ナデ	1 僅	2 僅		前平式	52
	50	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	2 少			前平式	69
	51	7層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 僅	1 僅		前平式	53
	52	7層	縄文 深鉢	－	(14.4)		にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕文	ナデ・指押さえ	1 少	2 僅		前平式 網代底	54
	53	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 2.5YR6/3	灰白 7.5YR8/2	良好	条線文・ナデ	ナデ	1 僅	3 多		中原式	130
	54	5層	縄文 深鉢	(16.0)	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	明褐灰 7.5YR7/1	良好	条線文・ナデ	ナデ	1 僅	2 僅		中原式	127
	55	5層＋4層	縄文 深鉢	(21.0)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	灰白 10YR8/1	良好	条線文	ナデ	1 僅	2 多		中原式	128
	56	4層＋5層	縄文 深鉢	(22.0)	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰白 10YR8/1	良好	条線文	丁寧なナデ	2 少	3 少		中原式	129
	57	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR4/2	良好	条痕文	ナデ	1 少			別府原式	70
p.215 第143図	58	5層	縄文 深鉢	－	(13.0)	－	にぶい橙 7.5YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕後ナデ	ナデ	1 少	1 僅		前平式	144
	59	4層＋5層	縄文 深鉢	(21.0)	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 少	1 僅		下剥峯式 穿孔有（3か所）	131
	60	4層	縄文 深鉢	(18.2)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 少	1 僅		下剥峯式	132
	61	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 少	1 少		下剥峯式　穿孔有	133
	62	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		下剥峯式	134
	63	5層	縄文 深鉢	－	－	－	明黄褐 2.5YR6/6	明黄褐 10YR6/6	良好	櫛状工具刺突文 ナデ	丁寧なナデ	2 僅			下剥峯式	135
	64	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	橙 7.5YR6/6	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 少	1 僅		下剥峯式	136
	65	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 少	1 僅		下剥峯式	137
	66	4層＋5層	縄文 深鉢	－	(14.2)	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	貝殻腹縁刺突文 ナデ	ナデ	1 僅	1 僅		下剥峯式	139
	67	4層	縄文 深鉢	－	－	－	明赤褐 5YR5/6	明赤褐 5YR5/6	良好	短沈線羽状文	ナデ	1 少	1 僅		桑ノ丸式	142
	68	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	櫛状工具刺突文 短沈線羽状文	ミガキ	2 多	1 少		辻タイプ	140
	69	4層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	明赤褐 5YR5/6	良好	短沈線羽状文 櫛状工具刺突文	丁寧なナデ	2 少	1 僅		辻タイプ	141
	70	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	短沈線文・ナデ	ナデ	1 少	2 少		桑ノ丸式	138
	71	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	短沈線文・ナデ	ナデ	1 少		1 少	桑ノ丸式	146
	72	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	短沈線文・ナデ	ナデ	1 少	1 少		桑ノ丸式	143
	73	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	短沈線羽状文	ナデ	2 多			桑ノ丸式	145
p.216 第144図	74	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	短沈線文・ナデ	ナデ	1 少	1 僅		桑ノ丸式	147
	75	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	短沈線羽状文	ナデ	1 多	1 僅	1 僅	桑ノ丸式	150
	76	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕文・ナデ	丁寧なナデ	1 多	1 僅		桑ノ丸式	148
	77	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文	ナデ	2 多	1 僅		桑ノ丸式	149
	78	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕文	ナデ	1 少	1 僅		桑ノ丸式	154
	79	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 少	2 少		桑ノ丸式 外面未貫通穿孔有	151
	80	5層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 5YR6/6	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 少	1 少		桑ノ丸式	152
	81	4層	縄文 深鉢	－	－	－	橙 7.5YR6/6	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ミガキ・条痕文	指押さえ 丁寧なナデ	1 少	1 少		桑ノ丸式	153
	82	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	楕円押型文	ナデ	微 少	1 僅		1類	60
	83	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	灰褐 7.5YR4/2	良好	楕円押型文	ナデ	1 少			3類	59

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第36表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表②

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測番号
p.216 第144図	84	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	楕円押型文	ナデ	1 少			3類	58
	85	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	灰褐 7.5YR4/2	良好	楕円押型文	楕円押型文 工具ナデ	1 少	1 僅		4類類 口唇部内面原体条痕	62
	86	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	楕円押型文	工具ナデ	1 少			4類	63
	87	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	短技回転文	ナデ	1 少				61
	88	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	灰褐 7.5YR4/2	良好	縄文	粗いナデ （不明瞭）	1 多	微 僅			157
	89	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/4	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	キザミ目突帯 縄文・ナデ	ナデ （風化気味）	1 僅	0.5 僅		平椿式	162
	90	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	沈線文・ナデ	ナデ	1 多	1 少		塞ノ神A式 口唇部キザミ　穿孔有	55
	91	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ・貝殻腹縁 押引文	ナデ			1 多	塞ノ神B式 口唇部キザミ	56
	92	4層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ・貝殻腹縁 押引文	ナデ	微 少		1 少	塞ノ神B新式 口唇部キザミ	57
	93	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/2	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	刺突文 ナデ・沈線文	ナデ（風化著しい・ 剥離気味）	2 多			塞ノ神B式	79
	94	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	ナデ・沈線文	剥がれ （内面なし）	1 僅			塞ノ神B式	78
	95	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	ナデ・工具条痕文	ナデ	1 少			塞ノ神A式	77
	96	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	ナデ・突帯 押圧キザミ	ナデ	1 少	1 少		苦浜式	94
p.217 第145図	97	4層	縄文 深鉢	(23.4)	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文	条痕文	2 多			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	155
	98	4層	縄文 深鉢	(14.6)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	浅黄 2.5YR7/3	良好	条痕文	条痕文	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	118
	99	5層＋4層	縄文 深鉢	(15.6)	－	－	浅黄橙 10YR8/3	淡黄 2.5Y8/3	良好	条痕文	指押さえ ナデ	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	113
	100	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR4/2	良好	条痕文 キザミ	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	126
	101	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	条痕文	条痕文	1 多			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	119
	102	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR7/4	良好	条痕文	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	124
	103	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR7/3	良好	条痕文	ナデ	1 僅			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	111
	104	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	黄褐 2.5YR5/3	良好	条痕文	ナデ		1 僅	1 少	早期末条痕文土器 口唇部キザミ	116
	105	5層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄橙 10YR8/2	浅黄橙 10YR8/2	良好	条痕文	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器 口唇部キザミ 僅かな波状口縁	125
	106	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR7/4	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	綾杉状条痕文	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	114
	107	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR4/2	黄褐 2.5YR5/4	良好	条痕文	条痕文	1 僅		1 少	早期末条痕文土器 口唇部キザミ	123
	108	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	暗灰黄 2.5YR5/2	良好	工具条痕文	ナデ	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	84
	109	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	工具条痕文	指押さえ・工具 条痕文	2 多			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	82
	110	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/4	良好	工具条痕文 （一部風化）	指押さえ・工具 条痕文	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	83
p.218 第146図	111	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	工具条痕文	工具条痕	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	80
	112	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	条痕文			1 多	早期末条痕文土器 波状口縁	89
	113	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	工具条痕文	ナデ	1 多	1 僅		早期末条痕文土器 口唇部キザミ　波状口縁	86
	114	5層	縄文 深鉢	(27.2)	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	明褐灰 7.5YR7/1	良好	条痕文（綾杉状） ナデ	条痕文	2 多			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	98
	115	4層＋5層	縄文 深鉢	(21.8)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	ナデ	2 少		1 多	早期末条痕文土器 口唇部キザミ	97
	116	4層	縄文 深鉢	(25.6)	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	工具条痕 （一部風化）・ナデ	工具ナデ （風化著しい）	1 多	2 少		早期末条痕文土器 口唇部キザミ	91
	117	4層	縄文 深鉢	(13.4)	－	－	灰黄褐 10YR5/2	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	条痕文	条痕後ナデ	微 僅		1 多	早期末条痕文土器 口唇部キザミ	104
	118	4層	縄文 深鉢	(12.2)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	条痕文	微 多			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	107
	119	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	工具条痕文	工具条痕文	3 少	1 少		早期末条痕文土器 口唇部キザミ	92
	120	4層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 10YR4/1	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	条痕文	条痕文	1 少		2 多	早期末条痕文土器 波状口縁	88
	121	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	工具条痕	工具ナデ ナデ	2 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ　波状口縁	65

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第37表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土土器観察表③

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測番号
p.218 第146図	122	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰褐 7.5YR4/2	良好	条痕文	ナデ（磨滅により不明瞭）	1 多			早期末条痕文土器 口唇部外面キザミ	109
	123	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/4	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	工具条痕	工具ナデ	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	67
	124	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	72
	125	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文	工具ナデ・ナデ	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	71
	126	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	暗灰黄 2.5Y5/2	良好	工具条痕文	工具条痕文	1 少			早期末条痕文土器 口唇部キザミ	66
p.219 第147図	127	4層	縄文 深鉢	(31.4)	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文・沈線文	条痕文（全体的に磨滅不明瞭）	1 少	2 僅		早期末条痕文土器 口唇部外面に不規則なキザミ　外面スス付着	99
	128	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	条痕文	条痕文・ナデ	1 少	1 僅		早期末条痕文土器	121
	129	4層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐 7.5YR5/8	明褐 7.5YR5/6	良好	条痕文	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器	115
	130	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR7/4	にぶい黄褐 10YR7/4	良好	条痕文	ナデ	1 少		1 少	早期末条痕文土器	120
	131	4層	縄文 深鉢	－	－	－	明赤褐 5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	条痕文	条痕文・ナデ	1 多			早期末条痕文土器	112
	132	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	条痕文	条痕文	1 僅	1 僅		早期末条痕文土器	117
	133	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	褐灰 10YR5/1	良好	条痕文	ナデ	1 少		1 少	早期末条痕文土器	122
	134	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	工具条痕文 (風化気味)	ナデ	1 多			早期末条痕文土器	81
	135	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	工具条痕文	ナデ	1 僅			早期末条痕文土器 穿孔有	85
	136	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR6/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	工具条痕文	ナデ	1 少	1 僅		早期末条痕文土器	90
	137	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	2 少	2 僅		早期末条痕文土器	106
	138	4層+？層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	灰黄褐 10YR4/2	良好	条痕文 (流水文状)	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器	105
	139	4層＋5層	縄文 深鉢	－	－	－	明黄褐 10YR6/6	明黄褐 10YR6/6	良好	条痕文	ナデ	1 少	1 僅		早期末条痕文土器	110
	140	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい橙 7.5YR7/4	浅黄橙 10YR8/3	良好	条痕文（綾杉状）	ナデ	2 多	1 少		早期末条痕文土器	96
p.220 第148図	141	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	工具条痕文	ナデ (風化気味)	1 僅	1 僅		早期末条痕文土器	87
	142	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	条痕文	1 少			早期末条痕文土器	76
	143	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	赤灰 2.5YR4/1	良好	条痕文	条痕文	1 僅			早期末条痕文土器	75
	144	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	条痕文（全体的に磨滅不明瞭）	1 多	1 僅		早期末条痕文土器	100
	145	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文	ナデ	1 少			早期末条痕文土器	64
	146	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR4/2	灰褐 7.5YR4/2	良好	条痕文	条痕文	1 少			早期末条痕文土器	68
	147	4層＋5層	縄文 深鉢	－		－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	工具条痕文・ナデ	ナデ・指押さえ	1 少			早期末条痕文土器	74
	148	4層	縄文 深鉢	－	(3.4)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	灰褐 7.5YR5/2	良好	条痕文（全体的に剥離磨滅不明瞭）	ナデ	2 少	1 僅		早期末条痕文土器	108
	149	4層	縄文 深鉢	－	(8.2)	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	工具ナデ	ナデ	1 僅			早期末条痕文土器	73
	150	4層	縄文 深鉢	－	(4.5)	－	にぶい褐 7.5YR5/3	褐灰 7.5YR4/1	良好	条痕文	条痕文	1 少			早期末条痕文土器	101
	151	4層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	条痕文 (劣化著しい)	1 少			早期末条痕文土器	102
	152	4層	縄文 深鉢	－	(5.4)	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文・ケズリ	ナデ・指押さえ	2 僅			早期末条痕文土器	103
p.221 第149図	153	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 少	1 少		無文土器　穿孔有 内外面未貫通穿孔有	159
	154	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	ナデ	指ナデ後ナデ	1.5 多	1 僅	1 僅	無文土器	163
	155	4層+5層	縄文 深鉢	(20.8)	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	ナデ	ナデ	1 少	1 僅		無文土器　陽弓式か 穿孔有	156
	156	5層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	ナデ	粗いナデ	1 少	微 僅		無文土器　繊維混入	160
	157	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR5/4	良好	ナデ	条痕文	1 僅			無文土器　繊維混入	158
	158	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	灰褐 7.5YR4/2	良好	ナデ	条痕文	1 少	1 少		無文土器　繊維混入	161

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第38表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器観察表①

掲載頁	掲載	出土位置	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	備考	実測
図番号	番号	(グリッド・層・番号)			(cm)	(cm)	(cm)	(g)		番号
p.227 第152図	159	K　5層　826	石鏃	チャート	2.40	1.60	0.20	0.70	1類	254
	160	71G　5層　3663	石鏃	チャート	2.40	1.65	0.35	1.30	1類	256
	161	43G　5層　1926	石鏃	頁岩	(1.50)	(1.55)	0.35	(0.60)	1類　脚部欠損	255
	162	62G　5層　2564	石鏃	チャート	2.50	1.50	0.30	0.80	2類	259
	163	68G　5層　3743	石鏃	チャート	2.10	1.70	0.35	0.90	2類	258
	164	34G　5層　1205	石鏃	チャート	(2.40)	2.10	0.35	(1.20)	2類　先端部欠損	260
	165	44G　4層　3403	石鏃	チャート	2.45	(1.60)	0.40	(0.90)	2類　脚部欠損　光沢有	261
	166	62G　4層　2326	石鏃	安山岩	(2.30)	1.70	0.45	(1.40)	2類　先端部欠損	257
	167	55G　4層　2966	石鏃	チャート	1.80	2.20	0.40	1.20	3類	265
	168	50G　5層　1761	石鏃	安山岩	1.70	1.80	0.30	0.70	3類　使用痕有	262
	169	34G　7層　1411	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	1.80	(1.65)	0.25	(0.50)	3類　脚部・側縁部欠損	263
	170	45G　4層　2789	石鏃	黒曜石（姫島）	1.60	(1.50)	0.35	(0.50)	3類　側縁部欠損	264
	171	T8A　4層　2154	石鏃	チャート	1.40	1.30	0.15	(0.20)	4類　脚部欠損	267
	172	63G　4層　2951	石鏃	頁岩	(2.70)	1.70	0.55	(1.60)	4類　先端部欠損	268
	173	70G　4層　2919	石鏃	黒曜石（姫島）	2.15	1.60	0.50	1.10	4類	266
	174	H　5層　672	石鏃	黒曜石（姫島）	1.95	1.70	0.40	0.80	4類	269
	175	70G　4層　3257	石鏃	安山岩	2.15	1.75	0.40	0.90	4類　光沢有	271
	176	71G　4層　3185	石鏃	安山岩	1.40	1.45	0.35	0.40	4類	270
	177	59G　5層　4135	石鏃	チャート	3.80	(1.60)	0.35	(1.90)	5類　脚部欠損	273
	178	44G　5層　3402	石鏃	頁岩	(2.80)	1.35	0.25	(0.90)	5類　先端部欠損　光沢有	272
	179	26G　4層　856	石鏃	頁岩	2.70	(1.55)	0.30	(1.00)	6類　脚部欠損　光沢有	274
	180	69G　5層　3720	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	1.85	1.35	0.25	0.50	6類	275
	181	66G　4層　2237	石鏃	黒曜石（姫島）	2.00	1.45	0.20	(0.40)	6類　脚部欠損	276
	182	11G　6層　1032	石鏃	ホルンフェルス	(3.50)	(1.60)	0.35	(1.80)	7類　先端部・脚部欠損 研磨痕有	277
	183	7G　5層　1760	石鏃	ホルンフェルス	2.90	1.35	0.40	(1.40)	7類　側縁部欠損　研磨有	278
	184	67G　4層　3648	石鏃	頁岩	(2.40)	(1.25)	0.30	(0.90)	7類　先端部・脚部欠損　光沢有	279
	185	63G　4層　2952	石鏃	黒曜石（桑ノ木津留）	(1.50)	1.65	0.30	(0.60)	8類　先端部欠損	280
	186	49G　4層　3577	石鏃	安山岩	4.05	1.75	0.40	1.70	8類	281
	187	71G　4層　4200	石鏃未製品	チャート	3.45	1.85	0.60	3.60		284
	188	11G　5層　913	石鏃未製品	頁岩	3.50	2.80	0.80	7.80	光沢有	282
	189	66G　4層　2342	石鏃未製品	黒曜石（姫島）	2.20	1.40	0.55	1.60		283
	190	73G　4層　3670	石鏃未製品	黒曜石（桑ノ木津留）	2.25	2.00	0.80	3.00		285
	191	41G　5層　717	磨製石鏃未製品	緑色堆積岩	6.35	2.75	0.90	15.00	光沢有	294
p.228 第153図	192	71G　5層　3729	槍先形尖頭器	安山岩	15.45	2.00	0.90	24.70		315
	193	66G　5層　2555	磨製尖頭器	緑色堆積岩	3.50	1.25	0.35	1.40	研磨痕有	293
	194	17G　5層　1444	尖頭状石器	頁岩	4.90	3.85	0.95	15.60	研磨痕・光沢有	291
	195	17G　4層　1054	尖頭状石器	頁岩	5.40	4.70	1.00	23.60	研磨痕・光沢有	292
p.229 第154図	196	4G　4層　1644	石錐	頁岩	4.10	5.35	1.60	32.10	光沢有	288
	197	71G　4層　3146	石錐	黒曜石（姫島）	(3.45)	1.70	0.80	(3.30)	錐部欠損	286
	198	71G　5層　3654	石錐	安山岩	(2.15)	1.80	0.70	(2.60)	錐部欠損　光沢有	287
	199	66G　4層　2395	石匙	黒曜石（姫島）	2.05	4.35	0.85	3.40		290
	200	55G　5層　3006	石匙	安山岩	2.95	(5.90)	0.75	(11.70)	右半部欠損　光沢有	289
	201	71G　5層　3532	スクレイパー	頁岩	5.35	(3.75)	1.45	(20.20)	左側縁部欠損　石錐兼用か	252
	202	27G　5層　904	スクレイパー	緑色堆積岩	5.55	4.05	1.35	32.30	光沢有	253
	203	3G　5層　1657	スクレイパー	頁岩	6.90	5.05	2.70	94.30		249
	204	2G　4層　627	スクレイパー	頁岩	7.10	5.00	2.00	(66.10)	右側縁部欠損　光沢有 石錐兼用か	247

（ ）の値は残存法量を示す

第39表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代早期遺物包含層（4～5層）出土石器観察表②

掲載頁	掲載	出土位置	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	備考	実測
図番号	番号	(グリッド・層・番号)			(cm)	(cm)	(cm)	(g)		番号
p.229 第154図	205	60G　5層　3620	スクレイパー	頁岩	6.20	4.70	1.90	47.70		250
p.230 第155図	206	66G　4層　2272	スクレイパー	黒曜石（姫島）	(2.75)	1.50	0.45	(1.50)	下部欠損	251
	207	73G　5層　4215	スクレイパー	緑色堆積岩	9.45	5.85	1.65	94.50		248
	208	45G　5層　1762	礫器	頁岩	(8.50)	6.90	2.75	(194.10)	下半部欠損　光沢有　敲打痕有	241
	209	57G　4層　2308	礫器	頁岩	13.70	8.80	4.60	478.80	光沢有	230
p.231 第156図	210	26G　4層　871	礫器	砂岩	17.90	13.00	5.90	1249.50		229
	211	60G　4層　2622	礫器	砂岩	17.00	11.25	3.65	568.80	敲打痕有	228
p.232 第157図	212	4G　4層　1639	石斧	流紋岩	13.85	7.40	2.40	340.20	光沢有	245
	213	39G　5層　825	打製石斧	砂岩	13.50	5.75	2.25	(220.00)	刃部欠損　2層一括の上半部と接合 敲打痕・使用痕有	179
p.233 第158図	214	3G　4層　1474	石斧	ホルンフェルス	(7.95)	4.60	1.70	(84.40)	上部欠損　風化著しい	243
	215	68G　4層　3485	石斧	ホルンフェルス	10.10	4.40	1.95	85.90	全体的にやや風化	244
	216	2G　4層　626	石斧	緑色堆積岩	8.55	3.45	1.30	(40.20)	右側縁部欠損　光沢有	242
	217	53G　5層　2520	石斧調整剥片	緑色堆積岩	4.00	7.20	1.10	29.50	光沢有	240
	218	8G　4層　1780	石斧調整剥片	緑色堆積岩	3.85	3.95	1.00	13.00		238
	219	46G　4層　745	石斧調整剥片	緑色堆積岩	3.60	7.10	1.00	27.50	研磨痕有	237
	220	66G　5層　2602	石斧調整剥片	緑色堆積岩	6.55	10.90	1.85	(102.90)	上部欠損	239
p.234 第159図	221	3G　5層　1688	二次加工有る剥片	流紋岩	4.05	(3.30)	0.90	(8.50)	左右側縁部欠損	232
	222	66G　4層　2248	二次加工有る剥片	頁岩	6.85	3.80	1.80	39.50		234
	223	70G　5層　4110	二次加工有る剥片	頁岩	7.50	4.05	1.25	(36.60)	左側縁・下部欠損	235
	224	39G　4層　679	二次加工有る剥片	安山岩	3.55	2.70	1.55	10.00	磨滅有	233
	225	17G　4層　1057	二次加工有る剥片	緑色堆積岩	4.40	3.85	1.75	30.70		231
	226	35G　5層　875	二次加工有る剥片	緑色堆積岩	7.25	9.20	2.30	180.20	光沢有	236
	227	71G　4層　3099	石錘	砂岩	5.10	5.90	1.80	74.60		194
	228	66G　4層　2377	石錘	砂岩	4.90	5.50	1.45	59.30		193
	229	71G　5層　3413	石錘	砂岩	4.95	5.50	1.60	56.40		192
	230	3G　4層　1497	石錘	砂岩	8.70	6.40	2.70	181.00		197
p.235 第160図	231	38G　4層　3507	敲石	頁岩	2.90	3.90	2.35	23.30		208
	232	19G　5層　908	敲石	砂岩	10.30	9.00	4.45	573.10	磨石兼用	216
	233	26G　5層　1074	敲石	砂岩か	8.80	6.40	4.05	301.80		215
	234	67G　4層　3711	磨石	凝灰岩	6.95	6.10	4.15	197.80		195
	235	15G　5層　1734	磨石	砂岩か	10.60	7.35	5.35	580.40		213
	236	19G　4層　864	磨石	砂岩	12.95	9.95	6.95	1240.00		191
	237	71G　4層　3120	敲石	尾鈴山酸性岩	9.25	4.60	3.30	215.10		190
	238	18G　4層　2193	磨石	尾鈴山酸性岩	10.00	8.30	5.85	725.40	一部に敲打有	214
p.236 第161図	239	42G　5層　725	台石	砂石	23.40	(19.60)	10.20	(7040.00)	右側欠損	201
p.237 第162図	240	19G　4層　757	台石	砂岩	25.15	21.40	5.00	3640.00		200
	241	28G　4層　1564	石製円盤	砂岩	7.65	7.45	1.35	84.10	側縁部研磨　被熱痕有	246

（ ）の値は残存法量を示す

第4節　アカホヤ火山灰層上面の調査

第1項　遺構について

土坑

土坑は1基検出した。

SC4は1.28m×0.90mの不整円形プランを呈し、深さ0.28mを測る。中央付近が樹根の影響を受けており、掘り込みの一部を壊している。土師器の底部片（ヘラ切りか）が1点出土している。細片のため図化には耐えなかった。

溝状遺構・道路状遺構

溝状遺構・道路状遺構は4条検出した。

SE3は長さ約20m＋α、幅約0.48m～1.0mで深さ0.46mを測る。北側から南側へ傾斜する自然地形に沿って調査区北東側から南西方向へ延び、断面が逆台形状を呈する。遺構南側は削平を受けており、途中で消失している。土器片1点（早期末条痕文）、剥片4点（頁岩、姫島産黒曜石、玉髄、チャート）が出土しているが、混入の可能性が高く、時期は不明である。

SG2、SG54～SG56はそれぞれ硬化面を有する道路状遺構である。

SG2は長さ約13.55m、幅約1.81m＋αで調査区外に延びている。SE3と同じく自然地形に沿って北側から南側へ向かって延びている。土層1が深さ0.64m、土層2が0.38mを測り、南側へ向かうほど掘り込みが浅くなる。また下端から波板状凹凸面を複数検出している。出土遺物は龍泉窯産の青磁片（245）が出土している。

SG54は確認できた範囲で長さ約16.94m、幅1.45m～0.60mで北側の一部で攪乱を受けている。SG2と同じく自然地形に沿って北側から南側へ向かって延びている。北側及び南側は遺構検出前に包含層の一部として掘削しており、消失している。SG55・56も南側は同様の理由で消失している。

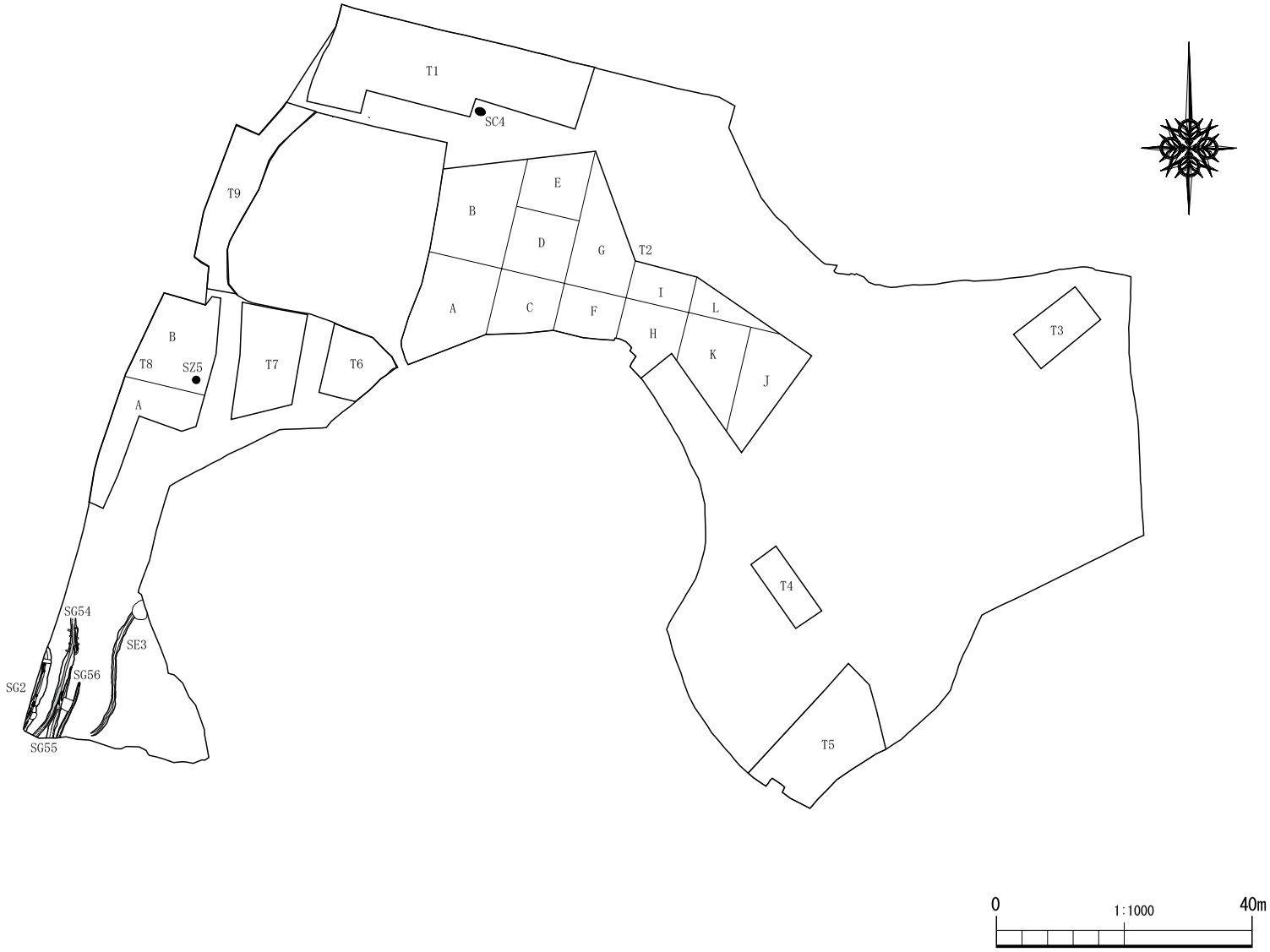
SG55はSG54とSG56に切られており、一部が攪乱を受けている。中央部を削平によって消失しているため、2箇所で検出している。

SG56は北側をSG54に切られており、一部が攪乱を受けている。SG55と同じく中央部を削平によって消失しているため、2箇所で検出している。出土遺物は須恵器片（246）が出土している。

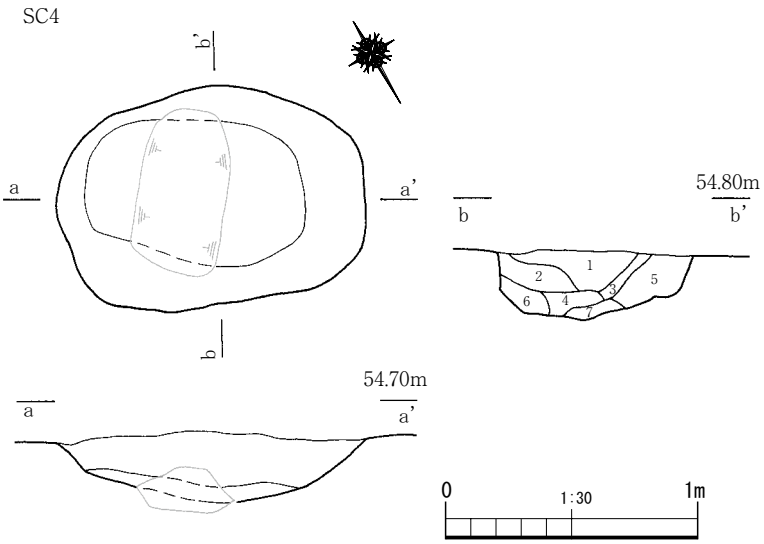
4条の道路状遺構は1地区で検出したSE1の考察でも述べたが、SE1と同一の遺構と推定される。SE1は高原スコリア降灰後の中世から利用が開始されていると推定した。SG2出土の龍泉窯産の青磁が15世紀のものであり、出土遺物の時期を見ても同一の遺構であることの矛盾が生じない。SE1は複数の溝が複合した状態で検出されたが、2地区ではそれぞれが平行して延びるものの、それぞれの下端の範囲が硬化しており、ある程度独立した状態で検出された。また4条とも概ね、南西から北東方向に向かって延びている。調査区の西側ではこの4条の道路状遺構と平行して現在も道路があり、地元の蜜柑農家の方が使用している。

その他の遺構

SZ5は砂岩製剥片（242）と砂岩製敲石（243）、凝灰岩製敲石（244）がまとまって検出された。掘り込みは確認できていない。中心部に向かってそれぞれが傾いた状態で配置されている。



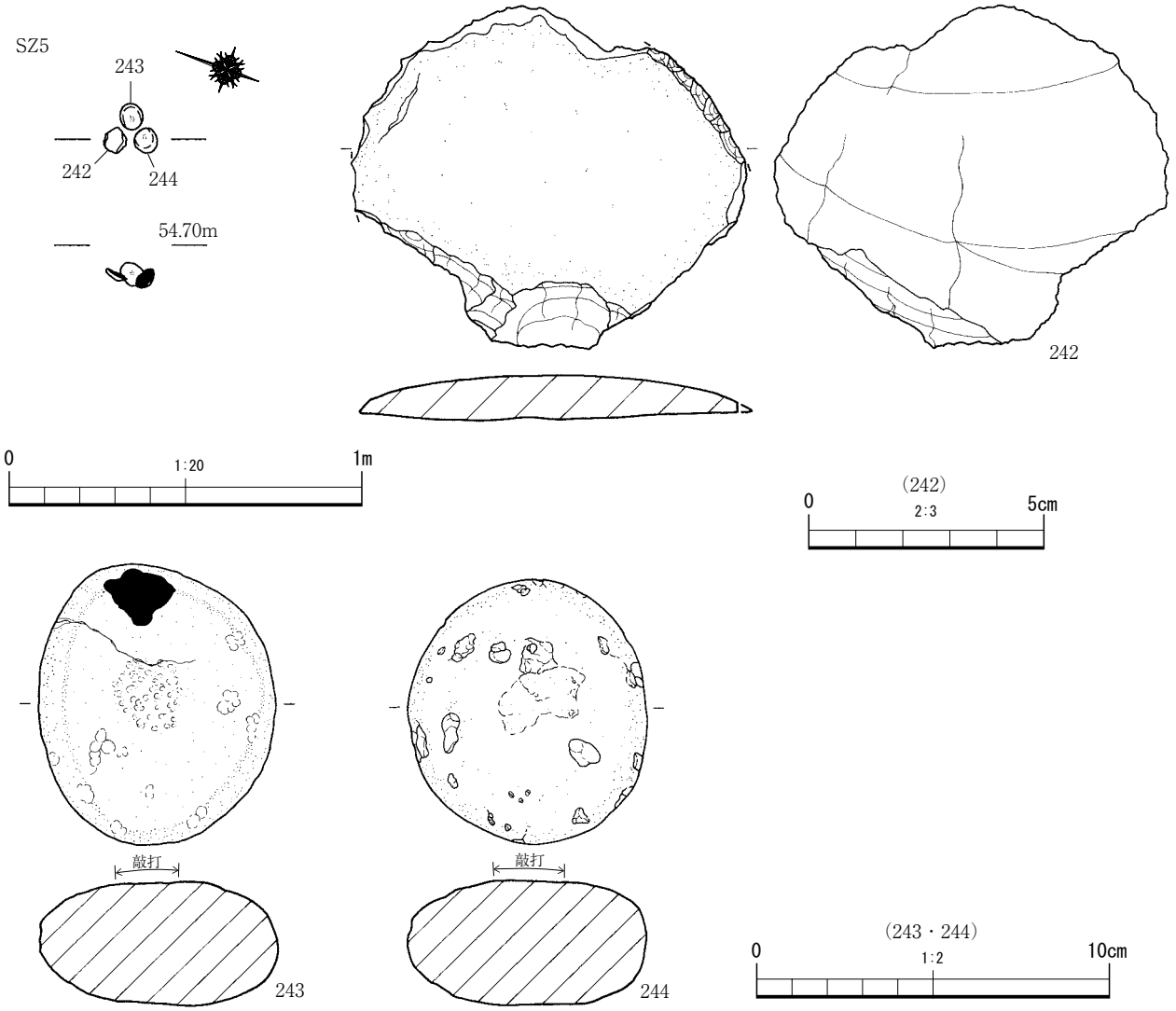
第163図　橋山第3遺跡2地区アカホヤ火山灰層（3層）上面検出遺構配置図（S＝1/1000）



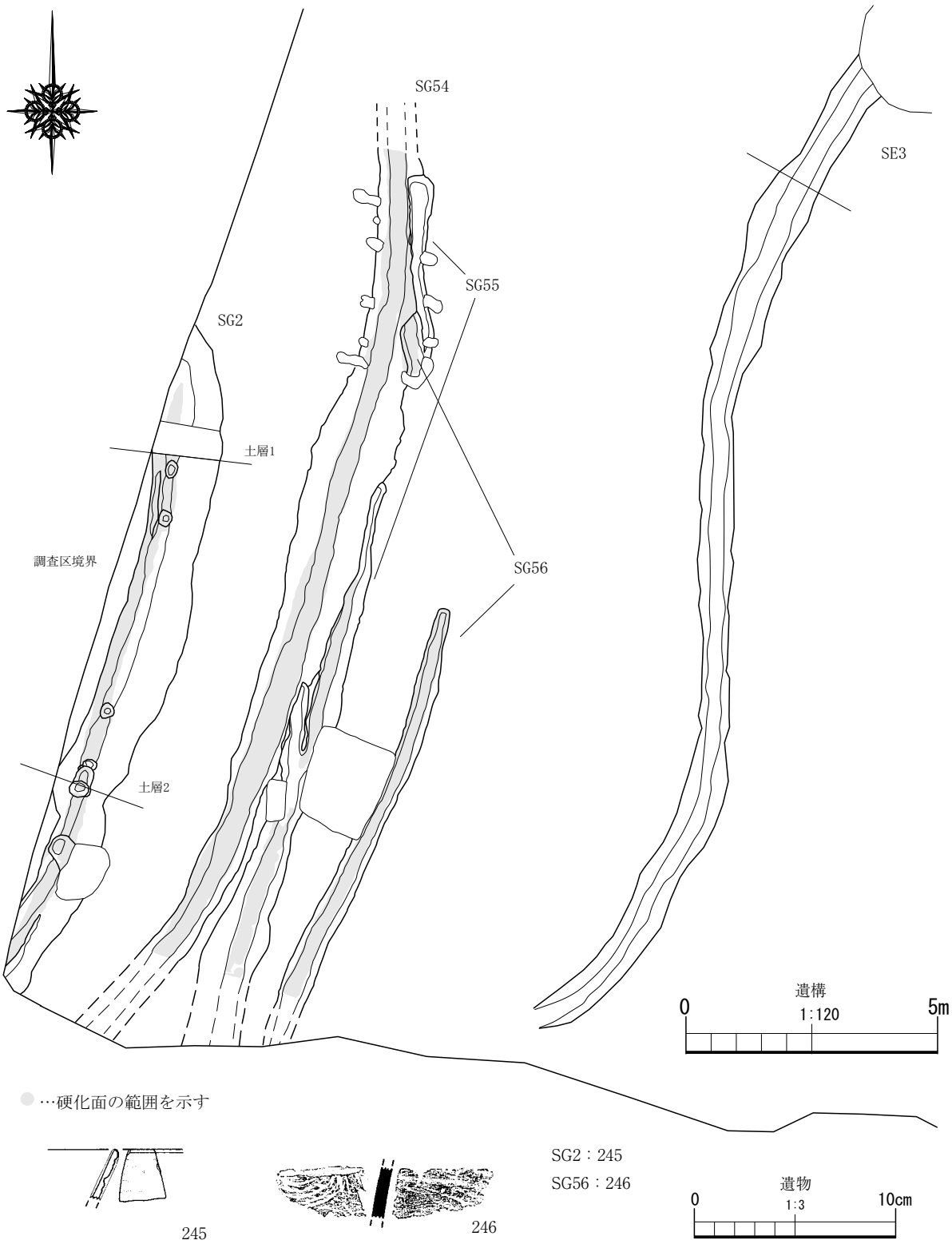
SC4 土層

1：黒褐色（Hue7.5YR3/2）砂質ローム。締り弱い。細礫を多量に含む。アカホヤ火山灰を少量含む。
2：極暗褐色（Hue7.5YR2/3）砂質ローム。締り弱い。細礫を含む。
3：黒褐色（Hue10YR3/2）砂質ローム。締り弱い。細礫、アカホヤ火山灰を少量含む。
4：褐色（Hue10YR4/6）砂質ローム。締り弱い。アカホヤ火山灰を多量に含む。細礫を少量含む。
5：暗褐色（Hue10YR3/4）砂質ローム。締り弱い。細礫、アカホヤ火山灰を含む。
6：暗褐色（Hue10YR3/3）砂質ローム。締り弱い。細礫、アカホヤ火山灰を多量に含む。
7：黒褐色（Hue7.5YR3/2）砂質ローム。締り弱い。細礫、アカホヤ火山灰を少量含む。

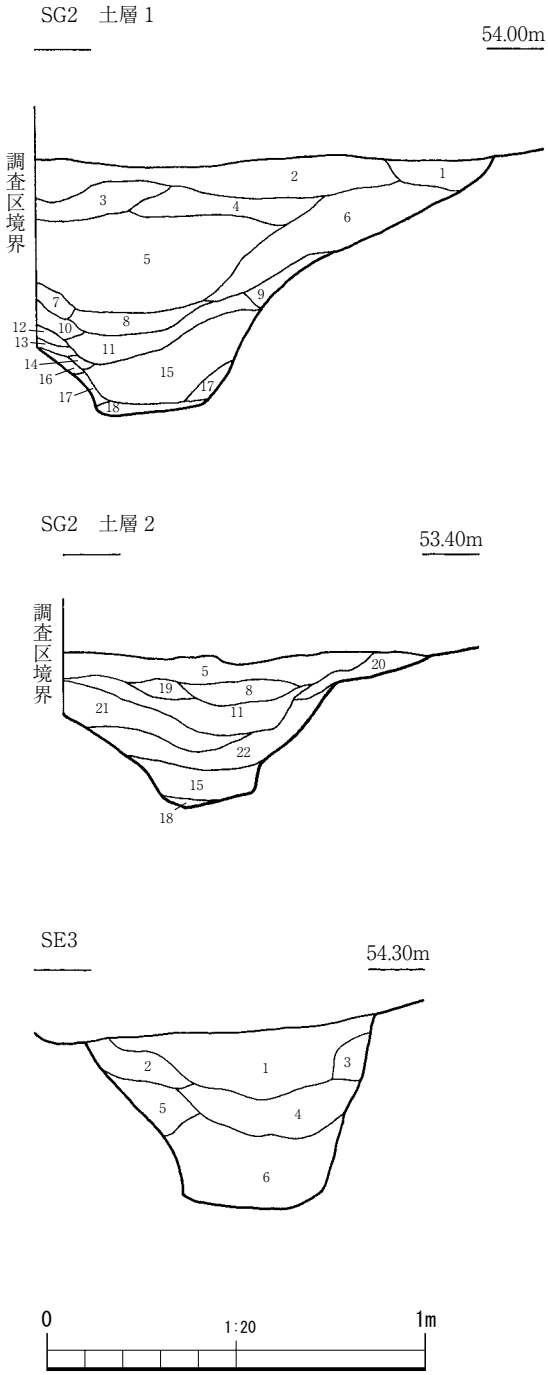
第164図　土坑（SC4）実測図（S=1/30）



第165図　SZ5（242～244）遺物出土状況（S=1/20）**及び実測図**（S=2/3・1/2）



第166図　道路状遺構（SG2・54～56）及び溝状遺構（SE3）平面図（S=1/120）**及びSG2・56出土遺物**（S=1/3）**実測図**



SG2 土層

1：褐色（Hue10YR4/4）砂質ローム。締り弱い。アカホヤ火山灰を含む。
2：黄褐色（Hue10YR5/6）砂質ローム。締り弱い。
　アカホヤ火山灰を多量に含む。
3：にぶい黄褐色（Hue10YR4/3）砂質ローム。締り弱い。
　アカホヤ火山灰を少量含む。
4：暗褐色（Hue10YR3/4）砂質ローム。締り弱い。アカホヤ火山灰、
　牛のすね火山灰を少量含む。
5：黒褐色（Hue7.5YR3/1）砂質ローム。締り弱い。高原スコリア、
　アカホヤ火山灰、シラスを少量含む。
6：暗褐色（Hue10YR3/5）砂質ローム。締り弱い。高原スコリア、
　アカホヤ火山灰を少量含む。
7：褐色（Hue10YR4/6）ローム。締り弱い。高原スコリアを少量含む。
8：黒褐色（Hue10YR3/2）ローム。締り強い。高原スコリアを含む。
　（硬化面）
9：黄褐色（Hue10YR5/6）ローム。締り強い。
　アカホヤ火山灰を少量含む。
10：褐色（Hue10YR4/4）砂質ローム。締り強い。
　アカホヤ火山灰を少量含む。
11：黒褐色（Hue10YR2/3）砂質ローム。締り弱い。細礫、
　高原スコリアを少量含む。
12：灰黄褐色（Hue10YR5/2）ローム。締り強い。鉄分を多量に含む。
　（硬化面）
13：褐色（Hue10YR4/6）ローム。締り強い。鉄分を多量に含む。（硬化面）
14：褐色（Hue10YR4/4）ローム。締り弱い。アカホヤ火山灰を少量含む。
15：褐色（Hue10YR4/6）ローム。締り弱い。細礫、シラスを少量含む。
16：灰黄褐色（Hue10YR5/2）ローム。締り強い。鉄分を多量に含む。
　（硬化面）
17：黄褐色（Hue10YR5/6）ローム。締り弱い。
　シラス上位の粘土質ブロックを含む。
18：にぶい黄褐色（Hue10YR5/4）ローム。締り強い。鉄分を多量に含む。
　（硬化面）
19：黒褐色（Hue10YR2/3）砂質ローム。締り弱い。
　アカホヤ火山灰を少量含む。
20：褐色（Hue10YR4/4）ローム。締り弱い。シラスを多量に含む。
　アカホヤ火山灰を少量含む。
21：灰褐色（Hue7.5YR4/2）ローム。締り弱い。細礫、シラスを少量含む。
22：褐色（Hue7.5YR4/3）シルト質ローム。締り弱い。
　細礫、シラスを少量含む。

SE3 土層

1：褐色（Hue10YR4/4）砂質ローム。締り弱い。細礫を僅かに含む。
　アカホヤ火山灰を少量含む。
2：褐色（Hue7.5YR4/4）砂質ローム。締り弱い。炭化物を少量含む。
3：褐色（Hue7.5YR4/6）砂質ローム。締り弱い。
　炭化物・アカホヤ火山灰を少量含む。
4：暗褐色（Hue7.5YR3/4）砂質ローム。締り強い。アカホヤ火山灰を含む
5：褐色（Hue10YR4/6）砂質ローム。締り強い。
6：褐色（Hue7.5YR4/3）砂質ローム。締り強い。
　アカホヤ火山灰、霧島小林軽石を少量含む。

第167図　SG2及びSE3土層断面図（S=1/20）

第40表　橋山第3遺跡2地区　SZ5出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （遺構等）	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	実測 番号
p.245 第165図	242	SZ5	剥片	砂岩	(8.45)	(7.30)	1.00	(68.30)		168
	243	SZ5	敲石	砂岩	7.95	5.75	3.50	24.48		166
	244	SZ5	敲石	凝灰岩	7.60	6.80	3.55	174.00	磨石兼用か	167

（ ）の値は残存法量を示す

第41表　橋山第3遺跡2地区　道路状遺構及び溝状遺構出土遺物観察表

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別	器種	法量cm（ ）:復元 口径	底径	器高	産地	時期	備考	実測 番号
p.246 第166図	245	SG2	青磁	碗か	－	－	－	龍泉窯	15世紀	色調　灰オリーブ	165

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.246 第166図	246	SG56	須恵器	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	タタキ	工具痕	微 多			外面タタキ後ナデ 内面同心円文状の当具痕有	164

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第2項　基本土層2層出土土器について

2層より縄文前期から中期にかけての土器が出土している。本調査区では大きく3ヶ所で2層の掘削を行っており、Ａ調査区では深浦式土器から春日式土器が、Ｂ調査区では西唐津式土器から曽畑式土器が、Ｃ調査区では轟式土器、曽畑式土器、深浦式土器が多く分布するという状況が見受けられた。なお、本調査区においては良好にアカホヤ火山灰層が堆積しており、その上下の層から轟Ａ式土器が出土している点は注目される。以下に既存の分類を元に報告を行う。個別の詳細は第42・43表に示す。

轟Ａ式土器（247～255）

外面に条痕、内面には条痕または条痕の後にナデ調整を施すもので、口縁部は直口かやや外反する形状である。247・248のように口唇部にキザミを持つものと249のように無文のものがある。250～255は胴部片で、251・253・254は綾杉状の条痕がみられる。

西之薗式土器（256）

直口しており、外面には条痕を内面は条痕の後にナデ調整を施すものである。口唇部にはキザミ、その下に一条の突帯をめぐらせ、その上にキザミを施している。

轟Ｂ式土器（257～264）

内外面に細かい条痕を施すもので、口唇部下に数条の微隆帯をめぐらせている。257・258は外反する形状で微隆帯上にキザミを施し、微隆帯間には円形の浮文を施している。257・259・262には4条の微隆帯が確認されている。264はいわゆる屈曲形の器形を呈するもので、屈曲部に微隆帯をめぐらせ、その稜線を強調しているように見える。

西唐津式土器（265～272）

外面に数条の横位の沈線で区画帯をもち、その中に連弧状の沈線文を施すものである。沈線は細身で、内外面の調整はナデである。265は直口、266はやや内湾する口縁部片である。

曽畑式土器（273～280）

外面は数条の横位や従位の沈線で区画帯を持ち、その中に沈線で幾何学的な文様を全体に施す。また口縁部については内面にも横位や斜位の沈線文や刺突文などが施文されている。内面の調整は条痕か、条痕の後ナデである。273～277は口縁部片で直口するかやや外反しており、口唇部にはキザミを施し、その下の外面には1条～数条の刺突文がみられる。

北白川下層式土器（281）

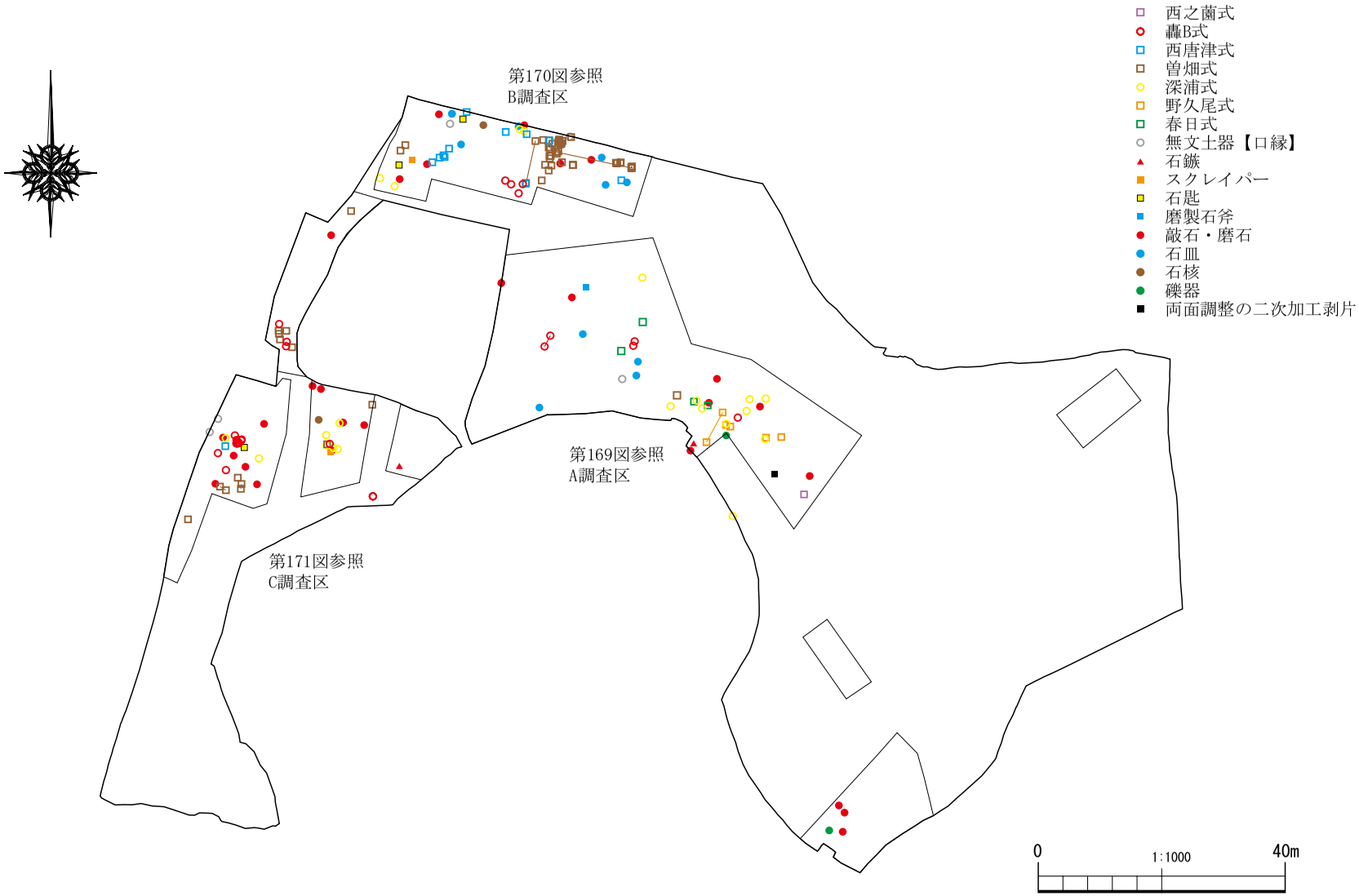
胴部片で、外面全体に爪形の横位の刺突文を全面に施している。内面の調整はナデである。色調と胎土をみると搬入品の可能性が高い。

深浦式土器（282～285）

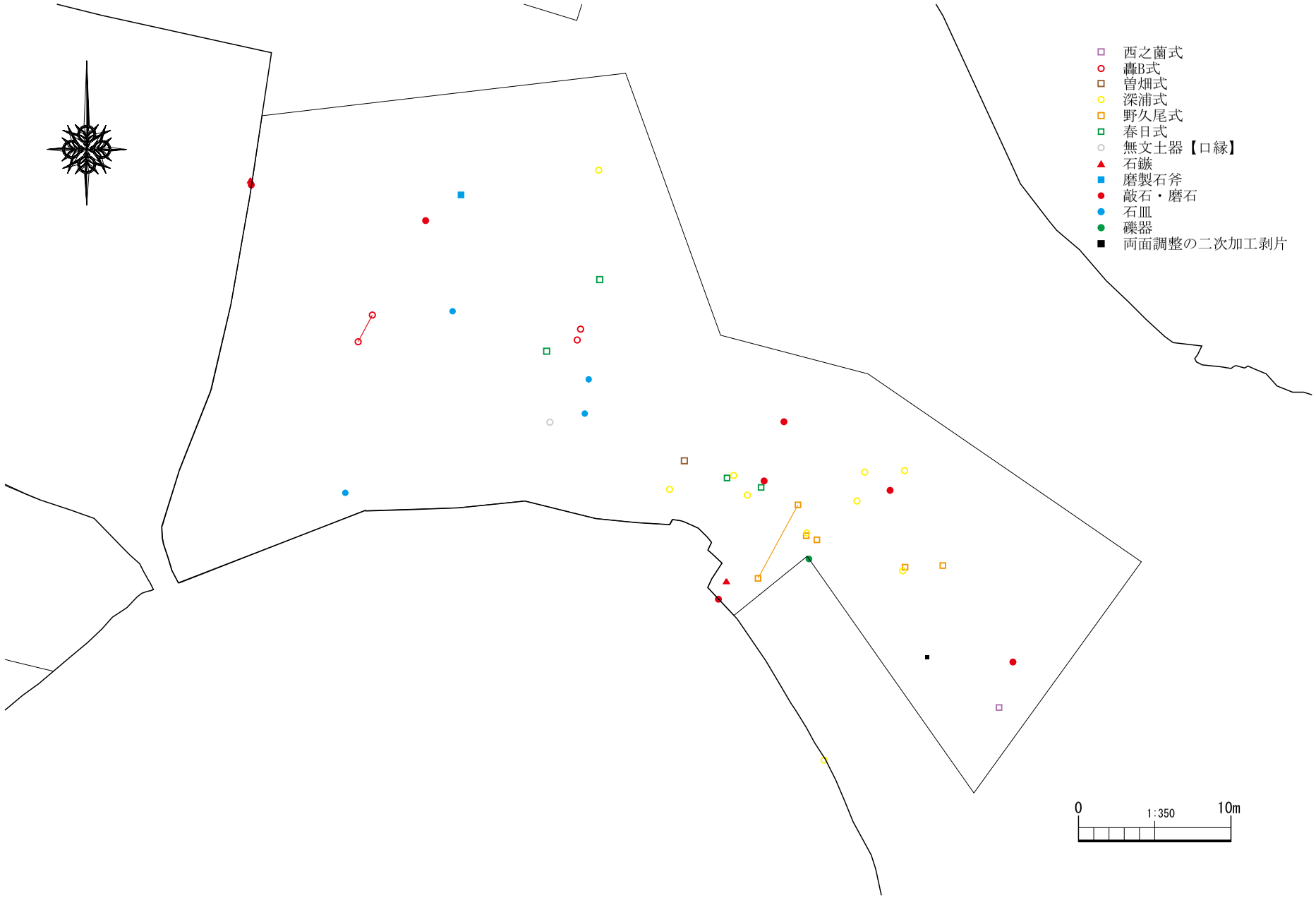
内外面の調整は条痕や条痕の後ナデを施し、外面には隆帯がみられる。283は横位に1条の隆帯が、284は横位と従位の隆帯が、285はカーブする隆帯が確認される。

野久尾式土器（286）

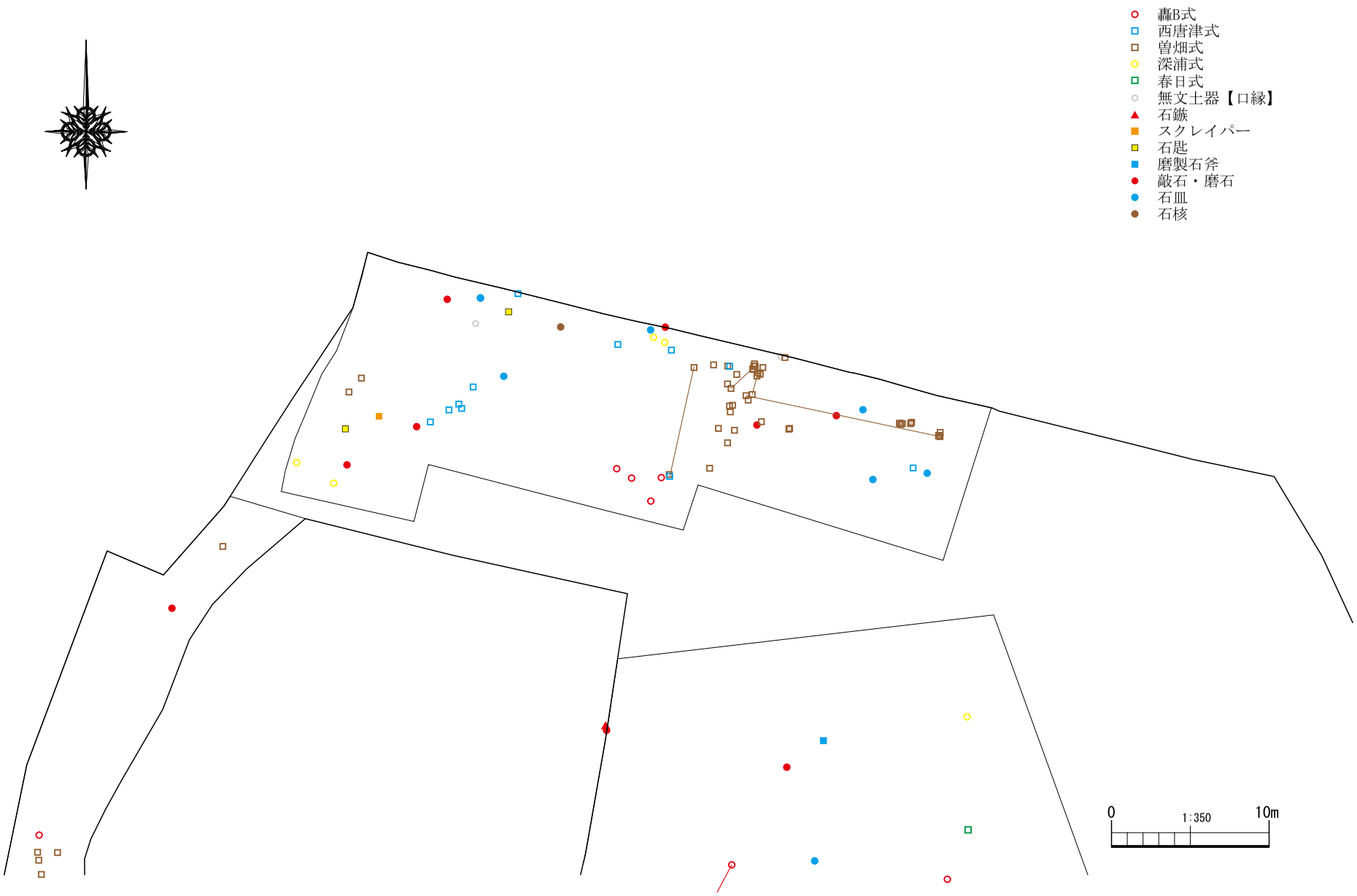
内外面に粗い条痕を施すものである。本資料には隆帯は確認されていないが、橋山第2遺跡出土資料（第29図№77～79）と色調・胎土等が似ており、野久尾式土器と判別をした。



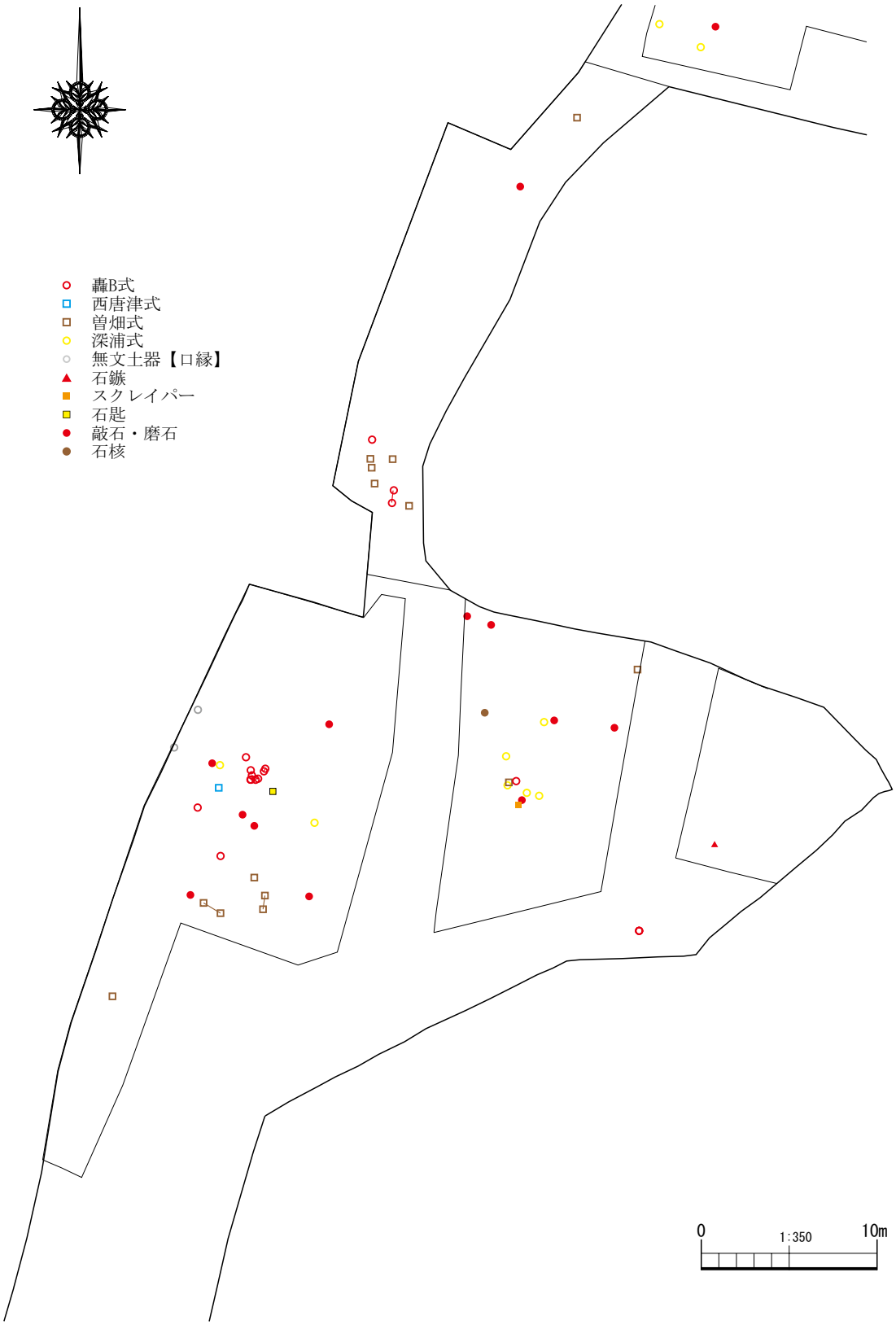
第168図　橋山第3遺跡2地区縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土主要遺物分布図（S=1/1000）



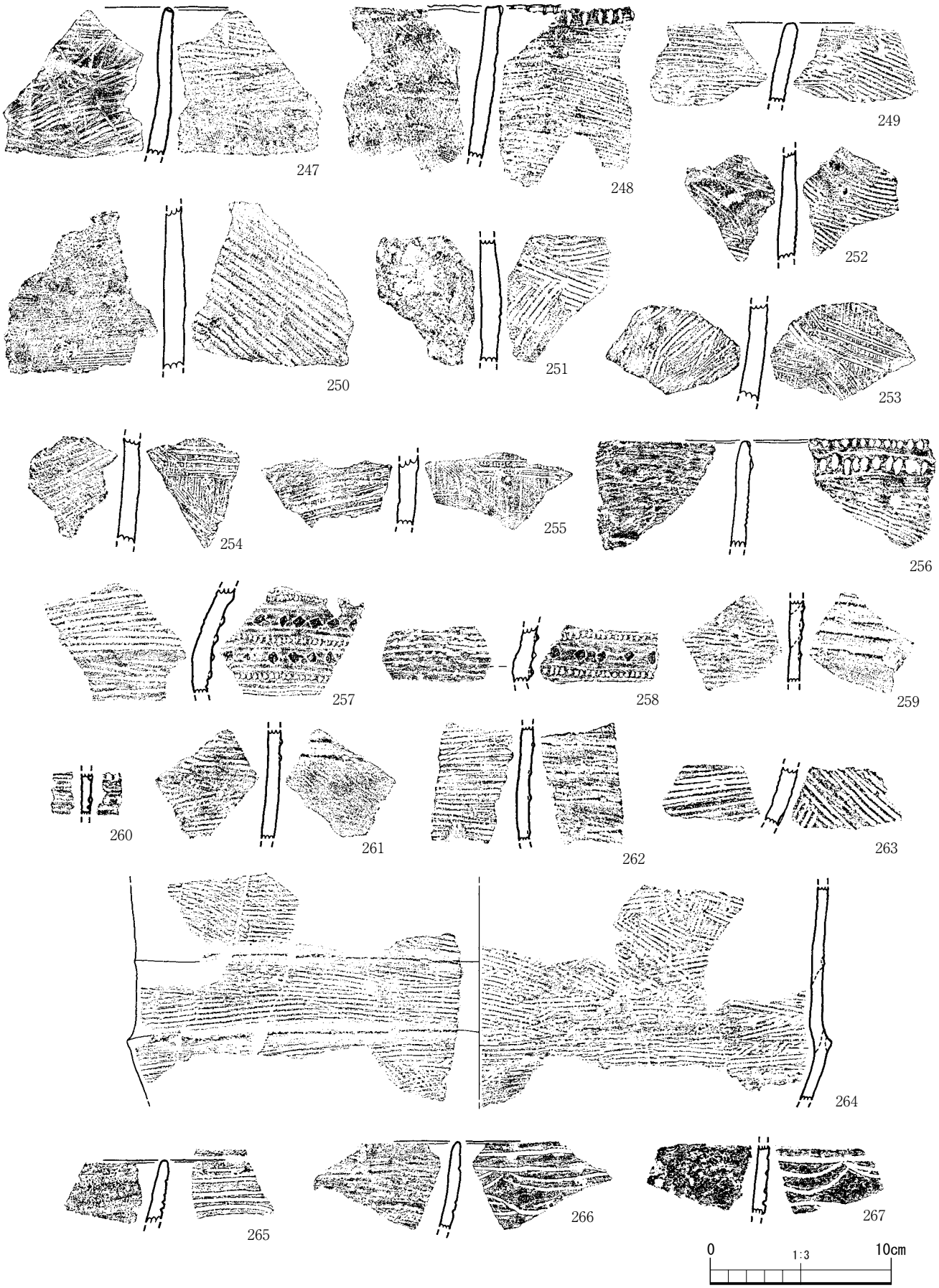
第169図　縄文時代前期～中期A調査区出土主要遺物分布図（S=1/350）



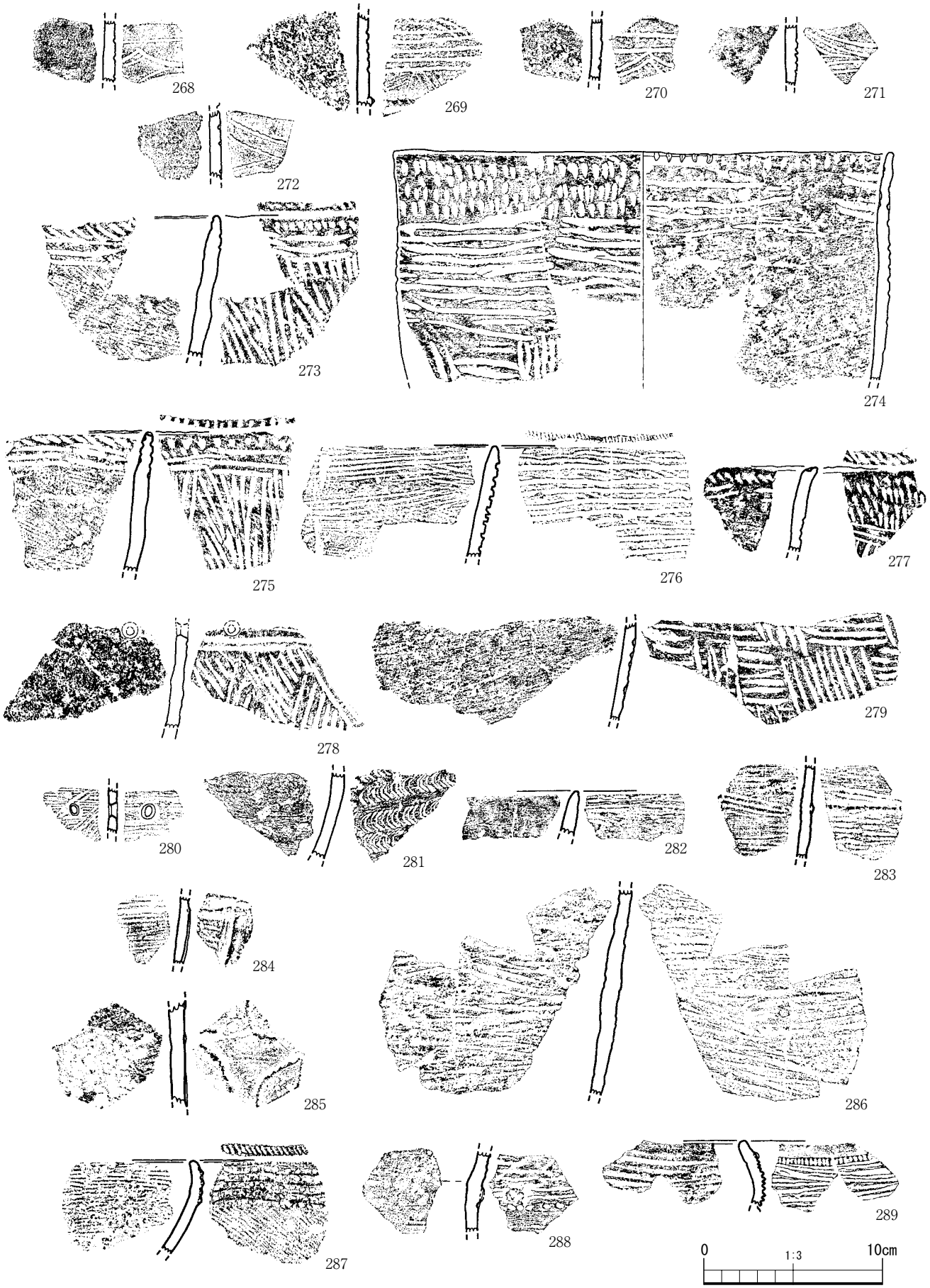
第170図　縄文時代前期～中期B調査区出土主要遺物分布図（S=1/350）



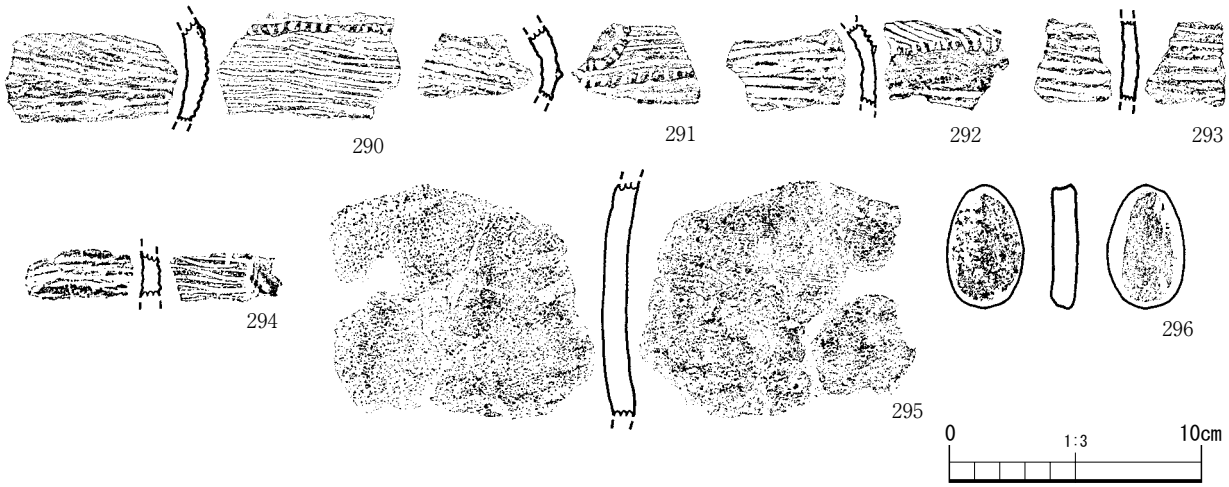
第171図　縄文時代前期～中期C調査区出土主要遺物分布図（S=1/350）



第172図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土土器実測図①（S=1/3）



第173図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土土器実測図②（S=1/3）



第174図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土土器実測図③（S=1/3）

船元式土器・春日式土器（287～294）

いわゆるキャリパー型の口縁部を呈するもので、内外面には条痕か、条痕の後ナデ調整を行う。287は口唇部にキザミ、その下に4条の突帯をめぐらす。突帯上には刺突文が確認される。289～292も口縁部片で口唇部下にキザミを持つ1条の突帯が確認される。

無文土器（295）

内外面の調整はナデ調整で文様等はみられない胴部片で下部に屈曲部の痕跡を残す。

土製円盤（296）

無文の土器片の周囲を研磨して整えた楕円形の土製品である。

第3項　基本土層2層出土石器について

2層から縄文時代の石器が出土している。本調査区では概ね前期から中期の土器が出土しており、石器についてもその時期のものと考えられよう。本調査区ではこれまでの調査区で最も石皿が多く出土している点、第3遺跡1地区で見られた石錘が1点も出土していないことなどが特徴としてみられる。これは第3遺跡1地区で主体となっていた宮之迫式土器の段階との生業に違いを表しているかもしれない。以下に既存の分類に基づいて報告を行うが、その分類基準は第Ⅲ章第2節第3項に基づく。また規模等については第44表に示す。

石鏃（297～301）

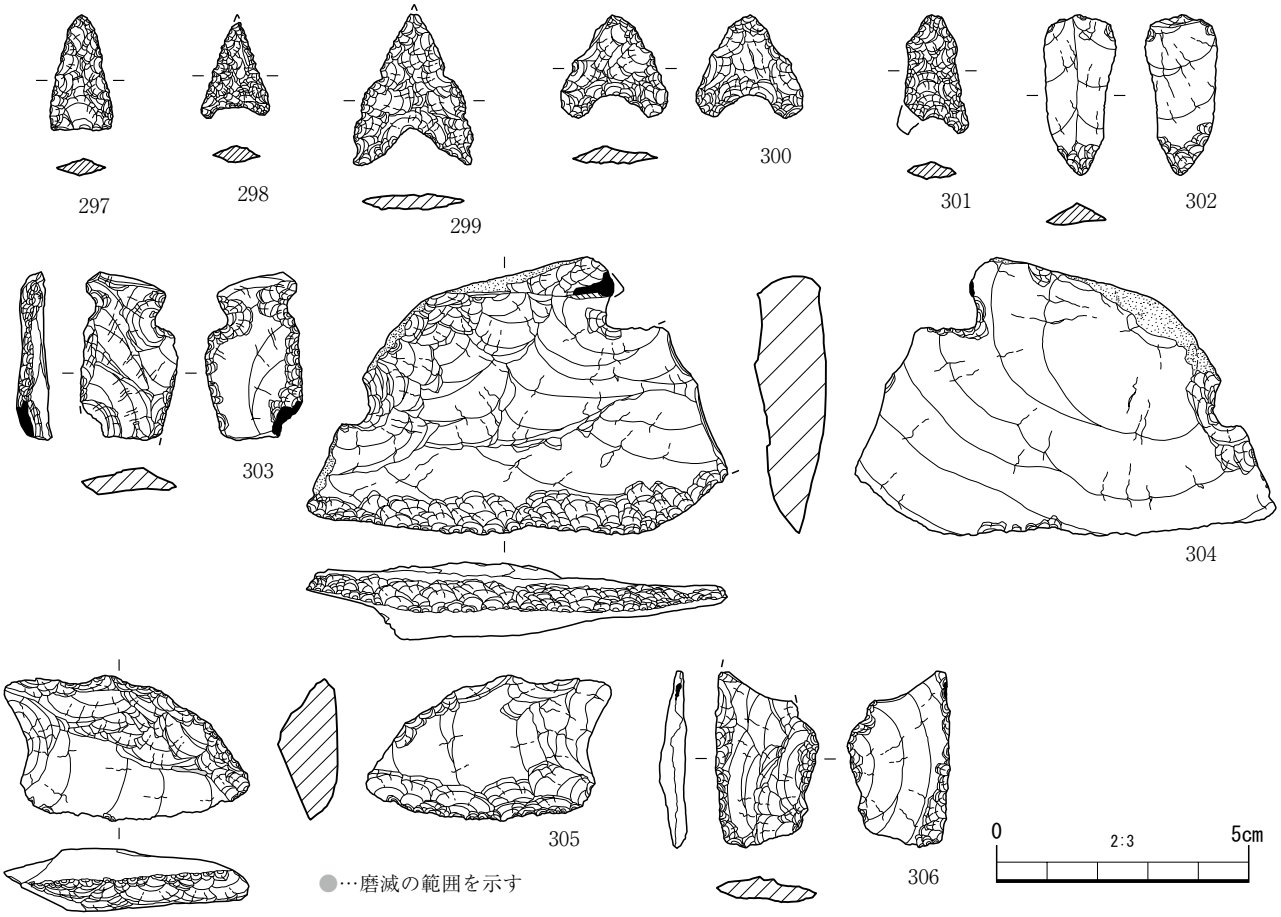
7点出土している。平基鏃（297）は1点だけで、残りは凹基鏃（298～301）に分類される。299は安山岩製で、中央部付近に抉りがみられる。これは矢柄への装着を想定した加工と考えられる。300・301は先端部付近に屈曲部がみられる。

石錐（302）

2点出土している。安山岩製で小型の剥片の下端部に調整を施すものである。

石匙（303～305）

3点出土している。素材剥片の形状を大きく残すものばかりである。303は姫島産黒曜石製で縦型に分類される。304・305は横型で抉り部分についてはあまり深いものではない。304は安山岩製の大型品で背面の右側を欠損している。



第175図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土石器実測図①（S=2/3）

スクレイパー（306）

2点出土している。306は安山岩製で上部を欠損している。もう1点は砂岩製である。

礫器（307・308）

4点出土している。307は剥片素材、308は礫面を残す節理面の多い剥片を素材とする。

磨製石斧（309・310）

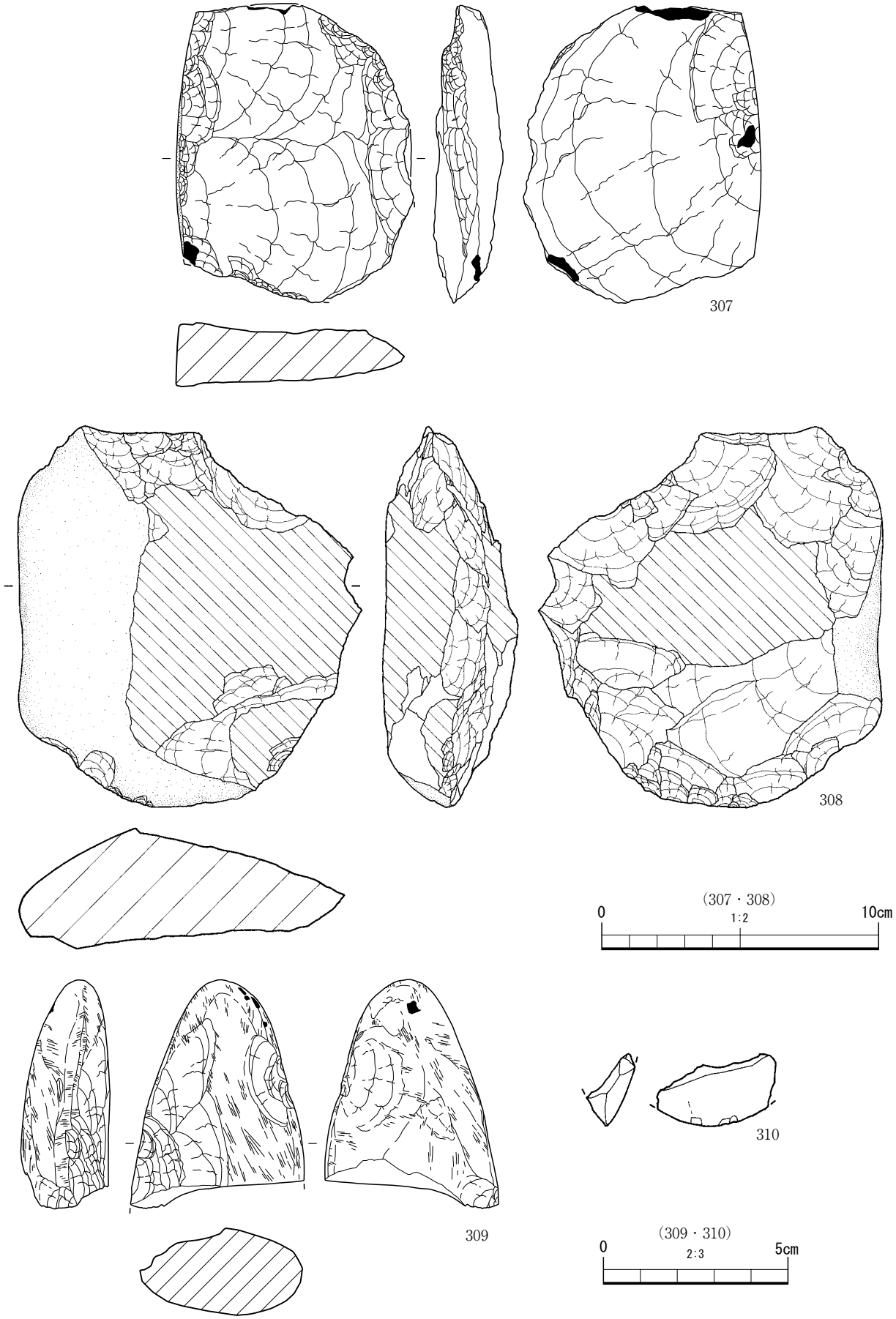
3点出土している。309は流紋岩製の基部の破片である。310は砂岩製の刃部片である。

黒曜石製石核（311・312）

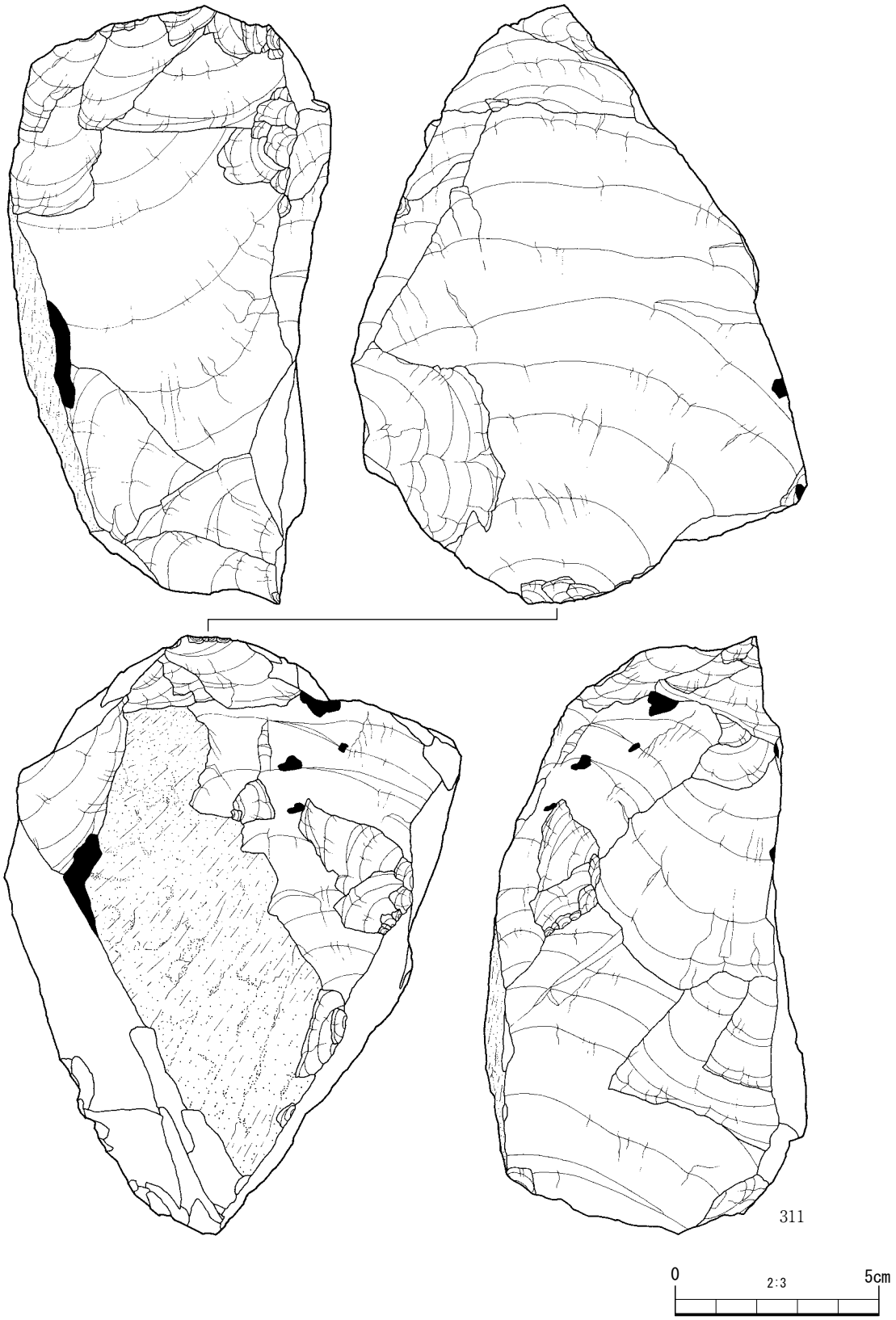
311は姫島産黒曜石製で節理面を残す分割礫を素材としており、重量は1077.2ｇである。素材剥片を生産した可能性のある剥離面は上部付近と下部付近にだけあり、打面調整等はみられない。他の部分には分割時や石核調整時にできたと考えられる大きな剥離面が残されており、積極的に素材剥片を生産したような痕跡は観察されない。312は日東産黒曜石製のもので分割礫を素材としており、重量は175.9ｇである。円礫を分割した際にできた平坦面に打面調整を行って、一方向から素材剥片となる不整形な縦長剥片を生産している。

敲石・磨石（313～321）

32点出土している。内訳は砂岩製が10点、尾鈴山酸性岩製が6点、凝灰岩製のものが16点となっており、凝灰岩のものが突出している。角礫を素材としており、平坦面に敲打痕、周縁には平滑面がみられる。いわゆる石鹸型に分類されるものである。



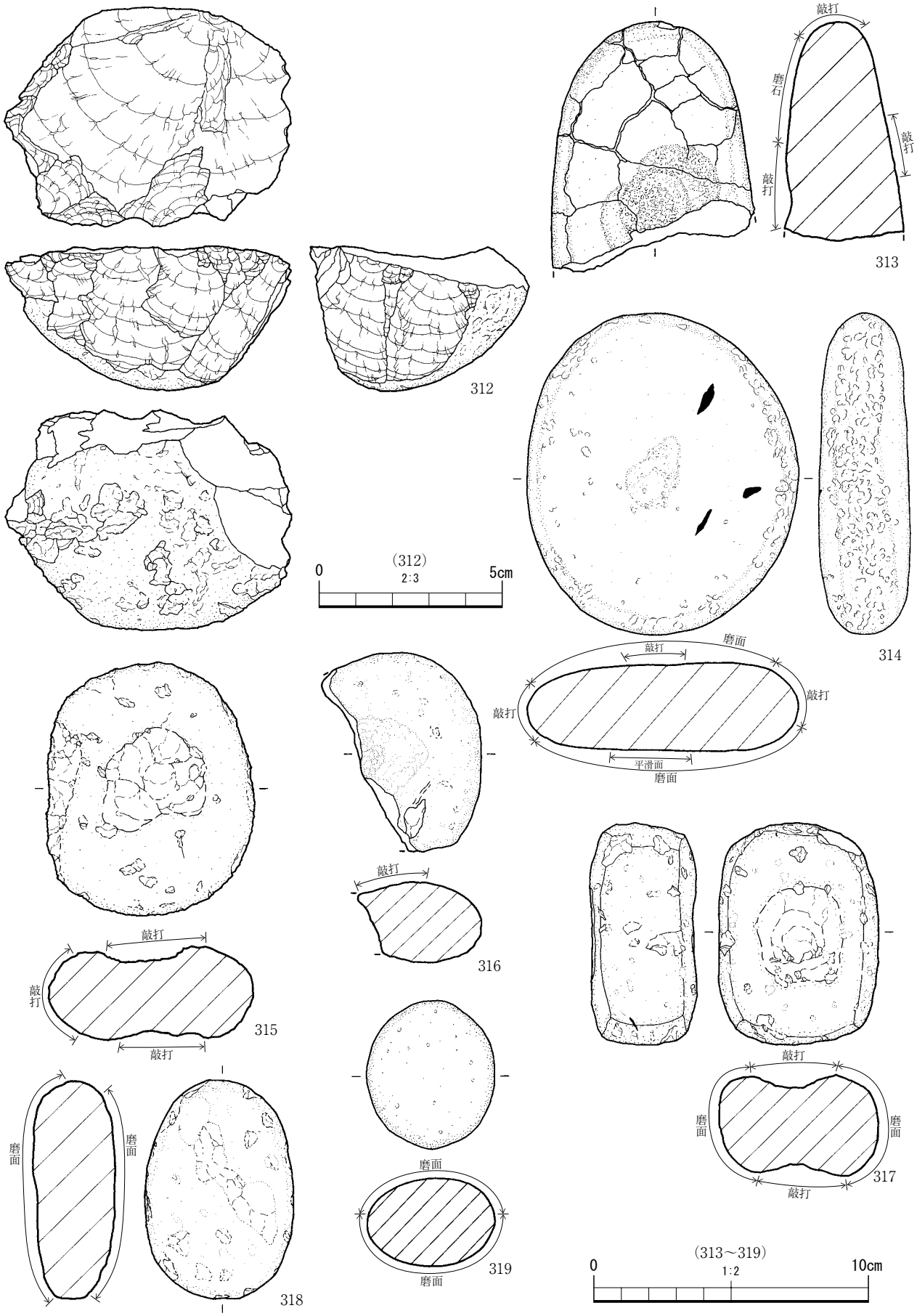
第176図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土石器実測図②（S=1/2・2/3）



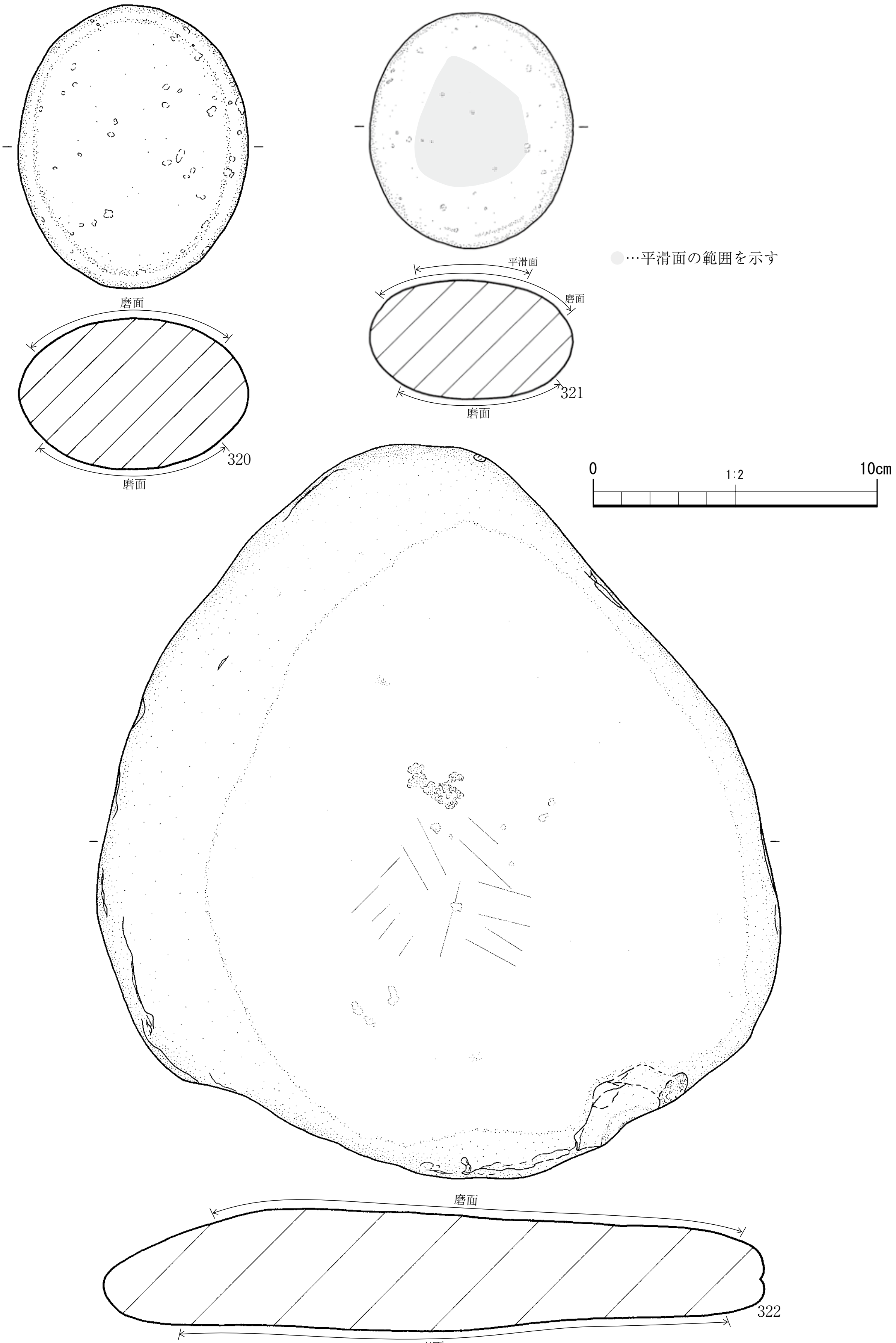
第177図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土石器実測図③（S=2/3）

石皿（322）

砂岩製のものばかり13点出土している。そのうちの1点は重量48kgもあって、動かすことが困難で図示ができないほど巨大なものであった（図版62下段）。



第178図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土石器実測図④（S=2/3・1/2）



第179図　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土石器実測図⑤（S=1/2）

第42表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土土器観察表①

掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.253 第172図	247	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	褐灰 7.5YR4/1	良好	条痕文	条痕文	2 僅			轟A式　口唇部キザミ	26
	248	2層	縄文 深鉢	－	－	－	黄灰 2.5Y4/1	にぶい黄 2.5Y6/4	良好	条痕文	ナデ・条痕文	1 少	1 僅		轟A式　口唇部キザミ 外面スス付着	45
	249	2層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 7.5YR4/1	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	条痕文	条痕文	1 少		1 少	轟A式	22
	250	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 僅			轟A式　外面スス付着	24
	251	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	条痕文 （綾杉状）	ナデ（不明瞭）	1 僅			轟A式	25
	252	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	灰赤 2.5YR4/2	良好	条痕文	条痕後ナデ	1 僅		1 多	轟A式	23
	253	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文 （綾杉状）	条痕文 指押さえ	1 僅			轟A式	27
	254	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	条痕文 （綾杉状）	条痕文	1 僅			轟A式	28
	255	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕文・部分的 に条痕文有	条痕文	1 少	1 少		轟A式	30
	256	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	灰黄褐 10YR4/2	良好	突帯にキザミ 条痕文・ナデ	条痕後ナデ 指押さえ		極少 少		西之園式　口唇部キザミ 外面スス付着	5
	257	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5Y4/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	微隆帯にキザミ 円形浮文・条痕後 ナデ	条痕	中 少	小 少		轟B式　搬入か	8
	258	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい褐 7.5YR6/3	良好	微隆帯にキザミ 円形浮文 沈線文・ナデ	条痕文	1 僅	2 少		轟B式	17
	259	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	明黄褐 10YR7/6	良好	微隆帯・ナデ	条痕文	微 僅	微 僅		轟B式	39
	260	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR4/3	橙 7.5YR6/6	良好	刺突文・沈線文	条痕文		微 僅		轟B式	48
	261	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ・微隆帯	条痕文 （一部不明瞭）	1 僅	1 少		轟B式	36
	262	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	微隆突帯・ナデ	条痕文 （一部磨滅）	微 僅	1 僅		轟B式	42
	263	4層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR6/3	にぶい黄褐 10YR7/3	良好	条痕文	条痕文	1 少	1 少		轟B式	93
	264	－	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 5YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文 微隆帯	条痕文	1 少	2 多		轟B式　外面スス付着	16
	265	－	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄 2.5YR7/2	浅黄 2.5YR7/4	良好	沈線文	条痕後ナデ		2 少		西唐津式　口唇部キザミ	46
	266	2層	縄文 深鉢	－	－	－	褐灰 10YR4/1	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	沈線文 （連弧状）	条痕後ナデ	小 少	極少 多		西唐津式	6
	267	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/3	良好	沈線文（連弧状）	ナデ	1 少	微 多		西唐津式	11
p.254 第173図	268	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	沈線文・ナデ	ナデ	1 僅	2 少		西唐津式	13
	269	－	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/4	にぶい黄橙 10YR7/4	良好	微隆帯にキザミ 沈線文・ナデ	ナデ （磨滅不明瞭）	1 僅	1 多		西唐津式	41
	270	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	沈線文・ナデ	ナデ		2 多		西唐津式	14
	271	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	沈線文・ナデ	ナデ		2 多		西唐津式	12
	272	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	沈線文・ナデ	ナデ	1 少	2 僅		西唐津式	15
	273	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	沈線文 刺突文	沈線文 条痕後ナデ		極少 少		曽畑式　口唇部キザミ 穿孔有　外面スス付着	4
	274	2層	縄文 深鉢	(27.8)	－	－	褐灰 5YR4/1	灰黄褐 10YR5/2	良好	沈線文 刺突文	条痕後ナデ		微 少		曽畑式　口唇部キザミ 外面スス付着	1
	275	2層	縄文 深鉢	－	－	－	黄灰 2.5Y4/1	灰褐 7.5YR6/2	良好	沈線文 刺突文	沈線文 条痕後ナデ		微 少		曽畑式　口唇部キザミ 外面スス付着	2
	276	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄褐 10YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	条痕後沈線文	条痕後ナデ	微 僅		微 僅	曽畑式　口唇部キザミ	43
	277	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	刺突文 沈線文	刺突文 沈線文・ナデ		極小 少		曽畑式　口唇部キザミ	3
	278	2層	縄文 深鉢	－	－	－	明褐 7.5YR5/8	橙 7.5YR6/6	良好	ナデ・沈線	ナデか	微 少	微 僅		曽畑式　穿孔有	10
	279	2層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y5/2	にぶい黄橙 10YR6/3	良好	沈線文　ナデ	条痕後ナデ	小 少	小 多		曽畑式	7
	280	2層	縄文 深鉢	－	－	－	暗灰黄 2.5Y4/2	暗オリーブ 5Y4/4	良好	条痕文	条痕文	1 微			曽畑式　穿孔有	32
	281	2層	縄文 深鉢	－	－	－	黄灰 2.5Y4/1	灰黄褐 10YR5/2	良好	爪形刺突文 丁寧なナデ	条痕後丁寧な ナデ	中 多	極小 少	極小 少	北白川下層式	9
	282	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	沈線文・ナデ	ナデ	1 少			深浦式	34
	283	2層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄 2.5Y7/4	にぶい黄 2.5Y6/3	良好	微隆帯 条痕文	条痕文	2 僅	微 少		深浦式	38
	284	2層	縄文 深鉢	－	－	－	浅黄 2.5Y7/4	浅黄 2.5Y7/4	良好	隆帯・ナデ	条痕文	微 僅			深浦式	37
	285	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄 2.5Y6/3	浅黄 2.5Y7/4	良好	隆帯・ナデ	条痕文	1 僅	1 僅		深浦式	40

※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第43表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）出土土器観察表②

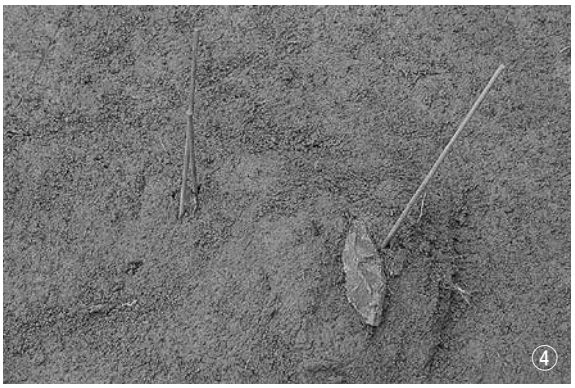
掲載頁 図番号	番号	遺構等	種別 器種	法量cm（ ）：復元 口径	底径	器高	色調 外面	内面	焼成	調整 外面	内面	胎土(上:mm 下:量) A	B	C	備考	実測 番号
p.254 第173図	286	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	条痕文	条痕文	1 僅			野久尾式	33
	287	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい橙 7.5YR6/4	良好	突帯文・刺突列文・条痕文 （一部不明瞭）	条痕文（劣化による不明瞭）	微 僅	微 少	微 僅	船元式　口唇部キザミ	44
	288	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい黄橙 10YR7/2	灰黄 7.5YR5/2	良好	沈線文・浮文 刺突文	ナデ・条痕文	1 多	1 少		船元式	31
	289	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい赤褐 5YR4/3	にぶい赤褐 5YR5/3	良好	沈線文・突帯にキザミ ナデ	条痕文	3 僅		2 多	春日式	21
p.255 第174図	290	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR5/2	にぶい褐 7.5YR5/3	良好	沈線文・突帯にキザミ ナデ	条痕後ナデ	2 少	1 僅		春日式	18
	291	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR5/2	にぶい黄褐 10YR5/3	良好	沈線文・突帯にキザミ ナデ	条痕文	2 少			春日式	20
	292	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	沈線文 条痕後ナデ	条痕文	1 少		1 少	春日式	19
	293	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/3	にぶい赤褐 5YR4/3	良好	条痕文	条痕文	1 僅		1 少	春日式	29
	294	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰褐 7.5YR4/2	にぶい褐 7.5YR5/4	良好	条痕文・部分的に キザミのある隆帯文	条痕文	1 少	1 僅		春日式	95
	295	2層	縄文 深鉢	－	－	－	灰黄褐 10YR6/3	灰黄褐 10YR5/2	良好	ナデ	ナデ	1 僅	2 僅		無文土器	35
	296	2層	縄文 深鉢	－	－	－	にぶい褐 7.5YR5/4	にぶい黄橙 10YR6/4	良好	ナデ	ナデ （一部は剥離磨滅）	1 少	微 僅		土製円盤	47

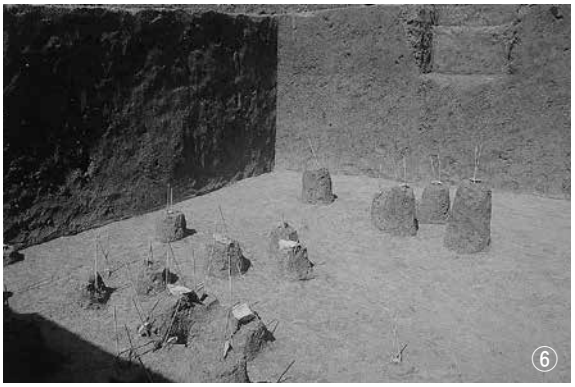
※胎土 A:長石・石英 B:輝石・角閃石 C:雲母

第44表　橋山第3遺跡2地区　縄文時代前期～中期遺物包含層（2層）　出土石器観察表

掲載頁 図番号	掲載 番号	出土位置 （グリッド・層・番号）	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	実測 番号
p.256 第175図	297	B　2層　1518	石鏃（平基鏃）	頁岩	2.30	1.25	0.35	0.90		169
	298	T2H　2層　471	石鏃（凹基鏃）	黒曜石 （桑ノ木津留）	(1.90)	1.35	0.35	(0.60)	先端部欠損	170
	299	T6　2層　343	石鏃（凹基鏃）	安山岩	(3.00)	2.35	0.35	(1.80)	先端部欠損	172
	300	T2H　2層　470	石鏃（凹基鏃）	安山岩	2.00	2.10	0.35	1.20	先端部欠損後再加工の痕跡有	171
	301	2層	石鏃（凹基鏃）	チャート	2.35	(1.30)	3.50	(0.90)	脚部欠損 先端部再加工の痕跡有	173
	302	2層	石錐	安山岩	3.15	1.40	0.55	2.00		180
	303	T1　2層　282	石匙	黒曜石（姫島）	(3.30)	1.90	0.60	(3.30)	下半部欠損	175
	304	T8A　2層　387	石匙	安山岩	5.45	(8.30)	1.55	(56.60)	右側縁部欠損	174
	305	T1 2層　47	石匙	頁岩	2.90	4.80	1.25	16.10	使用痕（磨滅）有	176
	306	T7　2層　349	スクレイパー	安山岩	(3.40)	2.00	0.50	(3.10)	上部欠損	177
p.257 第176図	307	2層	礫器	砂岩	(10.70)	(8.60)	2.50	(254.10)	上端・右側縁・下端左欠損	182
	308	T5　2層　591	礫器	砂岩	13.70	12.40	4.90	794.70		181
	309	T2E　2層　317	磨製石斧片	流紋岩	(6.15)	(4.70)	(2.40)	(78.50)	下半部欠損	178
	310	2層	磨製石斧片	砂岩	(1.90)	(2.20)	(1.30)	(5.00)		207
p.258 第177図	311	T7　2層　384	石核	黒曜石（姫島）	11.20	14.75	7.90	1077.20		183
p.259 第178図	312	T1　2層　48	石核	黒曜石（日東）	3.75	7.80	6.00	175.90		184
	313	T5　2層　480	敲石	砂岩	(9.05)	(7.40)	(4.35)	(301.90)	下部欠損	206
	314	T2H　2層　460	敲石・磨石	砂岩	11.75	9.85	3.35	542.60		210
	315	2層	敲石	凝灰岩	9.30	7.50	3.40	158.70		203
	316	T8B　2層　441	敲石	凝灰岩	7.30	(5.80)	(2.90)	(82.30)	左側縁部欠損	205
	317	T1　2層　158	敲石	凝灰岩	8.10	5.80	3.90	224.90		199
	318	T1　2層　101	磨石	凝灰岩	7.95	5.45	3.00	149.20		209
	319	T8A　2層　538	磨石	尾鈴山酸性岩	5.40	4.60	3.20	111.60		198
p.260 第179図	320	T1　2層　79	磨石	尾鈴山酸性岩	10.00	8.10	5.30	600.80		202
	321	T21　2層　412	磨石	尾鈴山酸性岩	8.30	7.10	4.20	371.90		196
	322	T1　2層　123	台石	砂岩	25.90	25.00	4.30	3960.00		204

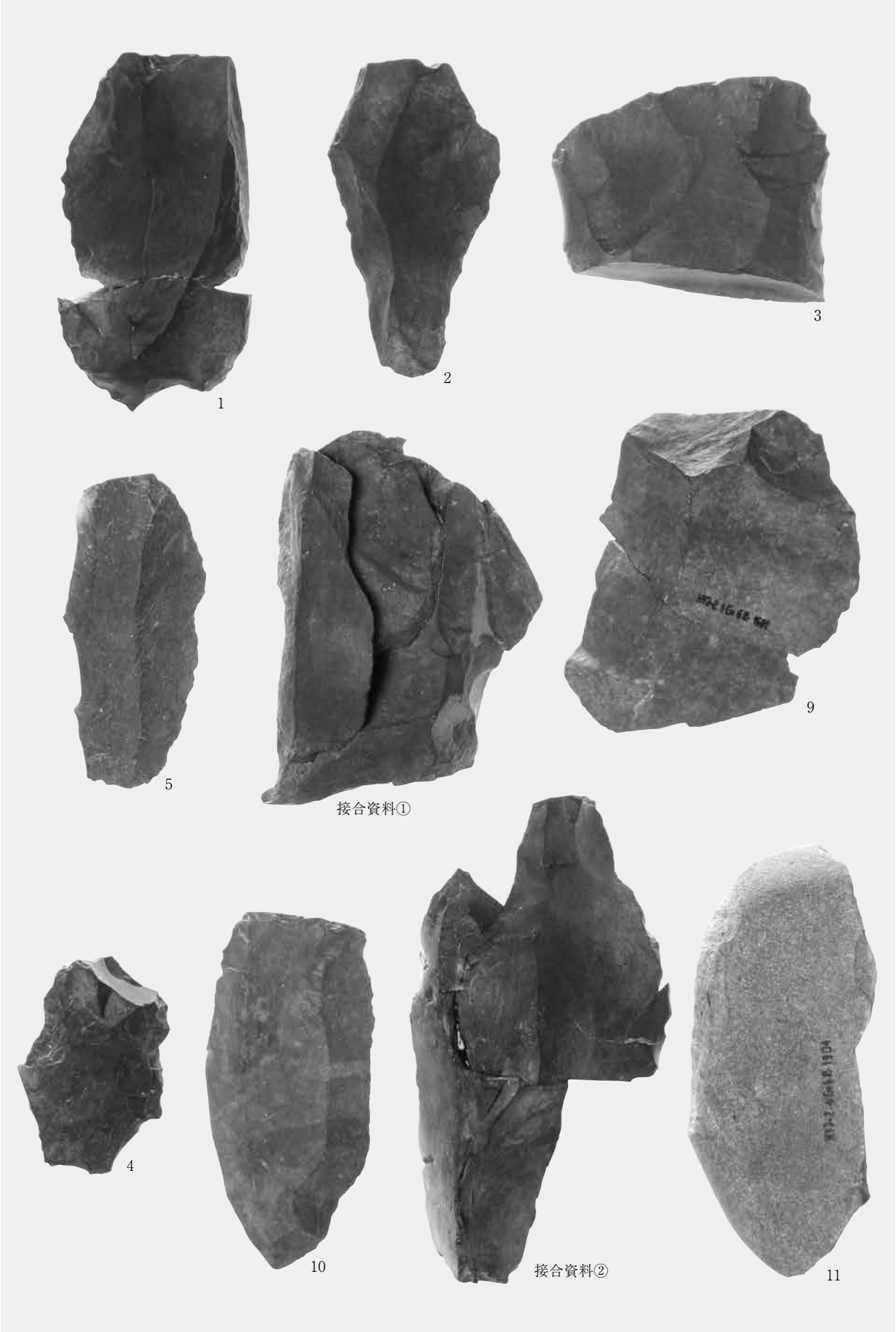
（ ）の値は残存法量を示す

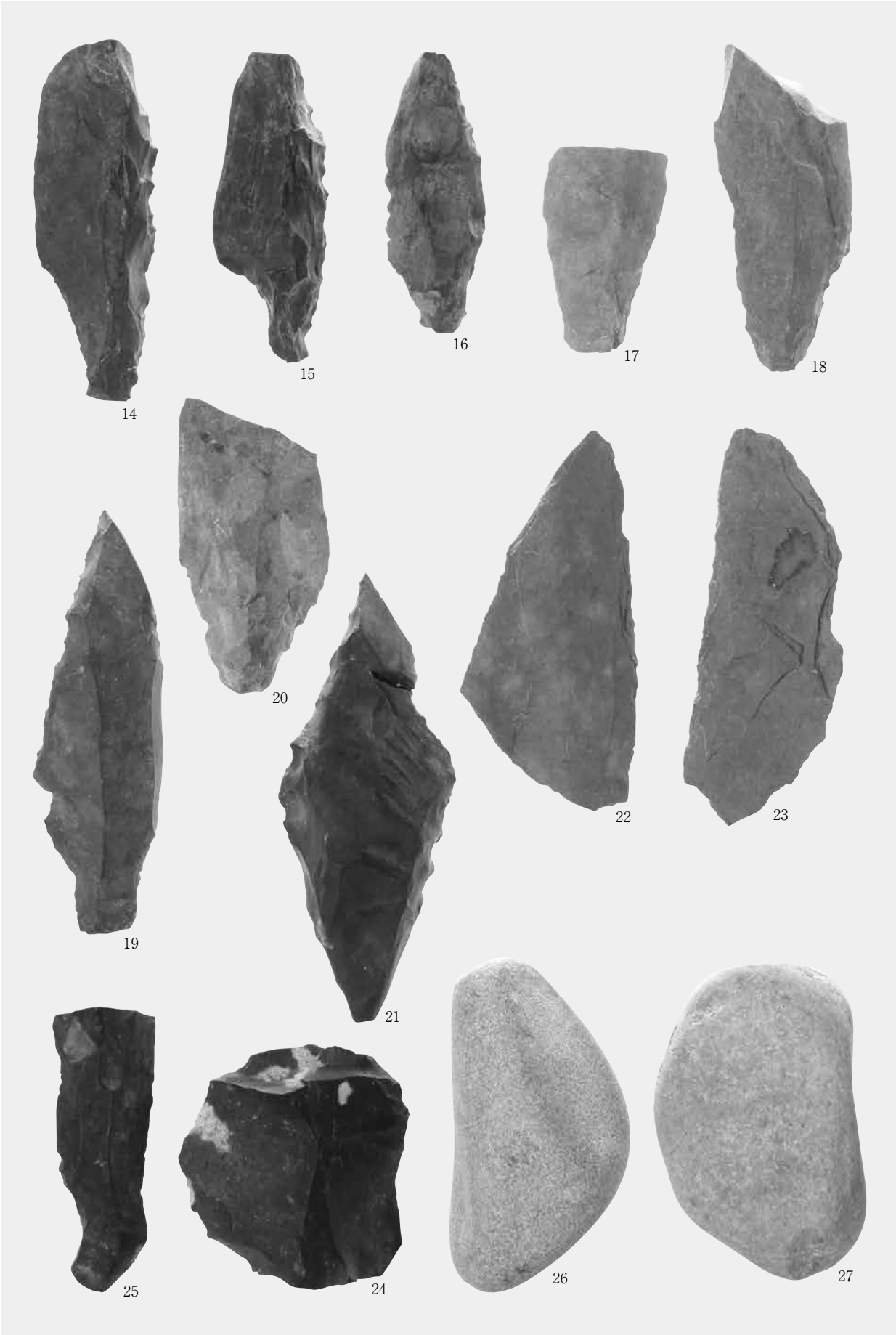




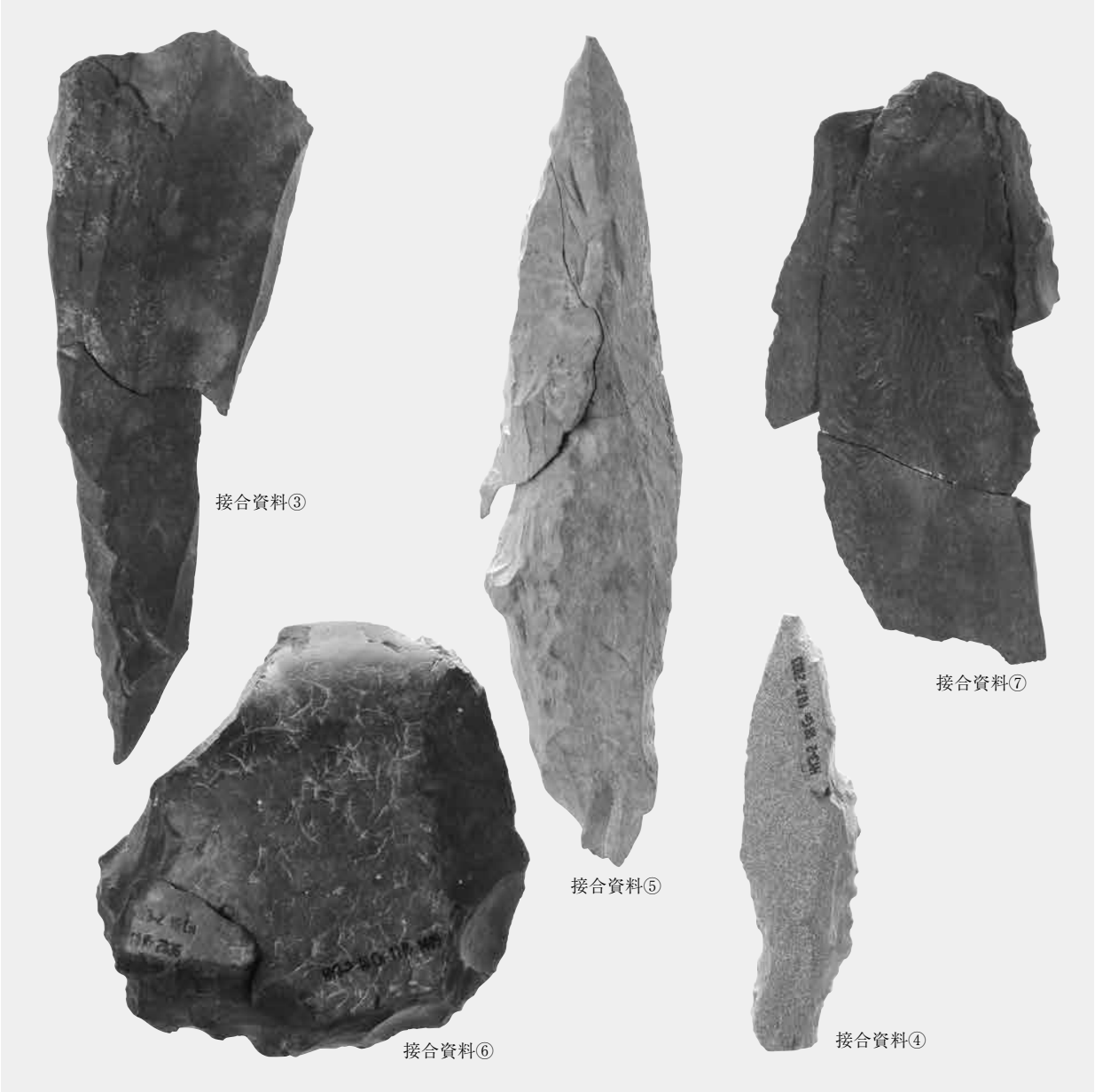
①Bブロック旧石器出土状況　②錦江谷型尖頭器（No.22）出土状況　③Bブロック北西部旧石器出土状況
④ナイフ形石器（No.16）出土状況　⑤17G旧石器（No.14・35）出土状況　⑥Cブロック旧石器出土状況
⑦Dブロック旧石器出土状況　⑧Aブロック旧石器出土状況

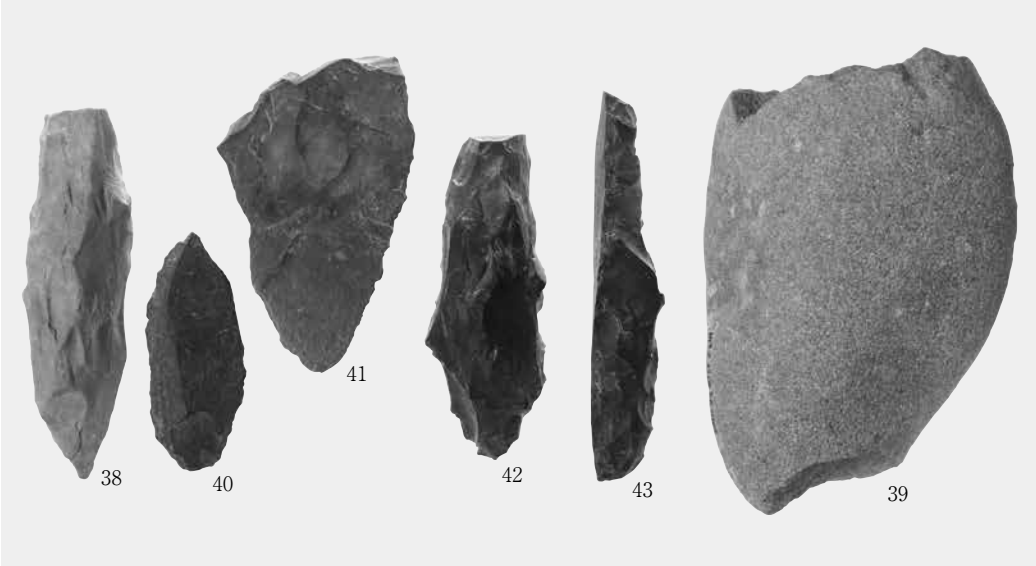
図版40




14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27

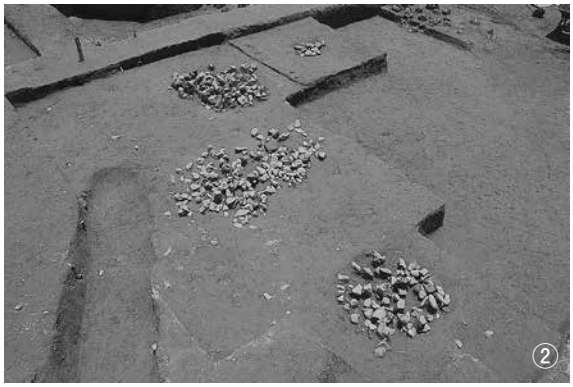
図版42

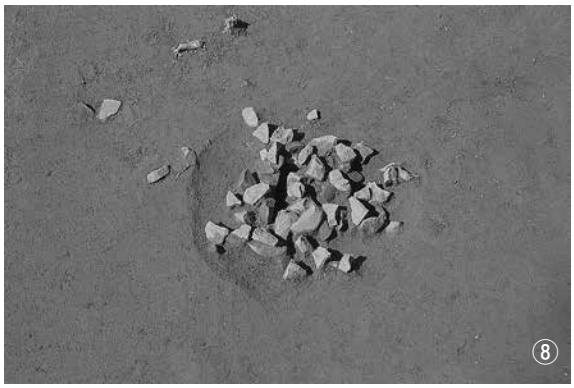




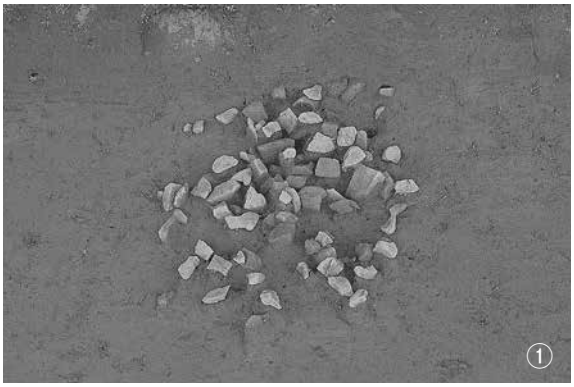
①SI6　②SI7･8　③SI9　④SI10･11　⑤SI12　⑥SI13　⑦SI14　⑧SI15

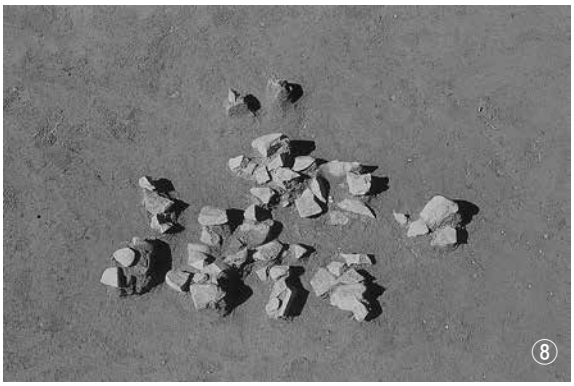
図版44





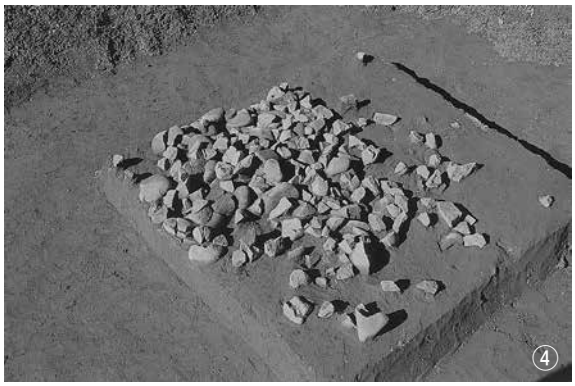
①SI16　②SI17～20・61　③SI21　④SI22・23　⑤SI22・23土層断面　⑥SI24　⑦SI25　⑧SI26

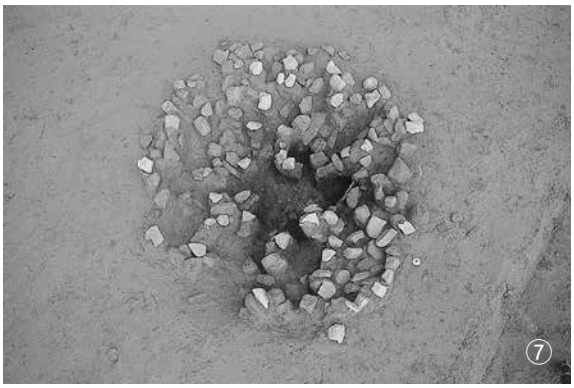




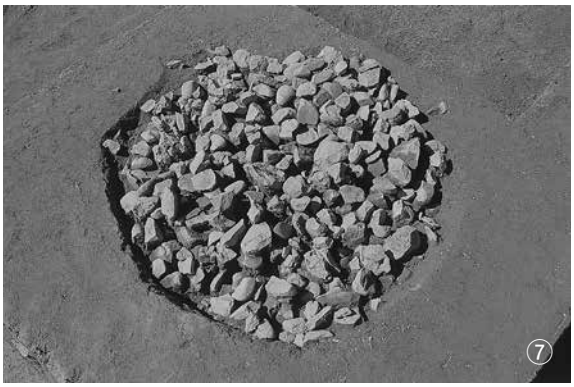
①SI27　②SI28　③SI31　④SI32　⑤SI33　⑥SI34　⑦SI35　⑧SI36

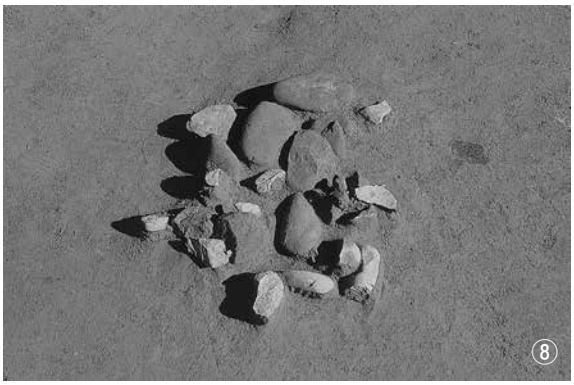
図版46





①SI37　②SI38　③SI39　④SI40　⑤SI41・42　⑥SI43～46　⑦SI43　⑧SI47

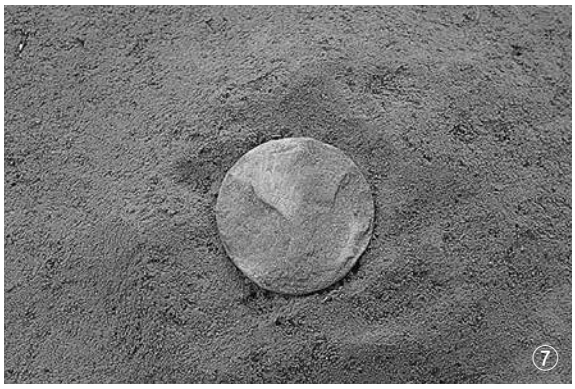


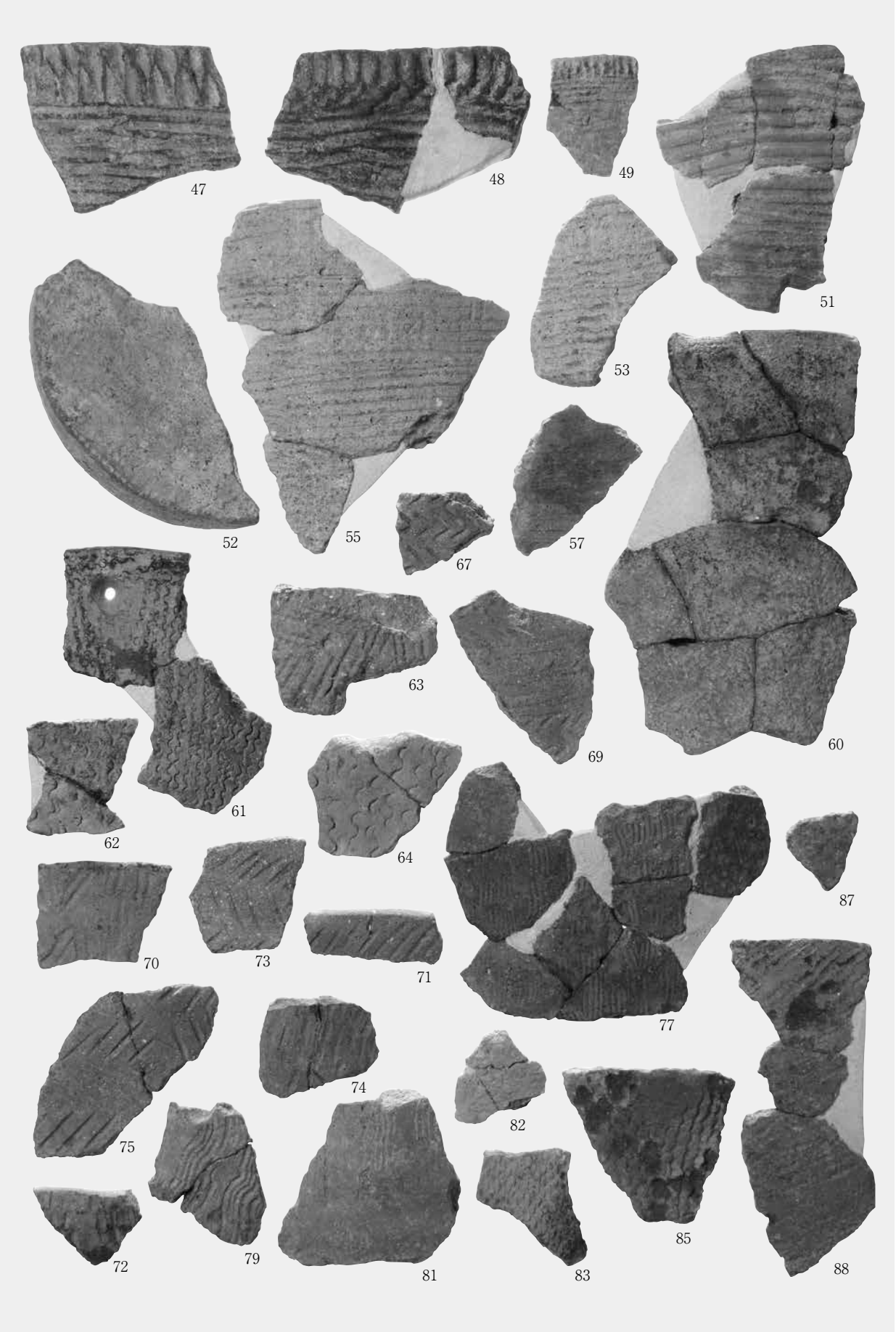


①SI48　②SI49　③SI50・51　④SI51　⑤SI52　⑥SI53　⑦SI57　⑧SI59

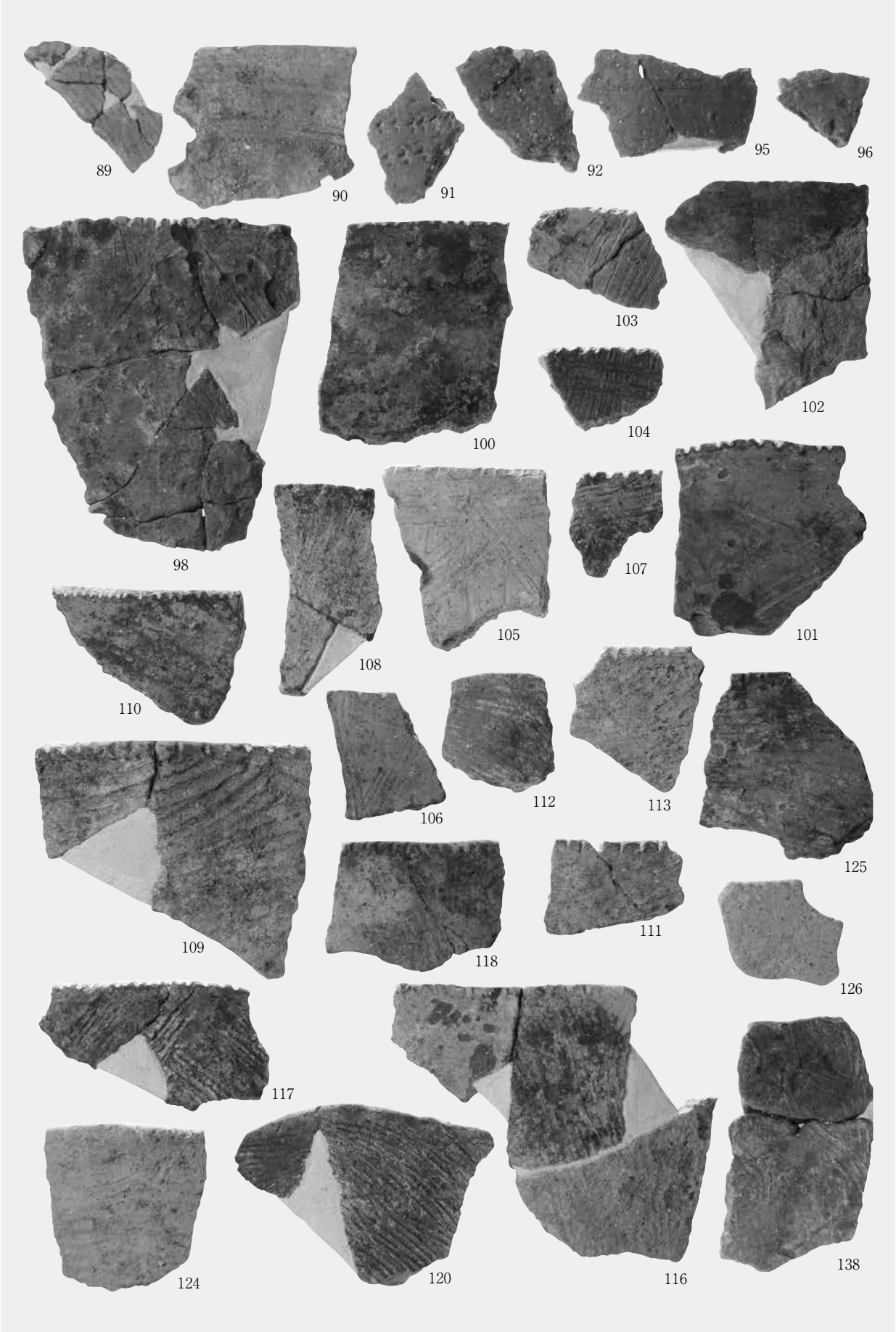
図版48

①SC1完掘
②SC58検出
③SC60検出
④66G早期末条痕文土器
　（№114）出土状況
⑤51G早期末条痕文土器
　出土状況
⑥石斧（№212）出土状況
⑦28G石製円盤
　（№241）出土状況




47
48
49
51
52
53
55
57
60
61
62
63
64
67
69
70
71
72
73
74
75
77
79
81
82
83
85
87
88

図版50


89
90
91
92
95
96
98
100
103
102
104
107
101
105
108
110
106
112
113
125
109
118
111
126
117
124
120
116
138

46

54

59

66

図版52

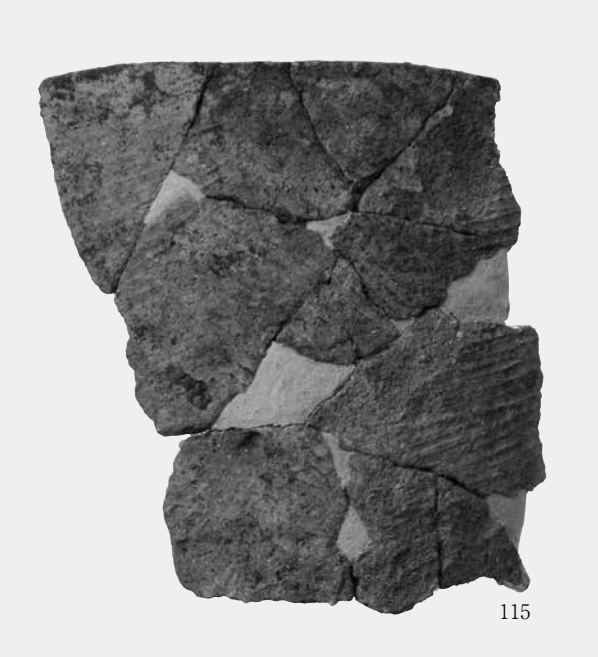
127

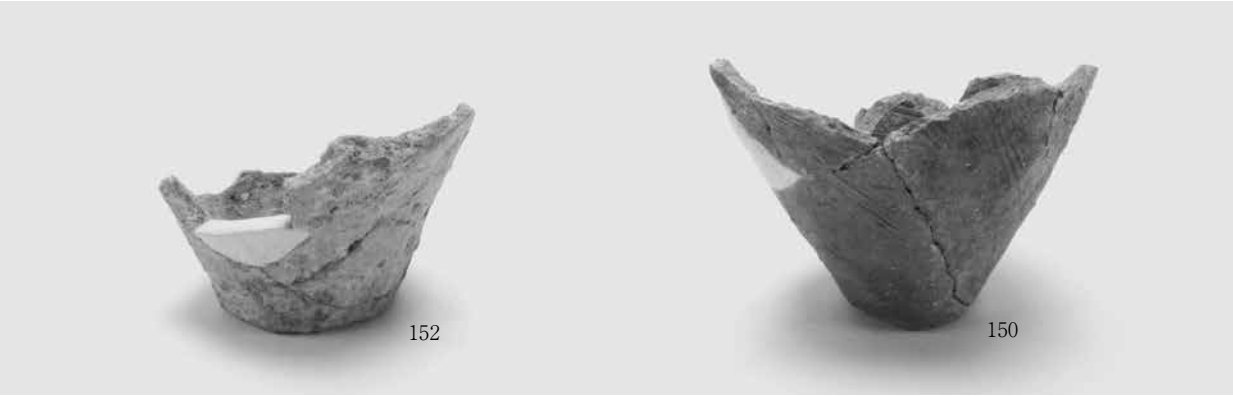
144

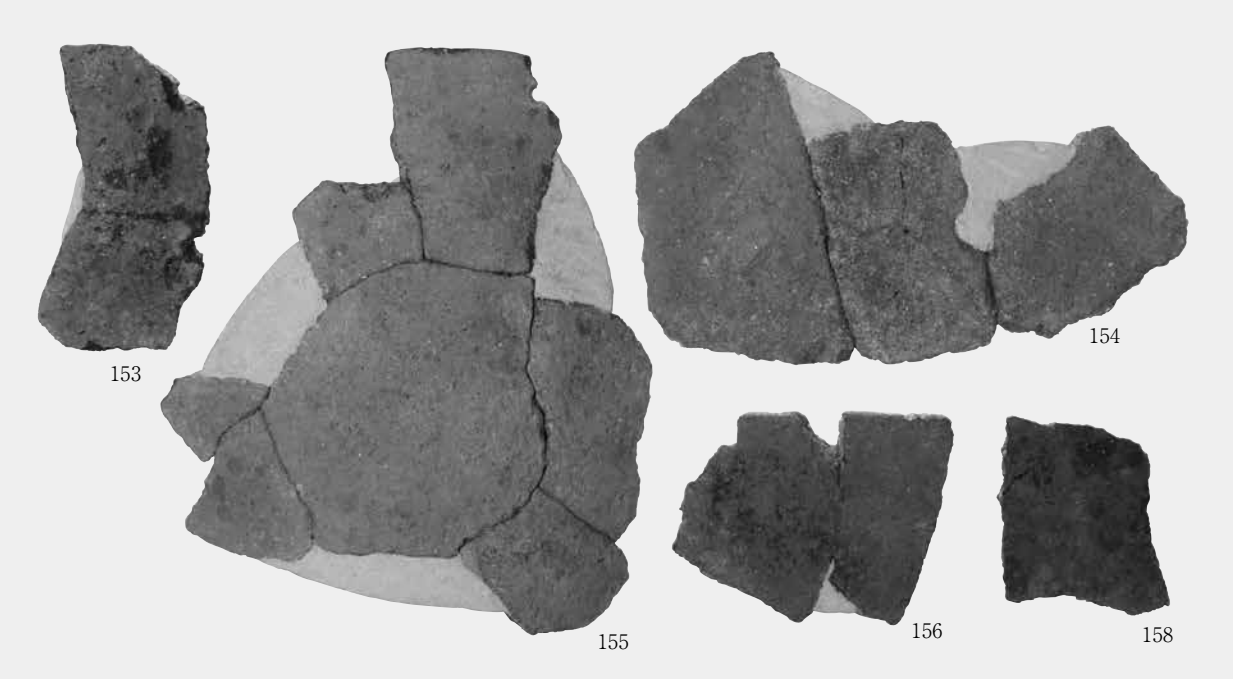
114

97

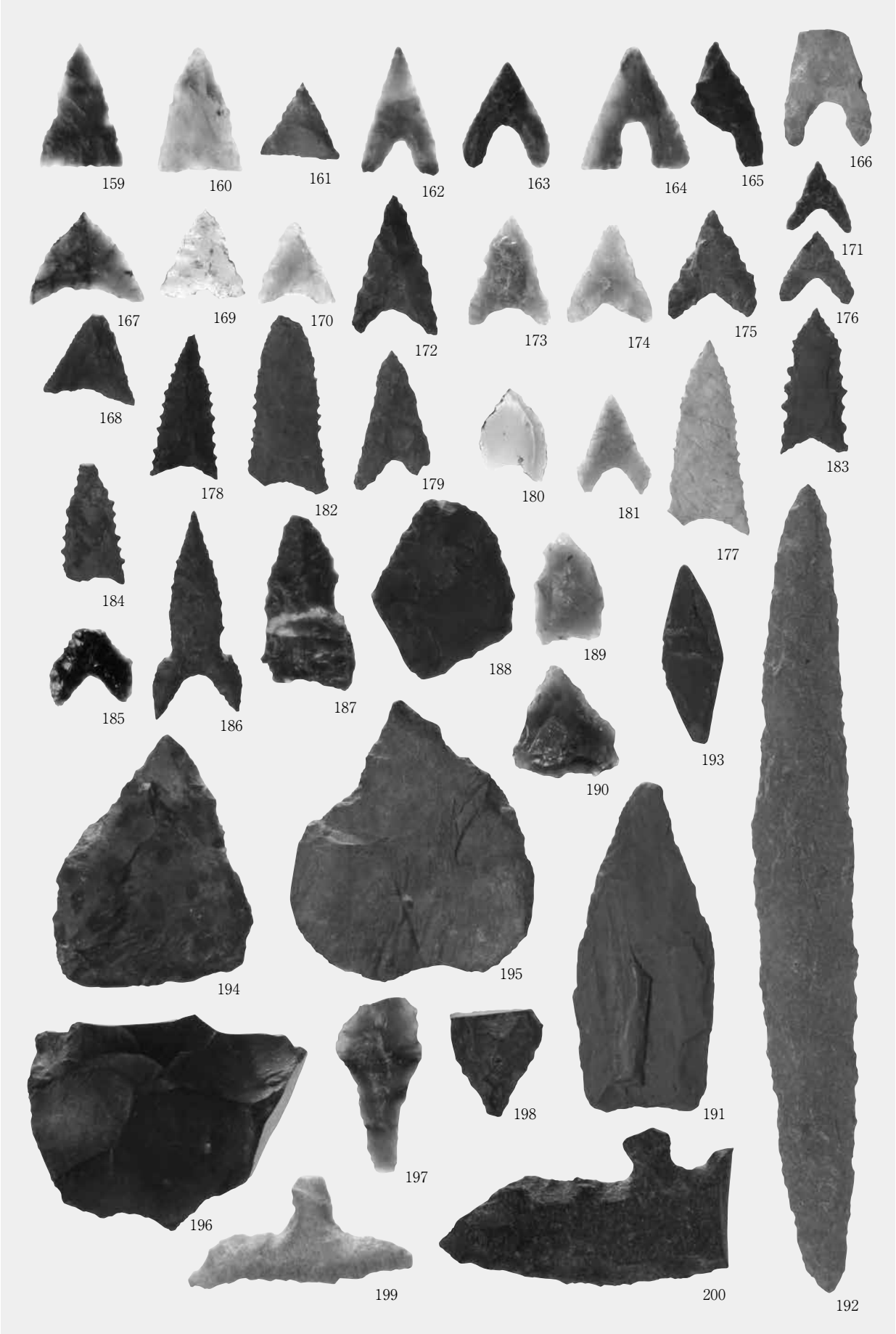
99


115


152
150

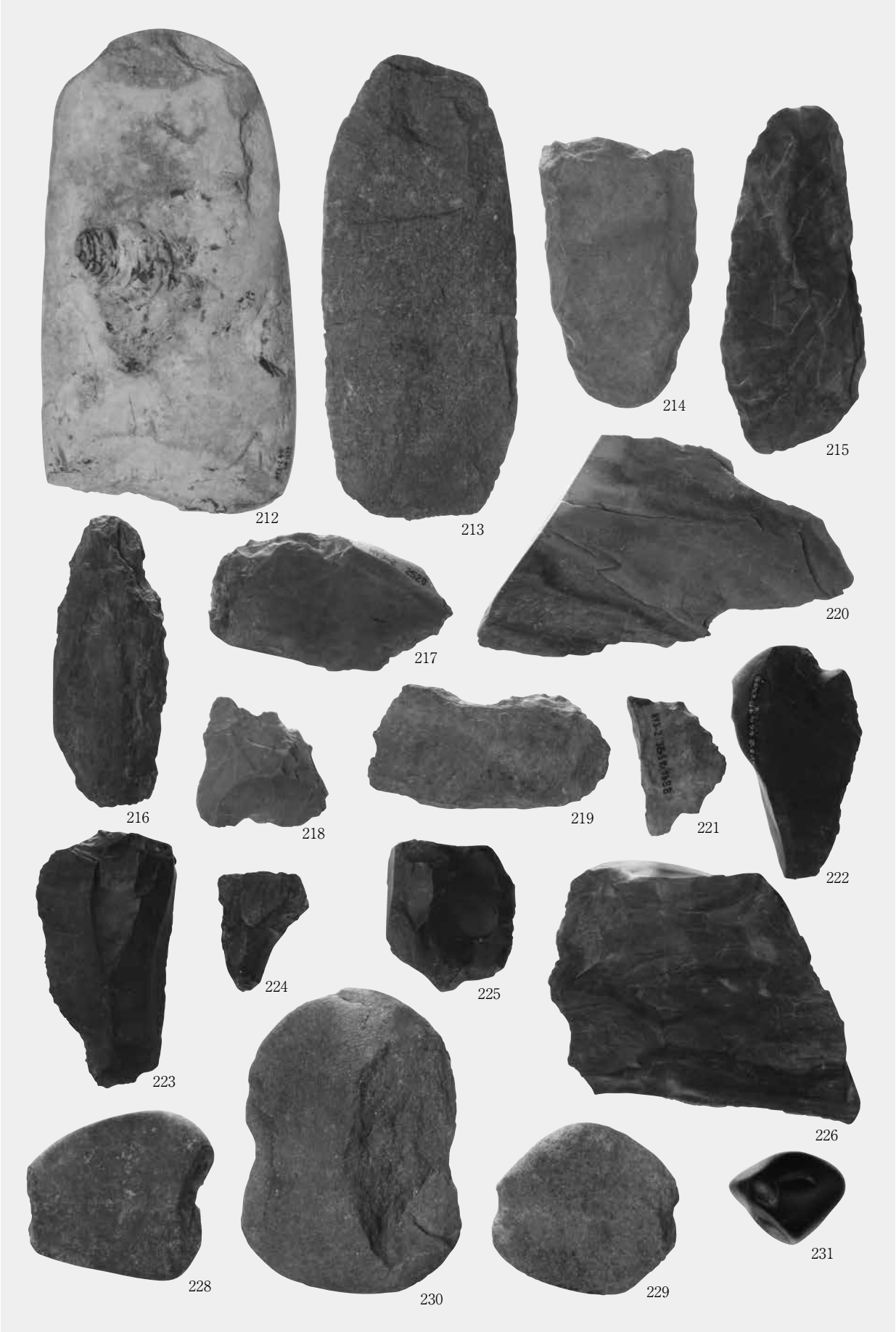

153
154
155
156
158

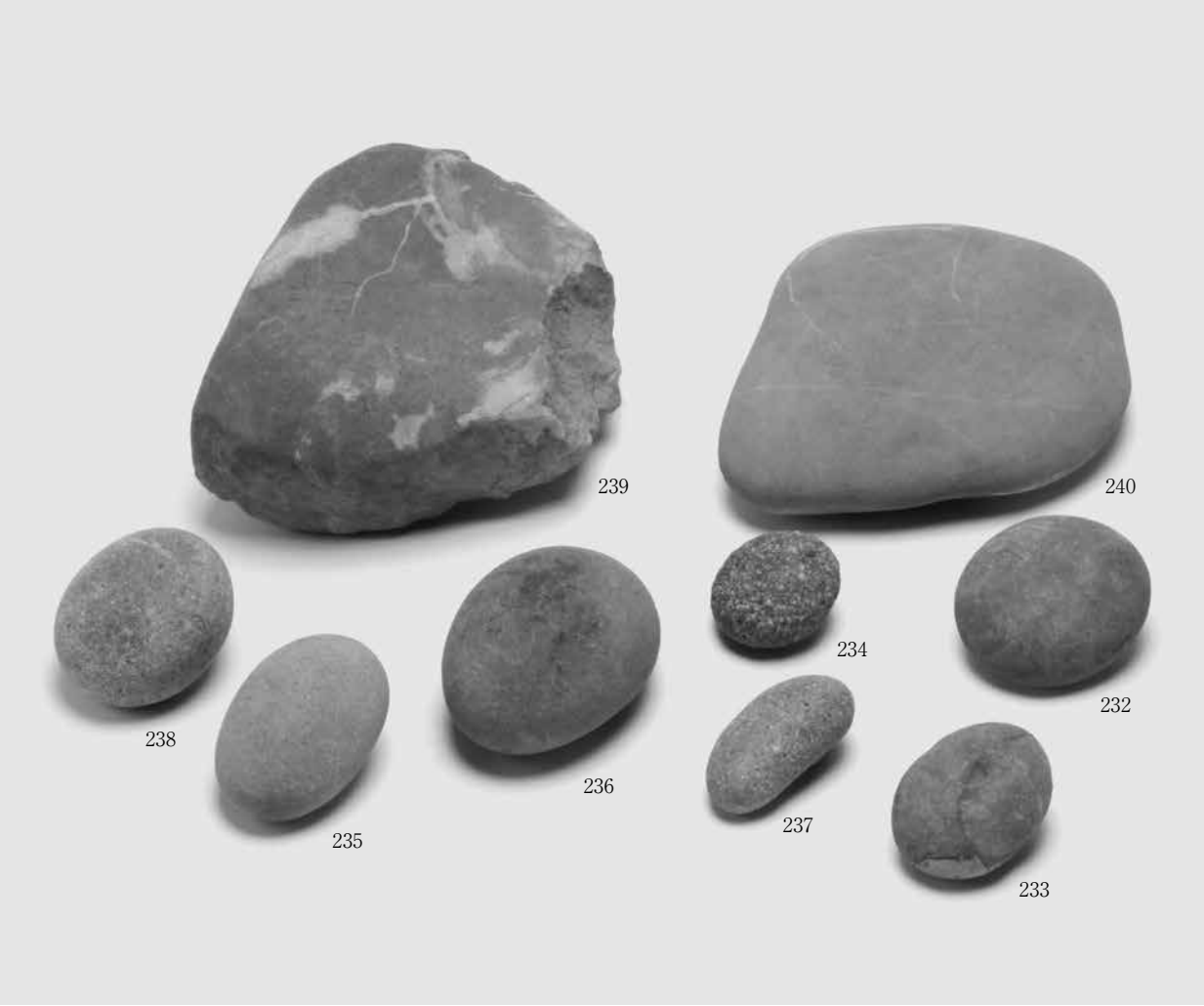
図版54


159
160
161
162
163
164
165
166
167
169
170
171
172
173
174
175
176
168
178
182
179
180
181
177
183
184
188
189
185
186
187
193
190
194
195
191
198
197
196
199
200
192

201
202
203
204
207
205
208
206
209
210
211

図版56


212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
228
229
230
231



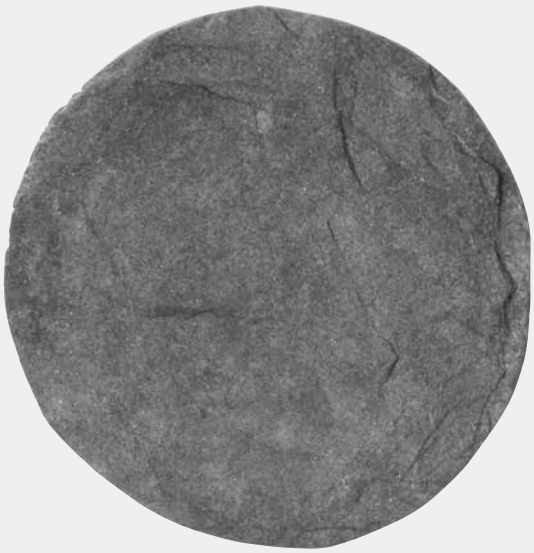
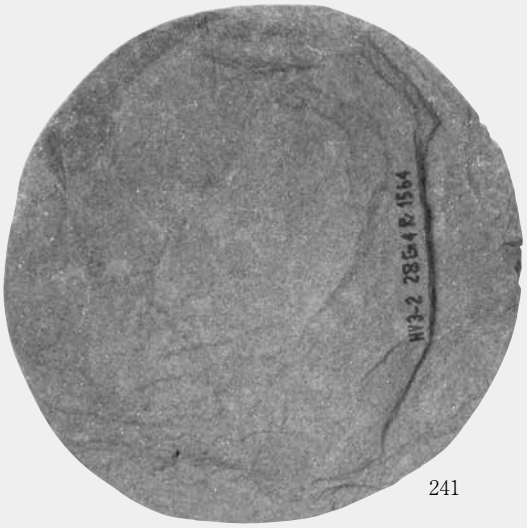
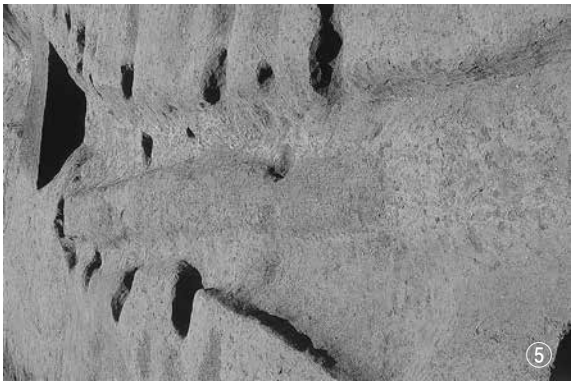


表　面

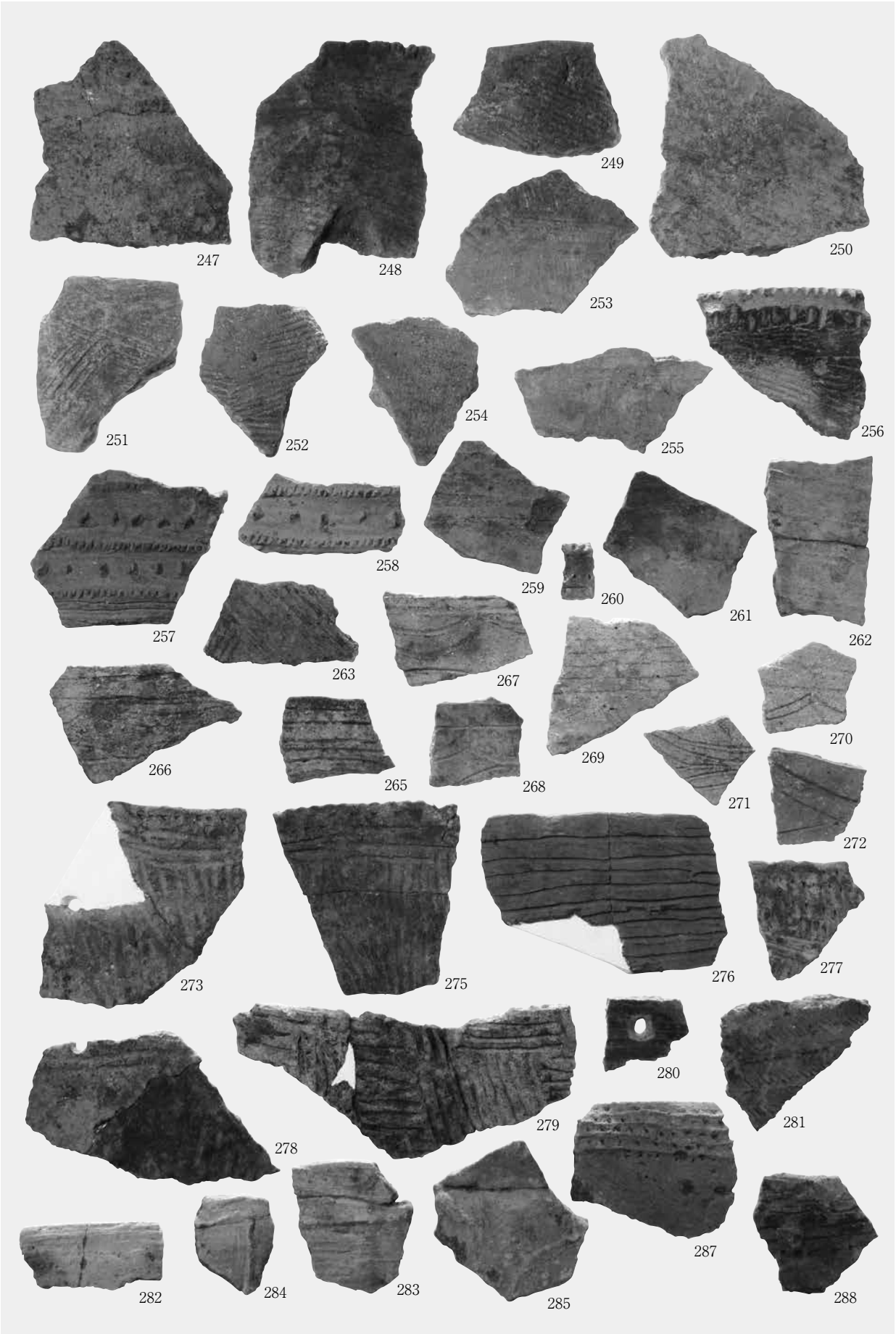


裏　面

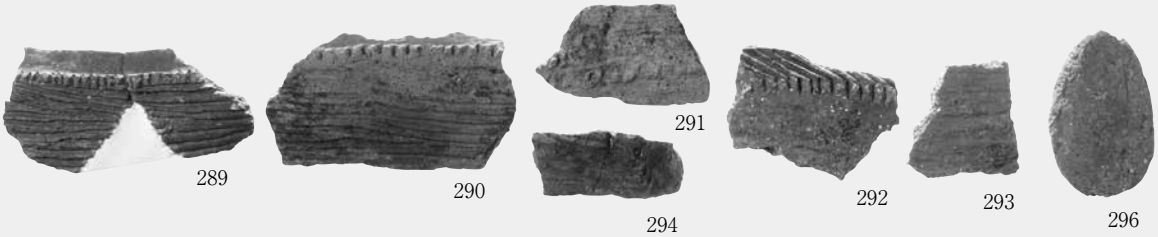
図版58

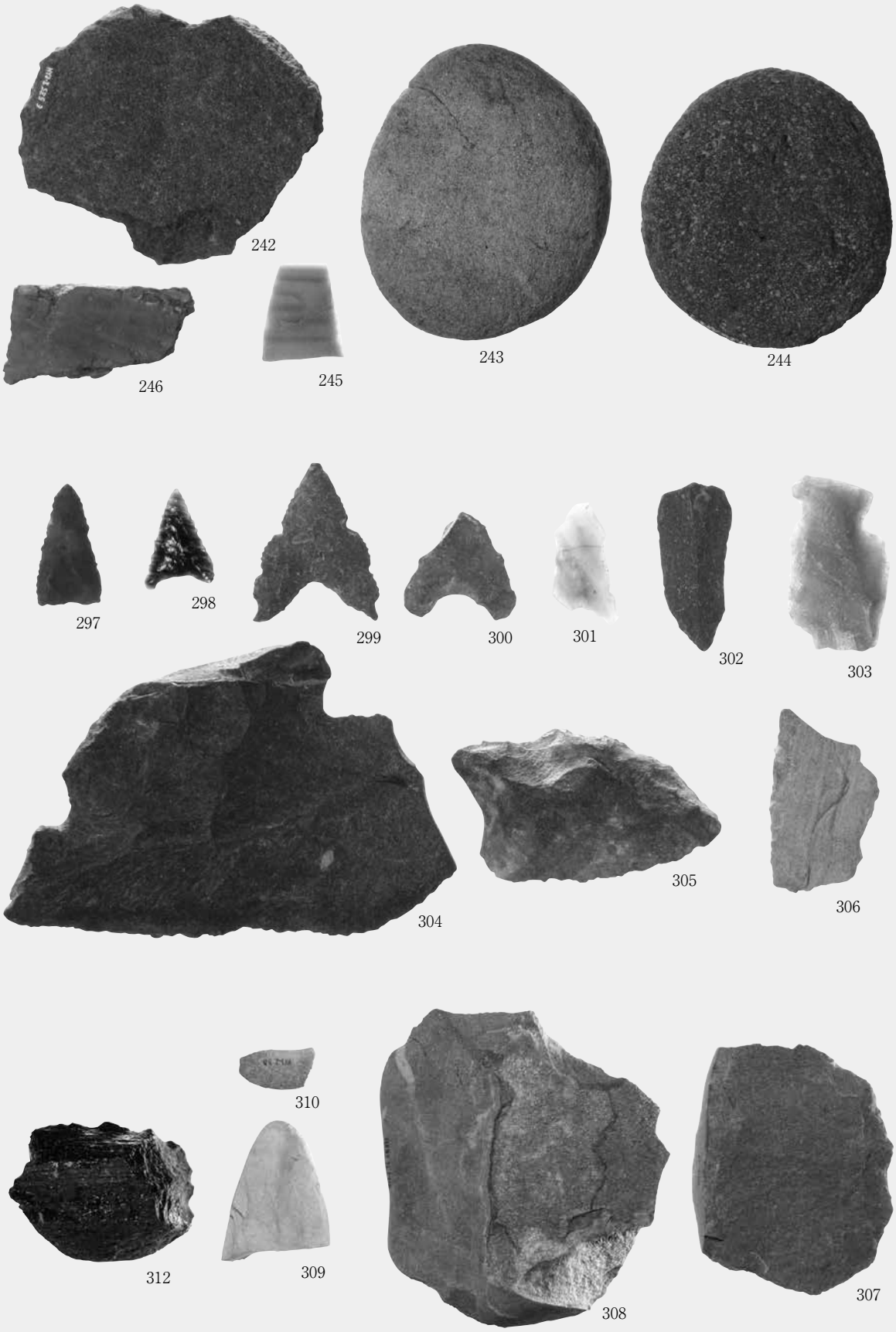


①SC4完掘　②SZ5　③SG2硬化面検出　④SG2完堀　⑤SG54～56切り合い状況
⑥SG54～56硬化面検出　⑦SE3土層

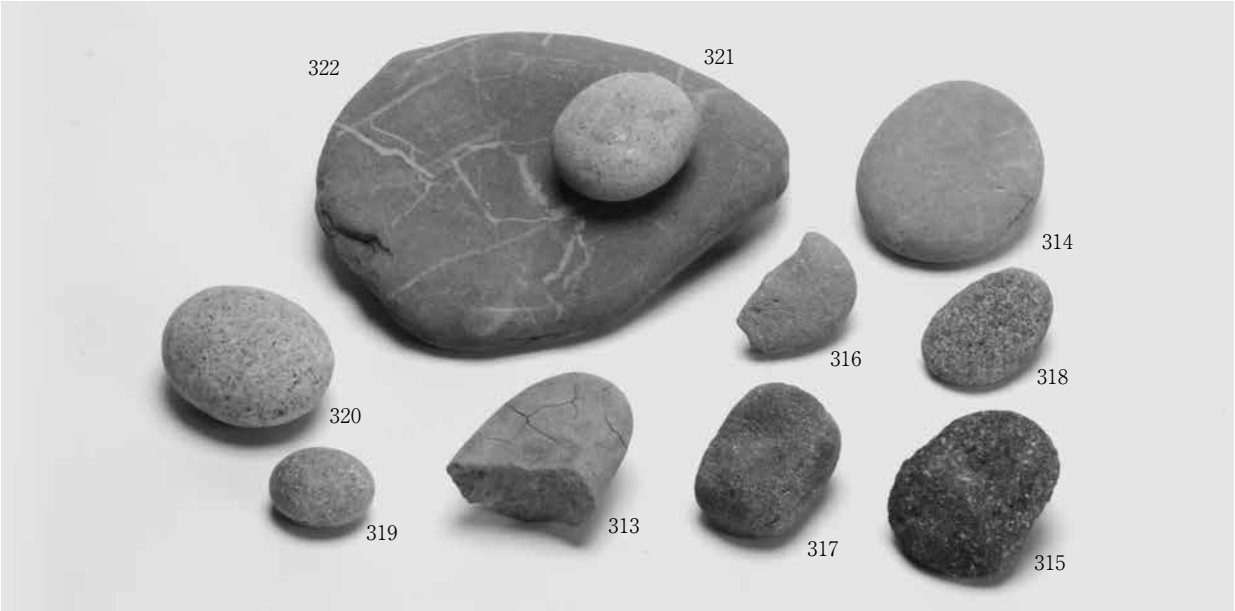

247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
265
266
267
268
269
270
271
272
273
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
287
288

図版60




242
243
244
246
245
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
310
312
309
308
307

図版62



第Ⅴ章　自然科学分析について

宮崎市教育委員会文化財課：橋山第2・第3遺跡における自然科学分析

株式会社 古環境研究センター

Ⅰ．自然科学分析の概要

橋山第2・第3遺跡から採取された試料について自然科学分析を行った。分析内容は、放射性炭素年代測定およびテフラ（火山灰）分析である。以下に、各分析項目ごとに試料の詳細、分析方法、分析結果および考察・所見を記載する。

Ⅱ．放射性炭素年代測定

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素（^{14}C）の濃度が放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土器付着炭化物などが測定対象となり、約5万年前までの年代測定が可能である（中村，2003）。

2. 試料

試料は、集石遺構から採取されたNo.1～No.14、No.16～No.21及び土器付着炭化物（No.15：外面）の計21点である。このうちNo.1～No.17、No.21の18点は炭化材であり、No.18、No.19、No.20の3点は炭化材が認められないことから黒色土壌からヒューミン（非水溶性の画分）を抽出して測定対象とした。第45表に試料の詳細を示す。

3. 方法

試料の前処理･調整として超音波洗浄、有機溶剤処理（アセトン使用）、酸-アルカリ-酸処理（AAA処理）を実施し、測定は加速器質量分析法（AMS：Accelerator Mass Spectrometry）で行った。

4. 測定結果

AMS法によって得られた^{14}C濃度について同位体分別効果の補正を行い、放射性炭素（^{14}C）年代および暦年代（較正年代）を算出した。第45表にこれらの結果を示し、第180図～第182図に各試料の暦年較正結果（較正曲線）、第183図に暦年較正年代マルチプロット図を示す。

(1) δ^{13}C（デルタ）測定値

試料の測定^{14}C/^{12}C比を補正するための炭素安定同位体比（^{13}C/^{12}C）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。試料のδ^{13}C値を-25(‰)に標準化することで同位体分別効果を補正している。

(2) 放射性炭素（^{14}C）年代測定値

試料の^{14}C/^{12}C比から、現在（AD 1950年基点）から何年前かを計算した値。^{14}Cの半減期は5730年であるが、国際的慣例によりLibbyの5568年を使用している。付記した統計誤差（±）は1σ（68.2%確率）である。^{14}C年代値は下1桁を丸めて表記するのが慣例であるが、暦年較正曲線が更新された場合のために下1桁を丸めない暦年較正用年代値を併記した。

(3) 暦年代（Calendar Years）

放射性炭素（^{14}C）年代を実際の年代値に近づけるために、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中^{14}C濃度の変動や^{14}Cの半減期の違いを較正している。暦年代較正には、年代既知の樹木年輪の詳細な^{14}C測定値および福井県水月湖の年縞堆積物データなどにより作成された較正曲線を使用した。較正曲線のデータはIntCal 20、較正プログラムはOxCal 4.4である。

暦年代（較正年代）は、^{14}C年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅で表し、OxCalの確率法により2σ（95.4%確率）で示した。較正曲線が不安定な年代では、複数の値が表記される場合もある。()内の%表示は、その範囲内に暦年代が入る確率を示す。グラフ中の縦軸上の曲線は^{14}C年代の確率分布、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

5. 所見

加速器質量分析法（AMS）による放射性炭素年代測定の結果、№1では7630±25年BP、№2では7630±25年BP、№3では8400±30年BP、№4では8050±30年BP、№5では7935±30年BP、№6では7925±30年BP、№7では8115±30年BP、№8では8050±30年BP、№9では8020±30年BP、№10では8440±30年BP、№11では8170±25年BP、№12では8540±30年BP、№13では8210±30年BP、№14では9445±30年BP、№15では5565±25年BP、№16では8125±25年BP、№17では8165±30年BP、№18では8140±30年BP、№19では7095±25年BP、№20では8190±30年BP、№21では8130±25年BPの年代値が得られた（第45表）。暦年代（較正年代）については、№1～№13、№16～№18、№20、№21についてはおよそBC 6500～7500年の範囲に含まれ、このうち№1と№2はBC 6500年前後、№3、№10、№12はBC 7500年前後で揃っている。また、№14はBC 8700年前後、№15（土器付着炭化物：外面）はBC 4400年前後となっている。№19はBC 5900～6000年前後となっている（第183図）。

なお、樹木（炭化材）による年代測定結果は、樹木の伐採年もしくはそれより以前の年代を示しており、樹木の心材に近い部分や転用材が利用されていた場合は、考古学的所見よりも古い年代値となることがある。また、堆積物による年代測定結果は、その堆積物が生成された当時の年代を示しており、過去における攪乱や再堆積、および続成作用などの影響もあることから、文化層としての年代観とは必ずしも一致しない場合がある。

文献

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の14C年代編集委員会編「日本先史時代の14C年代」．日本第四紀学会，p.3-20.

中村俊夫(2003)放射性炭素年代測定法と暦年代較正．環境考古学マニュアル．同成社, p.301-322.

Bronk Ramsey, C.(2009)Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), p.337-360.
Paula J Reimer et al.,(2020)The Int20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve(0-55 kBP). Radiocarbon, 62(4), p.725-757.

Ⅲ．テフラ分析

1. はじめに

テフラ（火山灰）の岩石学的諸特性（鉱物組成、火山ガラスの形態、火山ガラスと斜方輝石の屈折率など）を明らかにすることにより、指標テフラとの対比を試みた。なお、テフラの岩石学的諸特性や年代については新編火山灰アトラス（町田・新井，2003）を参照した。

2. 試料

分析試料は、27グリッド北壁から採取された№1と№2の2点である（図版63）。

3. 分析方法

試料をアルミナ乳鉢で適度に粉砕して超音波洗浄機で分散し、3φ(0.125mm)、4φ(0.063mm)、4.5φ(0.044mm)の篩を重ねて湿式篩分けを行った。4φ篩残渣についてテトラブロムエタン(比重：2.96）を用いて重液分離を行い、重鉱物と軽鉱物のフラクションに区分し、封入剤（ガムクロラール）を用いてプレパラートを作製した。

軽鉱物については火山ガラス、石英（Qu)、長石（Pl)、スコリア（Sc)、不明（Opq）などを同定・計数した。火山ガラスの形態は、町田・新井（2003）の分類基準に従い、バブル型平板状（b1)、バブル型Ｙ字状（b2)、軽石型繊維状（p1)、軽石型スポンジ状（p2)、急冷破砕型フレーク状(c1)、急冷破砕型塊状（c2）に分類した。重鉱物については、偏光顕微鏡下で斜方輝石（Opx)、単斜輝石（Cpx)、角閃石（Ho)、カンラン石（Ol)、磁鉄鉱（Mg)、不明（Opq）などを同定・計数した。

火山ガラスと斜方輝石の屈折率は、温度変化型屈折率測定装置（古澤地質製，MAIOT2000）を用いて4φ篩残渣について測定した（横山ほか，1986)。

4. 結果

テフラ分析結果を第46表および第184図に示し、写真図版に顕微鏡写真を示す。以下に各試料の特徴を記載する。

(1) №1

試料は、浅黄橙色（10YR 8/4）の軽石質テフラである。4φ篩残渣は軽鉱物の割合が高く、火山ガラスと長石（pl）が多い。火山ガラスは、バブル型Ｙ字状ガラス（b2)、バブル型平板状ガラス（b1)、軽石型スポンジ状ガラス（p2）が多く、急冷破砕型フレーク状ガラス（c1）と急冷破砕型塊状ガラス（c2）を少量含む。重鉱物は、斜方輝石（opx）が多く、磁鉄鉱（mg)、単斜輝石（cpx）などを含む。

火山ガラスの屈折率は、1.4985-1.5005（平均1.4998）および1.5070-1.5095（平均1.5081）であり、斜方輝石（opx）の屈折率は、1.7052-1.7112（平均1.7079）である。

(2) №2

試料は、灰黄褐色（10YR 6/2）の軽石質テフラであり、浅黄橙色（10YR 8/4）の軽石を含む。4φ篩残渣は軽鉱物の割合が高く、火山ガラスと長石（pl）が多く、石英を少量含む。火山ガラスは、バブル型平板状ガラス（b1）とバブル型Y字状ガラス（b2）が多く、軽石型繊維状ガラス（p1）、軽石型スポンジ状ガラス（p2）、急冷破砕型フレーク状ガラス（c1）を少量含む。重鉱物は、斜方輝石（opx）と単斜輝石（cpx）が多く、磁鉄鉱（mg）、角閃石（ho）などを含む。

火山ガラスの屈折率は、おもに1.4984-1.5003（平均1.4994）であり、1.5096の粒子を少量含む。斜方輝石（opx）の屈折率は、1.7057-1.7110（平均1.7079）および1.7257-1.7339（平均1.7308）である。

5. 所見

テフラの岩石学的諸特性（鉱物組成、火山ガラスの形態、火山ガラスと斜方輝石の屈折率）、顕微鏡観察の所見、および土層の堆積状況などから、指標テフラとの対比を試みた。

その結果、№1に含まれるテフラ粒子は、おもに桜島薩摩テフラ（Sz-S，約12,800年前）に由来しており、姶良Tn火山灰（AT，約29,000年前）が少量混在していると考えられる。桜島薩摩テフラは、約12,800年前に桜島火山から噴出した降下軽石（pfa）、火砕サージ（ps(pp)）で、分布域は同心円状に80kmに及ぶ。主な鉱物は斜方輝石（opx）と単斜輝石（cpx）で、火山ガラスの屈折率（n）は1.509-1.513、斜方輝石の屈折率（γ）は1.706-1.712である（町田・新井，2003）。

№2に含まれるテフラ粒子は、おもに霧島小林軽石（Kr-Kb，約16,700年前）に由来しており、姶良Tn火山灰（AT，約29,000年前）が少量混在していると考えられる。霧島小林テフラ（Kr-Kb）は、約16,700年前に韓国岳から噴出した降下軽石（pfa）で、分布域は東（北）95km以上に及ぶ。主な鉱物は斜方輝石（opx）と単斜輝石（cpx）で、斜方輝石の屈折率（γ）は1.705-1.707である（町田・新井，2003）。

文献

町田洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス－日本列島とその周辺－．東京大学出版会，336p.

横山卓雄・檀原徹・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定．第四紀研究，25，p.21-30.

横山卓雄・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置（RIMS-86）による斜方輝石・角閃石の屈折率測定の試み．京都大学教養部報告（九十九地学），21，p.30-36.

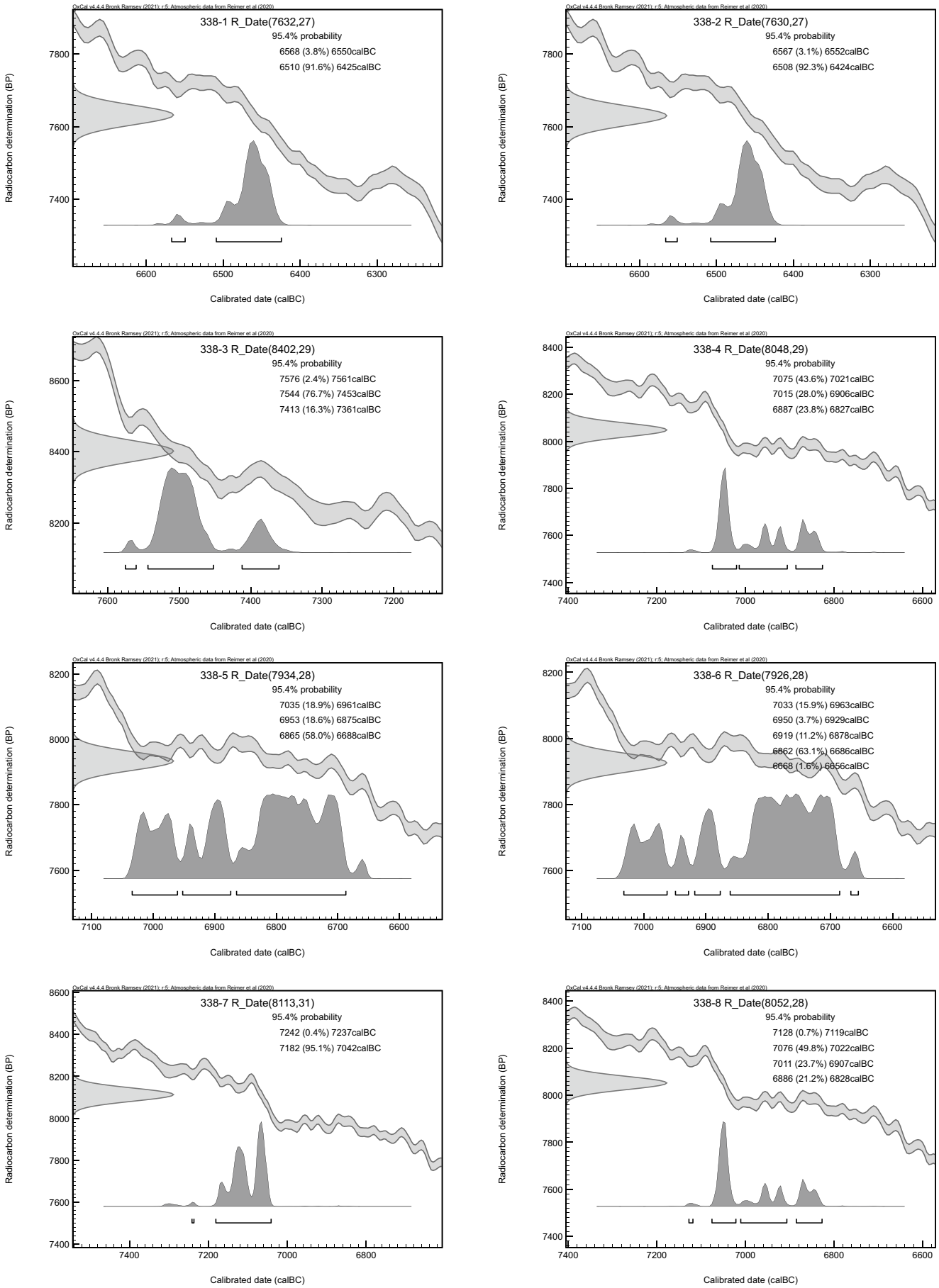
第45表　橋山第2・第3遺跡の放射性炭素年代測定結果

試料No.	測定No. PED-	試料の詳細	種類	前処理 測定法	δ13C (‰)	14C年代 (年BP)	暦年較正用年代(年BP)	暦年代（較正年代） 1σ（68.2%確率）	暦年代（較正年代） 2σ（95.4%確率）
1	45868	橋山第2遺跡 2次 SI26	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-27.50 ± 0.28	7630 ± 25	7632 ± 27	cal BC 6476-6438 (68.27%)	cal BC 6567-6550 (3.87%) cal BC 6509-6425 (91.58%)
2	45869	橋山第2遺跡 2次 SI27	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-26.27 ± 0.18	7630 ± 25	7630 ± 27	cal BC 6475-6438 (68.27%)	cal BC 6566-6552 (3.15%) cal BC 6507-6425 (92.30%)
3	45870	橋山第2遺跡 2次 SI29	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-25.49 ± 0.18	8400 ± 30	8402 ± 29	cal BC 7531-7471 (67.39%) cal BC 7387-7386 (0.88%)	cal BC 7575-7561 (2.36%) cal BC 7543-7453 (76.80%) cal BC 7412-7362 (16.29%)
4	45871	橋山第3遺跡 1地区 SI3	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-25.76 ± 0.21	8050 ± 30	8048 ± 29	cal BC 7065-7032 (39.28%) cal BC 6963-6949 (7.73%) cal BC 6928-6918 (5.51%) cal BC 6878-6859 (10.95%) cal BC 6851-6840 (4.81%)	cal BC 7074-7021 (43.62%) cal BC 7013-6906 (27.98%) cal BC 6886-6827 (23.84%)
5	45872	橋山第3遺跡 1地区 SI4	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-24.64 ± 0.19	7935 ± 30	7934 ± 28	cal BC 7024-7010 (4.48%) cal BC 6987-6970 (5.01%) cal BC 6910-6884 (9.34%) cal BC 6829-6737 (36.10%) cal BC 6732-6696 (13.34%)	cal BC 7035-6961 (19.04%) cal BC 6952-6924 (5.35%) cal BC 6921-6875 (12.99%) cal BC 6865-6688 (58.06%)
6	45873	橋山第3遺跡 1地区 SI41	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-25.44 ± 0.14	7925 ± 30	7926 ± 28	cal BC 7020-7014 (1.74%) cal BC 6981-6973 (2.13%) cal BC 6907-6886 (7.57%) cal BC 6828-6693 (56.82%)	cal BC 7033-6963 (15.85%) cal BC 6950-6928 (3.79%) cal BC 6919-6877 (11.21%) cal BC 6863-6685 (62.83%) cal BC 6668-6655 (1.76%)
7	45874	橋山第3遺跡 1地区 SI61	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-26.55 ± 0.19	8115 ± 30	8113 ± 31	cal BC 7137-7105 (32.32%) cal BC 7080-7052 (35.95%)	cal BC 7242-7237 (0.41%) cal BC 7181-7042 (95.04%)
8	45875	橋山第3遺跡 1地区 SI67	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-23.46 ± 0.22	8050 ± 30	8052 ± 28	cal BC 7067-7033 (46.48%) cal BC 6962-6950 (6.41%) cal BC 6927-6918 (4.22%) cal BC 6877-6861 (8.93%) cal BC 6848-6843 (2.23%)	cal BC 7128-7120 (0.66%) cal BC 7076-7023 (50.12%) cal BC 7011-6982 (3.54%) cal BC 6974-6908 (19.78%) cal BC 6885-6828 (21.35%)
9	45876	橋山第3遺跡 1地区 SI114	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-25.79 ± 0.20	8020 ± 30	8018 ± 29	cal BC 7051-7027 (14.78%) cal BC 7005-7003 (0.51%) cal BC 6969-6944 (13.60%) cal BC 6935-6912 (11.77%) cal BC 6882-6831 (27.61%)	cal BC 7061-6821 (95.29%) cal BC 6783-6781 (0.16%)
10	45877	橋山第3遺跡 1地区 SI127	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-26.04 ± 0.17	8440 ± 30	8438 ± 28	cal BC 7574-7563 (10.57%) cal BC 7541-7496 (57.70%)	cal BC 7581-7477 (95.45%)
11	45878	橋山第3遺跡 1地区 SI128	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-25.86 ± 0.18	8170 ± 25	8169 ± 27	cal BC 7178-7076 (68.27%)	cal BC 7316-7268 (10.28%) cal BC 7259-7226 (8.74%) cal BC 7193-7065 (76.43%)
12	45879	橋山第3遺跡 1地区 SI131	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-28.71 ± 0.25	8540 ± 30	8539 ± 28	cal BC 7591-7577 (41.90%) cal BC 7559-7545 (26.37%)	cal BC 7594-7537 (95.45%)
13	45880	橋山第3 2地区 SI22	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-28.51 ± 0.16	8210 ± 30	8210 ± 28	cal BC 7315-7224 (43.97%) cal BC 7196-7173 (11.95%) cal BC 7157-7144 (5.82%) cal BC 7099-7085 (6.53%)	cal BC 7334-7130 (83.71%) cal BC 7113-7078 (11.74%)
14	45881	橋山第3遺跡 2地区 SI43	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-25.79 ± 0.16	9445 ± 30	9444 ± 29	cal BC 8765-8702 (47.18%) cal BC 8674-8642 (21.08%)	cal BC 8806-8630 (95.45%)
15	45882	橋山第3遺跡 1地区 2層 掲載番号517	土器付着 炭化物 (外面)	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-26.48 ± 0.15	5565 ± 25	5563 ± 24	cal BC 4443-4420 (27.79%) cal BC 4400-4379 (21.64%) cal BC 4373-4357 (18.84%)	cal BC 4447-4352 (95.45%)
16	46818	橋山第3遺跡 1地区 SI29	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-28.21 ± 0.29	8125 ± 25	8126 ± 27	cal BC 7168-7165 (1.4%) cal BC 7140-7101 (39.5%) cal BC 7083-7058 (27.3%)	cal BC 7242-7237 (0.5%) cal BC 7182-7047 (94.9%)
17	46819	橋山第3遺跡 1地区 SI110①	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-28.50 ± 0.30	8165 ± 30	8166 ± 28	cal BC 7177-7076 (68.3%)	cal BC 7316-7268 (9.7%) cal BC 7259-7226 (8.2%) cal BC 7193-7063 (77.5%)
18	46820	橋山第3遺跡 1地区 SI110②	黒色土壌	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-28.06 ± 0.29	8140 ± 30	8140 ± 28	cal BC 7172-7160 (8.5%) cal BC 7142-7100 (41.3%) cal BC 7084-7064 (18.5%)	cal BC 7311-7286 (2.6%) cal BC 7250-7231 (2.7%) cal BC 7186-7052 (90.2%)
19	46821	橋山第3遺跡 1地区 SI110③	黒色土壌	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-26.93 ± 0.26	7095 ± 25	7095 ± 25	cal BC 6010-5980 (39.0%) cal BC 5944-5924 (29.3%)	cal BC 6026-5966 (53.3%) cal BC 5955-5898 (42.2%)
20	46822	橋山第3遺跡 1地区 SI116	黒色土壌	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-27.10 ± 0.28	8190 ± 30	8190 ± 28	cal BC 7306-7282 (9.3%) cal BC 7253-7228 (11.1%) cal BC 7191-7133 (31.6%) cal BC 7109-7078 (16.3%)	cal BC 7322-7220 (36.0%) cal BC 7200-7073 (59.5%)
21	46823	橋山第3遺跡 1地区 SI135	炭化材	超音波洗浄　有機溶剤処理 AAA処理 AMS法	-27.42 ± 0.26	8130 ± 25	8132 ± 27	cal BC 7170-7164 (4.5%) cal BC 7140-7101 (40.6%) cal BC 7084-7061 (23.2%)	cal BC 7246-7234 (1.4%) cal BC 7184-7048 (94.0%)

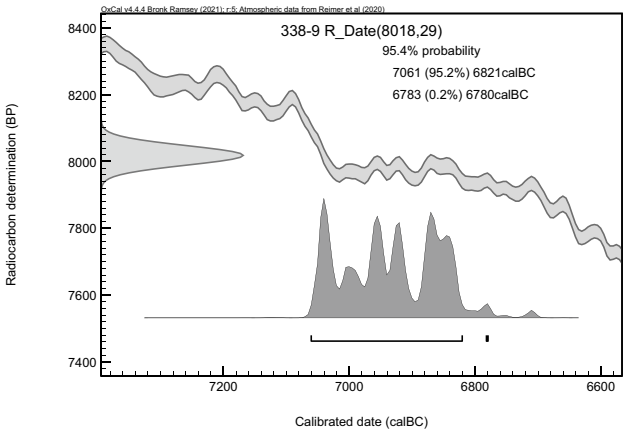
第46表　橋山第3遺跡のテフラ分析結果

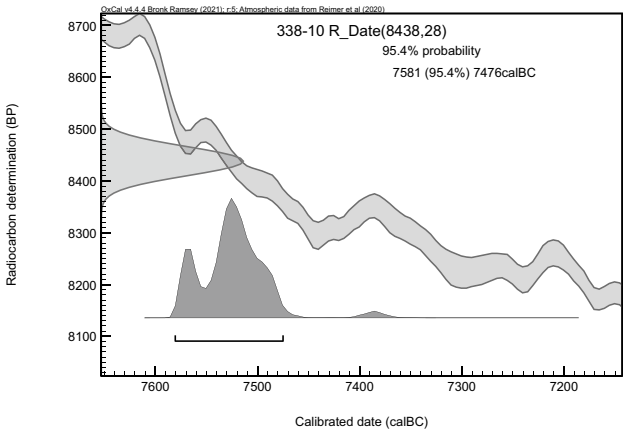
No.	地点	処理乾重(g)	砂粒分の粒度組成(重量g)				鉱物組成(重量g)	
			3φ	4φ	5φ		軽鉱物	重鉱物
1	27グリッド北壁	10.46	0.38	0.72	0.37		0.24	0.05
2	27グリッド北壁	4.63	0.36	0.37	0.20		0.22	0.06

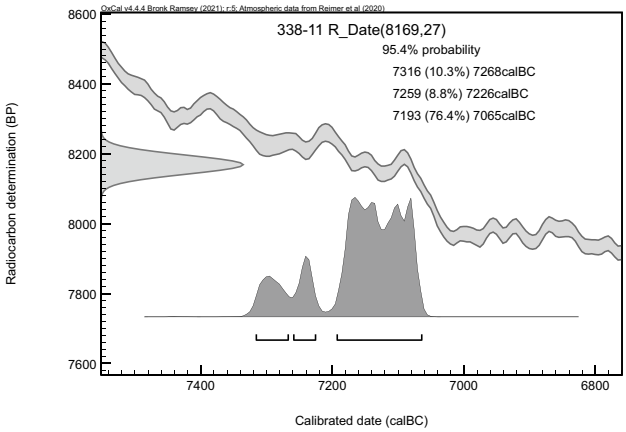
分類群 / No.	石英(Qu)	長石(Pl)	スコリア(Sc)	不明(Opq)	火山ガラス						ガラス合計	軽鉱物合計	重鉱物						重鉱物合計
					バブル(泡)型		軽石型		急冷破砕型				斜方輝石(Opx)	単斜輝石(Cpx)	角閃石(Ho)	カンラン石(Ol)	磁鉄鉱(Mg)	不明(Opq)	
					平板状(b1)	Y字状(b2)	繊維状(p1)	スポンジ状(p2)	フレーク状(c1)	塊状(c2)									
1		62		110	26	30		19	1	2	78	250	120	45			67	18	250
2	5	58		81	65	36	1	1	3		106	250	113	90	2		38	7	250

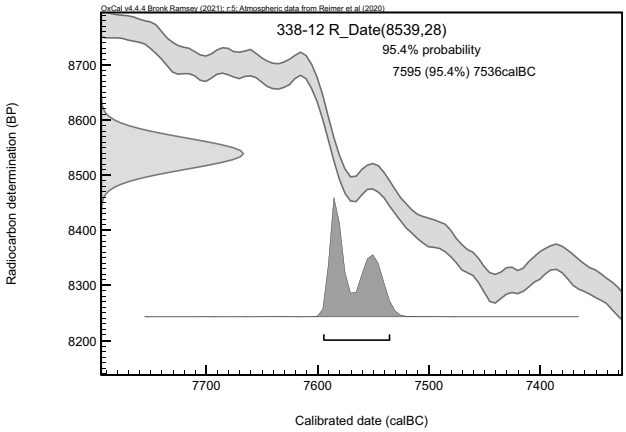


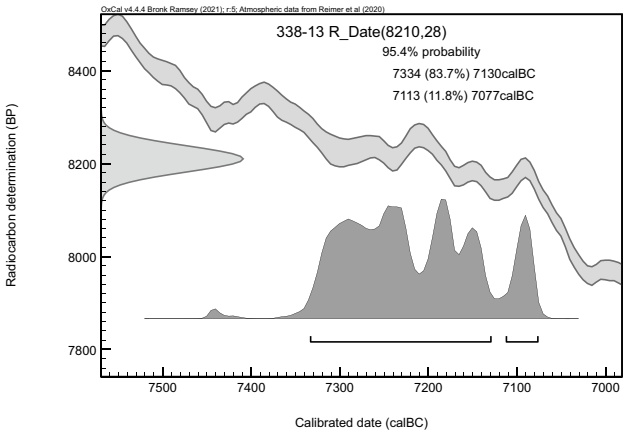
第180図　暦年較正結果①

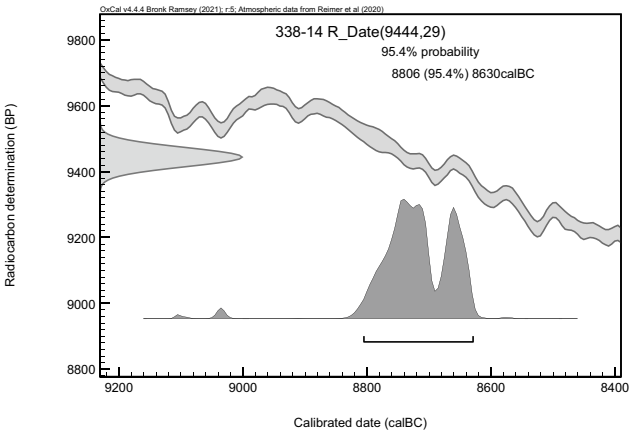


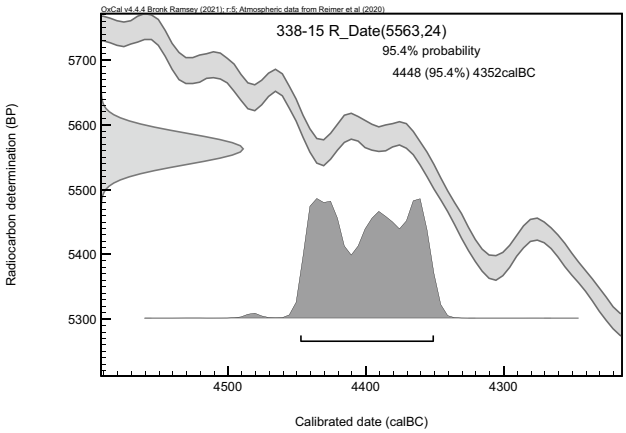




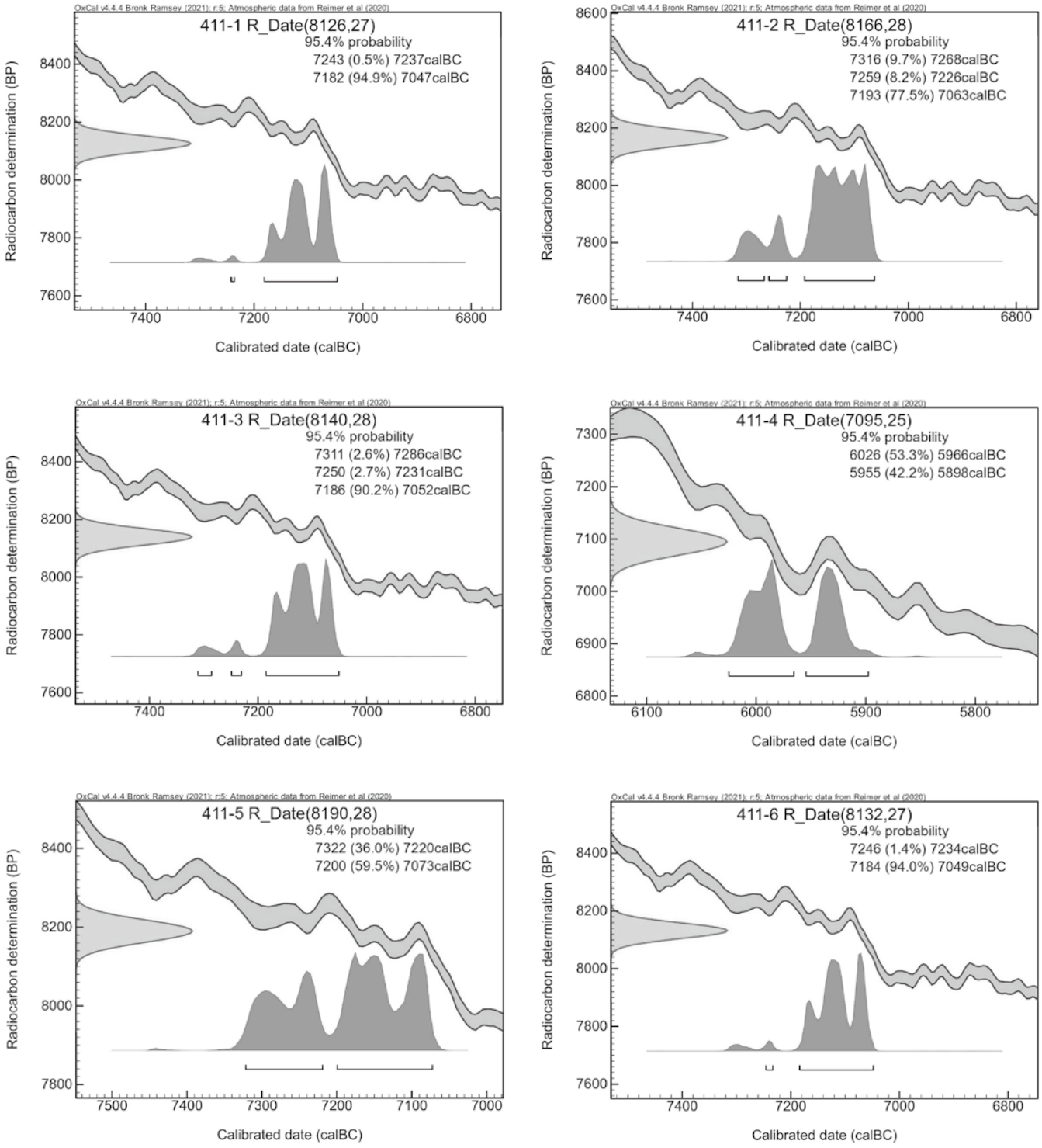




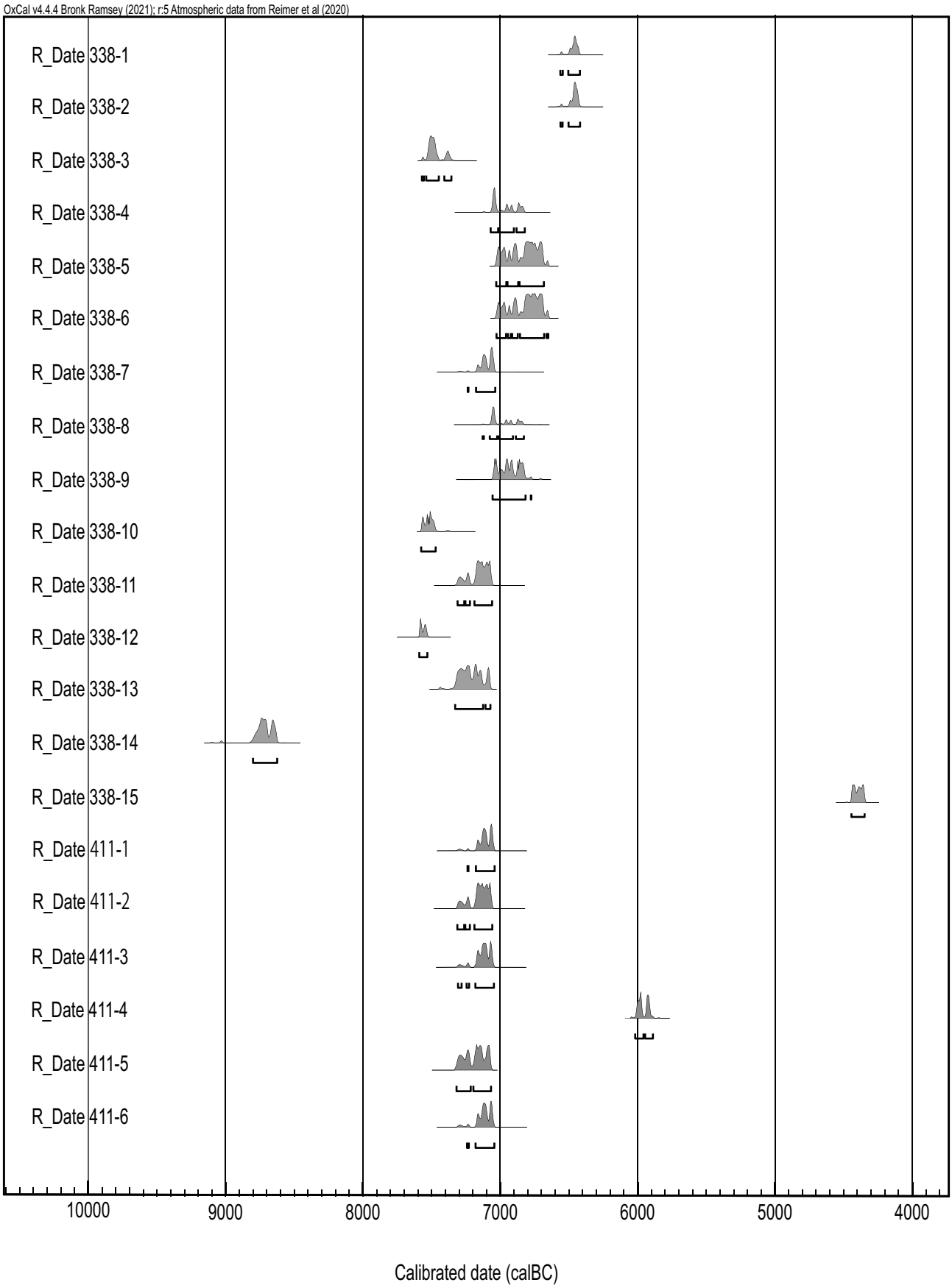




第181図　暦年較正結果②

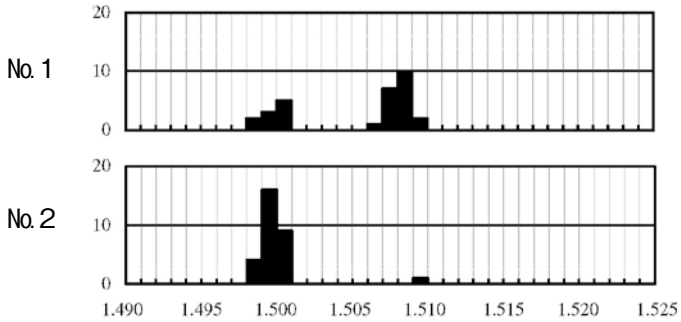


第182図　暦年較正結果③



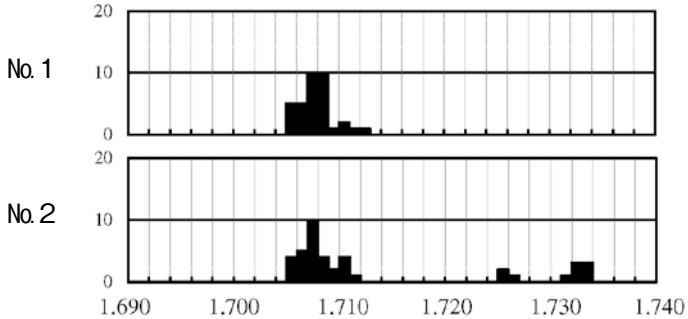
第183図　暦年較正年代マルチプロット図

火山ガラス



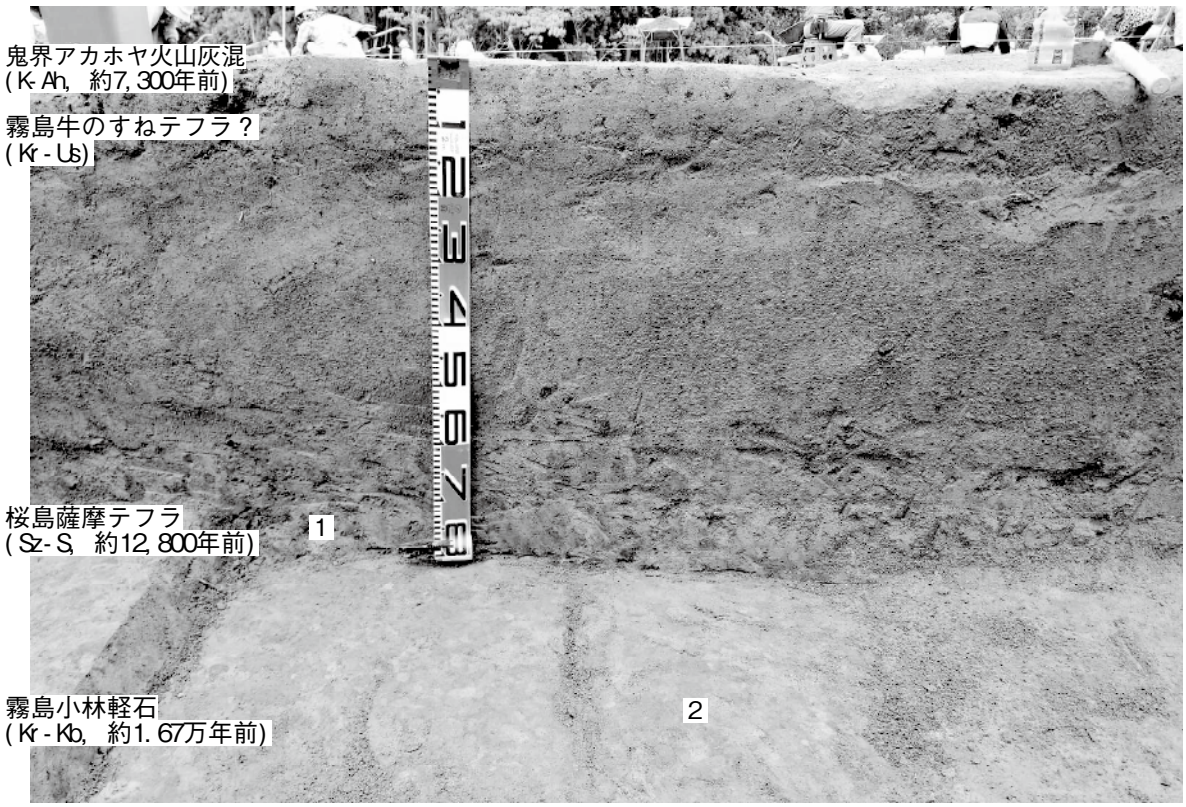
	範囲(range)	平均 (mean)	個数
No.1	1.4985 - 1.5095	1.5048	30
No.2	1.4984 - 1.5096	1.4998	30

斜方輝石

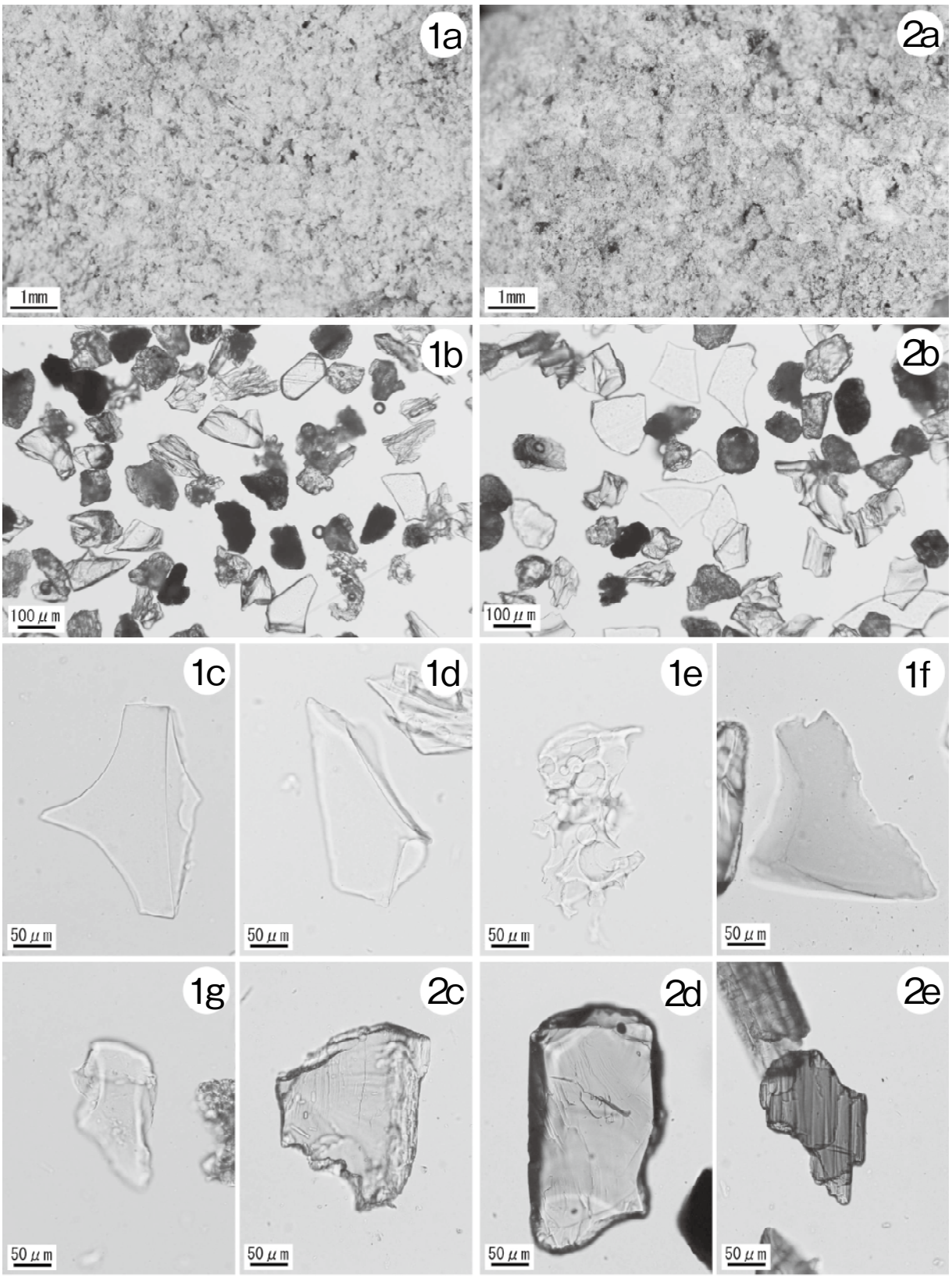


	範囲(range)	平均 (mean)	測定数
No.1	1.7052 - 1.7123	1.7078	35
No.2	1.7057 - 1.7339	1.7136	40

第184図　橋山第3遺跡2地区における火山ガラスの屈折率測定結果



図版63　橋山第3遺跡2地区におけるテフラ分析試料採取箇所（27グリッド北壁）



テフラ試料の顕微鏡写真（数字は試料No.）

1a. 試料No.１　2a. 試料No.２　1b. 試料No.１の4φ軽鉱物　2b. 試料No.２の4φ軽鉱物

1c. バブル型平板状ガラス　1d. バブル型Ｙ字状ガラス　1e. 軽石型スポンジ状ガラス

1f. 急冷破砕型フレーク状ガラス　1g. 急冷破砕型塊状ガラス　2c. 斜方輝石

2d. 単斜輝石　2e. 角閃石

図版64　テフラ試料の顕微鏡写真

第Ⅵ章　まとめ

第1節　橋山遺跡群の旧石器時代の調査成果

第1項　基本土層と出土石器について

橋山遺跡群における旧石器時代の遺物の出土状況を概観すると、橋山第2遺跡1次調査で小林軽石を含む暗褐色土層中より細石刃核が出土しており、2次調査では基本土層7層から基部加工のナイフ形石器が、8層を主体とするＢブロックからは角錐状石器と国府型ナイフ形石器が、9層を中心とするＡブロックから狸谷型ナイフ形石器が出土している。なお、ブロック外においても9層から剥片尖頭器、8層から角錐状石器が出土している。1次調査の細石刃核が出土した層は2次調査の6層に対比でき、本遺跡においては各層から異なる器種の石器が出土する様子が確認された。なお、礫群も8層と9層から検出されており、ここで出土した石器群については時期の異なる可能性が高いことを裏付けている。

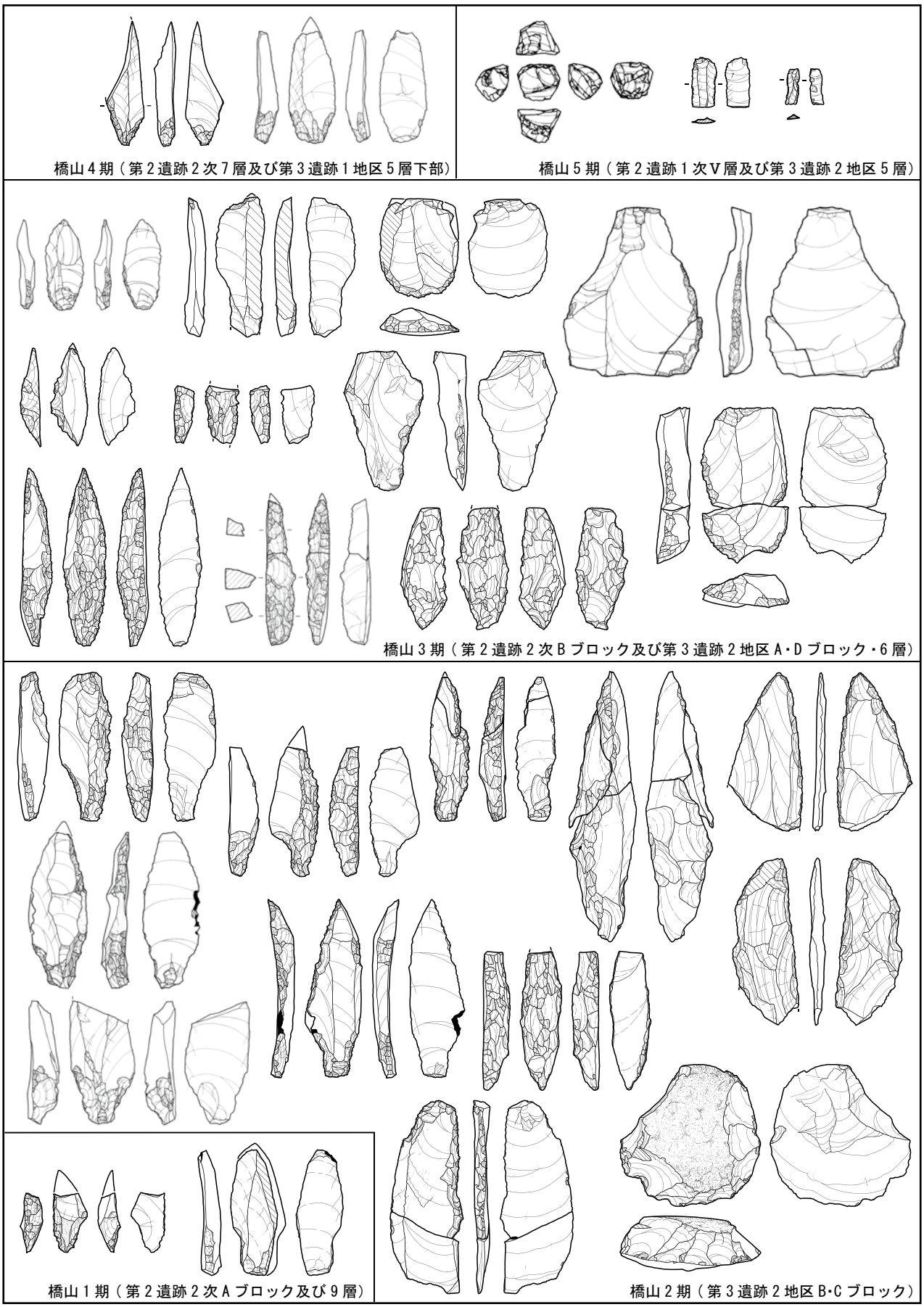
橋山第3遺跡では1地区で基本土層5層下部から基部加工のナイフ形石器が、2地区でも6層主体で検出されたＡブロックで基部加工のナイフ形石器、縦長剥片を素材とした掻器が出土している。またブロック外では6層から角錐状石器も見られた。8層で検出されたＤブロックでは基部加工のナイフ形石器が、Ｂ・Ｃブロックでは10層を中心に二側縁加工のナイフ形石器、剥片尖頭器、基部加工のナイフ形石器、角錐状石器、錦江谷型尖頭器が出土した。なお細石刃については縄文早期の遺物と混在する形で5層中から出土している。2地区のＡブロックで出土した基部加工のナイフ形石器の素材剥片はやや幅広の大振りのものであり、ナイフ形石器文化終末期に見られる細身の基部・部分加工のナイフ形石器の素材剥片とは異なる。さらに県内の終末期には現状では見られない縦長剥片素材の掻器が出土していることから、出土層位としては終末期にあたるとも考えられるが、それよりは古い様相の石器群と捉えておく。なおＤブロック出土の基部加工のナイフ形石器もこれと同時期と考えておく。出土層位からはＢ・Ｃブロックの資料はＡ・Ｄブロックより古く、組成する器種もバラエティに富むことから両者には時期差があるものと考える。

これらの成果をまとめると5段階の変遷が想定される。1期は第2遺跡2次調査のＡブロック及び9層出土資料である。続く2期は第3遺跡2地区のＢ・Ｃブロック、3期は第2遺跡2次調査のＢブロック及び8層出土資料と第3遺跡2地区のＡ・Ｄブロック及びブロック外の6層出土資料が該当する。4期は第2遺跡2次調査の7層及び第3遺跡1地区5層下部出土のナイフ形石器が該当し、最後に5期の細石刃文化期へと続く。（第185図）

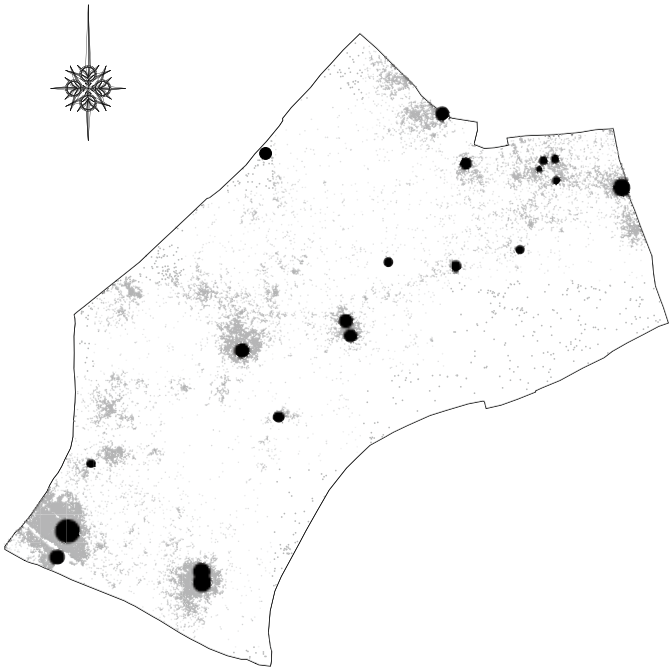
本遺跡群においては小林軽石を多く含む層（基本土層7層）から遺物が出土したり、その上位の6層や5層下部からも基部加工のナイフ形石器や角錐状石器が出土したりと、この土層が細石刃文化期とナイフ形石器文化期を隔てる土層として成立していなかった。小林軽石を含む土層を鍵層として設定することについては検討を要する必要性を感じた。

第2項　ナイフ形石器文化期の使用石材と石器製作について

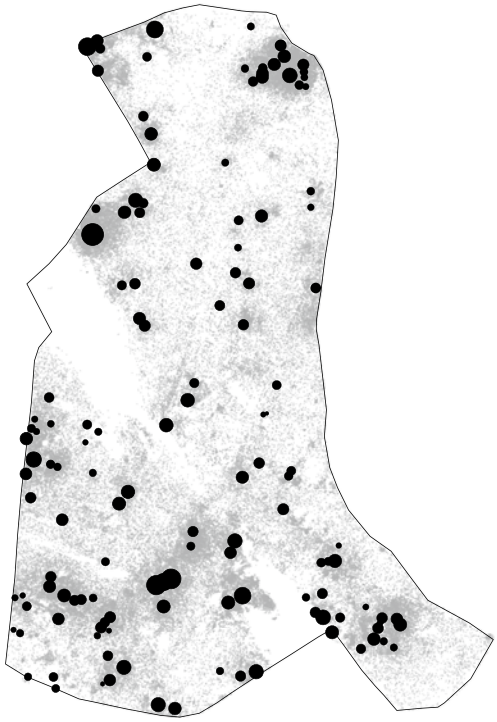
本遺跡群のナイフ形石器文化期の遺物で最も使用されている石材は頁岩である。これは在地



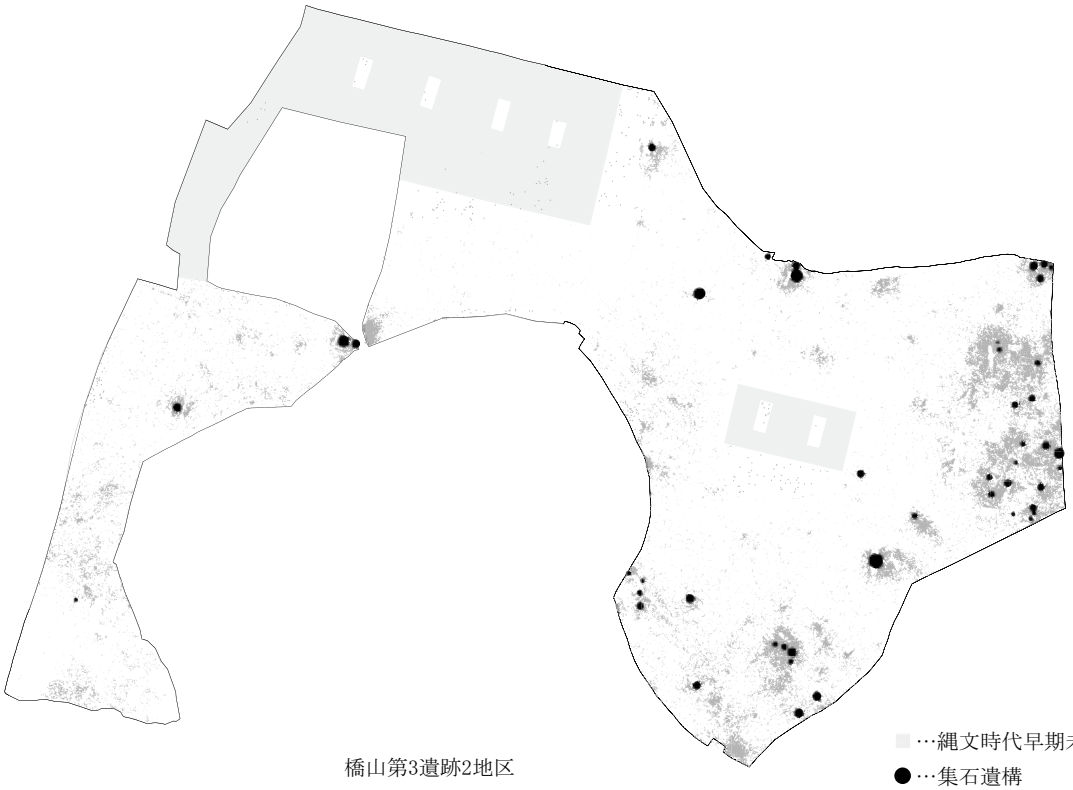
第185図　橋山遺跡群旧石器時代変遷図（1 ～ 4期：S=1/3・5期：S=1/2）



橋山第2遺跡2次



橋山第3遺跡1地区



橋山第3遺跡2地区

…縄文時代早期未調査範囲

●…集石遺構

第186図　橋山第2遺跡・第3遺跡1地区（S＝1/900）**・橋山第3遺跡2地区**（S=1/1250）**礫分布図**

の石材として認識されており、大淀川の河床などで採取できるものであろう。その他の使用石材としては小丸川近郊で採取可能なホルンフェルスを使用するものが第2遺跡2次調査から剥片尖頭器1点、第3遺跡2地区においては剥片1点と角錐状石器の接合資料1組と角錐状石器1点が挙げられる。また五ヶ瀬川流域で採取される流紋岩製のものは第2遺跡2次調査で角錐状石器、国府型ナイフ形石器、剥片、石核が各1点確認されている。なお、図面を呈示しなかったが、日東産黒曜石の剥片が1点、第2遺跡2次調査の9層から出土している。このような本遺跡群の石器石材の使用状況からは五ヶ瀬川流域から南下し、本遺跡群を経由して大口盆地へと向かうような遊動経路が想定される。

第2節　橋山遺跡群の縄文時代草創期～早期の調査成果

第1項　集石遺構について

橋山遺跡群では遺構の9割以上を集石遺構が占めている。その中でも橋山遺跡群が立地する細尾根の端部に分布が集中しており、散礫も同じように集中する（第186図）。特に橋山第3遺跡2地区は調査区南側のため池を囲むように散礫が検出されており、その下から集石遺構が検出されている。橋山遺跡群全体では集石遺構が合計で300基検出されており、大きく分けて掘り込みを有するものと有さないものがある。掘り込みを有しないものは橋山第2遺跡、橋山第3遺跡2地区で、掘り込みを有するものは橋山第1遺跡、橋山第3遺跡1地区で多く検出した。集石遺構と土器の分布を比較すると、橋山第1遺跡・橋山第2遺跡・橋山第3遺跡ともに押型文土器及び下剥峯式・桑ノ丸式の分布と集石遺構の分布が重なる傾向が見られる。橋山第2遺跡2次調査と橋山第3遺跡2地区からは他の調査地では見られない早期末条痕文土器が出土しているが、早期末条痕文土器が集中して出土する範囲には集石遺構の数が明確に少ない。集石遺構と出土遺物の位置関係だけでは、集石遺構の時期決定を行うことは困難である。それを承知の上で、集石遺構と土器の分布から時期を考察すると、橋山遺跡群においては早期前葉から集石遺構が利用され、早期後葉から早期末にかけて集石遺構の利用が低下していくと推定される。

今回の調査では放射性炭素年代測定を集石遺構出土の炭化物に対して行い、9500年BP～7600年BPの測定結果が得られた。橋山第3遺跡1地区で測定値が得られた集石遺構は8200年BP～8100年BPのものにSI110やSI116のように断面がＶ字状のものが集中する。この時期は押型文土器の大分編年における下菅生Ｂ式～田村式の時期にあたる。本書で細分した押型文土器の3類と4類は下菅生B式と田村式に相当し、遺物の出土量と集石遺構の年代が重なる。宮崎市清武町に所在する船引地区遺跡群のデータでは8500年BP～8000年BPに断面がV字形のものが集中することが指摘されている。当遺跡でもデータは少ないものの船引地区遺跡群と同様の結果を示しており、橋山第3遺跡1地区で検出されたＶ字状の断面形態を有するSI91などの大型集石遺構の多くはこの時期に帰属すると推定される。

第2項　土器の分布と遠隔地石材について

また今回調査を行った橋山第2遺跡2次調査、橋山第3遺跡1地区・2地区では縄文時代早期出土の遠隔地石材の点数と重量を未掲載遺物も含めて計測を行った。その結果は橋山第2遺跡2次調査では姫島産黒曜石が17点・22.3ｇ、桑ノ木津留産黒曜石が4点・4.0ｇ、西北九州産黒曜石

が2点・5.7ｇ、鹿児島県産黒曜石が1点・1.4ｇ、安山岩が7点、18.8ｇである。橋山第3遺跡1地区では姫島産黒曜石が28点・66.1ｇ、桑ノ木津留産黒曜石が176点・326.9ｇ、西北九州産黒曜石が18点・43.0ｇ、鹿児島県産黒曜石が26点・80.8ｇ、安山岩が8点・15.4ｇである。橋山第3遺跡2地区では姫島産黒曜石が317点・535.4ｇ、桑ノ木津留産黒曜石が136点・155.4ｇ、西北九州産黒曜石が58点・77.5ｇ、鹿児島県黒曜石が0点、安山岩が63点・214.4ｇである。これらの遠隔地石材の分布で特徴的なのは主体となる石材が異なることである。遠隔地石材の点数比をみると、橋山第3遺跡1地区では姫島産黒曜石が10.9％、桑ノ木津留産黒曜石が68.8％だが、2地区では姫島産黒曜石が55.2％、桑ノ木津留産黒曜石が23.7％となっており、両地区で主体となる遠隔地石材の割合が逆転している。特に2地区では早期後葉から末葉にあたる塞ノ神式と早期末条痕文土器の分布と姫島産黒曜石が調査区西側で重なって分布することが確認された。宮崎市清武町の船引地区遺跡群でも早期後葉から末葉にかけての遺物が主体となる遺跡で姫島産黒曜石の出土が目立つことが指摘されており、橋山遺跡群でもおおむね同じ傾向がみられている。また遠隔地石材の出土量が少ないものの、橋山第2遺跡2次調査でも塞ノ神式及び早期末条痕文土器と重なる位置から姫島産黒曜石が分布しており、遠隔地石材の55％を占める。なお、橋山第2遺跡1次調査では早期中葉の土器が多く出土しており、西北九州産黒曜石74点・173ｇ（遠隔地石材点数比56.9％）が主体的となっている。

第3項　特徴的な遺物について

ここでは今回の調査で出土した特筆すべき遺物について供述する。橋山第3遺跡1地区からは縄文時代早期遺物包含層から石皿と磨石がセットになって出土している。過去の事例を見ても鹿児島県鹿屋市所在の牧山遺跡で石皿と磨石が近接して出土した例はあるものの、今回のように石皿の上に磨石が置かれているような状況で出土した事例は南九州では類例を確認することができなかった。今後の類例の増加を待ちたい。また橋山第2遺跡2次調査と橋山第3遺跡2地区からは石製円盤が縄文早期遺物包含層から出土している。宮崎県内では芳ヶ迫第3遺跡、札ノ元遺跡に続く希少な追加事例である。

今回の調査で特に出土量が際立った石器として磨石・敲石が挙げられる。また礫器もアカホヤ火山灰層を挟む上下の遺物包含層から多数出土している。礫器は刃部に敲打痕をもち、潰れているものがみられる。また剥片素材敲石も縁辺に敲打痕が観察されるもので、どちらも鋭利な縁辺部が潰れていることから同じような使用方法が推定される。

第3節　橋山遺跡群の縄文時代前期～後期の調査成果

第1項　石錘と石鏃の出土状況から

橋山遺跡群では第1遺跡Ａ地区では宮之迫式・磨消縄文が主体となって出土しており、第2遺跡2次調査では野久尾式・宮之迫式、第3遺跡1地区では深浦式・船元式・宮之迫式、第3遺跡2地区では轟Ｂ式・西唐津式・曽畑式・深浦式・野久尾式と各調査区で主体となる土器の様相が異なる。当時の生業にかかわる遺物として石錘に注目すると第1遺跡Ａ地区では31点、第3遺跡1地区では35点出土している。一方、その他の調査区では石錘は全く出土していない。基本土層4～5層の出土状況をみても、第3遺跡2地区での4点しか見られない。

これらのことから中期末から後期に位置付けられる宮之迫式段階頃から漁撈活動が活発化した様子を示している可能性があり、このことは先行研究においても指摘されている。同じ時期の第2遺跡2次調査での出土量の低さを考えると第1遺跡Ａ地区及び第3遺跡1地区が他の調査区よりも大淀川により近い位置にあるという地理的要因も影響しているかもしれない。

一方、石鏃の出土状況にも注目してみると、縄文早期に位置付けられる基本土層4～5層の石鏃の出土点数は未製品・欠損品を含めるとは第2遺跡2次調査で12点、第3遺跡1地区では78点、第3遺跡2地区では62点である。2層中からは三つの調査区を足しても14点と圧倒的に少ない。漁撈活動とは逆に狩猟活動については早期よりも低調となっている可能性が伺える。

第2項　各地区の遠隔地石材について

今回のアカホヤ火山灰層上位の遺物包含層から出土した遠隔地石材としては縄文前期～中期が主体の第3遺跡第2地区では姫島産黒曜石29点・1166.3ｇ、桑ノ木津留産黒曜石12点・18.5ｇ、西北九州産黒曜石7点11.5ｇ、鹿児島県産黒曜石28点・320.7ｇ、安山岩12点・85.7ｇである。一方、縄文中期～後期が主体の第2遺跡2地区では姫島産黒曜石1点・0.7ｇ、安山岩1点・0.5ｇで、第3遺跡1地区では桑ノ木津留産黒曜石1点・2.1ｇ、安山岩1点・0.8ｇという状況である。これらの使用状況を比べてみると第3遺跡2地区の方がその他の地区よりも多くの地域からの石材が出土している。アカホヤ火山灰層下位の基本土層4～5層では各地区共に遠隔地石材が使用されている様子が伺えており、それが徐々に低調となって中期末になると遠隔地石材がほとんどされていない状況となっている。このことは本遺跡群においての現象なのか、他地域でも同じような状況なのかを確認していくことは今後の課題である。

主要参考文献

伊東　但2003「清武町船引地区遺跡群出土の集石遺構及び炉穴について」『九州縄文時代の集石遺構と炉穴』九州縄文研究会

宮崎県旧石器文化談話会2005「宮崎県下の旧石器時代概観」『旧石器考古学』第66号　旧石器文化談話会

藤木　聡2009「宮崎県の縄文時代の漁撈具」『九州における縄文時代の漁撈具』九州縄文研究会

山下大輔2009「南九州の押型文土器編年に関する一考察」『南の縄文・地域文化論考　新東晃一代表還暦記念論文集』南九州縄文研究会

清武町合併特例区2014『清武町史　通史編』上巻

秋成雅博2015「船引地区遺跡群における縄文時代早期の石器の様相」『貝殻文と押型文』宮崎考古学会県南例会実行委員会

遠部　慎2015「南九州における押型文土器期の炭素14年代測定」『貝殻文と押型文』宮崎考古学会県南例会実行委員会

鹿児島県教育委員会2020『牧山遺跡2（旧石器・縄文時代早期編）』公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書（30）

本書の刊行に当たって以下の方々にご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。
（敬称略・順不同）
松本　茂（宮崎県立西都原考古博物館）、藤木　聡（宮崎県埋蔵文化財センター）、
寒川朋枝（鹿児島大学埋蔵文化財調査センター）

報告書抄録

ふりがな	はしやまだいにいせきにじ･はしやまだいさんいせき
書　名	橋山第2遺跡2次･橋山第3遺跡
副書名	第2花見工業団地造成工事に伴う埋蔵文化財調査報告書
巻　次	
シリーズ名	宮崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	第142集
編集者名	秋成雅博　市川勇樹
発行機関	宮崎市教育委員会
所　在　地	〒889-1613　宮崎市清武町西新町1番1号
発行年月	2023年3月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	遺跡番号	北　緯	東　経	調査原因	種別
はしやまだい 橋山第2遺跡 じちょうさ 2次調査	みやざきし 宮崎市 たかおかちょう 高岡町 はなみ 花見	45201	31-026	31°56′57	131°19′31	第2花見 工業団地 造成工事	集落
はしやまだい 橋山第3遺跡			31-027	31°56′56	131°19′25		

所収遺跡名	調査期間	調査面積	主な時代	主な遺構と遺物
はしやまだい 橋山第2遺跡 じちょうさ 2次調査	2018.5.9～2019.3.29	3110㎡	旧石器 縄文 中世	集石遺構、溝状遺構など ナイフ形石器、剥片尖頭器、縄文土器、打製石鏃など
はしやまだい 橋山第3遺跡	2018.12.6～2019.3.29 2019.5.8～2020.3.31 2020.5.11～2020.11.30	11590㎡	旧石器 縄文 中世	集石遺構、石器埋納遺構、 道路状遺構など ナイフ形石器、角錐状石器、縄文土器、槍先形尖頭器、打製石鏃など
特記事項	複数の旧石器時代の文化層を検出。 両遺跡で縄文早期の集石遺構206基を検出。 アカホヤ火山灰層を挟んで2枚の縄文時代の文化層を検出。 完形の槍先形尖頭器の出土。多数の礫器の出土。 アカホヤ火山灰層上位で1kgを超える姫島産黒曜石製石核が出土。			

宮崎市文化財調査報告書第142集

橋山第2遺跡2次
橋山第3遺跡

令和5年3月

宮崎市教育委員会